47号竪穴建物跡（第194～196図、写真図版51・197）

［位置・検出状況］調査区中央北側の、ⅡA16j、ⅡA16k、ⅡA17kグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。本遺構は北東端の一部を後世の削平により、消失している。また16号溝跡と重複し、本遺構の方が古い。

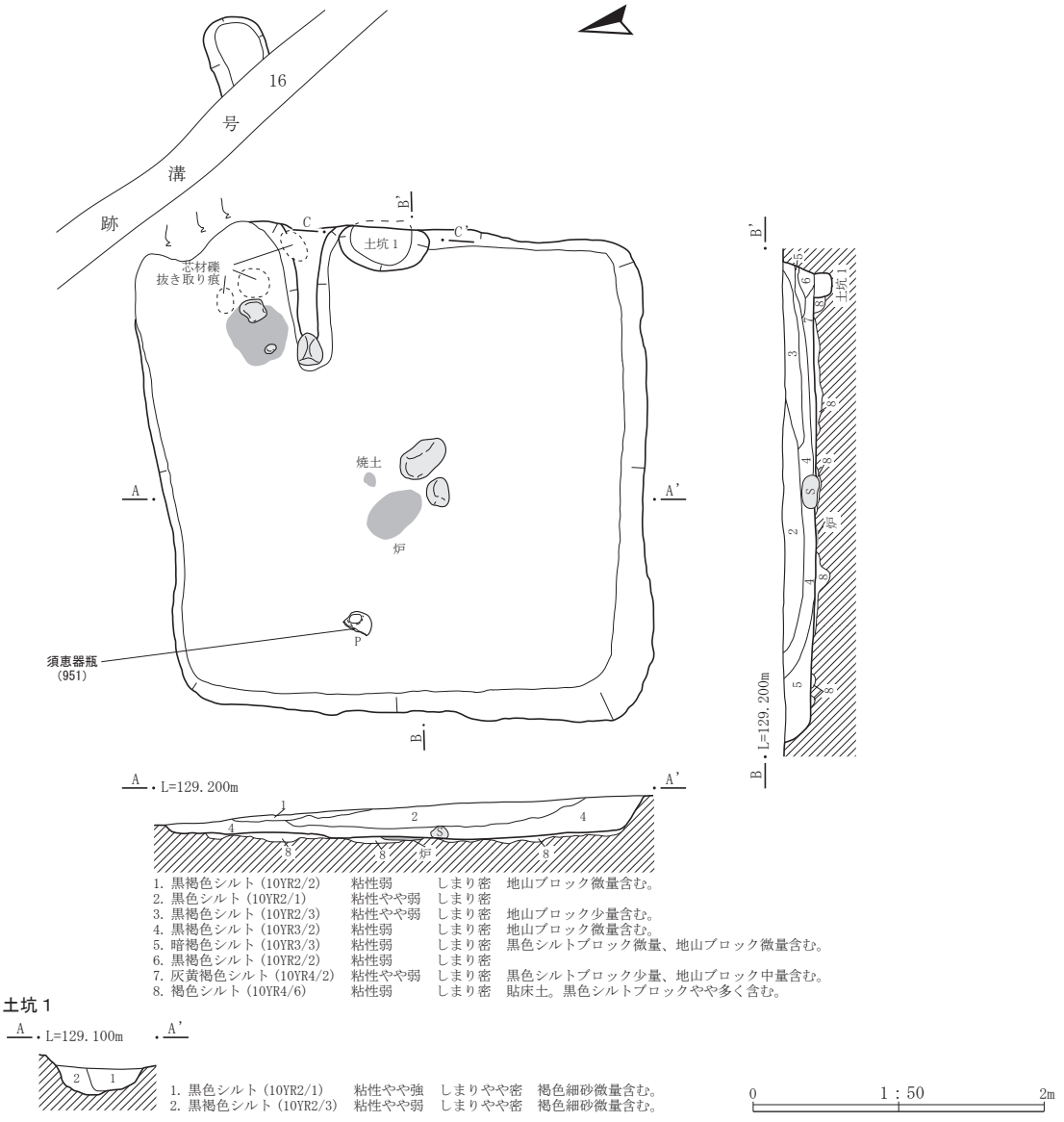
［規模・平面形］北辺〈260〉cm、東辺〈260〉cm、南辺322cm、西辺290cmを測り、平面形は隅丸の正方形を呈する。残存する床面積は〈9.7〉㎡である。

［埋土の状況］７層からなり、黒色、黒褐色シルトを主体とする。全体の堆積様相から、埋没は自然堆積と推定する。

［床面・壁］Ⅶ層面で検出した。床面は若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は、削平された北東端を除き全周する。緩やかに広がりながら立ち上がる。壁高は最大21cmである。

［貼床］床面の東側はほぼ全体に、西側は部分的に貼床される。貼床土は褐色シルトを主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方は歪で、深さは２～10cmである。

［カマド・炉］カマドは東壁の北寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道の一部を確認した。



第194図　47号竪穴建物跡１

燃焼部焼土面は、40×40cmを測る。被熱は弱く、にぶい赤褐色を呈する。被熱深度は４cmである。焼土の奥側に、支脚（礫）が据え置かれている。

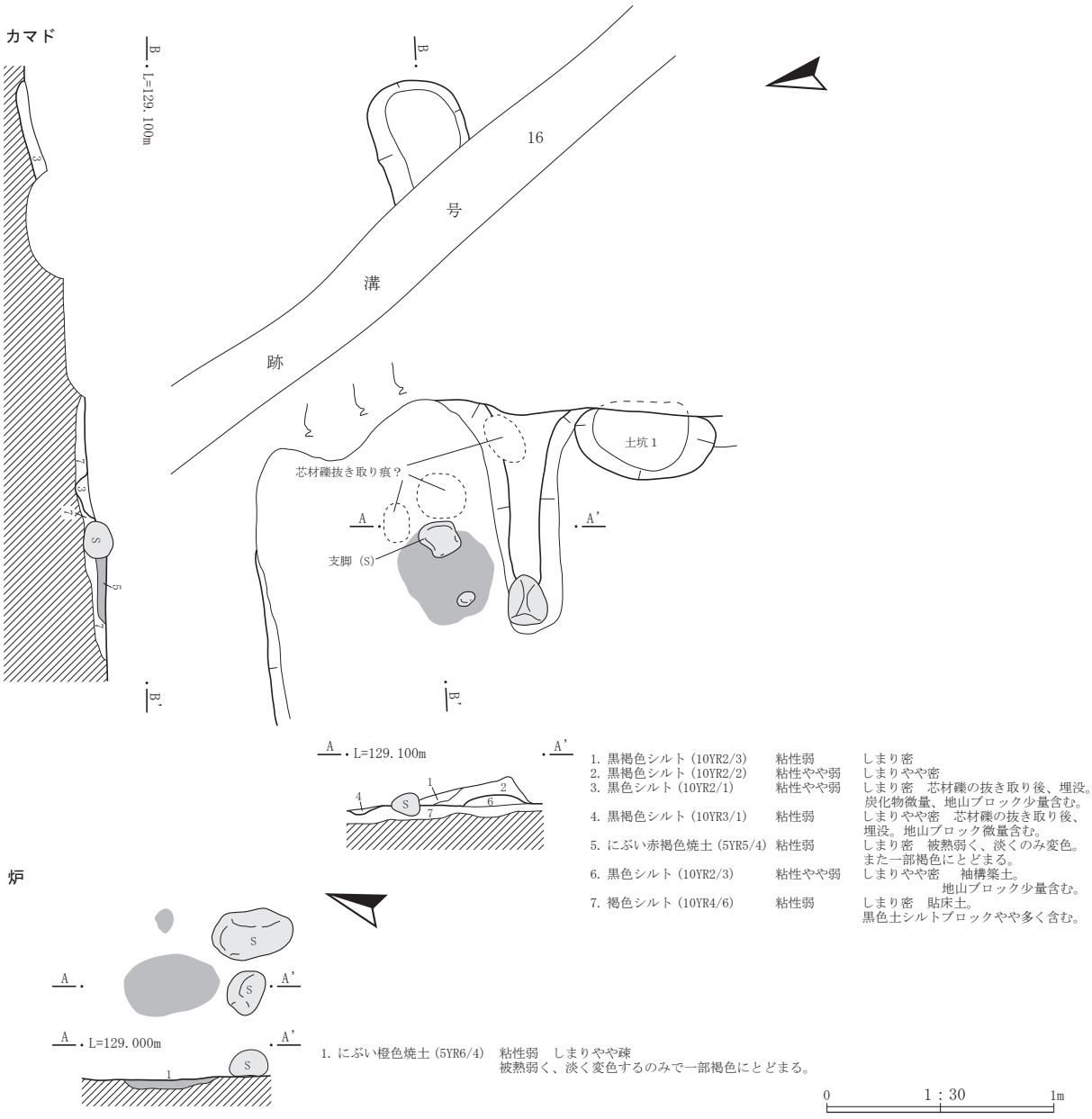
袖は南袖のみ残存する。構築土（下部のみ）と芯材礫１個を検出した。構築土は黒色シルトである。芯材礫は南袖の手前側でのみ検出したが、他にも袖上に20×15cmの掘り込みがあり、ここにも芯材礫が据えられていたものと推測する。

煙道は東壁から140cmのびる。ただし後世の削平と16号溝跡によって東壁から100cmの範囲は消失している。残存部から、下へと傾斜しながら煙出しに至ると推測する。

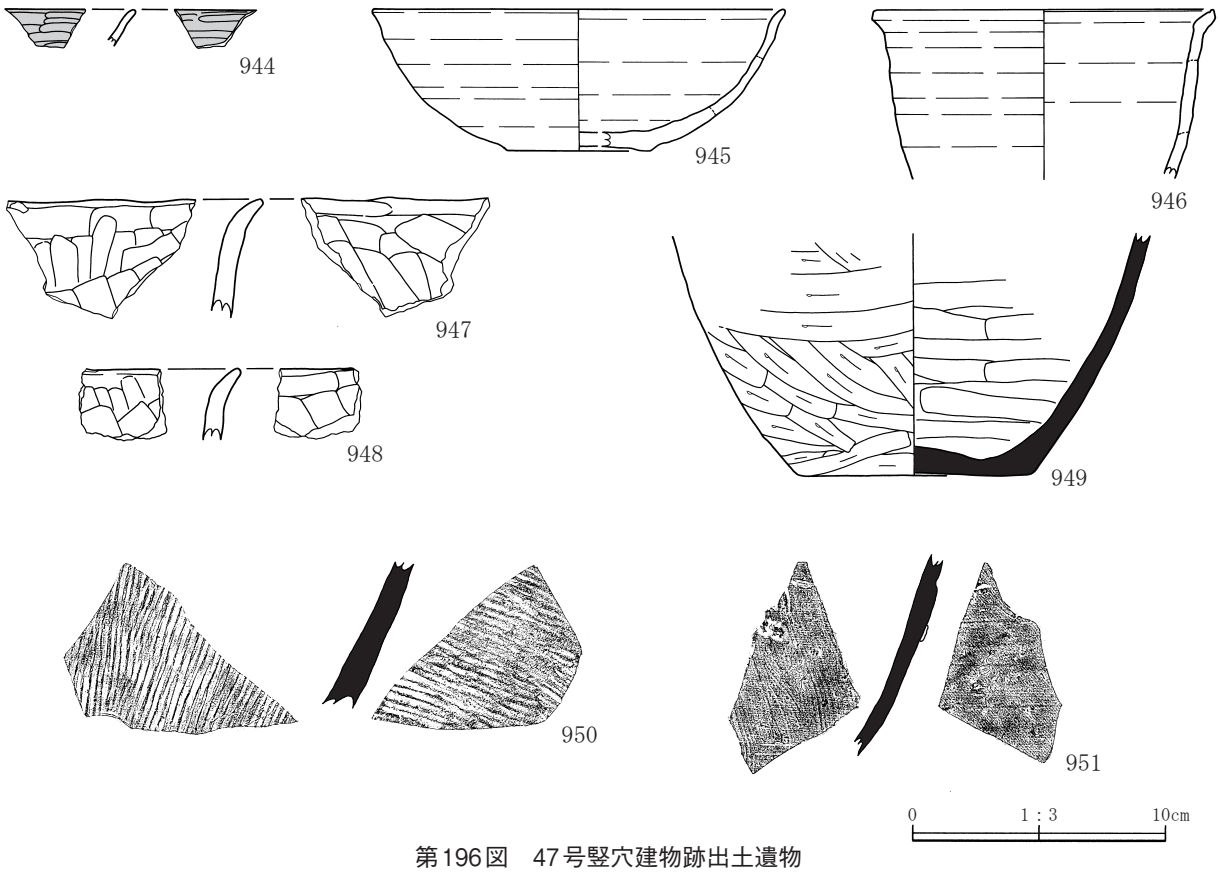
炉１基と焼土１箇所を床面のほぼ中央で検出した。炉は42×23cmで、にぶい橙色を呈するが、被熱は弱い。被熱深度は３cmである。焼土は、炉の東側に隣接し、10cm大の小さなものである。

［土坑］１基検出した。土坑１はカマドの南側に付き、壁側はオーバーハングしている。62×30cmの楕円形で、深さは23cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴、壁溝ともに見受けられない。



第195図　47号竪穴建物跡２



第196図　47号竪穴建物跡出土遺物

［出土遺物］古代土器775.0g分がある。埋土中出土がほとんどを占める。

土師器は、坏（944・945）、甕（946～948）がある。いずれも小片である。944は内外面黒色処理が施される。須恵器は、瓶類（949・951）と甕（950）がある。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

48号竪穴建物跡（第197～199図、写真図版52・198）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡA15n、ⅡA16n、ⅡA16oグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。

［規模・平面形］北辺194cm、東辺217cm、南辺176cm、西辺198cmを測り、隅丸の正方形を呈する。床面積は4.5㎡である。

［埋土の状況］４層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の３・４層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

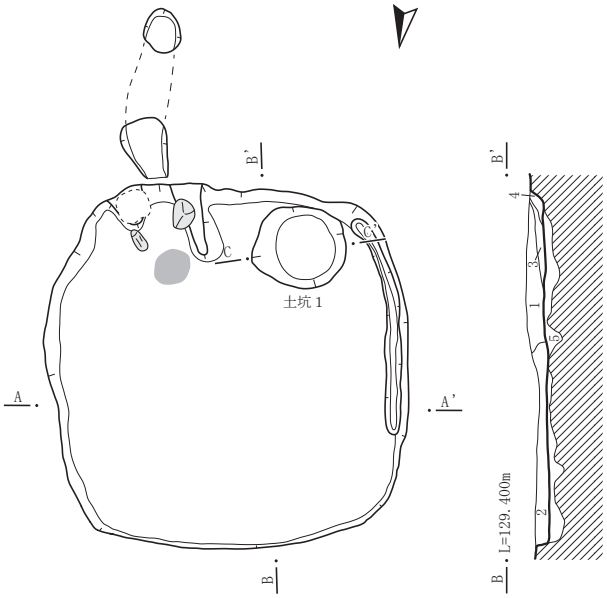
［床面・壁］Ⅶ層で検出した。床面はほぼ平坦であるが、南側はわずかに高い。壁は全周する。わずかに外へと開き、直立気味である。壁高は13cmである。

［貼床］床面のほぼ全体に貼床され、壁際は深く、中央に向かうにつれ浅くなる。また貼床されない箇所もある。貼床土はにぶい黄褐色シルトを主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方は歪で、深さは２～６cmである。

［カマド・炉］カマドは南壁の東寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道の一部を確認した。

燃焼部焼土面は、23×20cmを測る。被熱は強く、明赤褐色を呈する。被熱深度は４cmである。

袖は両袖残存する。東袖は構築土のみ、西袖は構築土と芯材礫１個を検出した。構築土は黄褐色シ



土坑1

C・L=129.300m・C'

1

1. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性弱　しまり密
地山ブロック少量含む。

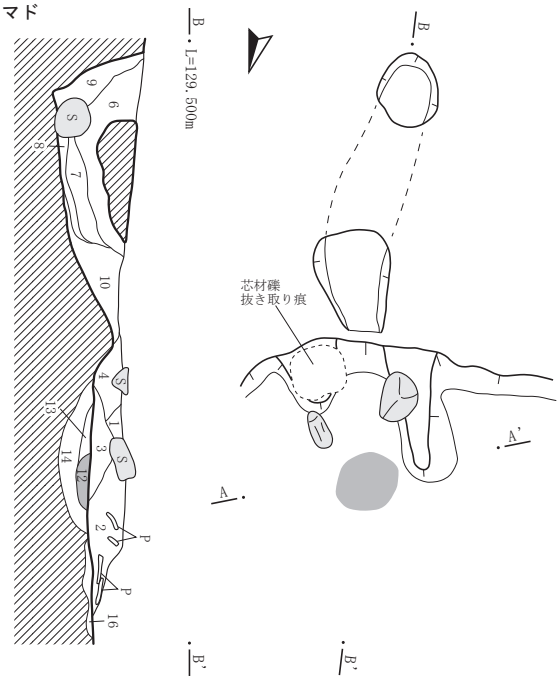
A・L=129.400m・A'

2
6
6
5

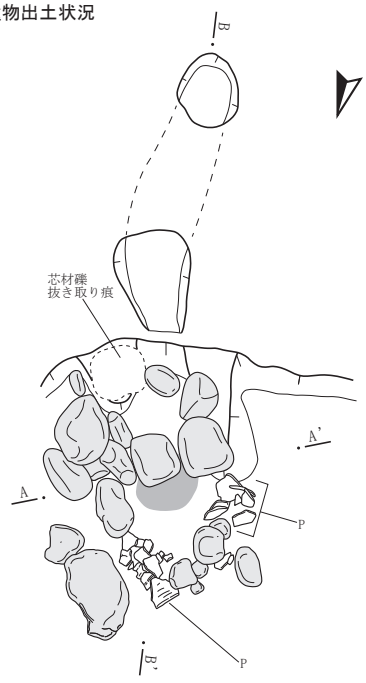
1. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性やや弱　しまり密　地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性弱　しまりやや密　地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性弱　しまり密　地山ブロック微量含む。
4. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性弱　しまり密　地山ブロック中量含む。
5. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性やや弱　しまりやや密　壁溝埋土。
6. にぶい黄褐色シルト（10YR5/4）　粘性やや弱　しまりやや密　貼床土。黒褐色シルトブロック少量含む。

0　1：50　2m

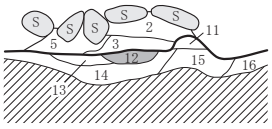
カマド



カマド礫・遺物出土状況



A・L=129.500m・A'



1. 黒褐色シルト（10YR3/2）　粘性弱　しまりやや密
2. 黒色シルト（10YR2/1）　粘性弱　しまりやや疎
3. 黒褐色シルト（10YR3/2）　粘性やや弱　しまりやや密
4. 褐色シルト（10YR4/4）　粘性弱　しまりやや密
5. 黒褐色シルト（10YR2/3）　粘性やや弱　しまり密
6. 黒褐色シルト（10YR2/3）　粘性弱　しまり密　地山ブロック微量含む。
7. 暗褐色砂質シルト（10YR3/3）　粘性弱　しまりやや密　地山ブロック微量含む。
8. 暗褐色砂質シルト（10YR3/3）　粘性やや弱　しまりやや密　地山ブロック少量含む。
9. 黒褐色シルト（10YR2/3）　粘性やや弱　しまり密
10. 黒褐色シルト（10YR3/1）　粘性やや弱　しまりやや密　地山ブロック微量含む。
11. 黄褐色シルト（10YR5/4）　粘性弱　しまり密　袖構築土。
黒褐色シルトブロック微量含む。
12. 明赤褐色焼土（5YR5/6）　粘性弱　しまり密　被熱強い。
13. 暗褐色シルト（10YR3/3）　粘性やや弱　しまりやや密　被熱により、赤みをおびる。
14. 暗褐色砂質シルト（10YR3/3）　粘性やや弱　しまりやや密　貼床土。
明黄褐色細砂少量含む。
15. 黄褐色シルト（10YR5/6）　粘性やや弱　しまりやや密　カマド掘り方。
黒褐色シルトブロック中量含む。
16. 黄褐色シルト（10YR5/6）　粘性やや弱　しまり密　貼床土。
黒褐色シルトブロック少量含む。

0　1：30　1m

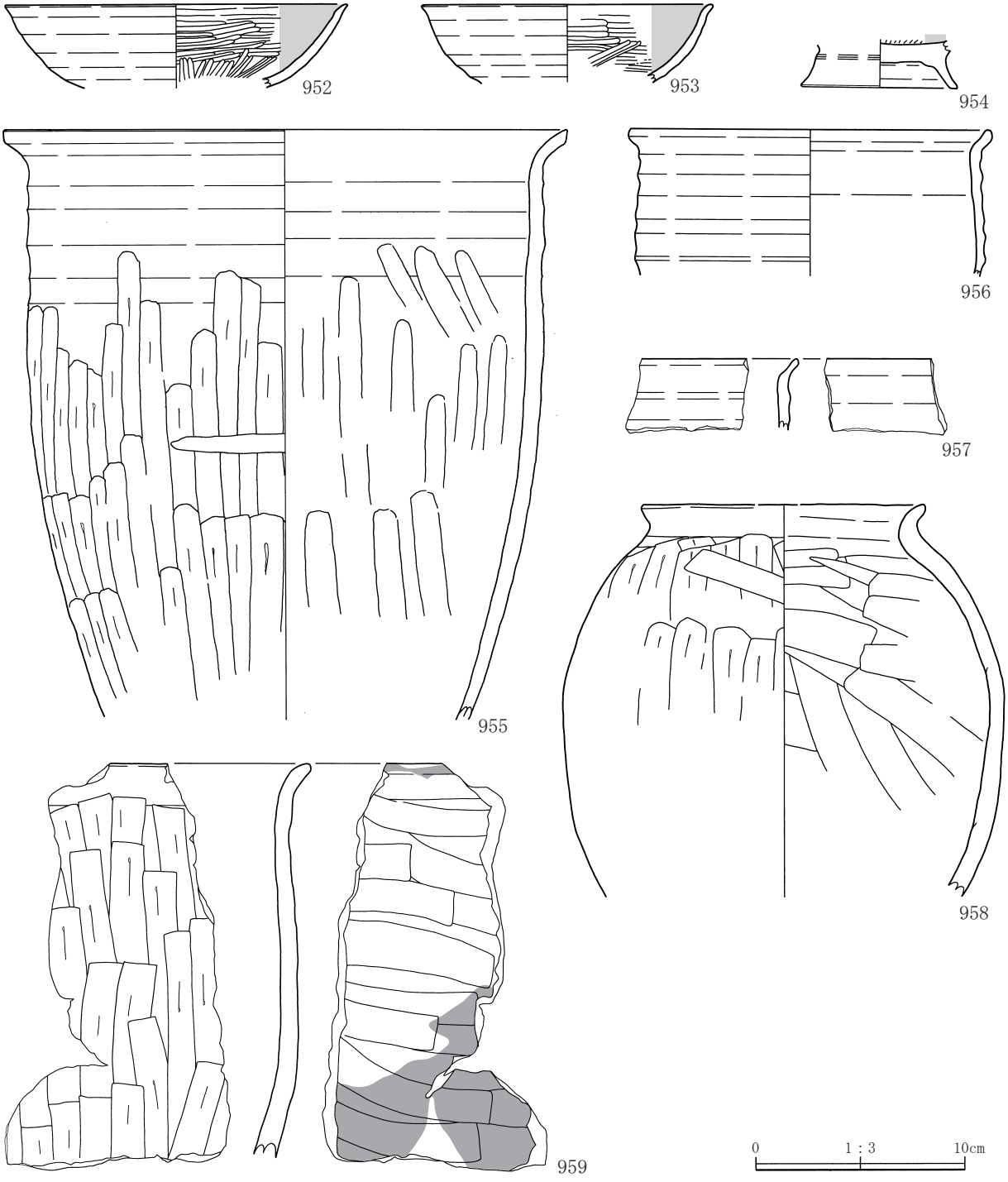
第197図　48号竪穴建物跡

ルトである。芯材礫は20cm大の円礫で、床面に据え置いたまま、構築土で覆っている。また東袖の壁側には20cm大の掘り込みがあるが、芯材礫の抜き取り痕であると推測する。

煙道は南壁から西へと傾き、113cmのびる。刳り抜き式で、天井が残存するが手前側は崩落し、開口している。連結部は焼土面から８cm段差となっており、また連結部から下へと15°傾斜しながら煙出しピットに至る。煙出しピットは30×25cmである。

また検出段階において、燃焼部上で礫を多量に検出した（第197図右下）。礫は10～40cm大と様々で、カマドを廃棄する際に、礫で覆った可能性がある。

［土坑］１基検出した。土坑１はカマドの西側に付く。62×58cmの楕円形で、深さは12cmである。



第198図　48号竪穴建物跡出土遺物１

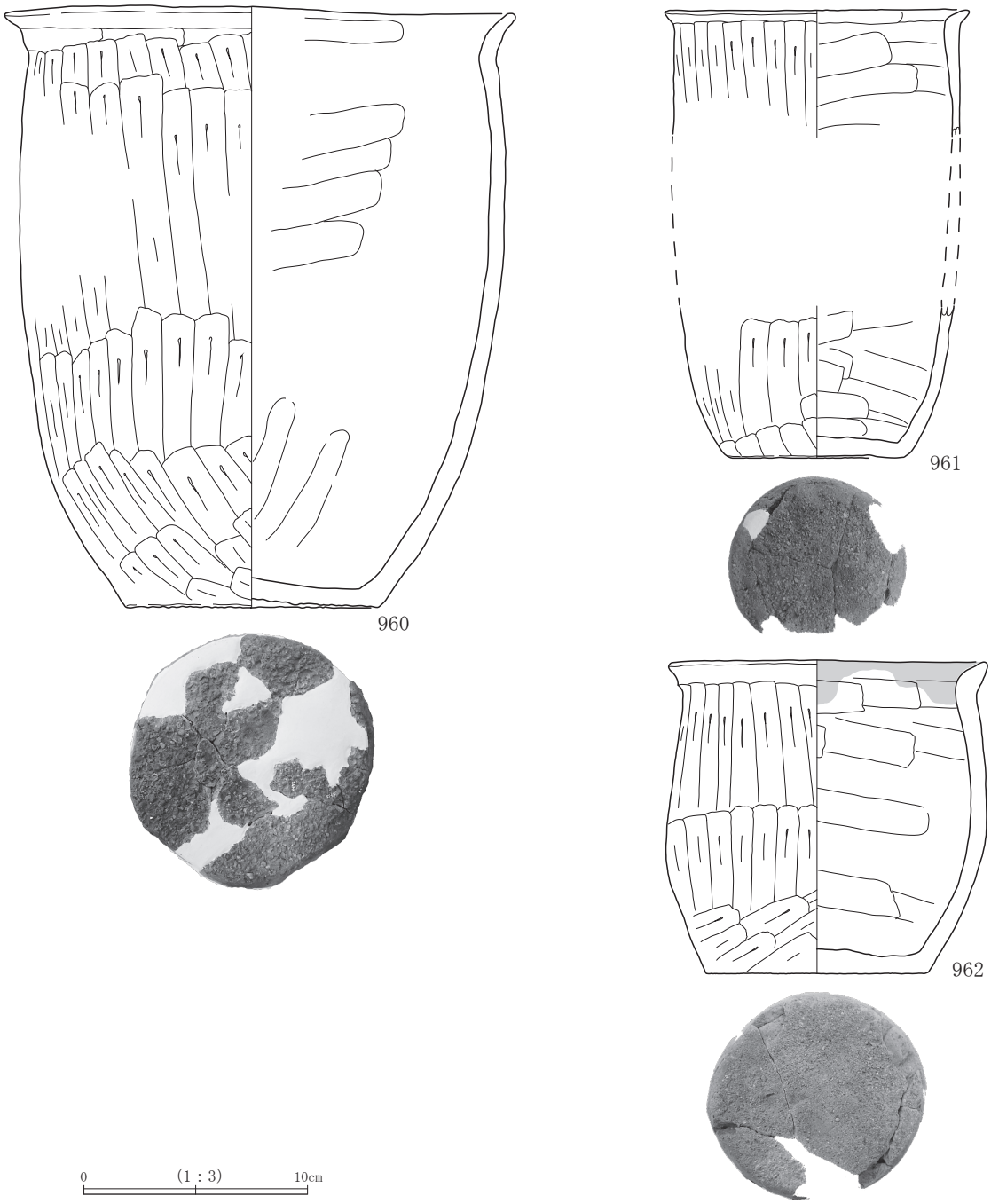
カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴、壁溝ともに見受けられない。

［出土遺物］古代土器5069.0g分がある。埋土中よりもカマドの周辺からの出土が多く、特にカマドを覆っていた礫群に混ざって出土している。

古代土器は全て土師器で、坏（952・953）、台付坏（954）、甕（955～962）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施される。台付坏（954）も同じである。甕は、いずれも大型の破片である。958は胴部が大きく膨らみ、後円部がすぼまる器形で、本遺跡ではあまりみない。960～962はカマド周辺からまとまって出土した。砂底土器で、底面に小粒の砂粒が多量に残る。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。



第199図　48号竪穴建物跡出土遺物2

49号竪穴建物跡（第200図、写真図版53・199）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡA18l、ⅡA18mグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。本遺構は東側半分を後世の削平により消失している。また21号陥し穴状遺構と重複し、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］北辺〈56〉cm、東辺不明、南辺〈70〉cm、西辺240cmを測る。平面形は不明だが、不整な方形を呈すると推測する。残存する床面積は〈1.4〉㎡である。

［埋土の状況］４層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の４層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積と推定する。

［床面・壁］Ⅶ層から検出した。床面はほぼ平坦であるが、東側は高い。壁は東壁と南北壁の一部のみ残存する。わずかに外へと開くが、ほぼ直立気味である。壁高は13cmである。

［貼床］床面のほぼ全体に貼床され、中央に向かうにつれ深くなる。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、地山ブロックのほか、酸化鉄が少量混じる。掘り方の深さは13cm前後である。

［カマド・炉］確認されなかった。

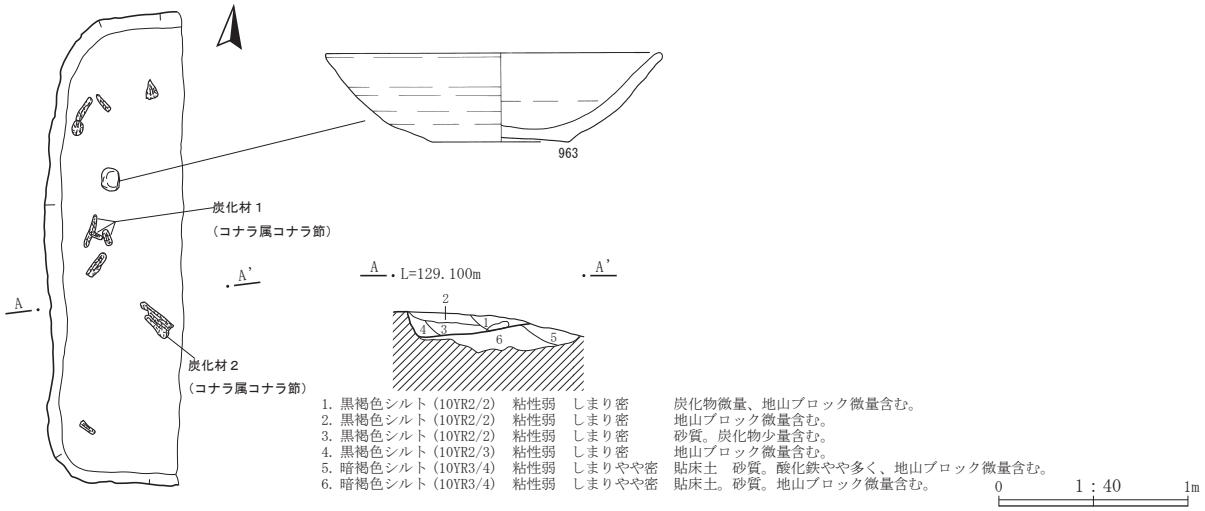
［土坑］確認されなかった。

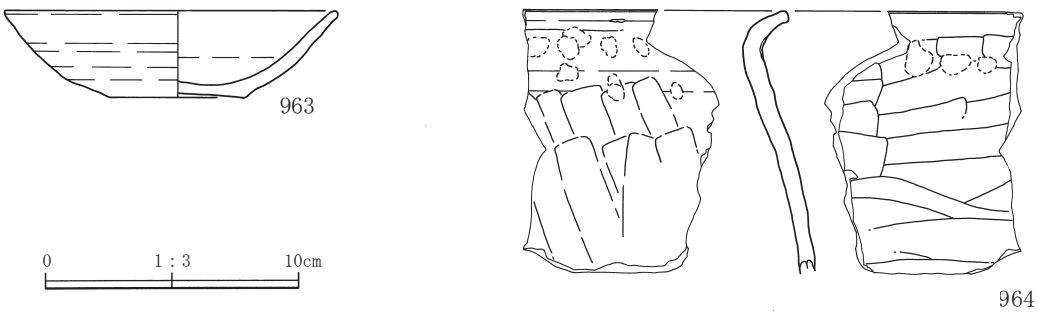
［柱穴・壁溝］確認されなかった。

［そのほか］床面上で柱状の炭化材が散在している。そのうち２点について樹種同定分析を試み、その結果、両者ともコナラ属コナラ節であるとの結果を得ている（第Ⅶ章-４）。

［出土遺物］古代土器247.3g分がある。遺構のほとんどを消失しているため、出土遺物も少ない。

古代土器は、全て土師器で、坏（963）、甕（964）がある。963は床面上で逆位の状態で出土している。





第200図　49号竪穴建物跡・出土遺物

［時期］出土遺物からは不明瞭だが古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

50号竪穴建物跡（第201・202図、写真図版54・199）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡA17n、ⅡA17o、ⅡA18n、ⅡA18oグリッドに位置する。Ⅵ～Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。後世の削平により、本遺構の南東側上部が消失している。

［規模・平面形］北辺317cm、東辺333cm、南辺310cm、西辺388cmを測り、隅丸の長方形を呈する。残存する床面積は11.0㎡である。

［埋土の状況］８層からなり、黒褐色、黒色シルトを主体とする。壁際の６・８層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積と推定する。

［床面・壁］Ⅵ～Ⅶ層で検出した。床面は若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は全周するが、東壁・南壁はほとんど消失し、立ち上がりを確認したに過ぎない。緩やかに外へと開きながら立ち上がる。壁高は最大22cmである。

［貼床］壁際の一部にのみ貼床される。貼床土は黒褐色シルトを主体とし、地山ブロックや褐色細砂が混じる。掘り方の深さは６～24cmである。

［カマド・炉］カマドは東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖を検出し、煙道は見受けられない。

燃焼部焼土面は、30×20cmを測る。被熱は弱く、明褐色を呈する。被熱深度は６cmである。燃焼部焼土面の奥、壁際に10cm大の支脚（礫）が据え置かれている。

袖は、北袖は芯材礫１個、南袖は構築土と芯材礫２個が残存する。構築土は暗褐色、黒褐色シルトで、焼土粒が混じる。芯材礫は30cm大の扁平な礫で、北袖の芯材礫は床面に差し込み、据えられている。一方、南袖は構築土上に据え置いている。

また炉２基を床面中央から東側で検出した。炉１は123×67cmで歪な平面形、被熱深度は５cm、炉１は67×48cmで不整な楕円形、被熱深度は２cm、どちらも被熱は弱い。

［土坑］２基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。73×61cmの楕円形で、深さ40cmである。土坑２はカマドの北側に付き、半分近くが壁の外側に張り出す。72×58cmの楕円形で、深さは10cmである。どちらもカマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴、壁溝ともに見受けられない。

［そのほか］床面上に柱状や板状の炭化材が多量に散在する（第201図下）。柱状の炭化材は、長軸方向を北東から南西に向けているものが多い。これらのうち10点について樹種同定分析を試み、１点はケヤキ、それ以外はコナラ属コナラ節という結果を得ている（第Ⅶ章－４）。

［出土遺物］古代土器1137.3g分がある。遺構上部が消失しているため、出土遺物は少なく、また埋土中からの出土がほとんどである。

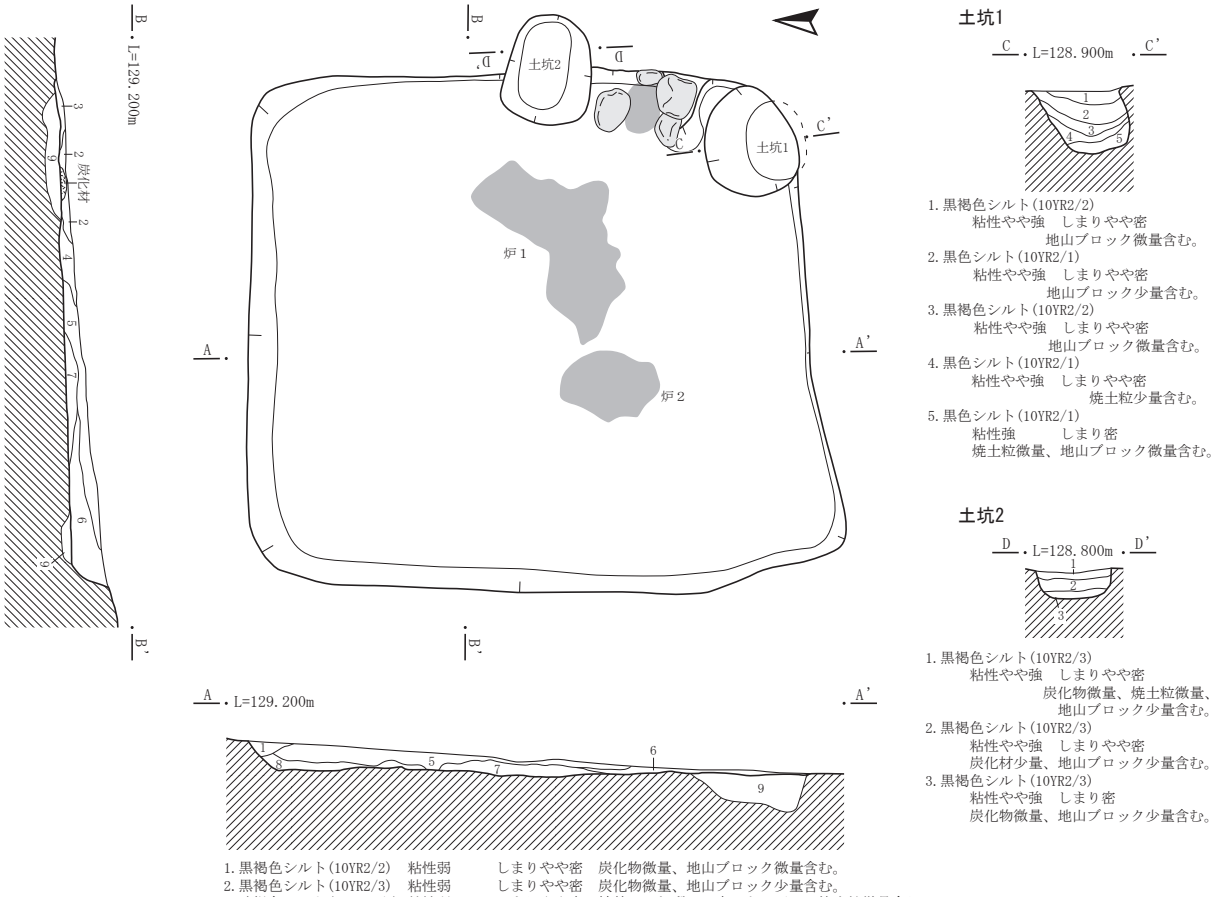
古代土器は、全て土師器で、坏（965・966）、甕（967・968）がある。どちらもロクロ成形である。968は完形の甕で、土坑１の埋土上位から出土している。

［時期］出土遺物からは不明瞭だが、古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

51号竪穴建物跡（第203～206図、写真図版55・199～201）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡA17r、ⅡA17s、ⅡA17t、ⅡA18r、ⅡA18s、ⅡA18tグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）の上面で黒色のプランで検出した。

［規模・平面形］北辺360cm、東辺440cm、南辺371cm、西辺373cmを測り、歪だが隅丸の正方形を呈する。残存する床面積は14.5㎡である。



土坑1

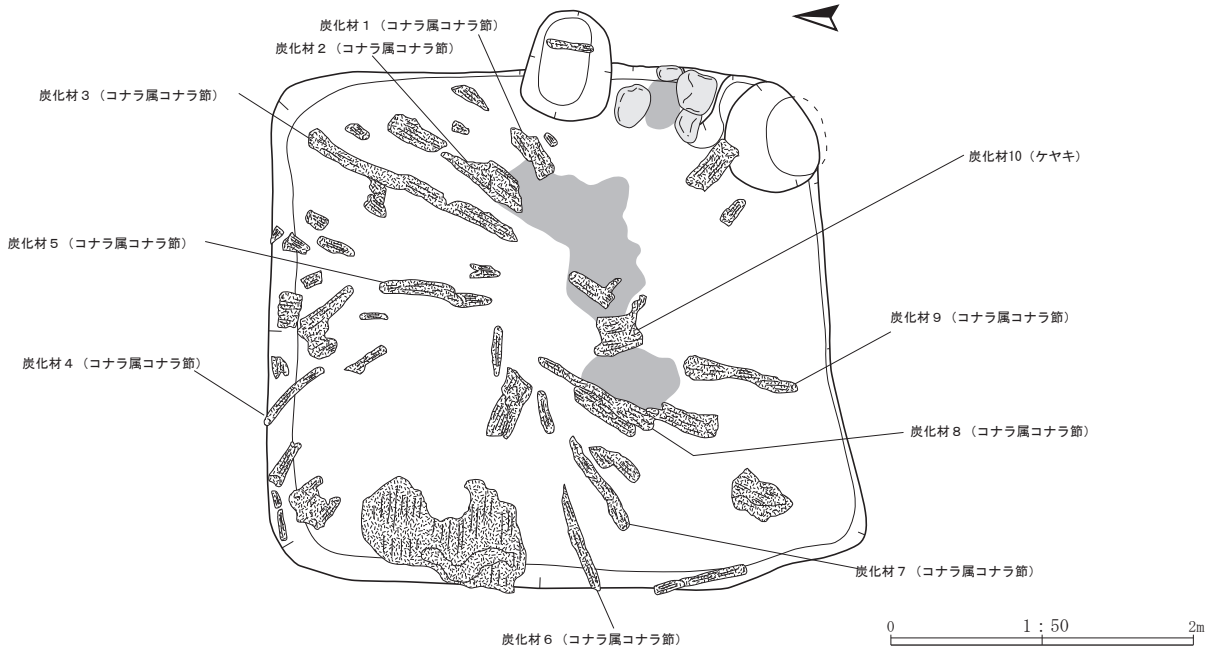
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)
　粘性やや強　しまりやや密
　地山ブロック微量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)
　粘性やや強　しまりやや密
　地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/2)
　粘性やや強　しまりやや密
　地山ブロック微量含む。
4. 黒色シルト(10YR2/1)
　粘性やや強　しまりやや密
　焼土粒少量含む。
5. 黒色シルト(10YR2/1)
　粘性強　しまり密
　焼土粒微量、地山ブロック微量含む。

土坑2

1. 黒褐色シルト(10YR2/3)
　粘性やや強　しまりやや密
　炭化物微量、焼土粒微量、
　地山ブロック少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/3)
　粘性やや強　しまりやや密
　炭化材少量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/3)
　粘性やや強　しまり密
　炭化物微量、地山ブロック少量含む。

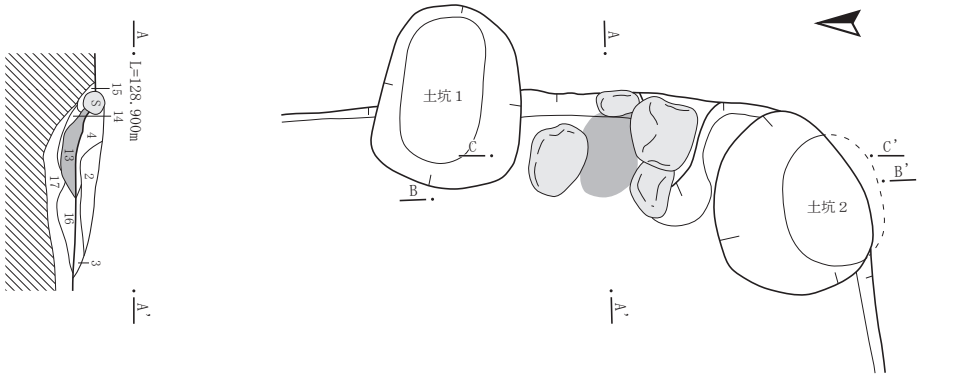
1.	黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性弱	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2.	黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性弱	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック少量含む。
3.	暗褐色シルト(7.5YR3/3)	粘性弱	しまりやや密	被熱し、わずかに赤みをおびる。焼土粒微量含む。
4.	黄褐色シルト(10YR5/6)	粘性弱	しまり密	黒褐色シルトブロック中量含む。
5.	黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性弱	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック微量含む。
6.	黒色シルト(10YR2/1)	粘性弱	しまりやや密	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
7.	黒色シルト(10YR1.7/1)	粘性やや強	しまりやや密	炭化材やや多く、焼土粒微量、地山ブロック中量含む。
8.	黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや弱	しまりやや密	地山ブロック少量含む。
9.	黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや弱	しまりやや密	貼床土。地山ブロック微量、褐色細砂少量含む。

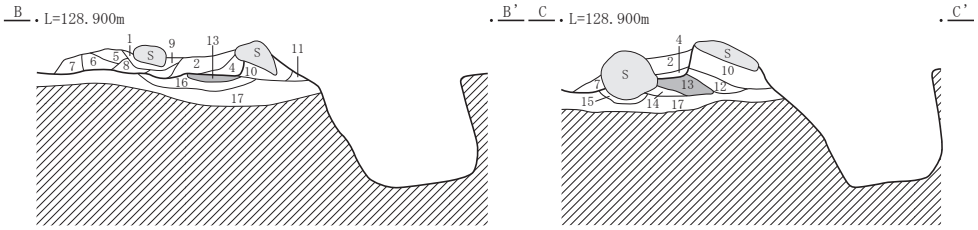
炭化材出土状況



第201図　50号竪穴建物跡１

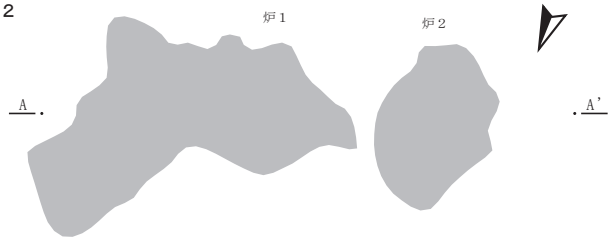
カマド

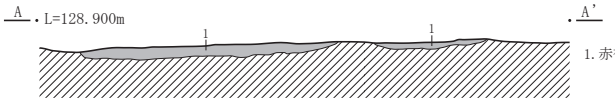




1. 黒色シルト(10YR1.7/1)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物中量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや弱　しまりやや密　焼土粒微量含む。
3. 黄褐色シルト(10YR5/6)　粘性弱　しまりやや疎　炭化物微量、黒褐色シルトブロック中量含む。
4. 褐色シルト(7.5YR4/6)　粘性やや弱　しまり密　被熱により赤みをおびる
5. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密
6. 褐色シルト(10YR4/6)　粘性弱　しまり密　黒褐色シルトブロック少量含む。
7. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまりやや密　焼土粒少量含む。
8. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性弱　しまり密
9. 褐色シルト(10YR4/6)　粘性弱　しまり密　焼土粒微量含む。
10. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性やや弱　しまり密　袖構築土。
11. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　袖構築土。焼土粒微量含む。
12. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまりやや密　袖構築土。地山ブロック微量含む。
13. 明褐色焼土(7.5YR5/6)　粘性やや弱　しまりやや密　燃焼部。被熱弱く、一部黒み残る。
14. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密　燃焼部下、被熱で赤みをおびる。
15. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや密　芯材礫掘り方。焼土粒中量含む。
16. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　貼床土。焼土粒微量含む。
17. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまりやや密　貼床土。地山ブロック少量含む。

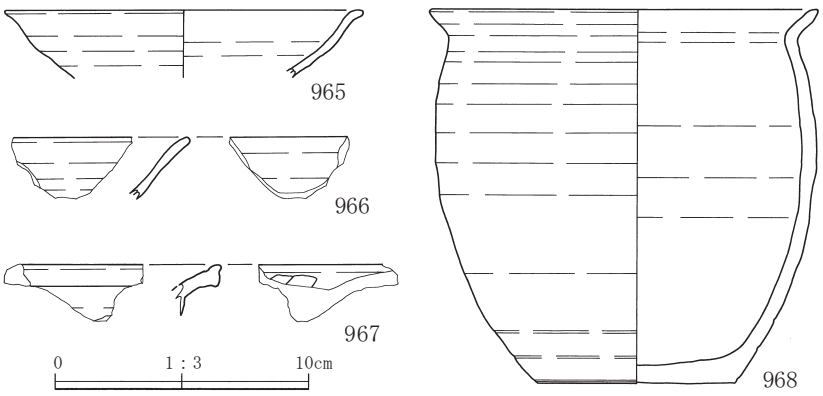
炉１・２



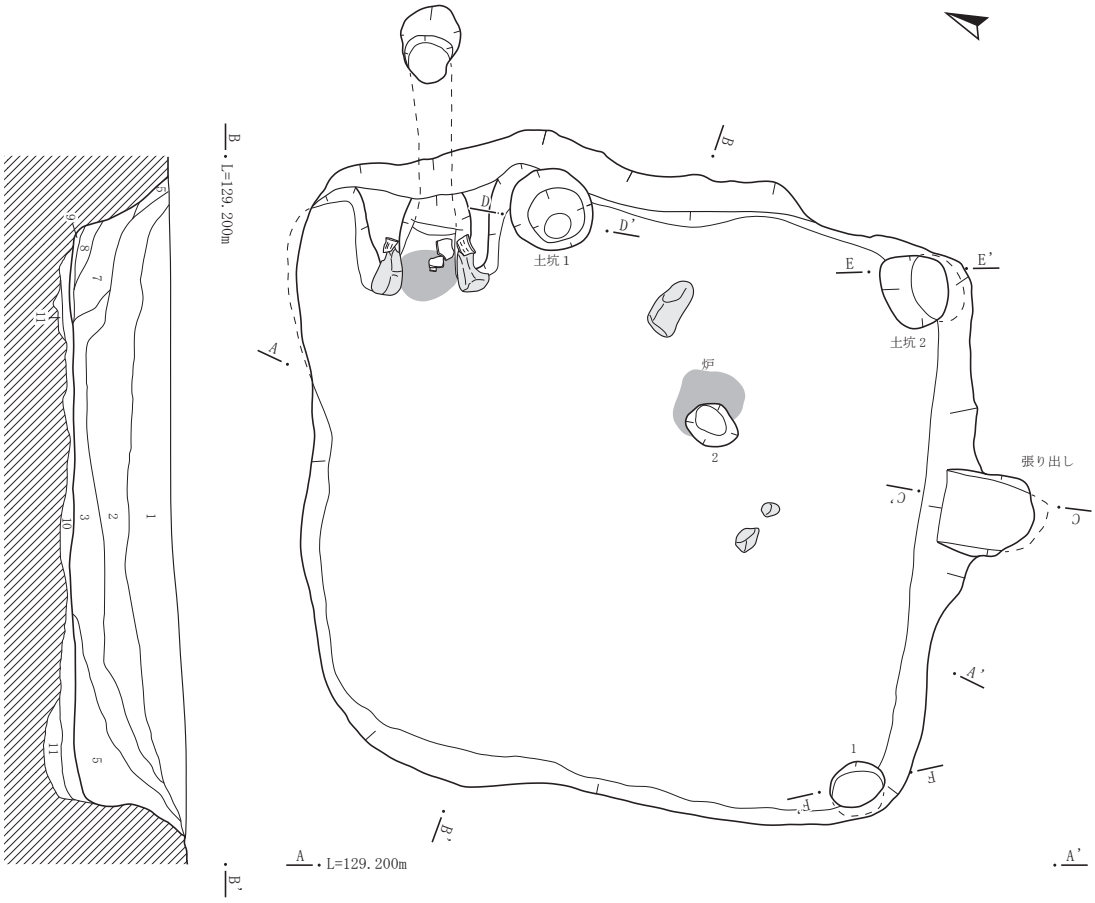


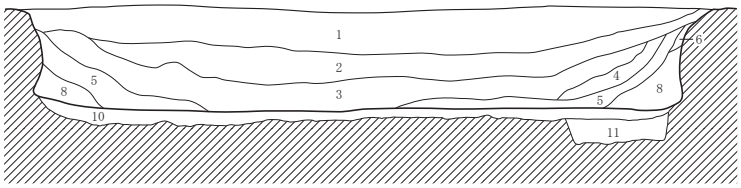
1. 赤褐色焼土(5YR4/6)　粘性やや弱　しまり密　被熱弱い。

0　(1：30)　1m



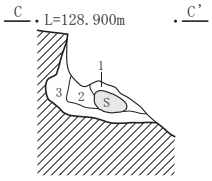
第202図　50号竪穴建物跡２・出土遺物



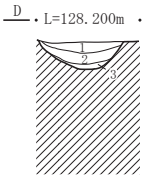


1. 黒色シルト（10YR2/1）	粘性やや強	しまりやや密	
2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	粘性やや弱	しまりやや密	地山ブロック微量含む。
3. 黒褐色シルト（10YR2/2）	粘性やや弱	しまりやや密	
4. 黒褐色シルト（10YR2/3）	粘性弱	しまりやや密	砂質。
5. 黒色シルト（10YR2/1）	粘性やや弱	しまり密	地山ブロック微量含む。
6. 黄褐色シルト（10YR5/6）	粘性弱	しまり密	黒色シルトブロック微量含む。
7. 黒褐色シルト（10YR3/2）	粘性弱	しまりやや密	砂質。地山ブロック少量含む。
8. 黒褐色シルト（10YR3/1）	粘性弱	しまりやや密	地山ブロック微量含む。
9. 黒褐色シルト（10YR4/6）	粘性弱	しまりやや密	砂質。黒褐色シルトブロック微量含む。
10. 黒褐色シルト（10YR2/2）	粘性弱	しまり密	貼床土。炭化物微量含み、地山ブロック中量が縞状をなす。
11. 黒色シルト（10YR2/1）	粘性やや弱	しまり疎	貼床土。暗褐色細砂中量含む。

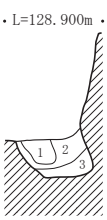
張り出し



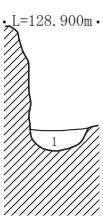
土坑1



土坑2



Pit1



張り出し

1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	粘性やや弱	しまりやや密	
2. 黒褐色シルト（10YR3/1）	粘性やや弱	しまりやや疎	
3. にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）	粘性やや弱	しまりやや密	

土坑1

1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	粘性弱	しまりやや疎	砂質。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	粘性弱	しまりやや密	
3. 暗褐色シルト（10YR3/3）	粘性弱	しまりやや密	砂質。土器片少量混じる。

土坑2

1. 黒色シルト（10YR2/1）	粘性やや弱	しまり疎	暗褐色砂中量混じる。
2. 暗褐色細砂（10YR3/3）	粘性弱	しまり疎	黒褐色シルトブロック微量含む。
3. 暗褐色細砂（10YR3/3）	粘性弱	しまり疎	地山ブロック微量含む。

Pit1

1. 暗褐色シルト（10YR3/4）	粘性弱	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック微量含む。

0　1：50　2m

第203図　51号竪穴建物跡1

［埋土の状況］９層からなり、黒色、黒褐色シルトを主体とする。壁際の４～８層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推定する。

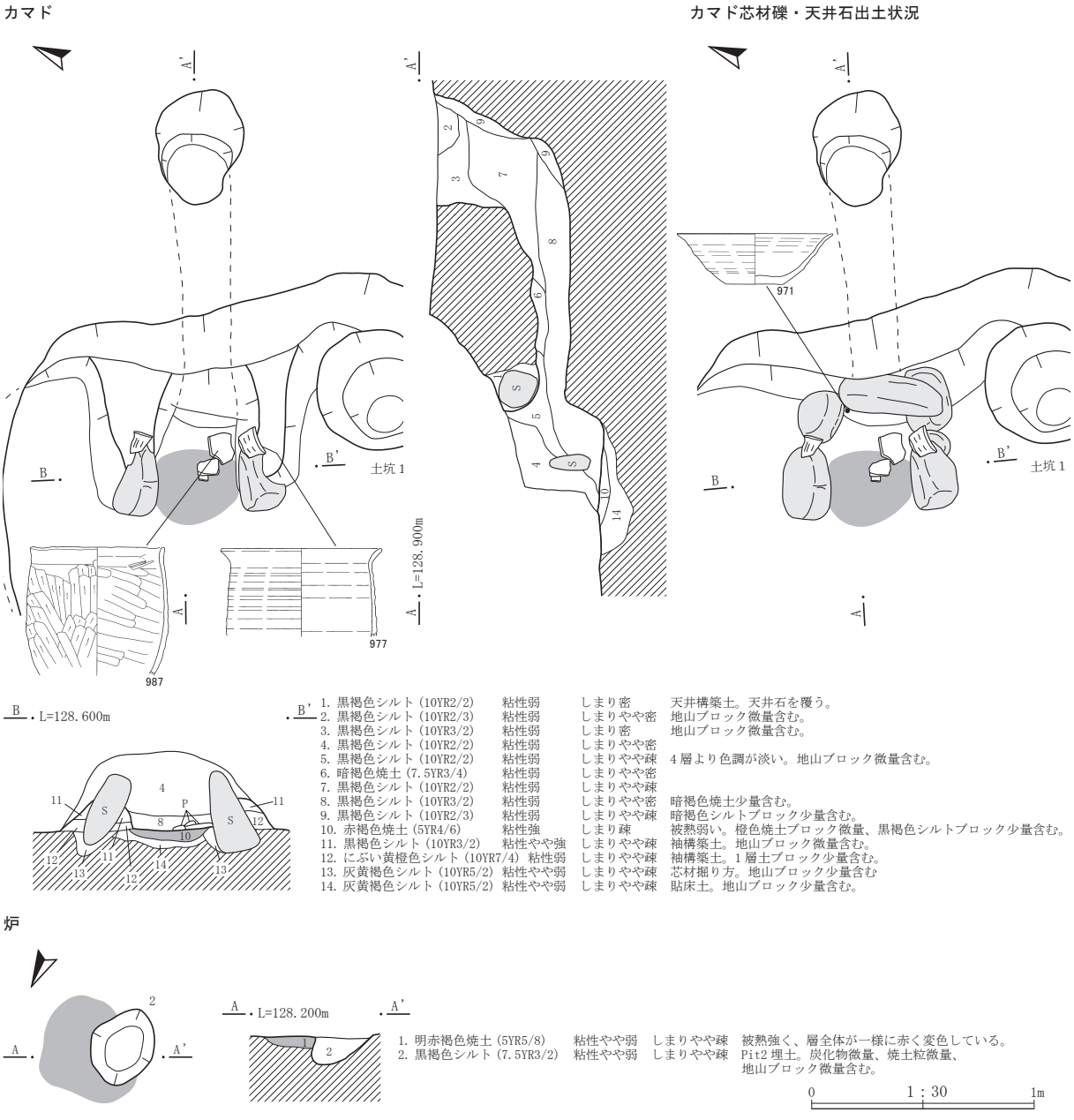
［床面・壁］床面はⅦ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅥ～Ⅶ層で検出しており、全周する。ほぼ直立気味であるが、床面からの立ち上がりが若干オーバーハングしている。本遺跡の竪穴建物跡の中では最も深く、壁高は最大73cmである。

［貼床］床面全体に貼床される。特に壁際は深く、幅70cm前後掘り込み、一周巡っている。貼床土は黒色、黒褐色シルトを主体とし、地山ブロックや暗褐色細砂、炭化物が混じる。掘り方の深さは１～23cmである。

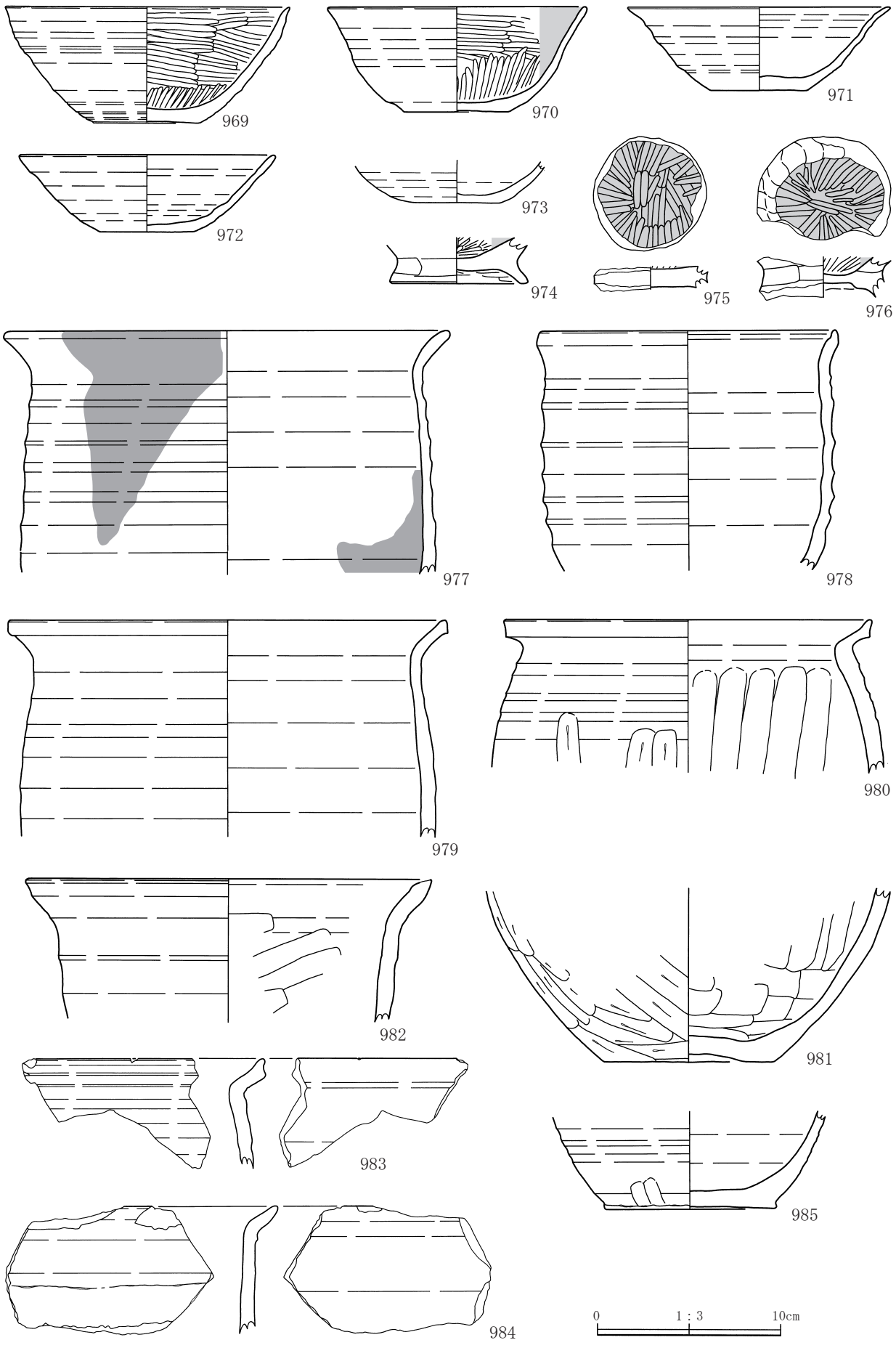
［カマド・炉］カマドは東壁の北端に付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は、36×32cmを測る。被熱は弱く、赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。

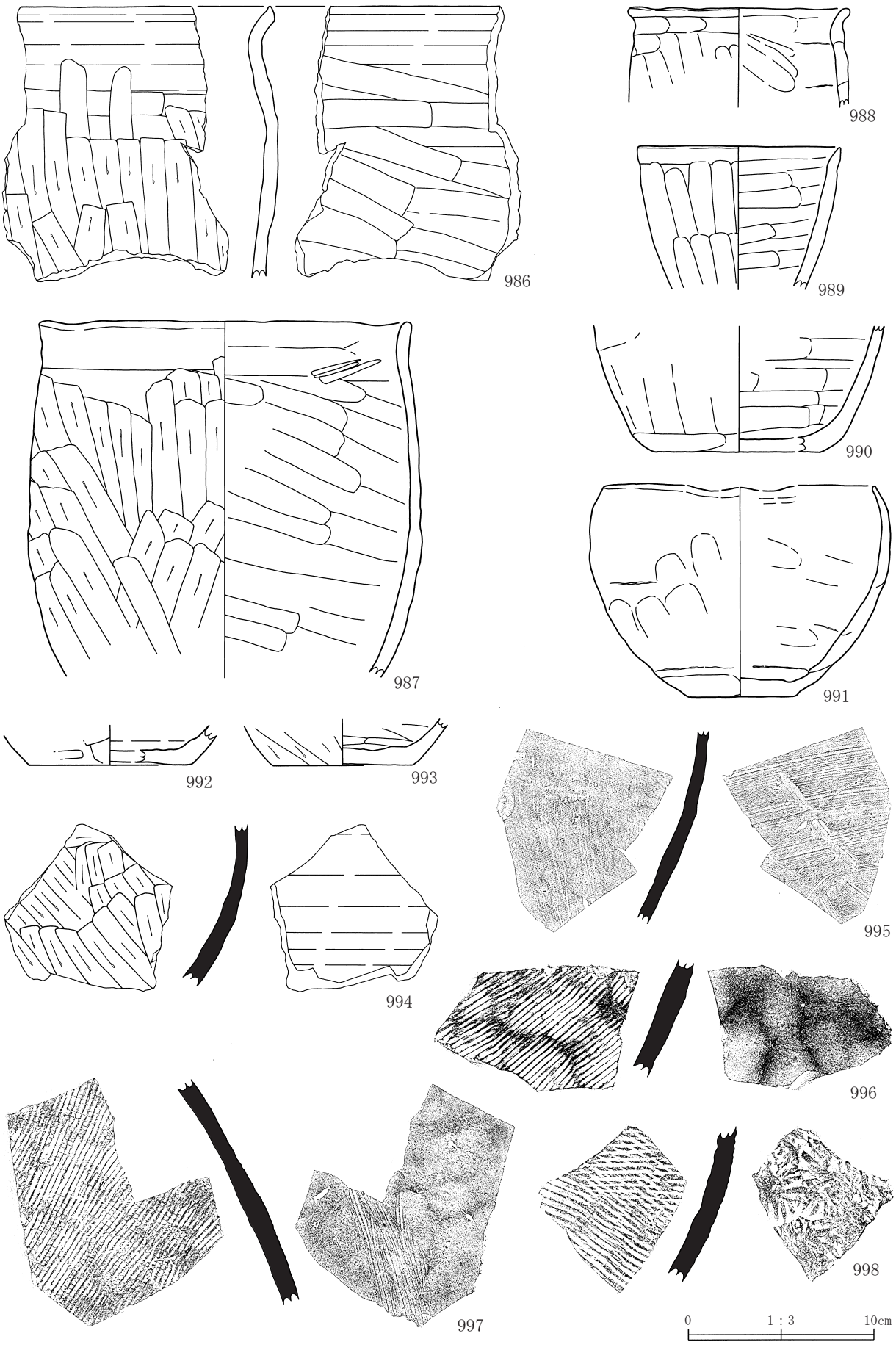
袖は、両袖とも残存する。また天井も残存している。構築土は黒褐色、にぶい黄褐色シルトであ



第204図　51号竪穴建物跡２



第205図　51号竪穴建物跡出土遺物1



第206図　51号竪穴建物跡出土遺物２

る。構築土内には、両袖２個ずつ芯材礫が据えられ、また天井手前の構築土中から30×10cm大の天井石が出土している（第204図右）。したがって芯材礫と天井石を組み合わせ、その上に構築土を覆ったと推測する。芯材礫は20～30cm大の扁平な礫で、床面に深く差し込んで、据え置いている。

また炉１基を床面中央よりやや南側で検出した。規模は50×30cmで、被熱はカマドの燃焼部焼土面よりも強い。被熱深度は５cmである。またPit２に一部壊されている。

［土坑］２基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。径55cmの不整な円形で、深さ20cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑２は南東隅に付く。52×42cmの楕円形で、深さ25cmである。壁際がオーバーハングしている。

［張り出し］南壁の中央に付く。南壁との連結部は床面から約20cm上である。規模は60×54cmで、南端はオーバーハングしている。用途は不明である。

［柱穴・壁溝］柱穴は２個検出した。南西隅と床面中央に位置する。壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器8679.6g分がある。埋土中出土の他、カマドやその周辺、また貼床中からも出土しており、特にカマドの袖周辺には、土器片が集中していた（第204図）。

土師器は、坏（969～973）、台付坏（974～976）、甕（977～990・992・993）、鉢（991）がある。坏はロクロ成形で、969は内面は丁寧なミガキを施すが、黒色処理が施されない。971～973はロクロ成形のみである。台付坏はいずれも内面に黒色処理が施される。甕は、いずれも破片で、ロクロ成形が多い。977は内外面に煤が付着している。980・981は同一個体であるが、胴部の中位が欠損し、接合できなかった。981の胴部の傾きから、欠損する範囲が大きく膨らむ器形と推測する。984は胴部に輪積み痕が残る。991は鉢とした。胴部が大きく膨らみ、口縁部が内湾する。須恵器は、瓶類（994・995）と甕（996～998）がある。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

52号竪穴建物跡（第207～210図、写真図版56・201・202）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡA20k、ⅡA20l、ⅡA21k、ⅡA21l、ⅡA22lグリッドに位置する。Ⅵ～Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。本遺構は23号陥し穴状遺構と重複し、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］北辺360cm、東辺380cm、南辺371cm、西辺348cmを測り、隅丸の正方形を呈する。残存する床面積は13.1㎡である。

［埋土の状況］12層からなり、黒褐色シルトを主体とするが、北側からにぶい黄褐色シルト（４層）が大きく混入する。壁際の８～12層が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］床面はⅦ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅥ～Ⅶ層で検出し、全周する。ほぼ直立気味である。壁高は最大38cmである。

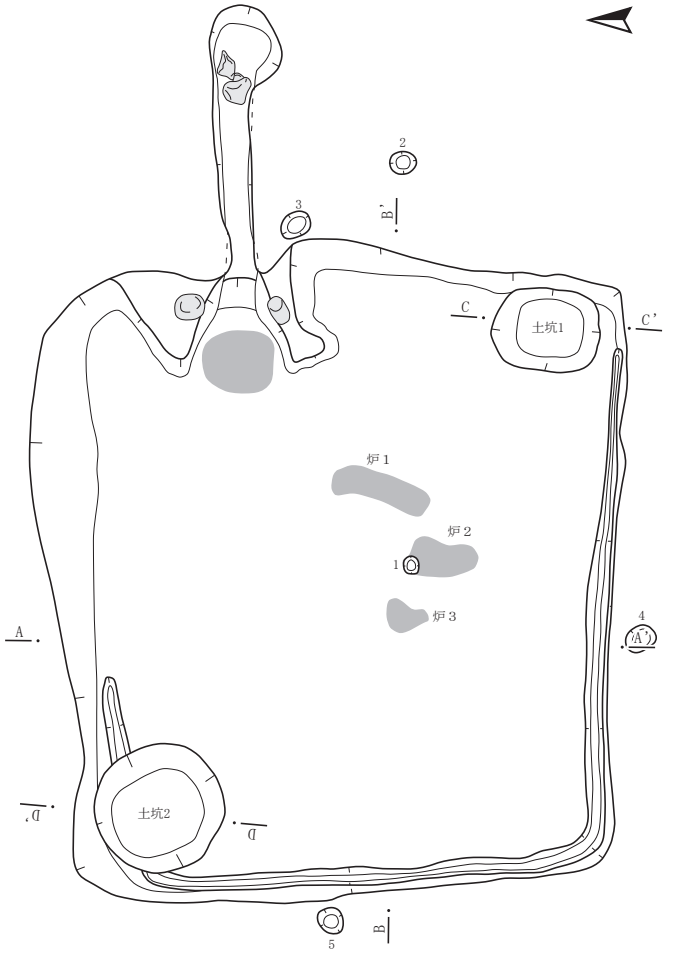
［貼床］床面全体に貼床される。カマド周辺のみやや深い。貼床土は明黄褐色シルトを主体とする。貼床の上層（13層）でTo-aテフラブロックを確認した。掘り方の深さは１～22cmである。

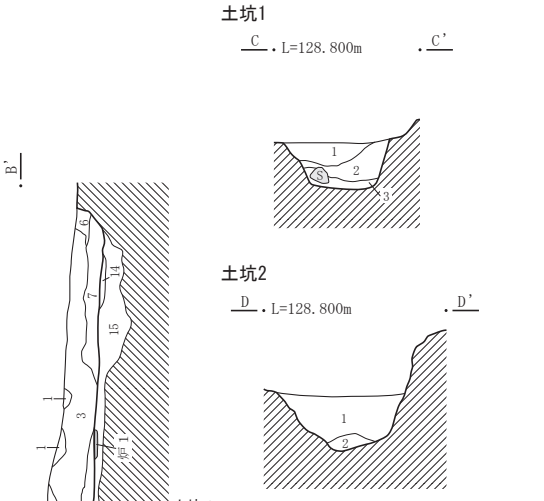
［カマド・炉］カマドは東壁の北端に付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は、45×40cmを測る。被熱は、焼土手前側のみ強く（11層）、橙色を呈するが、そこ以外は弱く、明褐色を呈する。被熱深度は８cmである。

袖は両袖が残存する。北袖は構築土、南袖は構築土と芯材礫１個を検出した。また南袖の構築土上には20cm大の円礫が載っている。構築土は黒褐色、暗褐色、灰黄褐色シルトで、炭化物や焼土粒が混じる。芯材礫は30cm大の扁平な礫で床面に据え置き、構築土を被せている。

煙道は東壁から175cmのびる。東壁との連結部は、燃焼部焼土面から約10cmの段差になってお



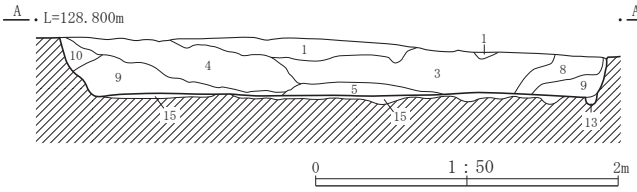


土坑1

1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや密
　炭化物微量、地山土粒少量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまりやや密
　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
3. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)　粘性強　しまりやや密
　炭化物微量、地山ブロック少量含む。

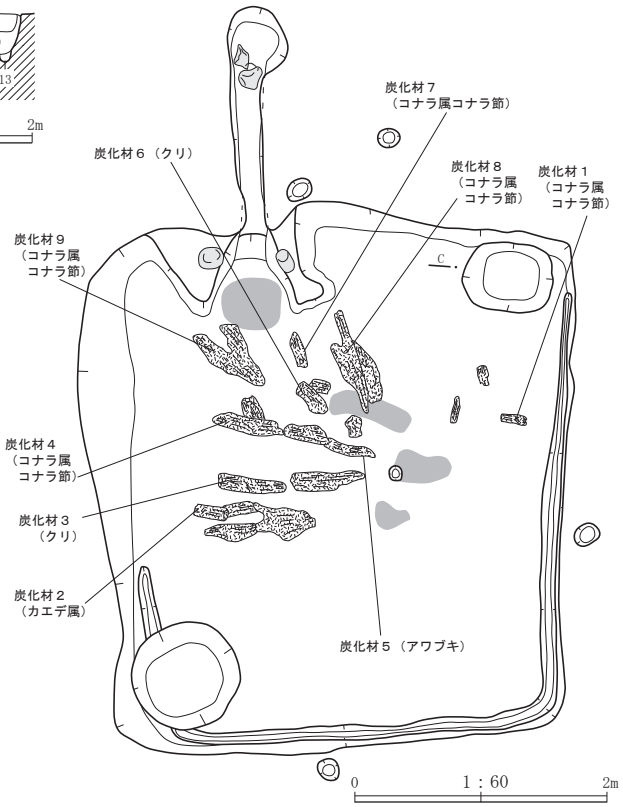
土坑2

1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり疎
　炭化物微量、黄橙色細砂少量含む。
2. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性弱　しまりやや密
　黄橙色細砂微量含み、土器片混じる。

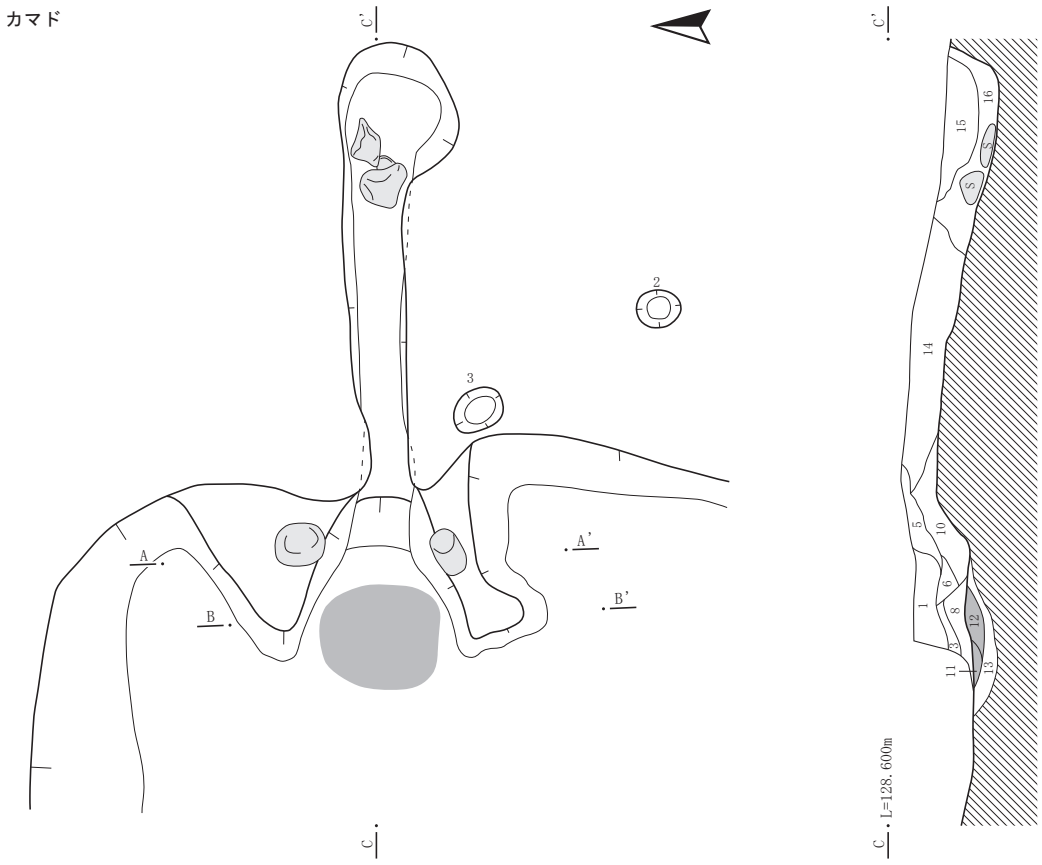


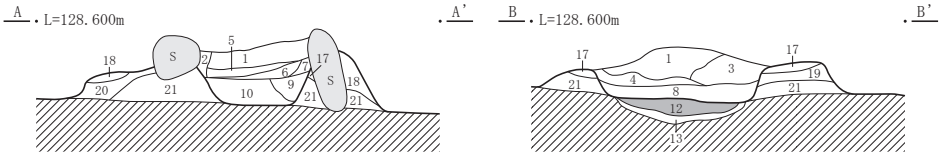
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密
　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまり密
　炭化物微量、地山ブロック微量、黒褐色シルトブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密
　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量、黒色シルトブロック少量含む。
4. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)　粘性弱　しまりやや疎
　炭化物少量、地山ブロック少量含む。
5. 黒褐色シルト(7.5YR3/2)　粘性やや強　しまり疎
　炭化材少量、焼土ブロック中量含む。
6. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまりやや疎
　崩落土(Ⅱ層？)。地山ブロック微量含む。
7. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや疎
　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
8. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密
　炭化物微量、地山ブロック微量、黒色シルトブロック少量含む。
9. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性弱　しまりやや疎
　下部に黒褐色シルトブロック中量偏在。
10. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性強　しまりやや密
　Ⅱ層類似。地山土粒少量含む。
11. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまり疎
　崩落土。2層土中量含む。
12. 明黄褐色シルト(10YR6/6)　粘性弱　しまりやや疎
　崩落土。灰黄褐色土中量、黒色シルトブロック少量含む。
13. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや密
　壁溝埋土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
14. にぶい赤褐色シルト(5YR4/4)　粘性やや弱　しまり密
　貼床土？被熱で赤みをおびる。下部にTo-aテフラブロック微量含む。
15. 明黄褐色シルト(10YR7/6)　粘性やや強　しまりやや密
　貼床土。灰黄褐色シルトブロック少量含む。

炭化材出土状況

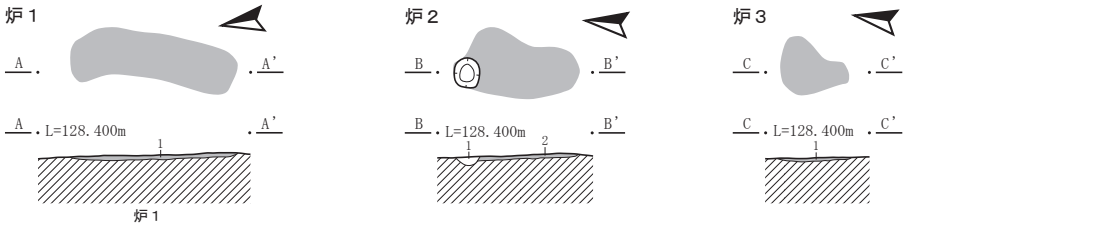


第207図　52号竪穴建物跡1





1.	黒褐色シルト(10YR3/1)	粘性やや強	しまりやや密	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
2.	暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性やや弱	しまり密	焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
3.	黄橙色シルト(10YR7/8)	粘性弱	しまりやや疎	1cm大の炭化物少量、1層土ブロック中量含む。
4.	黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや強	しまりやや密	砂質。炭化物微量、焼土粒微量、1層土ブロック微量含む。
5.	黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや弱	しまりやや密	焼土粒微量、地山微量含む。
6.	黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや弱	しまり密	炭化物微量、地山ブロックやや多量含む
7.	灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性やや強	しまりやや疎	袖の崩落土か。地山ブロック微量含む。
8.	明褐色シルト(7.5YR5/8)	粘性やや弱	しまり密	燃焼部の直上で被熱で赤色化、炭化物微量含む。
9.	極暗褐色シルト(7.5YR2/3)	粘性弱	しまりやや密	袖崩落土か。炭化材少量含む。
10.	黒褐色～褐色シルト(7.5YR3/2～4/4)	粘性やや強	しまり密	袖崩落土か。被熱で赤色化、下部が赤味強い。
11.	黄橙色焼土(7.5YR7/8)	粘性弱	しまり密	特に被熱強い。
12.	橙色～明褐色焼土(5YR6/8～7.5YR5/6)	粘性弱	しまり密	11層より被熱弱く、特に奥側は弱い。
13.	橙色シルト(5YR6/6)	粘性弱	しまり密	貼床土。被熱で赤色化した範囲。
14.	黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや強	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック微量、礫少量含む。
15.	暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性強	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック微量含む。
16.	黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや強	しまりやや密	地山ブロック中量、礫中量含む。
17.	黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性やや強	しまりやや密	袖構築土。炭化物微量、焼土粒少量含む。
18.	灰黄褐色シルト(10YR5/2)	粘性やや弱	しまり密	袖構築土。黒褐色土ブロック少量、地山ブロック少量含む。
19.	暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性強	しまり密	袖構築土。炭化材やや多く、焼土粒微量含む。
20.	黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや強	しまり密	袖構築土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
21.	灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性やや弱	しまり密	袖構築土。地山ブロック中量含む。



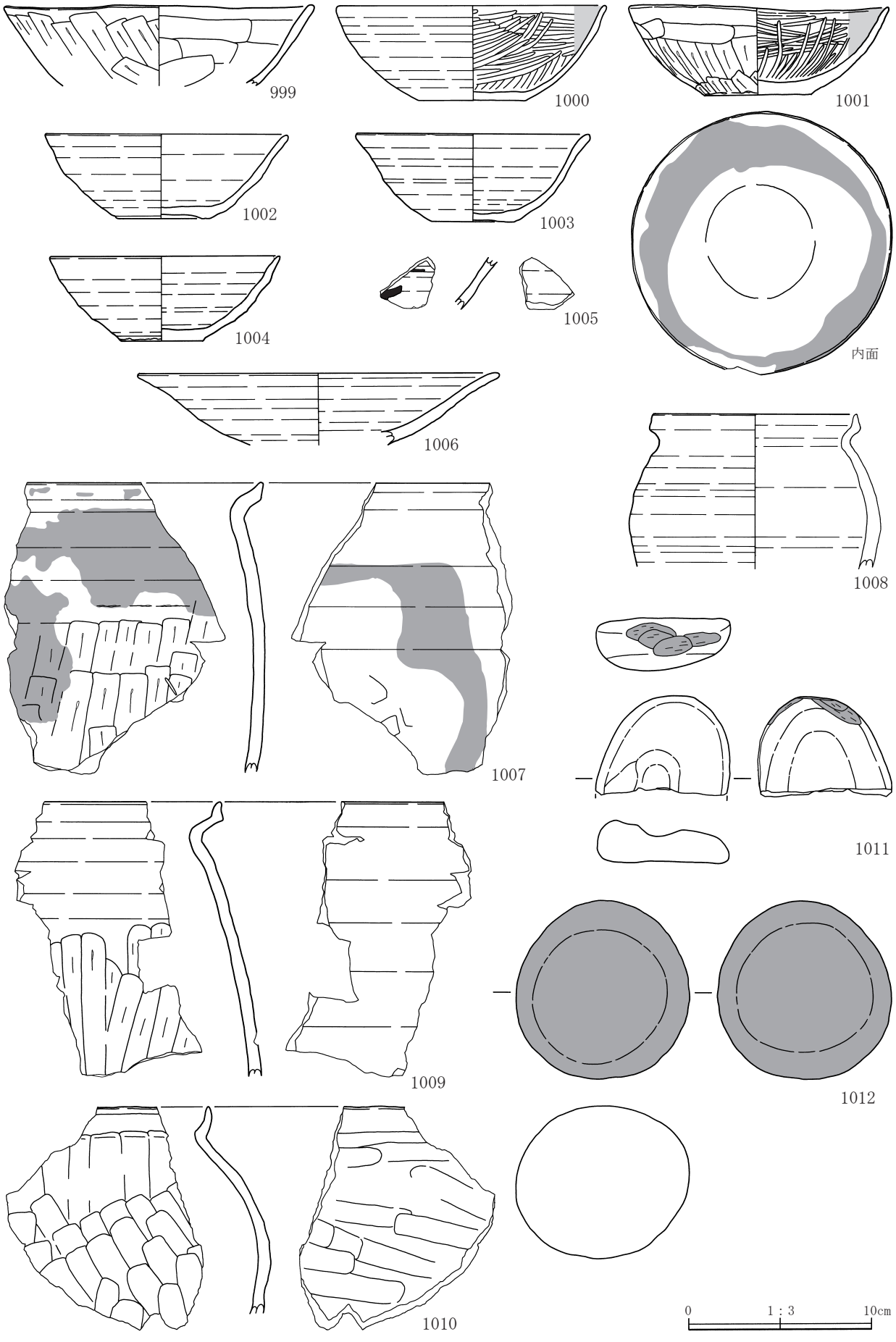
炉1
1. 橙色焼土(5YR6/6)　粘性やや強　しまり密　被熱弱い。灰黄褐色シルトブロック少量含む。

炉2
1. 黒色粘質シルト(10YR1.7/1)　粘性やや強　しまりやや疎　掘り方。炭化物微量斑文状に混じる。
2. 橙色焼土(5YR6/6)　粘性弱　しまり密　被熱弱いが、一部橙色を呈する。

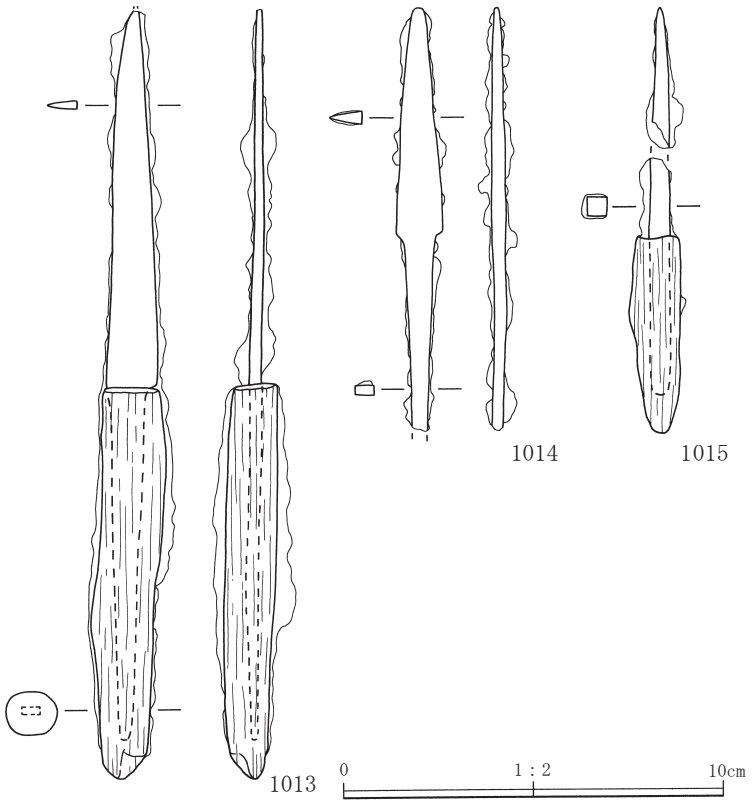
炉3
1. 橙色焼土(5YR6/6)　粘性弱　しまり密　被熱弱い。

0　1：30　1m

第208図　52号竪穴建物跡2



第209図　52号竪穴建物跡出土遺物１



第210図　52号竪穴建物跡出土遺物２

り、東壁から10°下へと傾斜しながら煙出しに至る。

また炉３基を床面中央よりやや南側で検出した。炉１が60×14cm、炉２が44×24cm、炉３が26×22cmで、いずれも橙色を呈するが、被熱は弱く、被熱深度は２cm程度である。また炉２はPit１に一部壊されている。

［土坑］２基検出した。土坑１は南東隅に付く。72×54cmの楕円形で、深さ31cmである。土坑２は北西隅に付き、壁溝を切っている。径85cmの不整な円形で、深さ35cmである。土坑１・２共に貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は５個検出した。床面中央で１個（Pit１）、壁外で４個（Pit２～５）である。いずれも小柱穴で主柱穴とは考えられない。壁溝は西壁、南壁に付き、また北壁の一部にも見受けられる。

［そのほか］床面上に柱状の炭化材が多く散在していた（第207図下）。そのうち炭化材９点の樹種同定を試み、コナラ属コナラ節、クリ、カエデ属、アワブキと多種であることが分かった（第Ⅶ章-４）。形状と樹種から燃料材の可能性が高いと推測する。

［出土遺物］古代土器3260.3g分、石製品、鉄製品がある。埋土中出土の他、カマド内や土坑からも出土している。

古代土器は全て土師器で、坏（999～1006）、甕（1007～1010）がある。坏は999を除き、ロクロ成形である。1001は内面の広い範囲に油煙痕が残り、灯明皿と推測する。1005は墨書土器の胴部片だが、文字は不明。1006は口径が大きく、皿の可能性がある。甕は破片のみでロクロ成形（1007～1009）と非ロクロ成形（1010）がある。1007は内外面に煤が付着する。

石製品は２点で、1011は土坑２から出土している。凝灰岩製で扁平な片面が大きく凹んでいる。

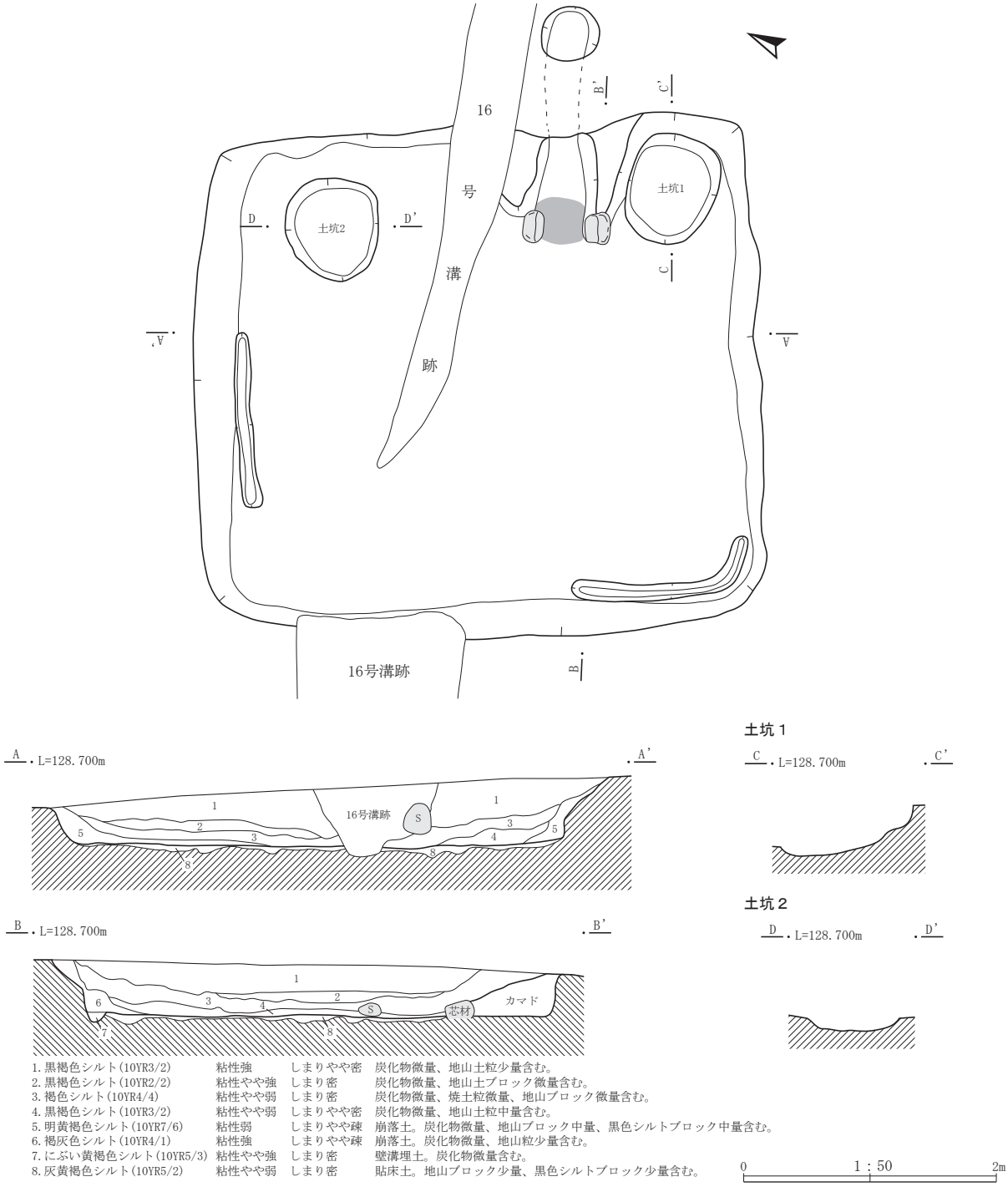
1012は安山岩製で全面に擦った痕跡が見受けられる。

鉄製品は３点である。1013・1014は刀子である。1013は柄の木質が残存する。1015は壁溝から出土した。工具の類で、錐か。一部欠損するが、柄の木質が残存する。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

53号竪穴建物跡（第211～213図、写真図版57・202・203）

［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅡA23n、ⅡA23o、ⅡA24n、ⅡA24oグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。本遺構は16号溝跡と重複し、本遺構の方が古い。



1. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性強	しまりやや密	炭化物微量、地山土粒少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや強	しまり密	炭化物微量、地山土ブロック微量含む。
3. 褐色シルト(10YR4/4)	粘性やや弱	しまり密	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや弱	しまりやや密	炭化物微量、地山土粒中量含む。
5. 明黄褐色シルト(10YR7/6)	粘性弱	しまりやや疎	崩落土。炭化物微量、地山ブロック中量、黒色シルトブロック中量含む。
6. 褐灰色シルト(10YR4/1)	粘性強	しまりやや疎	崩落土。炭化物微量、地山粒少量含む。
7. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)	粘性やや強	しまり密	壁溝埋土。炭化物微量含む。
8. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)	粘性やや弱	しまり密	貼床土。地山ブロック少量、黒色シルトブロック少量含む。

第211図　53号竪穴建物跡１

［規模・平面形］北辺358cm、東辺410cm、南辺384cm、西辺434cmを測り、カマドを正面として、横長の隅丸長方形を呈する。床面積は14.5㎡である。

［埋土の状況］６層からなり、黒褐色、褐色シルトを主体とする。壁際の５・６層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推定する。

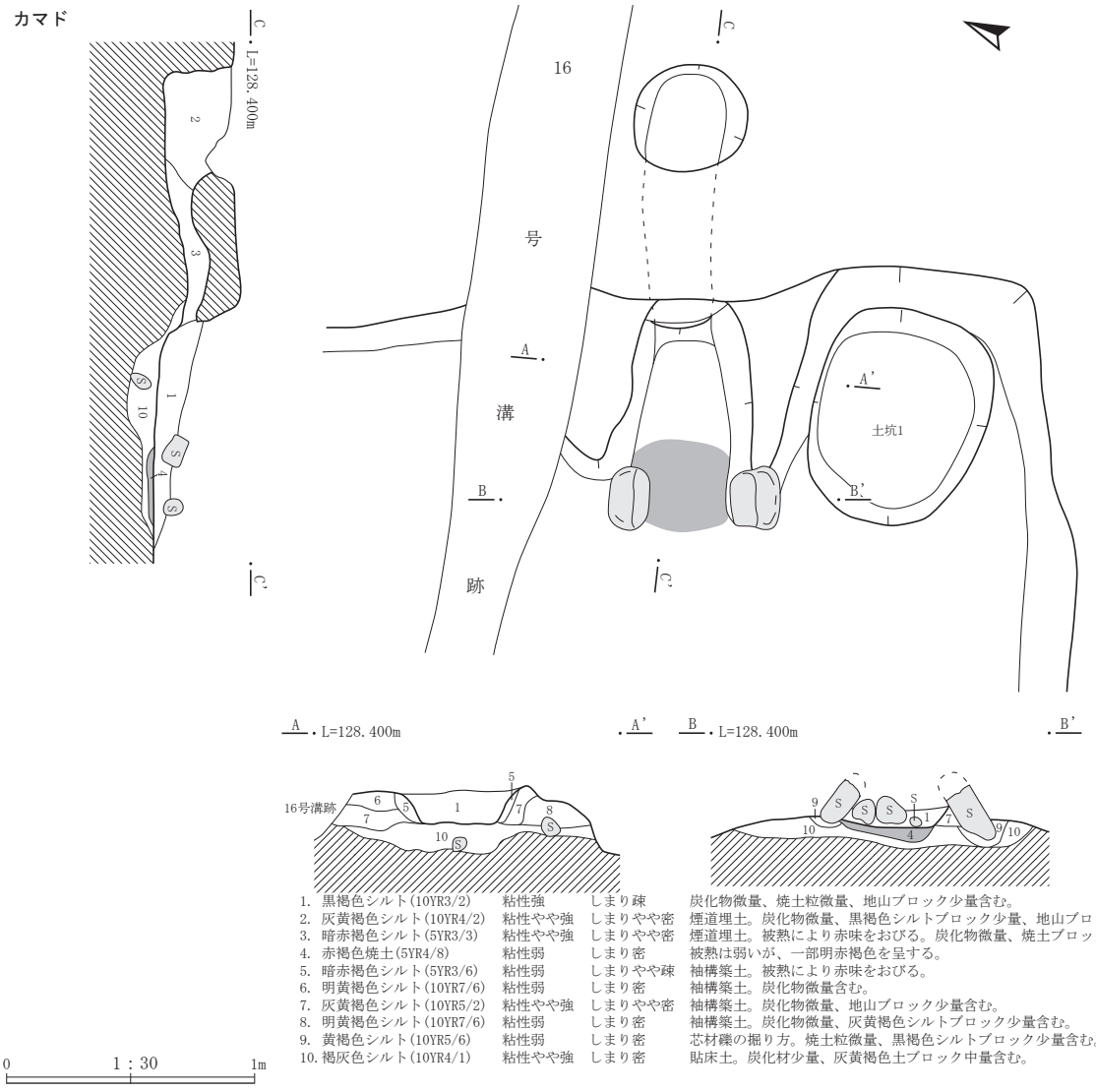
［床面・壁］Ⅶ層で検出した。床面は若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は16号溝跡に壊された箇所を除き、全周する。下部は直立気味であるが、上部は大きく外へと開く。壁高は50mである。

［貼床］床面全体に貼床されるが、カマド周辺は見受けられない。貼床土は灰明黄褐色シルトを主体とする。掘り方は歪で、深さは２～８cmである。

［カマド・炉］カマドは東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

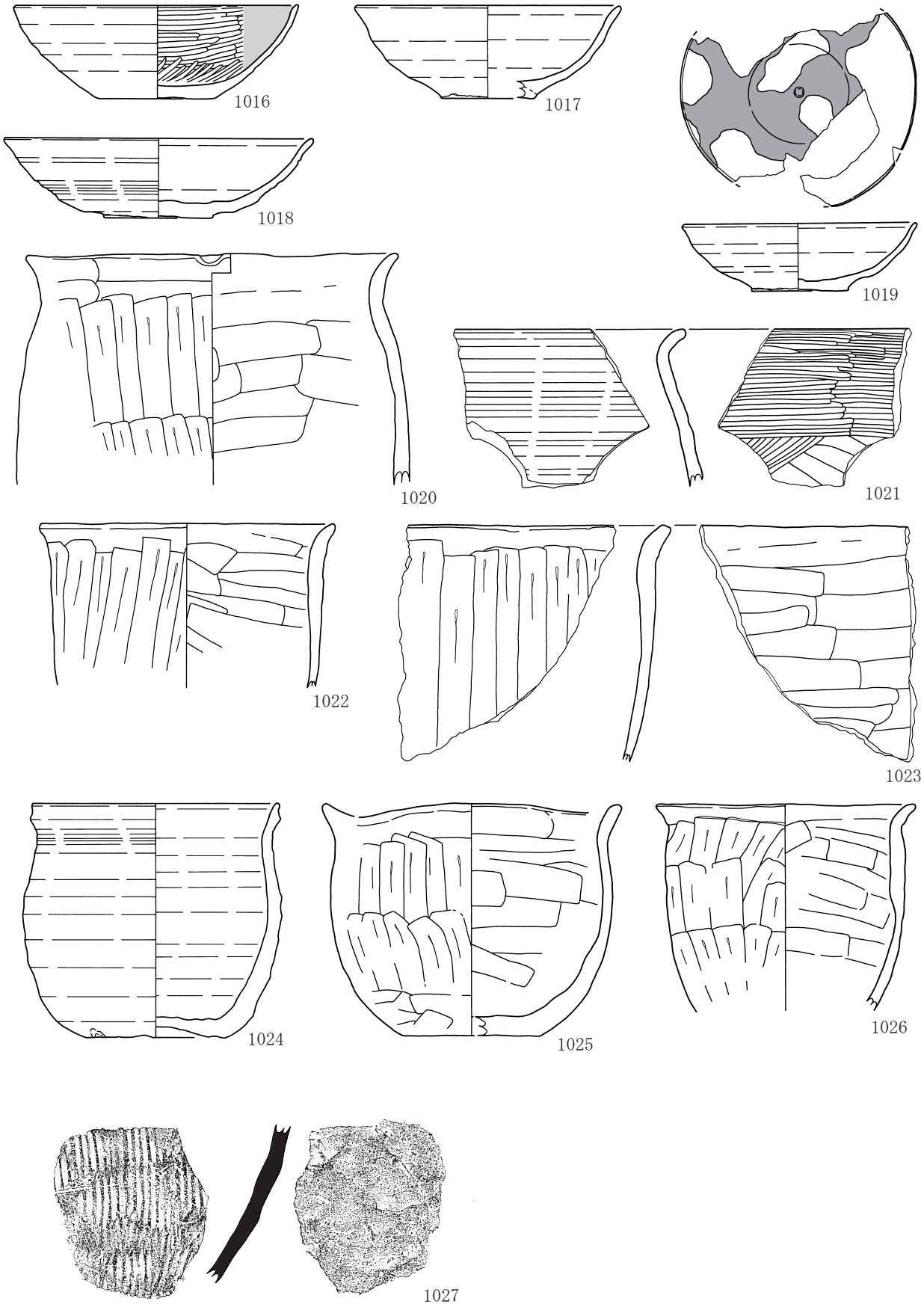
燃焼部焼土面は、40×36cmを測る。被熱は弱く、赤褐色～明赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。

袖は両袖が残存するが、北袖は一部、16号溝跡に壊されている。両袖とも構築土と芯材礫１個ずつを検出した。構築土は暗赤褐色、明黄褐色、灰黄褐色シルトで、炭化物が混じる。芯材礫は20cm大



1.	黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性強	しまり疎	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
2.	灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性やや強	しまりやや密	煙道埋土。炭化物微量、黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック中量含む。
3.	暗赤褐色シルト(5YR3/3)	粘性やや強	しまりやや密	煙道埋土。被熱により赤味をおびる。炭化物微量、焼土ブロック少量含む。
4.	赤褐色焼土(5YR4/8)	粘性弱	しまり密	被熱は弱いが、一部明赤褐色を呈する。
5.	暗赤褐色シルト(5YR3/6)	粘性弱	しまりやや疎	袖構築土。被熱により赤味をおびる。
6.	明黄褐色シルト(10YR7/6)	粘性弱	しまり密	袖構築土。炭化物微量含む。
7.	灰黄褐色シルト(10YR5/2)	粘性やや強	しまりやや密	袖構築土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
8.	明黄褐色シルト(10YR7/6)	粘性弱	しまり密	袖構築土。炭化物微量、灰黄褐色シルトブロック少量含む。
9.	黄褐色シルト(10YR5/6)	粘性弱	しまり密	芯材礫の掘り方。焼土粒微量、黒褐色シルトブロック少量含む。
10.	褐灰色シルト(10YR4/1)	粘性やや強	しまり密	貼床土。炭化材少量、灰黄褐色土ブロック中量含む。

第212図　53号竪穴建物跡２



第213図　53号竪穴建物跡出土遺物

の扁平な礫で、床面を掘り込み、設置している。なお芯材礫の上部は欠損し、消失していた。

煙道は東壁から93cmのびる。刳り抜き式である。東壁との連結部は、焼土面から約５cmの段差になっており、東壁からほぼ水平に煙出しピットに至る。煙出しピットは経46cmの円形である。

［土坑］２基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。87×71cmの楕円形で、深さ８cmである。土坑２は北東隅に付く。81×73cmの不整な楕円形で、深さ８cmである。どちらも貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は見受けられなかった。また壁溝は北壁と西壁から南壁に付く。いずれも100cm前後である。

［出土遺物］古代土器3017.9g分がある。埋土中出土の他、カマドからも出土している。

土師器は、坏（1016～1019）、甕（1020～1026）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるもの（1016）とロクロ成形のみ（1017～1019）がある。1019は内面に広く油煙痕が付着し、灯明皿と推測する。

甕は破片のみで、非ロクロ成形が目立つ。1024～1026は口径、器高がほぼ同じ小型の甕である。ただし1024はロクロ成形、1025・1026は非ロクロ成形である。

須恵器は埋土下位から出土した大甕の胴部片（1027）で、外面にタタキ、内面にナデが残る。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

54号竪穴建物跡（第214～217図、写真図版58・203・204）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡA22j、ⅡA22k、ⅡA23j、ⅡA23k、ⅡA24jグリッドに位置する。Ⅵ～Ⅶ層上面で、黒色のプランで検出した。本遺構は25号陥し穴状遺構と重複し、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］北辺305cm、東辺492cm、南辺383cm、西辺490cmを測り、カマドを正面として、横長の隅丸長方形を呈する。床面積は17.1㎡である。

［埋土の状況］10層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際に灰黄褐色（８層）、にぶい黄橙色（９層）、黒色（10層）が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと推定する。

［床面・壁］床面はⅦ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅥ～Ⅶ層で検出し、全周する。北壁は緩やかに広がりながら立ち上がる。他は直立気味である。壁高は最大60mである。

［貼床］床面の南側から東側は、全体に貼床される。一方、北側から西側は部分的に貼床される。貼床土は褐灰色シルトを主体である。掘り方は歪で、凹凸が目立つ。深さが10cm前後である。

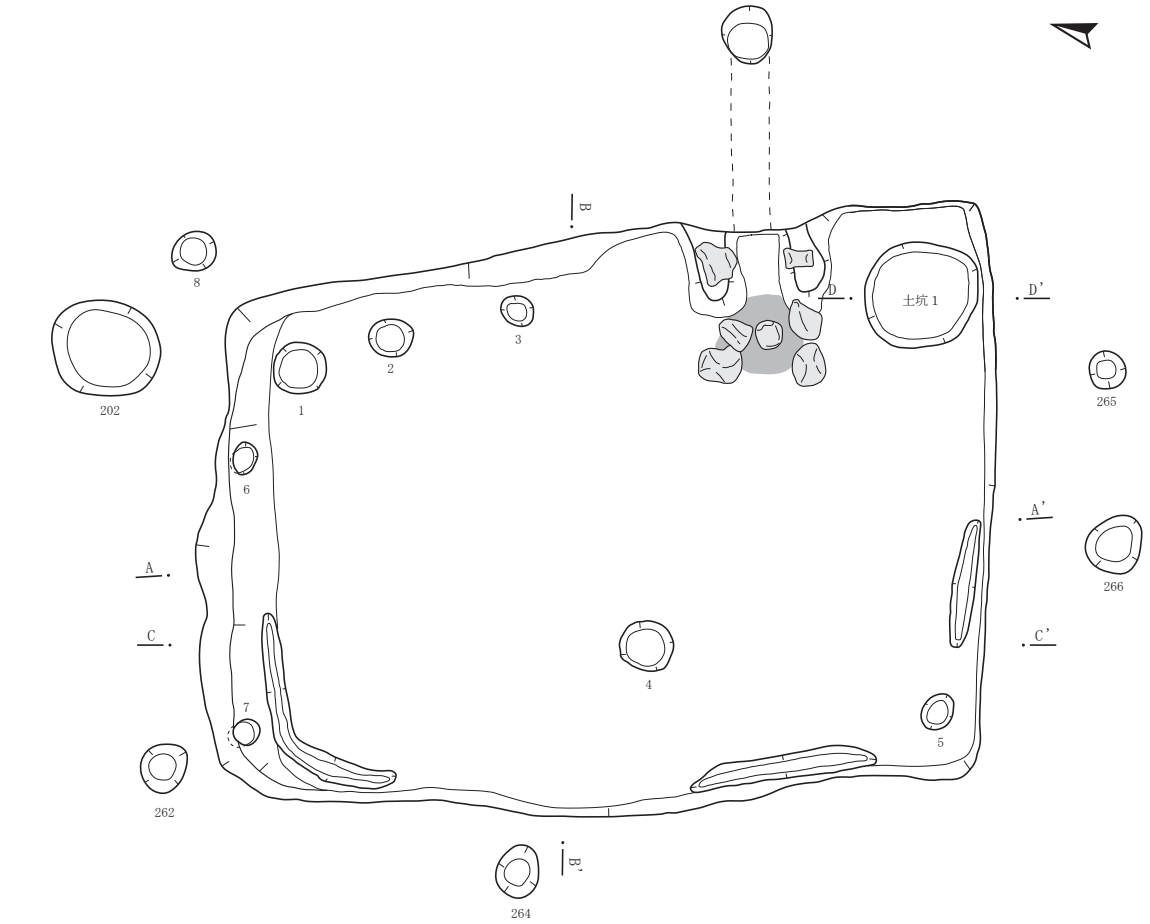
［カマド・炉］カマドは東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

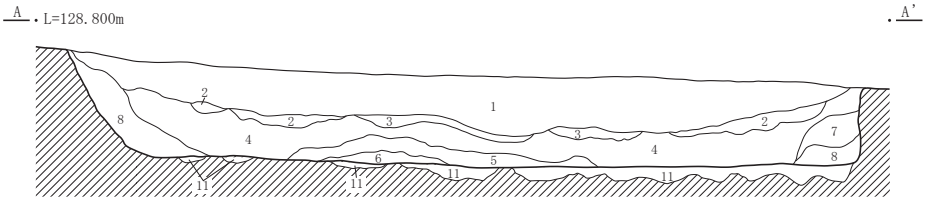
燃焼部焼土面は、58×52cmを測る。被熱は弱く、赤褐色を呈する。被熱深度は２cmである。燃焼部焼土面のほぼ中央に20cm大の支脚（礫）が据えられている。

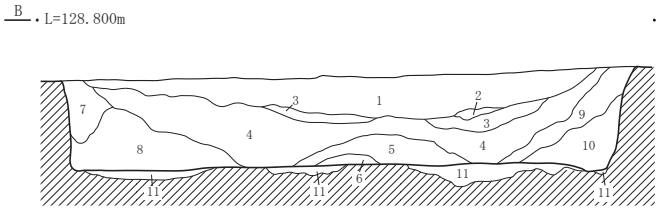
袖は両袖が残存する。構築土は暗褐色、黒褐色、黒色シルトである。構築土内から芯材礫を、南袖は４個、北袖は５個検出している（第215図中央）。芯材礫はわずかに床面に差し込まれ、構築土を被せている。また燃焼部焼土面の手前から、60×20cm大の方形礫を１個検出した（第215図右上）。これは天井石の可能性が高く、袖構築土の上に載せられていたと推測する。

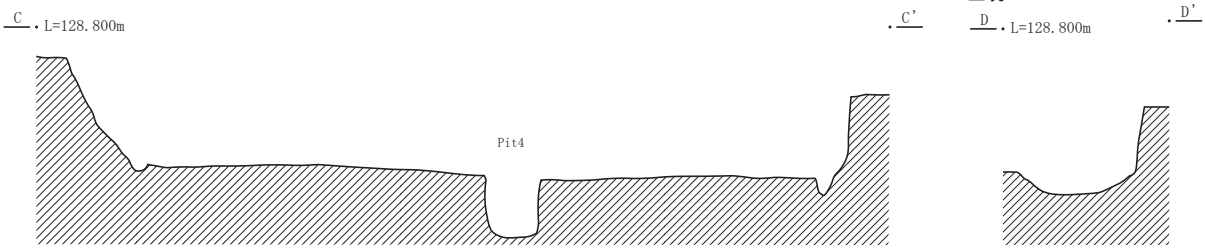
煙道は東壁から148cmのびる。刳り抜き式である。東壁との連結部は、焼土面から約７cmの段差になっており、東壁から下へと５°傾斜し、煙出しピットに至る。煙出しピットは38×32cmの楕円形で、煙道より12cm深い。

［土坑］１基検出した。カマドの南側に付く。74×69cmの不整な円形で、深さ16cmである。カマド







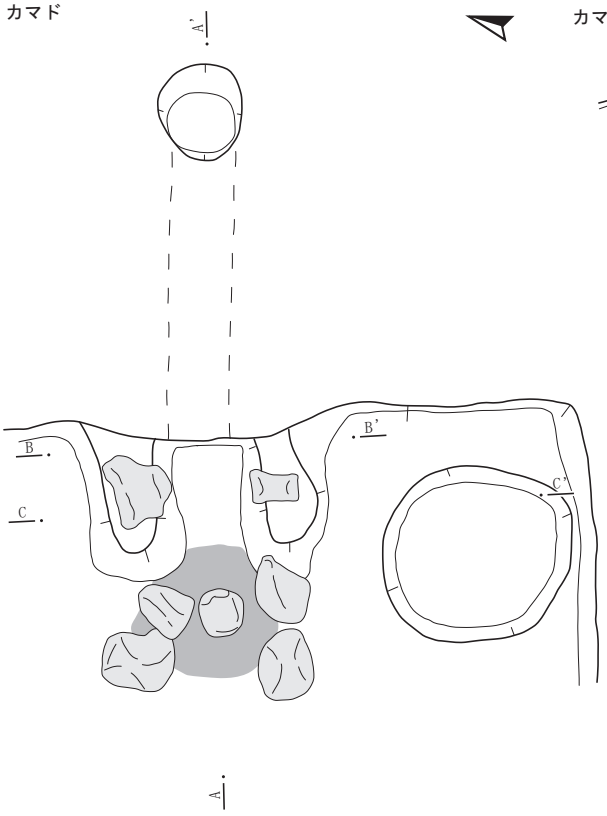


1. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量、礫微量含む。
2. 黒褐色シルト（10YR3/1）　粘性強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック少量含む。
3. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）　粘性弱　しまり密　炭化物微量、地山ブロック少量、黒色シルトブロック少量含む。
4. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）　粘性やや弱　しまり密　炭化物少量、地山ブロック少量、黒色シルトブロック少量含む。
5. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）　粘性やや強　しまりやや硬　3層と類似。炭化物微量、地山ブロック中量、黒色シルトブロック少量含む。
6. 明黄褐色シルト（10YR7/6）　粘性弱　しまりやや密　壁からの崩落土。黒色シルトブロック少量、灰褐色シルトブロック少量含む。
7. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性強　しまり密　炭化物微量、地山土粒微量、黒色シルトブロック中量含む。
8. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）　粘性強　しまりやや密　地山ブロック中量、黒色シルトブロック少量含む。
9. にぶい黄橙色シルト（10YR7/4）　粘性弱　しまり密　黒色シルトブロック少量、灰褐色シルトブロック中量含む。
10. 黒色シルト（10YR2/1）　粘性強　しまりやや密　崩落土。地山ブロック少量が下部に偏在。灰黄褐色シルトブロック微量含む。
11. 褐灰色シルト（10YR4/1）　粘性やや強　しまり密　貼床土。地山ブロック少量含む。

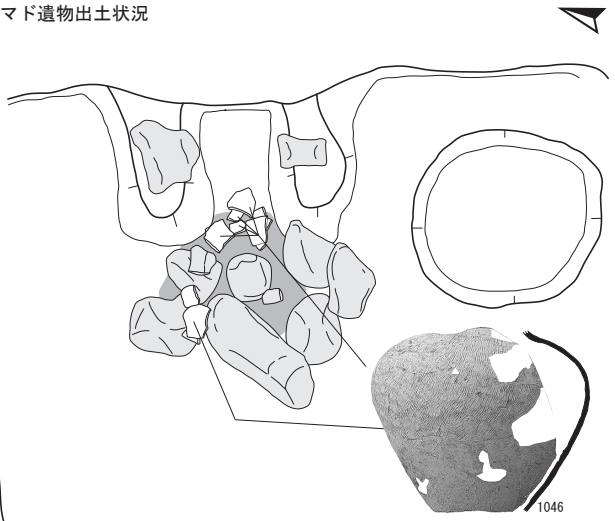
0　1：50　2m

第214図　54号竪穴建物跡1

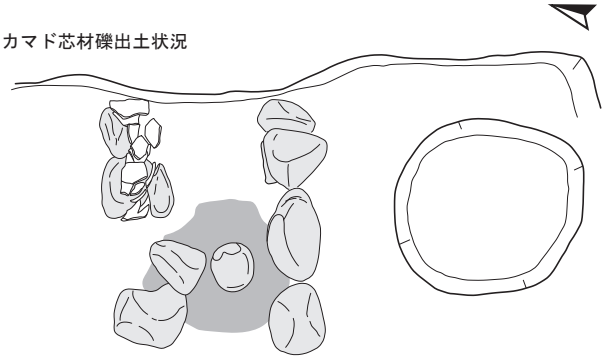
カマド

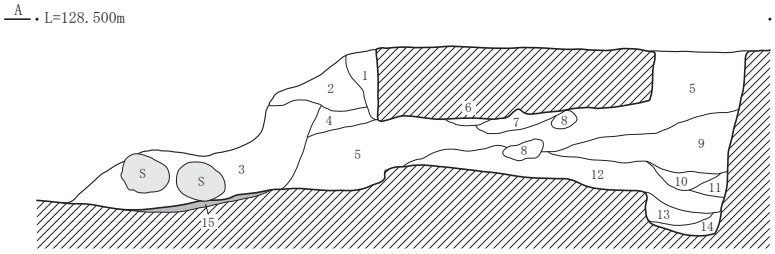


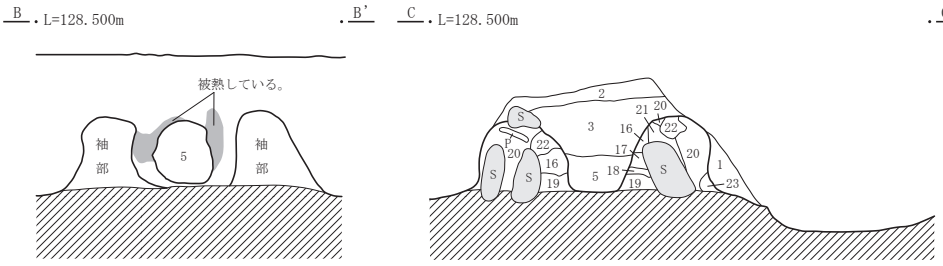
カマド遺物出土状況



カマド芯材礫出土状況



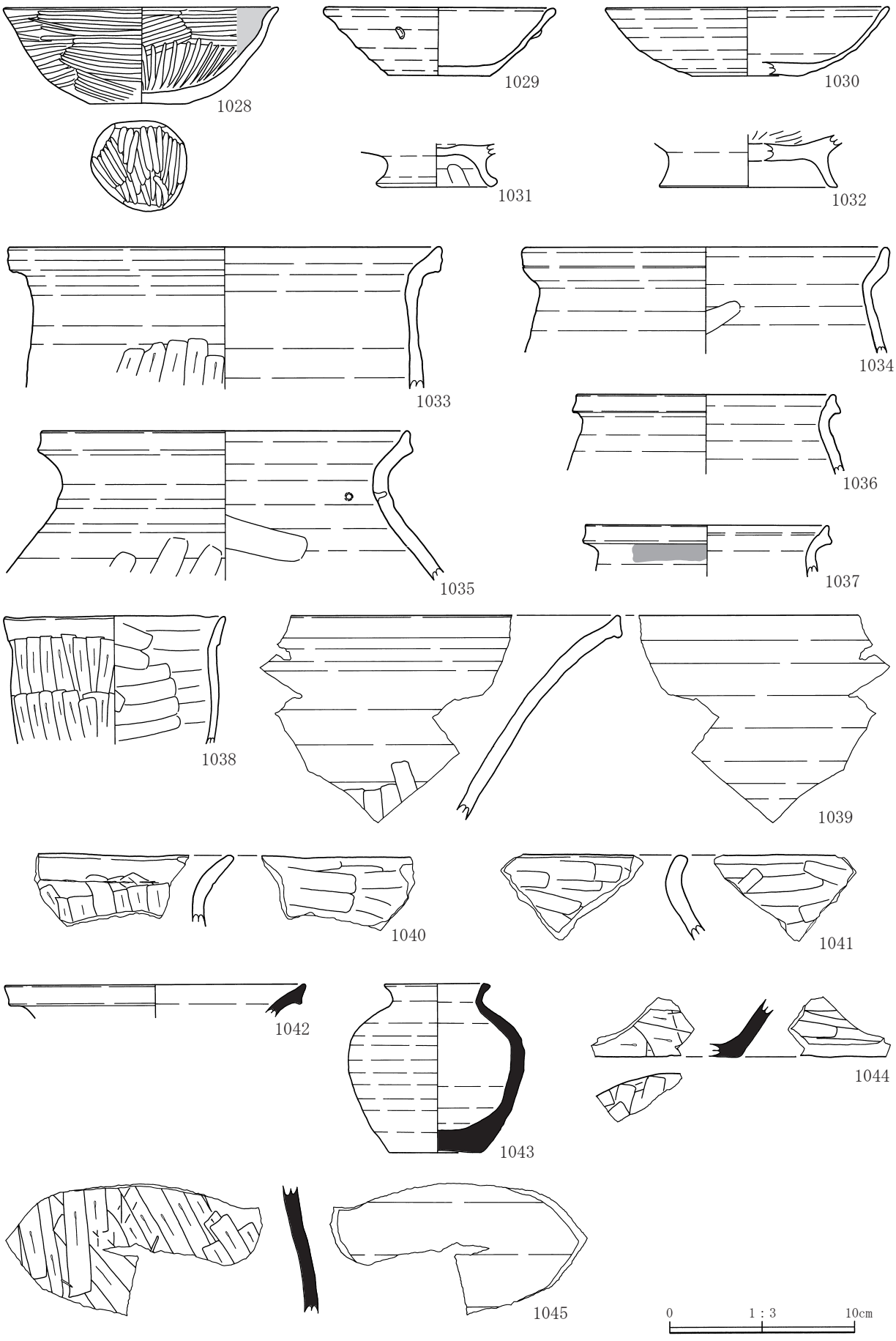




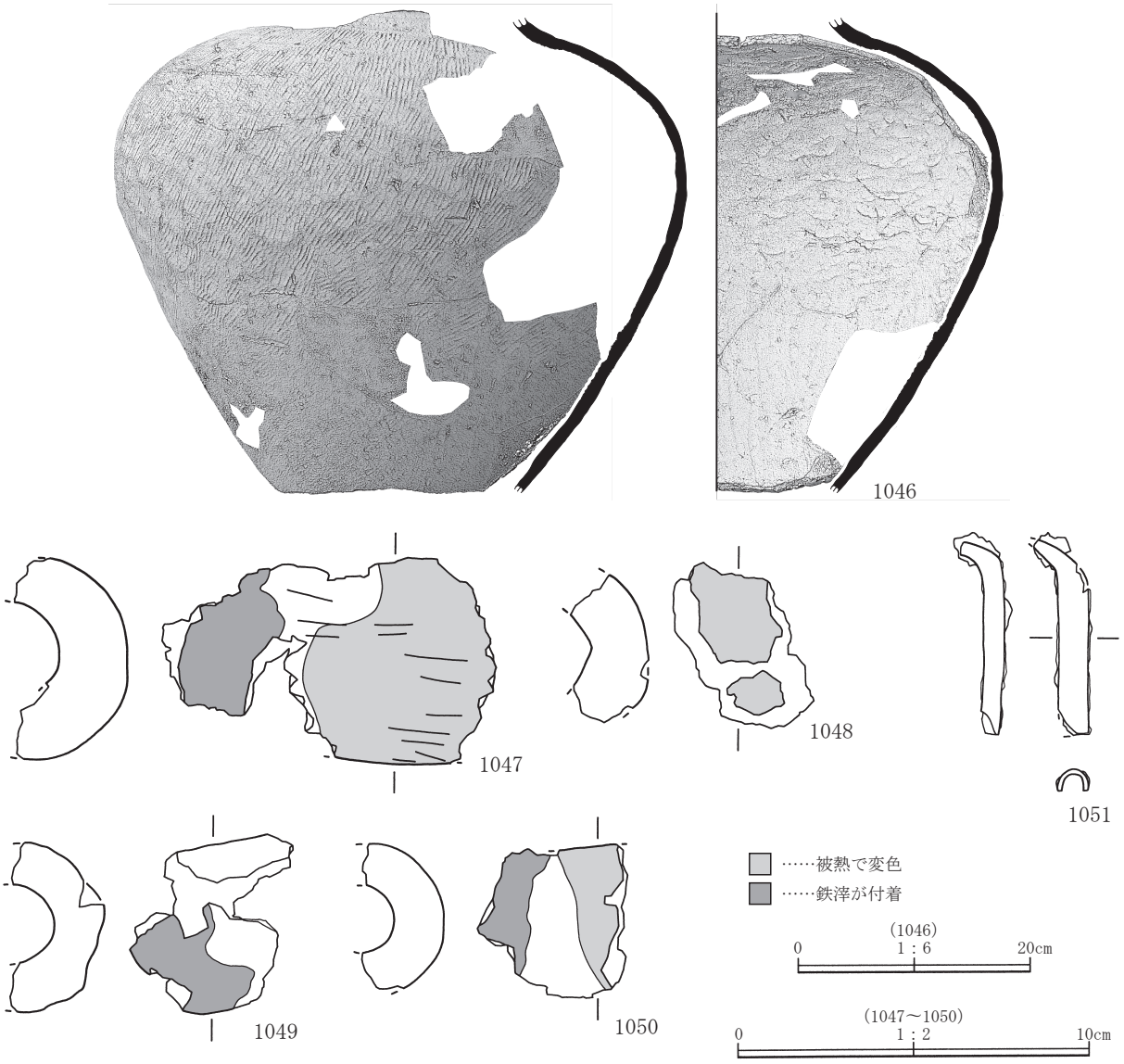
1. 黒色シルト（10YR2/1）　粘性やや強　しまり密
崩落土（旧沢跡埋土）。地山ブロック少量含む。
2. 褐灰色シルト（10YR4/1）　粘性やや弱　しまり密
炭化物微量、地山ブロック中量、黒褐色シルトブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト（10YR3/2）　粘性やや弱　しまりやや密
炭化物微量、地山ブロック少量含む。
4. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）粘性やや強　しまりやや疎
炭化物微量、焼土ブロック少量、地山ブロック少量含む。
5. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性やや強　しまりやや疎
炭化物微量、地山ブロック少量、明赤褐色シルトブロック少量含む。
6. 黄褐色シルト（10YR5/6）　粘性やや弱　しまり疎
7. 黒色シルト（10YR1.7/1）　粘性やや強　しまり疎
8. 黄褐色シルト（10YR5/6）　粘性強　しまり密　崩落土が堆積。
9. 黒色シルト（10YR2/1）　粘性やや強　しまり疎
地山ブロック微量、赤褐色シルトブロック少量含む。
10. 黒褐色シルト（10YR2/3）　粘性やや強　しまり疎　地山ブロック微量含む。
11. 黒色シルト（10YR2/1）　粘性やや強　しまり疎
地山ブロック微量含む。
12. 暗褐色シルト（10YR3/4）　粘性やや強　しまりやや疎
13. 黄褐色シルト（10YR5/6）　粘性やや強　しまり疎　崩落土が堆積。
14. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性やや強　しまりやや疎
15. 赤褐色焼土（5YR4/6）　粘性弱　しまりやや密
被熱弱く、一部黒褐色にとどまる。
16. 暗褐色シルト（10YR3/3）　粘性やや強　しまりやや疎　袖構築土。
17. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性やや強　しまりやや疎　袖構築土。地山ブロック少量含む。
18. 暗褐色シルト（10YR3/3）　粘性やや強　しまりやや疎　袖構築土。
19. 黒褐色シルト（10YR2/2）　粘性やや強　しまりやや疎　袖構築土。
炭化物微量、地山ブロック少量含む。
20. 暗褐色シルト（10YR3/4）　粘性やや弱　しまりやや密　袖構築土。
21. 黒褐色シルト（7.5YR2/2）粘性やや弱　しまりやや疎　袖構築土。
被熱し、わずかに赤みをおびる。
22. 黒色シルト（10YR2/1）　粘性強　しまりやや疎　袖構築土。建物埋土の混入か。
23. 暗褐色シルト（10YR3/4）　粘性強　しまり密　袖構築土。建物埋土の混入か。

0　1：30　1m

第215図　54号竪穴建物跡2



第216図　54号竪穴建物跡出土遺物１



第217図　54号竪穴建物跡出土遺物２

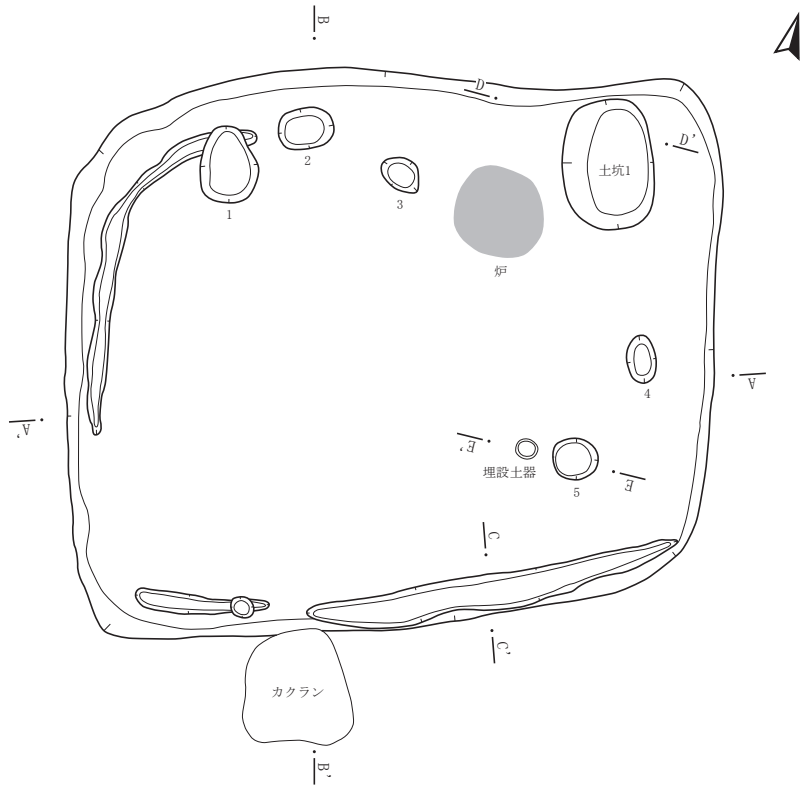
に伴う貯蔵穴と推測する。

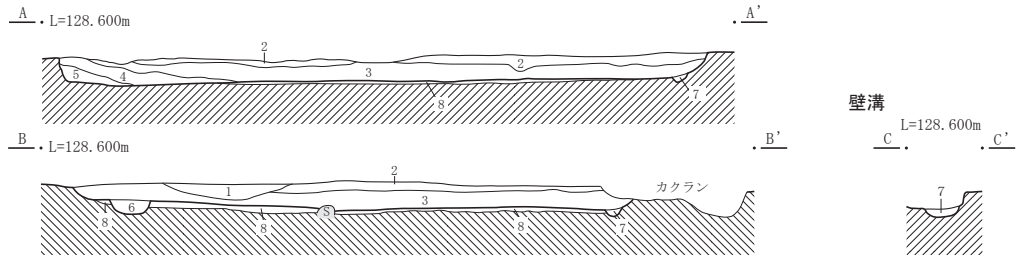
［柱穴・壁溝］柱穴は床面上で７個（Pit１～７）、壁の外側で６個（Pit８・202・262・264～266）を検出した。床面の柱穴は、Pit４を除き、壁に寄る。Pit４は深さ40cmで、他の柱穴と比べ深い。壁外の柱穴は南北壁外に分布するが規則的な配置ではない。壁溝は北壁から西壁からと、西壁の一部で検出した。いずれも100cm前後である。

［出土遺物］古代土器9378.6g分、羽口、鉄製品がある。埋土中出土が目立つ。カマドの燃焼部焼土面上などから須恵器大甕（1046）が出土している（第215図右上）。

土師器は、坏（1028～1030）、台付坏（1031・1032）、鉢（1039）、甕（1033～1038・1040・1041）がある。坏はロクロ成形が多い。1028は内外面ミガキ成形で、底面にもミガキが施されるが、黒色処理は施されない。甕はロクロ成形が多い。

須恵器は甕と瓶類がある。1043は器高9.1cmの小型の甕で、生焼け気味である。1046は大甕の胴部片で、カマドからまとまって出土した。

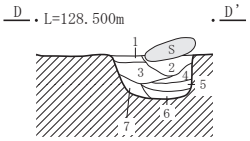




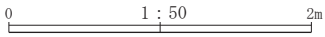
壁溝

1. 黒色シルト(10YR2/1)	粘性強	しまり密	炭化物微量、地山ブロック中量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや弱	しまり密	炭化物微量、地山ブロック微量含む。鉄滓混じる。
3. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや弱	しまり密	炭化物微量、地山土粒中量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性やや強	しまり密	炭化物微量、地山ブロック少量含む。
5. にぶい黄橙色シルト(10YR6/4)	粘性弱	しまりやや疎	崩落土。黒色シルトブロック少量含む。
6. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性弱	しまりやや疎	Pit1埋土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
7. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)	粘性やや弱	しまりやや密	壁溝埋土。地山ブロック中量含む。
8. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)	粘性弱	しまりやや疎	貼床土。黒色シルトブロック少量含む。

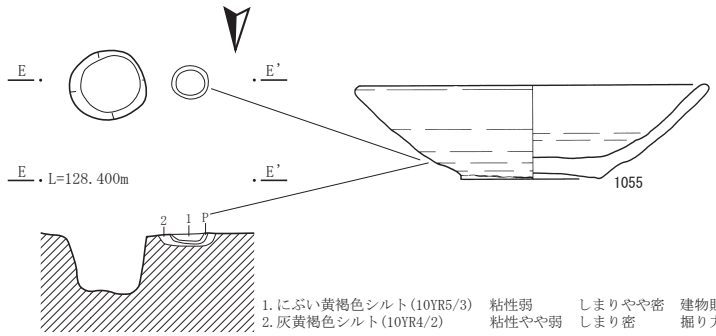
土坑1



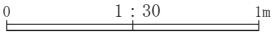
1. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性やや弱	しまり密	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。貼床土に類似。
2. 黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性やや強	しまりやや疎	炭化物微量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや強	しまり密	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
4. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)	粘性弱	しまり密	5層土少量、地山ブロック微量含む。
5. 明黄褐色シルト(10YR7/6)	粘性弱	しまり密	暗褐色シルトブロック少量含む。
6. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや弱	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック少量含む。土器片混じる。
7. 黄褐色シルト(10YR5/6)	粘性弱	しまりやや疎	黒褐色シルトブロックやや多量含む。



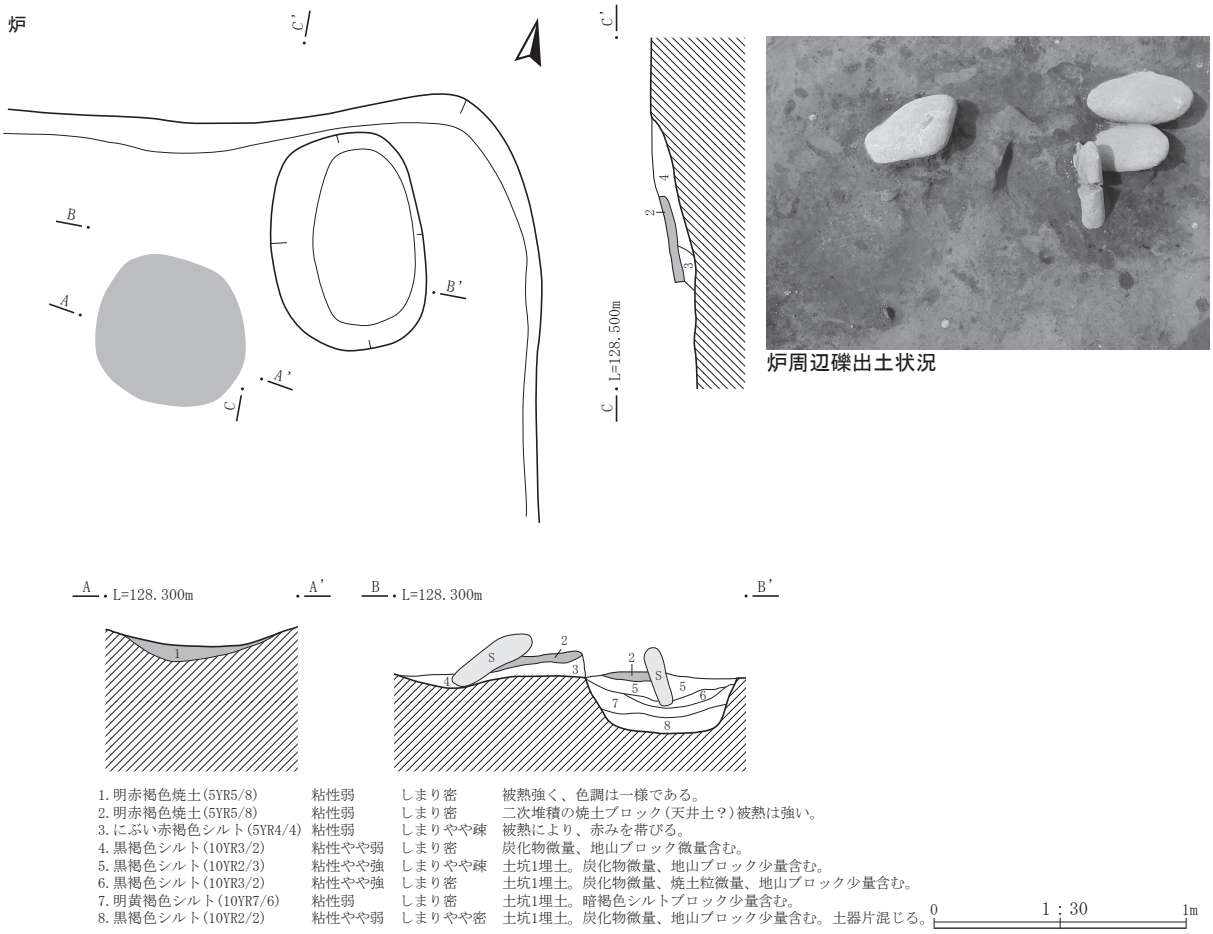
埋設土器



1. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)	粘性弱	しまりやや密	建物貼床土？
2. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性やや弱	しまり密	掘り方。地山土粒微量含む。



第218図　55号竪穴建物跡1



第219図　55号竪穴建物跡２

羽口が４点（1047～1050）、いずれも破片で埋土から出土している。

鉄製品は１点（1051）で、埋土下位から出土した。方頭太刀の柄頭か鞘尻の覆輪金具と推測する。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

55号竪穴建物跡（第218～221図、写真図版59・205・206）

［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅡA24l、ⅡA24m、ⅡA25l、ⅡA25mグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。

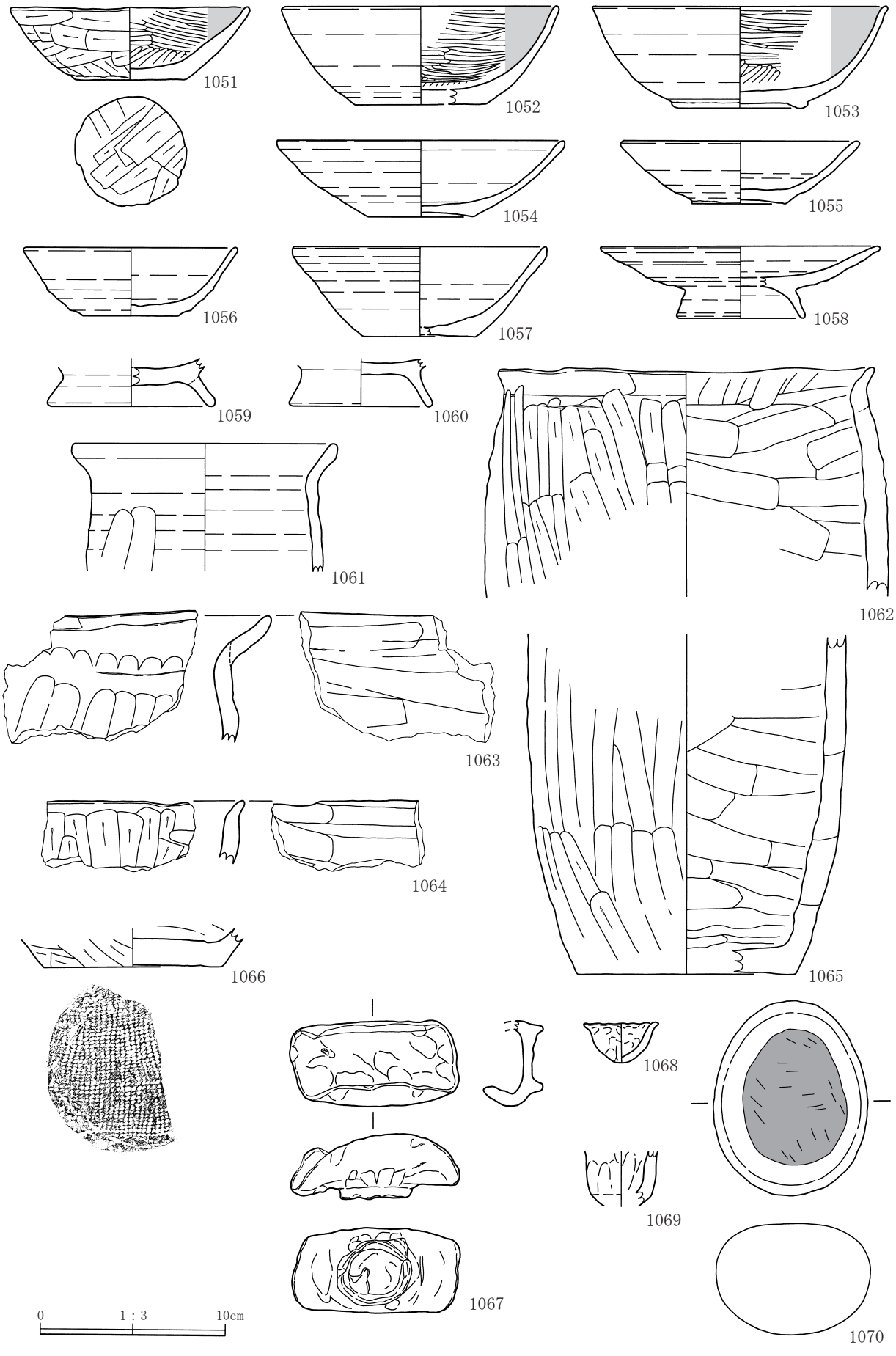
［規模・平面形］北辺414cm、東辺312cm、南辺350cm、西辺300cmを測り、やや歪な隅丸の長方形を呈する。床面積は13.6㎡である。

［埋土の状況］５層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際に黒褐色シルト（４層）やにぶい黄橙色シルト（５層）が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと推測する。

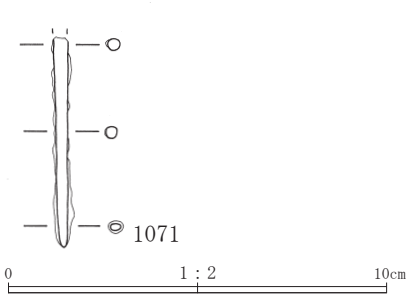
［床面・壁］Ⅶ層で検出した。床面は若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は19mである。

［貼床］東壁付近を除き、全体に貼床される。貼床土は灰黄褐シルトを主体で、黒褐色シルトが多く混じる。掘り方はほぼ均一で、深さは１～６cmである。

［カマド・炉］炉が北壁際の東寄りに付く。カマドの燃焼部焼土面の可能性もあるが、袖部や煙道は見受けられないので、炉と判断した。64×58cmの不整な楕円形で、被熱は強く、明赤褐色を呈す



第220図　55号竪穴建物跡出土遺物１



第221図　55号竪穴建物跡出土遺物2

る。被熱深度は６cmである。また炉の北側、北壁との間で、40cm大の扁平な礫を３個、その周辺で大きな焼土塊の広がりを確認した（第219図写真参照）。調査時、これらを芯材礫や袖かとも考えたが、礫も焼土塊も原位置をとどめておらず、また炉との位置が微妙に離れていることから、炉とは別のものとし、したがってカマドではないと判断した。

［土坑］１基検出した。床面の北東隅、炉の東側に付く。85×60cmの楕円形で、深さ22cmである。土坑１の検出面で、上述のような扁平な礫が露出していた。調査段階で、芯材礫の掘り方の可能性を考えたが、掘り方とするには大きいので、土坑と判断した。貯蔵穴か。

［そのほかの施設］床面の東壁際の南寄りで埋設土器１点を検出した。土器は土師器坏（1055）で床面を掘り下げ、1055を正位の状態で埋め、口縁部のみ床面から露出させていた。その東側にはPit５が近接している。

［柱穴・壁溝］柱穴は５個（Pit１～５）検出した。北壁際に寄るものが多い（Pit１～３）が、規則的な柱配置は見いだせない。壁溝は北壁から西壁と、南壁で検出した。西壁はほぼ半分、南壁は一部途切れる。

［出土遺物］古代土器7636.2g分、石製品、鉄製品がある。出土位置は埋土中がほとんどであるが、炉の周辺からも比較的まとまって出土している。

古代土器は全て土師器で、坏（1051～1057）、台付坏（1058～1060）、甕（1061～1066）、耳皿（1067）、ミニチュア土器（1068・1069）がある。1055は上述の通り、埋設土器で、完形である。1066は甕の底部片で、底面に網代痕が残る。1067は耳皿で、手捏ねで成形される。1068・1069はどちらもミニチュア土器の破片である。

石製品は１点（1070）、埋土中から出土している。安山岩製の円礫で片面に擦った痕跡が見受けられる。

鉄製品は１点（1071）で、埋土下位から出土した。紡錘車の軸部分と推測する。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

56号竪穴建物跡（第222～227図、写真図版60・206～208）

［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅡA25k、ⅡA25l、ⅢA１k、ⅢA１lグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。

［規模・平面形］北辺310cm、東辺415cm、南辺312cm、西辺365cmを測り、やや歪だが、カマドを正面として、横長の隅丸長方形を呈する。床面積は13.0㎡である。

［埋土の状況］９層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際に灰黄褐色シルト（８層）やにぶい黄橙色細砂（９層）が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］Ⅶ層で検出した。床面はほぼ平坦だが、中央がわずかに高い。壁は全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大48cmである。

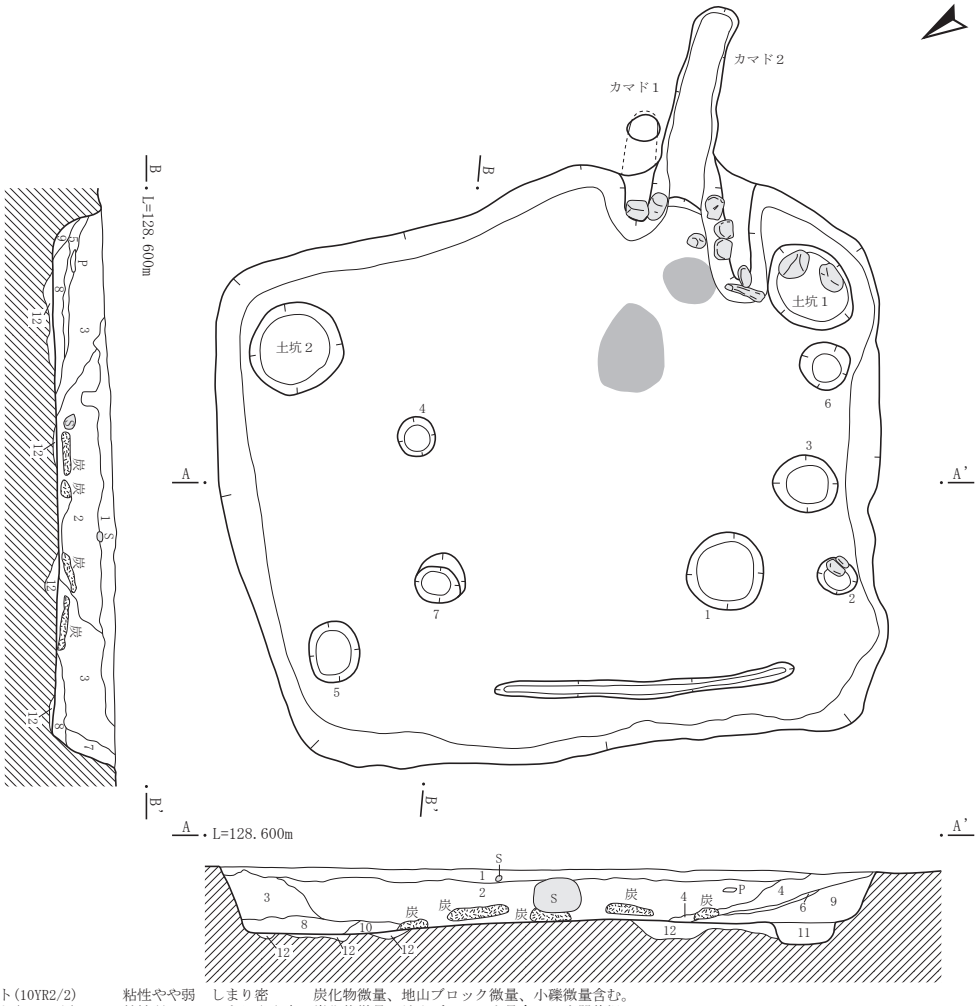
［貼床］壁際は部分的にのみ貼床され、中央は貼床されない。貼床土は灰黄褐色シルトを主体とし、炭化物や黒褐色シルトが混じる。掘り方はほぼ均一で、深さは１～12cmである。

［カマド・炉］カマドが２基、東壁の南寄りに付く。検出状況から、カマド１が古く、カマド２は、

カマド１を壊して、その南側に再構築したものと推測する。

カマド１は燃焼部焼土面と煙道のみ残存する。燃焼部焼土面は、57×42cmを測る。被熱は強く、赤褐色を呈する。被熱深度は４cmである。煙道は東壁から38cmのびる。なお東壁から手前側は、カマド２の北袖が構築され、塞がれている。煙道は刳り抜き式で、天井の構築土は黒褐色シルトである（カマド１の５層）。

カマド２は燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。燃焼部焼土面は35×30cmで、赤褐色を呈するが、カマド１より被熱は弱く、やや黒みが残る。被熱深度は３cmである。袖は両袖残存し、北袖は構築土と芯材礫２個、南袖は構築土を検出した。構築土は灰褐色、黒褐色シルトで、構築土上部に15cm大の礫が混入し、それらは袖の上部から露出していた。北袖の芯材礫は床面に据えられた状態で構築土を被せている。煙道は東壁から105cmのびる。東壁との連結部は、燃焼部焼土面から約７cmの段差になっており、東壁から上へと５°傾斜し、煙出しに至る。なお、カマド２は、北袖の手



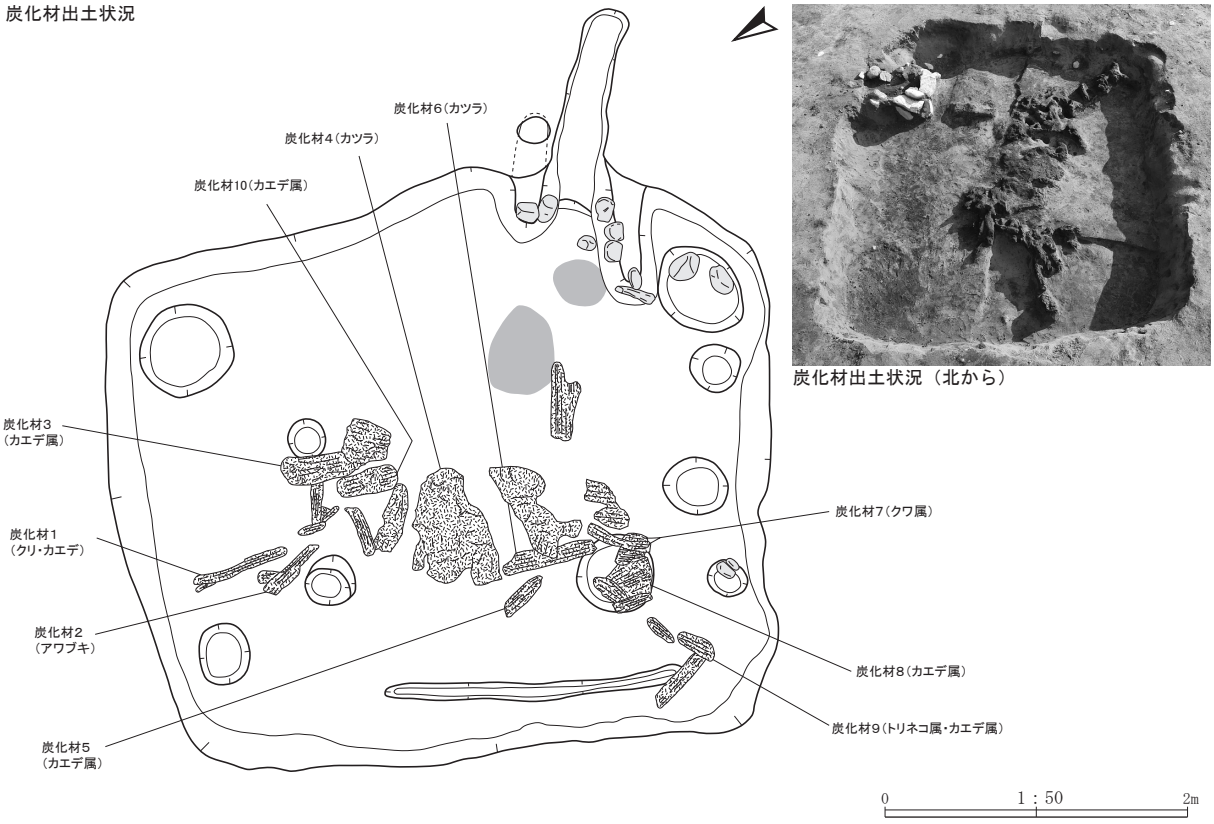
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、地山ブロック微量、小礫微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック少量含み、土器片混じる。
3. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまりやや密　炭化材片少量、地山ブロック少量含む。
4. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性弱　しまり密　炭化材片少量、地山ブロック少量含む。
5. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量含み、土器片混じる。
6. 明黄褐色シルト(10YR6/6)　粘性やや強　しまりやや疎　地山土少量が薄い層状に堆積する。
7. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性弱　しまり密　炭化物微量、地山ブロックやや多く含む。
8. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)　粘性弱　しまりやや疎　黒褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量含む。
9. にぶい黄橙色細砂(10YR6/3)　粘性弱　しまり疎　崩落土。黒色シルトブロック少量、地山ブロック少量含む。
10. にぶい黄橙色細砂(10YR7/4)　粘性弱　しまりやや疎　崩落土。炭化物微量含む。
11. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや疎　Pit3埋土。人為的に埋めている。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
12. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)　粘性弱　しまりやや疎　貼床土。炭化物微量、黒色シルトブロック少量、地山ブロック少量含む。

0　1：50　2m

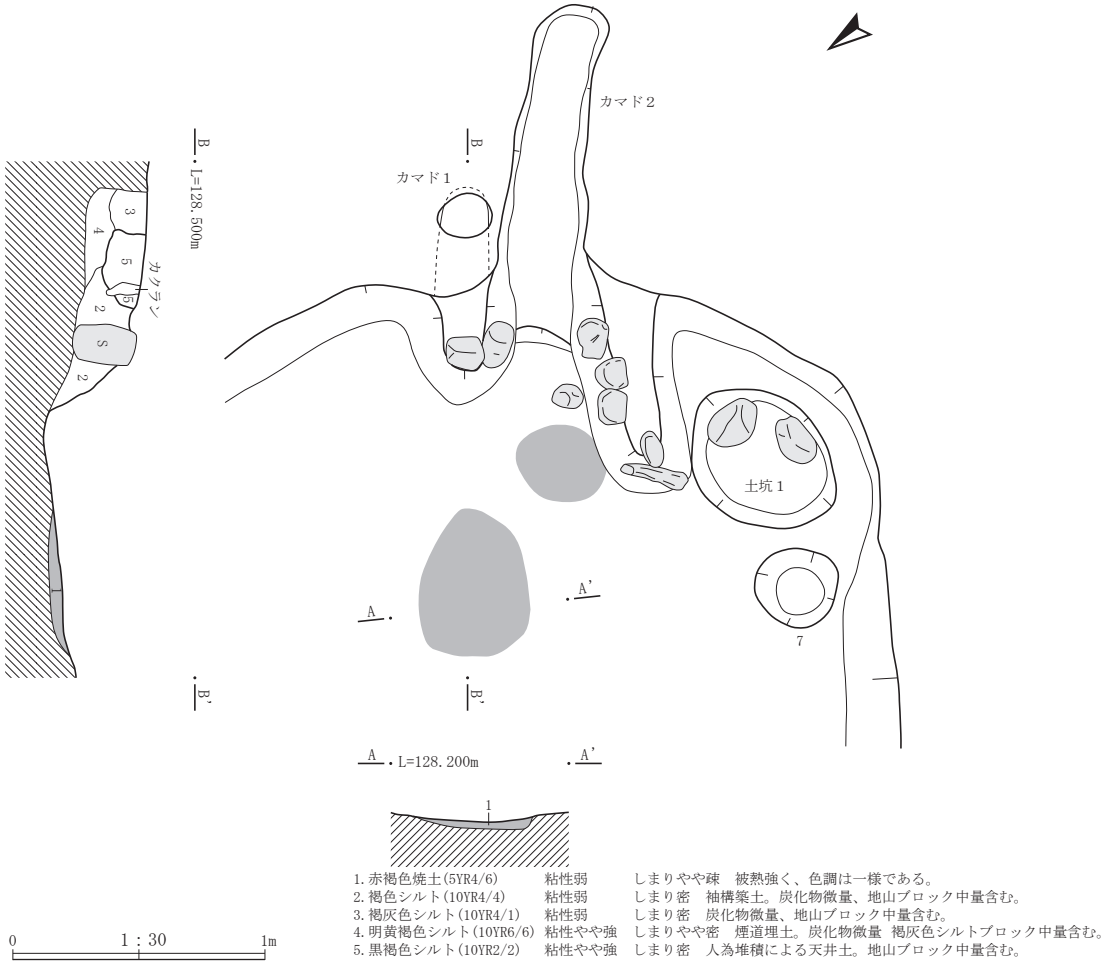
第222図　56号竪穴建物跡１

炭化材出土状況

炭化材出土状況（北から）



カマド１



1. 赤褐色焼土(5YR4/6)　粘性弱　しまりやや疎　被熱強く、色調は一様である。
2. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性弱　しまり密　袖構築土。炭化物微量、地山ブロック中量含む。
3. 褐灰色シルト(10YR4/1)　粘性弱　しまり密　炭化物微量、地山ブロック中量含む。
4. 明黄褐色シルト(10YR6/6)　粘性やや強　しまりやや密　煙道埋土。炭化物微量 褐灰色シルトブロック中量含む。
5. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまり密　人為堆積による天井土。地山ブロック中量含む。

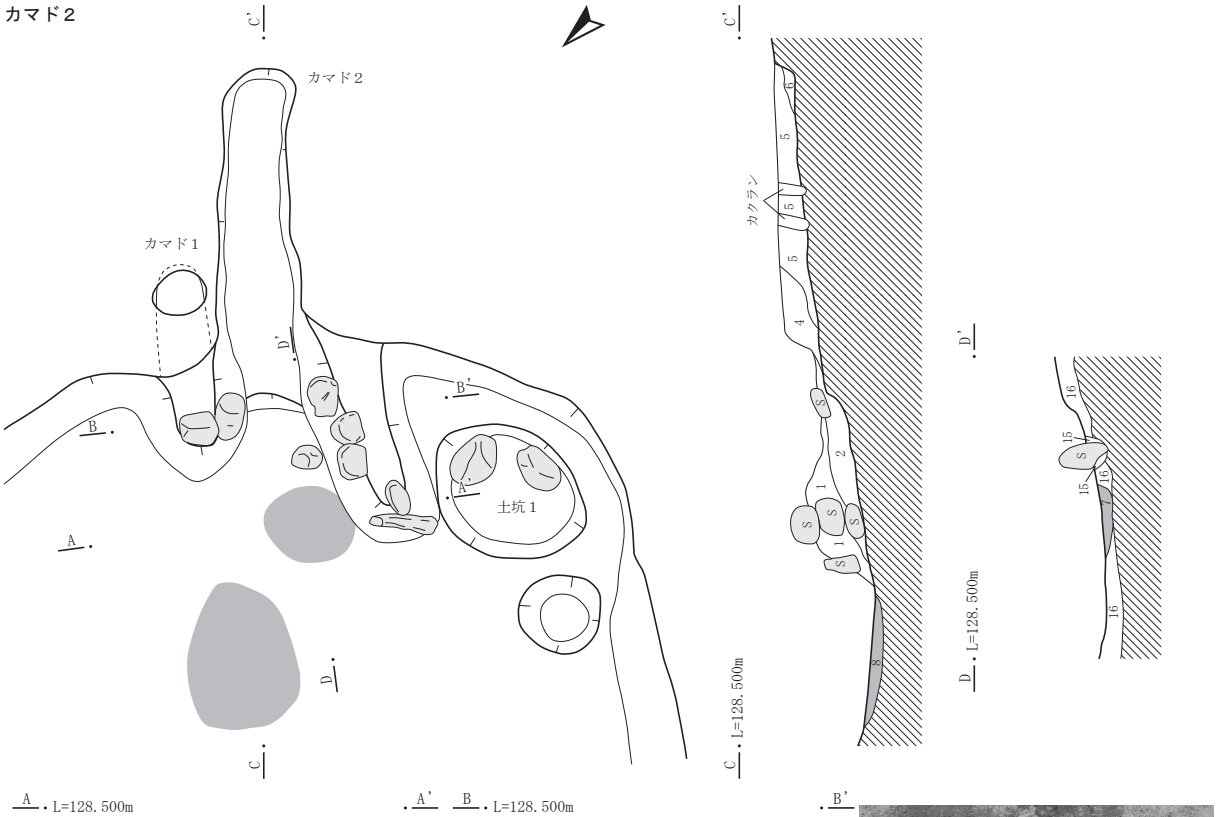
第223図　56号竪穴建物跡２

前側や煙道上面から多量の礫が出土している（第224図右下写真参照）。カマドの廃絶後、礫で覆った可能性がある。

［土坑］２基検出した。土坑１はカマド２の南側に付く。64×49cmの楕円形で、カマド２に伴う貯蔵穴と推測する。土坑２は床面の北東隅に付く。径61cmの不整な円形で、貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は７個（Pit１～７）検出した。床面全体に広がるが、規則的な柱配置は見いだせない。壁溝は西壁で検出した。長さ205cmである。

［そのほか］床面上から柱状や板状の炭化材が多数出土した。床面のほぼ中央に集中する傾向がある（第223図上）。これらのうち、９点について、樹種同定分析を試み、カツラ・カエデ属・クリ・ア

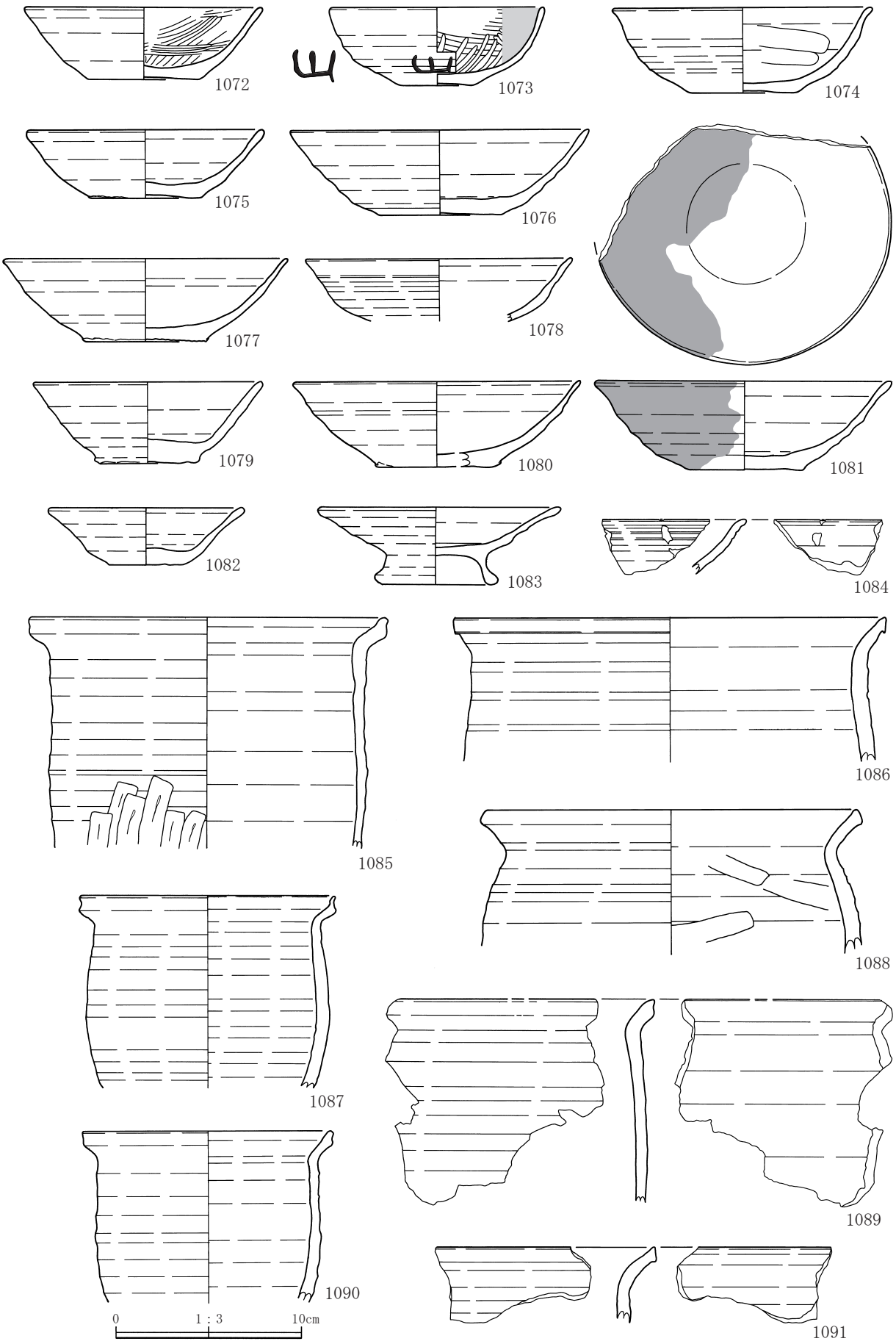


カマド２検出状況（礫露出）

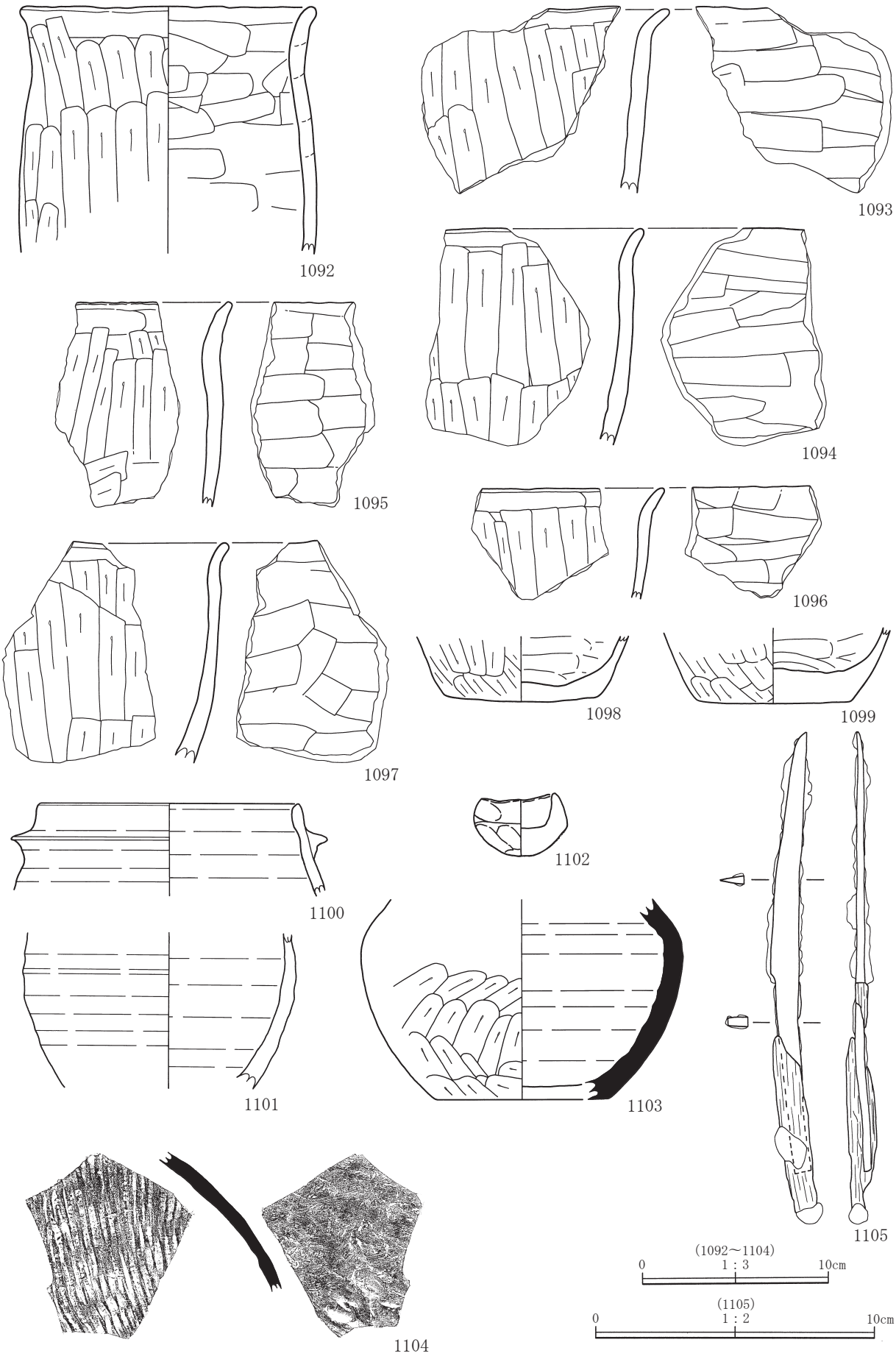
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや強	しまりやや疎	炭化物微量、地山ブロック微量含み、土器片混じる。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性強	しまりやや密	炭化物微量、地山微量含む。
3. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性やや強	しまりやや疎	袖構築土の崩落か。炭化物微量、地山ブロック中量含み、土器片混じる。
4. 黒褐色シルト(10YR3/1)	粘性弱	しまりやや密	炭化物微量、地山土粒少量含む。
5. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性弱	しまり密	炭化物微量、地山土粒微量含む。
6. 褐色シルト(10YR4/4)	粘性弱	しまり密	崩落土。4層土ブロック少量含む。
7. 赤褐色焼土(5YR4/8)	粘性強	しまり疎	被熱弱く、一部黒みが残る。
8. 赤褐色焼土(5YR4/6)	粘性弱	しまりやや疎	被熱強く、色調は一様である。
9. 灰褐色シルト(7.5YR4/2)	粘性弱	しまり密	袖構築土。被熱し、赤みをおびる。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
10. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや強	しまり密	袖構築土。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
11. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)	粘性弱	しまりやや疎	袖構築土。地山ブロック微量含む。
12. 黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性やや弱	しまり密	袖構築土。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
13. 褐色シルト(10YR4/4)	粘性弱	しまり密	袖構築土。炭化物微量、地山ブロック中量含む。
14. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性弱	しまり密	袖構築土。炭化物微量、焼土粒少量、地山ブロック少量含む。
15. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性弱	しまりやや密	支脚掘り方。炭化物微量、地山粒少量含む。
16. 黒褐色シルト(10YR3/18)	粘性弱	しまり疎	貼床土。黒褐色シルトブロック少量含む。

0　1：30　1m

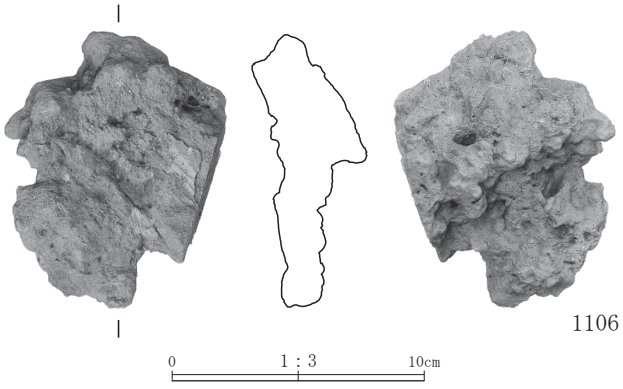
第224図　56号竪穴建物跡３



第225図　56号竪穴建物跡出土遺物1



第226図　56号竪穴建物跡出土遺物２



第227図　56号竪穴建物跡出土遺物３

ワブキ・クワ属・トリネコ属と多種なものであるとの結果を得ている（第Ⅶ章-４）。燃料材の可能性が高い。

［出土遺物］古代土器7358.0g分、鉄製品がある。埋土中のほか、カマド内やその周辺からも出土している。

土師器は、坏（1072～1082・1084）、台付坏（1083）、甕（1085～1099・1101）、羽釜（1100）、ミニチュア土器（1102）がある。坏はロクロ成形で1072は内面にミガキを施すが非黒色処理である。1073は墨書土器で、文字は「山」である。1081は内外面に広く煤（油煙痕？）が付着しており、灯明皿と推測する。甕は破片が多いが、ロクロ成形、非ロクロ成形どちらも見受けられる。1100は羽釜の口縁部片で、本遺跡では数少ない器種である。1102は完形で、手捏ね成形である。須恵器は、瓶類（1103）と甕（1104）で、1103は胴部中位が膨らみ、底部に高台を持たない。

鉄製品は１点（1105）、カマドの埋土中から出土している。完形の刀子で、柄には木質が残存する。

鉄滓は１点（1106）で、埋土上位から出土した。成分分析を試みたところ、椀形鍛冶滓で、さらに精錬鍛冶滓であるとの結果を得た（第Ⅶ章-６）。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

57号竪穴建物跡（第228～235図、カラー写真図版６、写真図版61・208～212）

［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅢＡ１h、ⅢＡ１i、ⅢＡ２g、ⅢＡ２h、ⅢＡ２iグリッドに位置する。河道後（Ⅵ層）とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。一部、南北方向に伸びるカクラン（水路）によって壊されている。

また本遺構は、59号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が新しい。

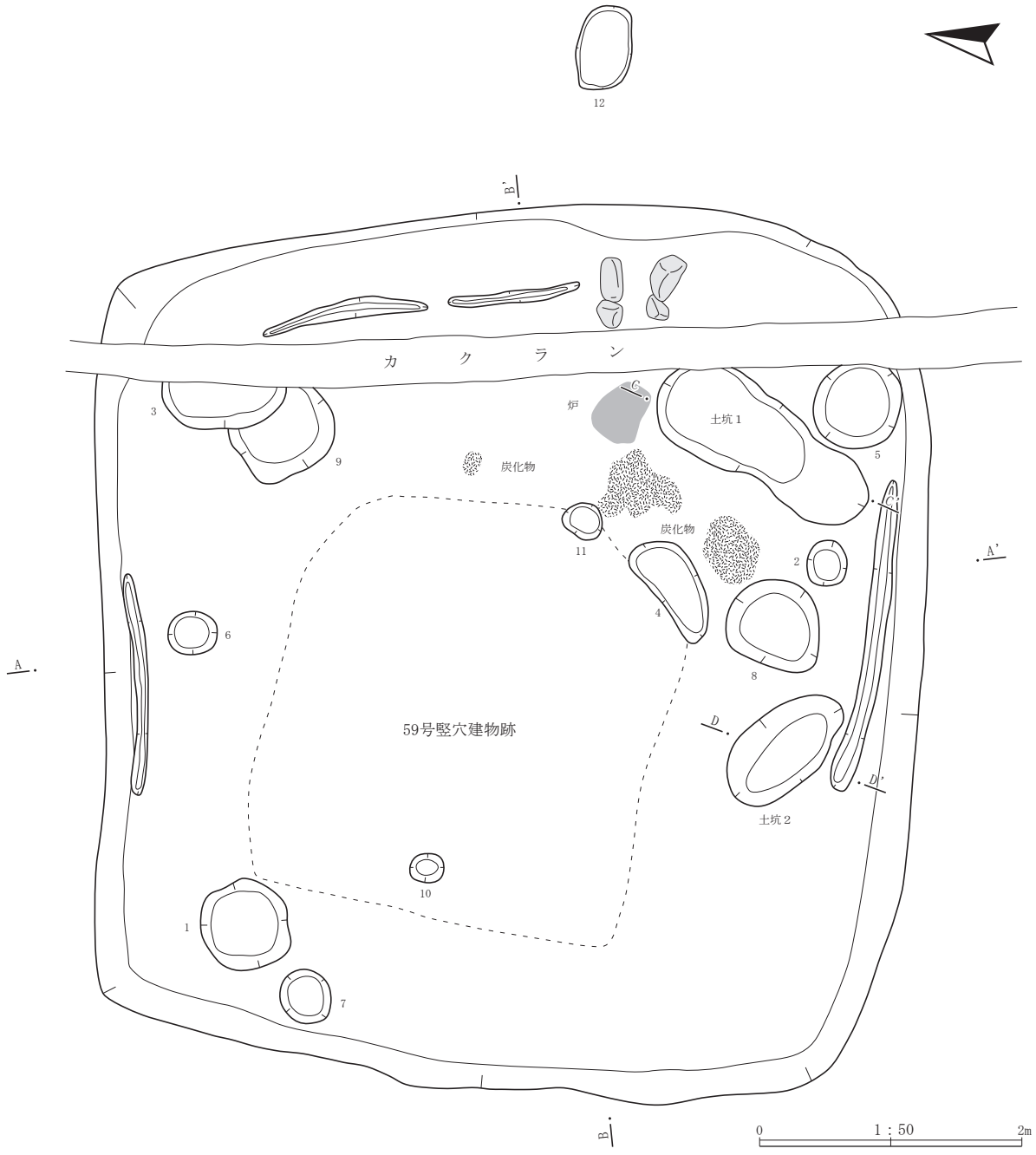
［規模・平面形］北辺538cm、東辺558cm、南辺620cm、西辺554cmを測り、やや歪な隅丸長方形を呈する。床面積は35.2㎡である。

［埋土の状況］12層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の２～４層・10～12層の堆積が、やや複雑で、埋没は人為堆積の可能性がある。また４層中でTo-aテフラブロックの混入を確認した。

［床面・壁］床面はⅦ層で検出した。ほぼ平坦だが、南壁際や東壁際はわずかに高い。壁はⅥ～Ⅶ層で検出し、カクランに壊された範囲を除き、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大40cmである。

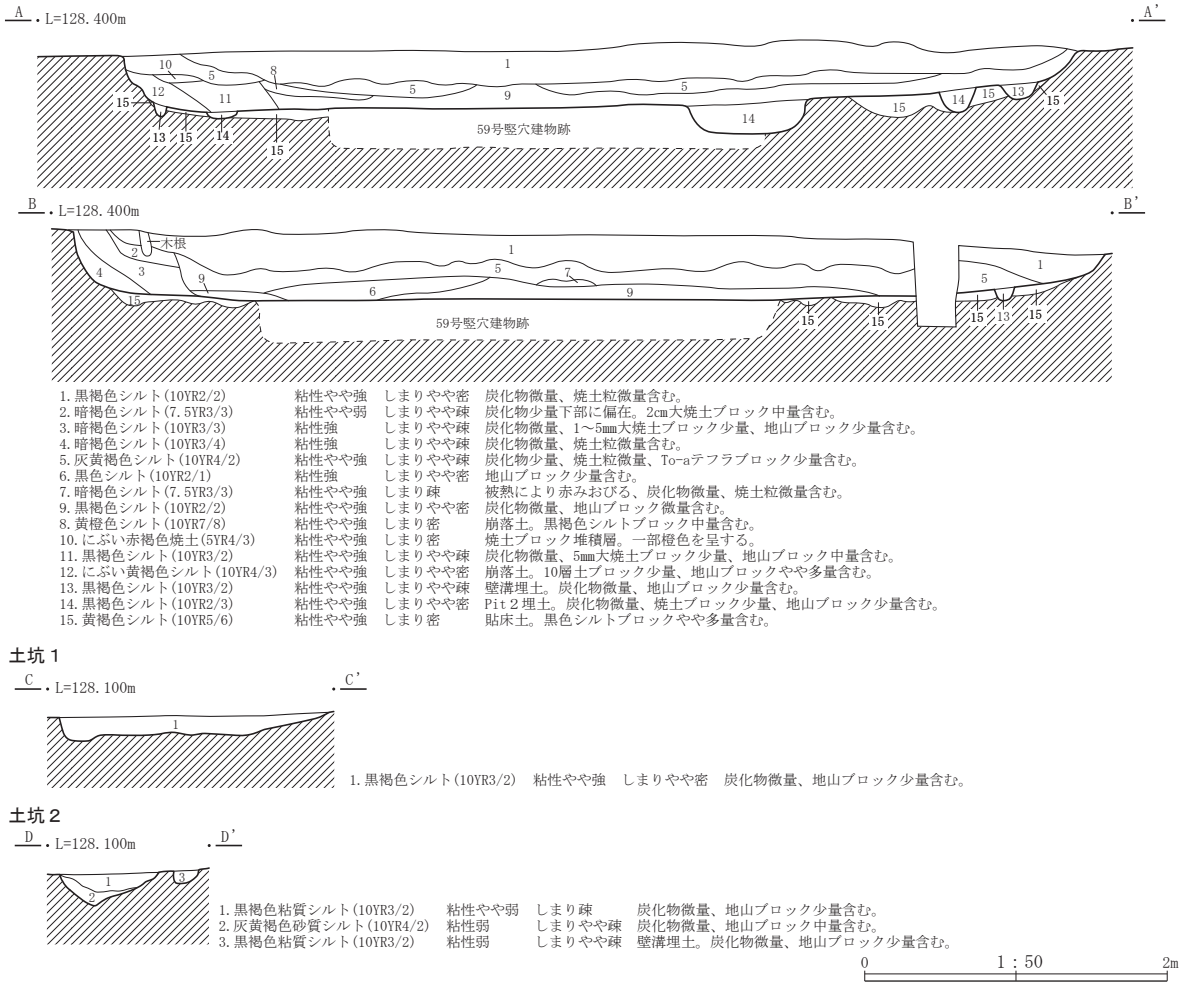
［貼床］壁際のみ貼床が施される。床面中央は59号竪穴建物跡と重複しており、断面で確認したところでは、59号竪穴建物跡の埋土上では本遺構の貼床は見受けられなかった。貼床土は黄褐色シルトを主体とし、黒褐色シルトが混じる。掘り方はほぼ均一で深さは１～13cmである。

［カマド・炉］炉が東壁の南寄りに付く。45×39cmを測る。被熱は強く、明赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。炉の東側、東壁との間に20～40cm大の礫が４個並んで出土した。これらについてはカマドの芯材礫の可能性もあるが、礫は床面よりやや上から出土しており、またこれらの礫や炉周辺には、カマドの袖構築土と推測されるものは見受けられないので、カマドではないと判断した。また東壁より127cm外側で、63×43cmの掘り込み（Pit12）を確認した。これについては煙道の煙出しピットの可能性があるが、東壁には煙道を構築した痕跡はなく、不明である。



第228図　57号竪穴建物跡１

［土坑］２基検出した。土坑１は炉の南側に近接する。181×68cmの楕円形で、深さ26cmである。土坑２は南壁際に付く。108×57cmの楕円形で、深さ20cmである。どちらも用途は不明である。
［柱穴・壁溝］柱穴は床面で11個（Pit１～11）、壁外で１個（Pit12）検出した。Pit１～11は床面全体に広がるが、規則的な柱配置は見いだせない。Pit12はカマドの煙出しピットの可能性があるが、不明である。壁溝は南壁（240cm）と北壁（170cm）で検出した。
［そのほか］炉の周辺で、炭化材の破片が集中する範囲を３箇所検出した。理由は不明である。目立つ炭化材片を選び樹種同定分析を試んだところ、ニレ・コナラ属コナラ節・ヤマウルシとの結果を得ている（第Ⅶ章-４）。
［出土遺物］古代土器34072.8g分、羽口、砥石、鉄製品、鉄滓がある。比較的、出土量は多い。
土師器は、坏（1107～1108）、台付坏（1110）、甕（1111～1133）がある。坏はロクロ成形である。1108は刻書土器である。口縁部片２点が出土し、接合部はないが、器面の状態や色調から同一個体と判断した。どちらの破片にも、「見（貝？取？）」という文字が刻書されており、胴部の裏表２箇所に同じ文字を刻書したと推測する。甕は比較的多いが、いずれも破片である。ロクロ成形が多い。1115・1116は小型甕である。1116は胴部が大きく膨らむ器形であるが、著しく歪んでいる。1121もやや胴部が膨らむ器形で、胴部上半に１箇所「×」に似た刻み（刻書？）が見受けられる。1124は口縁部片で内外面に煤が付着している。1132は器種不明（甕か）で、内外面にミガキを施している。1133



第229図　57号竪穴建物跡２

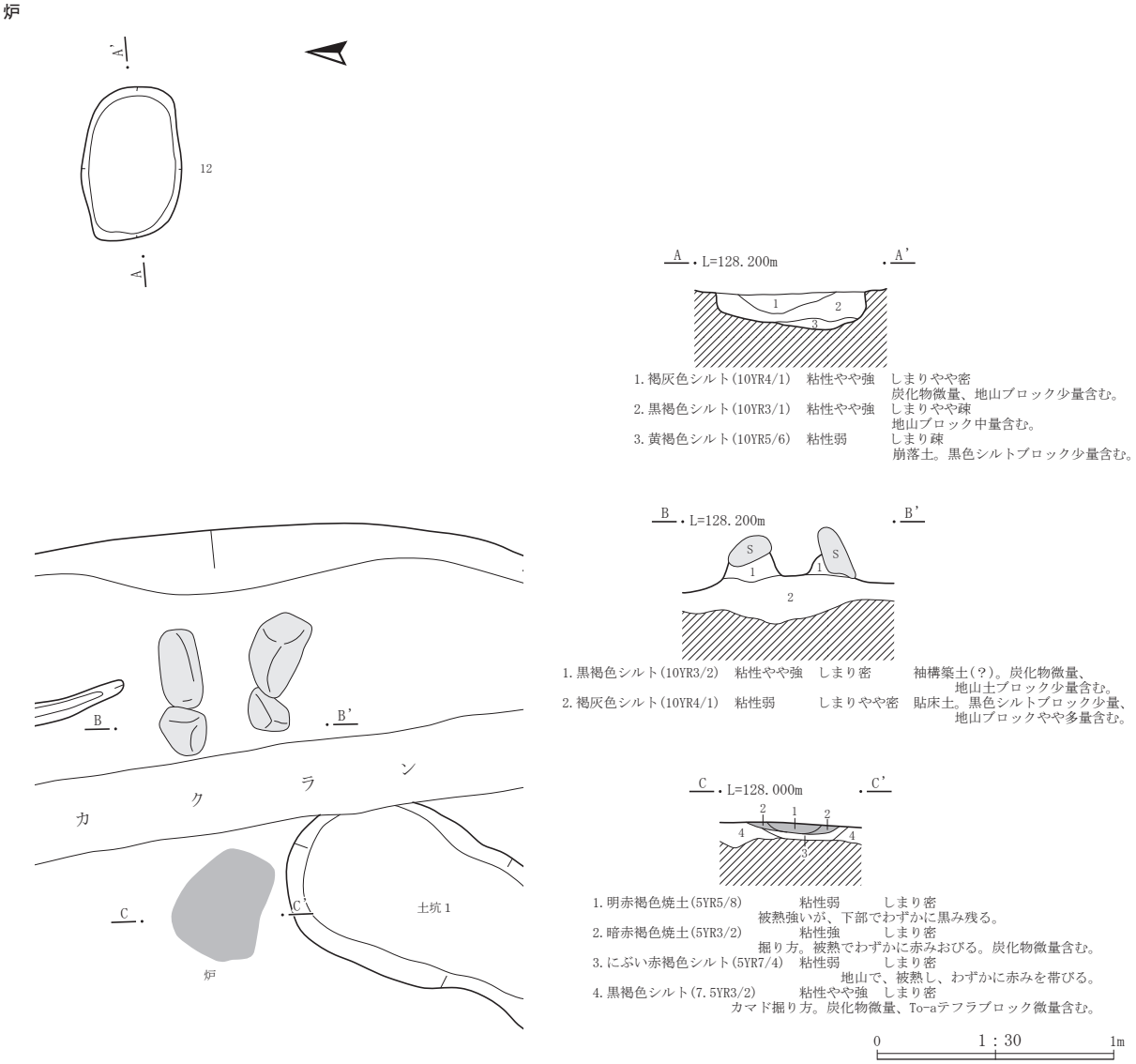
は甕の底部片であるが。底面の内面には放射状の刻みが残る。

須恵器は坏（1143）、長頸瓶（1134～1137）、瓶類（1139・1141）、甕（1138・1142・1144・1145）がある。1135は頸部片であるが、外面に「×」の刻書が見受けられる。1138は外面に自然釉が残る。1139～1141は底面に高台を持つ。1143は坏と判断した底部片である。1145は大甕で、埋土の上位から破片の状態で、まとまって出土した。（出土状況はカラー写真図版７参照）接合したところ、ほぼ完形であることが分かった。また破片の一部が53号竪穴建物跡から出土している。

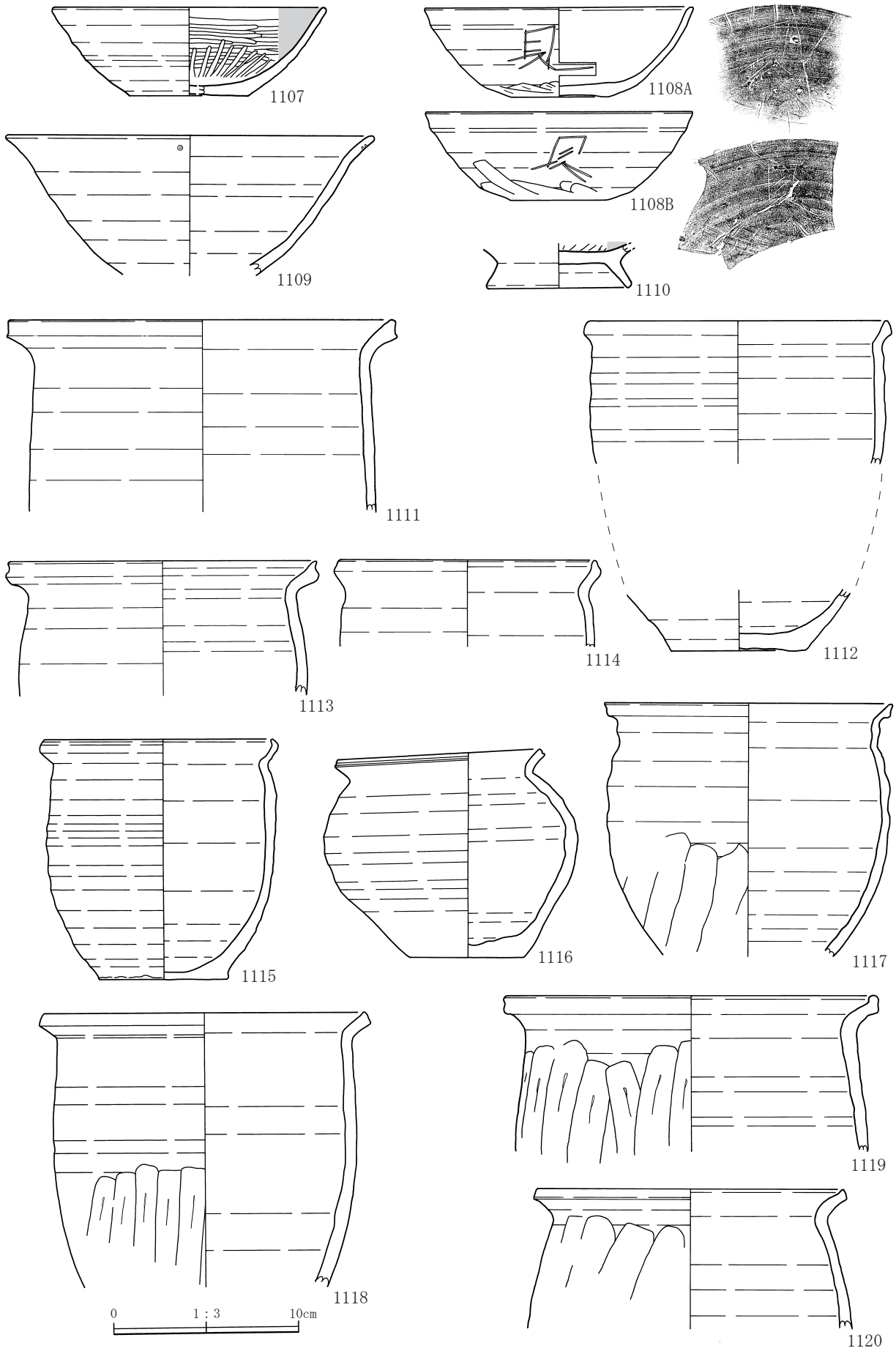
羽口は３点（1146～1148）が、床面上や土坑１などから出土している。いずれも破片である。

砥石が４点（1149～1152）、1149～1151が床面上、1152は埋土下位から出土している。凝灰岩・凝灰質砂岩製で、いずれも２面以上が研磨のため、面が大きく凹んでおり、かなり使い込まれていることが窺える。１棟の遺構の床面上ないし、それに近い埋土中からの出土量としては突出している。

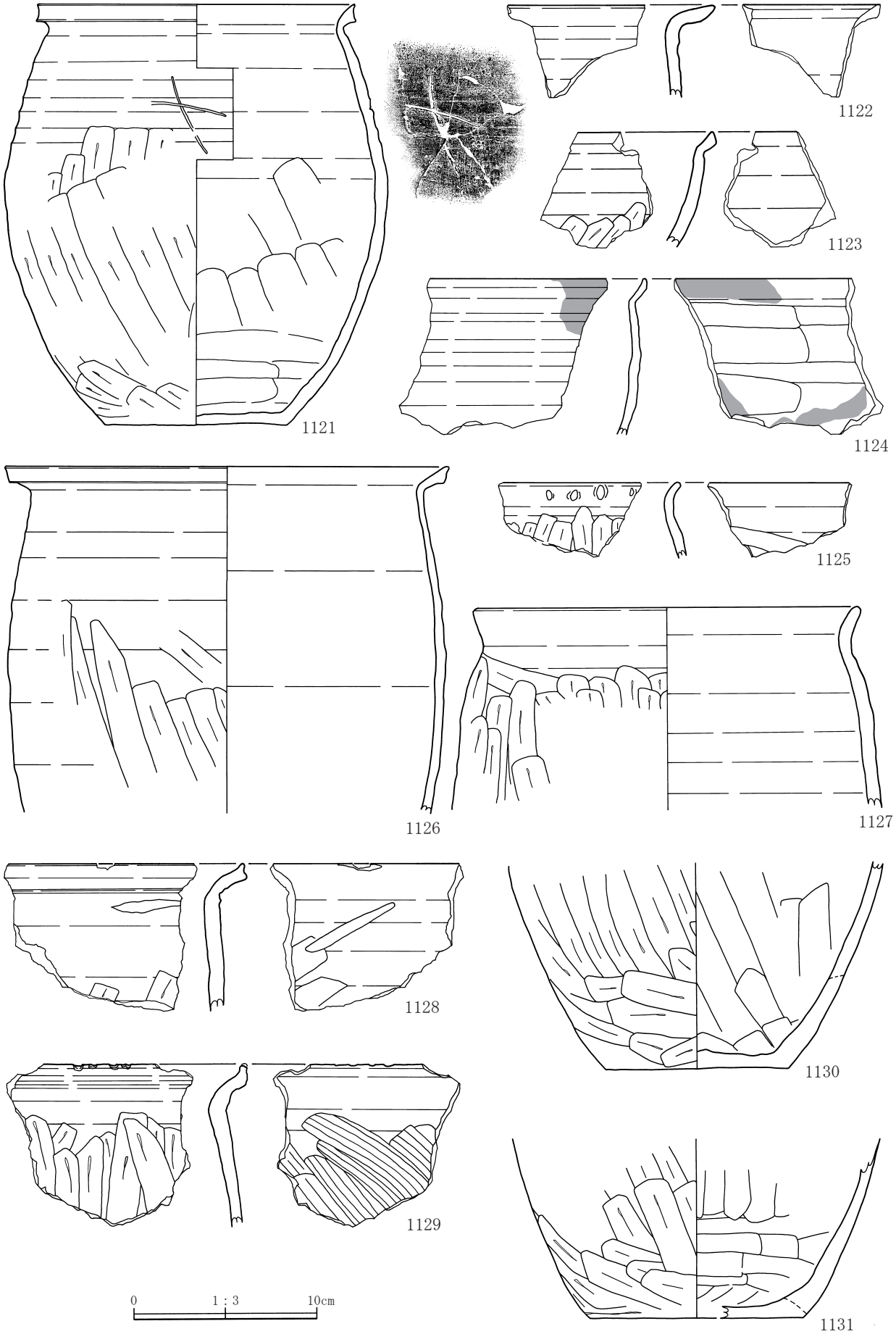
鉄製品は９点（1153～1161）、1160は貼床内から、他は埋土中から出土している。1153は紡錘車の紡輪部で、半分欠損する。1154は不明。何かの金具か。1155～1161は刀子である。砥石同様、刀子の出土量も突出している。ただし、いずれも欠損品である。1156は両端を欠損するが、柄に木質が残存し、また刃部付近にもわずかに木質が残るが、こちらは鞘の断片か。



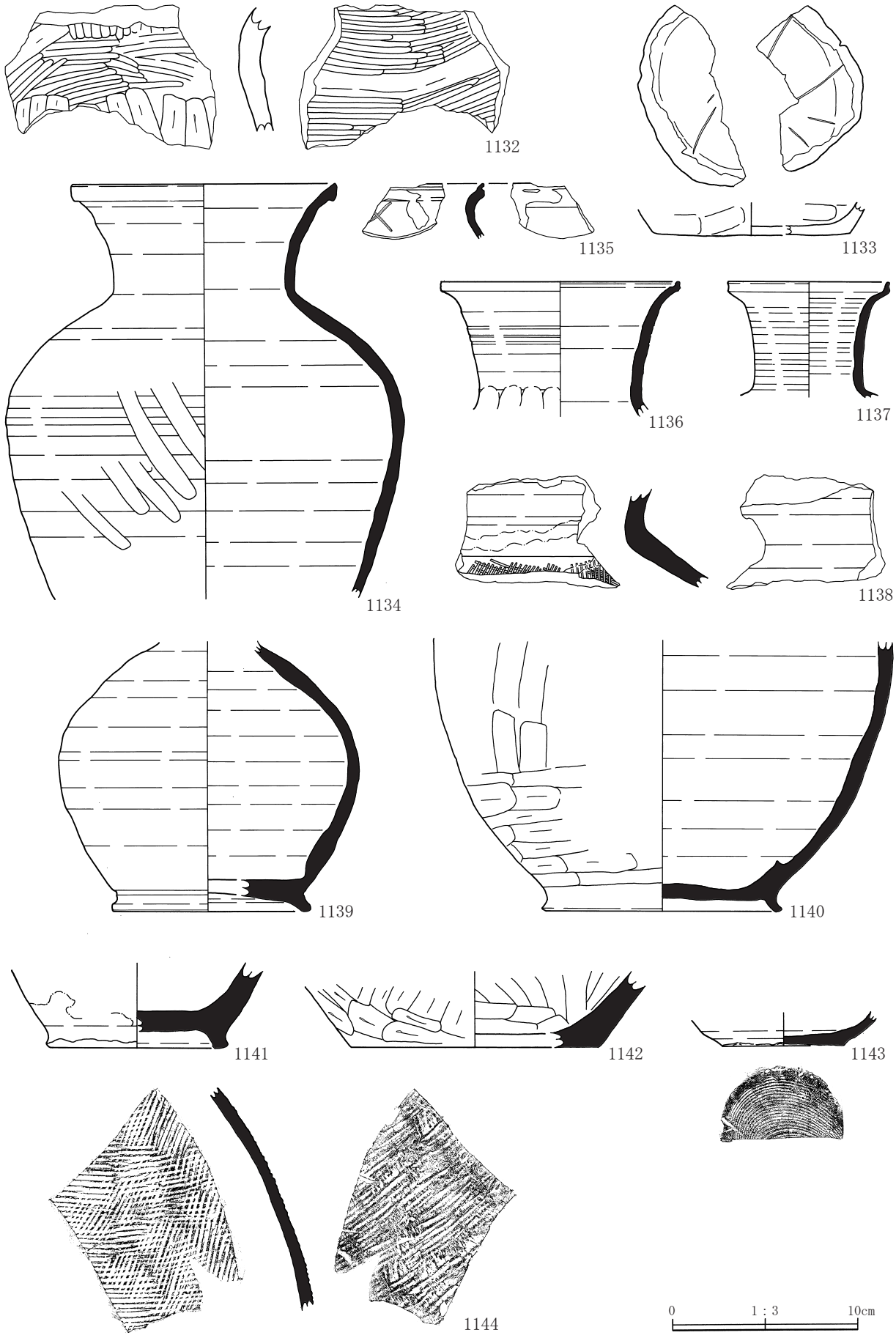
第230図　57号竪穴建物跡３



第231図　57号竪穴建物跡出土遺物1



第232図　57号竪穴建物跡出土遺物２

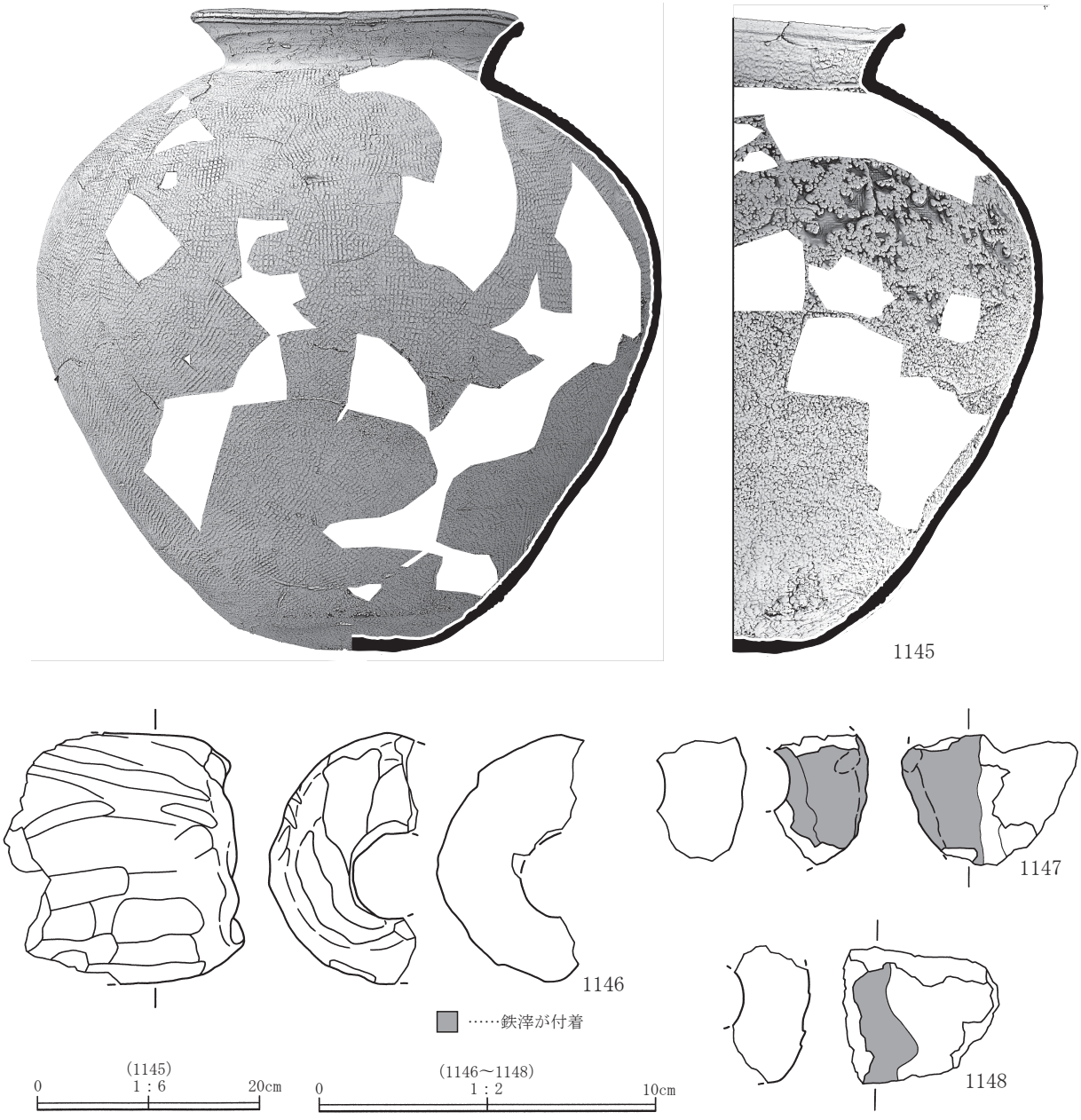


第233図　57号竪穴建物跡出土遺物３

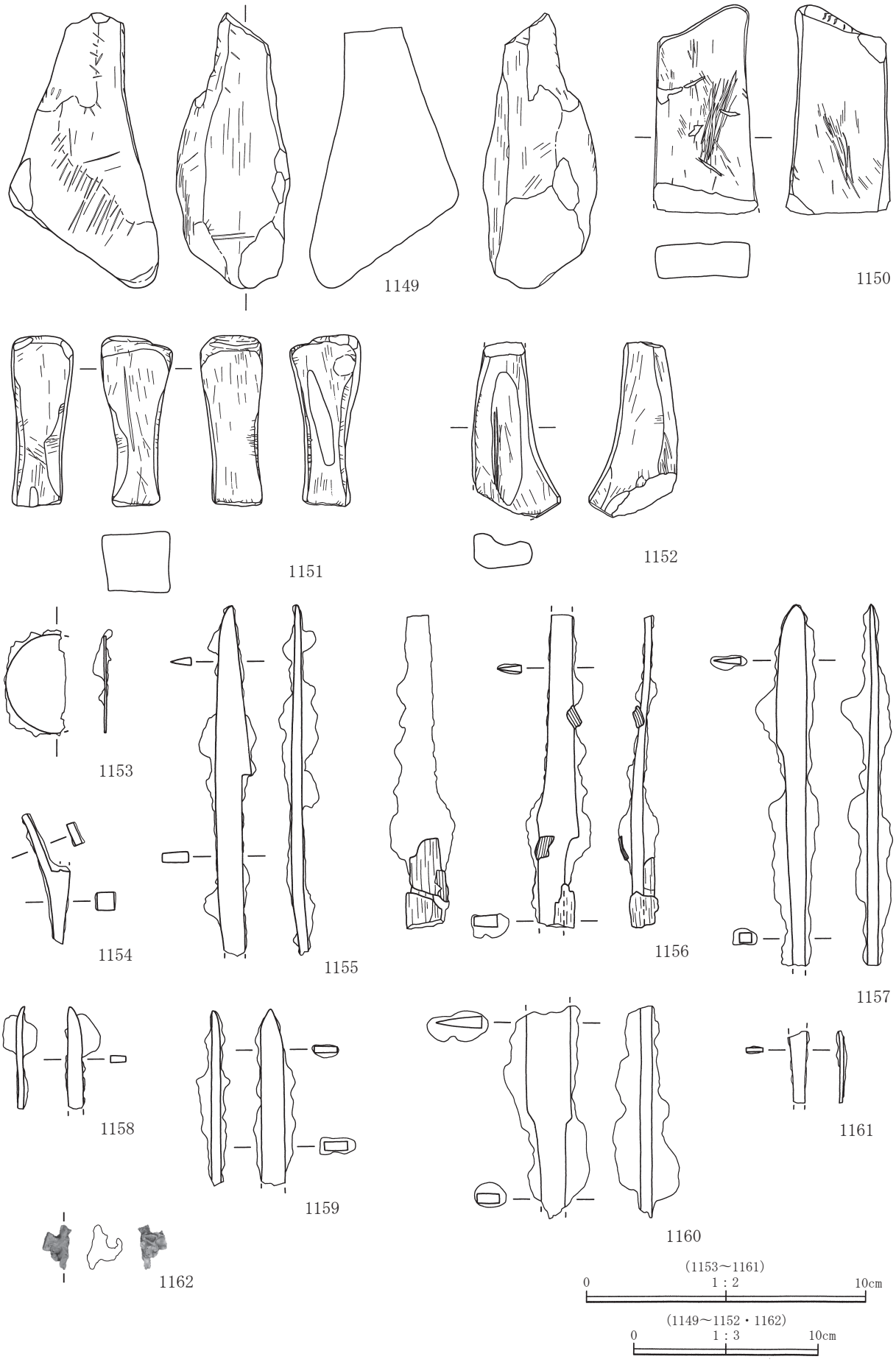
鉄滓は埋土中から４点出土し、そのうち１点（1162）を掲載した。大きい鉄滓だが、成分分析を行っており、第235図に図示したものは、成分分析した範囲が消失している。また分析によって、砂鉄製錬滓であるとの結果を得ている（第Ⅶ章-６）。

［性格］建物の形態が特異であり、また出土遺物の中には、砥石が４点、鉄製品は刀子が７点、鉄滓が４点含まれている。これらの点から、本遺構は鉄製品に関わる鍛冶工房であった可能性が高いと推測する。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。



第234図　57号竪穴建物跡出土遺物４



第235図　57号竪穴建物跡出土遺物5

58号竪穴建物跡（第236図、写真図版62・212）

［位置・検出状況］調査区中央の南寄りⅢＡ２k、ⅢＡ21グリッドに位置し、Ⅶ層上面で検出した。

［規模・平面形］北辺170cm、東辺220cm、南辺153cm、西辺223cmを測る。平面形は不整な隅丸正方形を呈し、床面積は3.9㎡を測る。

［埋土の状況］３層からなり、黒褐色、暗褐色シルトを主体とする。全体的に三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］Ⅶ層で検出した。床面は歪で、南側が一段高い。壁は全周する。北壁は直立気味だが、他は緩やかに開がりながら立ち上がる。壁高は最大17cmである。

［貼床］床面のほぼ全体に貼床される。貼床土は黒褐色シルトを主体とする。掘り方は歪で、深さは３～12cmである。

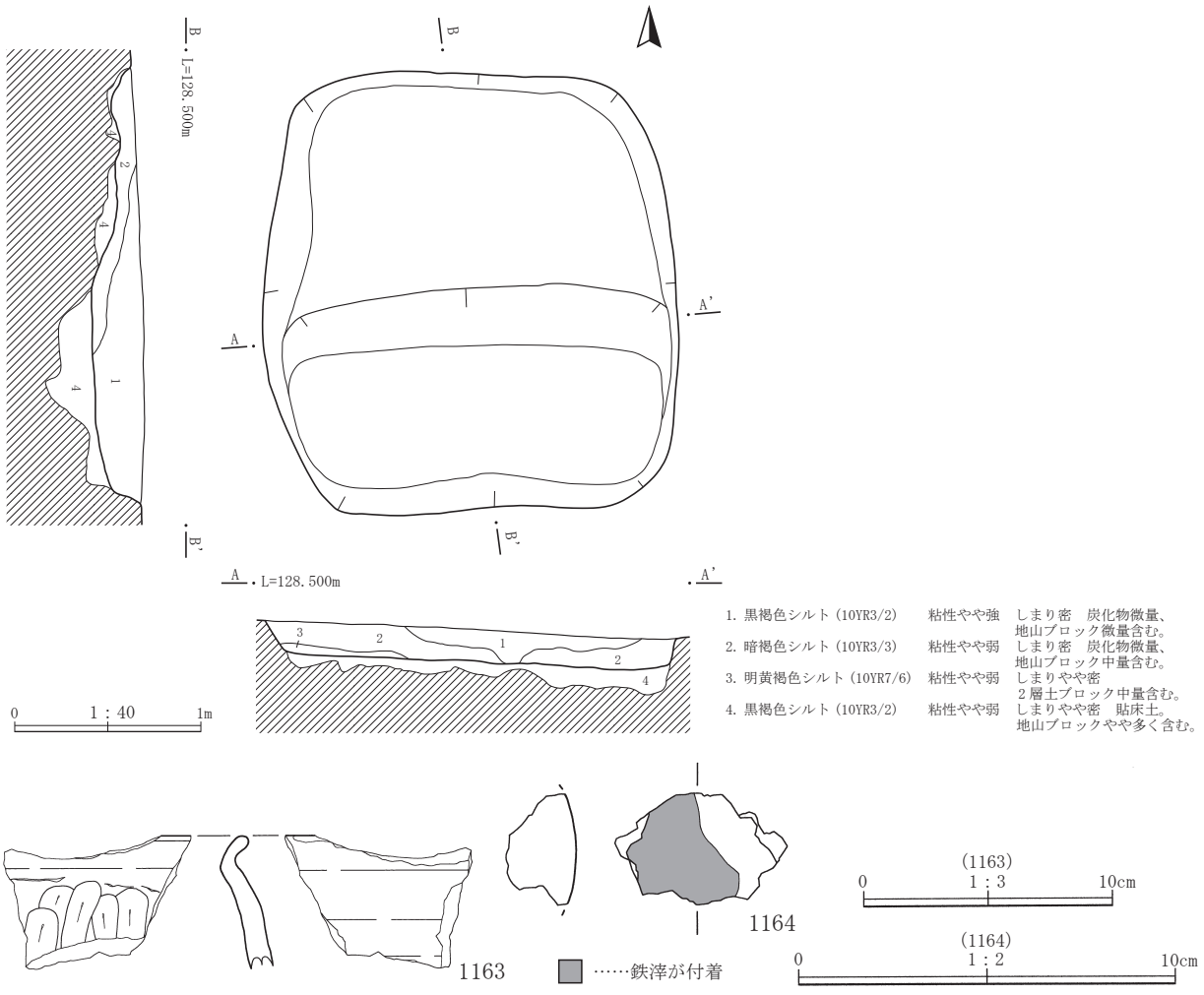
［カマド・炉］なし。

［土坑］なし。

［柱穴・壁溝］柱穴・壁溝共になし。

［出土遺物］古代土器838.9g分、羽口が出土している。出土量は少ない。

古代土器は土師器甕（1163）で、口縁部片である。口縁部が屈曲気味に外反する。ロクロ成形で、ケズリを施している。



第236図　58号竪穴建物跡・出土遺物

羽口は体部破片（1164）が、埋土中から出土している。外面の一部のみで、口径は不明である。先端部付近であり、鉄滓が付着する。

［時期］出土した遺物からは不明瞭だが、古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

59号竪穴建物跡（第237～239図、写真図版63・212）

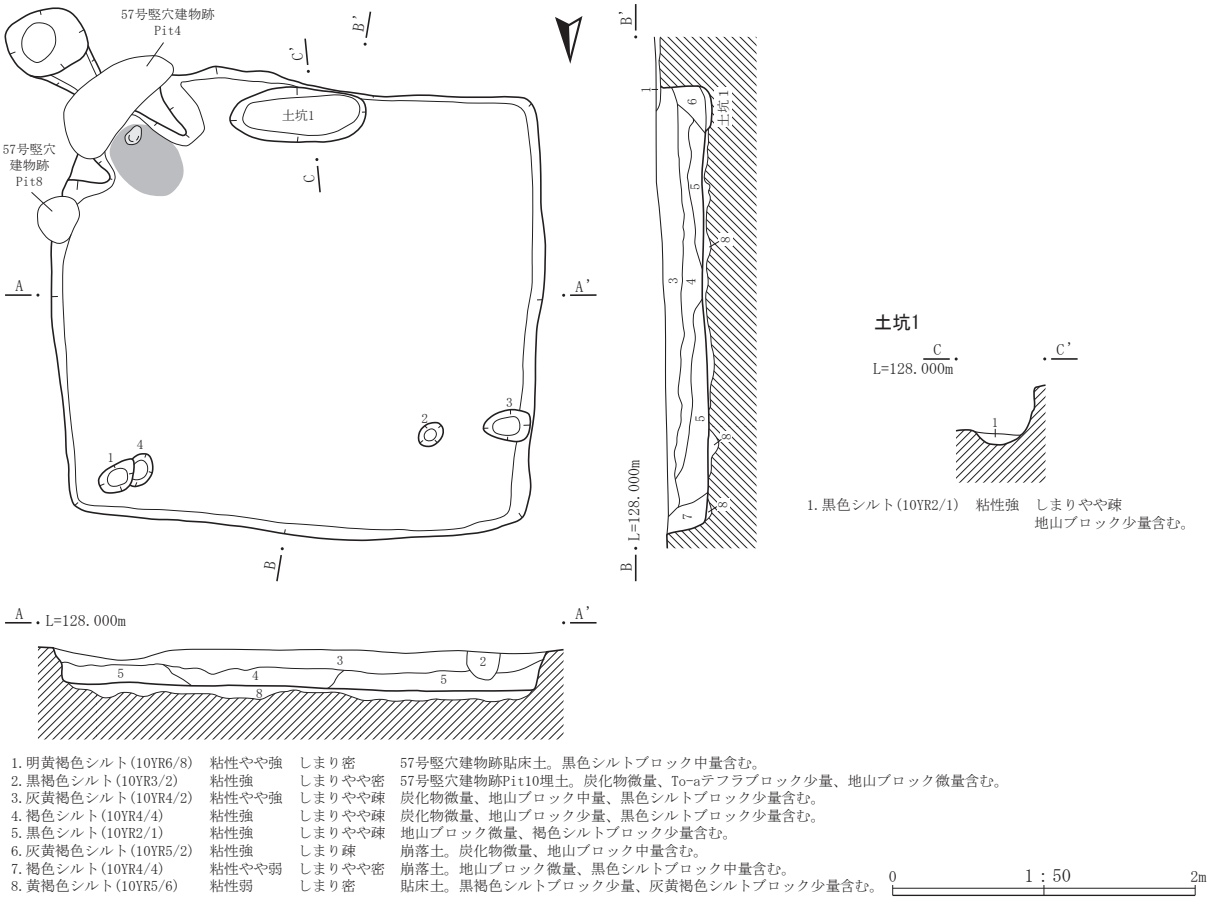
［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅢＡ１h、ⅢＡ１i、ⅢＡ２h、ⅢＡ２iグリッドに位置する。57号竪穴建物跡の床面で、別の竪穴建物跡のプランを確認し、本遺構とした。59号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が古い。

［規模・平面形］北辺295cm、東辺〈234〉cm、南辺〈235〉cm、西辺278mを測り、不整な正方形を呈する。床面積は8.4㎡である。

［埋土の状況］５層（３～７層）からなり、灰黄褐色、褐色シルトを主体とする。本遺構は57号竪穴建物跡の構築の際、人為的に埋めたものと推測する。

［床面・壁］Ⅶ層で検出した。床面は若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は57号竪穴建物跡の柱穴（Pit８）に壊された範囲を除き、全周する。わずかに外へと開くが直立気味である。壁高は最大33cmである。

［貼床］床面の全面に貼床される。貼床土は黄褐色シルトを主体とし、黒褐色シルトや灰黄褐色シルトが混じる。掘り方はやや歪で、深さは２～10cmである。



第237図　59号竪穴建物跡１

［カマド・炉］カマドが南東隅に付く。カマドの中心は57号竪穴建物跡の柱穴（Pit 4 ）に壊されているが、燃焼部焼土面と袖、煙道が残存する。

燃焼部焼土面は52×38cmを測る。被熱は強く、褐色～明赤褐色を呈する。被熱深度は 7 cmである。

袖は、両袖とも手前側が残存する。どちらも構築土のみで、芯材礫は見受けられない。構築土は赤褐色シルトや黒褐色シルトで、被熱により赤色に変色している。

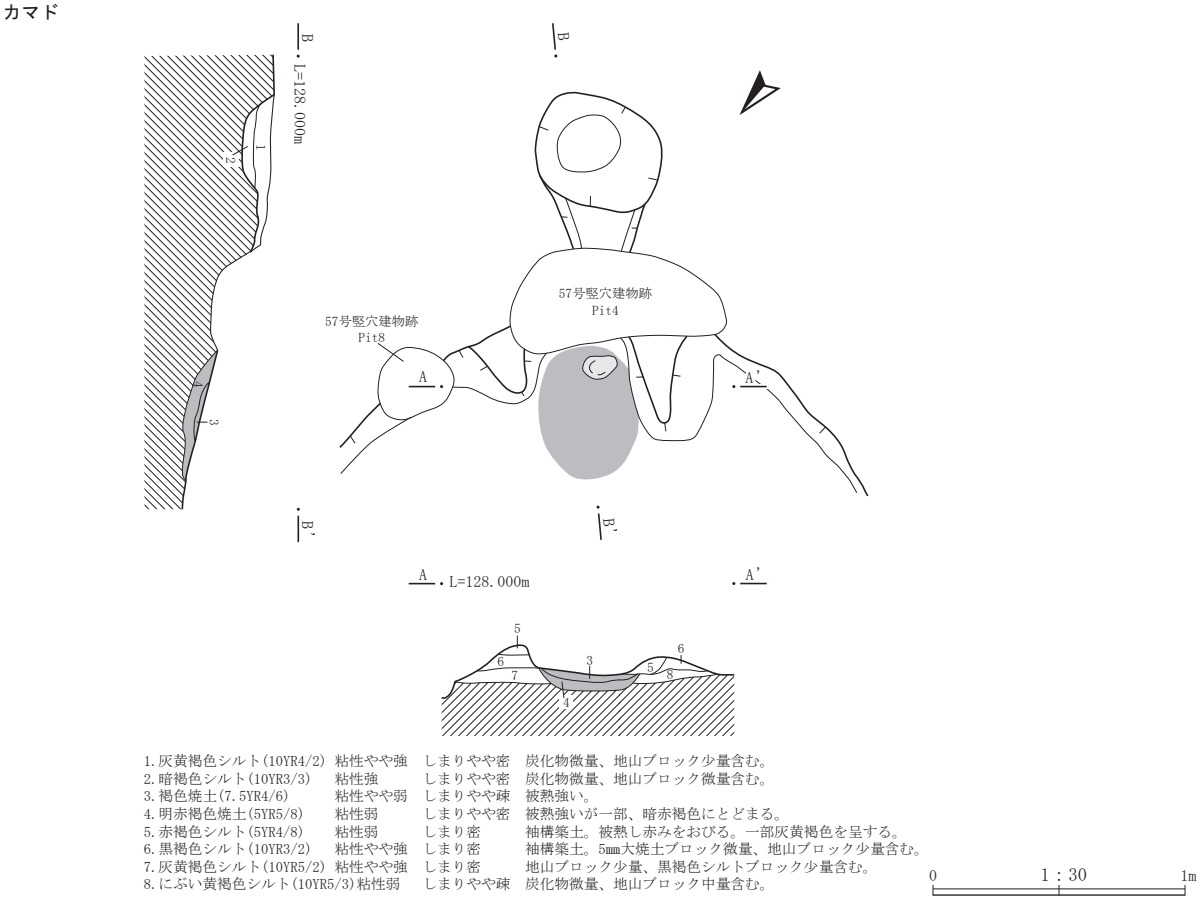
煙道は壁から58cm残存する。壁からの連結部は57号竪穴建物跡の柱穴（Pit 4 ）に壊されている。残存した範囲から、焼土面よりも10cm以上段差があり、10°ほど上へと傾斜し、煙出しピットに至るものと推測する。煙出しピットは50×40cmの楕円形で、煙道より 6 cm深い。

［土坑］ 1 基検出した。南壁際のほぼ中央に付く。91×37cmの楕円形で、深さ 7 cmである。用途は不明である。

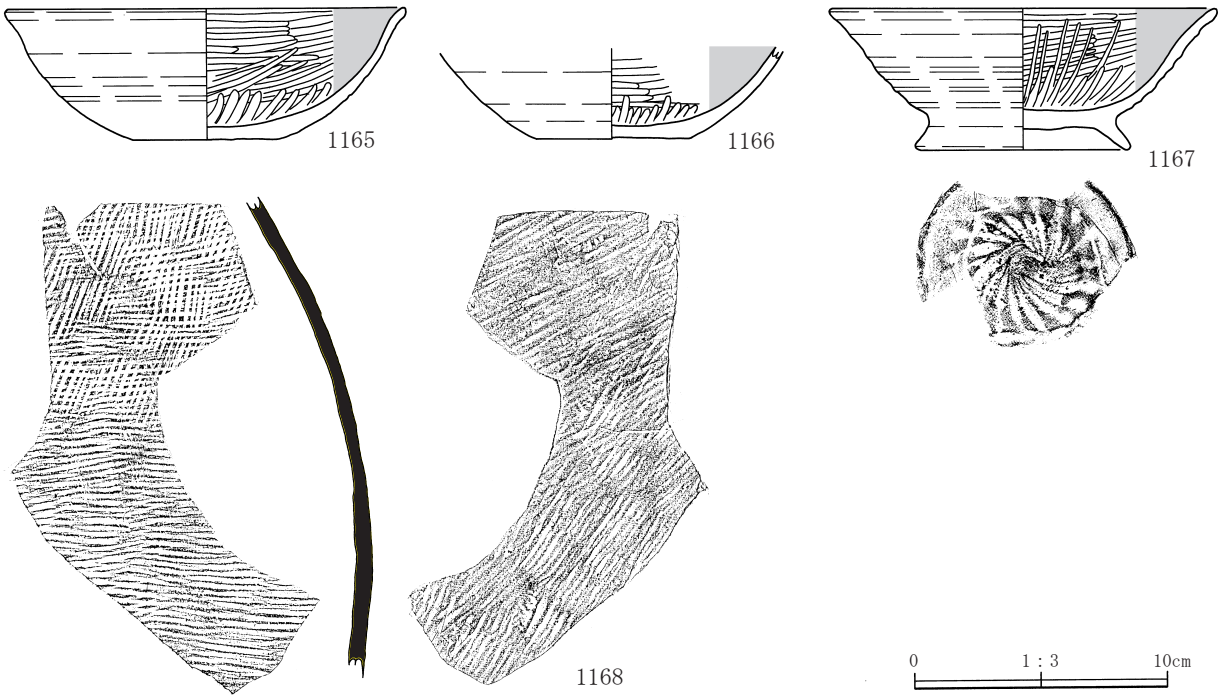
［柱穴・壁溝］柱穴は 4 個検出した。全て北側に寄る。規則的な柱配置は見いだせず、またPit 1 とPit 4 は重複している。

［出土遺物］古代土器1383.8g分がある。出土量は少ない。埋土中出土が多く、カマド周辺からの出土は少ない。

土師器は、坏（1165・1166）、台付坏（1167）で、須恵器は大甕（1168）がある。土師器坏・台付坏は、ともにロクロ成形で内面に黒色処理が施される。1167は底部に菊花状痕跡が残る。須恵器は大



第238図　59号竪穴建物跡 2



第239図　59号竪穴建物跡出土遺物

甕（1168）の胴部片で、内外面にタタキが残る。

［性格］竪穴建物跡の床面上で検出した竪穴建物跡は、本遺構のみである。単体の竪穴建物跡ではなく、57号竪穴建物跡に付属する何らかの施設である可能性もある。

［時期］重複する57号竪穴建物跡の時期と、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

60号竪穴建物跡（第240～244図、写真図版64・212・213）

［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅢＡ４g、ⅢＡ４h、ⅢＡ４i、ⅢＡ４j、ⅢＡ５g、ⅢＡ５h、ⅢＡ５i、ⅢＡ５j、ⅢＡ６g、ⅢＡ６hグリッドに位置する。Ⅶ～Ⅷ層上面で黒色のプランで検出した。後世の削平により、遺構の上部は消失し、また一部カクランに壊されている。

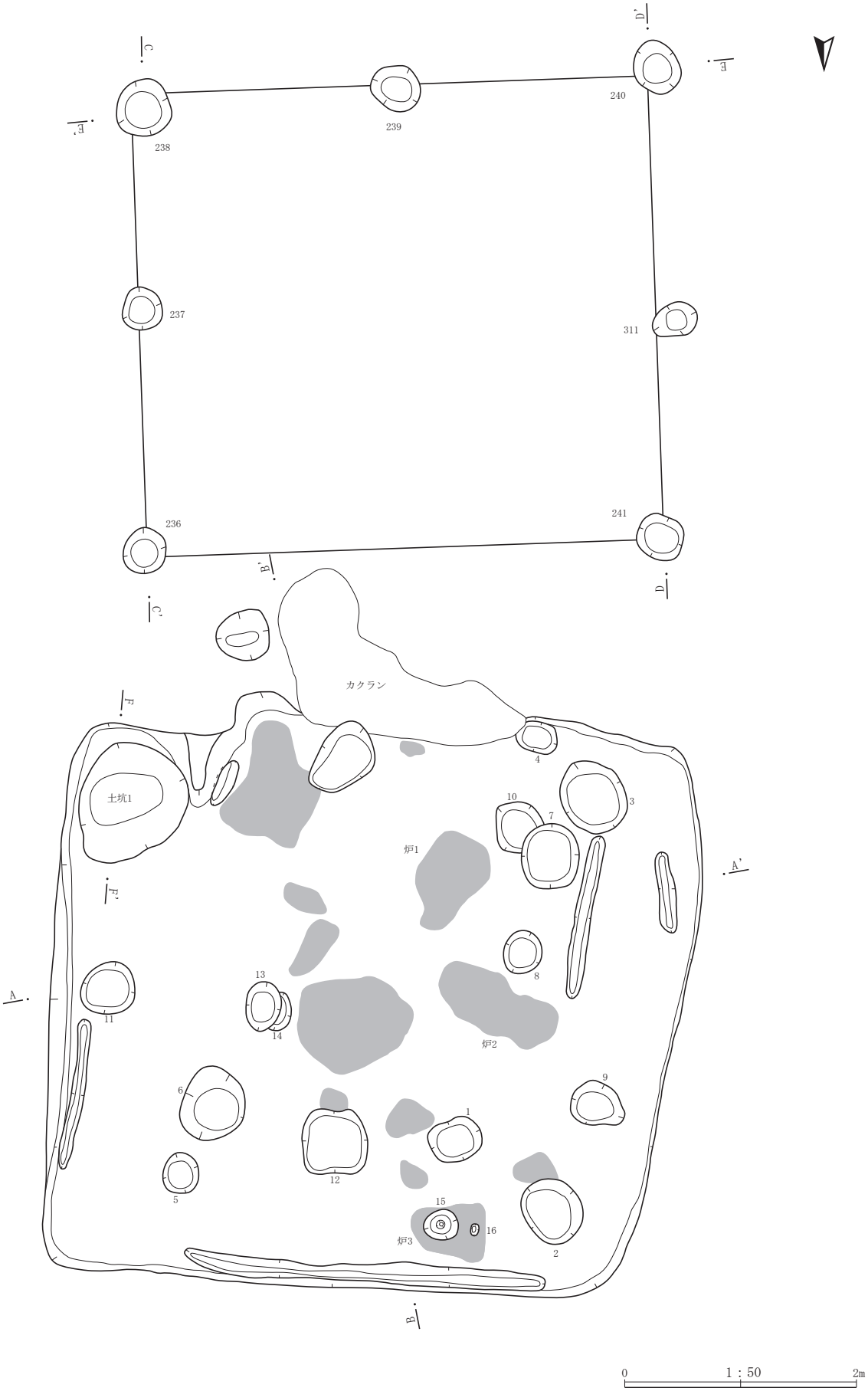
本遺構は、竪穴建物跡と掘立柱建物跡が連結する「竪穴・掘立柱併用建物」である。

［規模・平面形］竪穴部は、北辺458cm、東辺464cm、南辺504cm、西辺466cmを測り、やや歪だが隅丸の正方形を呈する。床面積は24.2㎡である。

［埋土の状況］遺構の上部は消失しているが、残存部は５層からなる。褐灰色、黒褐色シルトを主体とし、炭化物や地山ブロックが混じる。壁際の４・５層が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと判断した。

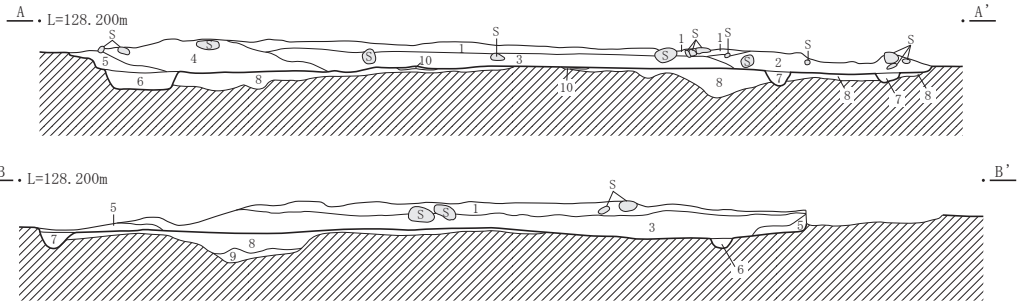
［床面・壁］Ⅶ～Ⅷ層で検出した。床面はほぼ平坦であるが、北側がわずかに低い。壁はカクランに壊された範囲を除き、全周するが、ほとんど消失しており、床面からの立ち上がりを確認したに過ぎない。ほぼ直立気味と推測する。壁高18cmが残存する。

［貼床］床面中央の一部と南側を除き、貼床が施される。貼床土は黒褐色、明黄褐色シルトを主体とし、炭化物や焼土粒が混じる。掘り方は壁際が深く、中央に向かい浅くなる傾向がある。深さは２～20cmである。



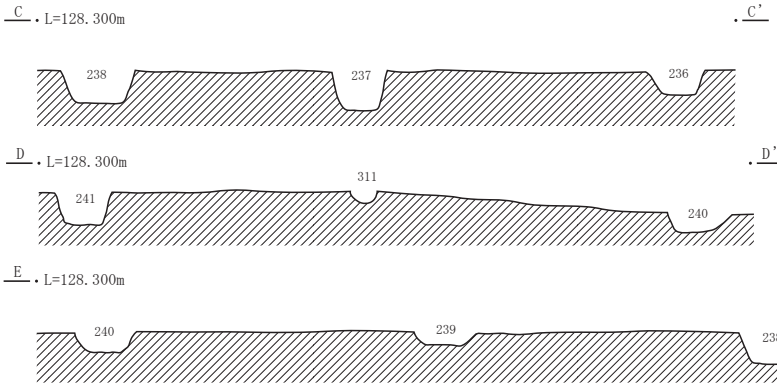
第240図　60号竪穴建物跡1

竪穴部

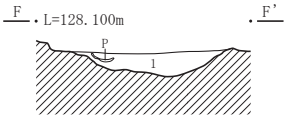


1. 褐灰色シルト(10YR4/1)　粘性弱　しまりやや密　明黄褐色シルトブロック少量、礫少量含む。
2. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、焼土ブロック微量、地山ブロック少量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
5. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物少量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
6. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、焼土粒少量含む。柱穴埋土。上部は被熱し、一部赤みをおびる。
7. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)　粘性弱　しまり疎　壁溝埋土。炭化物微量含む。
8. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや疎　貼床土。焼土粒少量、地山土粒中量、黒色シルトブロック少量、黄橙色細砂中量含む。
9. 明黄褐色シルト(10YR7/6)　粘性弱　しまりやや疎　貼床土。炭化物微量、黒色シルトブロック少量含む。
10. 橙色焼土(5YR6/8)　粘性弱　しまり疎　床面（地山）が被熱で赤みをおびる。被熱は強い。

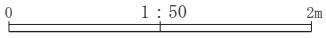
掘立柱部



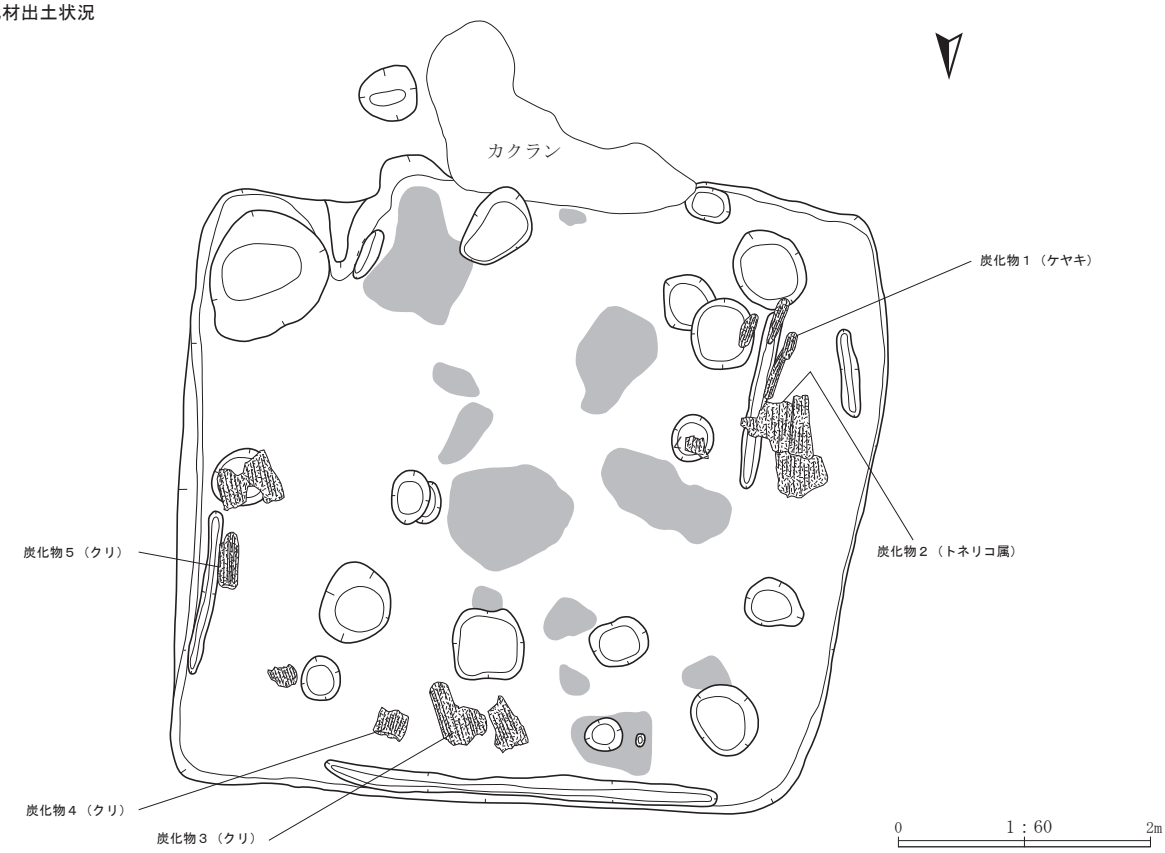
土坑1



1. 黒褐色シルト(7.5YR3/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化材少量、地山ブロック微量含み、土器片混じる。



炭化材出土状況



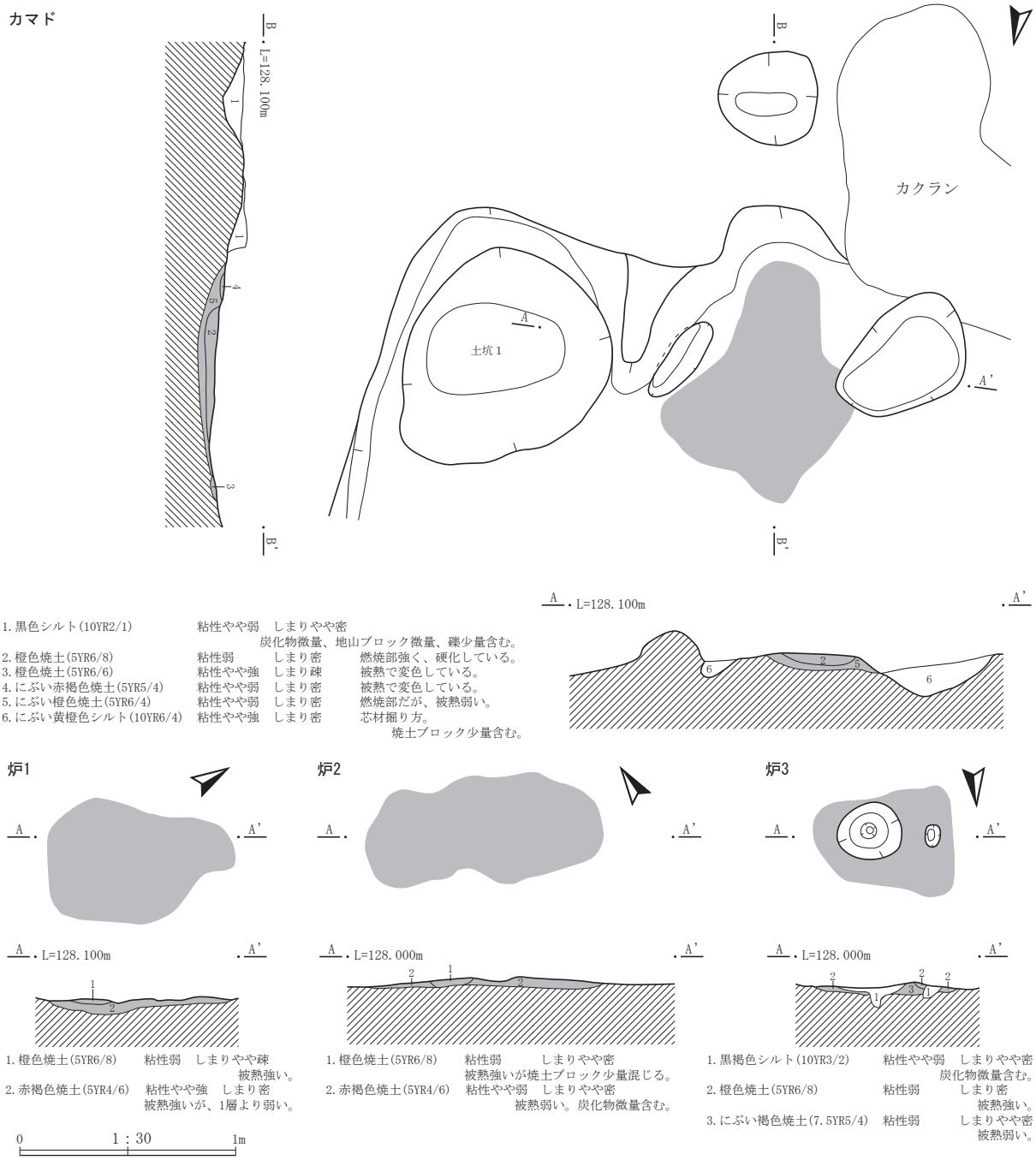
第241図　60号竪穴建物跡２

［カマド・炉］カマドが南壁の東寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙出しを検出した。

燃焼部焼土面は111×90cmを測る。被熱は強く、硬くしまっており、橙色を呈する。被熱深度は８cmである。

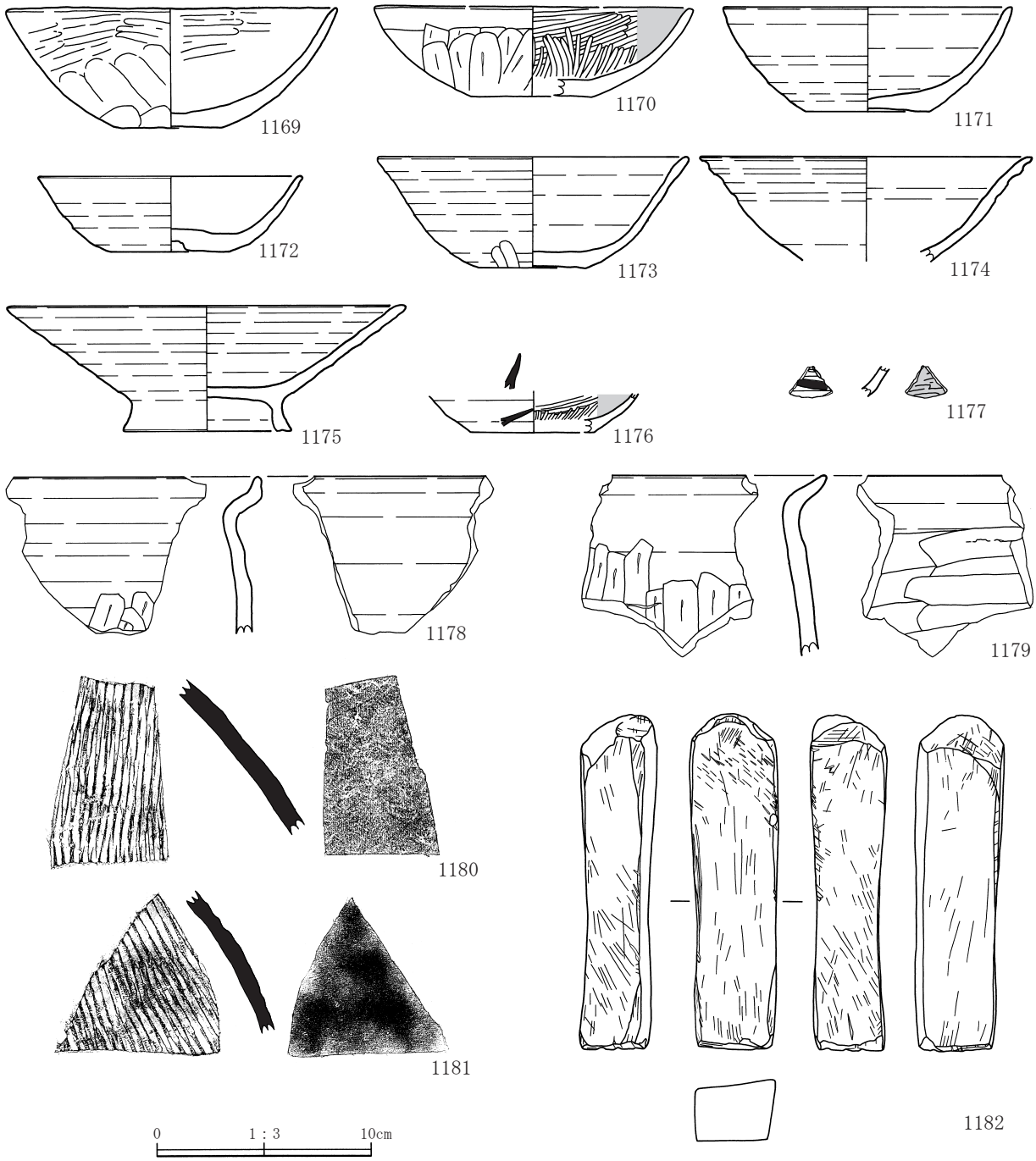
袖は東袖のみ検出した。地山を削り出して構築している。袖の脇（焼土側）に40×12cmの掘り込みがあり、また西袖に相当する範囲にも、65×48cmの掘り込みがある。どちらも芯材の掘り方の可能性がある。

煙道は南壁から20cm外側にのびる。燃焼部焼土面からは、ゆるやかに上がり、30cm外側に47×42cmの掘り込みがあり、煙出しピットと推定した。

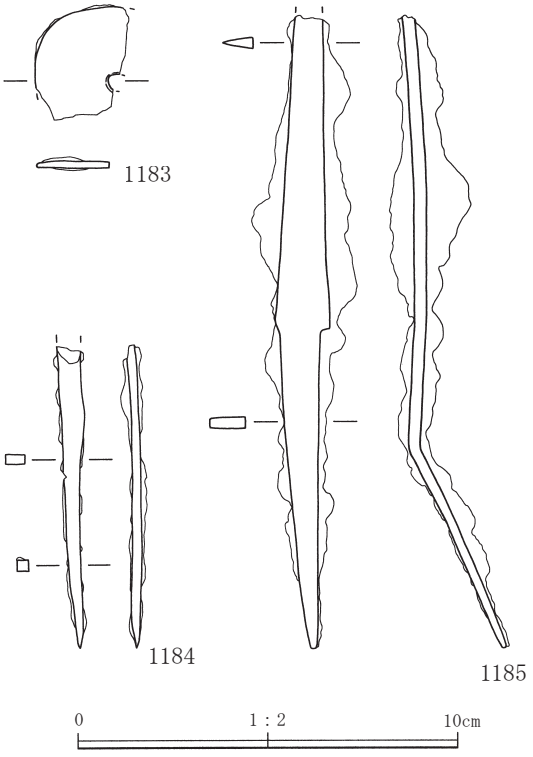


第242図　60号竪穴建物跡３

また床面の中央から南北方向にかけ、11箇所の被熱痕（焼土）を検出した。このうち、特に被熱が強く、被熱深度が深いもの３箇所は「炉」と考え、断面を図示した（第242図）。炉１は床面中央に南西寄りに位置する。87×53cmを測る。炉２は床面中央の西寄りに位置し、110×50cmを測る。どちらも歪な楕円形を呈する。炉３は北壁際の西寄りに位置する。63×52cmで不整な楕円形を呈し、Pit15・16に壊されている。炉１～３共に被熱が強く、橙色を呈し、被熱深度は５～７cmである。他の焼土８箇所は、主に炉１～３の周辺からカマドまでの範囲に分布する。規模は20～100cm大と様々で、平面形も不整形であるが、被熱は強く、いずれも赤褐色か橙色を呈する。被熱深度は２cm前後である。



第243図　60号竪穴建物跡出土遺物１



第244図　60号竪穴建物跡出土遺物２

［土坑］１基検出した。カマドの東側に付く。110×91cmの不整な楕円形で、深さ15cmを測る。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］竪穴部の床面で柱穴を16個検出した。床面の全体に分布するが、南東側にはなく、柱配置は不明である。Pit７・10と13・14は重複し、Pit12やPit15・16は炉や焼土を切っている。

壁溝は南壁を除いて巡っている。ただしどれも部分的で、長さ70～300cmである。なお西壁は２条見受けられた。

［そのほか］床面上の壁際で、柱状や板状の炭化材が多く出土した（第241図下）。これらのうち５点について、樹種同定分析を試み、クリ・ケヤキ・トネリコであるとの結果を得ている（第Ⅳ章－４）。建築材、燃料材、どちらかは不明だが、これらは壁溝や柱穴の上から出土しており、したがって遺構の廃絶後に廃棄されたものと推測する。

［掘立柱部］柱穴７個（Pit236～241・311）で構成される。梁間二間（385cm）×桁行二間（450cm）で、床面積は18.2㎡である。柱穴は径40cm大で、深さ10～25cm、埋土の様相は図示していないが、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］古代土器4204.4g分、砥石、鉄製品が出土している。埋土の多くが消失しているわりに、出土遺物が多かった。

土師器は、坏（1169～1174・1176・1177）、台付坏（1175）、甕（1178、1179）がある。1169・1170は非ロクロ成形である。1169は内外面にミガキを施すが、内面に黒色処理は施さない。その他はロクロ成形の坏で、1176・1177は墨書土器である。どちらも小片であるが、同一個体の可能性が高い。文字は不明である。甕は（1178・1179）はどちらも口縁部片で、ロクロ成形、胴部下半はケズリ成形を施す。須恵器は大甕の胴部片（1180・1181）で、どちらも外面にタタキ、内面には当て具痕が見受けられる。

砥石（1182）が、土坑１から出土した。凝灰質砂岩製で４面を研ぎ面としている。非常に使い込まれており、研ぎ面が大きく凹んでいる。また端部にも研磨した痕跡が見受けられる。

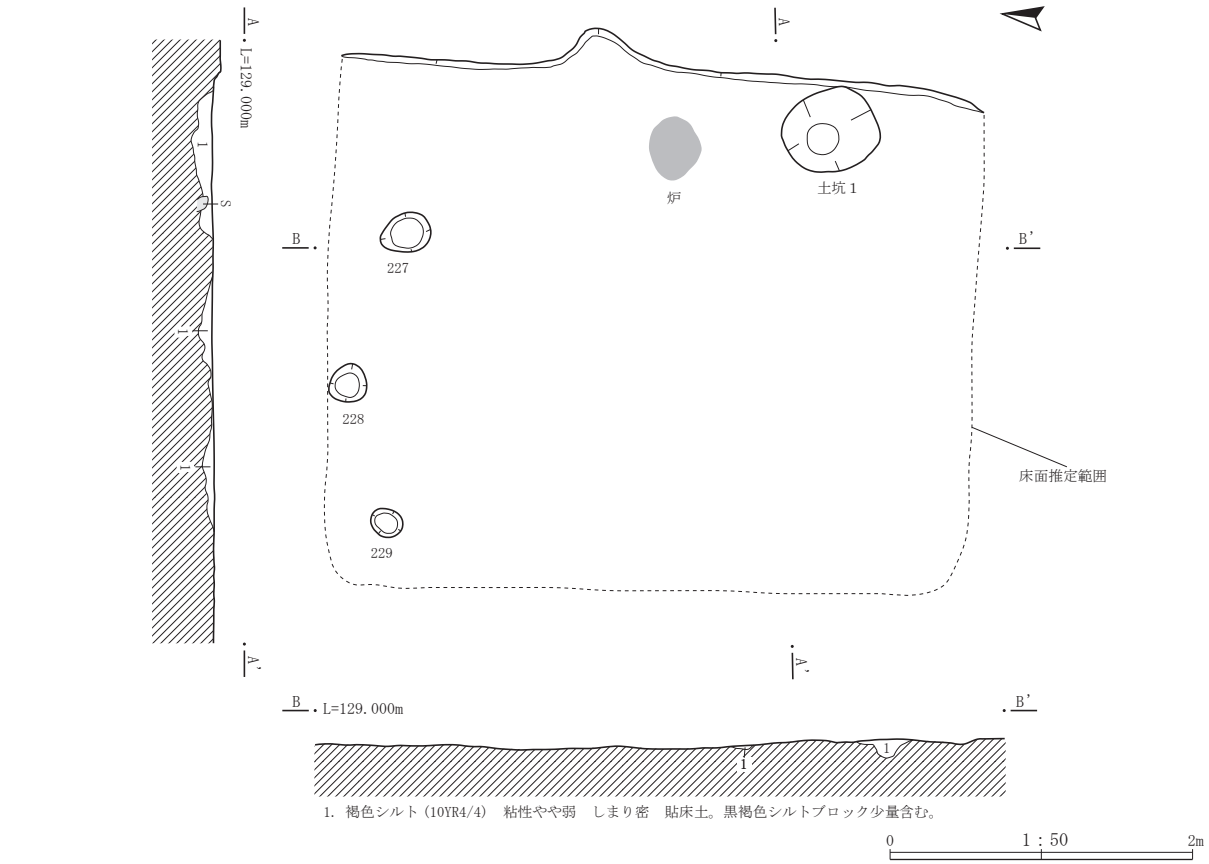
鉄製品は３点、床面上から埋土下位にかけて出土している。1183は紡錘車の紡輪部である。1184は棒状で、端部が欠損する。刀子の基部と推測するが、やや細いので、別の器種の可能性もある。1185は刀子である。刀部が欠損し、柄の部分は折れ曲がっている。

［性格］床面に多数の炉や焼土が確認され、また出土遺物に砥石が含まれることから、本遺構は、鉄製品に関わる作業を行う工房跡ではないかと推測する。

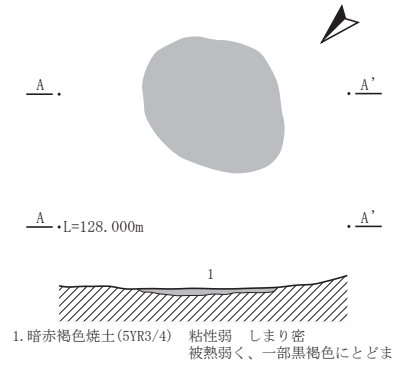
［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

61号竪穴建物跡（第245・246図、写真図版65・213・214）

［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅢＡ６g、ⅢＡ７f、ⅢＡ７gグリッドに位置する。後世の削平が

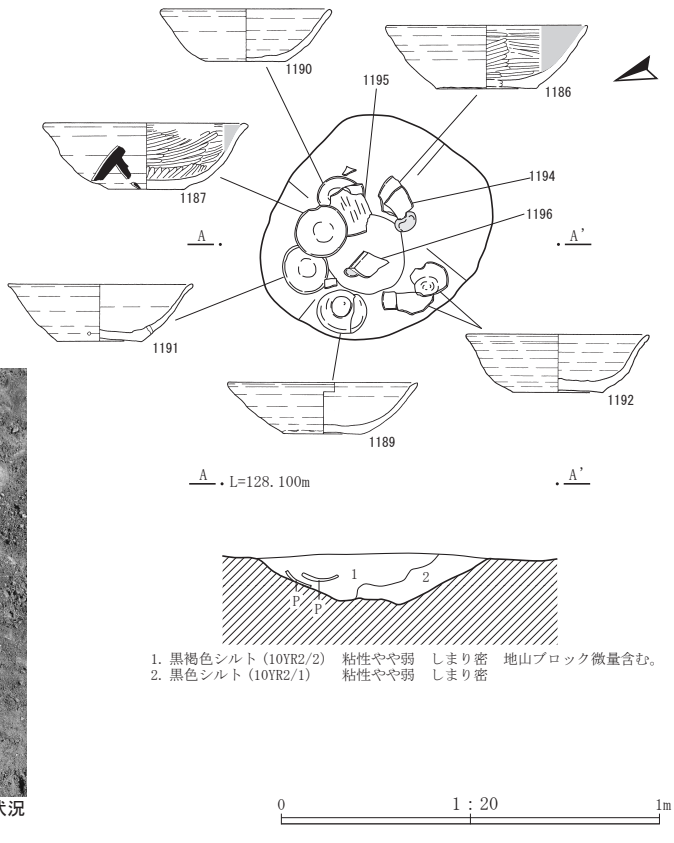


炉

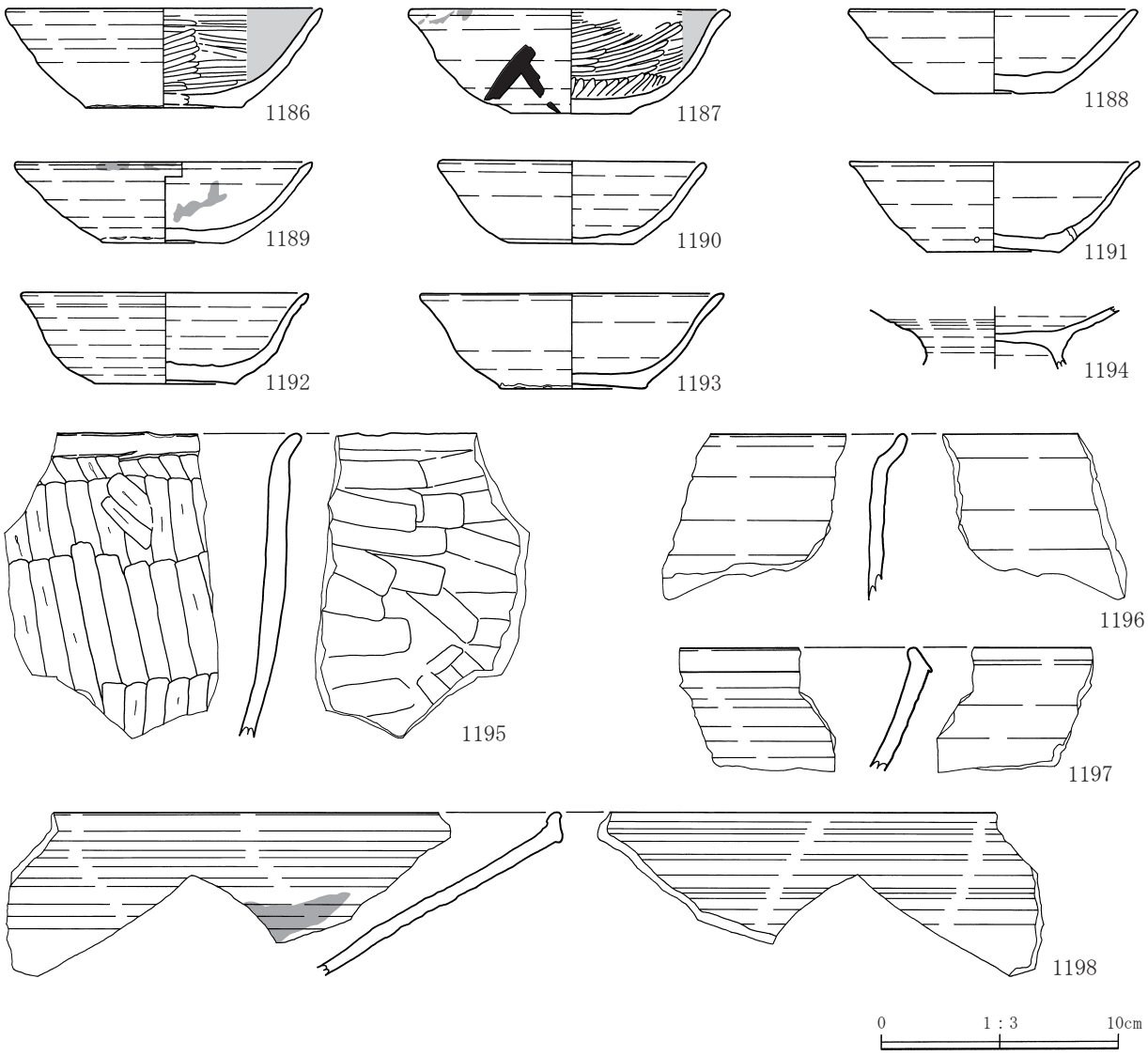


土坑１遺物出土状況

土坑１



第245図　61号竪穴建物跡



第246図　61号竪穴建物跡出土遺物

激しい場所だが、Ⅷ層上面で炉と土坑が並んでいるのを確認し、また壁の一部と柱穴を検出したので、本遺構とした。なお床面については付属施設の位置から推測したにすぎない。

［規模・平面形］北辺不明、東辺〈420〉cm、南辺不明、西辺不明で、長方形であったと推測する。深さは不明。床面積は〈14.7〉㎡が残存する。

［埋土の状況］消失しており、不明である。

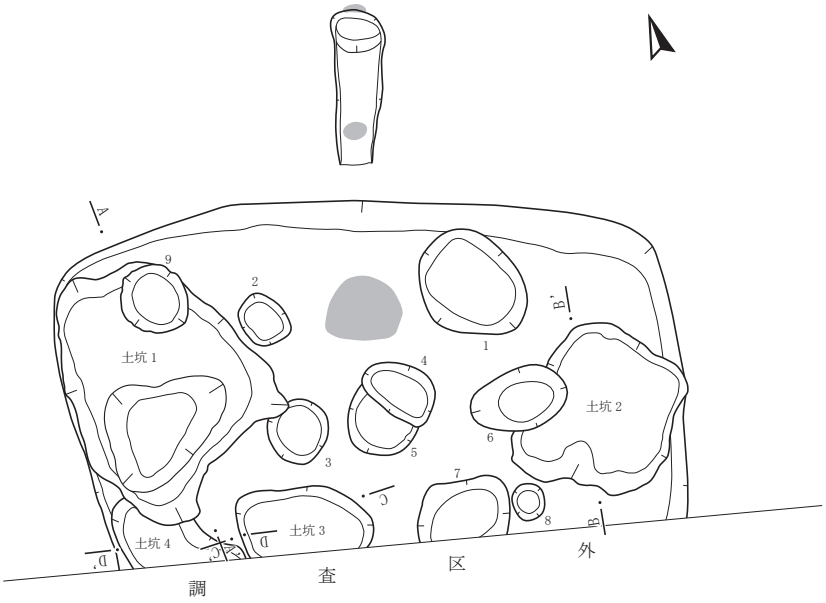
［床面・壁］Ⅷ層面で検出した。床面はほぼ平坦であるが、削平を受けている可能性がある。壁は東壁が残存するが、ほとんど消失しており、床面からの立ち上がりを確認したに過ぎない。緩やかに広がりながら立ち上がるものと推定される。壁高６cmが残存する。

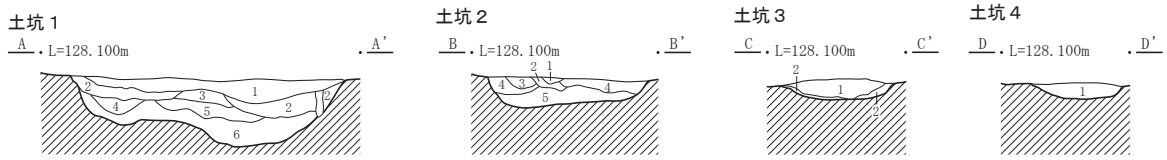
［貼床］残存する床面の南側で貼床の一部を確認した。貼床土は褐色シルトを主体とし、黒褐色シルトが混じる。掘り方は歪で、深さは２～10cmである。

［カマド・炉］炉が東壁の南寄りに付く。44×35cmを測る。被熱は弱く、暗赤褐色を呈し、一部は黒褐色が残る。被熱深度は３cmである。カマドの燃焼部焼土面であった可能性があるが、袖や煙道はなく、炉とした。

［土坑］１基検出した。東壁の南端に付く。61×57cmの不整な楕円形で、深さ14cmを測る。埋土中から多量の古代土器が出土しており（第245図左下写真）、特に土師器のロクロ成形坏が多く、器形が分かるものだけでも６点（1186・1187・1189～1192）を数える。
［柱穴・壁溝］後日の検討で、床面の推定範囲内から柱穴３個（227～229）を検出した。全て北壁際である。壁溝は見受けられなかった。
［出土遺物］古代土器1591.6g分が出土している。埋土が消失しているため、概ね土坑１出土が相当し、また一部床面上から出土している。
古代土器は全て土師器で、1193以外は、全て土坑１から出土している。器種は坏（1186～1193）、台付坏（1194）、甕（1195～1197）、鉢（1198）がある。坏はロクロ成形で内面に黒色処理が施されるものとロクロ成形のみがある。また1187は墨書土器である。文字は「人」か。1189は口縁部に油煙跡がつく。灯明皿と推測する。1191は胴部に穴があいている（失敗品か）。甕はロクロ成形、非ロクロ成形の両方見受けられる。1198はロクロ成形の鉢の口縁部片で、推測される口径はかなり大きいものと推測する。
［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

62号竪穴建物跡（第247・248図、写真図版66・214）
［位置・検出状況］調査区中央東寄りⅢＡ８j、ⅢＡ８k、ⅢＡ９j、ⅢＡ９kグリッドに位置する。Ⅶ層上面で検出した。土坑や柱穴の密集する範囲として調査していたが、カマドの燃焼部焼土面と煙道を確認し、竪穴建物跡と判断した。なお本遺構の南側半分は調査区外に及んでいる。
［規模・平面形］北辺390cm、東辺〈184〉cm、南辺不明、西辺〈200〉cmを測り、歪な正方形を呈する。深さは記録していない。検出できた範囲の床面積は〈7.9〉㎡である。
［埋土の状況］記録しておらず不明である。
［床面・壁］Ⅶ層面で検出した。床面はほぼ平坦であるが、削平を受けている可能性がある。壁は調査区外の範囲を除き、全周するが、ほとんど消失しており、床面からの立ち上がりを確認したに過ぎない。緩やかに広がりながら立ち上がるものと推定される。壁高２～４cmが残存する。
［貼床］見受けられなかった。
［カマド・炉］カマドが北壁の中央に付く。燃焼部焼土面と煙道を検出した。
燃焼部焼土面は50×42cmを測る。全体的に被熱は弱く、明赤褐色を呈するが、一部は被熱が強く橙色である。被熱深度は５cmである。
煙道は北壁から126cmのびている。ただし北壁の連結部から22cm分は消失している。燃焼部焼土面からは５cm以上の段差になっており、下へ約15°傾斜しながら、煙出しに至る。また煙道内と煙出しの奥側壁面が被熱し、赤みをおびている。
［土坑］４基検出した。土坑１は154×135cmで、歪な楕円形、深さ45cm、土坑２は110×100cmで隅丸方形、深さ20cm、土坑３は90×〈45〉cmの楕円形で、深さ14cm、土坑４は土坑１・３と重複し、最も古い。〈52〉×〈32〉cmで、深さ11cmである。いずれも用途は不明である。
［柱穴・壁溝］柱穴は９個検出した。柱配置は不明である。壁溝は見受けられなかった。
［出土遺物］古代土器232.1g分が出土している。埋土が消失しているため、出土遺物は少ない。
古代土器は２点を掲載した。1199は土師器坏で、略完形である。土坑１から出土した。ロクロ成形のみである。1200は鉢の胴部片で、ロクロ成形である。
［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。





土坑 1

1. 黒褐色シルト(10YR3/1)	粘性やや強	しまりやや疎	炭化物少量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(7.5YR2/2)	粘性強	しまりやや密	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
3. 明黄褐色シルト(10YR7/6)	粘性やや強	しまりやや密	1層土ブロック中量含む。上部に偏在。
4. 明黄褐色シルト(10YR7/6)	粘性やや強	しまりやや密	炭化物微量、黒褐色シルトブロック中量含む。
5. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性やや強	しまりやや疎	地山ブロック少量、黒色シルトブロック微量含む。
6. 黒褐色シルト(10YR3/2)と明黄褐シルト(10YR7/6)の互層	粘性やや強	しまりやや密	人為堆積。焼土ブロック微量含む。

土坑 2

1. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや強	しまり密	炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)	粘性弱	しまり密	炭化物微量、焼土粒微量、黒色シルトブロック微量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや強	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック少量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや弱	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック中量、黒褐色シルトブロック少量含む。
5. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性弱	しまりやや疎	炭化物微量、焼土粒微量、黒色シルトブロック微量含む。

土坑 3

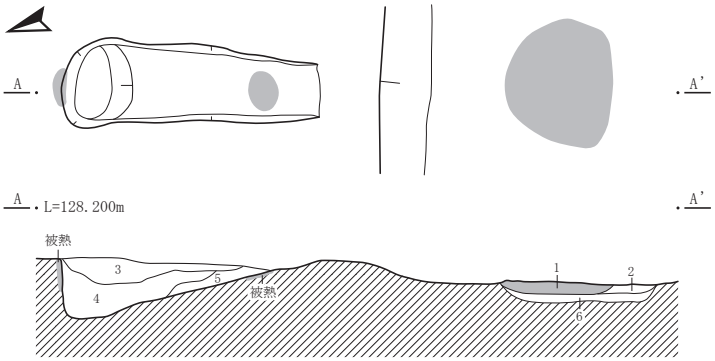
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや強	しまりやや密	炭化物少量、焼土ブロック微量、地山ブロック少量含む。
2. 明黄褐色シルト(10YR7/6)	粘性弱	しまりやや密	地山ブロック少量含む。

土坑 4

1. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性やや強	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック少量含む。

0　1：50　2m

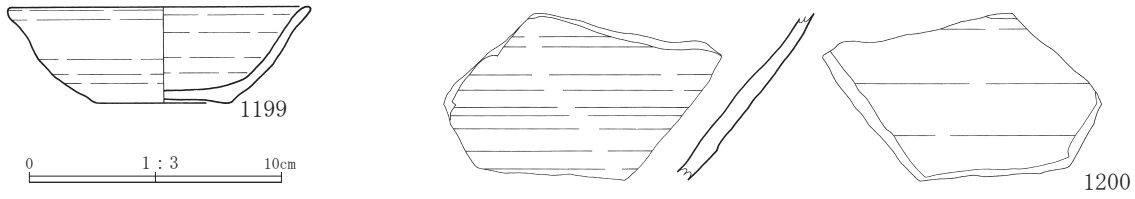
カマド



1. 明赤褐色焼土(5YR5/6)	粘性やや弱	しまり密	被熱弱く、一部のみ橙色を呈する。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性弱	しまりやや密	燃焼部脇で被熱していない範囲。地山ブロック少量含む。
3. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性弱	しまり密	炭化物微量、地山ブロック少量、黒色シルトブロック微量含む。
4. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性やや弱	しまり密	炭化物微量、地山ブロック中量含む。
5. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)	粘性弱	しまりやや密	炭化物微量、地山ブロック中量含む。
6. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性弱	しまり密	貼床土。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。

0　1：30　1m

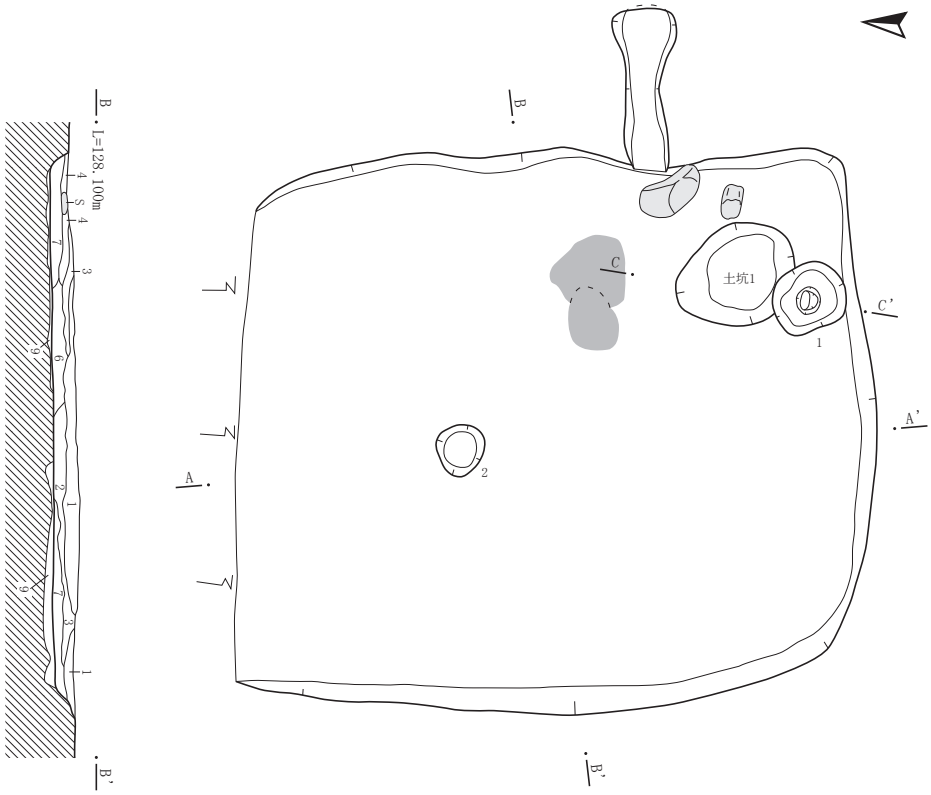
第247図　62号竪穴建物跡

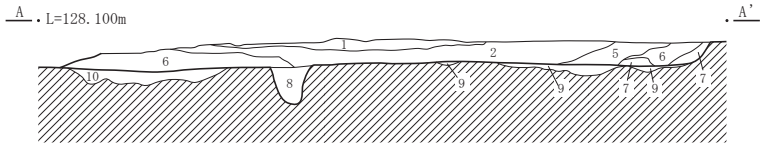


第248図　62号竪穴建物跡出土遺物

63号竪穴建物跡（第249～251図、写真図版67・214・215）

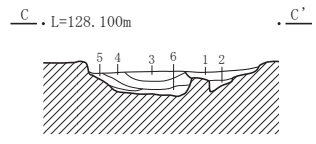
［位置・検出状況］調査区中央北東寄りⅢA13e、ⅢA13f、ⅢA14e、ⅢA14fグリッドに位置する。Ⅲ（Ⅶ層？）層上面で黒色のプランで検出した。北側は地形が傾斜し、消失したものと推測する。





1. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性弱　しまり密　地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまり密　地山ブロック微量、To-aテフラブロック微量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまり密
4. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　地山ブロック微量含む。
5. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまり密　地山ブロック少量、To-aテフラブロック微量含む。
6. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック少量、To-aテフラブロック微量含む。
7. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密　地山ブロック中量含む。
8. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　Pit2埋土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
9. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまり密　貼床土。地山ブロック少量、黒色シルトブロック微量含む。
10. 灰黄褐色細砂(10YR4/2)　粘性弱　しまりやや密　自然崩落により堆積し、貼床ではない可能性あり。Ⅲ層土か。黒褐色シルトブロック中量含む。

土坑１・Pit1



1. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまりやや密　Pit1埋土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまりやや密　Pit1埋土。やや砂質。地山ブロック微量含む。
3. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまりやや密　土坑1埋土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまりやや密　土坑1埋土。地山ブロック微量含む。
5. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　土坑1埋土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
6. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密　土坑1埋土。地山ブロック少量含む。

0　1：50　2m

第249図　63号竪穴建物跡１

［規模・平面形］北辺〈313〉cm、東辺〈390〉cm、南辺323cm、西辺〈390〉cmを測り、カマドを正面として、横長の長方形を呈する。検出できた範囲の床面積は〈13.6〉㎡である。

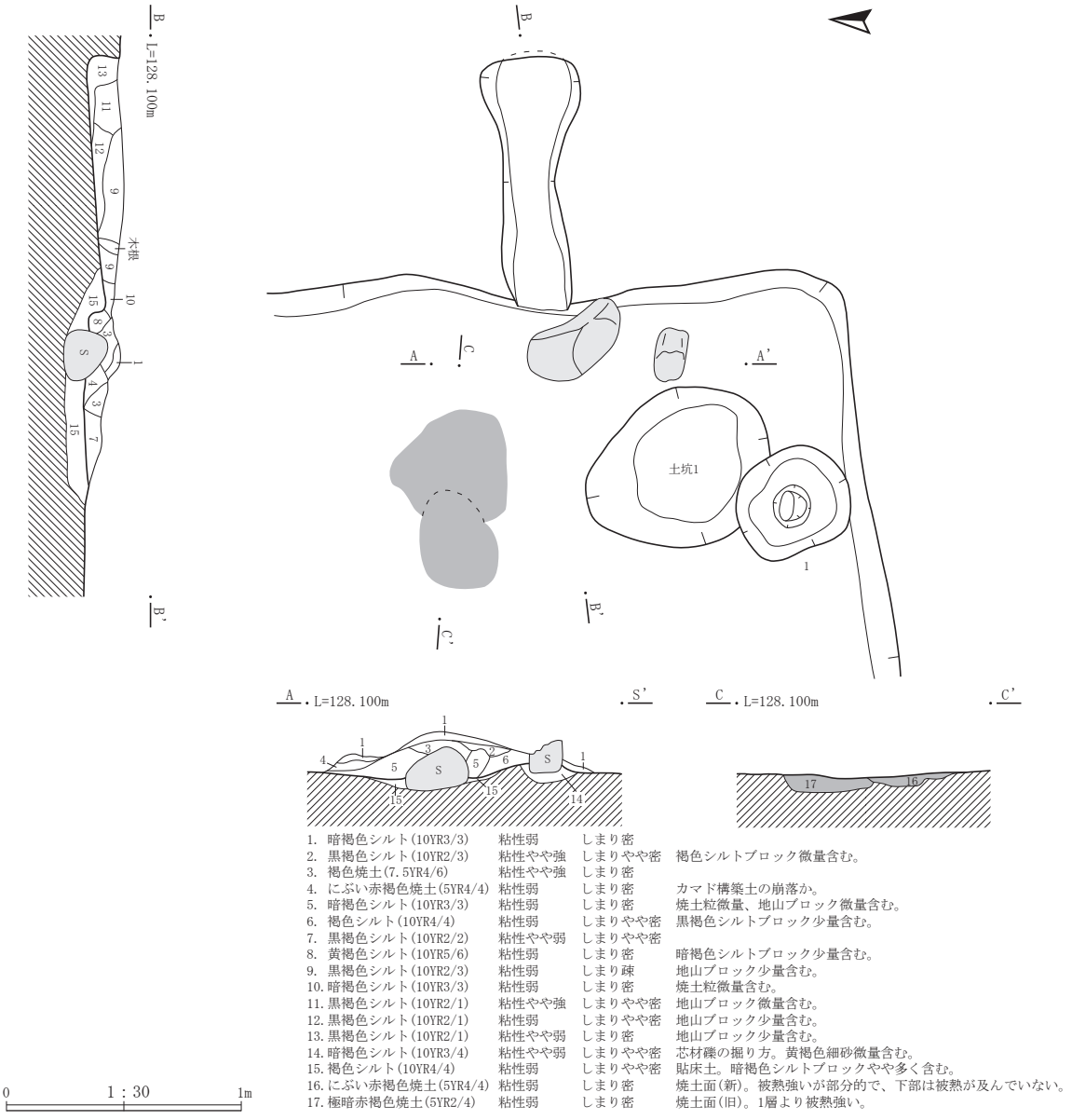
［埋土の状況］７層からなり、黒褐色、暗褐色シルトを主体とする。南壁際の５～７層は三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。また２・５・６層中にTo-aテフラブロックが混入するのを確認した。

［床面・壁］Ⅲ層（Ⅶ層？）で検出した。床面はほぼ平坦であるが、中央がわずかに高い。壁は消失した北壁を除き、全周する。緩やかに広がりながら立ち上がる。壁高は最大17cmである。

［貼床］壁際のみで中央は貼床が施されない。貼床土は、黒褐色シルトである。掘り方はやや歪で、深さは２～８cmである。

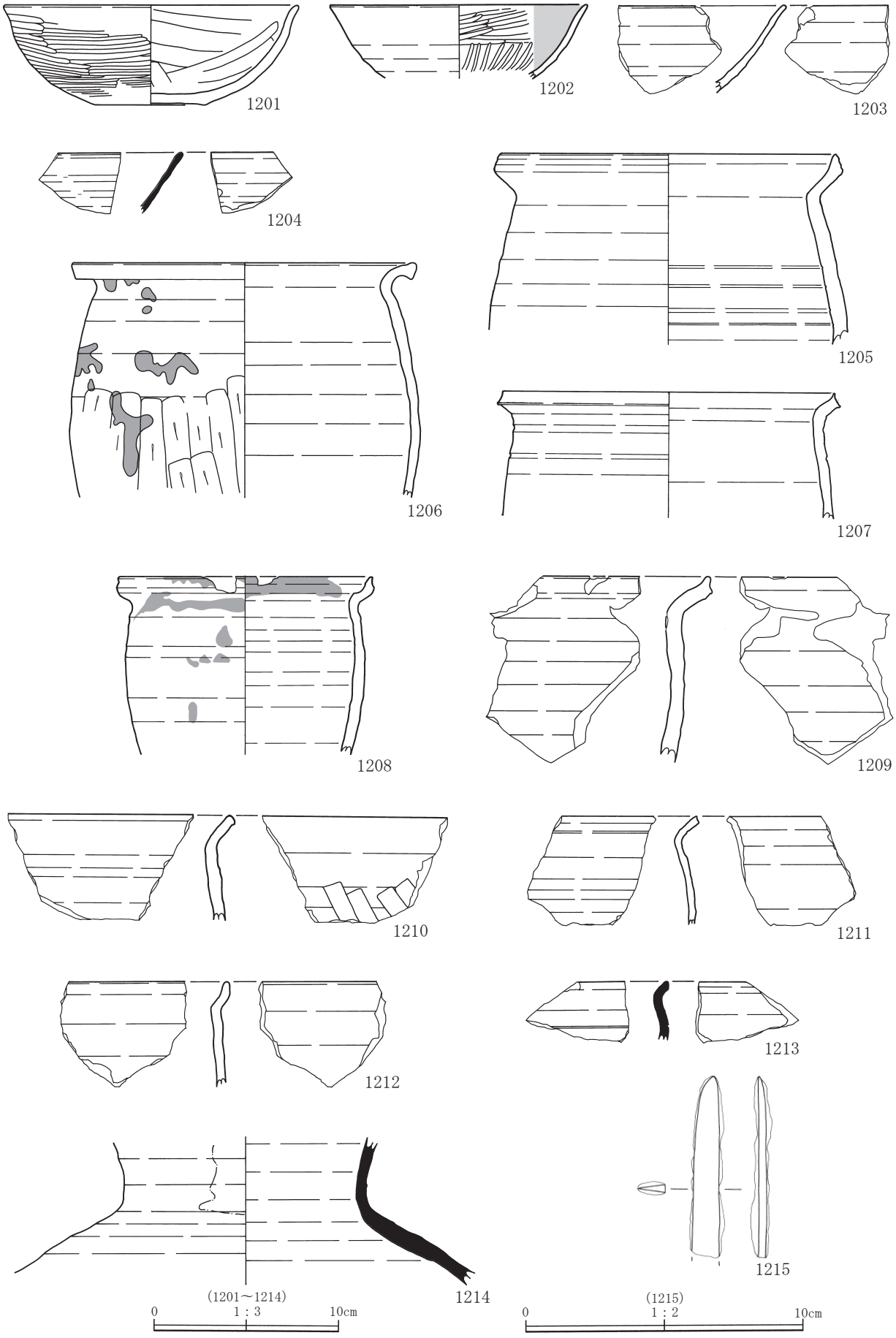
［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は76×50cmを測る。２基の焼土面が重複している。焼土面は最初、奥側で、その後手前側（西側）にずらして再構築している。被熱は非常に弱く、手前はにぶい赤褐色、奥側が極暗赤褐色を呈する。被熱深度は手前が６cm、奥側が８cmである。



1.	暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性弱	しまり密	
2.	黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性やや強	しまりやや密	褐色シルトブロック微量含む。
3.	褐色焼土(7.5YR4/6)	粘性やや強	しまり密	
4.	にぶい赤褐色焼土(5YR4/4)	粘性弱	しまり密	カマド構築土の崩落か。
5.	暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性弱	しまり密	焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
6.	褐色シルト(10YR4/4)	粘性弱	しまりやや密	黒褐色シルトブロック少量含む。
7.	黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや弱	しまりやや密	
8.	黄褐色シルト(10YR5/6)	粘性弱	しまり密	暗褐色シルトブロック少量含む。
9.	黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性弱	しまり疎	地山ブロック少量含む。
10.	暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性弱	しまり密	焼土粒微量含む。
11.	黒褐色シルト(10YR2/1)	粘性やや強	しまりやや密	地山ブロック微量含む。
12.	黒褐色シルト(10YR2/1)	粘性弱	しまりやや密	地山ブロック少量含む。
13.	黒褐色シルト(10YR2/1)	粘性やや弱	しまり密	地山ブロック少量含む。
14.	暗褐色シルト(10YR3/4)	粘性やや弱	しまりやや密	芯材礫の掘り方。黄褐色細砂微量含む。
15.	褐色シルト(10YR4/4)	粘性弱	しまりやや密	貼床土。暗褐色シルトブロックやや多く含む。
16.	にぶい赤褐色焼土(5YR4/4)	粘性弱	しまり密	焼土面(新)。被熱強いが部分的で、下部は被熱が及んでいない。
17.	極暗赤褐色焼土(5YR2/4)	粘性弱	しまり密	焼土面(旧)。1層より被熱強い。

第250図　63号竪穴建物跡２



第251図　63号竪穴建物跡出土遺物

袖は、南袖の芯材礫１個のみを検出した。芯材礫は15cm大の扁平な礫で、上部が破損している。床面を掘り込み、設置されている。また煙道手前から40cm大の円礫１個が出土した。ただし出土状況からみて原位置はとどめていない。礫の下側は床面下に沈んでおり、本来芯材礫だったが原位置を離れたものの可能性がある。

煙道は北壁から103cmのびている。燃焼部焼土面と６cmの段差になっており、東壁から下へ５°傾斜し煙出しに至る。

［土坑］１基検出した。カマドの南側に付く。83×67cmの歪な楕円形で、深さは17cmである。Pit１に一部壊されている。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は２個検出した。柱配置は不明であるが、床面のほぼ中央に位置するPit２は比較的深い（23cm）。壁溝は見受けられなかった。

［出土遺物］古代土器4152.7g分、鉄製品が出土している。埋土中とカマド周辺から出土している。

古代土器は14点を掲載した。土師器は坏（1201～1203）、甕（1205～1212）がある。1201は非ロクロ成形で、外面にミガキ、内面はナデを施す。非黒色処理である。1202はロクロ成形で、内面に黒色処理が施される。1203はロクロ成形のみである。甕は破片で、ロクロ成形のみである。1206は外面の広い範囲に煤が付着し、また1208は内外面の主に口縁部に煤の付着が見受けられる。

須恵器は坏（1204）、長頸瓶（1214）、甕（1213）がある。1204は口縁部片である。小片であるが、数少ない須恵器坏である。1214は頸部から胴部の破片で、頸部に自然釉が見受けられる。1213は口縁片で形状から小型の甕と推測した。

鉄製品は１点（1215）で、貼床土中から出土している。刀子で、柄を欠損している。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

64号竪穴建物跡（第252～259図、カラー写真図版７、写真図版68・215～219）

［位置・検出状況］調査区中央北東寄りⅢA17f、ⅢA17g、ⅢA17h、ⅢA17i、ⅢA18f、ⅢA18g、ⅢA18h、ⅢA18i、ⅢA19iグリッドに位置する。河道跡とⅢ層上面で黒色のプランで検出した。本遺構は34～36号土坑と重複する。これらの遺構は、本遺構の付属施設（張り出し）の可能性もあるが、本遺構検出時には、各土坑ともプランは不明瞭で、また本遺構のカマドに近接し過ぎている。これらの点から、本遺構とは別の遺構と判断した。なお、本遺構が最も新しい。

本遺構は、竪穴建物跡と掘立柱建物跡が連結する「竪穴・掘立柱併用建物」である。

［規模・平面形］竪穴部は、北辺538cm、東辺640cm、南辺527cm、西辺649cmを測り、カマドを正面として、横長の長方形を呈する。床面積は38.0㎡である。

［埋土の状況］７層からなり、黒褐色、暗褐色シルトを主体とする。壁際の５・６層は三角堆積しており。埋没は自然堆積と推測する。また１層中にTo-aテフラブロックが混入するのを確認した。

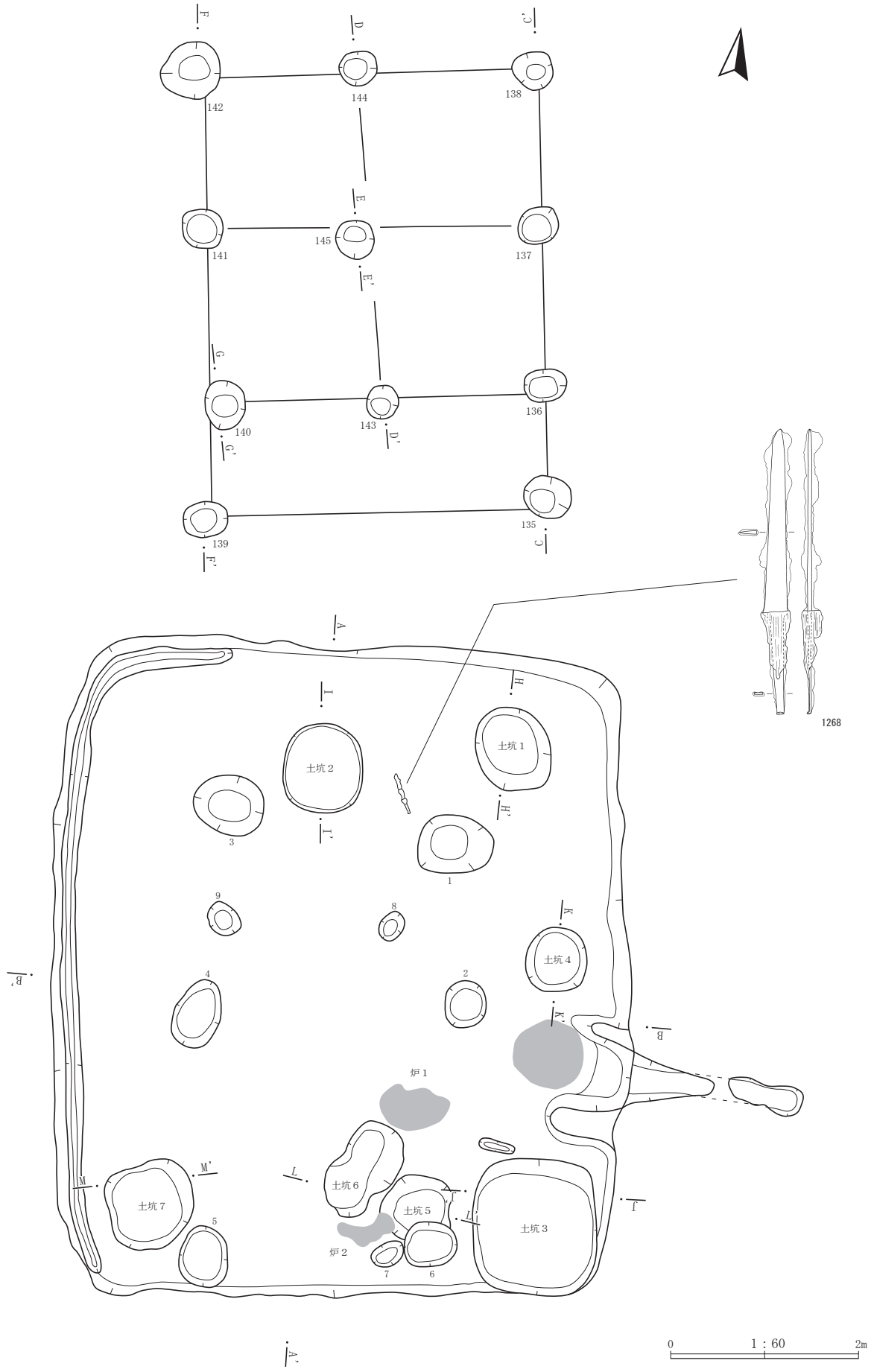
［床面・壁］床面、壁共にⅢ層面で検出した。床面はほぼ平坦であるが、西側はわずかに低い。壁は全周する。緩やかに広がりながら立ち上がる。壁高35cmである。

［貼床］床面全面に施される。貼床土は、暗褐色、黒褐色シルトで、褐色土が混じる。掘り方はほぼ均一で、深さは10cm前後である。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

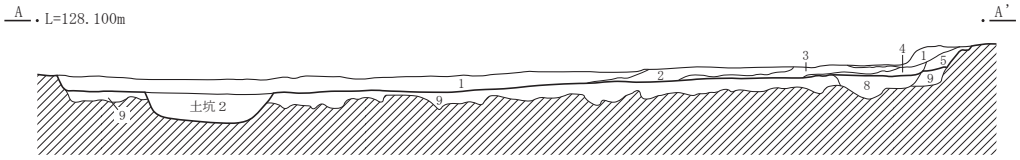
燃焼部焼土面は75×72cmを測る。被熱は弱く、暗赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。

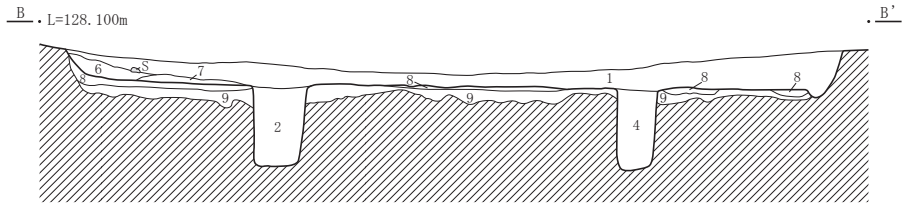
袖は両袖残存する。構築土のみで、芯材礫は見受けられない。構築土は黒褐色、暗褐色、褐色シルトで、縞状に重ねられており、硬くしまる。



第252図　64号竪穴建物跡1

竪穴部

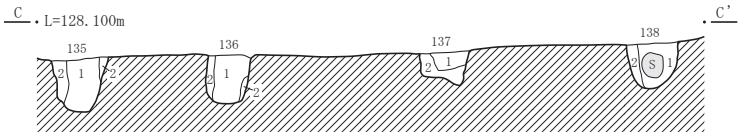


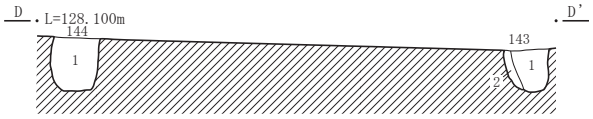


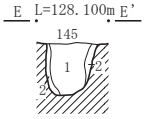
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　To-aテフラブロック微量、炭化物微量含む。
2. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性弱　しまりやや疎　褐色土ブロック多量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量含む。
4. 褐色シルト(10YR/4/4)　粘性弱　しまりやや密　焼土粒微量、炭化物微量み、全体的に縞状を呈する。
5. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量、斑状に含む。
6. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性弱　しまりやや密

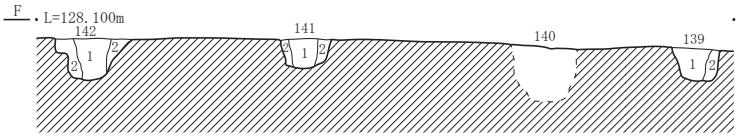
7. 極暗赤褐色焼土(5YR3/6)　粘性やや強　しまりやや疎
8. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまり疎　貼床土。褐色土少量含む。

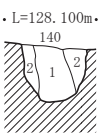
掘立柱部











Pit135
1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまりやや密　柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
2. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)　粘性やや弱　しまり密　掘り方。地山ブロック少量、黒褐色シルトブロック中量含む。

Pit136
1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり密　柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまり密　掘り方。地山ブロック微量含む。

Pit137
1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック中量含む。
2. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)　粘性弱　しまり密　黒褐色シルトブロック少量含む。

Pit138
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)　粘性弱　しまり密　掘り方。黒褐色シルトブロック微量含む。

Pit139
1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや強　しまりやや密　柱痕跡。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量、下部に偏在。
2. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまり密　掘り方。黒褐色シルトブロック微量、地山ブロック中量含む。

Pit140
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや弱　しまり密　掘り方。地山ブロック中量含む。

Pit141
1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや強　しまりやや密　柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量、酸化鉄微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　掘り方。地山ブロック中量含む。

Pit142
1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまり密　柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
2. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性弱　しまり密　掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量含む。

Pit143
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや密　柱痕跡。炭化物微量、黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック中量含む。
2. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性弱　しまり密　掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量含む。

Pit144
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック少量下部に偏在。

Pit145
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまり密　柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
2. 明黄褐色シルト(10YR7/6)　粘性弱　しまり密　掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山土微量含む。

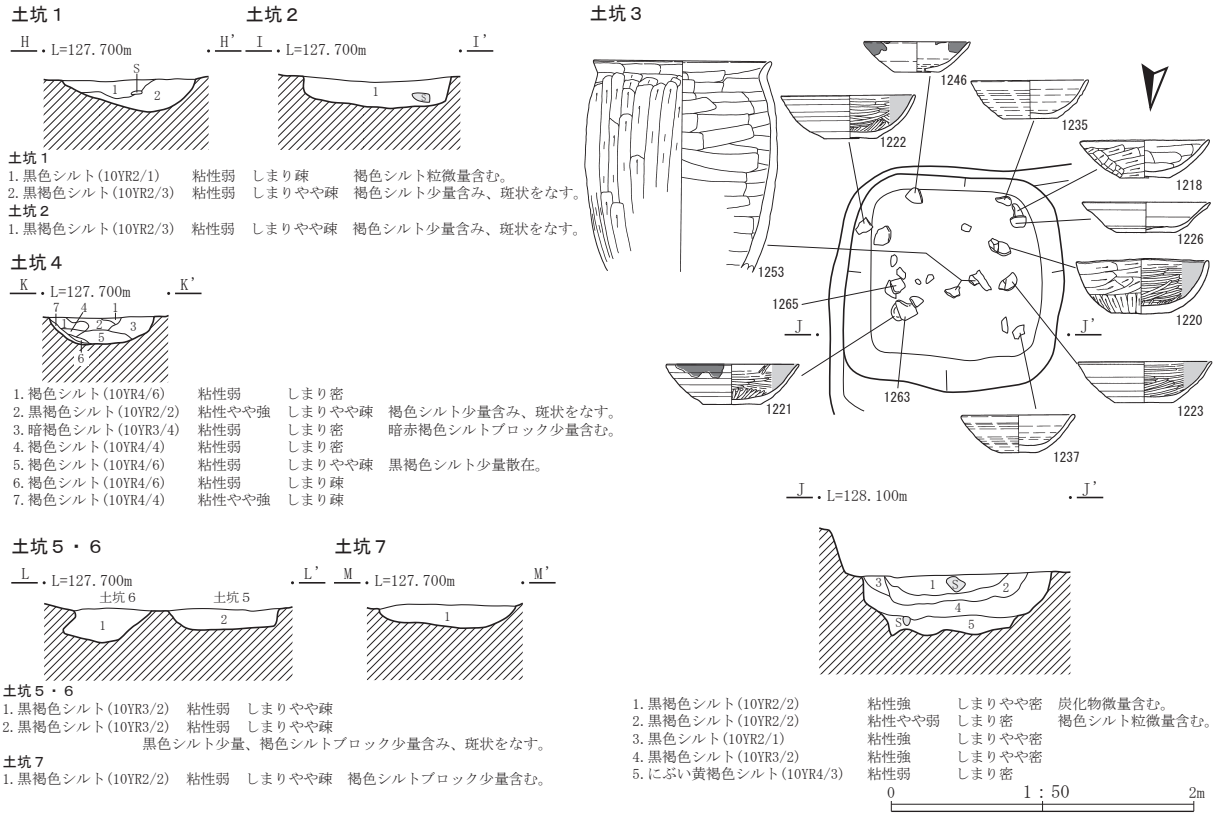
0　1：60　2m

第253図　64号竪穴建物跡2

煙道は東壁から185cmのびている。刳り抜き式で、わずかに天井部が残存する。燃焼部焼土面と16cmの段差があり、煙道はほぼ水平に煙出しへと至る。

他に炉を２基、床面の南側で検出した。炉１はカマドの南西側に位置する。73×50cmで、カマドの燃焼部焼土面よりも被熱が強く、非常に硬い。被熱深度は10cmである。古いカマドの燃焼部焼土面の可能性も考え、調査を進めたが、袖部や煙道が認められず、単体の炉とした。炉２は南壁際に位置する。60×20cmで非常に歪な形をしている。炉１同様、強く被熱し、硬い。被熱深度は８cmである。

［土坑］７基検出した。土坑１は北東隅に付く。94×79cmの楕円形で、深さ21cm、土坑２はカマドの南側に付く。94×85cmの楕円形で、深さ８cmである。どちらも用途は不明である。土坑３はカマドの南側に付く。144×130cmの隅丸方形で、深さ40cmである。埋土中から遺物が多量に出土している。土坑４はカマド北側に付く。径68cmの不整な円形で、深さ20cmである。土坑３・４はカマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑５は南壁際に付く。Pit６に切られ、また検出面上に炉２がある。80×



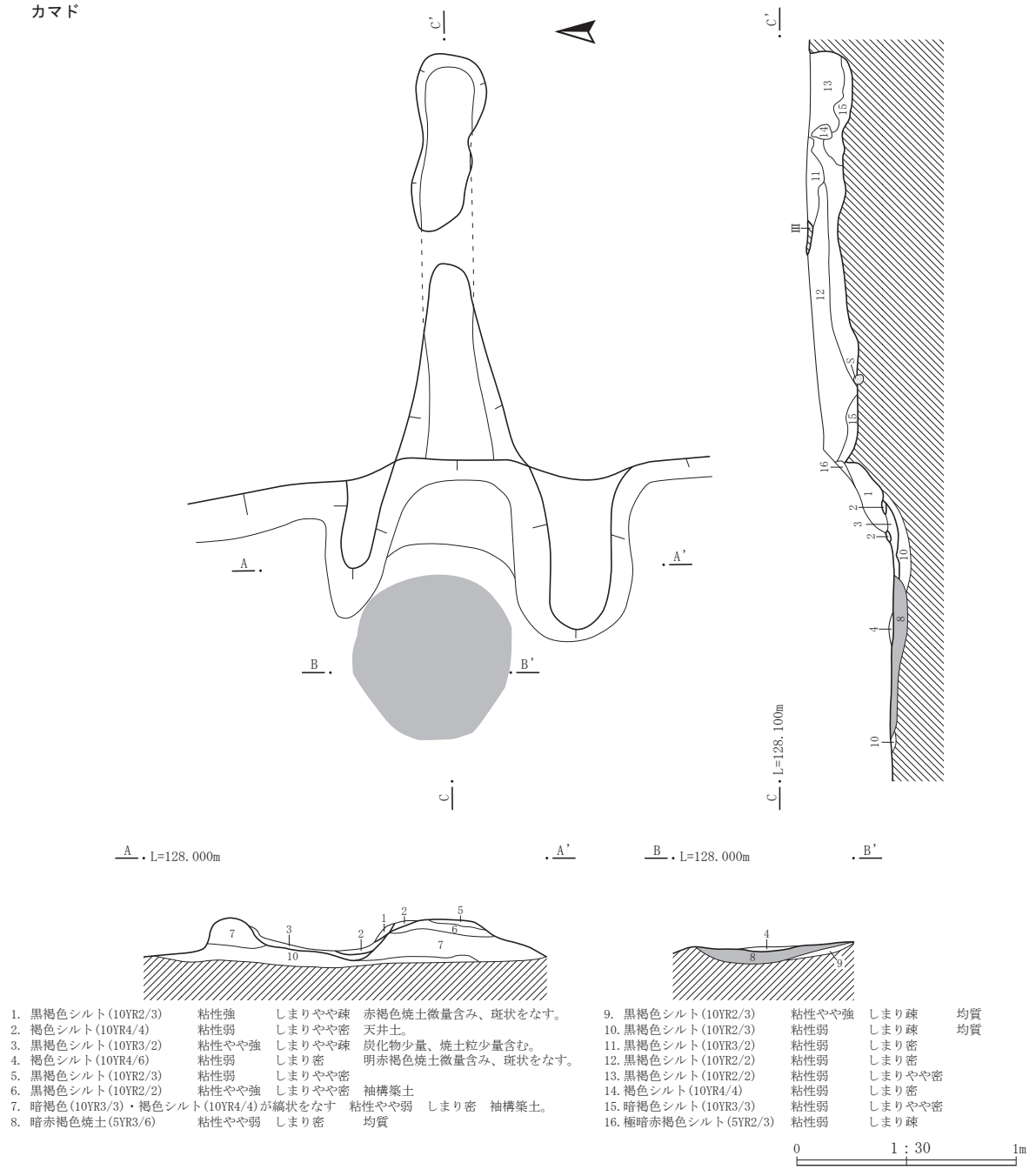
第254図　64号竪穴建物跡３

72cmで、深さ13cmである。土坑６は土坑５に近接する。108×57cmの歪な楕円形で、深さ22cmである。土坑５・６は炉１・２に関連する施設か。土坑７は南西隅に付く。102×95cmでの不整な楕円形で、深さ16cmである。貯蔵穴の可能性がある。

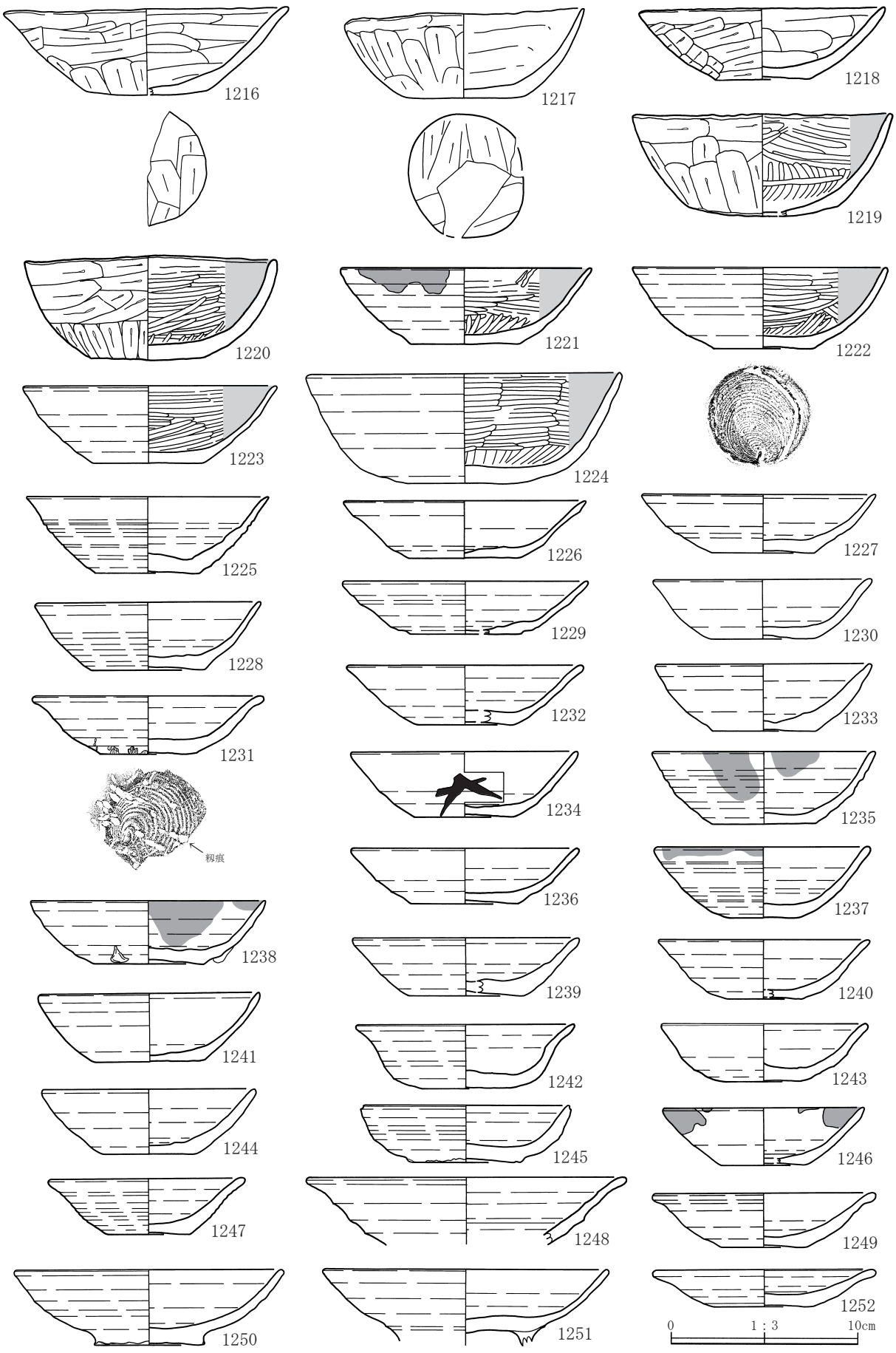
［柱穴・壁溝］竪穴部の床面で柱穴８個を検出した。柱配置からPit１～６が主柱穴と考える。壁溝は西壁にのみ巡る。

［掘立柱部］柱穴11個（Pit135～145）で構成される。梁間二間（363cm）×桁行三間（480m）で、床面積は17.4㎡である。柱穴は径50cm前後で、深さ20～40cmである。Pit135・136・138・140・142・143・145は柱痕跡（各１層が相当する）が残る。

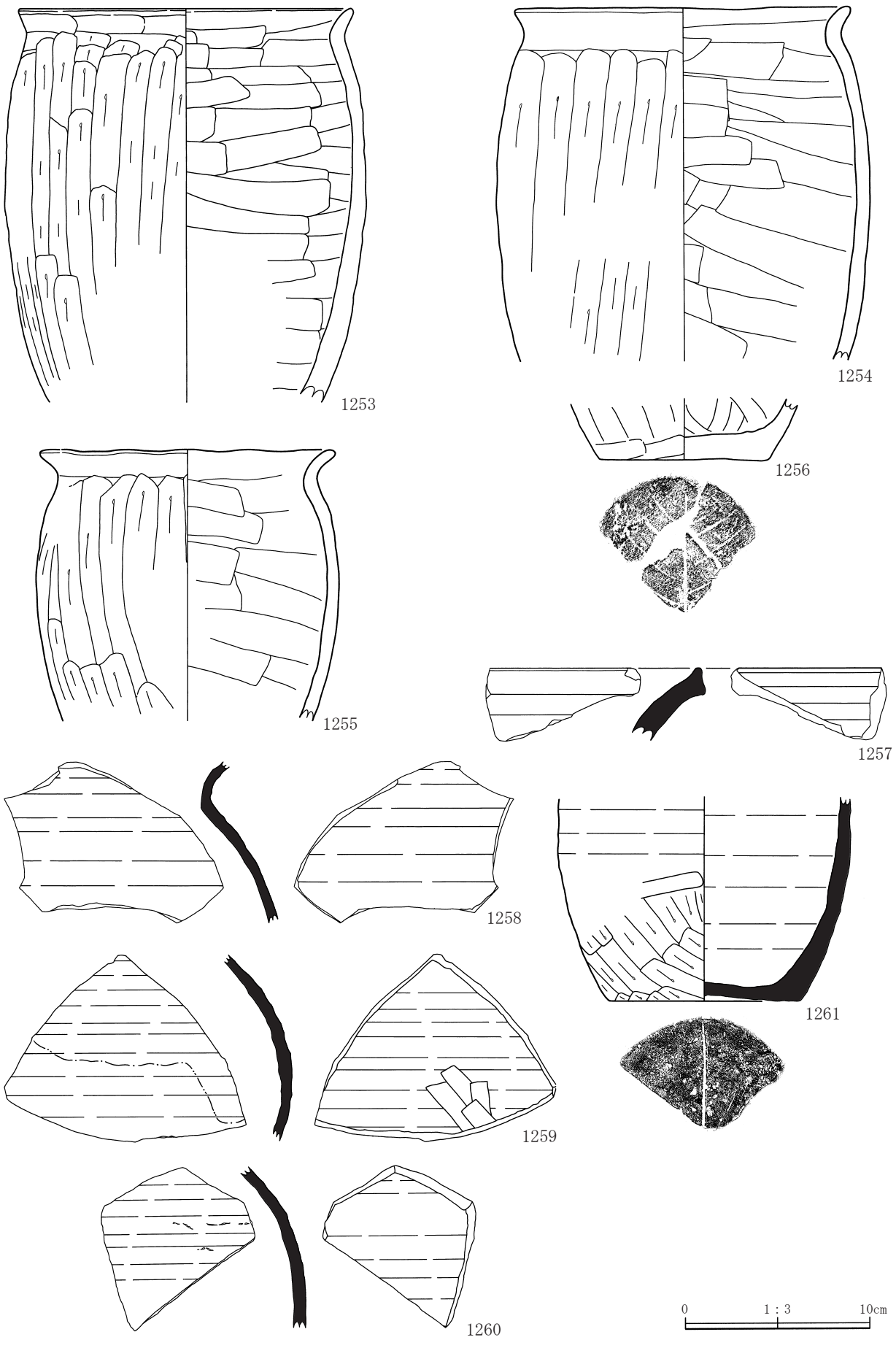
［出土遺物］古代土器15094.1g分、羽口、鉄製品、鉄滓が出土している。主に竪穴部の埋土中と土坑内から出土している。特に土坑３は多く、埋土下位から底面にから古代土器がまとまって出土した



第255図　64号竪穴建物跡４



第256図　64号竪穴建物跡出土遺物1



第257図　64号竪穴建物跡出土遺物２

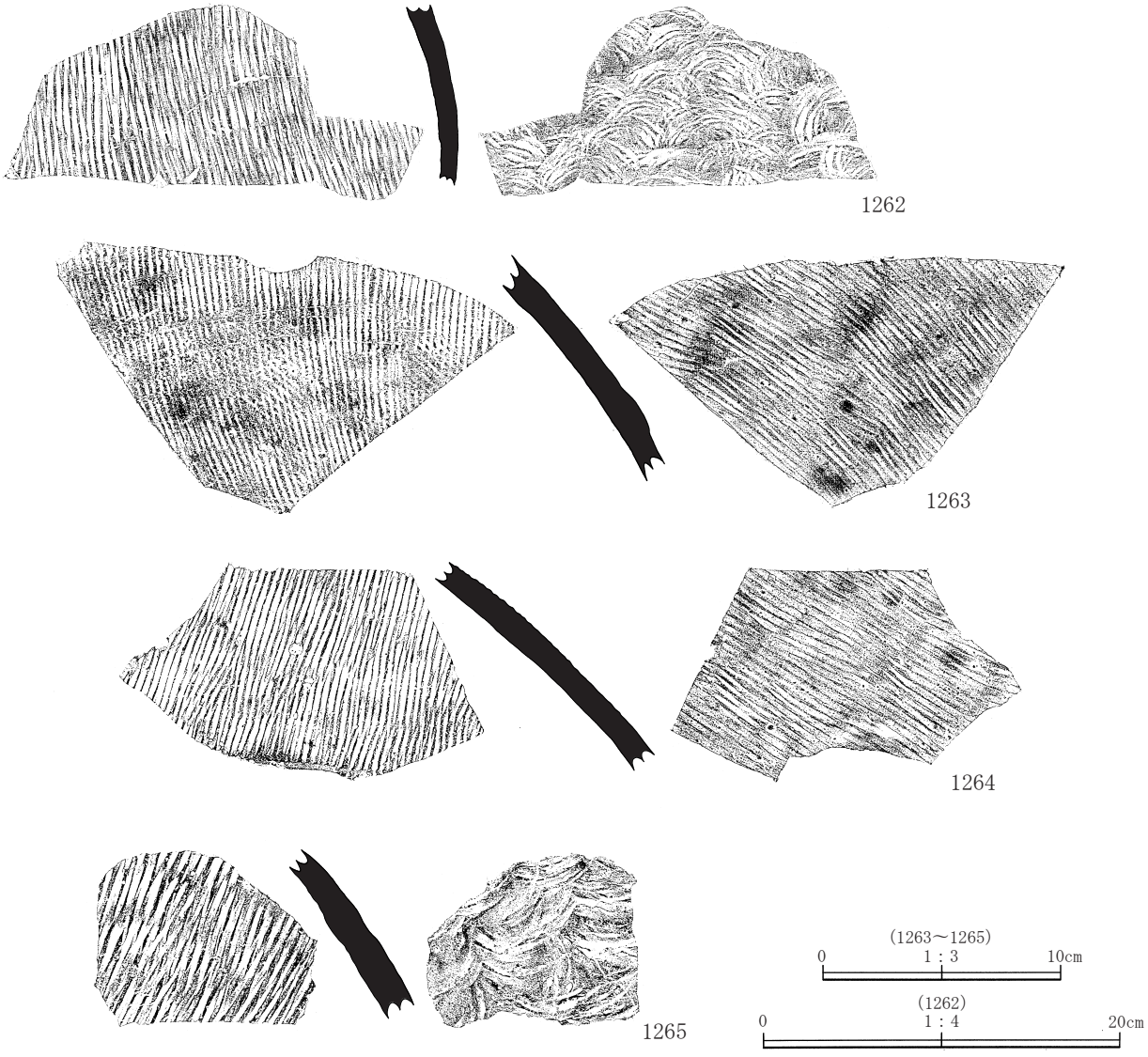
（第254図右上）。

土師器は坏（1216～1250）、皿（1252）、台付坏（1251）、甕（1253～1255）がある。坏が非常に多い。非ロクロ成形（1216～1220）、ロクロ成形（1221～1250）ともにある。1221は外面に油煙痕が残る。灯明皿と推測される。1222は底面の回転糸切り痕と溝状の工具痕が見受けられる。1231は底面に籾痕が見受けられる。1234は墨書土器で、胴部下半に文字（「大」か）が記される。1235・1237・1238・1246は内外面に煤や油煙痕が残るので灯明皿と推測する。1252は器高が低く、皿とした。甕は坏に比べると、少ないが、図示できるものは非ロクロ成形のみである。1256は甕の底部片で、底面に木葉痕が残る。

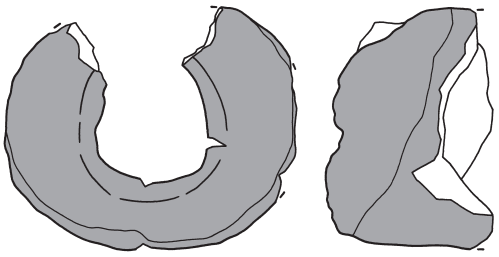
須恵器は甕（1257）、瓶類（1258～1260）、大甕（1262～1265）がある。1259は胴部外面に自然釉が残る。1261は瓶類の胴部から、底面に高台を持たず、また底面の中央がわずかに凸る。また底面に棒状工具の痕跡が残る。1262～1265は大甕の胴部片で1262は内面に円形の当て具痕が残る。

羽口は１点（1266）で、埋土下位から出土している。先端部の破片で鉄滓が付着している。

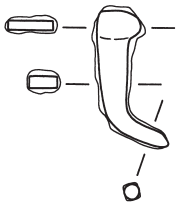
鉄製品は２点（1267・1268）で、どちらも床面上から出土している。1267は鎹か。完形である。1268は完形の短刀で、柄の部分に木質が残る。出土位置は第252図、出土状況はカラー写真図版７に



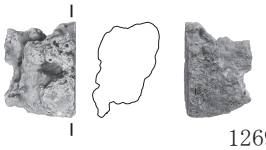
第258図　64号竪穴建物跡出土遺物３



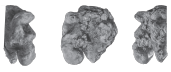
1266



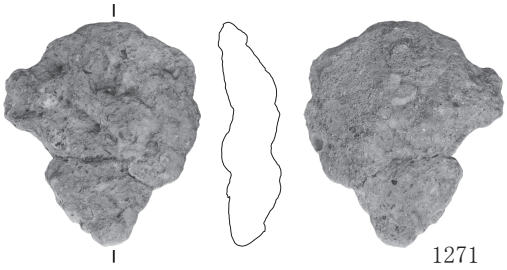
1267



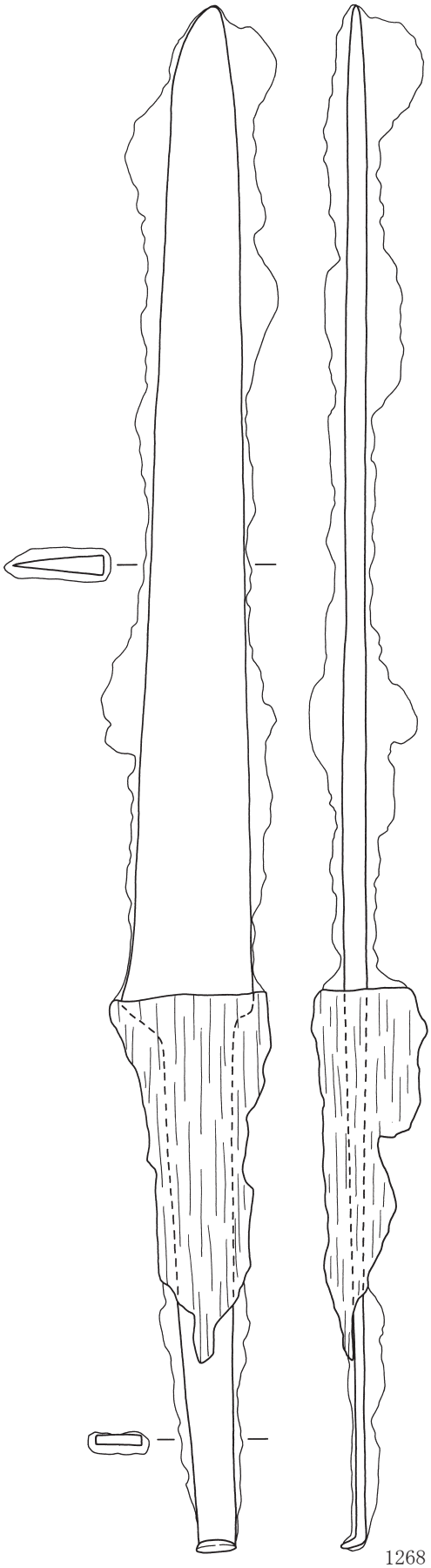
1269



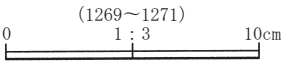
1270

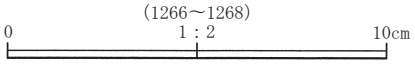


1271



1268





第259図　64号竪穴建物跡出土遺物 4

示した通りである。

鉄滓は埋土中から15点出土している。他の竪穴建物跡と比べ、突出した出土量である。３点（1269～1271）掲載し、そのうち２点（1269・1270）は成分分析を試みている（両者とも分析後に実測しており、そのため試料となった部分は消失した）。1269は小型だが椀形鍛冶滓、1270は「鍛打加工した際の吹き減り（酸化に伴う損失）で生じた、鍛錬鍛冶滓」という結果を得ている。他の鉄滓も、鍛錬鍛冶滓と推測している。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じるが、出土した古代土器の様相から明神下Ⅲ期と判断した。

65号竪穴建物跡（第260～268図、カラー写真図版５・８、写真図版69・220～224）

［位置・検出状況］調査区南東側ⅢA19i、ⅢA19j、ⅢA20i、ⅢA20j、ⅢA21i、ⅢA21jグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。本遺構は上部を大きく削平されている。

本遺構は１回建て替えを行い、その際、南側と東側を拡張している。本遺構の建て替え前（Ⅰ期）と建て替え後（Ⅱ期）の在り方については、第260図下に示した通りと推測する。

［規模・平面形］Ⅰ期は、該当する柱穴や土坑から、北辺560cm、東辺700cm、南辺540cm、西辺690cm、面積39.5㎡と推測する。Ⅱ期は北辺593cm、東辺737cm、南辺537cm、西辺735cm、床面積46.1㎡で、Ⅰ・Ⅱ期共にカマドを正面として、横長の隅丸長方形を呈する。

［埋土の状況］４層からなる。黒褐色シルトを主体とし、炭化材片や酸化鉄が多く混じる。床面壁際の３・４層は三角堆積しており。埋没は自然堆積によるものと推測する。また壁際の床面上で焼土ブロックの堆積（５層）が見受けられるが、炉から生じた焼土を壁際に集約した可能性がある。

［床面・壁］床面はⅤ層で検出した。ほぼ平坦であるが、中央はわずかに高い。壁はⅢ・Ⅳ層で検出し、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大16cmである。

［貼床］壁際は全周、床面中央は部分的に貼床が施される。貼床土は、黒褐色シルトで、褐色シルトが多量に混じる。掘り方は歪で、深さは１～13cmである。

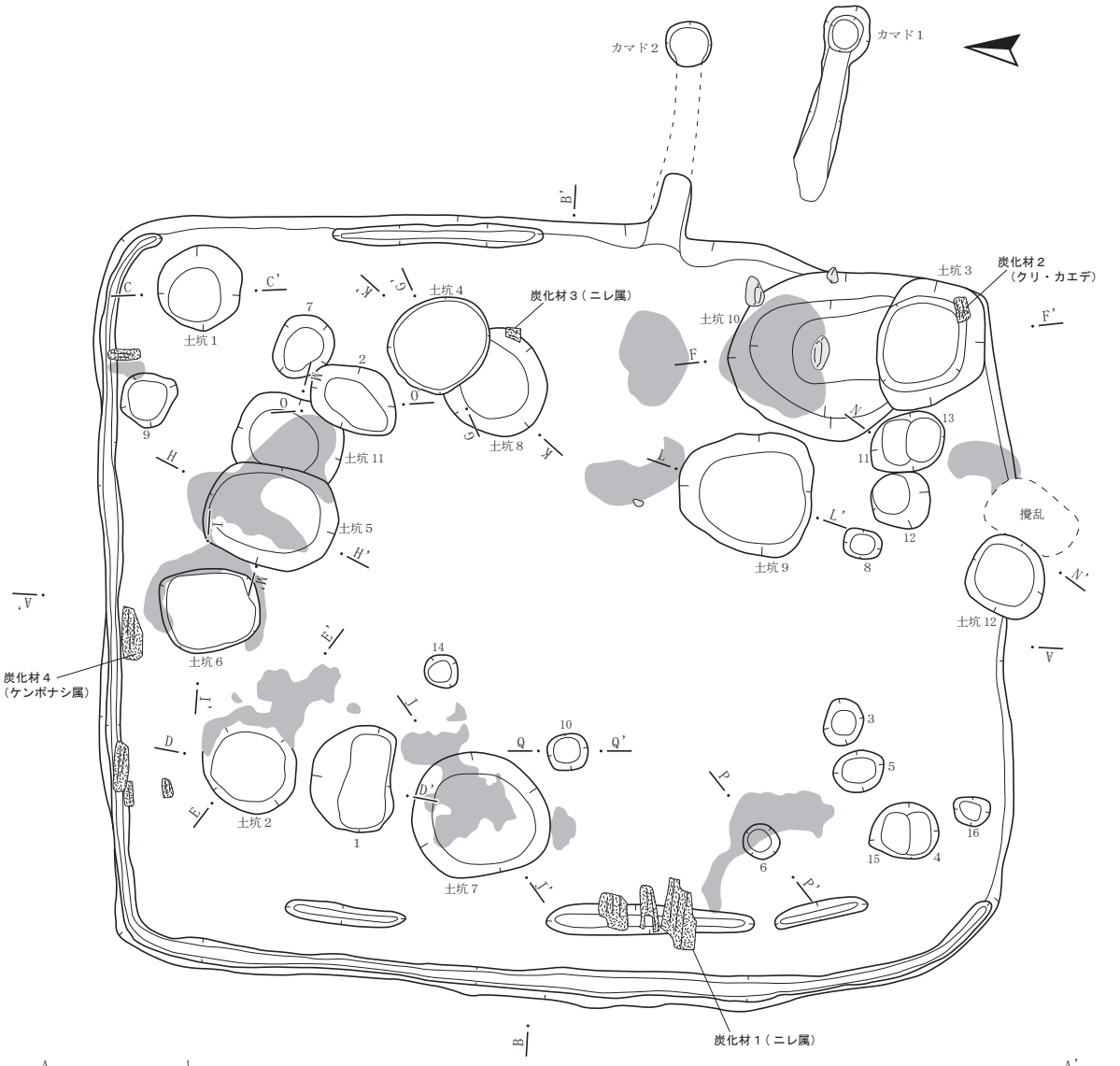
［カマド・炉］カマドは２基検出した。カマド１はⅡ期に、カマド２はⅠ期に帰属する。

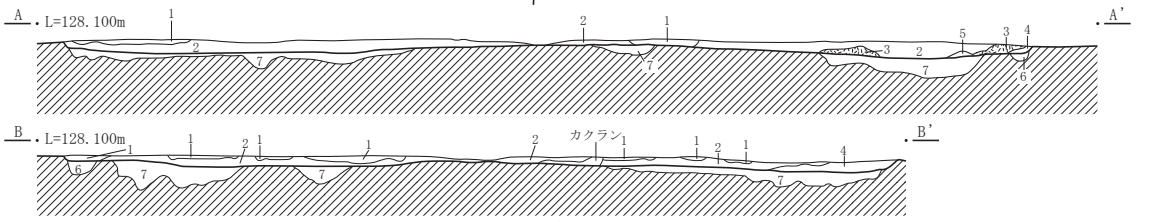
カマド１は燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。また検出段階で、崩落した天井土と推測される褐色土がカマドを覆っていた（第263図左）。燃焼部焼土面は102×96cmで、被熱は強く、赤褐色を呈する。被熱深度は８cmである。また燃焼部焼土面上で緑釉陶器（1323）１点が出土している。袖は両袖とも、芯材礫１個ずつのみ残存する。芯材礫は20cm大の円礫で、床面に差し込み据えられている。南袖の芯材礫は土坑10の検出面上に差し込まれている。煙道は東壁から220cmのびている。ただし削平により壁との連結部から49cmは消失している。残存部から下へと10°傾斜しながら煙出しピットに至る。煙出しピットは径40cmで、煙道より20cm深い。

カマド２は燃焼部焼土面と煙道を検出した。燃焼部焼土面は80×58cmを測る。被熱は強く、赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。煙道は東壁から184cmのびている。刳り抜き式で、焼土面から下へ15°傾斜しながら煙出しピットへと至る。煙道内の天井は被熱し、赤みをおびている。煙出しピットは径39cmの円形である。

他に床面や土坑の検出面上などで被熱した痕跡（焼土）を11箇所検出した。規模は10～140cm前後と様々で、平面形はみな歪である。

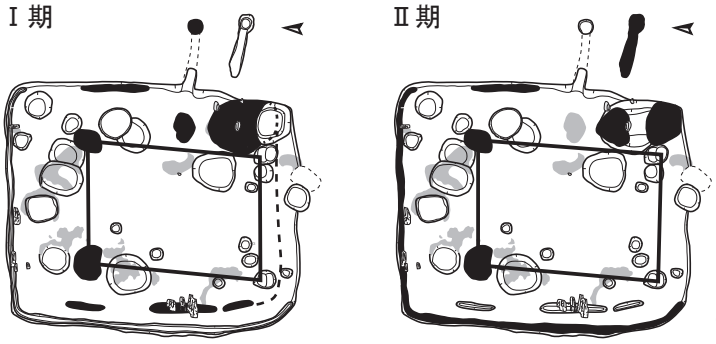
［土坑］12基検出した。土坑１は北東隅に付く。径72cmの円形で、深さ23cm、底面から完形の土師器壺（1318）と口縁部片が欠損する須恵器長頸瓶（1319）が出土している。土坑２は北西隅に付く。径80cmの円形で、深さ42cm、上面から東側の壁際にかけて焼土が広がる。土坑３はカマド１の





1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性弱　しまり密　褐色シルトブロック多量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　炭化材。
4. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性弱　しまりやや疎　酸化鉄多量含む。
5. 赤褐色シルト(5YR4/6)　粘性弱　しまり疎　工房作業土か。
6. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまり密　壁溝埋土。
7. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまり密　貼床土。褐色土ブロック多量含む。

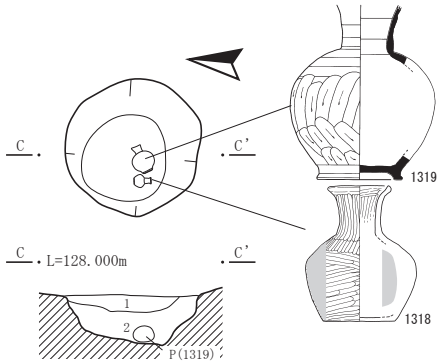
0　1：60　2m



0　1：200　10m

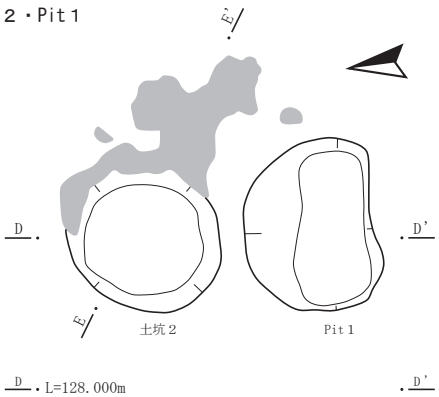
第260図　65号竪穴建物跡1

土坑１



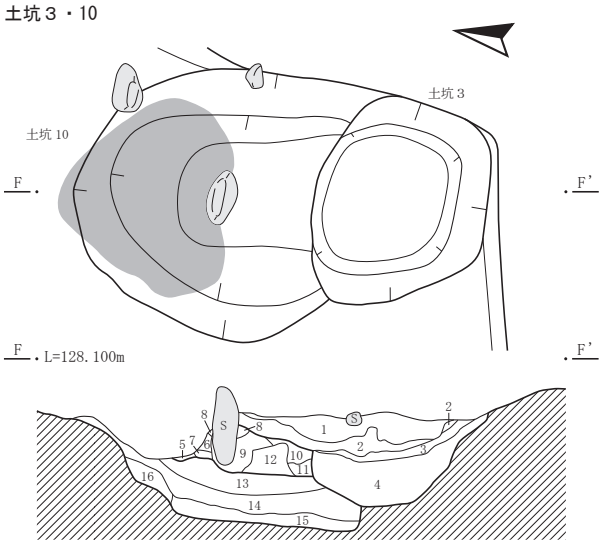
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　炭化材微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまり密　炭化材底面に多い。

土坑２・Pit１



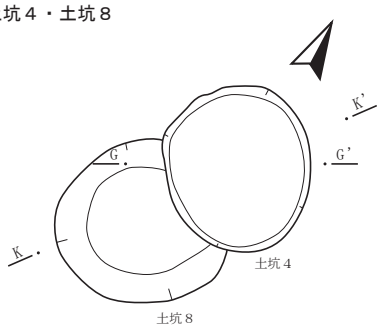
1. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまりやや疎　褐色土粒微量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまり疎
炭化材微量、褐色土粒少量含み、斑状をなす(東壁2層の深さまで被熱)。
3. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)　粘性やや強　しまり疎　褐色土粒微量含む。
4. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまりやや疎　褐色土粒微量含む。
5. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまり疎
炭化材微量、褐色土粒少量含み、斑状をなす。
6. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)　粘性やや強　しまり疎　褐色土粒微量含む。
7. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまり密
Pit１埋土。炭化物微量、焼土粒微量含む。
8. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)　粘性やや強　しまり疎
Pit１埋土。褐色土粒微量含む。

土坑３・10

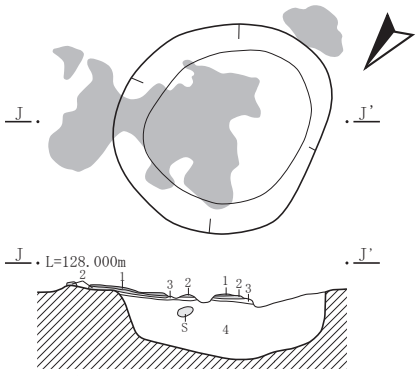


1. 赤褐色シルト(5YR4/8)　粘性弱　しまり疎
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや弱　しまりやや疎　炭化材多量含む。
3. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性弱　しまり疎　褐色シルト粒微量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　To-aテフラブロック微量含む。
5. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)　粘性弱　しまり疎
6. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性やや強　しまり疎　焼土粒多量含む。
7. 黄褐色シルト(10YR5/6)　粘性弱　しまり疎
8. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまり疎　炭化物微量、焼土粒微量含む。
9. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性やや強　しまり疎　焼土粒微量含む。
10. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまり疎
11. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性やや弱　しまり疎
12. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性弱　しまり疎　炭化物微量、赤褐色焼土ブロック微量含む。
13. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性弱　しまり疎　褐色シルトブロック多量含む。
14. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまり疎　灰色シルト層ブロック微量含む。
15. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまり疎　灰色シルト層ブロック少量含む。
16. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまり疎　崩落土。

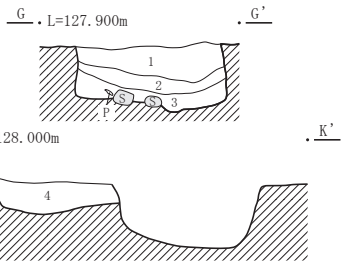
土坑４・土坑８



土坑７



1. 赤褐色シルト(5YR4/8)　粘性弱　しまり密
2. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性弱　しまり密
3. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまりやや疎
4. 暗褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや密
褐色土ブロック少量斑状に含む。

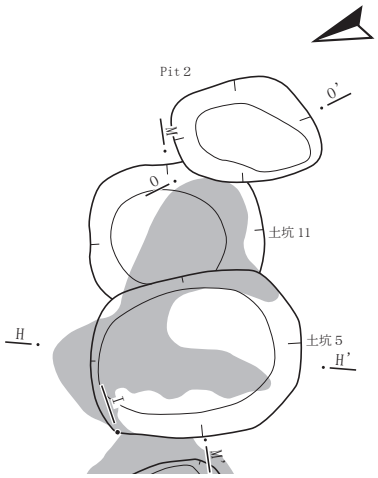


1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや疎
炭化物微量、褐色シルトブロック少量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまり疎　褐色シルトブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密
褐色シルト粒微量、黒色土ブロック少量含む。斑状に含む。

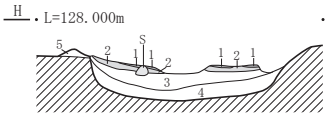
0　1：20　1m

第261図　65号竪穴建物跡2

土坑５・11・Pit２

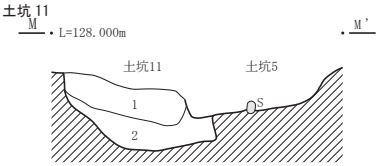


土坑５



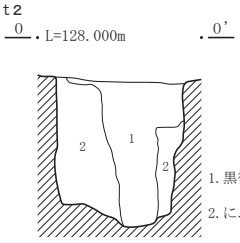
1. 赤褐色シルト(5YR4/8)　粘性弱　しまり密
2. 褐色シルト(10YR4/6)　粘性弱　しまり密
3. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや弱　しまり疎
4. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性やや弱　しまり疎
5. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量、褐色シルト微量含む。

土坑11



1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量、褐色シルト粒少量含む。
2. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、褐色シルト粒微量含む。

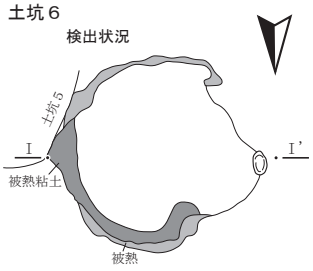
Pit２

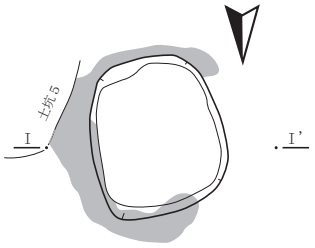


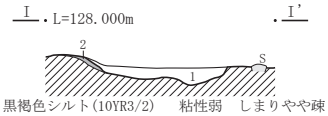
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、褐色シルト粒微量含む。
2. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)　粘性やや強　しまり疎　褐色シルト粒微量含む。

土坑６

検出状況

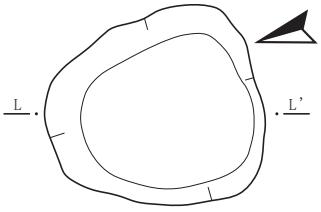


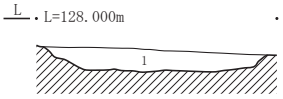




1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性弱　しまりやや疎　焼土粒微量含む。
2. 明赤褐色シルト(5YR5/8)　粘性弱　しまり密

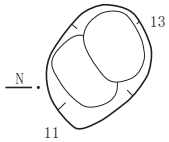
土坑９

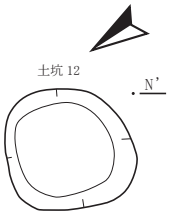


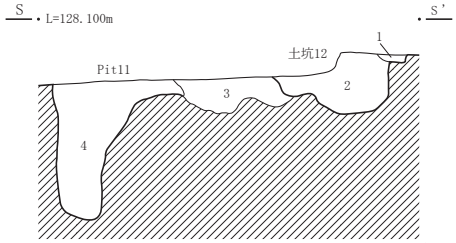


1. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性弱　しまりやや密　黒色シルト粒微量、褐色シルト粒微量斑状に含む。

土坑 12・Pit11

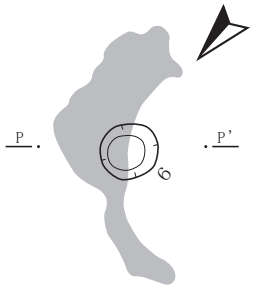


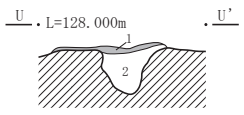




1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性強　しまりやや密　炭化物微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性強　しまり密　褐色シルト粒微量含む。
3. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性強　しまり密　焼土粒微量、褐色シルト粒微量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性強　しまりやや密　褐色シルト粒少量含む。

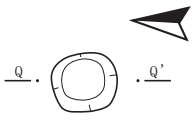
Pit６

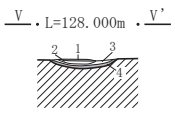




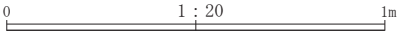
1. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまりやや疎　褐色シルトブロック少量斑状に含む。

Pit10



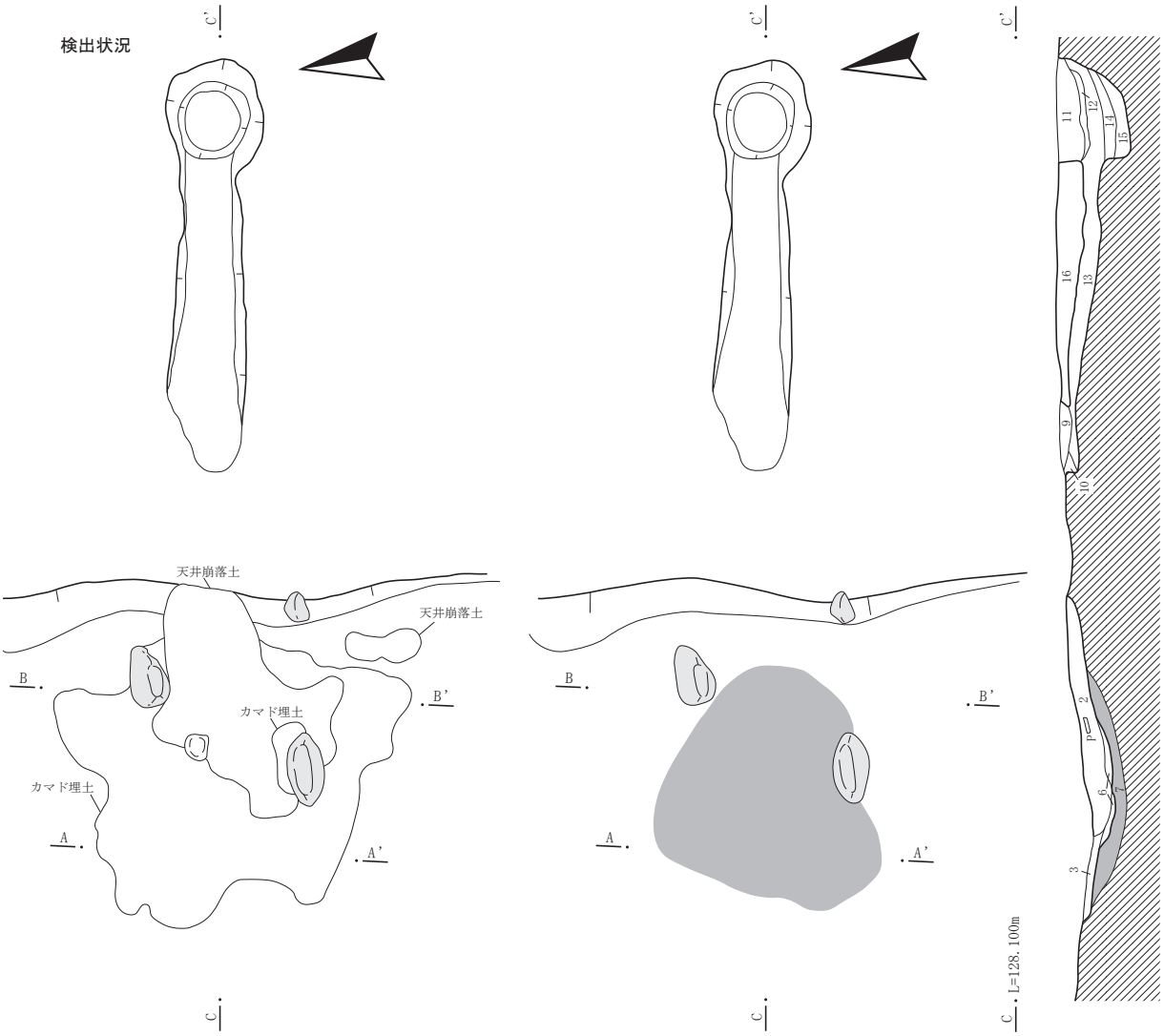


1. 赤褐色焼土(5YR4/8)　粘性弱　しまり密
2. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性弱　しまり密
3. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性弱　しまり密
4. 暗赤色焼土(5YR3/6)　粘性弱　しまりやや密



第262図　65号竪穴建物跡３

カマド1



1. 褐色シルト(10YR4/4)	粘性弱	しまり密	天井土ブロック。
2. 褐色シルト(10YR4/4)	粘性弱	しまりやや密	炭化物少量、焼土粒多量含む(天井土)。
3. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性やや強	しまりやや疎	
4. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性強	しまりやや密	炭化物多量含む。
5. 明赤褐色シルト(5YR5/8)	粘性弱	しまり密	斑状。
6. 褐色シルト(10YR4/4)	粘性弱	しまり密	
7. 赤褐色焼土(5YR4/6)	粘性弱	しまりやや密	
8. にぶい赤褐色シルト(5YR4/4)	粘性弱	しまりやや疎	
9. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや弱	しまりやや疎	焼土粒微量含む。
10. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性弱	しまりやや疎	
11. 黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性強	しまりやや密	褐色土ブロック微量含み、斑状をなす。
12. 黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや強	しまり疎	
13. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや強	しまり疎	
14. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや強	しまり疎	褐色土ブロック少量含み、斑状をなす。
15. 黒色シルト(10YR2/1)	粘性強	しまり疎	
16. 暗褐色シルト(10YR3/4)	粘性弱	しまり密	褐色土ブロック多量含み、斑状をなす。
Ⅳ. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性強	しまり疎	

0　1：30　1m

第263図　65号竪穴建物跡4

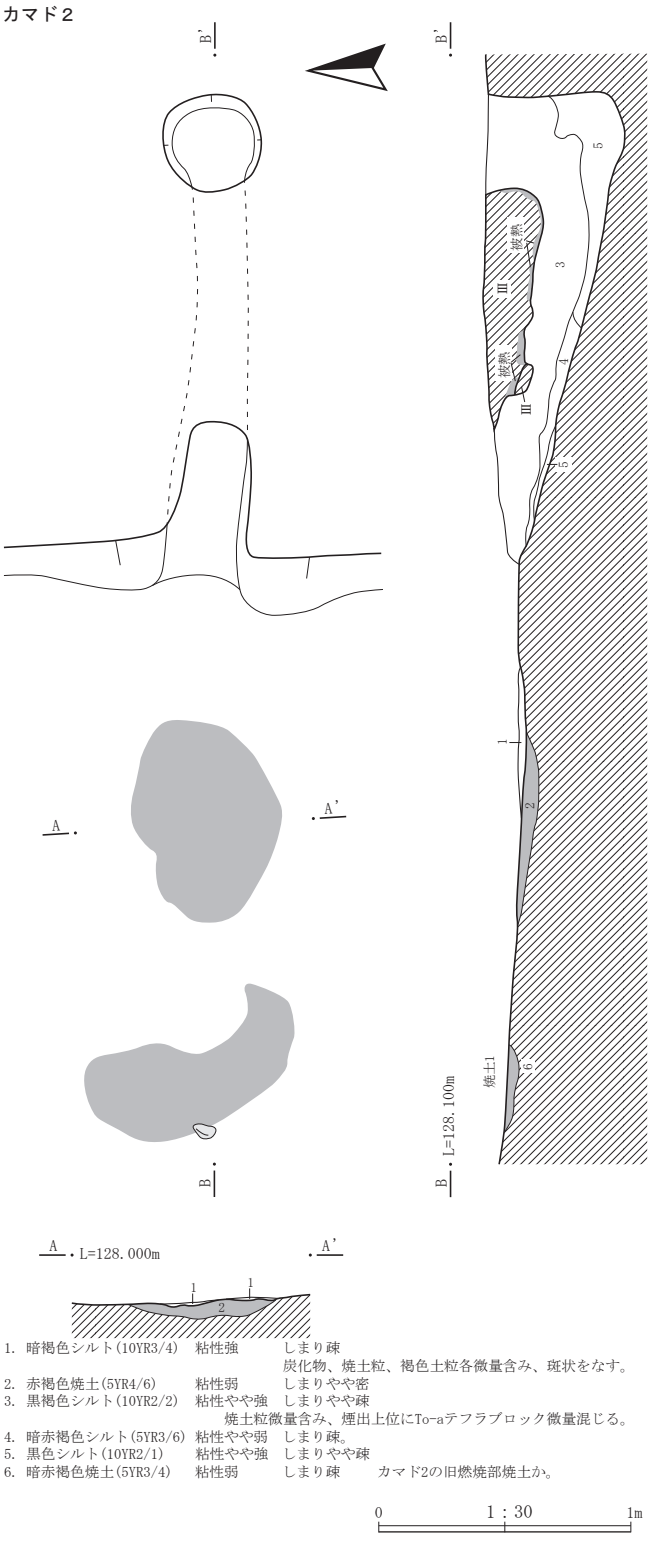
南側に付く。110×92cmの楕円形で、深さ50cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑４は東壁際に付く。86×77cmの楕円形で、深さ33cmである。土坑５は北壁際のほぼ中央に付く。110×87cmで、深さ20cmである。検出面上にに焼土が広がっている。土坑６も北壁際で、土坑５に近接する。80×74cmの歪な楕円形で、深さ10cmである。上面の側縁が被熱し、焼土が広がる。またその上には被熱した粘土が円形に広がるのを確認した（第262図）。火を使う何らかの作業施設の可能性がある。土坑７は西壁際中央に付く。120×105cmの楕円形で、深さ39cmである。土坑５と同様に検出面上に焼土が広がる。土坑８は土坑４に切られる。径90cmの円形で、深さ18cm、位置からみてカマド２に伴う貯蔵穴か。土坑９はカマド１の手間側に位置する。112×106cmの楕円形で、深さ11cmである。土坑10は土坑３に切られる。〈130〉×143cmの楕円形で、深さ50cmである。カマド２に伴う貯蔵穴と推測する。前述の通り、埋没後、上面にカマド１の袖が構築されている。埋土中でTo-aテフラブロックの混入を確認した。土坑11は土坑５とPit２に切られる。94×〈63〉cmの楕円形で、深さ40cmである。土坑12は南壁に付き、一部壁外に張り出す。径70cmの不整な円形で、深さ32cmである。

［柱穴・壁溝］柱穴は15個検出した。そのうち柱配置からPit１・２・４・11・13が主柱穴と考える（第260図下）。特にPit１・２はⅠ・Ⅱ期共に使用された主柱穴と推測され、またどちらも柱痕跡が見受けられた。壁溝は北壁から西壁にかけて、東壁の一部で見受けられる。

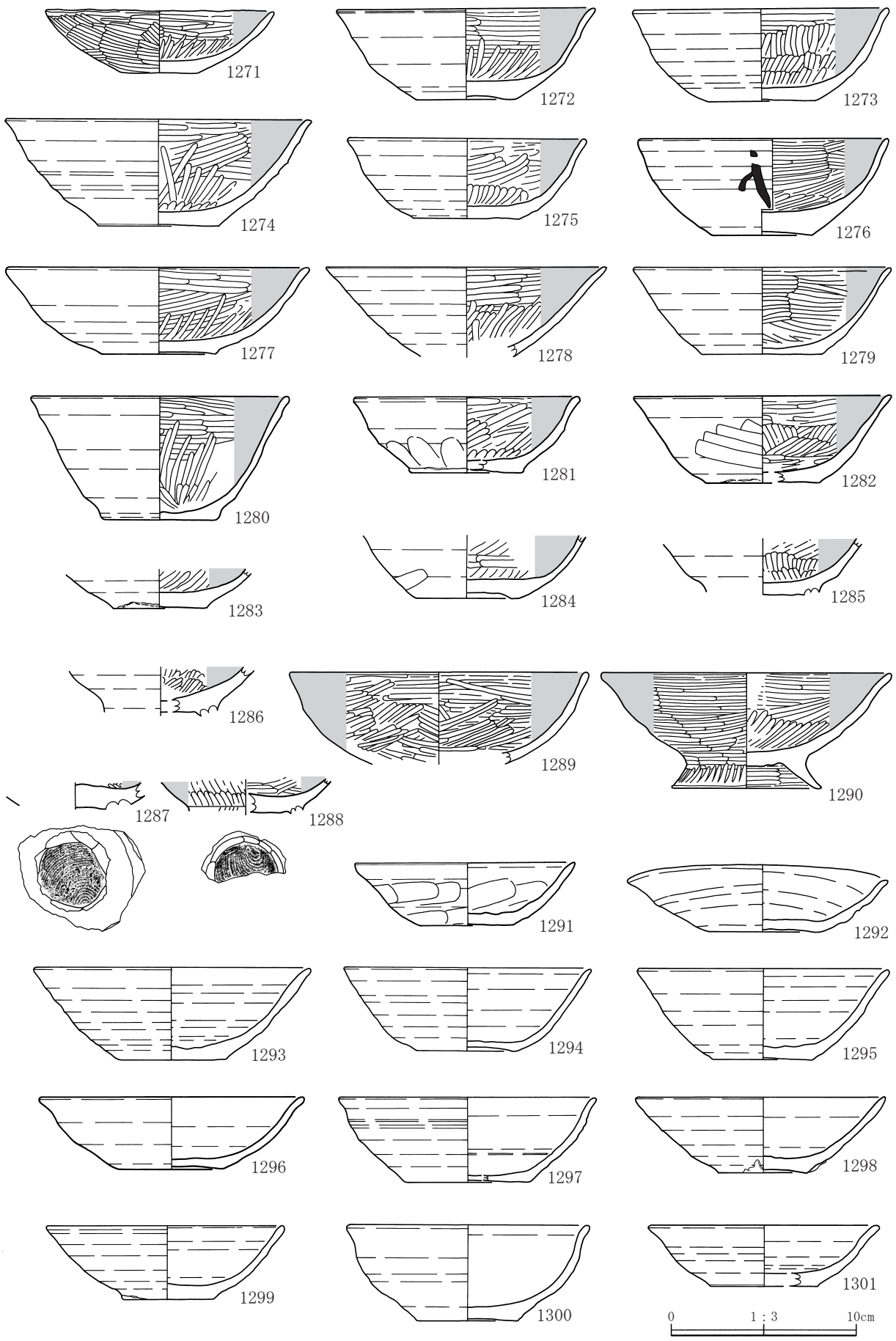
［その他］床面上で、柱状ないし板状の炭化材を検出した。これらのうち４点、樹種同定分析を試み、ニレ属・クリ（カエデ）・ケンポナシ属との結果を得ており（第Ⅶ章－４）、燃焼材と推測する。

［出土遺物］古代土器23428.2g分、緑釉陶器、砥石、鉄製品、木製品、鉄滓が出土している。遺構の上部が消失しているわりに出土量が多く、特に土坑内などから多く出土している。

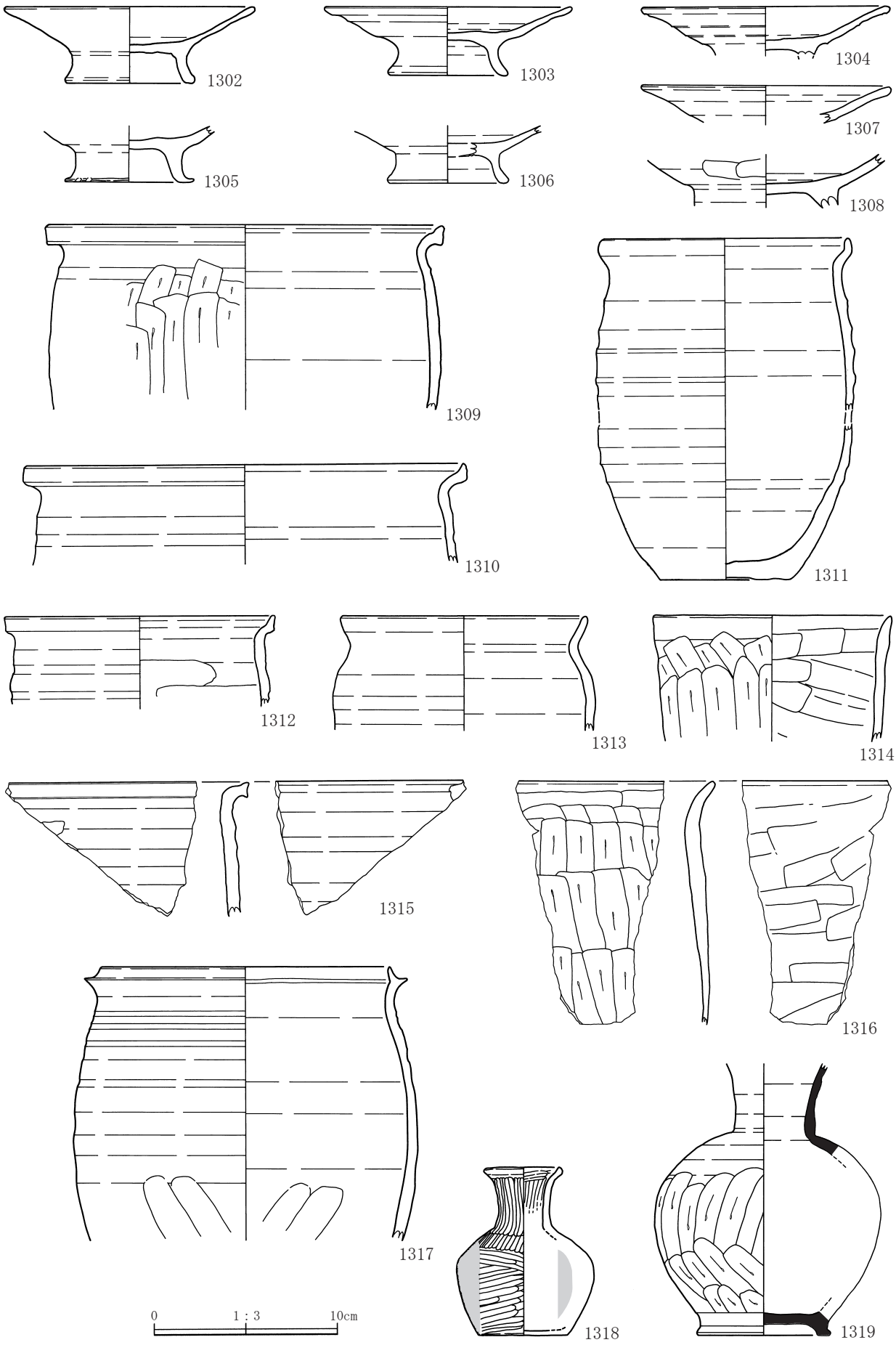
土師器は坏（1271～1284・1289・1291～



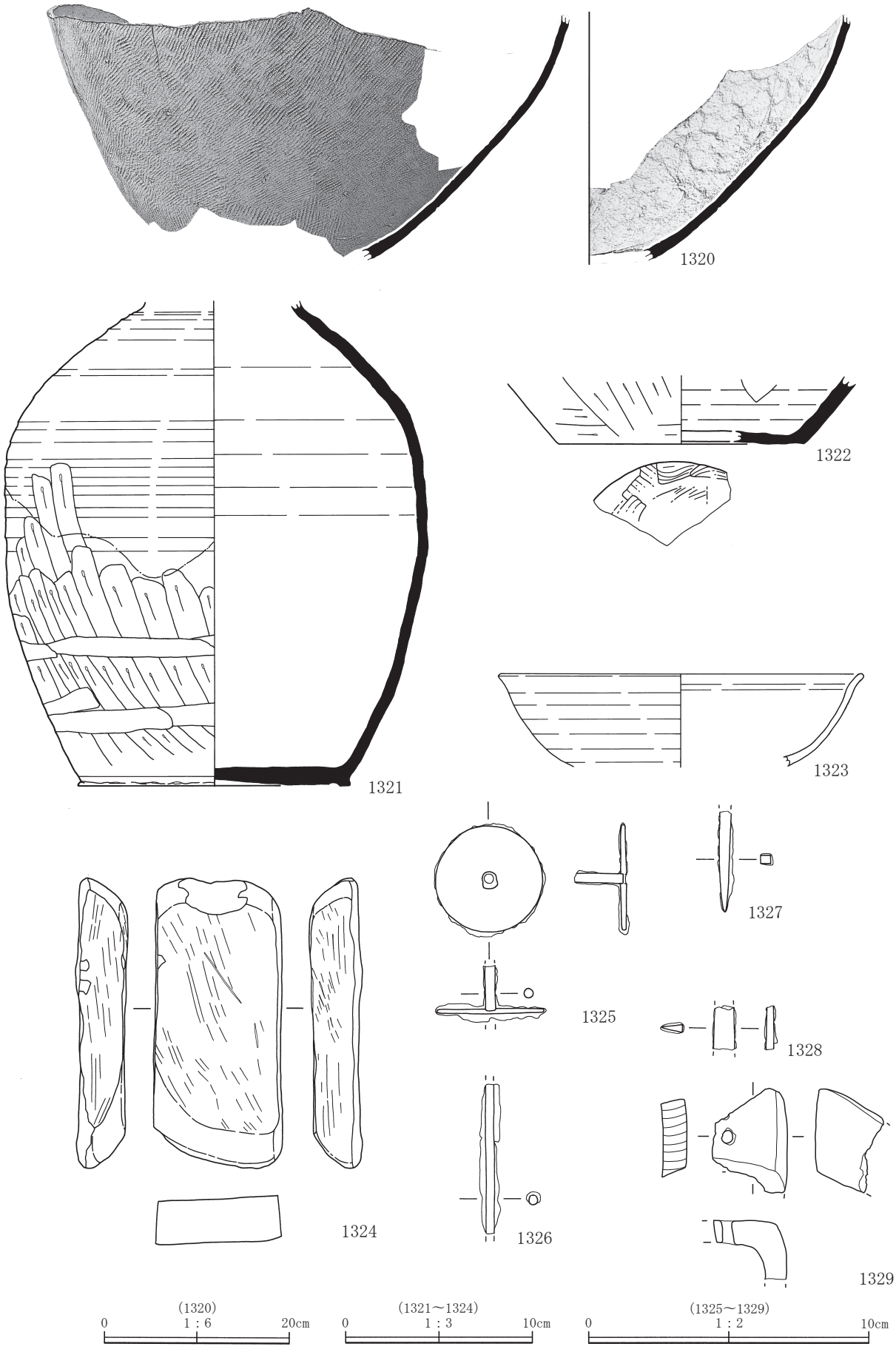
第264図　65号竪穴建物跡５



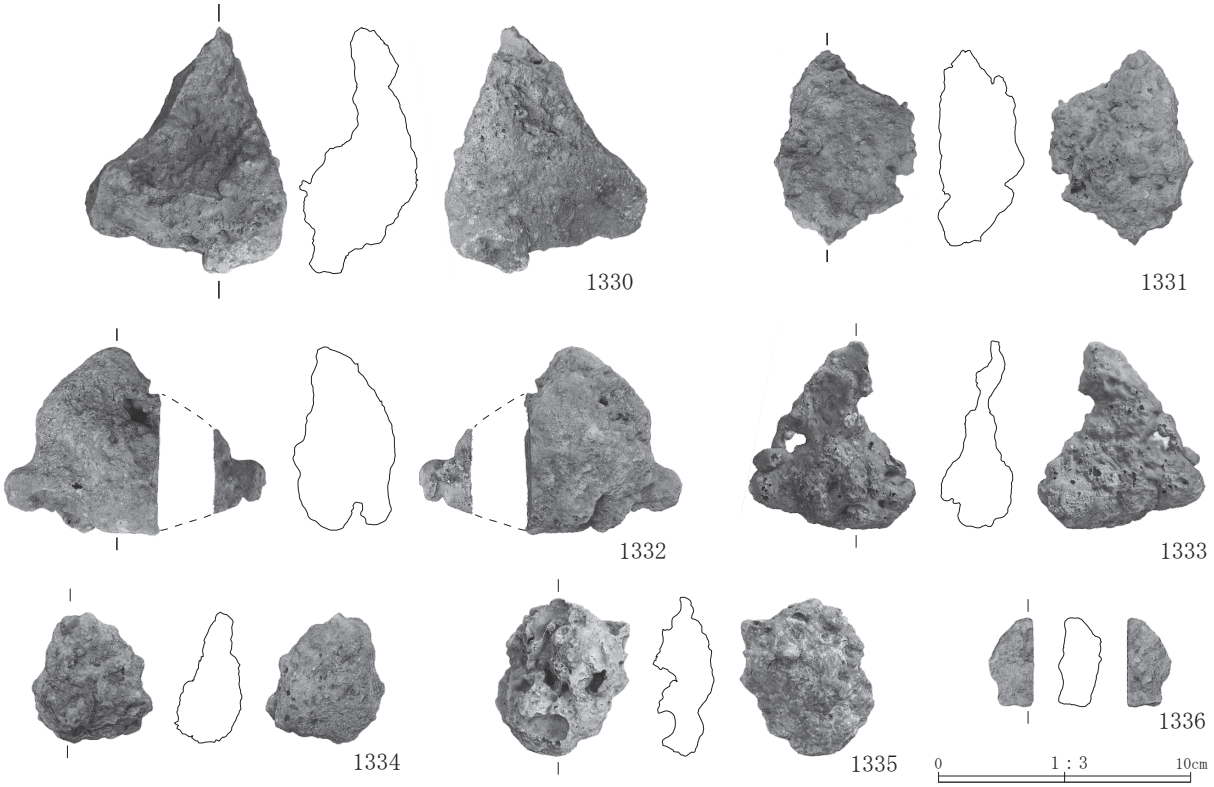
第265図　65号竪穴建物跡出土遺物1



第266図　65号竪穴建物跡出土遺物２



第267図　65号竪穴建物跡出土遺物3



第268図　65号竪穴建物跡出土遺物４

1301）、台付坏（1285～1288・1290・1302～1308）、甕（1309～1316）、羽釜（1317）、壺（1318）がある。須恵器は長頸瓶（1319・1321）、甕（1322）、大甕（1320）がある。

緑釉陶器が１点（1323）、カマド１の燃焼部部焼土面上から出土している。大碗で、口縁部から胴部上半の破片である。産地は東海地方西部（篠岡か東濃）、９世紀後半、黒笹90号窯式併行期に帰属すると推測する。

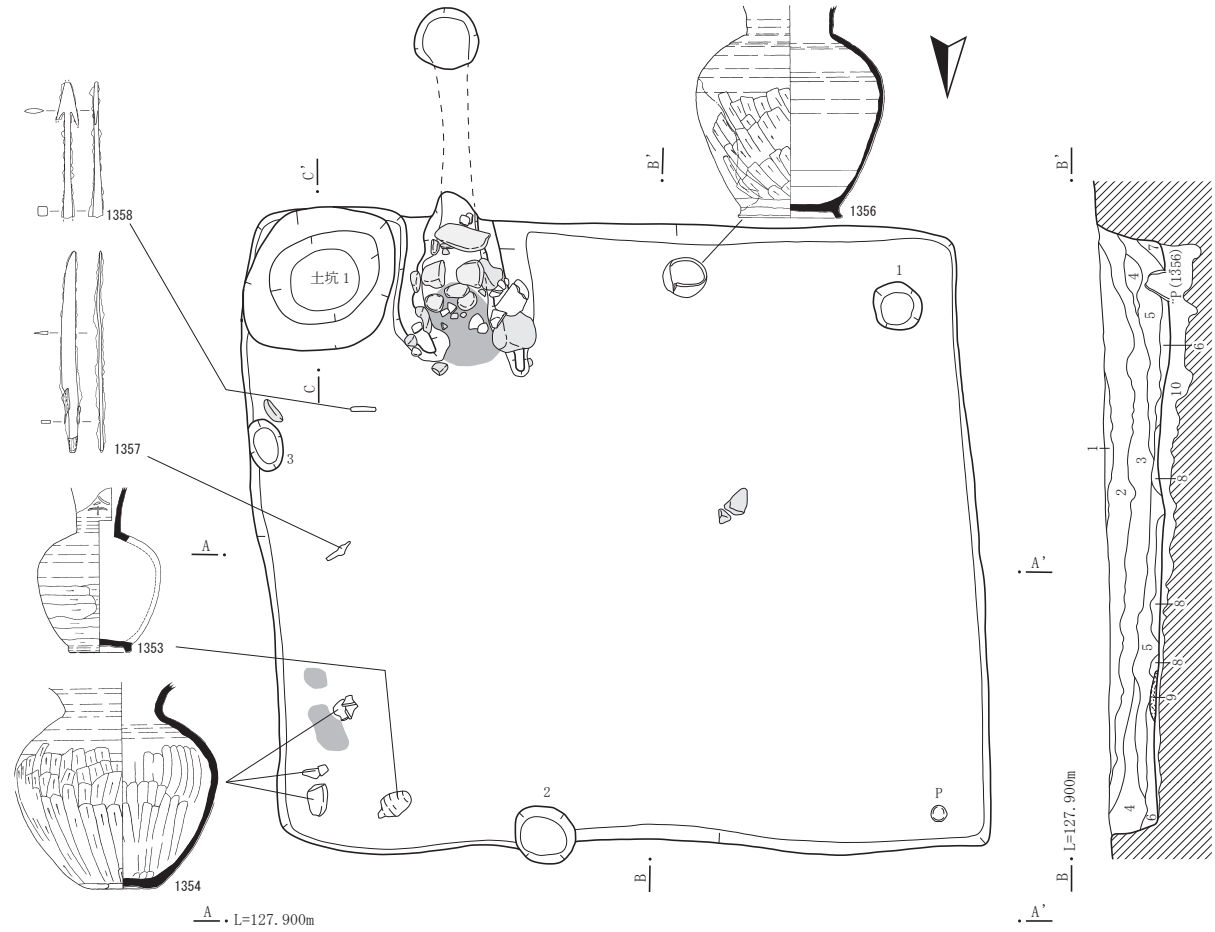
砥石が１点（1324）土坑２の埋土中から出土している。側面と合わせて３面に研いだ痕跡が見受けられる。

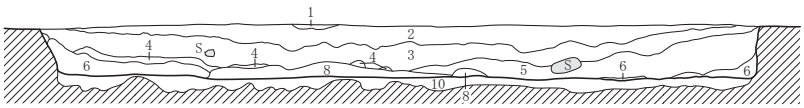
鉄製品は４点出土した。1325は紡錘車で棒軸部が欠損する。Pit７から出土した。1326・1327は床面上から出土している。どちらも棒状で、紡錘車の軸部分や鉄鏃の茎部である。1328は刀子の破片で、土坑６から出土している。

木製品が１点（1329）、土坑１の埋土から出土している。破片であるが、２箇所の面取りと１箇所の穿孔が見受けられる。器種は不明。材質は樹種同定分析の結果、ケヤキであるとの結果を得ている。（第Ⅶ章-４）

鉄滓が床面上や土坑4・10などから合わせて18点出土している。７点（1330～1336）掲載し、そのうち２点（1332・1336）は成分分析を試みている（両者とも分析後に実測しており、そのため試料となった部分は消失した）。どちらも鍛錬鍛冶滓という結果を得ている（第Ⅶ章-６）。他も全て鍛錬鍛冶滓と推測する。

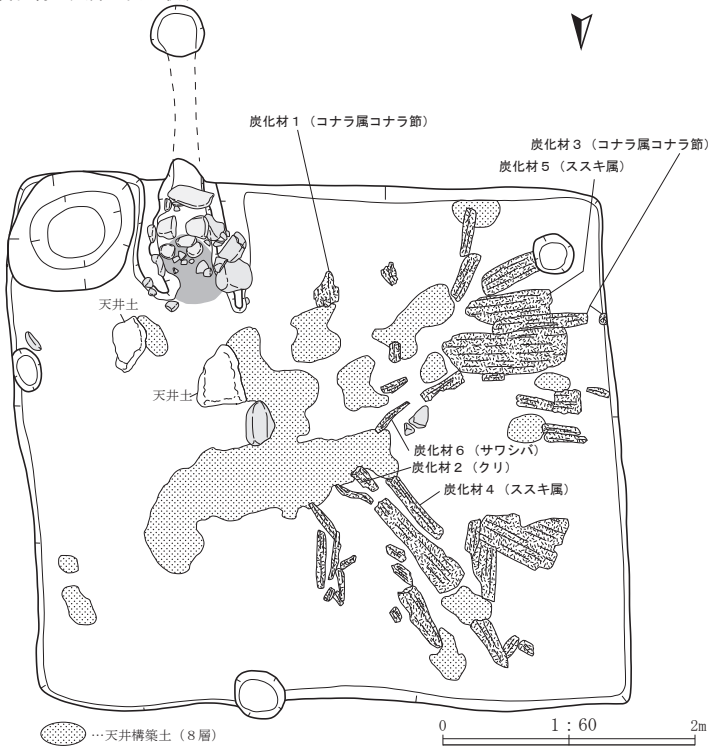
［性格］土坑群は比較的大きく、床面の広い範囲を占有している。また土坑２・６・７・８は検出面上や土坑の側縁、壁面の広い範囲が被熱すること、また鍛錬鍛冶滓が出土していることから、土坑群は鍛錬鍛冶に関わる作業施設の可能性が高い。したがって本遺構は鉄製品に関わる作業を行う工房



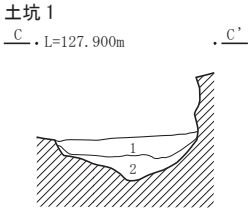


1. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまりやや疎
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや疎
　To-aテフラブロック中量含む。
3. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや強　しまりやや疎
4. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや疎
　明褐色土粒微量含む。
5. 黒色シルト(10YR1.7/1)　粘性強　しまりやや疎
　明褐色土粒微量含む。
6. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性強　しまりやや疎
7. 黒色シルト(10YR1.7/1)　粘性強　しまりやや密
8. 赤褐色シルト(5YR4/8)　粘性強　しまりやや疎
　天井土崩落土。
9. 黒色炭(10YR1.7/1)　粘性強　しまり疎　建物構築材か。
10. 褐色シルト(10YR4/6)　粘性弱　しまりやや密　貼床土。
　黒色土多量含み、斑状をなす。

炭化材・天井土出土状況



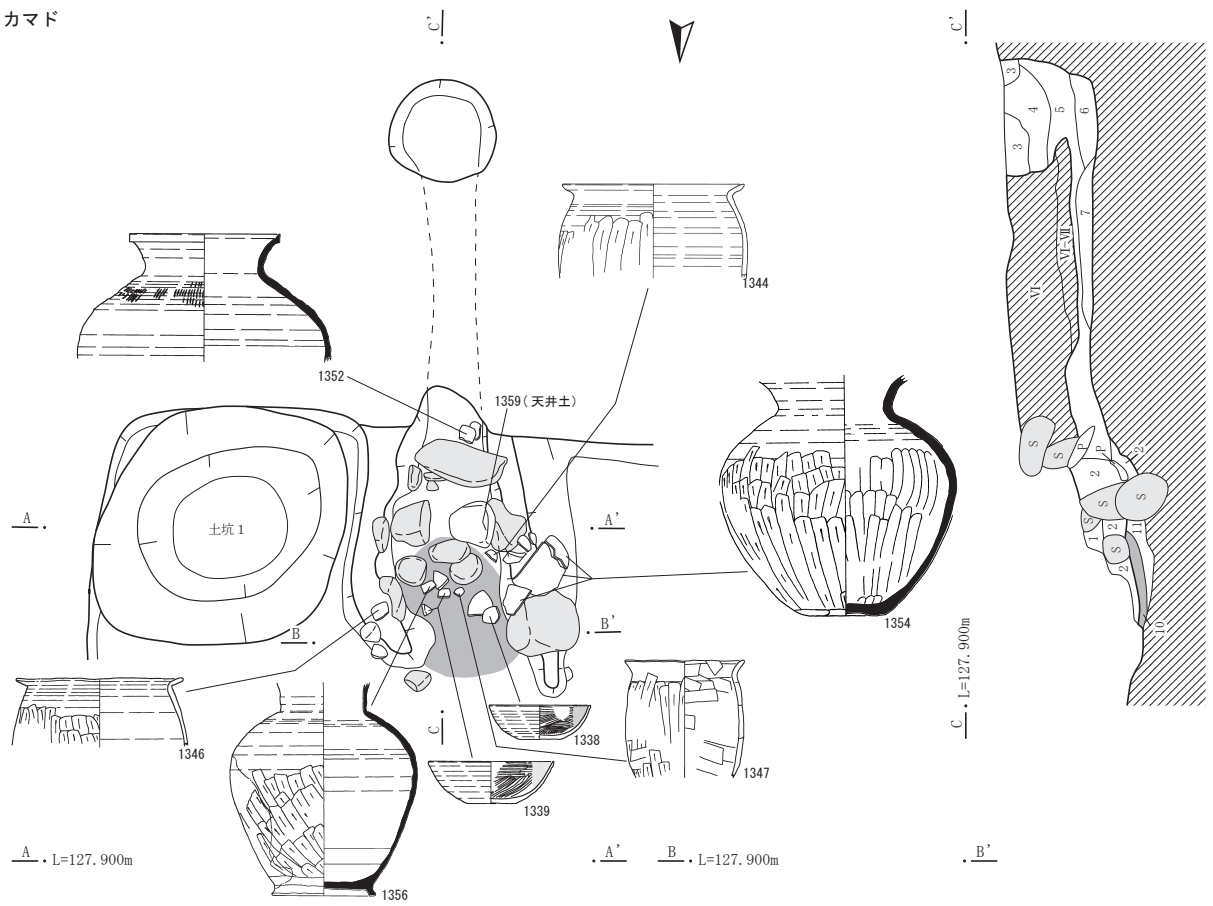
土坑1



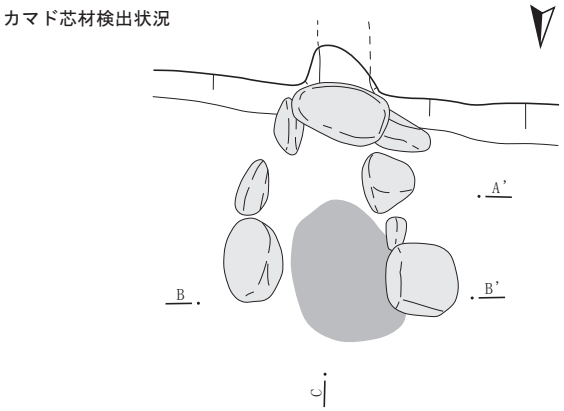
1. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性弱　しまり疎　褐色土粒微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性弱　しまり疎
　炭化物多量、黄褐色シルト微量含み、斑状をなす。
　底面に土師器片多く混じる。

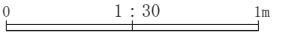
0　1：50　2m

第269図　66号竪穴建物跡1

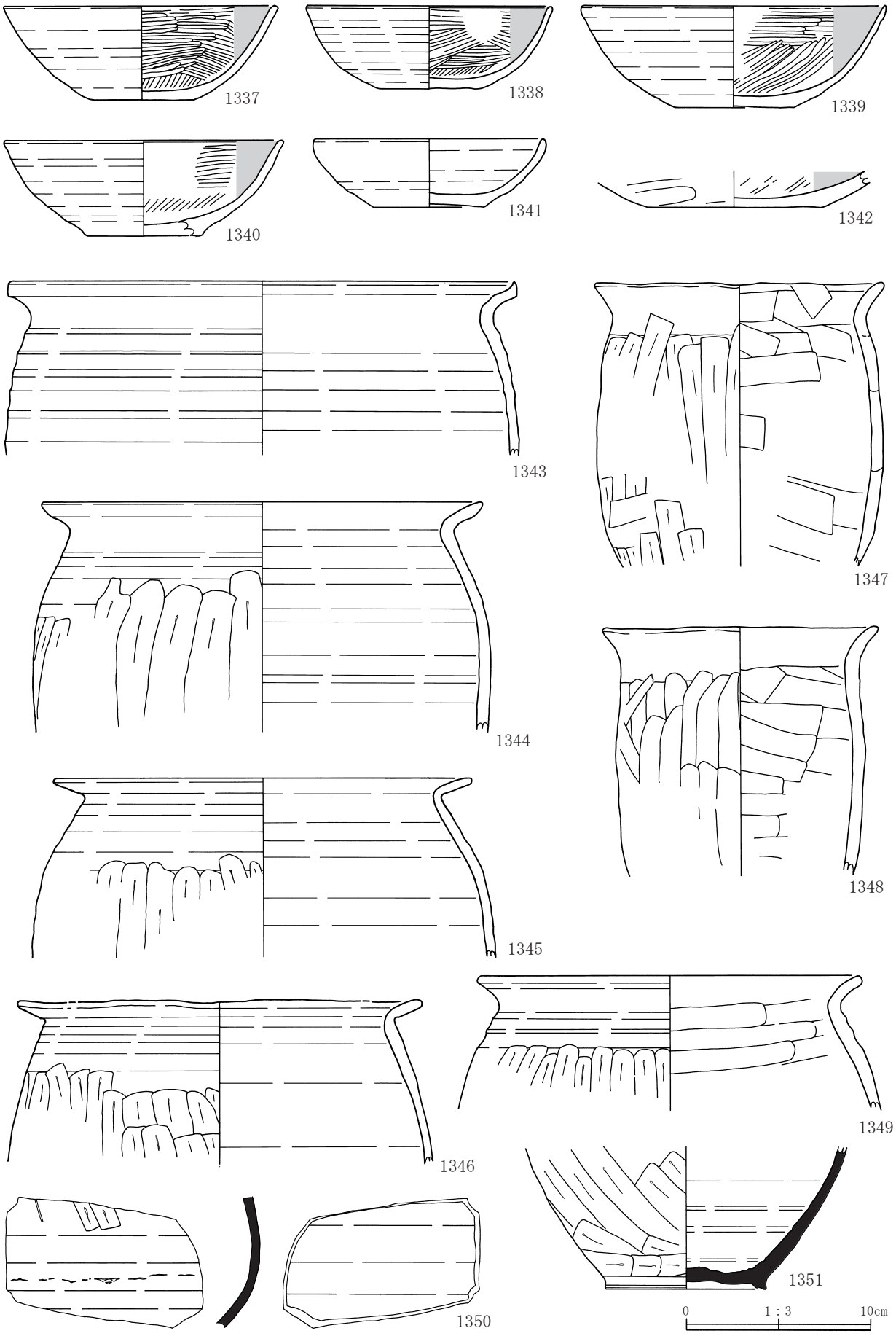


1. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性やや強	しまり疎	炭化物微量、褐色シルト粒微量含む。
2. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性やや弱	しまりやや密	
3. 黒色シルト(10YR1.7/1)	粘性やや弱	しまりやや密	褐色シルト粒微量含む。
4. 黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや弱	しまりやや密	暗褐色シルトブロック少量含み、斑状をなす。
5. 黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや弱	しまりやや密	
6. 黒色シルト(10YR1.7/1)	粘性やや強	しまりやや密	褐色シルト粒微量含む。
7. 暗褐色シルト(10YR3/4)	粘性やや強	しまりやや密	褐色シルトブロック少量含む。
8. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性強	しまり疎	カマド構築土。
9. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性強	しまり密	カマド構築土。
10. にぶい赤褐色焼土(5YR4/4)	粘性やや強	しまり疎	燃焼部焼土。
11. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性強	しまりやや密	貼床土。褐色シルト中量含み、斑状をなす。
12. 黒色シルト(10YR1.7/1)	粘性強	しまりやや密	貼床土。褐色シルト微量含み、斑状をなす。
Ⅵ. 黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや強	しまりやや密	煙道天井部（地山）。
Ⅵ-Ⅶ. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性やや弱	しまり疎	煙道天井部（地山）。

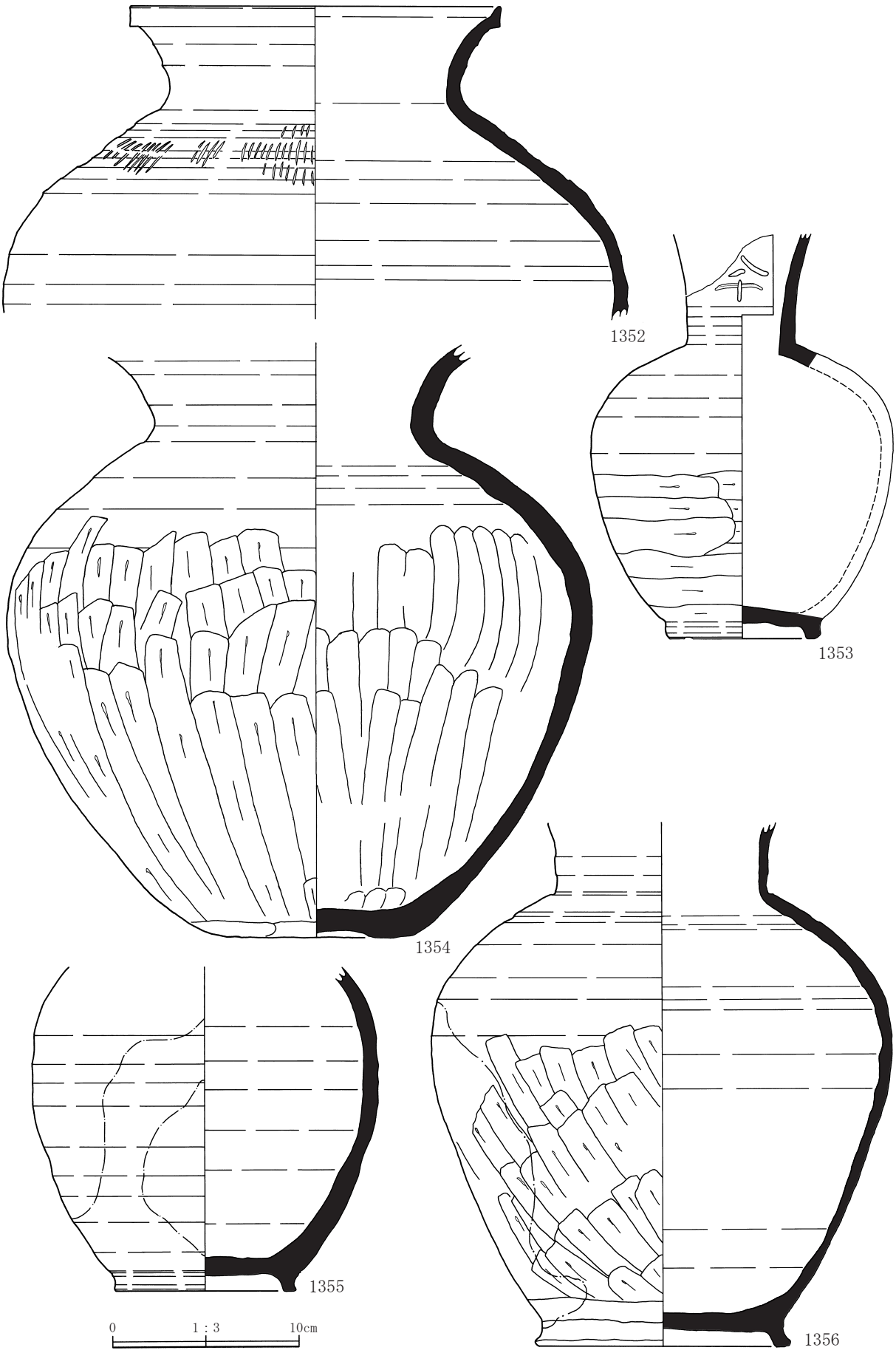




第270図　66号竪穴建物跡2



第271図　66号竪穴建物跡出土遺物1



第272図　66号竪穴建物跡出土遺物２

（鍛冶工房）と考える。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

66号竪穴建物跡（第269～273図、カラー写真図版３・５、写真図版70・224～226）

［位置・検出状況］調査区東側中央ⅢA21g、ⅢA21h、ⅢA22g、ⅢA22hグリッドに位置する。河道跡とⅢ層上面で黒色のプランで検出した。後述するが、本遺構は「焼失住居」の可能性が高い。

［規模・平面形］北辺463cm、東辺401cm、南辺458cm、西辺397cmを測り、カマドを正面として、横長の長方形を呈する。床面積は18.5㎡である。

［埋土の状況］９層からなり、黒色、黒褐色シルトを主体とする。南壁際の５・６層は三角堆積しており。埋没は自然堆積によるものと推測する。また２層下部に灰白色の火山灰ブロックが混入するのを確認した。同定分析を試み、「To-aテフラ」との結果を得ている（第Ⅶ章-３）。

［床面・壁］床面はⅦ～Ⅷ層、壁はⅥ～Ⅶ層で検出した。床面は若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は全周する。わずかに外へ広がるがほぼ直立気味である。壁高は最大42cmである。

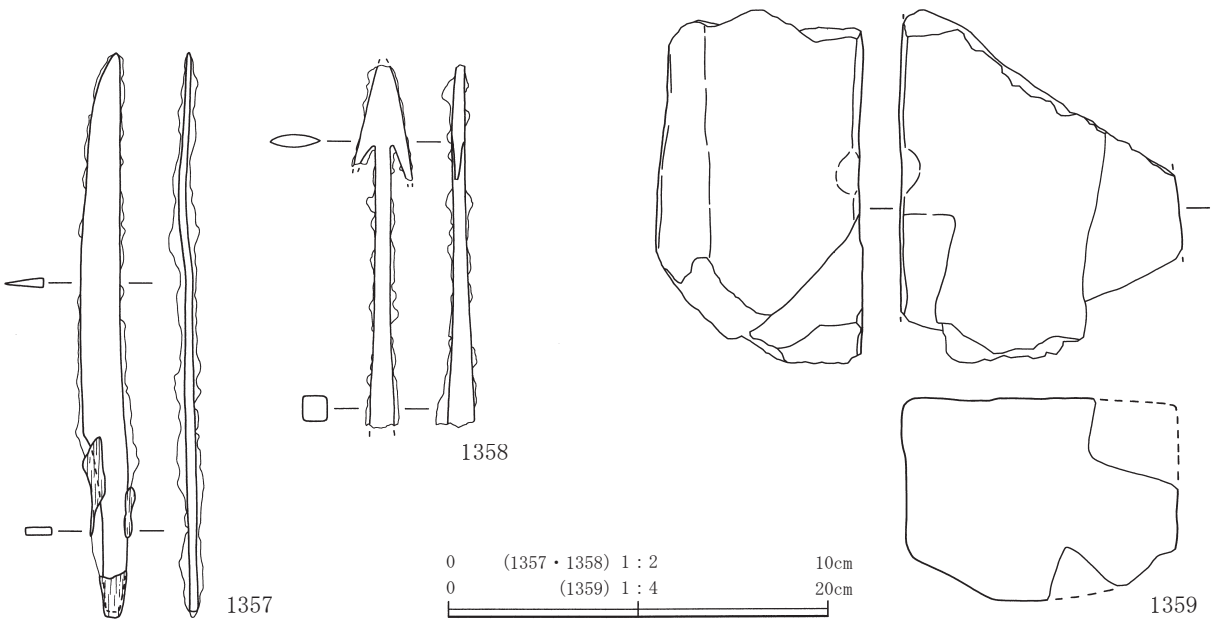
［貼床］床面のほぼ全面に施される。貼床土は、褐色シルトを主体とし、黒褐色シルトブロックが多量に混じる。掘り方は歪で、特に床面の北側はⅧ層（礫層）が露出するためか、浅い。深さは２～18cmである。

［カマド・炉］カマドが南壁の東寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は68×42cmを測る。被熱は弱く、にぶい赤褐色を呈する。被熱深度は４cmである。

袖は両袖残存する。構築土は黒褐色～暗褐色シルトで、やや硬くしまる。また構築土内には芯材礫が、東袖は３個、西袖は４個あり、また構築土の奥側には35×15cmの扁平な礫が天井石として載っている。したがって芯材礫と天井石は組み合わせた上で構築土を被せている（第270図下は、構築土を取り除いた状態）。芯材礫は床面に差し込むか、据え置くのみで、構築土を被せている。カマド内の埋土には天井を覆ったと推測する粘土塊（「天井土」）が見受けられ、同様の天井土はカマドの手前側の床面上からも出土している。

煙道は南壁から140cmのびている。刳り抜き式である。焼土面とは18cmの段差になっており、煙



第273図　66号竪穴建物跡出土遺物３

道内はほぼ水平に煙出しピットに至る。煙出しピットは径40cmである。また検出段階で、袖部や焼土面上から多量の礫や土器片が出土しており、カマドは廃絶時、礫で覆われたものと推測する。

［土坑］１基検出した。カマドの東側に付く。116×97cmの不整な楕円形で、深さは20cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は３個検出した。柱配置は不明である。壁溝は見受けられなかった。

［そのほか］床面上で、柱状の炭化材が多量に出土している。炭化材は床面の西側に寄っている。またその炭化材の周辺や床面中央で、被熱し赤褐色を呈する土（断面８層土）の広がりを確認した（第269図下）。柱状の炭化材は概ね、中央から放射状に向いており、壁際に立てかけられた状態で出土した炭化材もある。これらの点から、本遺構は焼失住居と判断した。出土した炭化材の多くは屋根等の建築材であった可能性が考えられ、被熱した８層土は屋根上に被せていた「屋根土」と推測される。また壁際に堆積する４・５層中にはⅢ（Ⅶ？）層土に類似した明褐色シルトブロックが混入しているが、これらは本遺跡周辺に構築された「周堤」が崩落し、遺構内に流入したものの可能性がある。なお、出土した炭化材のうち５点について、樹種同定分析を試み、コナラ属コナラ節、ススキ属、サワシバという結果を得ている（第Ⅶ章―４）。

［出土遺物］古代土器12404.4g分、鉄製品、土製品（天井土）が出土している。出土位置は埋土中のほか、床面上やカマド内とその周辺が目立つ。床面上では特に東壁寄りで須恵器甕（1354）、長頸瓶（1353）、また刀子（1357）や鉄鏃（1358）が、南壁際からは須恵器長頸瓶（1356）が出土している。カマド周辺では第270図上に示したように土師器の坏（1338・1339）や甕（1344・1346・1347）、須恵器甕（1352）が出土し、また床面上から出土した、1354や1356の破片も含まれている。

土師器は坏（1337～1341）、甕（1342～1349）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるものが多い。甕はロクロ成形（1343～1345・1349）、非ロクロ成形（1347・1348）どちらもある。1342は底部片と考える。内面に黒色処理が施される。須恵器は瓶類（1350・1351・1353・1355・1356）と甕（1352・1354）がある。瓶類は底面に高台を持つ。1353は長頸瓶で、口縁部のみ欠損するが、頸部に刻書されており、一部欠損するが、文字は「八千」であろうと推測する。

鉄製品は２点（1357・1358）で、床面上から出土している。1357は完形の刀子で、柄に木質の一部が残存する。1358は鉄鏃で、両端を欠損する。尖矢式である。

1359はカマドの芯材礫上に載っている粘土塊で、天井土と判断した。欠損しているが、少なくとも３面を面取りし、立方体に成形されている。また被熱している。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

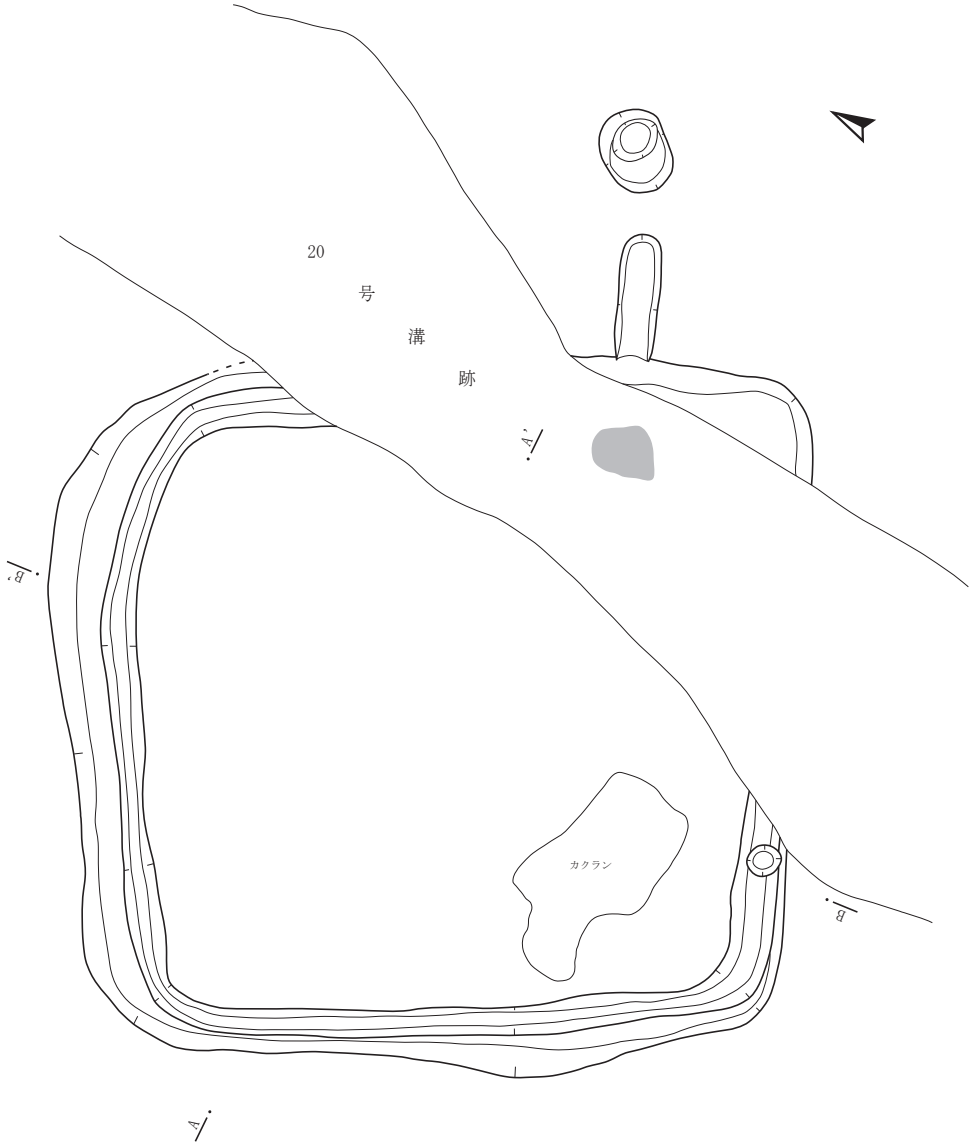
67号竪穴建物跡（第274～276図、写真図版71・226・227）

［位置・検出状況］調査区北東側ⅢA24d、ⅢA24e、ⅢA25d、ⅢA25eグリッドに位置する。Ⅲ層上面と一部Ⅷ層で黒色のプランで検出した。20号溝跡と重複し、本遺構の方が古い。

［規模・平面形］北辺400cm、東辺434cm、南辺401cm、西辺448cmを測り、正方形を呈する。床面積は19.8㎡である。

［埋土の状況］９層からなり、黒褐色シルトを主体とする。ただし１層は外からの流入土か。壁際の２・５・８層などが複雑な堆積をしており。埋没は人為堆積の可能性がある。また１・２層中にTo-aテフラブロックが混入するのを確認した。

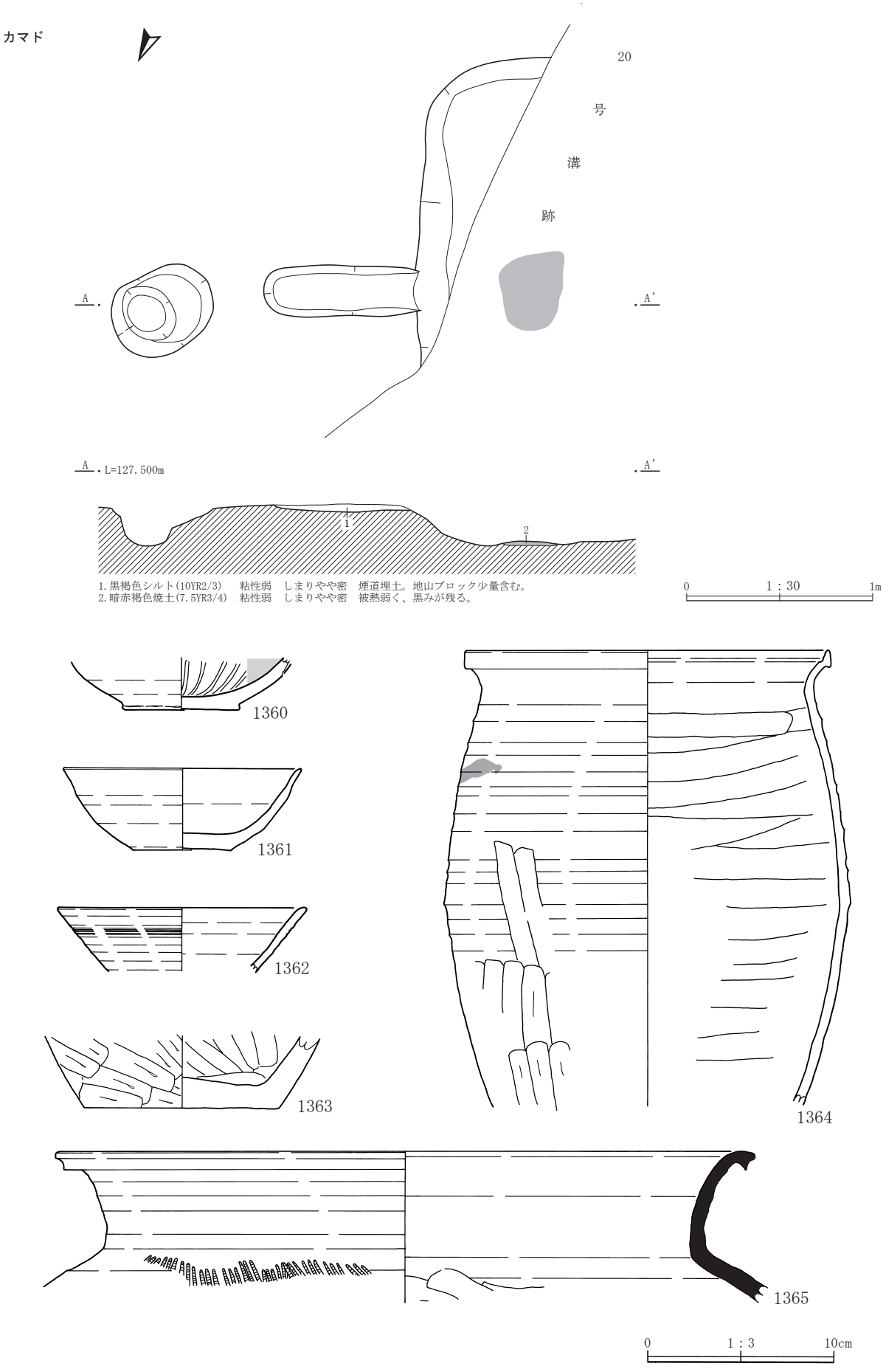
［床面・壁］Ⅷ層（礫層）で検出した。床面は弱化の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は20号溝跡に壊された範囲を除き、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高16cmである。



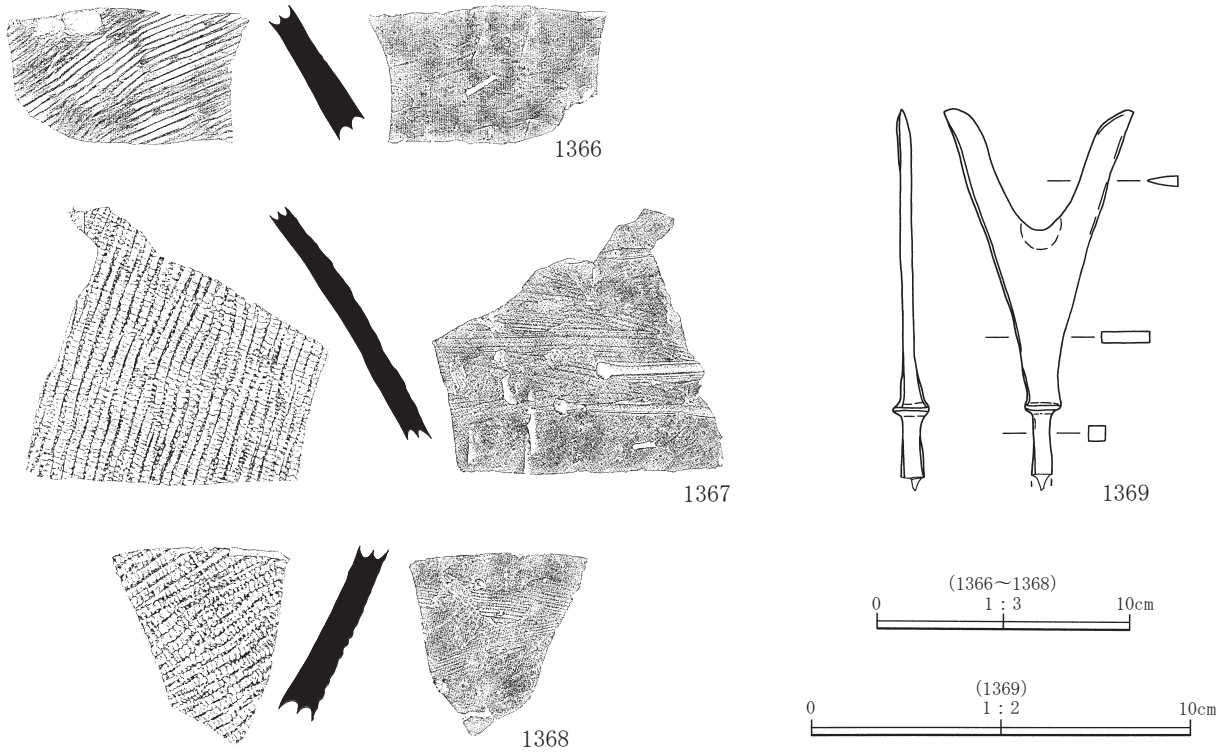
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　To-aテフラブロック微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　To-aテフラブロック微量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまり密　地山ブロック微量含む。
5. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまりやや密　地山ブロック微量含む。
6. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまりやや密　To-aテフラブロック微量、地山ブロック微量含む。
7. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性弱　しまりやや密　地山ブロック少量含む。
8. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　To-aテフラブロック微量、地山ブロック微量含む。
9. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性弱　しまりやや密　壁溝埋土。地山ブロック中量含む。
10. 黒色シルト(10YR2/1)　粘性やや弱　しまりやや密　壁溝に流入した黒色シルトブロック。To-aテフラブロック微量含む。

0　1：50　2m

第274図　67号竪穴建物跡1



第275図　67号竪穴建物跡２・出土遺物１



第276図　67号竪穴建物跡出土遺物２

［貼床］見受けられなかった。床面を礫層で構築しているためか。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と煙道を検出した。

燃焼部焼土面は20号溝跡の底面で検出した。したがって本来の焼土面は削平され、確認できたのは、焼土面下部の被熱痕と推測する。残存した範囲は39×33cmを測る。被熱は弱く、暗赤褐色を呈する。確認できた被熱深度は２cmである。

煙道は東壁から162cmのびている。ただしほとんど削平され底面しか残存せず、煙出しピットの手前28cm分は消失している。煙出しピットは57×45cmの楕円形で、深さ17cmである。

［土坑］なし。

［柱穴・壁溝］柱穴はなし。壁溝は南東隅を除き、全周する。

［出土遺物］古代土器2939.4g分、鉄製品が出土している。

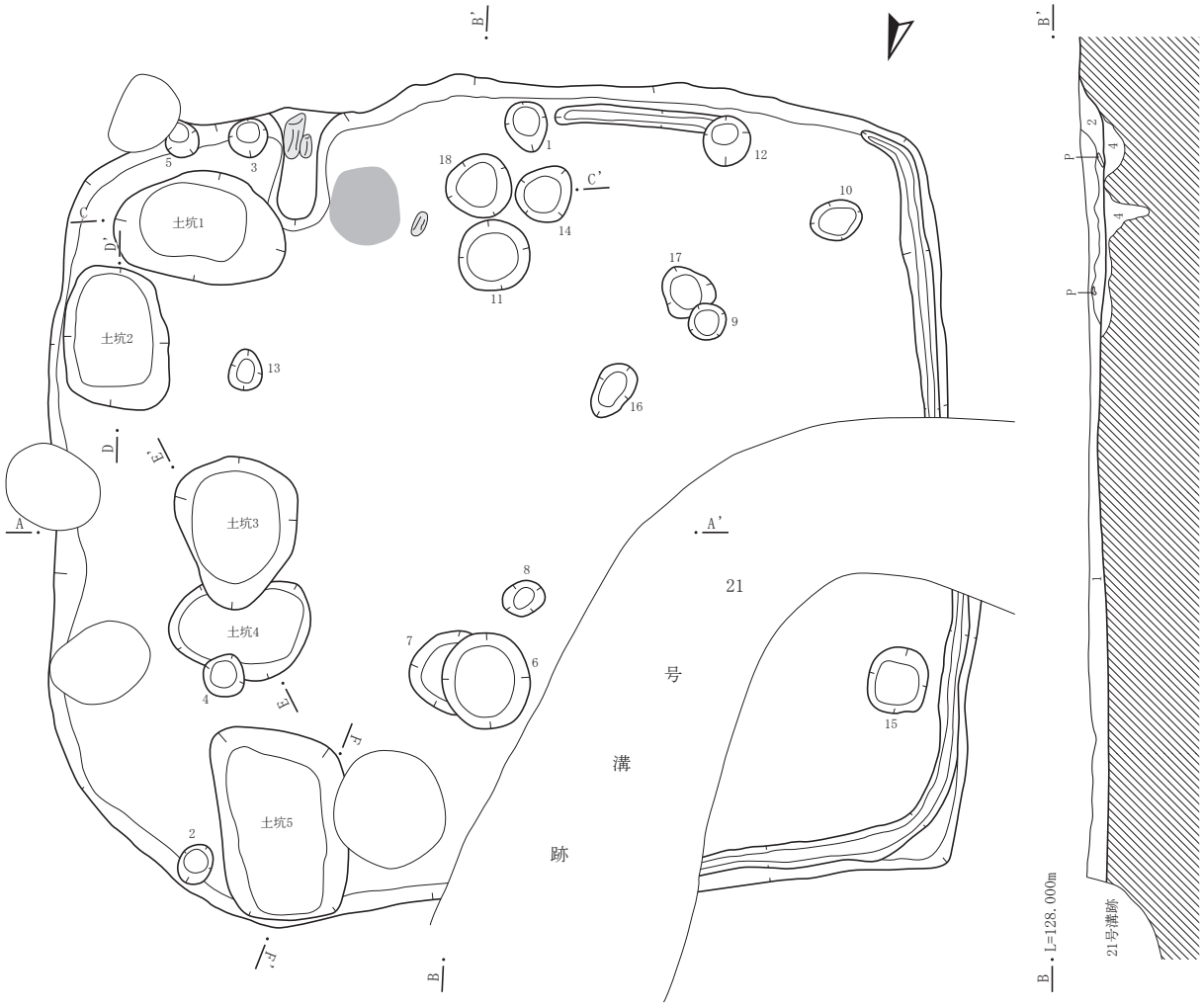
土師器は坏（1360～1362）、甕（1363・1364）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるもの（1360）とロクロ成形のみのもの（1361）がある。1364は甕の大型破片で、胴部上半に煤が付着している。須恵器は大甕（1365～1368）がある。1365は口縁部片で、推定される口径は38cmである。胴部にタタキが残る。1366～1368は胴部片である。

鉄製品は１点（1369）、埋土上位から出土している。鉄鏃で、茎部が欠損する。雁又式で本遺跡から出土した鉄鏃のなかでは珍しい。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

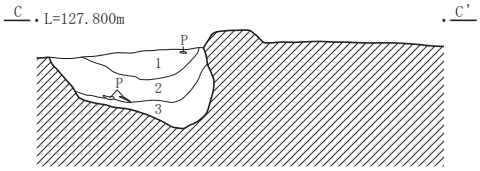
68号竪穴建物跡（第277～282図、写真図版72・227～230）

［位置・検出状況］調査区南東側ⅣＡ１i、ⅣＡ１j、ⅣＡ２h、ⅣＡ２i、ⅣＡ２j、ⅣＡ３i、ⅣＡ３jグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。21号溝跡と重複し、本遺構の方が古い。

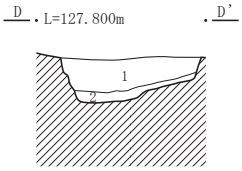


1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック少量、To-aテフラブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック少量、To-aテフラブロック微量含む。
4. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)　粘性やや弱　しまり密　貼床土。黒褐色シルトブロック少、地山ブロック少量含む。

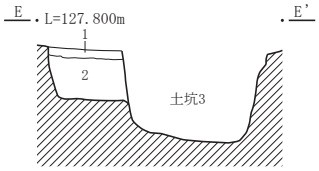
土坑１



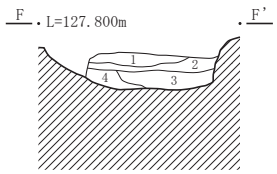
土坑２



土坑３・４



土坑５



土坑１
1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまり密　下部に炭化材少量偏在。焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
3. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまり密　炭化材微量、地山ブロック少量、酸化鉄微量含む。

土坑２
1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや疎　炭化物微量、To-aテフラブロック微量含む。
2. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック微量、酸化鉄微量含む。

土坑３・４
1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、To-aテフラブロック微量、地山ブロック中量含む。
2. にぶい黄褐色シルト(10YR5/4)　粘性弱　しまりやや密　炭化物微量含む。下部は被熱し赤みを帯びる。

土坑５
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロックやや多量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや弱　しまりやや疎　炭化物少量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(7.5YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや疎　炭化物少量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
4. 明黄褐色シルト(10YR7/6)　粘性弱　しまりやや疎　崩落土(Ⅲ層土)。炭化物微量、焼土粒微量、3層土ブロック少量含む。

0　1：50　2m

第277図　68号竪穴建物跡１

［規模・平面形］北辺450cm、東辺520cm、南辺553cm、西辺470cmを測り、歪な隅丸の長方形を呈する。床面積は29.3㎡である。

［埋土の状況］２層からなり、黒褐色シルトを主体とする。ただしほぼ１層が主体である。壁際の２層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。また１層中にTo-aテフラブロックが混入するのを確認した。

［床面・壁］Ⅲ層で検出した。床面は弱化の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は21号溝跡に壊された範囲を除き、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高13cmである。

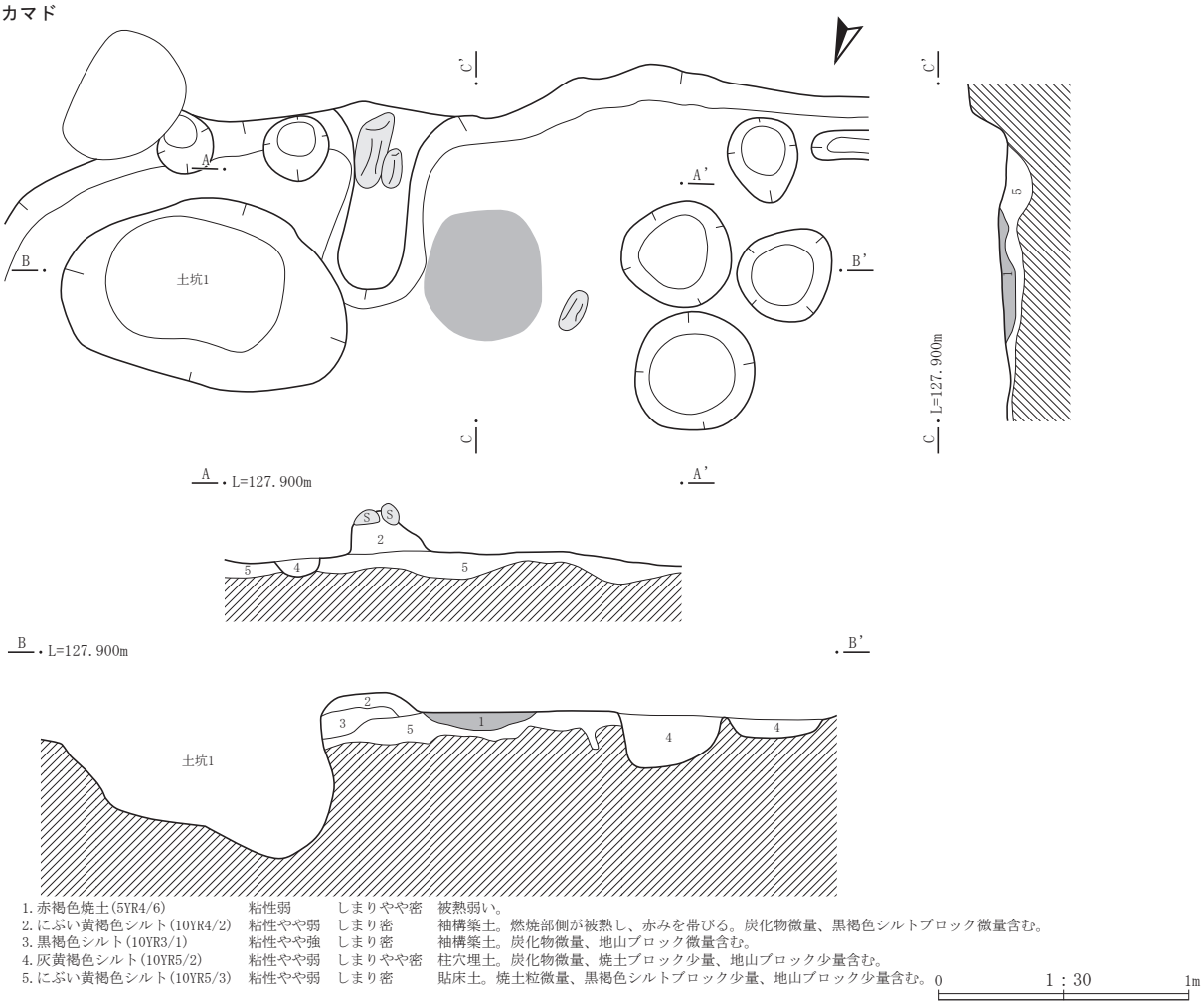
［貼床］壁際のみ施される。貼床土は、にぶい黄褐色シルトで、黒褐色シルトブロックが混じる。掘り方は歪で、深さは２～18cmである。

［カマド・炉］カマドが南壁の東寄りに付く。燃焼部焼土面と袖を検出した。煙道は見受けられない。

燃焼部焼土面は49×47cmを測る。被熱は弱く、赤褐色を呈する。被熱深度は８cmである。

袖は東袖のみ残存する。構築土はにぶい黄褐色、黒褐色シルトで、炭化物が混じる。また芯材礫は見受けられないが、構築土の上部には10～30cm大の礫が混じる。

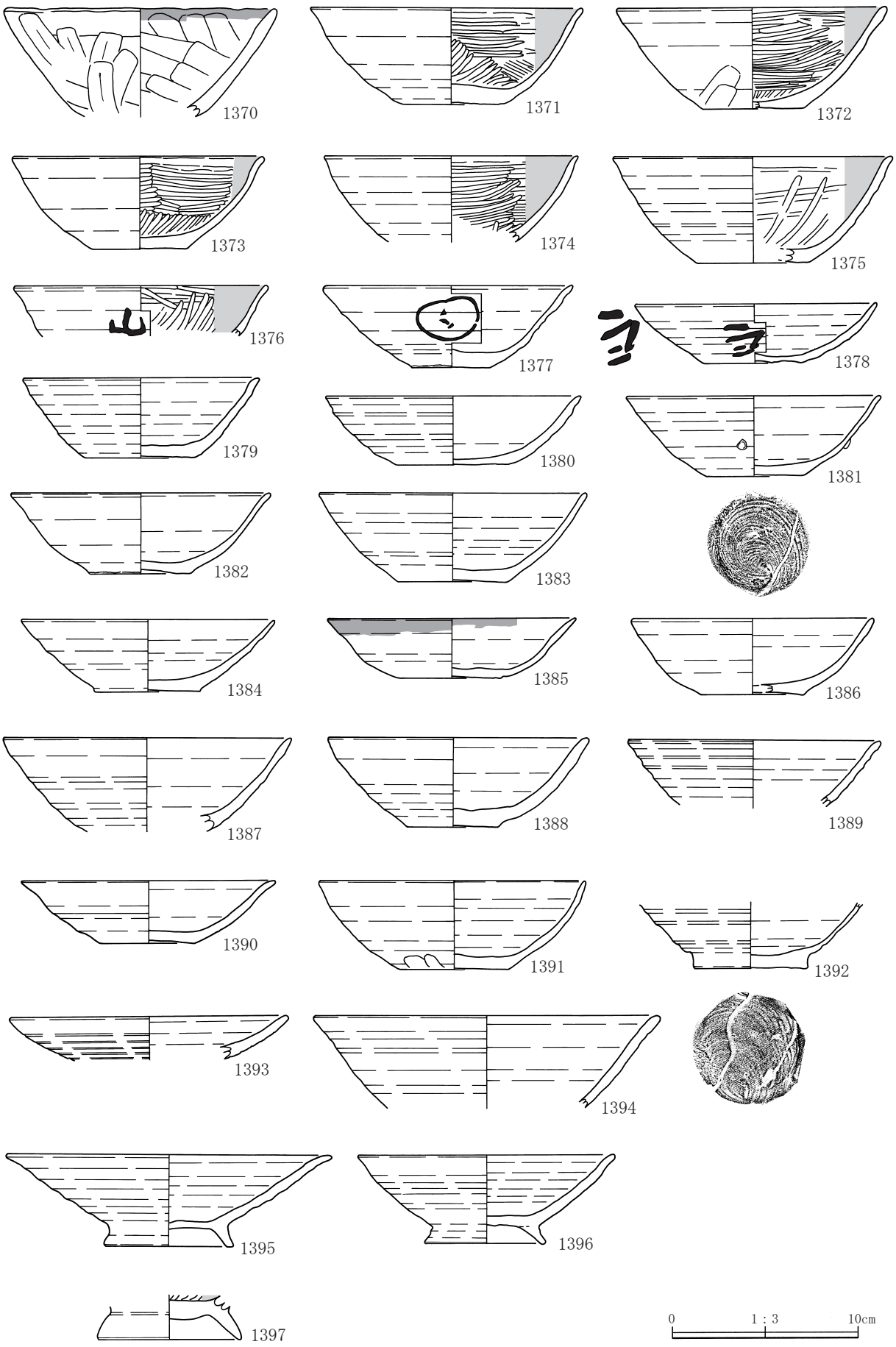
［土坑］５基検出した。土坑１はカマドの東側に付く。115×73cmの楕円形で、深さ50cm、カマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑２～５は東壁際に付く。土坑２は93×68cm、深さ30cm、土坑３は101×82cmで、深さ59cm、土坑４は土坑３と重複し、土坑４の方が古い。95×65cm、深さ33cm、土坑５は129×87cmで深さ30cmである。用途は不明である。



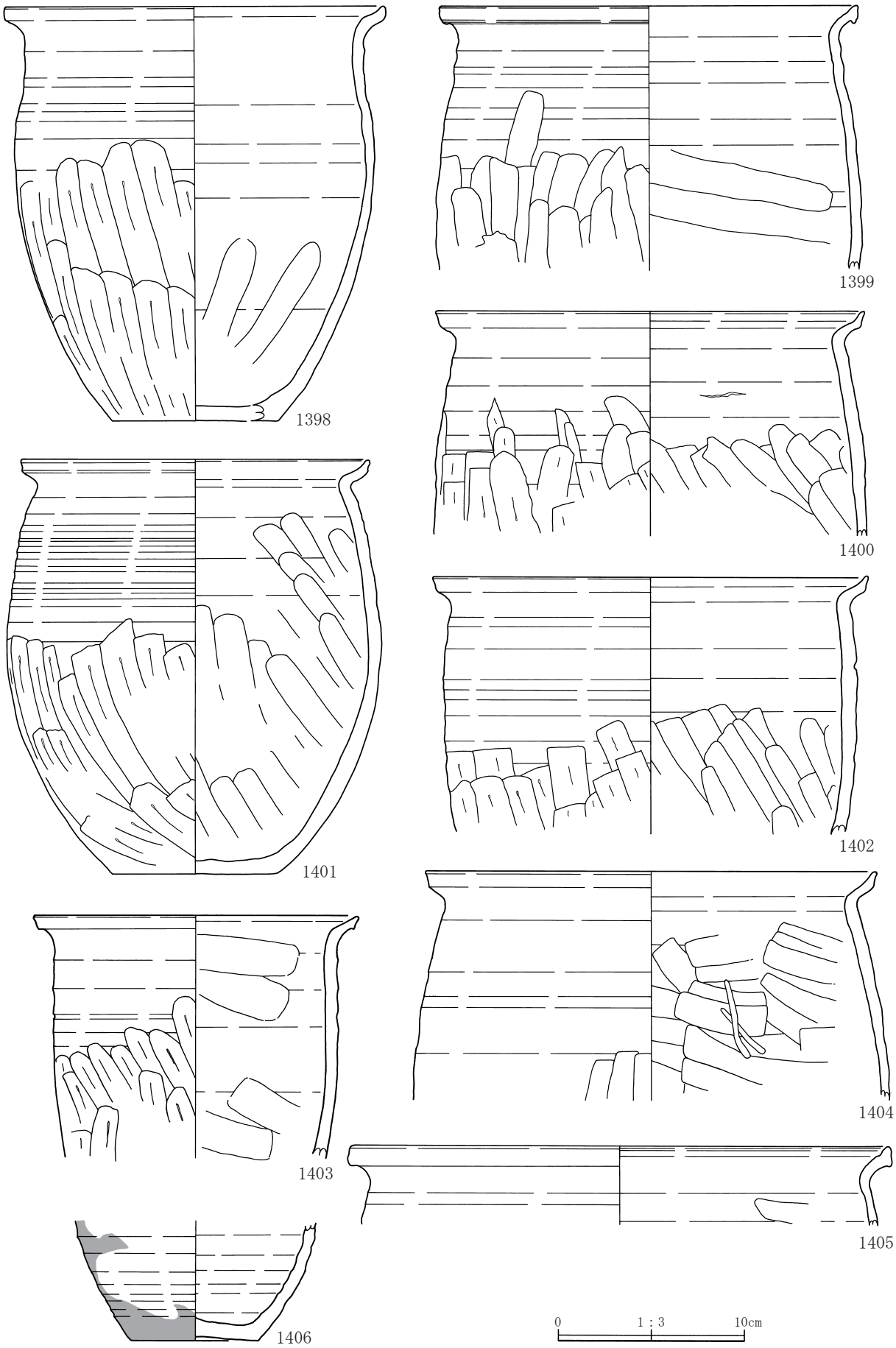
1. 赤褐色焼土(5YR4/6)　粘性弱　しまりやや密　被熱弱い。
2. にぶい黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性やや弱　しまり密　袖構築土。燃焼部側が被熱し、赤みを帯びる。炭化物微量、黒褐色シルトブロック微量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり密　袖構築土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
4. 灰黄褐色シルト(10YR5/2)　粘性やや弱　しまりやや密　柱穴埋土。炭化物微量、焼土ブロック少量、地山ブロック少量含む。
5. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)　粘性やや弱　しまり密　貼床土。焼土粒微量、黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量含む。

0　1：30　1m

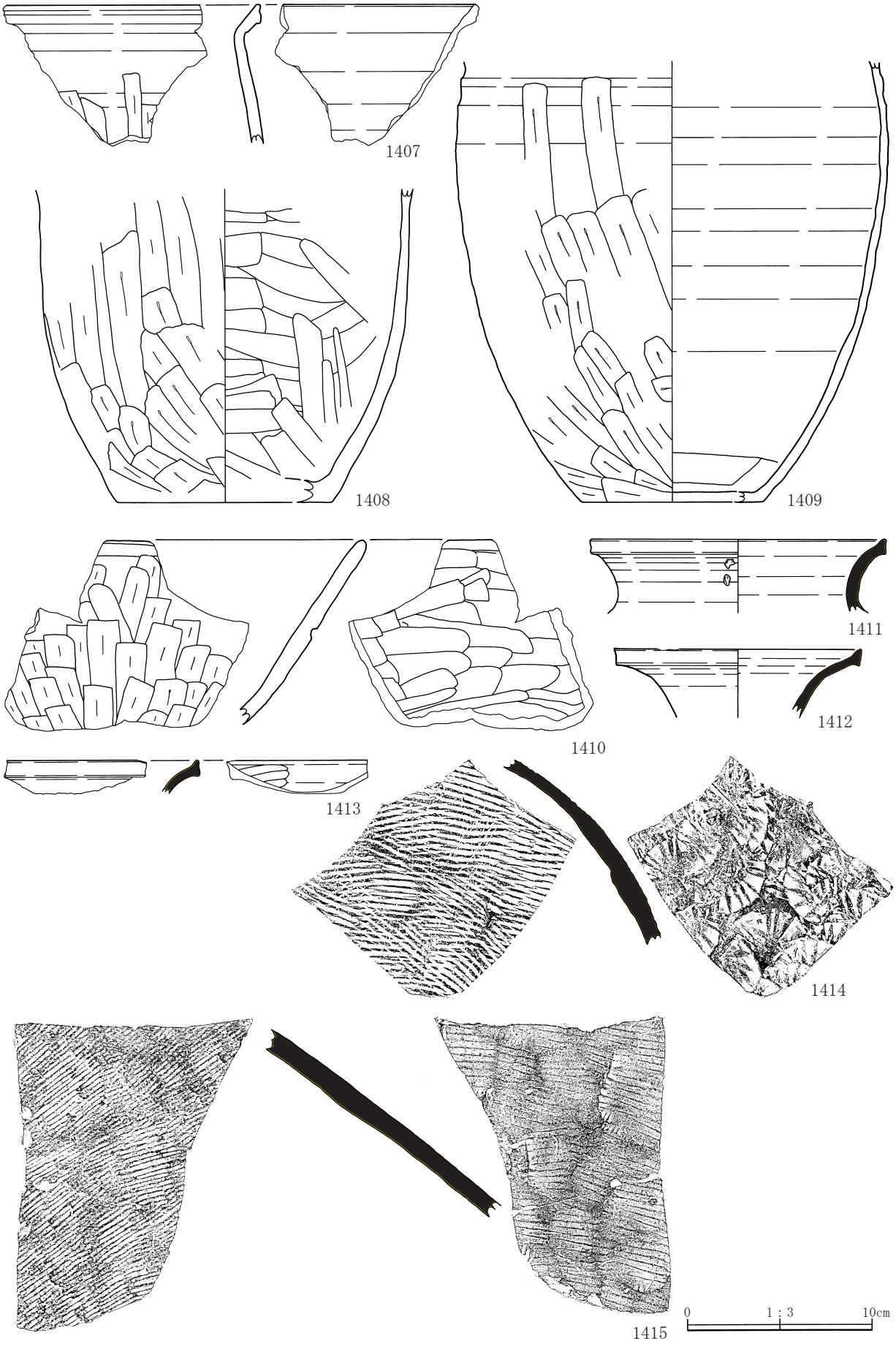
第278図　68号竪穴建物跡２



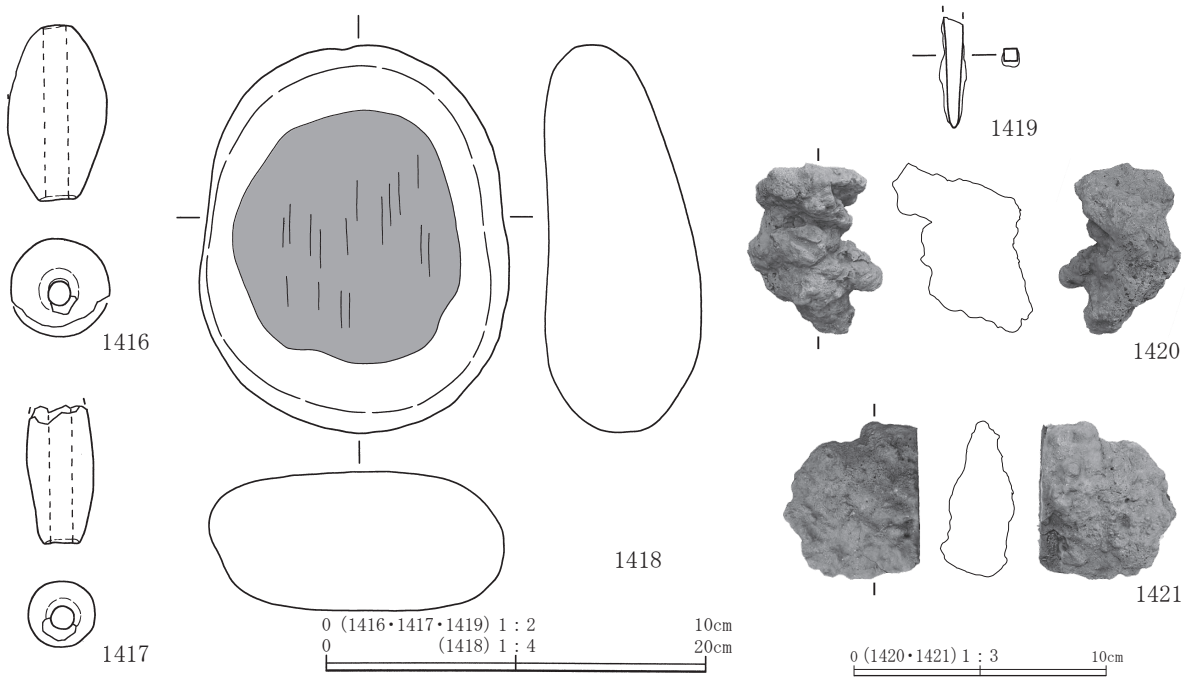
第279図　68号竪穴建物跡出土遺物１



第280図　68号竪穴建物跡出土遺物２



第281図　68号竪穴建物跡出土遺物３



第282図　68号竪穴建物跡出土遺物４

［柱穴・壁溝］柱穴は18個検出した。柱配置からPit６（７）・10・15・18（11）が主柱穴と推測するが、床面西側に寄っている。壁溝は北壁から西壁、南壁の一部で検出した。

［出土遺物］古代土器15996.1g分、土製品、石製品、鉄製品、鉄滓が出土している。埋土中の他、床面上、特にカマド周辺からの出土量が多い。

土師器は坏（1370～1392・1394）、皿（1393）、台付坏（1395～1397）、甕（1398～1409）、鉢（1410）がある。坏は1370が非ロクロ成形で、他はロクロ成形、1371～1379は内面に黒色処理され、他はロクロ成形のみである。1376～1378は墨書土器である。文字は1376が「山」か。1377は「○」内に何らかの文字、1378は不明である。1381は底面に工具による刻みが残る。1392は底面が厚く、柱状高台か。1393は器高が低く、皿とした。甕は破片のみだが、いずれも大きな破片で器形復元できたものが多い。1408は非ロクロ成形、他はロクロ成形である。1406は外面に煤が付着している。1410は口縁部が大きく開く器形と推測され、鉢（鍋？）とした。須恵器は破片で、瓶類の口縁部片（1411～1413）と大甕の胴部片（1414・1415）がある。

土製品は土錘２点（1416・1417）で、どちらも土坑１から出土している。

石製品は安山岩製の台石（1418）で、床面上から出土している。扁平な１面に擦った痕跡が残る。

鉄製品は１点（1419）、埋土下位から出土している。棒状で端部が尖るので、釘と判断した。

鉄滓が３点出土している。２点（1420・1421）掲載し、そのうち1421は成分分析を試み、鍛錬鍛冶滓との結果を得ている（第Ⅶ章－６）。1420も肉眼で観察した限り同じと推測する。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

69号竪穴建物跡（第283図、写真図版73・231）

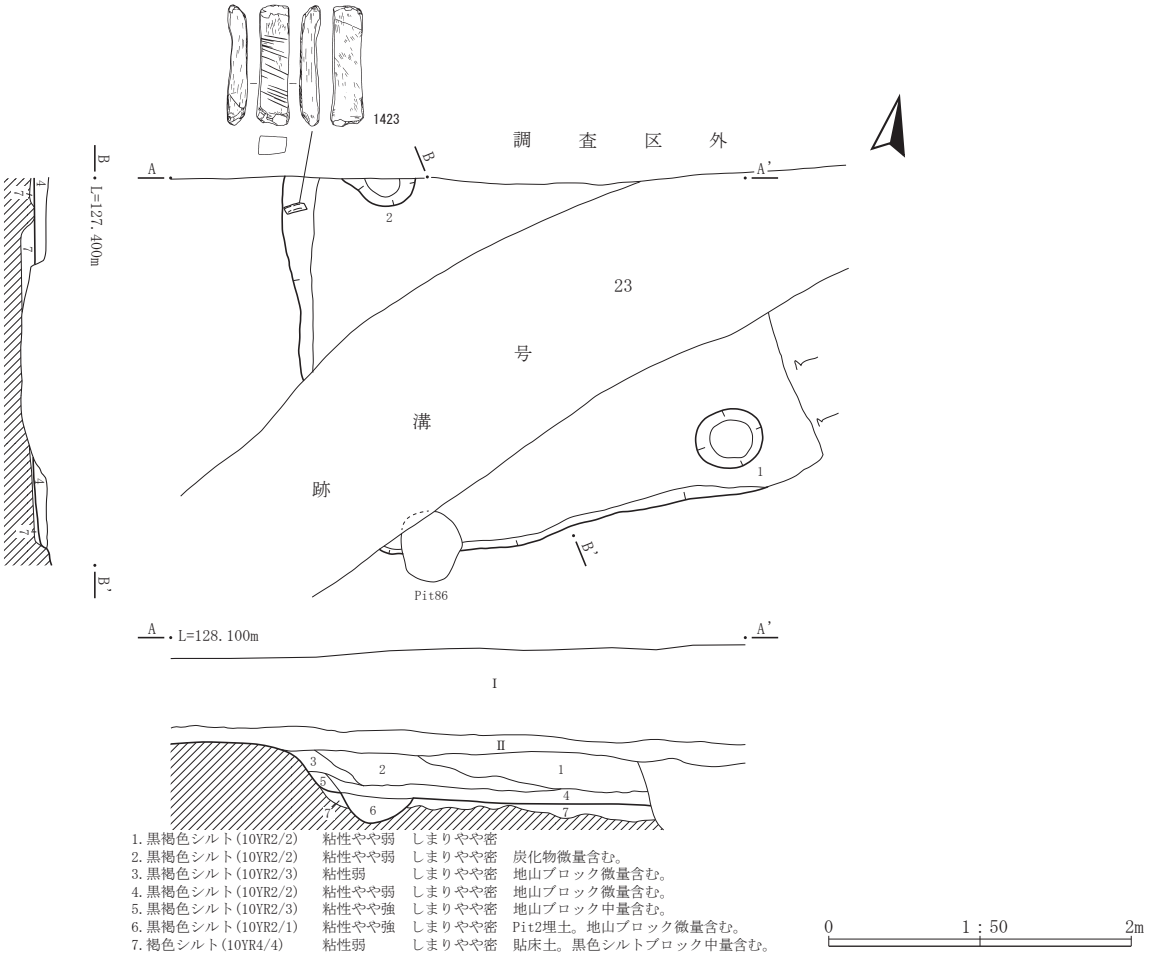
［位置・検出状況］調査区東側北端ⅣＡ２b、ⅣＡ２c、ⅣＡ３b、ⅣＡ３cグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。本遺構は北側の一部が調査区外に及んでおり、加えて東側の一部は

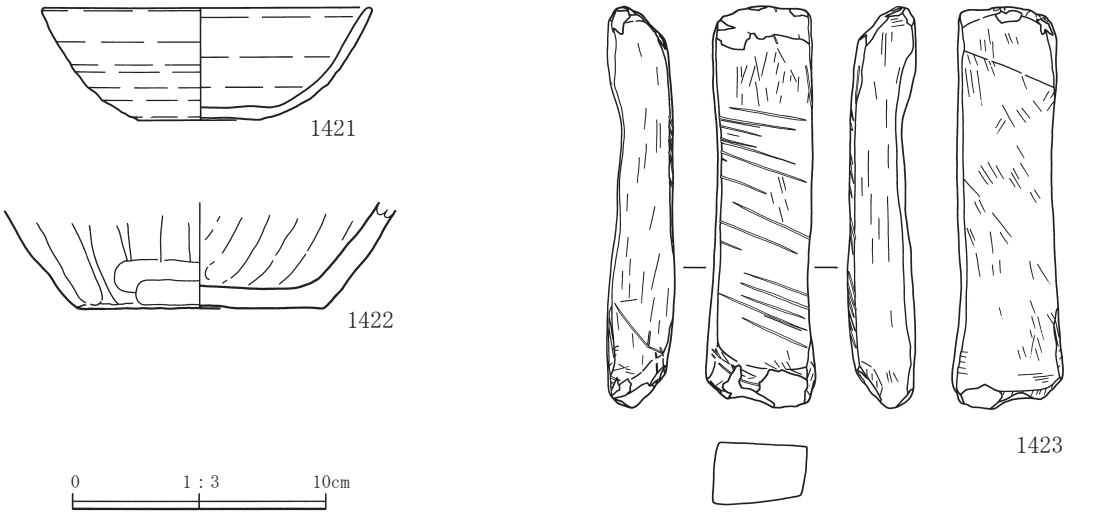
斜面による削平で消失している。

また23号溝跡、Pit86と重複し、本遺構が最も古い。

［規模・平面形］北辺不明、東辺不明、南辺〈295〉cm、西辺〈260〉cmを測り、平面形は隅丸の方形と推測する。検出できた範囲の床面積は〈6.8〉㎡である。

［埋土の状況］５層からなり、黒褐色シルトを主体とする。埋土全体が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

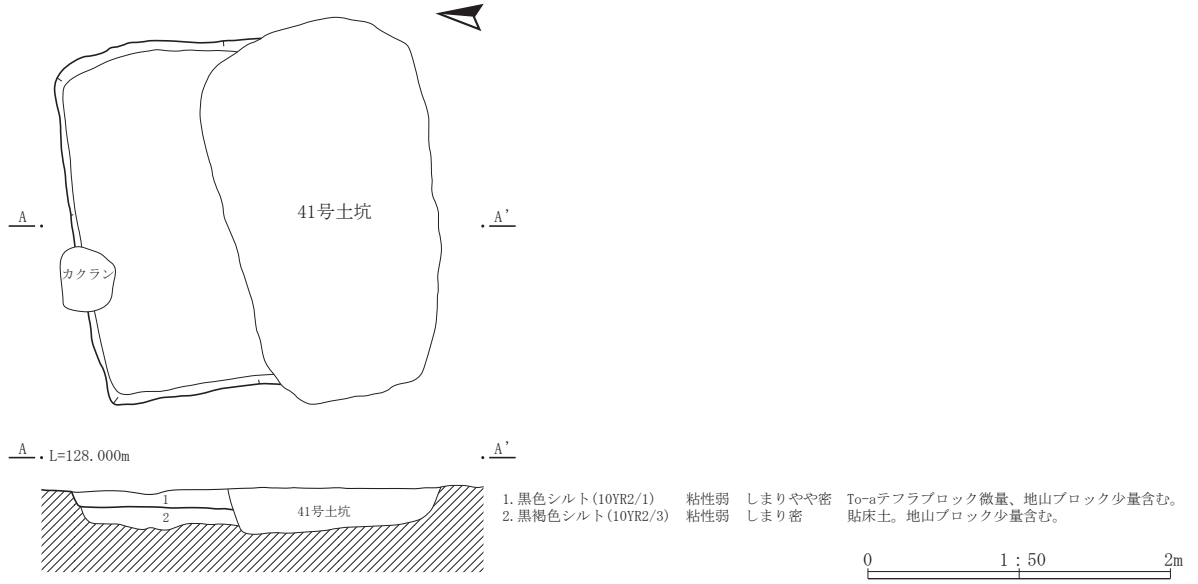




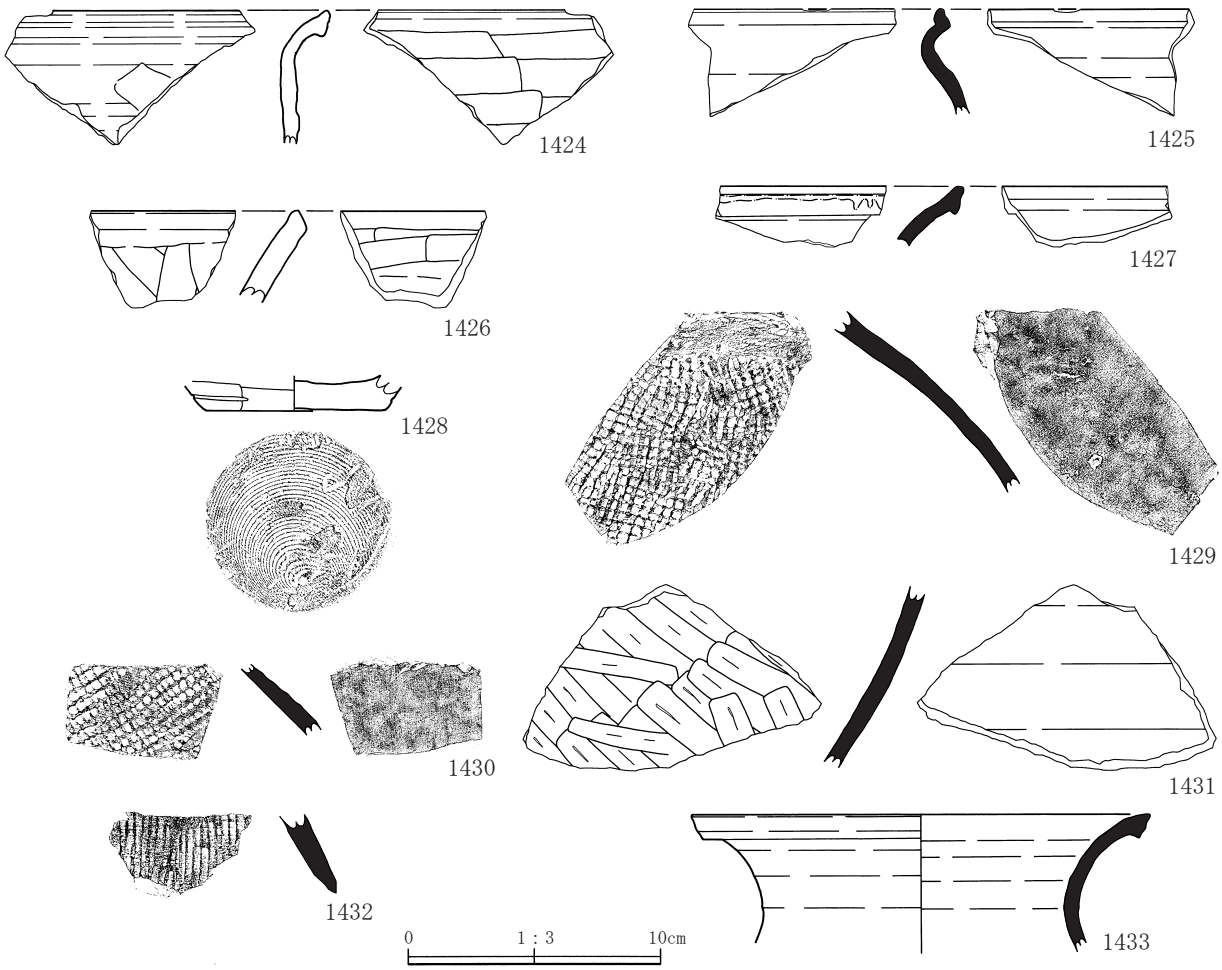
第283図　69号竪穴建物跡・出土遺物

［床面・壁］Ⅲ層で検出した。床面は、若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は西壁と南壁が残存する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大35cmである。
［貼床］床面全体に施される。貼床土は、褐色シルトで、黒色シルトブロックが混じる。掘り方はやや歪で、深さは１～10cmである。
［カマド・炉］見受けられない。調査区外の北側か、消失した東側に付く可能性がある。
［土坑］なし。
［柱穴・壁溝］柱穴は２個検出した。柱配置は不明である。壁溝は見受けられなかった。
［出土遺物］古代土器474.0g分、砥石が出土している。
古代土器は土師器のみで、坏（1421）と甕（1422）がある。坏はロクロ成形のみである。甕は底部片で、非ロクロ成形と推測する。
砥石が１点（1423）、西壁際から出土している（第283図上）。完形である。凝灰岩製で、４面に研いだ痕跡があり、その１面はかなり偏減りしており、使い込まれている。また研磨の方向と直交する方向に、キズのような研磨痕が複数条残る。
［時期］出土した遺物が少なく不明瞭だが、古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

70号竪穴建物跡（第284・285図、写真図版74・231）
［位置・検出状況］調査区中央ⅢＡ３f、ⅢＡ４fグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。41号土坑と重複し、本遺構の方が古い。
［規模・平面形］〉北辺214cm、東辺〈142〉cm、南辺不明、西辺〈114〉cmを測り、不整な方形を呈する。残存する床面積は〈2.1〉㎡である。
［埋土の状況］単層で、黒色シルトを主体とする。埋没は人為堆積か自然堆積かは不明。またTo-aテフラブロックが混入するのを確認した。
［床面・壁］Ⅲ層で検出した。床面はほぼ平坦である。壁は41号土坑に壊された範囲を除き、全周する。緩やかに広がりながら立ち上がる。壁高13cmである。
［貼床］床面全体に施される。貼床土は黒褐色シルトである。掘り方は均一で、深さは13cmである。
［カマド・炉］なし。
［土坑］なし。



第284図　70号竪穴建物跡



第285図　70号竪穴建物跡出土遺物

［柱穴・壁溝］柱穴、壁溝共に見受けられない。

［出土遺物］古代土器1106.8 g分出土している。遺構の半分が消失しているわりには遺物が出土している。ただし、全て破片で、器形も復元も推測できないものがほとんどである。

土師器は坏（1428）、甕（1424）、器種不明（1426）がある。坏、甕ともにロクロ成形である。須恵器は甕（1425・1429～1432）、瓶類（1427・1433）がある。1427は口縁部片に自然釉が残る。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

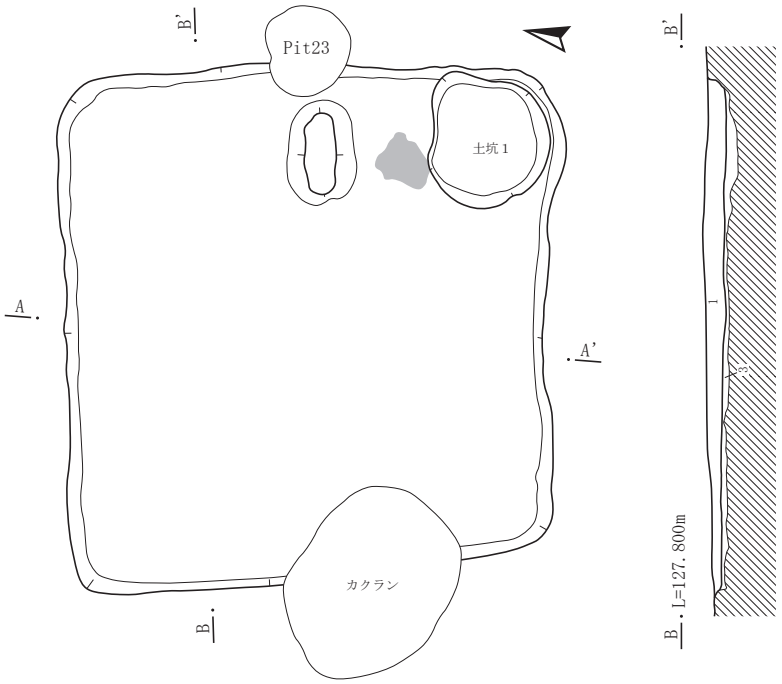
71号竪穴建物跡（第286・287図、写真図版75・231・232）

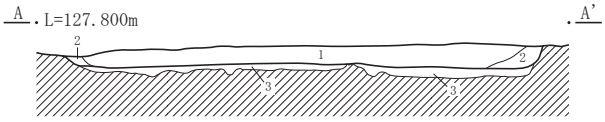
［位置・検出状況］調査区東側中央ⅣＡ６g、ⅣＡ６h、ⅣＡ７g、ⅣＡ７hグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。39号掘立柱建物跡の柱穴（Pit23）と重複し、本遺構の方が古い。また西側の一部はカクランにより壊されている。

［規模・平面形］〉北辺332cm、東辺305cm、南辺305cm、西辺305cmを測り、隅丸の正方形を呈する。残存する床面積は9.8㎡である。

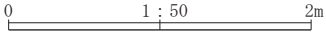
［埋土の状況］２層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の２層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］Ⅲ層で検出した。床面は若干凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はカクランに壊された範囲を除き、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大17cmである。

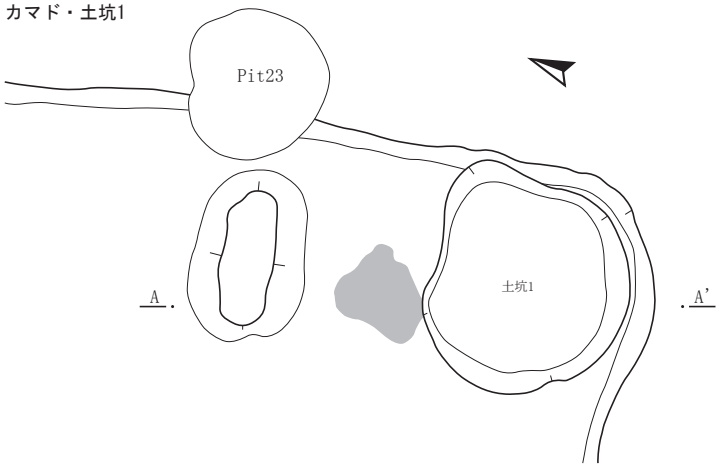


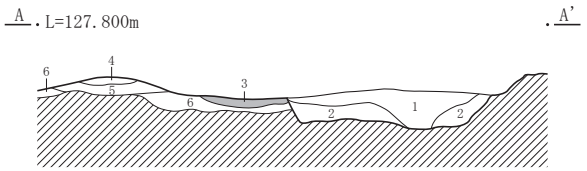


1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、地山ブロック微量、酸化鉄微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　崩落土(Ⅱ層？)。地山ブロックやや多く、酸化鉄微量含む。
3. 明黄褐色シルト(10YR6/6)　粘性弱　しまり密　貼床土。黒色シルトブロック中量、地山ブロック少量含む。

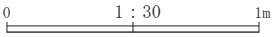


カマド・土坑1

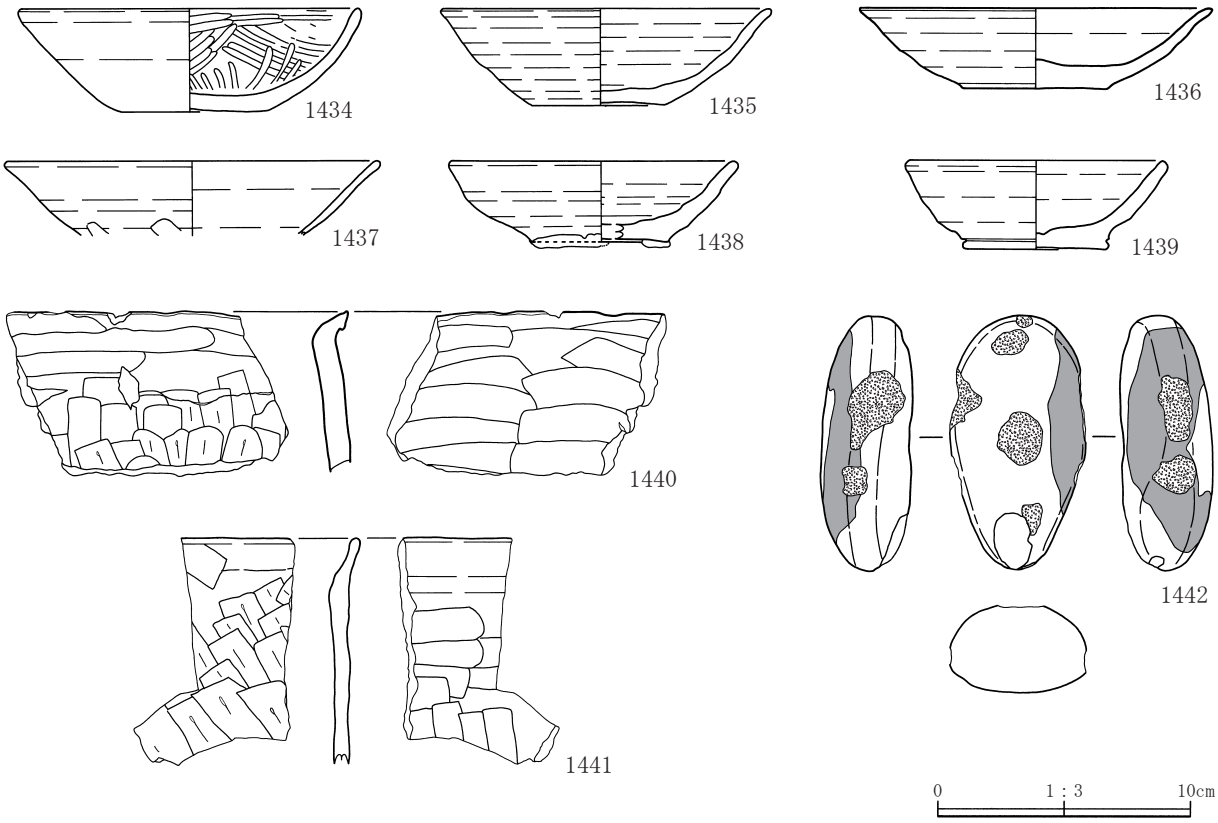




1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまりやや疎　土坑1埋土。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり疎　土坑1埋土。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック中量含む。
3. 橙色焼土(5YR7/8)　粘性弱　しまり密　被熱強い。
4. にぶい黄橙色シルト(10YR7/3)　粘性弱　しまり密　袖構築土。貼床土とは異なる土を貼っている。
5. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　袖構築土。地山ブロック少量含む。
6. 褐灰色シルト(10YR4/1)　粘性やや強　しまり密　貼床土。黒色土ブロック少量含む。



第286図　71号竪穴建物跡



第287図　71号竪穴建物跡出土遺物

［貼床］床面全体に施される。貼床土は、明黄褐色シルトで黒色シルトブロックが混じる。掘り方は壁側が深く、中央は浅い。深さは２～６cmである。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖部の一部が残存し、煙道は見受けられなかった。

燃焼部焼土面は35×31cmで、被熱は強く、橙色を呈する。

袖は北袖のみで、構築土の一部を検出した。構築土はにぶい黄橙色シルト、黒褐色シルトである。なお、Pit23に壊されたためか不明だが、壁との連結部は消失している。

［土坑］１基検出した。カマドの南側に付く。92×84cmの不整な楕円形で、深さ11cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴、壁溝共に見受けられない。

［出土遺物］古代土器1823.0 g分、石製品が出土している。

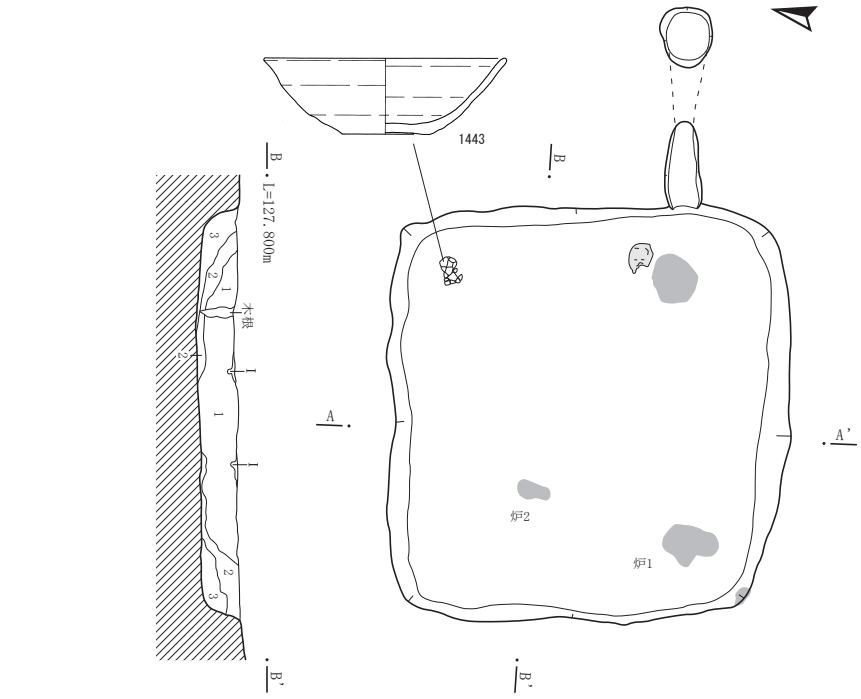
古代土器は全て土師器で、坏（1434～1439）、甕（1440・1441）がある。坏はロクロ成形で、1434は、内面にミガキを施すが、黒色処理は施されない。他はロクロ成形のみである。1439は底面が厚い。甕は非ロクロ成形である。

石製品は１点（1442）、埋土下位から出土している。凝灰岩製の扁平な円礫で、広い面に擦った痕跡、端部や側面に敲打痕が見受けられる。

［時期］出土遺物が少なく不明瞭だが、古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

72号竪穴建物跡（第288・289図、写真図版76・232）

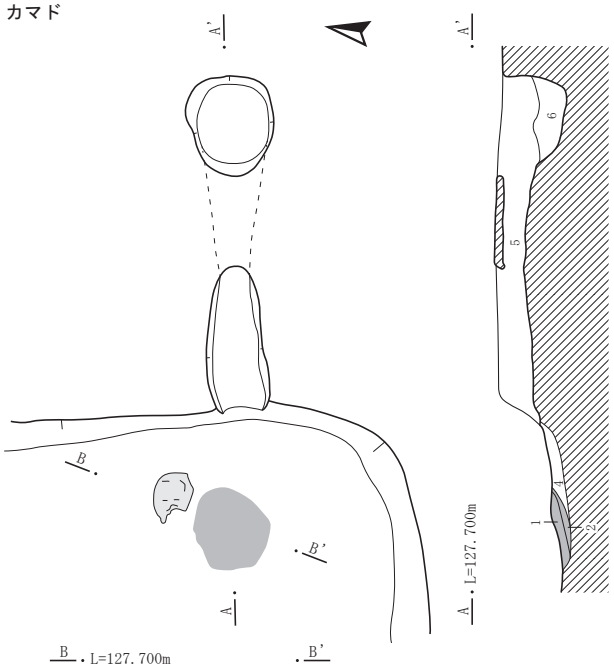
［位置・検出状況］調査区南東側ⅣＡ７j、ⅣＡ８j、ⅣＡ８kグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色の

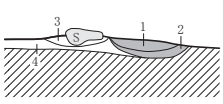


1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、地山ブロック少量、To-aテフラブロック微量含む。
2. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性やや弱　しまり密　Ⅰ層土ブロック少量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　地山ブロック少量、To-aテフラブロック微量含む。

0　1：50　2m

カマド

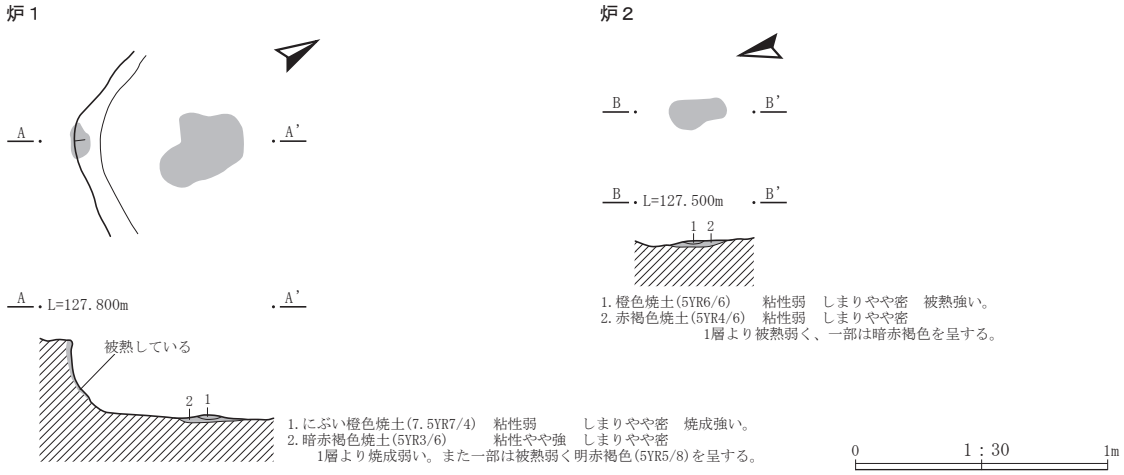




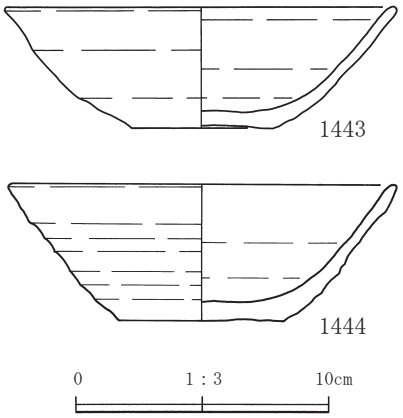
1. 橙色焼土(5YR6/8)　粘性弱　しまりやや密　焼成強く、中央は黄橙色を呈する。
2. 赤褐色焼土(5YR4/6)　粘性弱　しまり密　被熱は弱い。
4. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまり密　貼床土。炭化物微量、3層土ブロック微量含む。
5. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　煙道埋土。炭化物微量、地山土粒微量含む。
6. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性やや強　しまりやや密　煙出し埋土。地山土粒微量含む。

0　(1：30)　1m

第288図　72号竪穴建物跡1



第289図　72号竪穴建物跡２・出土遺物



プランで検出した。

［規模・平面形］〉北辺250cm、東辺245cm、南辺248cm、西辺220cmを測り、隅丸正方形を呈する。床面積は5.9㎡である。

［埋土の状況］３層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の２・３層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。また１層中にTo-aテフラブロックの混入を確認した。

［床面・壁］Ⅲ層で検出した。床面は若干凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大26cmである。

［貼床］なし。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は30×30cmで、被熱は強く、橙色～赤褐色を呈する。被熱深度は７cmである。

袖は北袖のみで、芯材礫１個のみ検出し、構築土は残存していない。芯材礫は20cm大の歪な礫で、床面下を掘り込んで設置している。また横に向いており、元々の状態から横倒しになった可能性もある。

煙道は東壁から131cmのびている。刳り抜き式であるが、手前側56cmは天井が消失し、開口している。燃焼部焼土面からわずかに段差となり、上に５°傾斜しながら煙出しピットに至る。煙出しピットは40×32cmの楕円形で、煙道より10cm深い。

また床面の西側で炉２基を検出した。炉１は37×29cmの歪な楕円形、被熱は強く、にぶい橙色～暗赤褐色を呈する。また壁面も被熱しているのを確認した。焼土２は22×10cmの楕円形で、被熱は強く、橙色、赤褐色を呈する。どちらも被熱深度は２cm前後である。

［土坑］なし。

［柱穴・壁溝］柱穴、壁溝共になし。

［出土遺物］古代土器401.1g分出土している。比較的、出土量が少ない。

古代土器は２点（1443・1444）を掲載した。どちらも土師器坏である。1443は床面の北東隅から出土している（第288図上）。また1444はカマドの燃焼部焼土上やその周辺から出土し、接合して完形

であることが分かった。どちらもロクロ成形のみである。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

73号竪穴建物跡（第290～301図、カラー写真図版４・５・８、写真図版77・78・232～238）

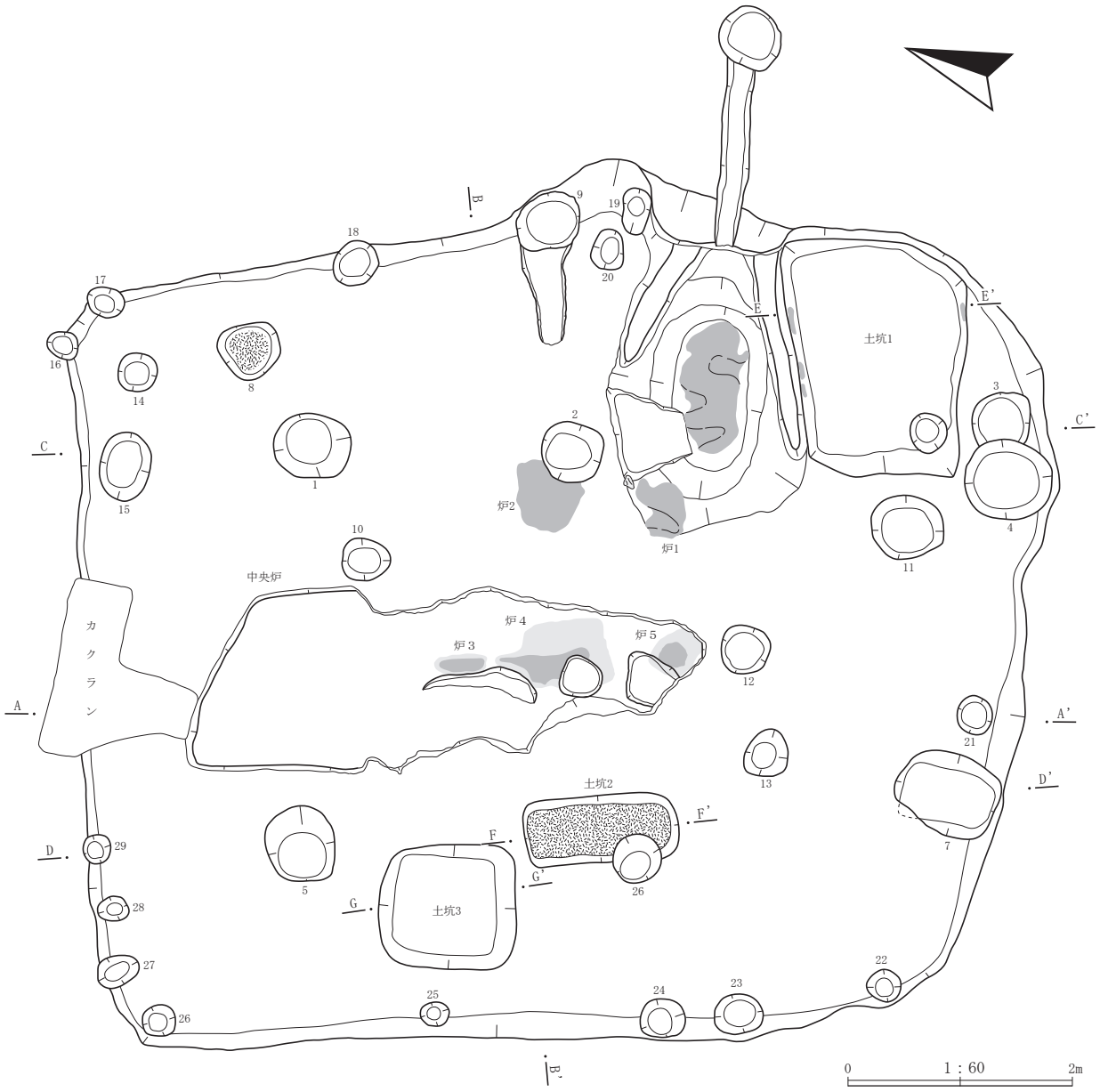
［位置・検出状況］調査区東側中央ⅣＡ８f、ⅣＡ８g、ⅣＡ８h、ⅣＡ９f、ⅣＡ９g、ⅣＡ９h、ⅣA10g、ⅣA10hグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。

28号陥し穴状遺構と重複し、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］北辺640cm、東辺800cm、南辺630cm、西辺712cmを測り、カマドを正面として、横長の長方形を呈し、南側はやや歪である。床面積は55.1㎡である。

［埋土の状況］３層からなる。黒褐色シルトを主体とし、炭化物や焼土粒が混じる。壁際の３層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］床面はⅢ～Ⅳ層で検出した。若干凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ層で検出し、



第290図　73号竪穴建物跡１

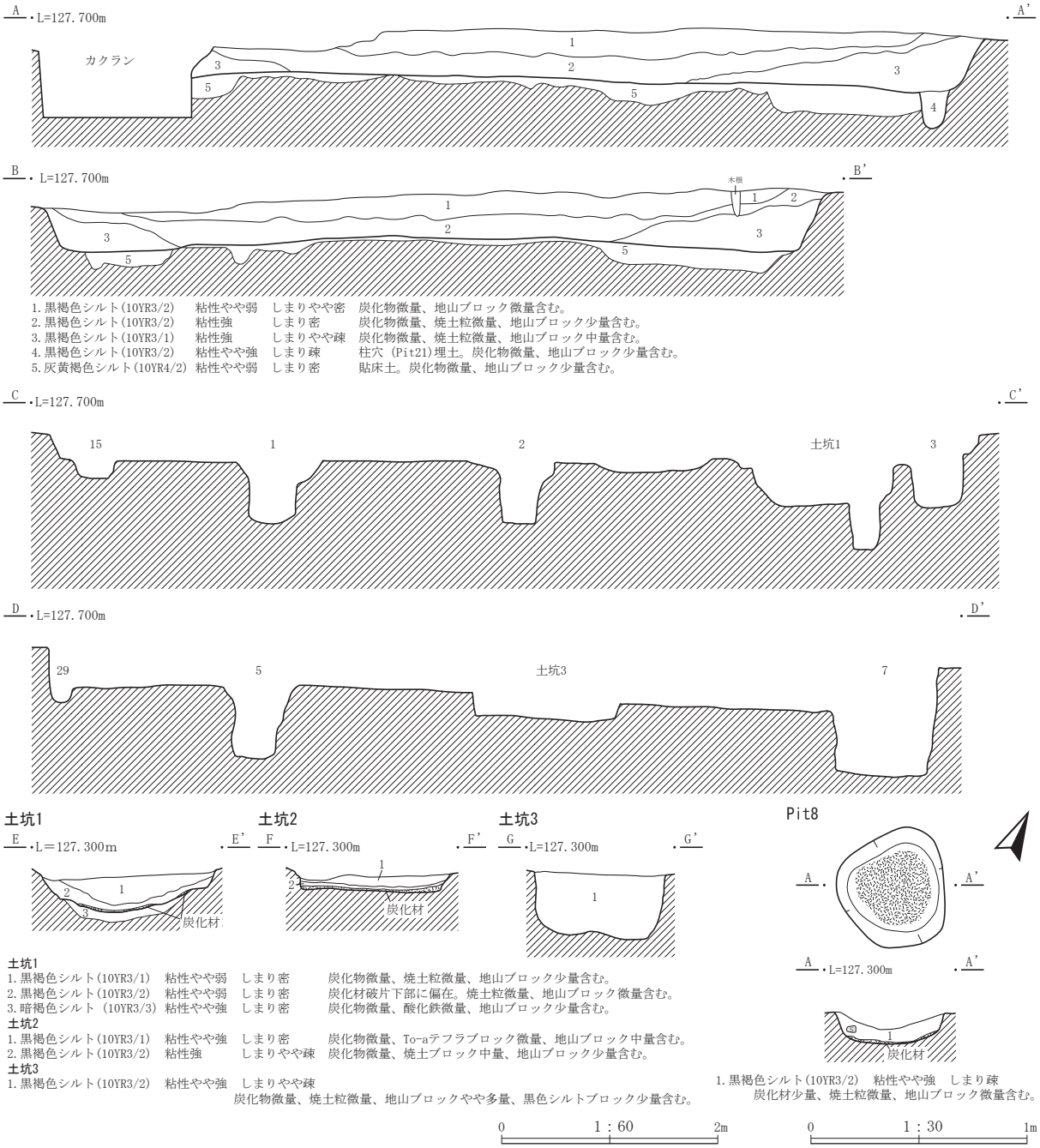
全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大50cmである。

［貼床］床面全体に施される。貼床土は、灰黄褐色シルトで、炭化物が混じる。掘り方は歪で、壁際の方が深く、床面中央に向かい浅くなる傾向がある。深さは６～25cmである。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は225×170cmの浅い掘り込み内にあり、106×57cmの楕円形を呈する。特徴として、凹みが３箇所あり、３基の炉が連結しているようにも見える。被熱は非常に強く、浅黄橙～明赤褐色を呈する。被熱深度は10cmである。また、北側は、床面からのスロープ状を呈している。用途は不明。

袖は両袖残存する。構築土は灰黄褐色シルトで、炭化物や焼土粒が混じる。袖の範囲は180×



1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性強　しまり密　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性強　しまりやや疎　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック中量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり疎　柱穴（Pit21）埋土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
5. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性やや弱　しまり密　貼床土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。

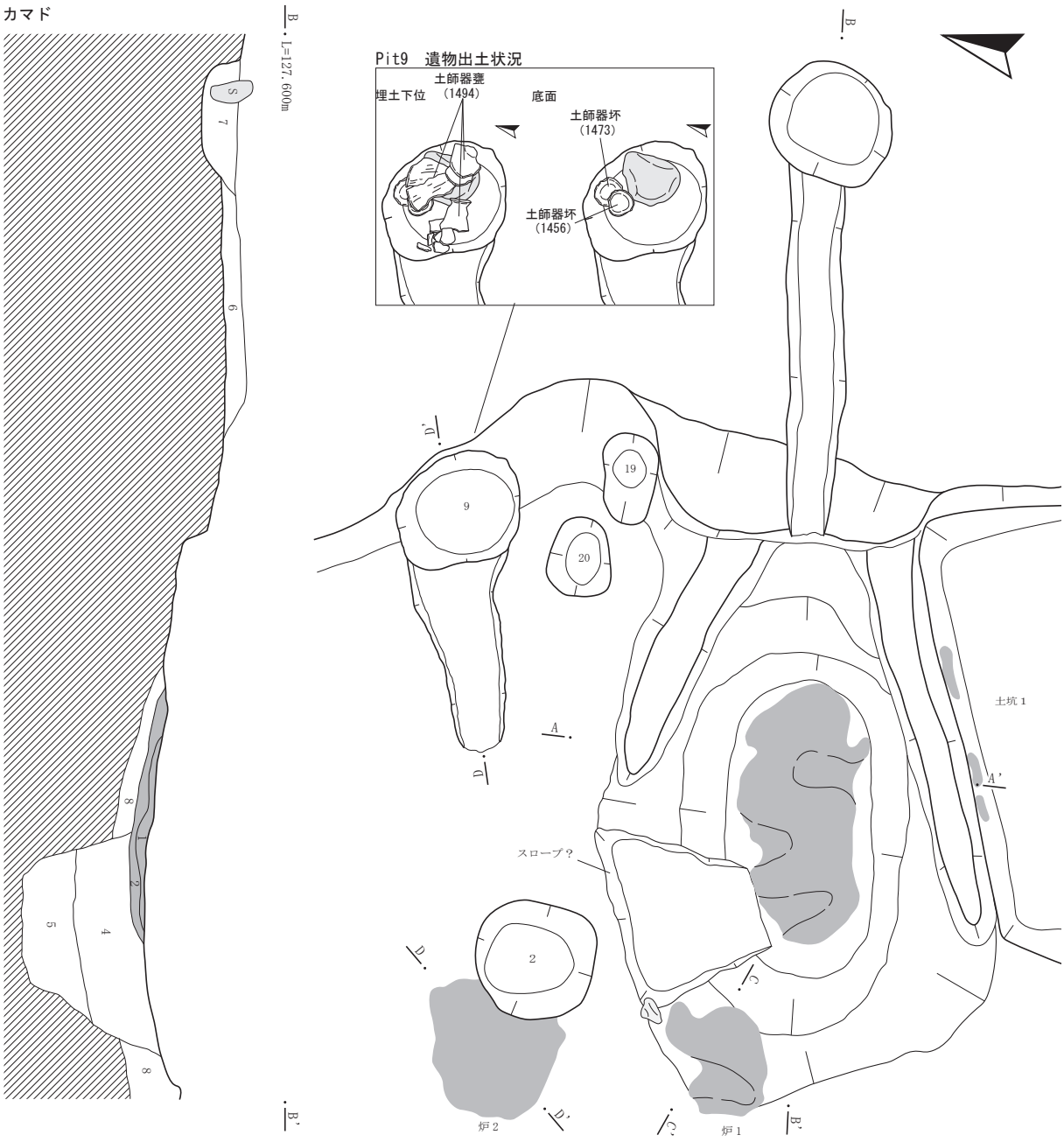
土坑1
1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまり密　炭化材破片下部に偏在。焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
3. 暗褐色シルト（10YR3/3）粘性やや強　しまり密　炭化物微量、酸化鉄微量、地山ブロック少量含む。

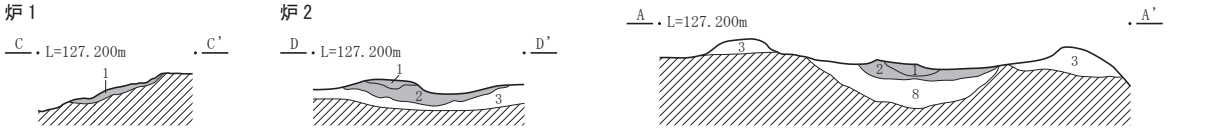
土坑2
1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、To-aテフラブロック微量、地山ブロック中量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性強　しまりやや疎　炭化物微量、焼土ブロック中量、地山ブロック少量含む。

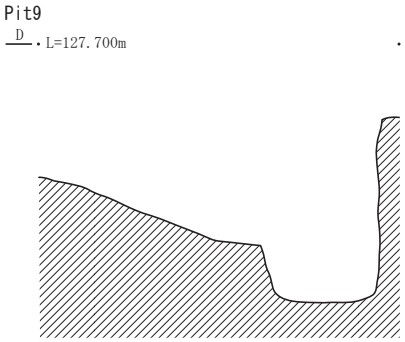
土坑3
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや疎
炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロックやや多量、黒色シルトブロック少量含む。

1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり疎
炭化材少量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。

第291図　73号竪穴建物跡２







カマド

1. 浅黄橙色焼土(7.5YR8/6)	粘性やや弱	しまりやや密	被熱強く、色調は一様。
2. 明赤褐色焼土(5YR5/6)	粘性やや弱	しまりやや密	被熱強いが、1層より弱い。
3. 灰黄褐シルト (10YR6/2)	粘性やや強	しまり密	袖構築土。炭化物微量、焼土ブロック少量含む。
4. 黒色シルト(10YR2/1)	粘性やや強	しまり密	炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。故意に埋め、整地している。
5. 褐灰色シルト(10YR4/1)	粘性強	しまりやや密	土坑 4 埋土。炭化物微量、地山ブロック少量含み、獣骨片混じる。
6. 黒褐色シルト(10YR3/2)	粘性強	しまりやや密	土坑 4 埋土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
7. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性強	しまりやや疎	炭化物微量、地山ブロック中量、壁面は被熱し、暗赤褐色に変色している。
8. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)	粘性弱	しまりやや密	貼床土。焼土ブロック少量、黒色シルトブロック微量含む。

炉 1

1. 明赤褐色焼土(5YR5/6)	粘性弱	しまり密	被熱強く、一部明黄褐色に変色している。

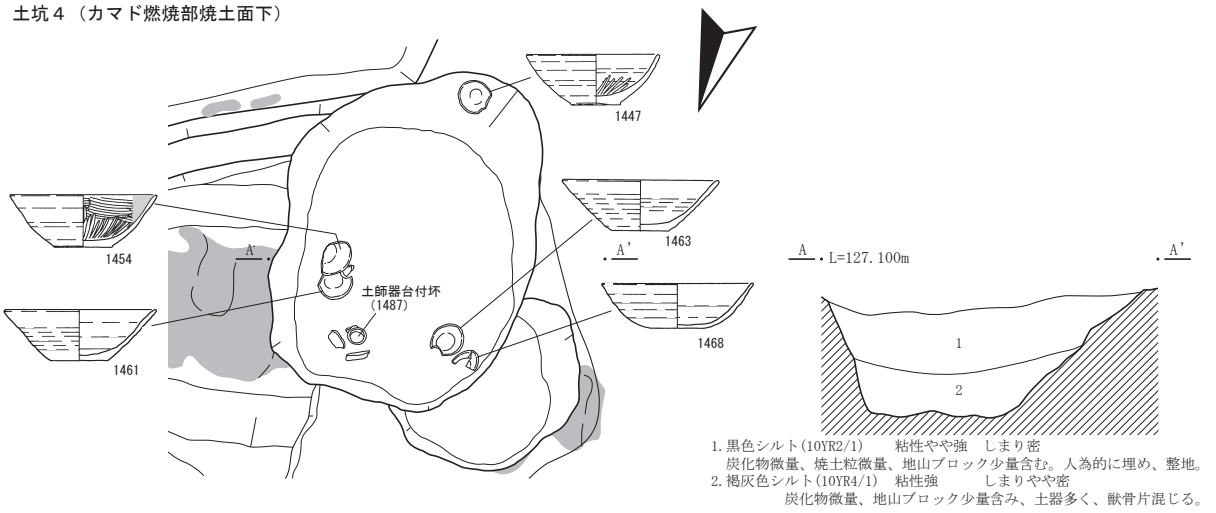
炉 2

1. 明黄褐色焼土(10YR7/6)	粘性やや強	しまり密	被熱強い。
2. 明赤褐色焼土(5YR5/8)	粘性やや弱	しまり密	被熱強いが、1層より弱い。

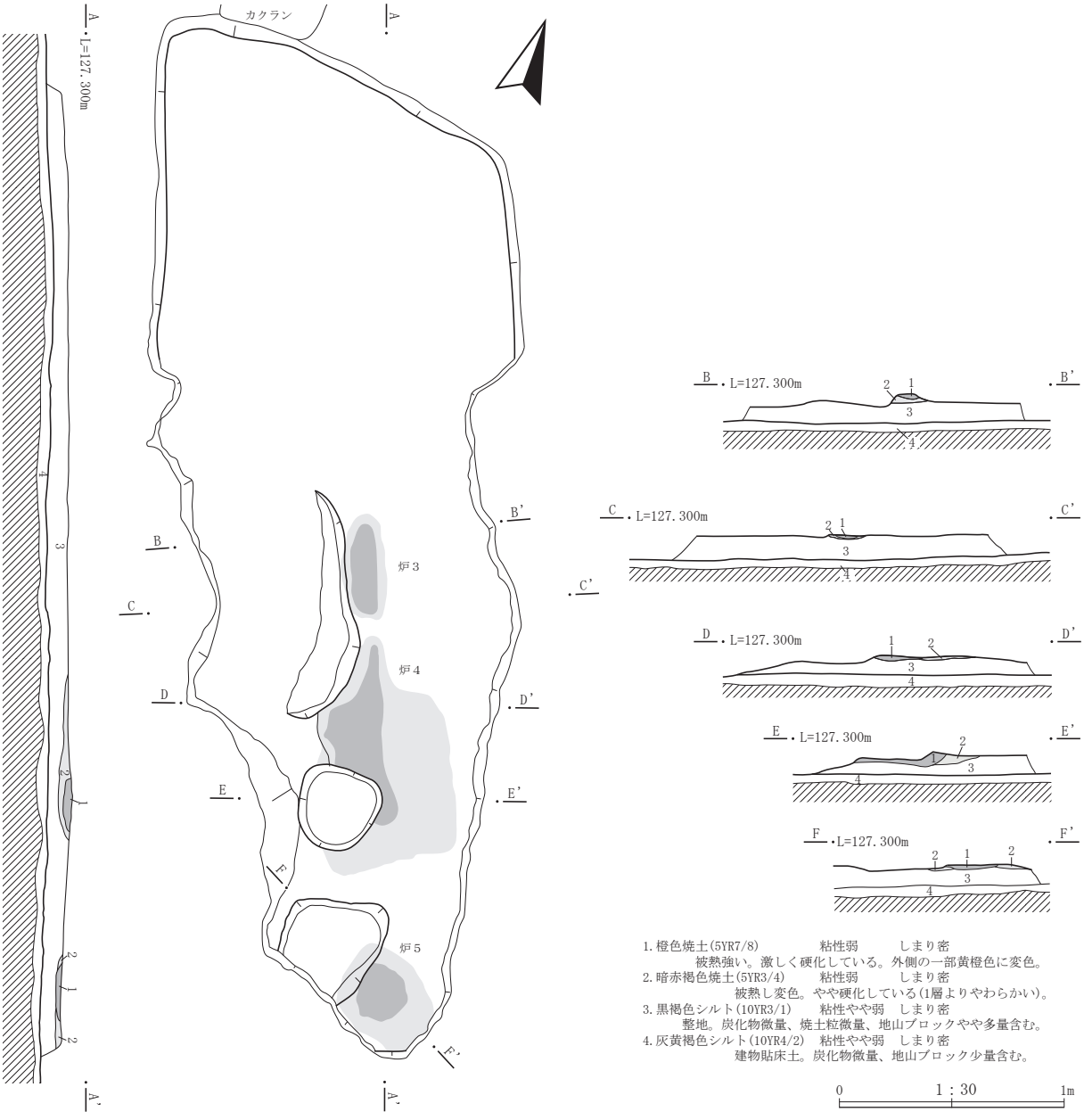
0　1：30　1m

第292図　73号竪穴建物跡 3

土坑４（カマド燃焼部焼土面下）



中央炉・炉３～５



第293図　73号竪穴建物跡４

150cmに及んでおり、非常に大きなカマドである。

煙道は東壁から150cmのびている。ほとんどは削平され、煙道の底面のみが残存している。壁面との連結部は、燃焼部焼土面から12cmの段差となる。煙道内はほぼ水平で、煙出しピットに至る。煙出しピットは55×50cmの不整な円形で、煙道より７cm深い。

炉２基を検出した。炉１はカマドの浅い掘り込み内に位置し、57×47cmで、被熱は強く、明赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。炉２はその北側に位置し、Pit２に切られる。55×53cmの不整な方形を呈し、被熱は強く、明黄褐～明赤褐色を呈する。被熱深度は17cmである。

［中央炉］床面のほぼ中央に、床面を人為的に嵩上げし、その上に３基の炉を構築している範囲を確認した（以下「中央炉」）。中央炉の範囲は470×165cmであるが、調査時に遺構埋土と判別できず、一部壊してしまっており、もっと大きかった可能性がある。床面から10cm前後嵩上げするため、黒色シルトと黄褐色シルトの混入土を貼って構築している。また中央炉の上面は、硬くしまっている。嵩上げした範囲の南側に、炉が３基付く。炉は楕円形や棒状と形状が不規則であるが、いずれも被熱は非常に強く、橙色～明赤褐色を呈し、硬くしまる。また炉の周辺は硬化している。３基の炉の間には、西側に浅い溝が付くが、歪でどのような用途か不明である。

［土坑］４基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。207×158cmの方形を呈し、深さ42cmである。埋土の２層下位に炭化物（クリ）第Ⅶ章-４）が集中的に堆積し、また遺物も多く出土した。貯蔵穴と推測するが、形状は炭窯跡に類似している。土坑２は中央炉の西側に位置し、136×59cmの長楕円形で、深さ17cmである。底面全体に細かい炭化材片が堆積（敷いた？）しているのが特徴である。またPit６と重複している。土坑３は、土坑２の北西側に位置し、123×110cmの隅丸方形で、深さ57cmである。他の土坑と異なり、人的に埋めた痕跡が見受けられた。土坑４はカマド燃焼部手前側に位置し、燃焼部構築前に人為的に埋められており、貼床の精査の際、検出した。138×100cmの楕円形で、深さ40cmを測る。貼床の一部かとも考えたが、規模が大きいことと、出土遺物が多い（第293図上）ので、土坑とした。

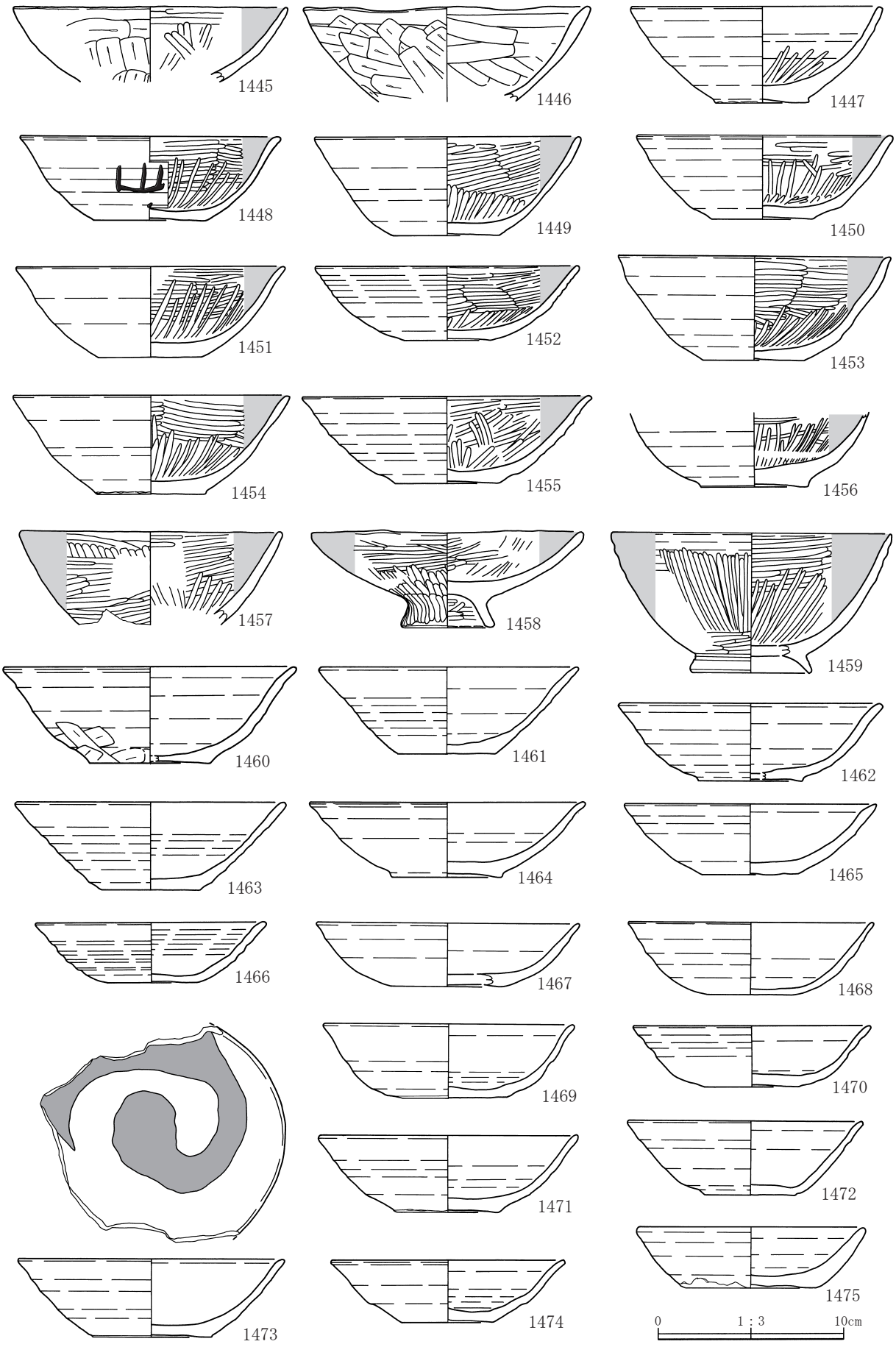
［柱穴・壁溝］柱穴は29個検出した。柱穴配置や深さからPit１・４・5・7が主柱穴と推測するが、床面の南側にやや寄る傾向が見受けられる。またその間に位置するPit２・26も主柱穴の可能性があるが、それぞれ焼土２や土坑２と重複しており、これらの付属施設に関連している可能性がある。また東壁のほぼ中央に位置するPit９は、底面から土師器甕が出土しており、その西側にはスロープ状の溝が付くなど、柱穴ではなく、小型の土坑の可能性がある。Pit８は浅く、底面に炭化材の破片が敷きつめられていた。他の柱穴は主に壁際、特に北壁際に付属するものが多い。また壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器43502.7g分、土製品１点、粘土塊２点、羽口１点、砥石１点、石製品３点、石帯８点、鉄製品22点、鉄滓12点が出土している。埋土中からの出土の他、土坑出土が目立つ。

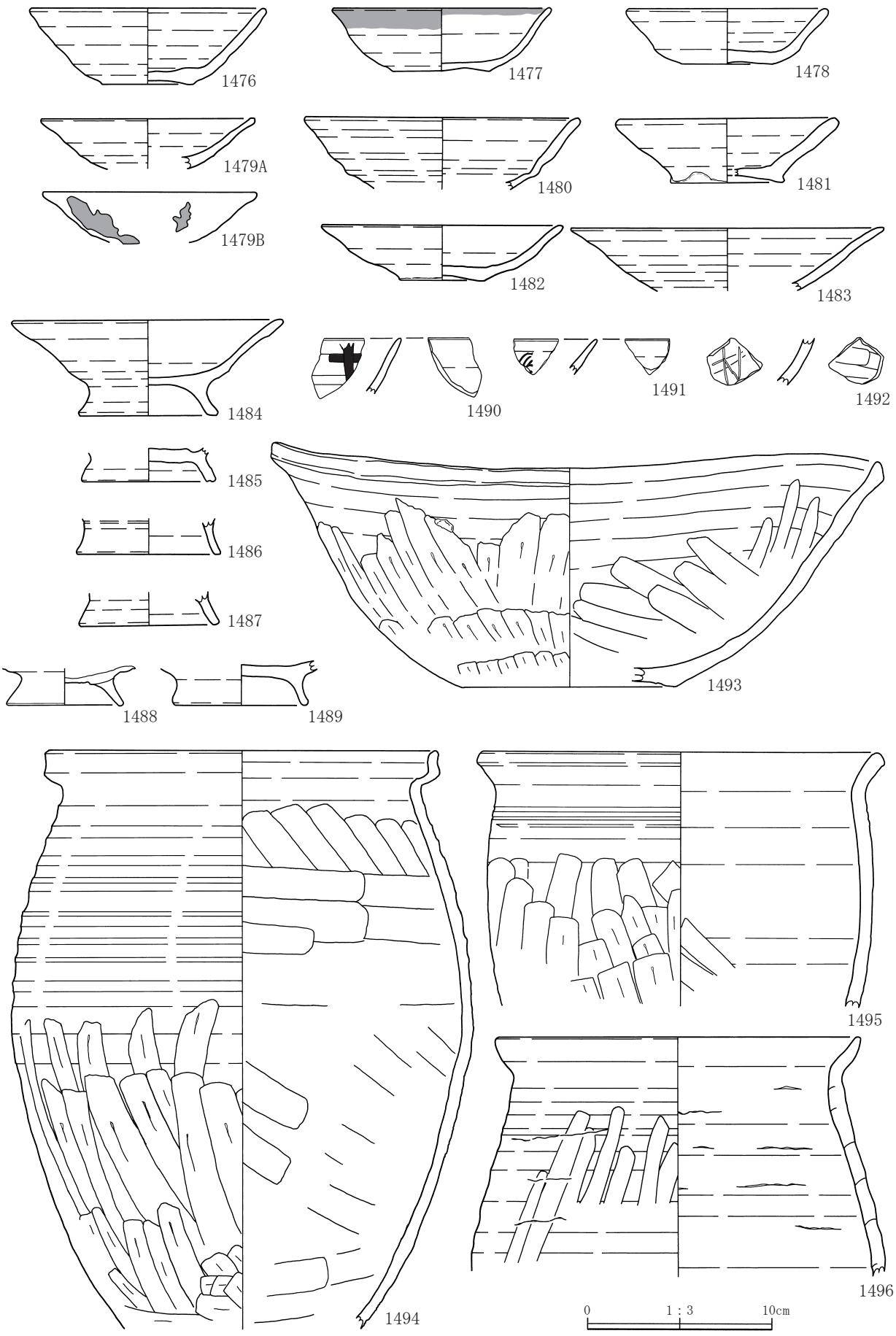
土師器は坏（1445～1457・1460～1483）、台付坏（1458・1459・1484～1489）、鉢か鍋（1493・1511）、甕（1494～1510）がある。坏はロクロ成形、非ロクロ成形どちらも見受けられる。台付坏は内外面黒色処理が２点ある。甕もロクロ成形、非ロクロ成形あり、また底面に木葉痕が残るものがある。須恵器は瓶類と甕（1512～1527）があるが、土師器と比べ、破片がほとんどである。

土製品は土錘（1528）で、完形である。粘土塊は３点（1529～1531）で、棒状工具を押し当てた痕跡やナデ（？）の痕跡が見受けられる。羽口は小片（1532）のみで、被熱で黒く変色する。鉄滓の付着は見受けられないので、基部の外面部分か。

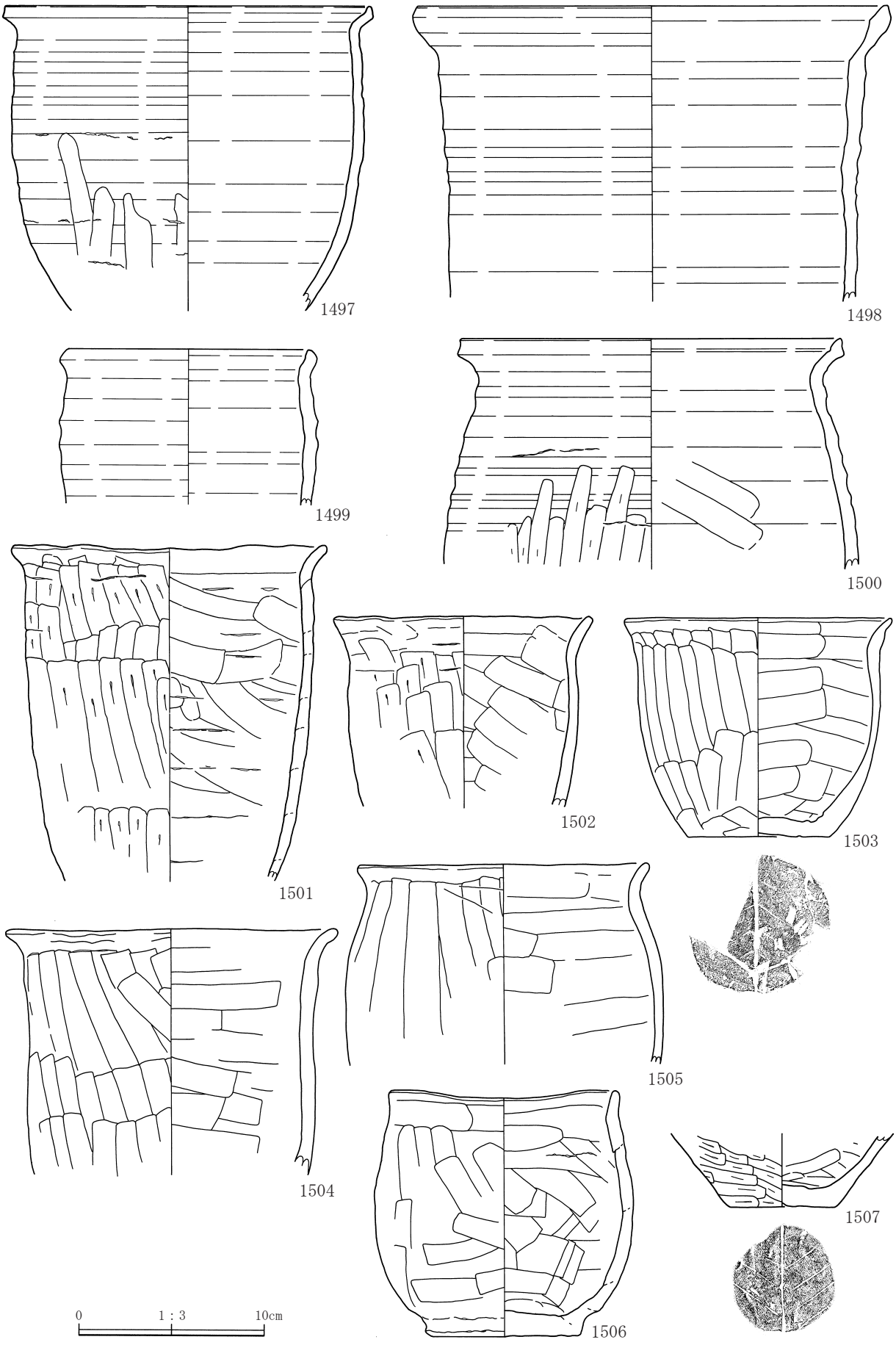
砥石（1533）は凝灰岩製で、４面に研磨痕が残る。1534・1535は凝灰岩の円形礫を素材とし、広い



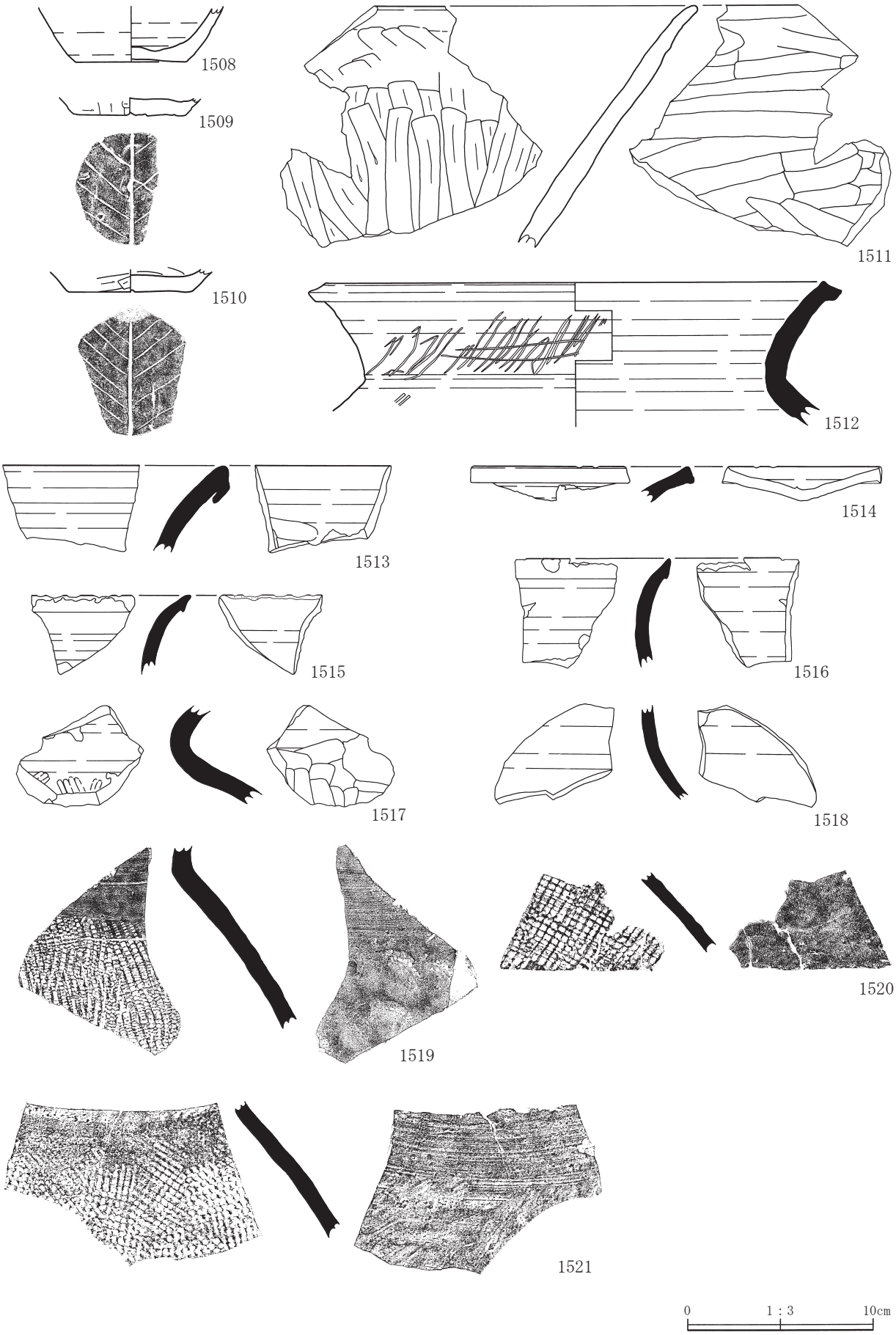
第294図　73号竪穴建物跡出土遺物１



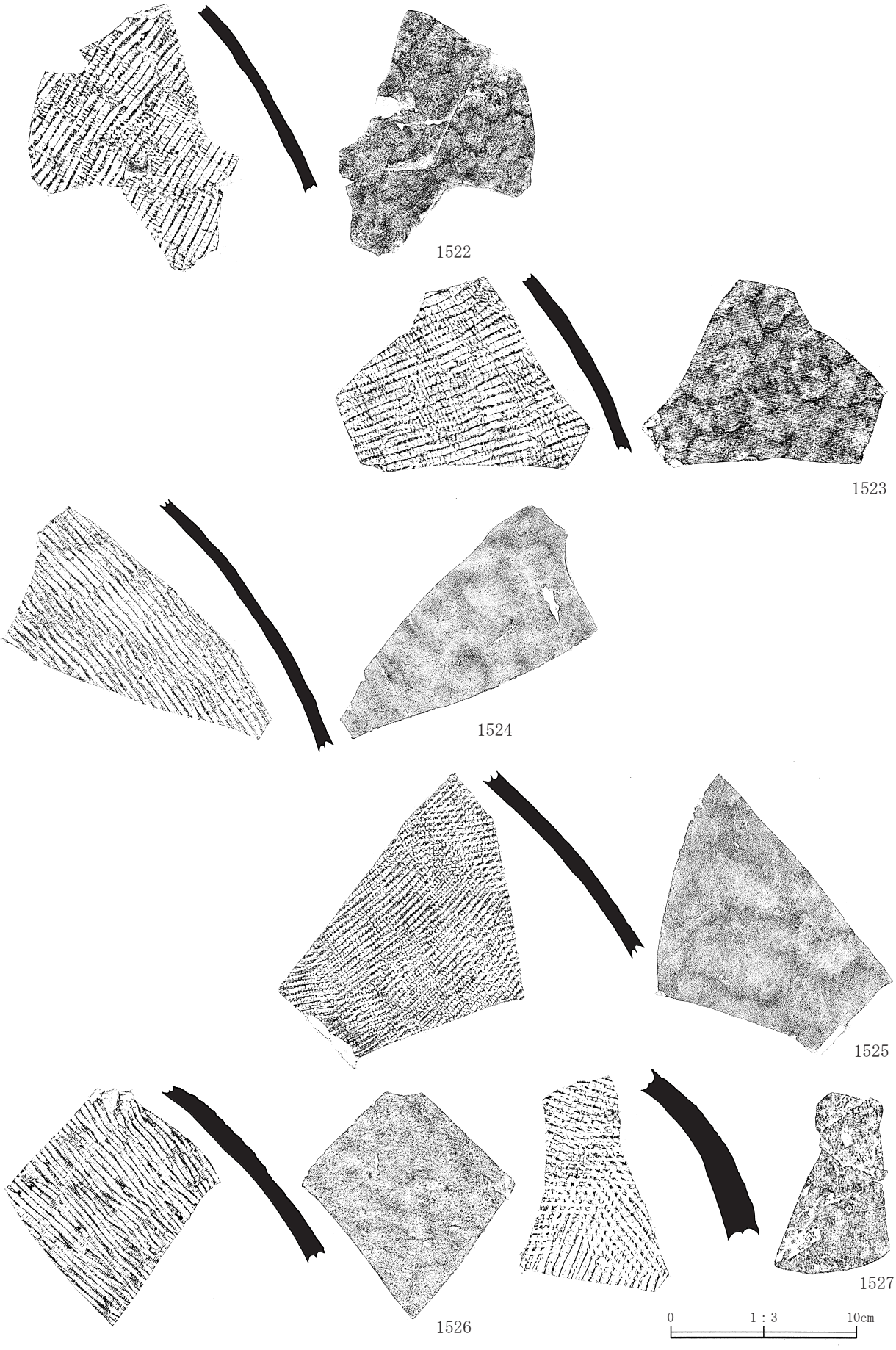
第295図　73号竪穴建物跡出土遺物２



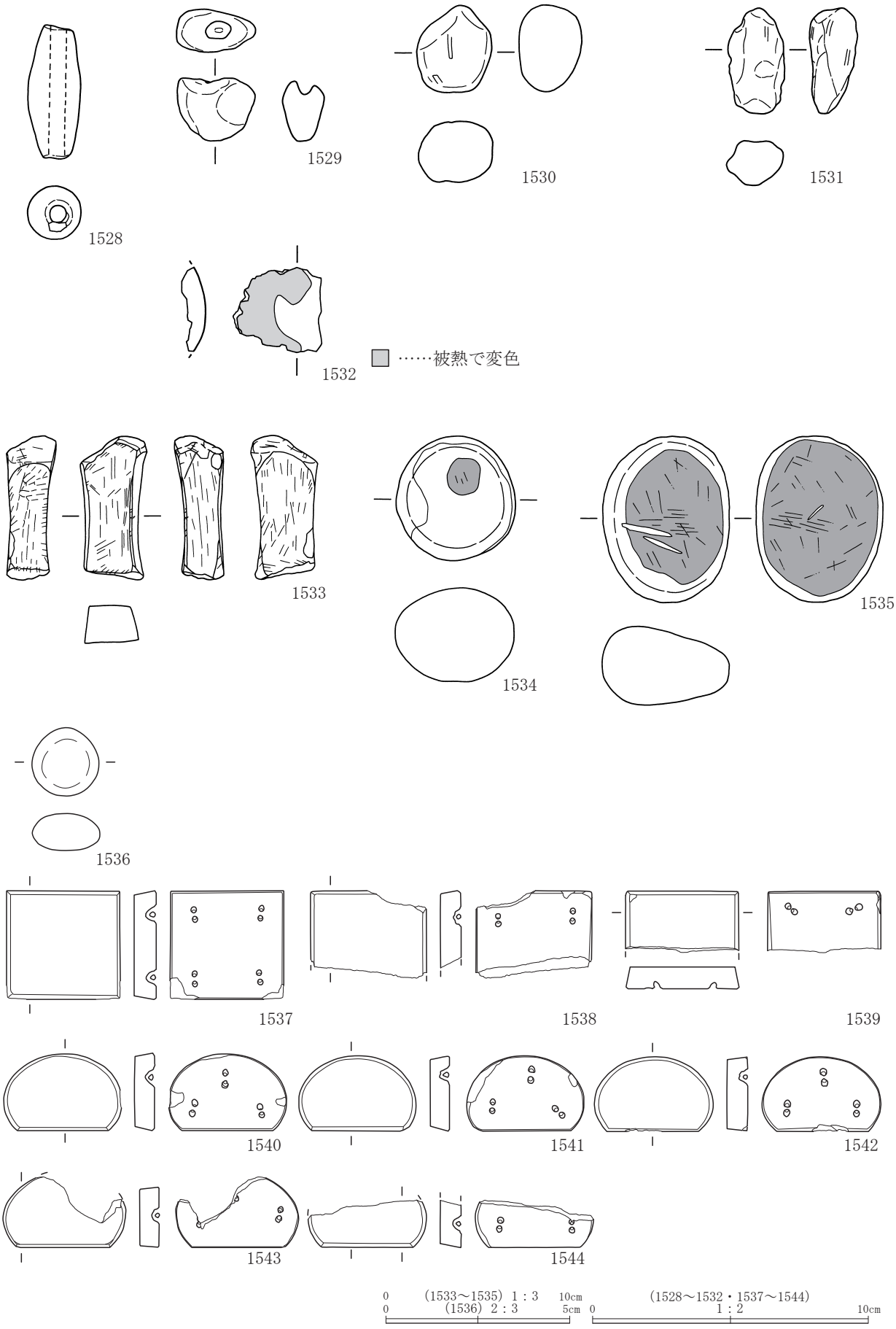
第296図　73号竪穴建物跡出土遺物３



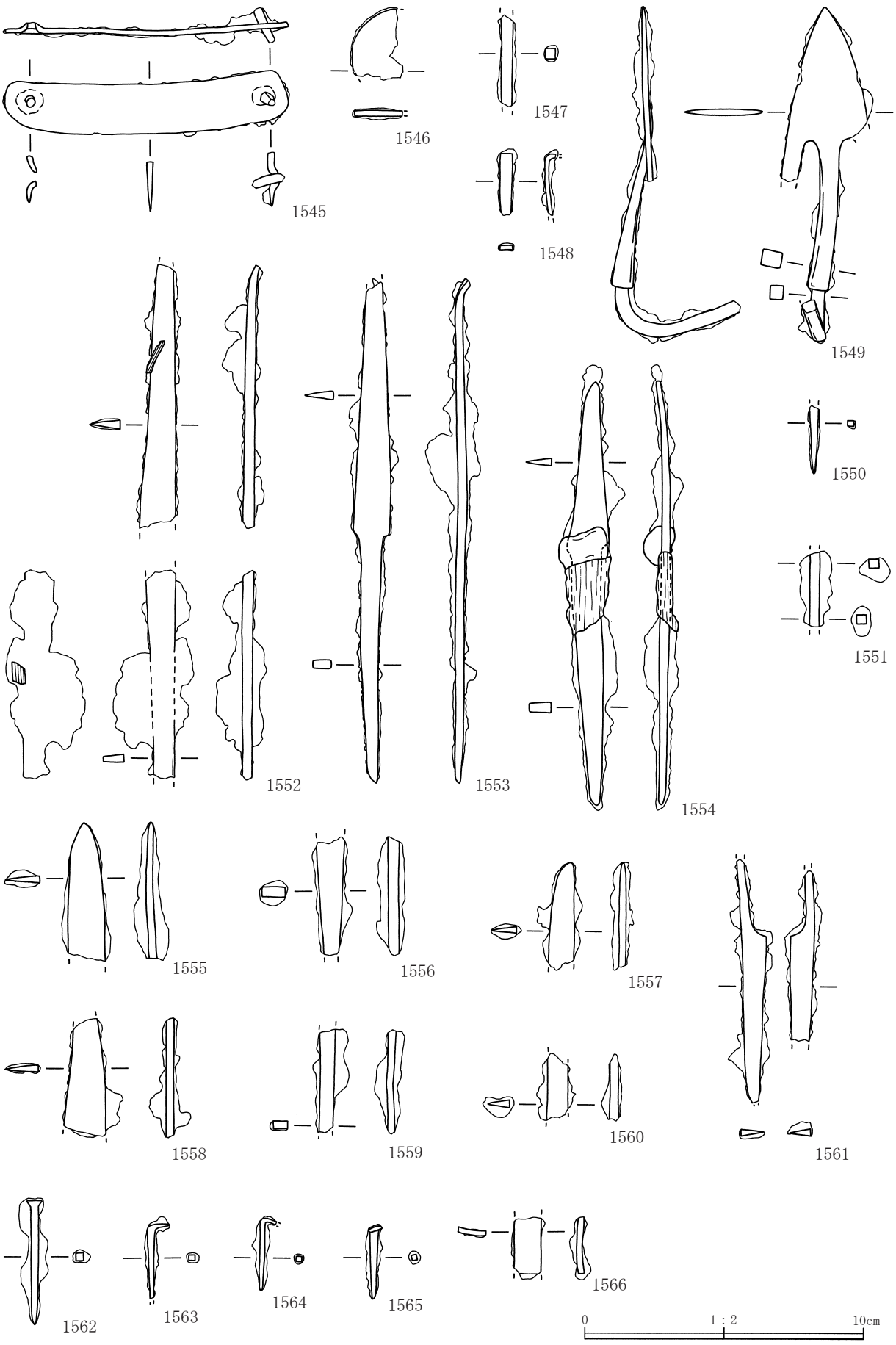
第297図　73号竪穴建物跡出土遺物 4



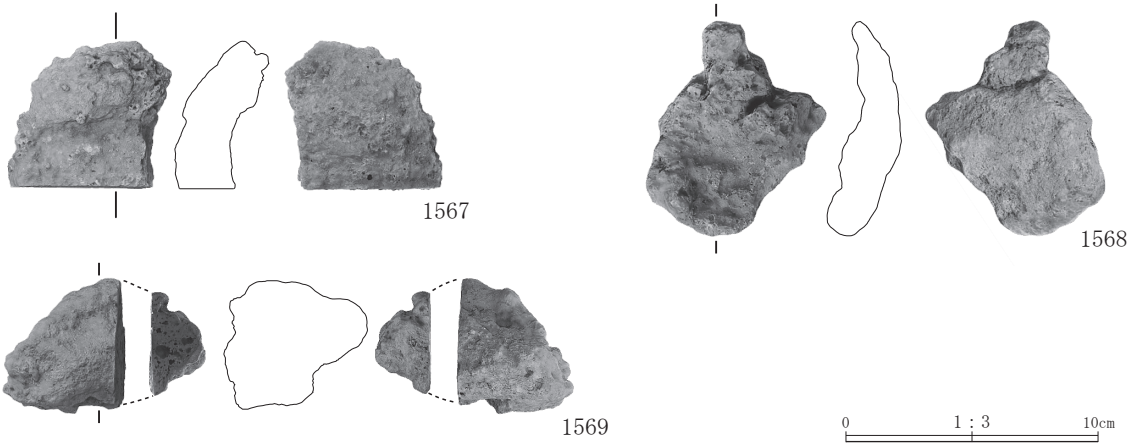
第298図　73号竪穴建物跡出土遺物５



第299図　73号竪穴建物跡出土遺物 6



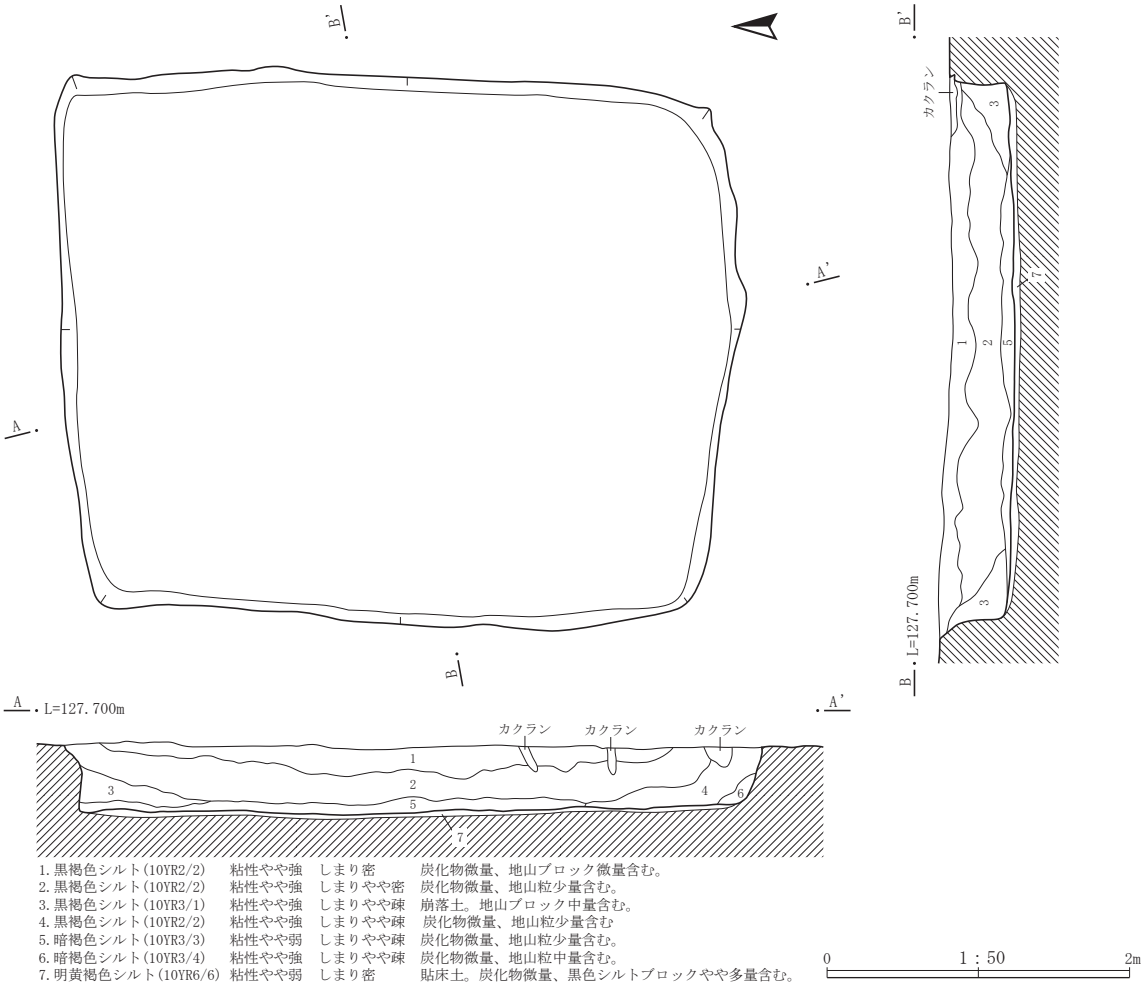
第300図　73号竪穴建物跡出土遺物７



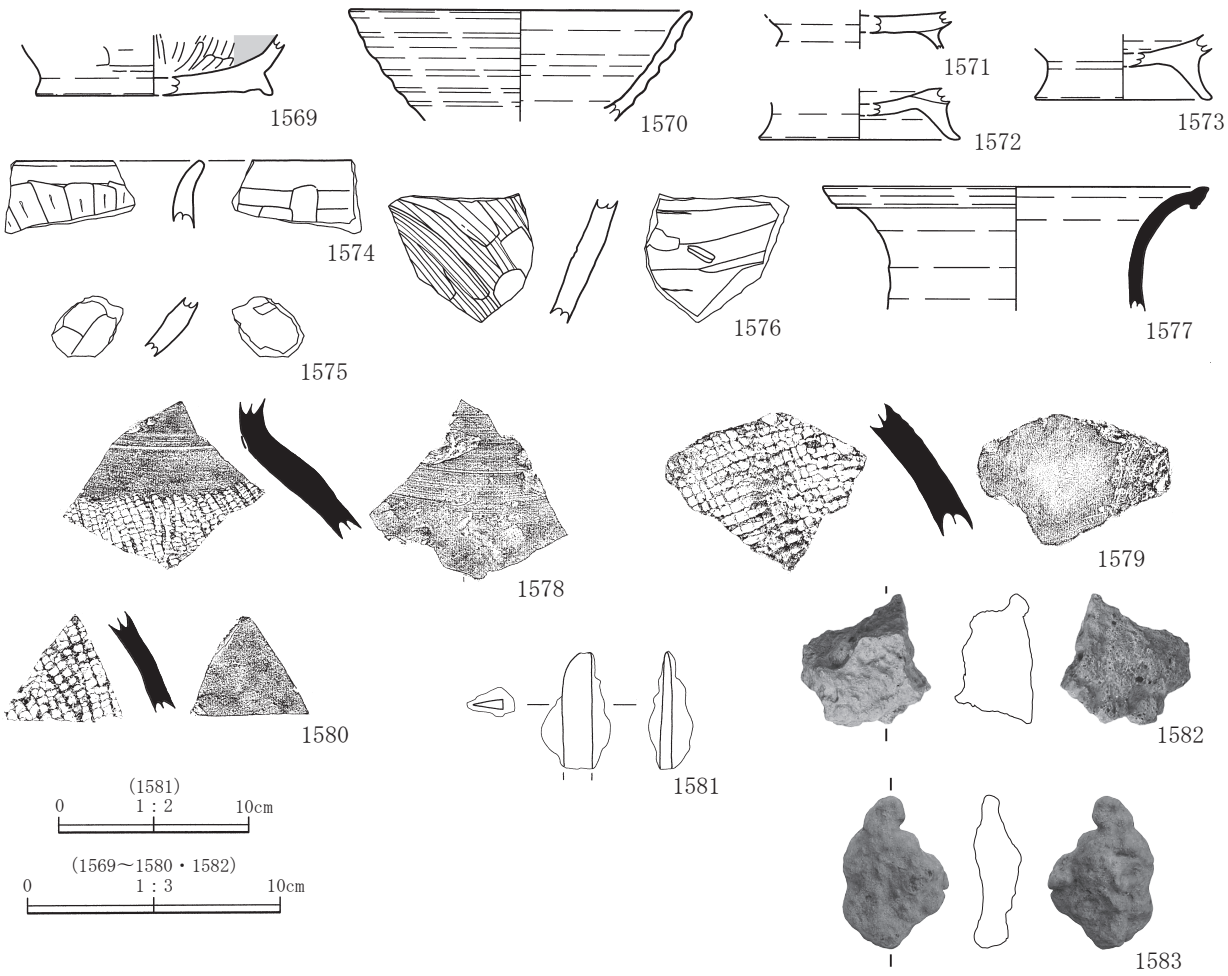
第301図　73号竪穴建物跡出土遺物８

面に磨った痕跡が見受けられる。1536は碁石（黒）の可能性があり、掲載した。黒色の頁岩で、やや歪だが円形に成形し、表面には光沢がある。

石帯は８点で、巡方３点（1537～1539）と丸鞆５点（1540～1544）である。1538はカマドの北脇の床面上から出土し、他は北壁際の床面やカクラン内から出土している。欠損品は割れ口が明瞭であり、後世のカクランによって壊されている可能性が高い。いずれも同じ石材（灰白～褐灰色のチャー



第302図　74号竪穴建物跡



第303図　74号竪穴建物跡出土遺物

ト）を素材とし、大きさ、形状は同一、また腰帯への留め技法は、全て潜り穴式である。したがって、この８点は１本の腰帯に装飾された一括資料と言える。

鉄製品は22点出土している。25号竪穴建物跡に次ぎ、出土量が多い。器種は手鎌（1545）や紡錘車（1546）の他に、縁金具（1547・1548）や鉄鏃（1549）といった武具があり、また刀子も多い（1552～1560）。他に鋏（1561）や釘（1562～1565）も出土している。

鉄滓は３点掲載した。そのうち1567と1569は成分分析を試みており、椀形鍛冶滓、精錬鍛冶滓との結果を得ている（第Ⅶ章-６）。

［時期］埋土にTo-aテフラの混入はないが、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

74号竪穴建物跡（第302・303図、写真図版79・239）

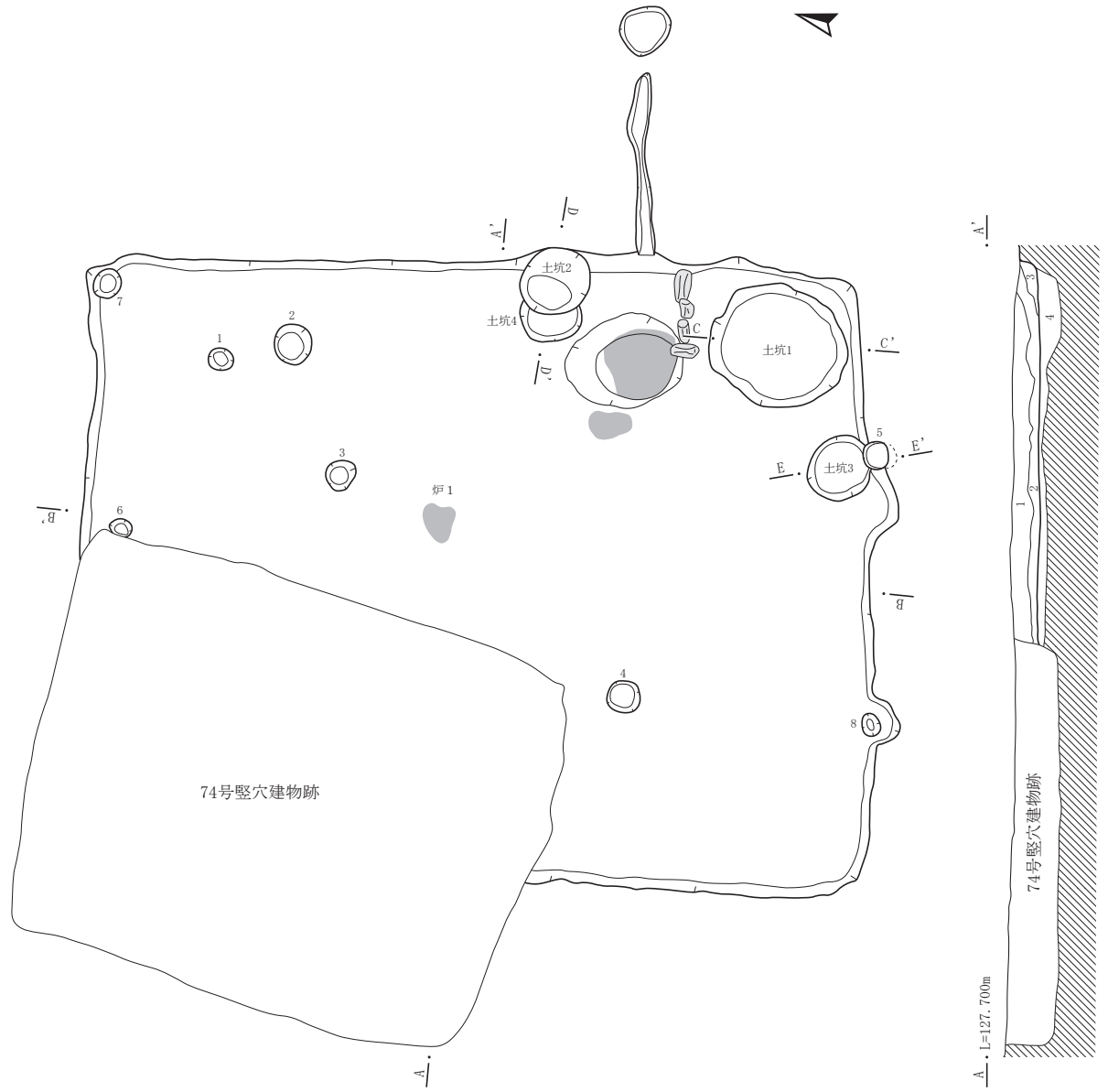
［位置・検出状況］調査区南東側ⅣＡ９i、ⅣＡ９jグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。75号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］〉北辺350cm、東辺428cm、南辺380cm、西辺340cmを測り、不整な長方形を呈する。床面積は14.3㎡である。

［埋土の状況］６層からなり、黒褐色、暗褐色シルトを主体とする。壁際の３・４・６層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

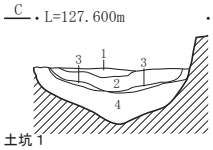
［床面・壁］Ⅲ層で検出した。床面は若干凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は全周する。ほぼ直立気味で、東壁はわずかにオーバーハングしている。壁高は最大41cmである。
［貼床］床面全体に施される。貼床土は、明黄褐色シルトで、炭化物や黒色シルトが多く混じる。掘り方は均一で、深さは３cmである。
［カマド・炉］なし。
［土坑］なし。
［柱穴・壁溝］なし。
［出土遺物］古代土器4082.5 g分、鉄製品、鉄滓が出土している。
古代土器は全て土師器で、いずれも破片である。坏（1569・1570）、台付坏（1571～1573）、甕（1374～1576）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるものとロクロ成形のみがある。台付坏は台部の破片でロクロ成形、甕は非ロクロ成形である。
須恵器も破片で、長頸瓶（1577）と甕（1578～1580）がある。
鉄製品は１点（1581）で、埋土上位から出土している。刀子の刃部破片である。
鉄滓が埋土中から６点出土している。２点（1582・1583）掲載した。肉眼観察だが、1582は小割した椀形鍛冶滓か。1583は鍛錬鍛冶滓と推測する。
［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

75号竪穴建物跡（第304～308図、写真図版80・239～241）
［位置・検出状況］調査区南東側ⅣＡ９i、ⅣＡ９j、ⅣA10j、ⅣA10j、ⅣA11jグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。74号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が古い。
［規模・平面形］北辺〈254〉cm、東辺667cm、南辺517cm、西辺〈288〉cmを測り、カマドを正面として、横長の隅丸長方形を呈する。残存する床面積は〈25.3〉㎡である。
［埋土の状況］３層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の３層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。
［床面・壁］床面はⅤ～Ⅵ層である。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅣ・Ⅴ層で、74号竪穴建物跡に壊された範囲を除き、全周する。わずかに外へと広がるが、ほぼ直立気味である。壁高は最大22cmである。
［貼床］床面のほぼ全体に施される。貼床土は、明黄褐色シルトで、炭化物や黒褐色シルトブロックが混じる。掘り方はやや歪で、深さは３～18cmである。
［カマド・炉］カマドが南壁の東寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。
燃焼部焼土面は102×81cmの浅い掘り込み内にあり、62×60cmを測る。被熱は強く、橙色を呈する。被熱深度は３cmである。また燃焼部焼土面の手前に35×25cmの焼土が見受けられる。燃焼部焼土面よりも被熱は弱く、被熱深度は４cmである。
袖は南袖の芯材礫４個のみ残存する。芯材礫は15～25cm大の扁平な礫で、床面に差し込まれ、設置している。
煙道は東壁から211cmのびる。ただし後世の削平で、底面が残存するに過ぎず、煙出しピットの手前15cmは煙道自体が消失している。燃焼部焼土面とは20cmの段差になっており、煙道は下へと傾斜し、煙出しピットに至ると推測する。煙出しピットは42×40cmの楕円形で、煙道より10cm深い。
他に炉１基を床面の中央で検出した。炉は38×36cmで、被熱は強く、黄橙色を呈する。被熱深度は４cmである。

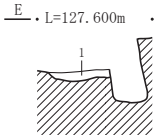


1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック少量含む。
3. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまりやや疎　崩落土。炭化物微量、地山土粒やや多量含む。
4. 明黄褐色シルト(10YR7/6)　粘性弱　しまりやや密　貼床土。炭化物微量、黒色シルトブロック少量含む。

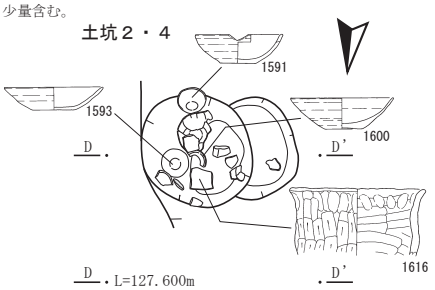
土坑１

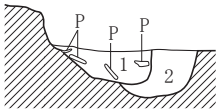


土坑３



土坑２・４





土坑１
1. にぶい黄褐色シルト(10YR5/3)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや疎　炭化物微量、壁際にTo-aテフラブロック少量含む。
3. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性強　しまりやや密　炭化物微量、To-aテフラブロック微量、地山ブロック微量含む。
4黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、To-aテフラブロック微量、地山土ブロック少量含む。

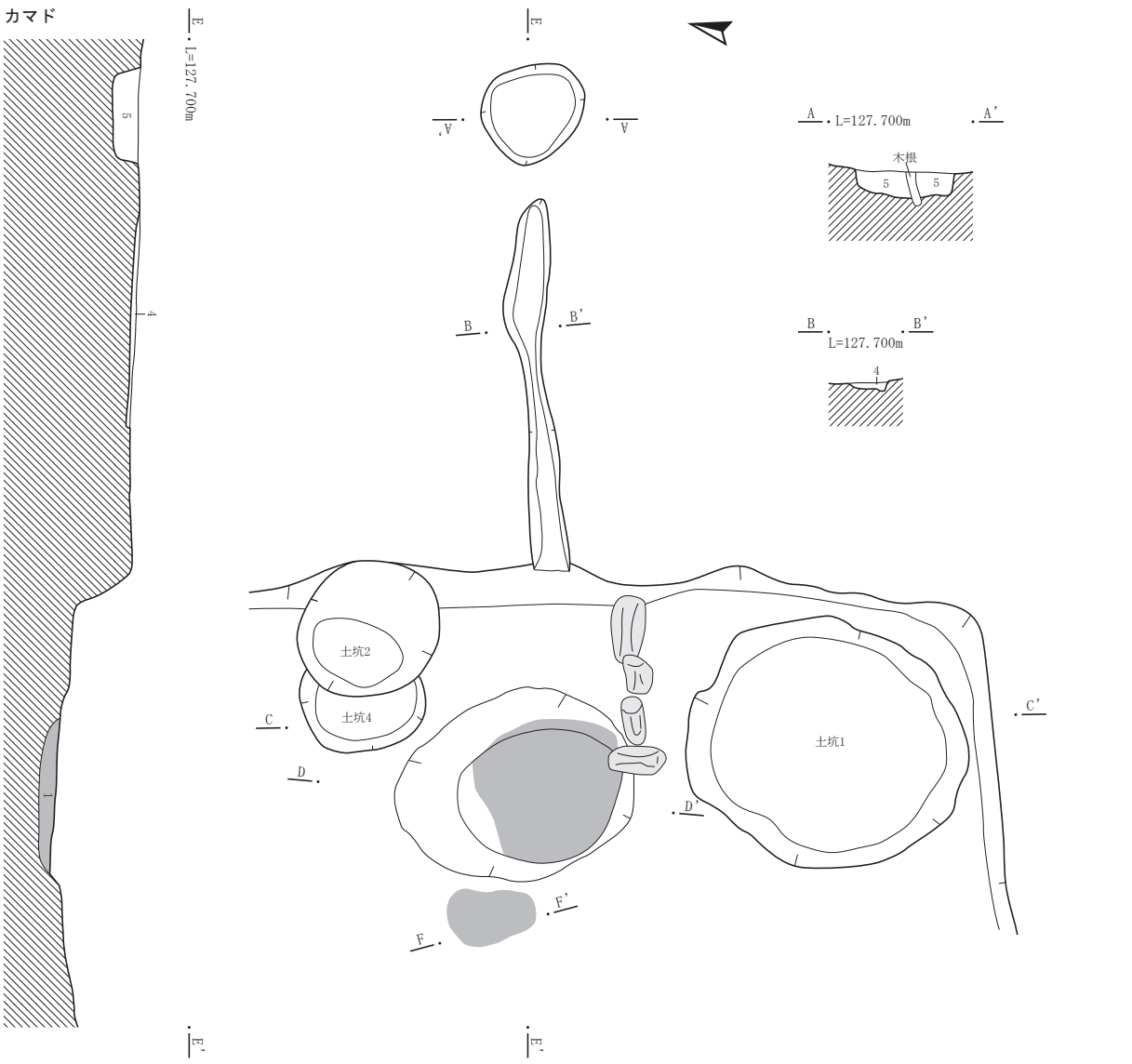
土坑２・４
1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや強　しまりやや疎　土坑２埋土。炭化物微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり疎　土坑４埋土。地山ブロック少量含む。

土坑３
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性強　しまりやや疎　炭化物少量、焼土粒微量含む。

0　1：60　2m

0　1：40　1m

第304図　75号竪穴建物跡１

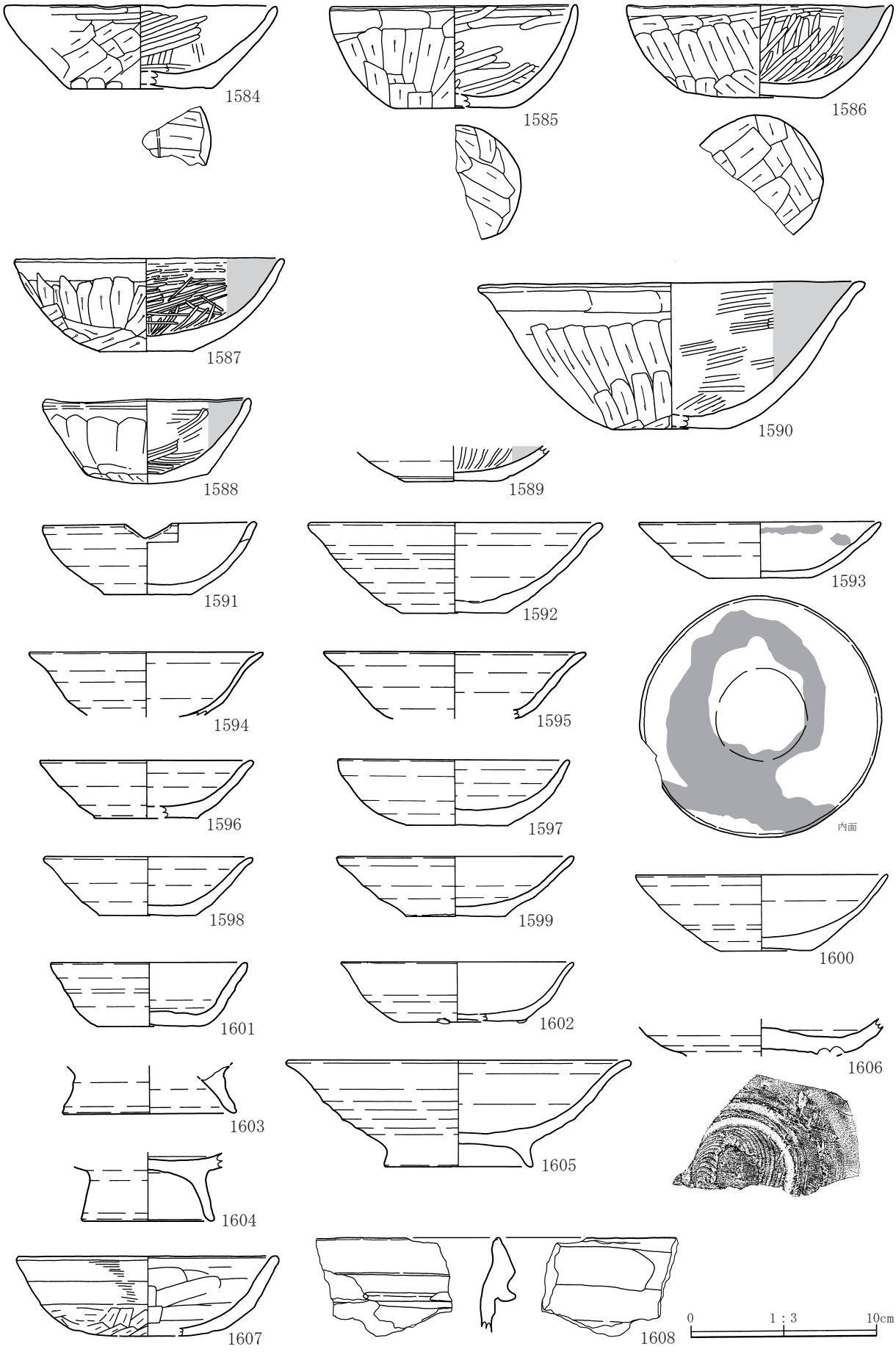


1. 橙色焼土(5YR6/8)　粘性やや強　しまり密
燃焼部焼土。被熱は強く、一部黄橙色を呈する。
2. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり疎　土坑4埋土。地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまり密
貼床土。黒色シルトブロック微量、地山ブロック少量含む。
4. 暗褐色シルト(7.5YR3/3)　粘性やや強　しまり密
煙道埋土。被熱により変色している。
炭化物微量、地山ブロック中量含む。
5. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密
煙出し埋土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
6. 黄橙色焼土(5YR5/6)　粘性やや強　しまり密
被熱弱いが、一部明赤褐～橙色を呈する。

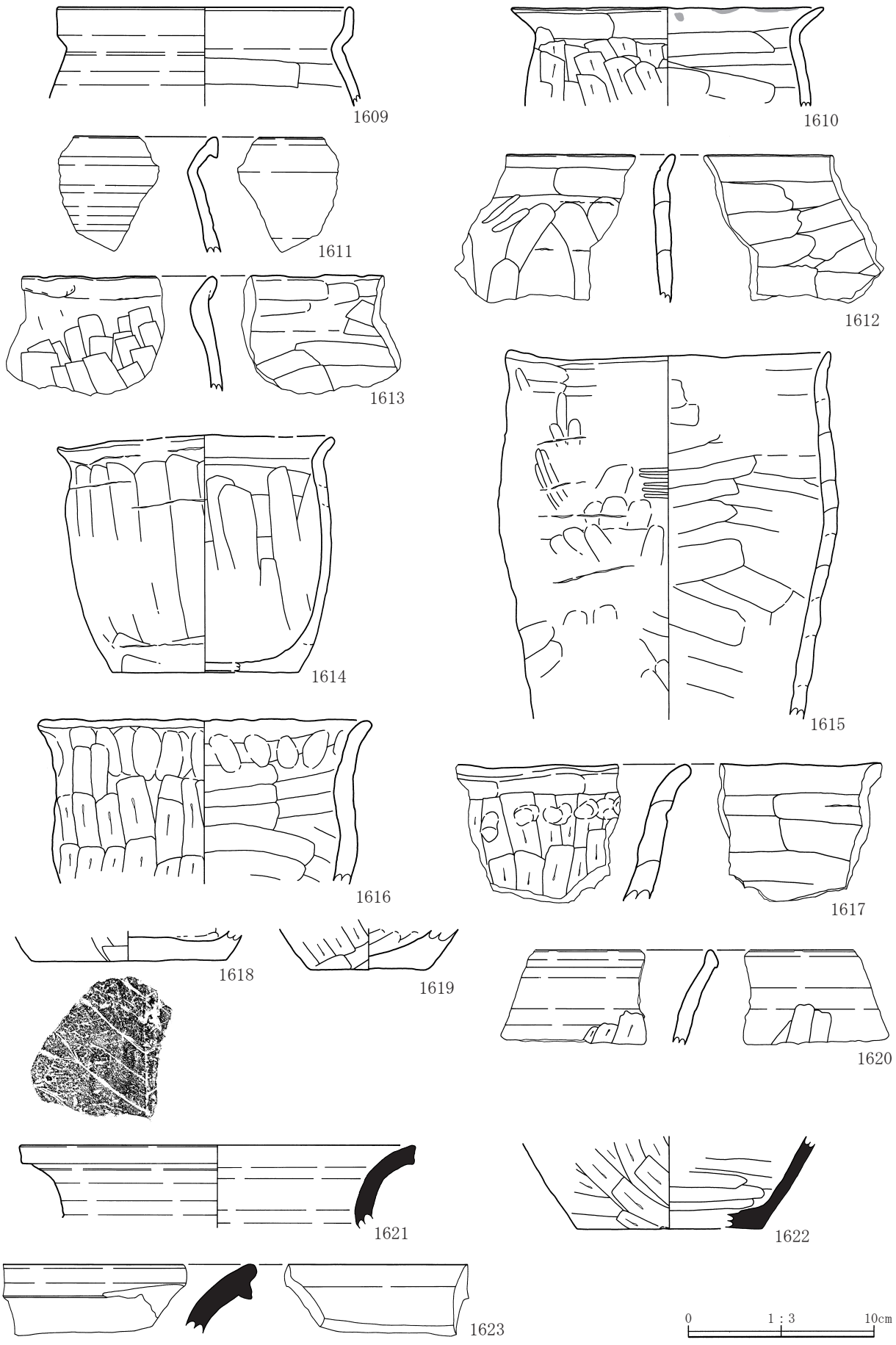
0　1：30　1m

1. 黄橙色焼土(7.5YR7/8)　粘性弱　しまり密　被熱強い。
2. 明赤褐色焼土(5YR5/8)　粘性やや弱　しまり密　被熱弱い。

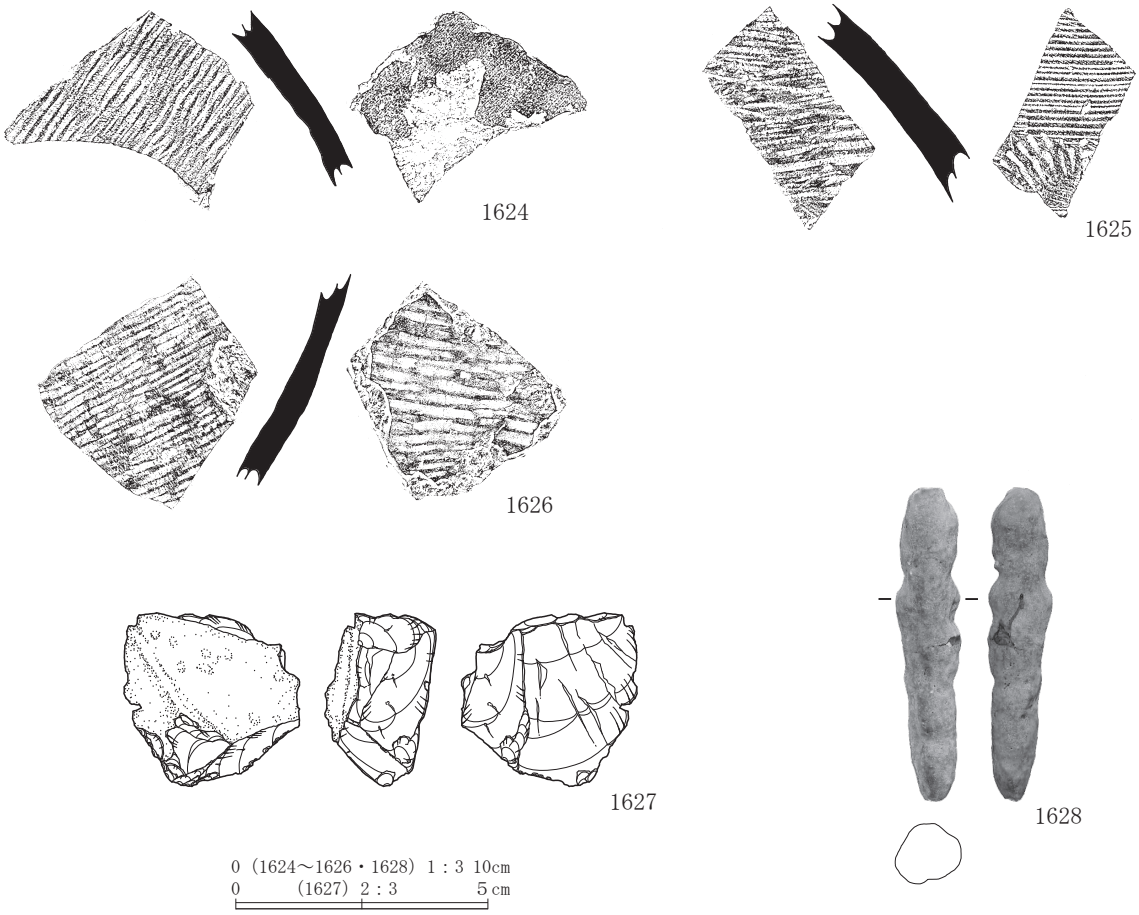
第305図　75号竪穴建物跡2



第306図　75号竪穴建物跡出土遺物１



第307図　75号竪穴建物跡出土遺物２



第308図　75号竪穴建物跡出土遺物３

［土坑］４基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。120×105cmの楕円形で、深さ43cmである。土坑２・４はカマドの北側に付く。重複しており、土坑２の方が新しい。規模は土坑２が径60cm、深さ15cm、土坑４は径50cmで、深さ20cmである。土坑１・２・４はカマドに伴う貯蔵穴と推測する。また土坑１の埋土中からTo-aテフラブロックの混入を確認した。土坑３は南壁際に付く。径60cm、深さ６cmで、用途は不明である。

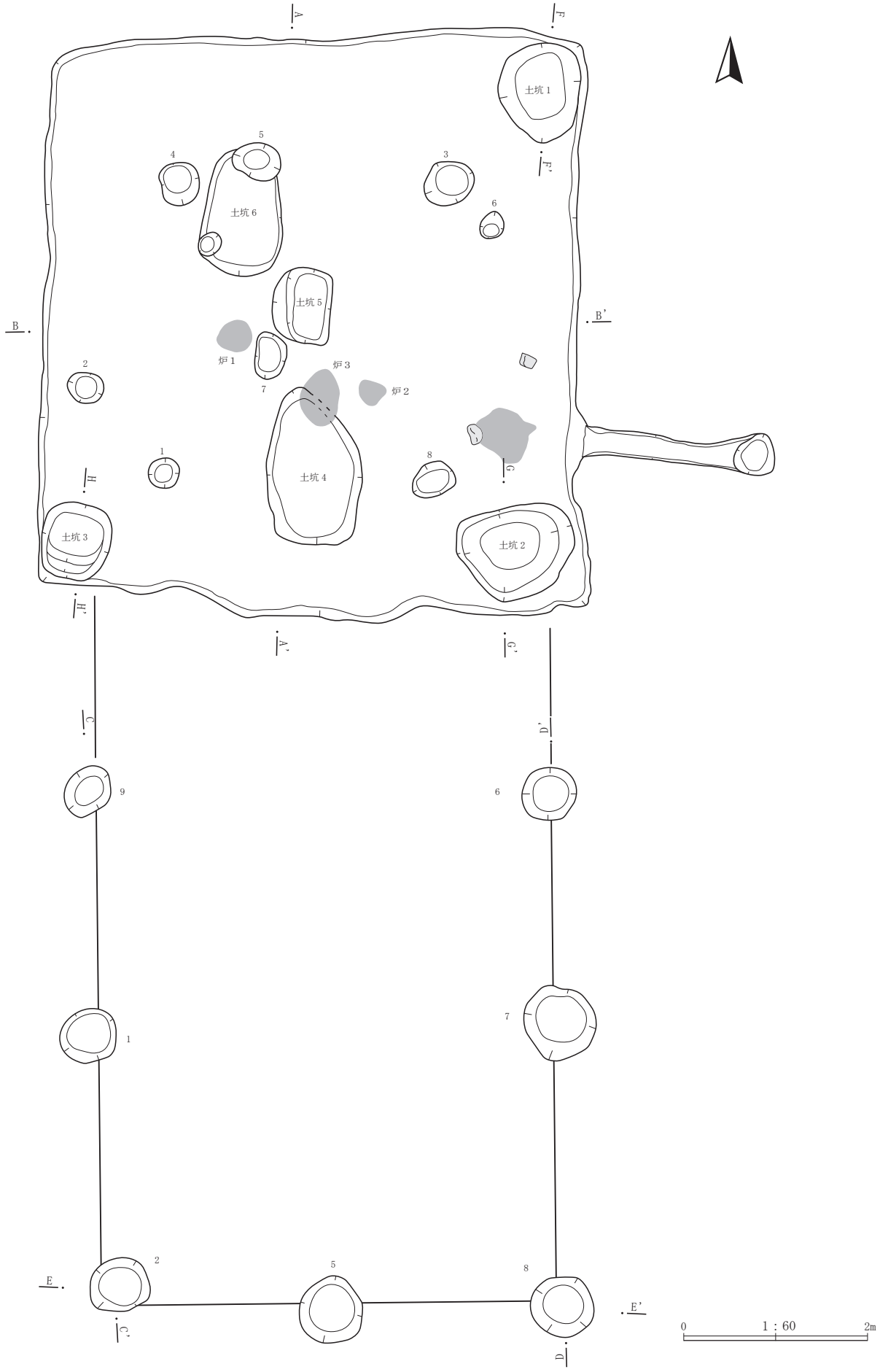
［柱穴・壁溝］柱穴は８個検出した。いずれも径20～30cmの小さい柱穴で、壁際に寄るもの（Pit５～８）が多いが、柱配置は不規則である。壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器16407.4g分、石器、鉄滓が出土している。埋土中の他、カマド周辺や土坑からの出土量が目立ち、特に土坑２から出土するものが多い（第304図右下）。

土師器は坏（1584～1602・1607）、台付坏（1603～1606）、甕（1608～1620）、鉢（1590）がある。坏は非ロクロ成形も多い（1584～1588）。1586～1588は内面に黒色処理が施される。その他はロクロ成形のみで、1593は内面に油煙痕が広く付き、灯明皿と推測する。1607はカマド南袖から出土しているが、７世紀ごろに帰属し、他の坏とは時期が異なる。口縁部から胴部にヨコナデを施す。1608も同様か。甕はロクロ成形は1609・1611のみで他は非ロクロ成形である。須恵器は破片がほとんどである。瓶類（1621～1623）、大甕（1624～1626）がある。

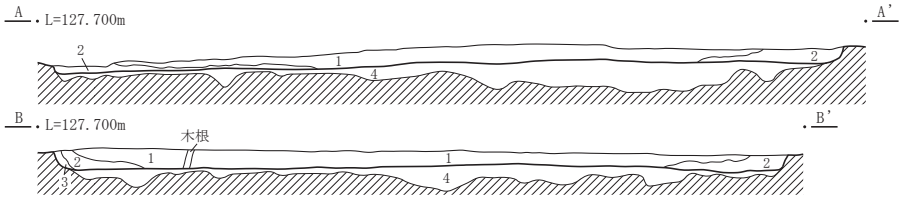
黒曜石製石器が１点（1627）、土坑１の４層中から出土している。自然面が残り、厚みがあるので石核の可能性がある。産地同定を試み、「湯ノ倉？」との結果を得ている（第Ⅶ章-５）。

鉄滓が２点埋土下位から出土している。１点（1628）掲載した。棒状を呈する。流状滓と推測する。



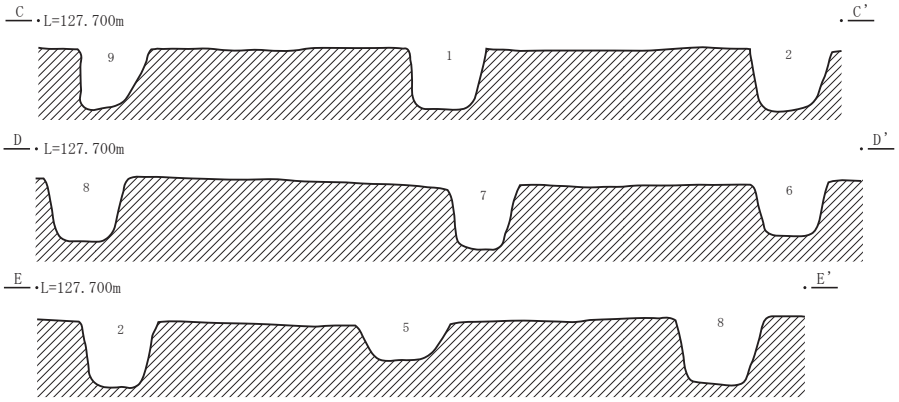
第309図　76号竪穴建物跡 1

竪穴部

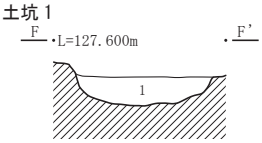


1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
3. 黄褐色シルト(10YR5/6)　粘性強　しまりやや疎　崩落土(Ⅲ層土)。2層土ブロック少量含む。
4. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性強　しまりやや密　貼床土。地山ブロック中量、黒色シルトブロック少量含む。

掘立部

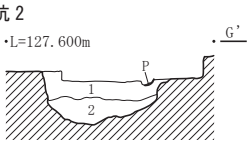


土坑 1



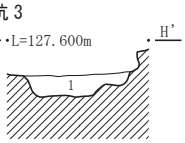
1. 黒褐色粘質シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、地山粒微量含む。

土坑 2

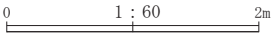


1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、地山粒微量含み、土器片混じる。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量含み、土器片混じる。

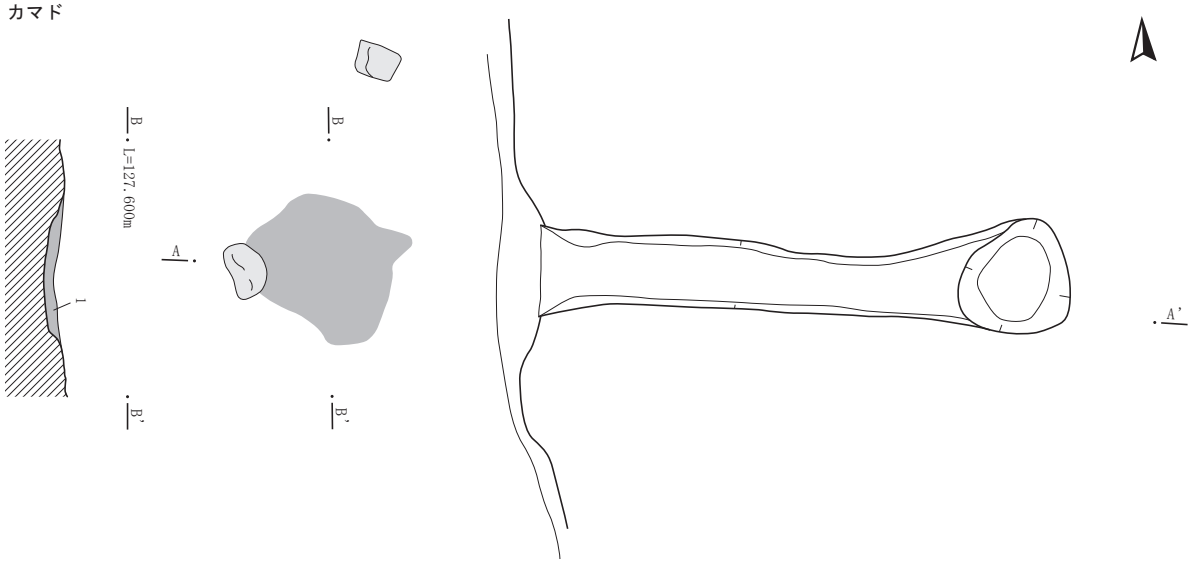
土坑 3

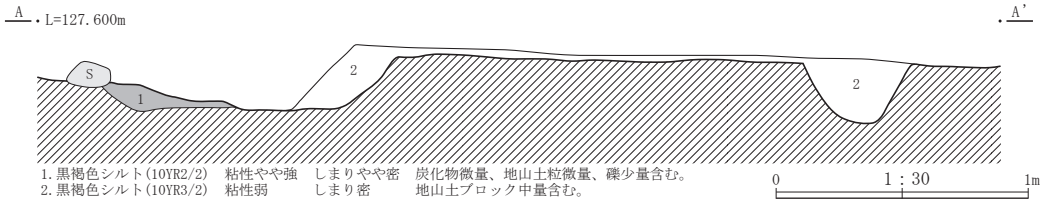


1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック中量含む。

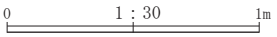


カマド





1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山土粒微量、礫少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性弱　しまり密　地山土ブロック中量含む。



第310図　76号竪穴建物跡2

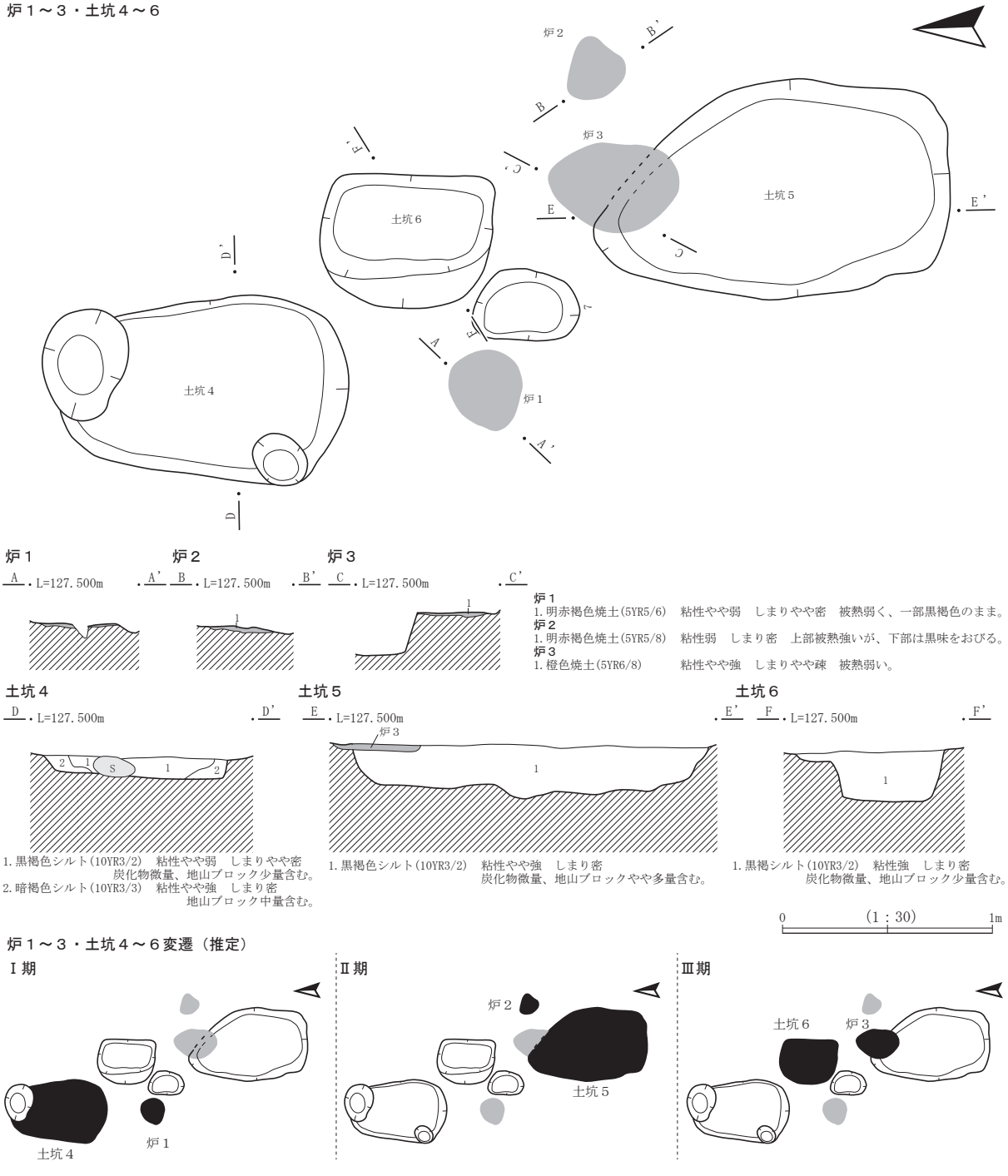
［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

76号竪穴建物跡（第309～314図、写真図版81・242～244）

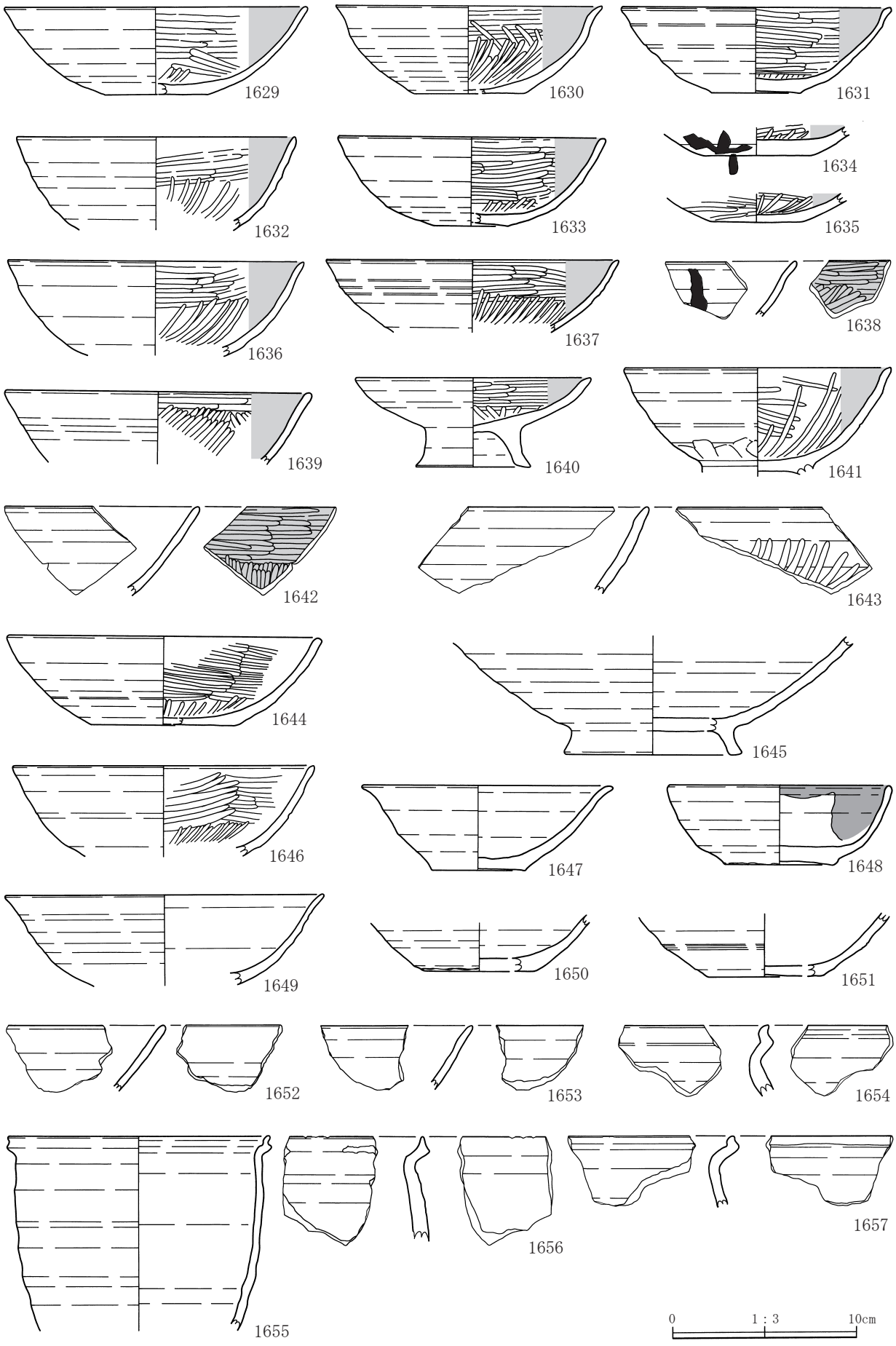
［位置・検出状況］調査区北東側ⅣA10c、ⅣA10d、ⅣA11c、ⅣA11d、ⅣA11e、ⅣA11f、ⅣA12c、ⅣA12d、ⅣA12e、ⅣA12fグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。45～47号土坑と重複し、本遺構が最も新しい。ただし45～47号土坑は本遺構の付属施設の可能性がある。

本遺構は、竪穴建物跡と掘立柱建物跡が連結する「竪穴・掘立柱併用建物」である。

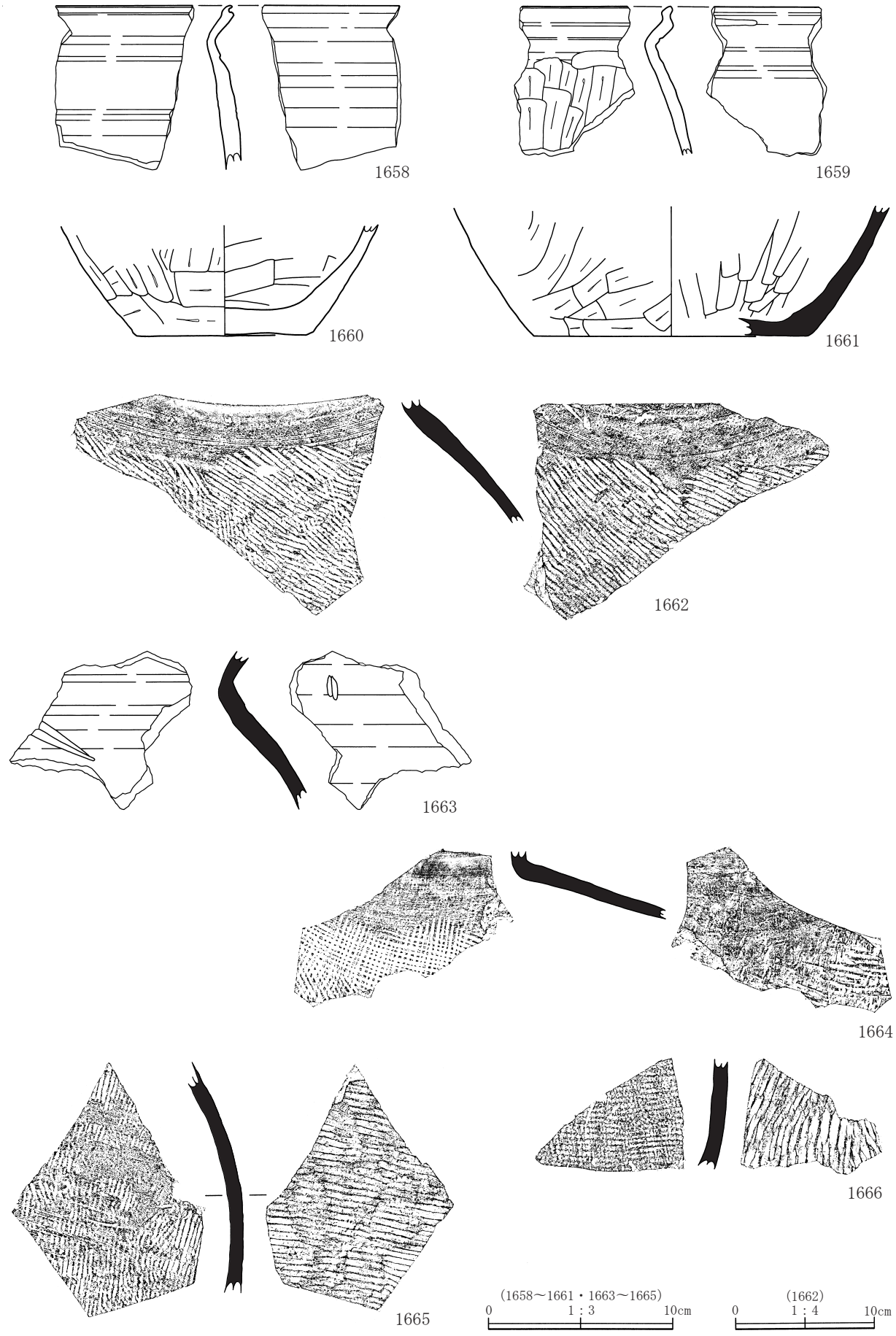
［規模・平面形］竪穴部は、北辺570cm、東辺610cm、南辺597cm、西辺570cmを測り、やや歪だが



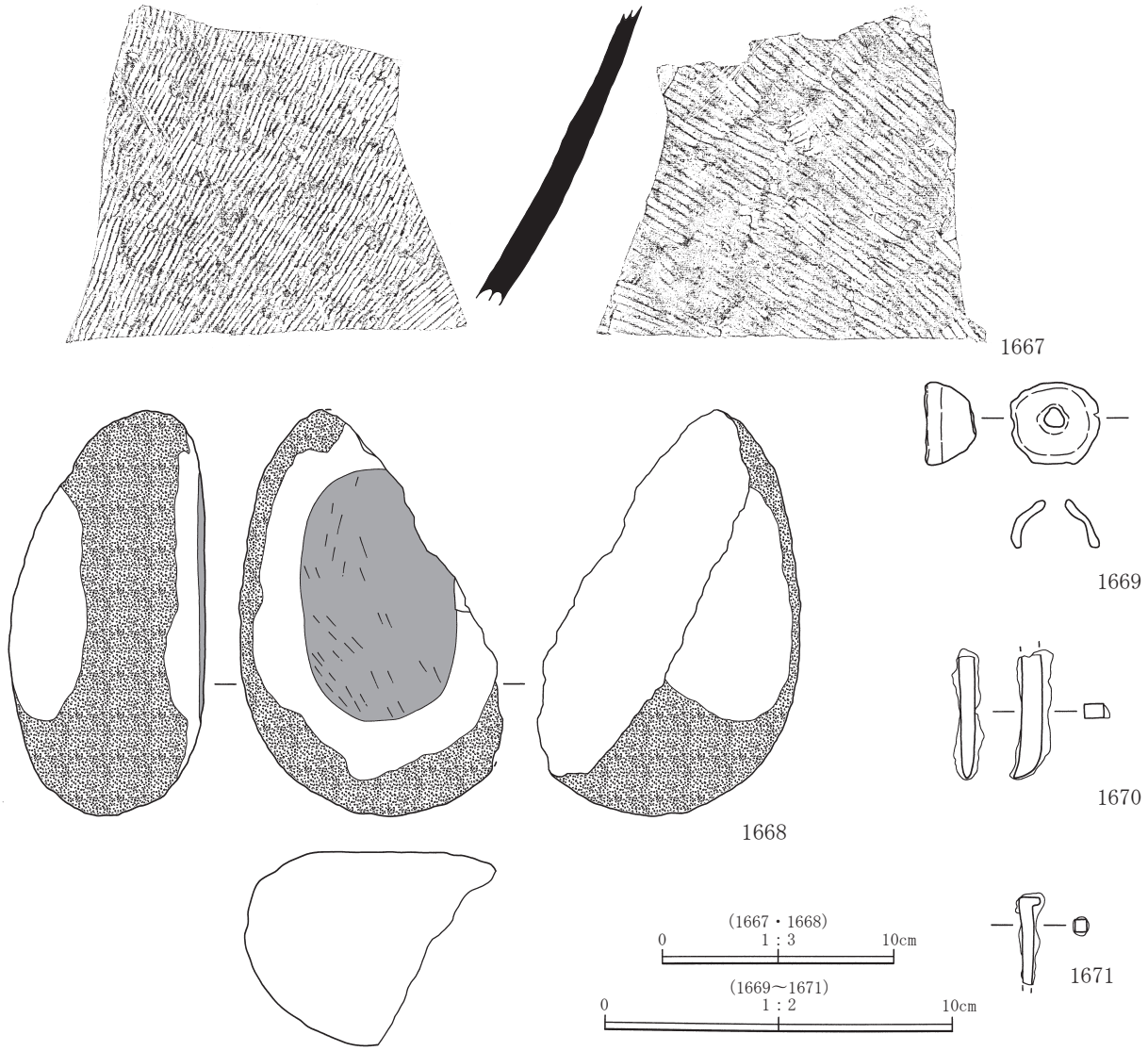
第311図　76号竪穴建物跡３



第312図　76号竪穴建物跡出土遺物１



第313図　76号竪穴建物跡出土遺物２



第314図　76号竪穴建物跡出土遺物３

隅丸の正方形を呈する。床面積は34.2㎡である。

［埋土の状況］３層からなり、黒褐色シルトを主体とし、炭化物や地山ブロックが混じる。壁際の黄褐色シルト（３層）が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと判断した。

［床面・壁］床面はⅤ層で検出した。ほぼ平坦であるが、中央がわずかに高い。壁はⅢ～Ⅴ層で検出した。全周する。緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高15cmが残存する。

［貼床］床面の全体に施される。貼床土は灰黄褐色シルトを主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方は床面の東側から南側が深く、それ以外は浅くなる。深さは２～23cmである。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と煙道を検出した。

燃焼部焼土面は70×58cmを測る。被熱は強く、明赤褐～明黄褐色を呈する。被熱深度は４cmである。また燃焼部焼土面の手前に20cm大の円礫が据え置かれている。

煙道は東壁から210cmのびる。ただし、後世の削平で、底面が残存するに過ぎない。燃焼部焼土面から10cmの段差があり、煙道はほぼ水平で、煙出しピットに至る。煙出しピットは径45cmの不整な円形で、煙道よりも22cm深い。

他に炉３基を床面の中央で検出した。炉１は37×34cm、炉２は30×28cm、炉３は61×40cmで、いずれも不整な楕円形を呈する。被熱は弱いが、橙～明赤褐色を呈する。炉１～３には、土坑４～６が近接しているので、各炉と近接する土坑４～６は一対の付属施設の可能性がある。炉１～３と土坑４～６は、重複関係にあるものもあり、したがってこれらは同時期存在ではなく、第310図下のように、時期変遷をしていると推測した。

［土坑］６基検出した。土坑１は床面の北東隅に付く。107×90cmの楕円形で、深さ23cmを測る。貯蔵穴と推測する。土坑２はカマドの南側に付く。120×100cmの楕円形で、深さ35cm、カマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑３は85×74cmの楕円形で、深さ16cmである。やや小型だが、これも貯蔵穴と推測する。土坑４は138×90cmの楕円形で、深さ10cm、土坑５は170×103cmの楕円形で、深さ26cm、土坑６は80×63cmの隅丸方形で、深さ22cmである。前述の通り、土坑４～６は炉１～３に伴う施設と推測する。

［柱穴・壁溝］竪穴部の床面で、柱穴８個を検出した。柱配置からPit１・３・４・８が主柱穴と推測する。壁溝は見受けられない。

［掘立柱部］柱穴７個（Pit１・２・５～９）で構成される。梁間二間（480cm）×桁行二間（540cm）で、床面積は25.9㎡である。柱穴は径70～80cm大で、深さ22～52cm、埋土の様相は図示していないが、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］古代土器7983.6g分、石製品、鉄製品が出土している。埋土中の他、カマド内や土坑からの出土量が目立つ。

土師器は坏（1629～1639・1642～1644・1646～1653）、台付坏（1640・1641・1645）、甕（1654～1659）がある。坏はロクロ成形で、1643・1644・1646は内面ミガキのみで、非黒色処理、1629～1639・1642は内面に黒色処理を施す。1634・1638は墨書土器だが文字は不明である。他はロクロ成形のみで、1648は内面に煤が広く残る。甕は破片のみで、ほとんどがロクロ成形である。須恵器も破片である。全て甕（1660～1667）である。

石器が１点（1668）、埋土下位から出土している。大型の円礫で扁平な片面に擦った痕跡があり、また被熱で赤みをおびる。

鉄製品は３点、いずれも埋土下位から出土している。1669は菊座金具か。本遺構、あるいは本遺跡には蕨手刀があった可能性が高い。1670は刀子、1671は釘である。

［時期］埋土にTo-aテフラは混入しないが、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

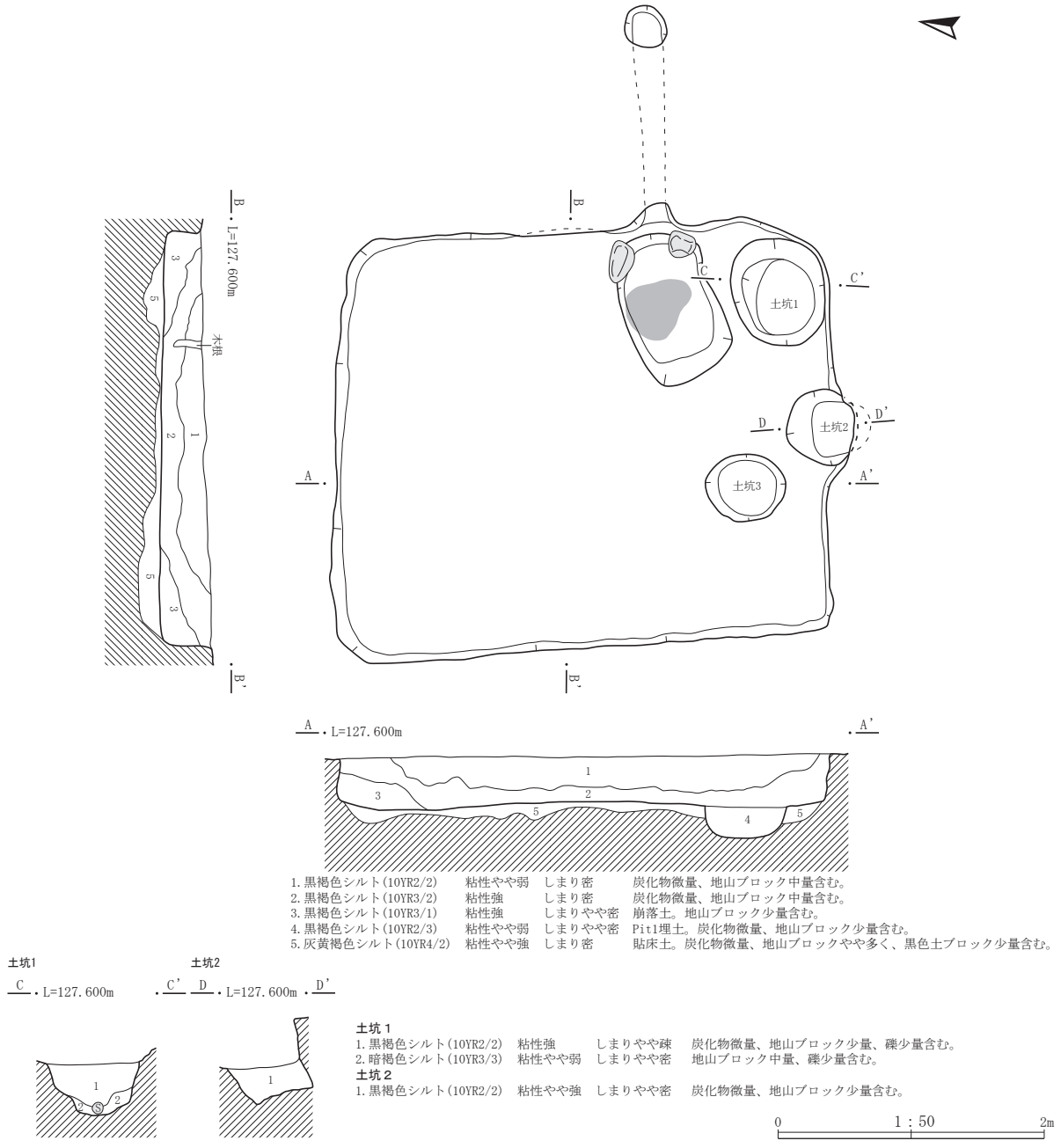
77号竪穴建物跡（第315～317図、写真図版82・244）

［位置・検出状況］調査区東側ⅣA12g、ⅣA12h、ⅣA13g、ⅣA13hグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。48号土坑と重複し、本遺構の方が古い。ただし48号土坑は本遺構の埋没後に構築されており、したがって本遺構の上部の一部を壊したに過ぎない。

［規模・平面形］北辺318cm、東辺332cm、南辺284cm、西辺348cmを測り、隅丸の正方形を呈する。床面積は10.9㎡である。

［埋土の状況］３層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の３層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。ほぼ平坦だが、中央がわずかに高い。壁はⅢ～Ⅳ層で、全周する。直立気味で、北壁や東壁はわずかにオーバーハングしている。壁高は最大40cmである。



第315図　77号竪穴建物跡１

［貼床］床面のほぼ全体に施される。貼床土は、灰黄褐色シルトで、炭化物が混じる。掘り方はやや歪で、深さは2～17cmである。

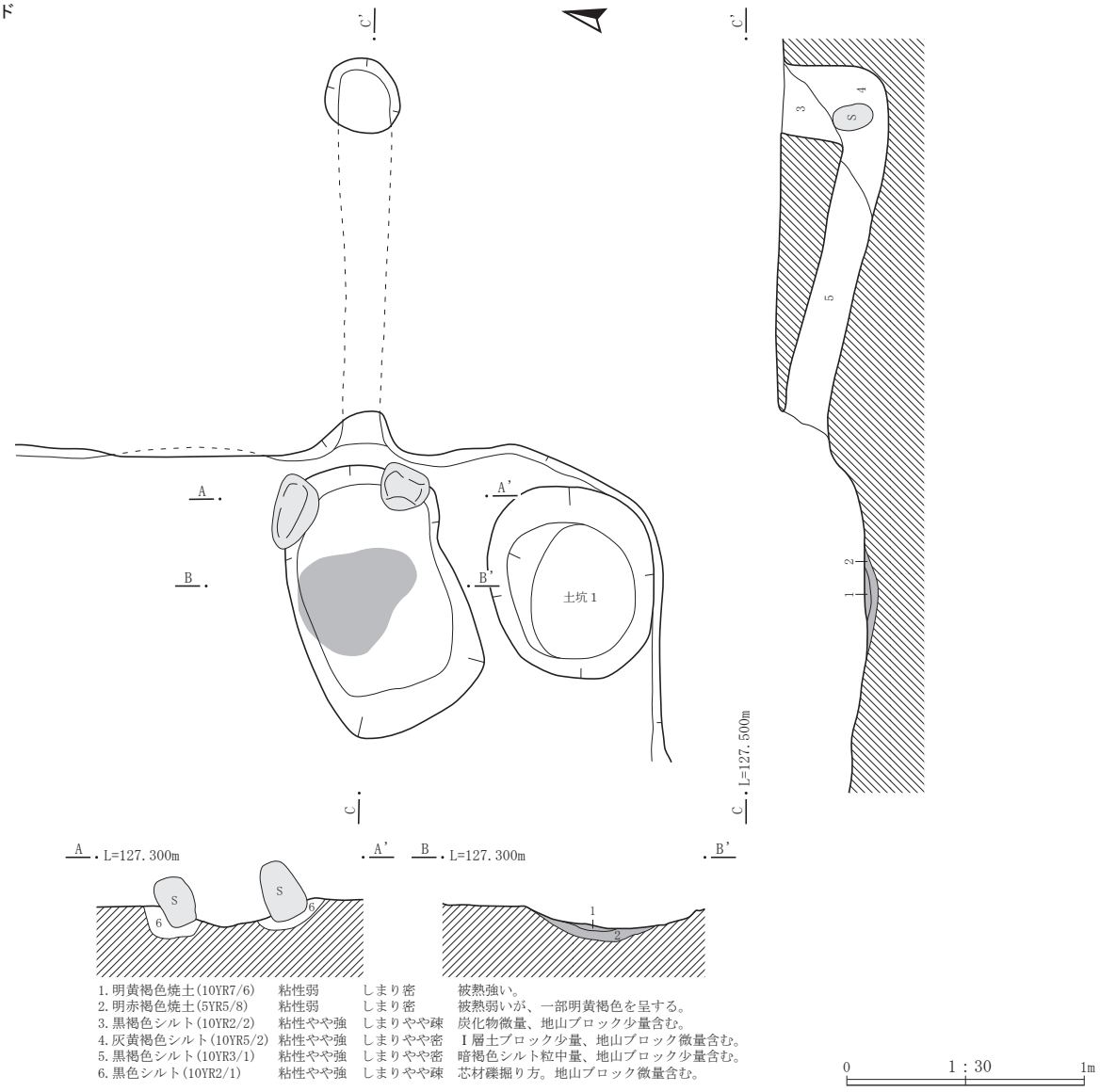
［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は113×70cmの浅い掘り込み内にあり、52×40cmを測る。被熱は強く、明黄褐色～明赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。

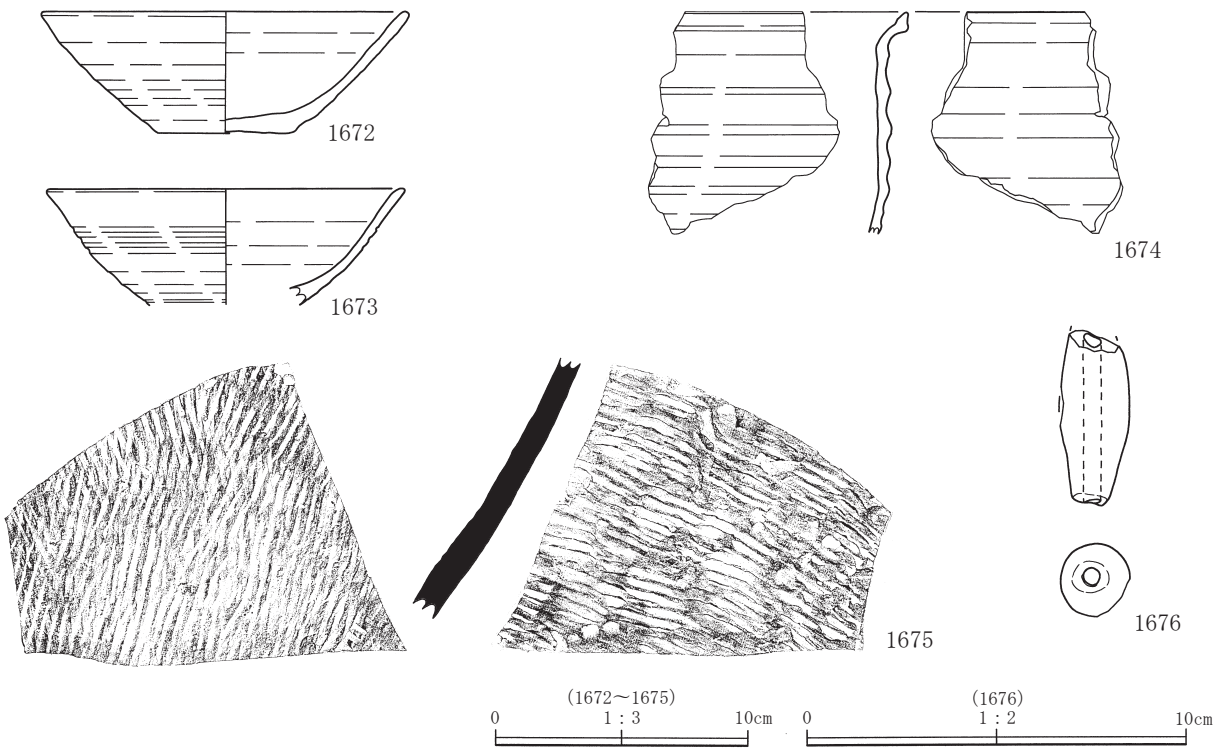
袖は、両袖とも、芯材礫１個ずつのみ残存する。芯材礫は20～30cm大の礫で、床面を掘り込み、設置している。

煙道は東壁から160cmのびる。刳り抜き式である。焼土面とは８cmの段差になっており、煙道は下へと10°傾斜し、煙出しピットに至る。煙出しピットは径32cmの円形で、検出面からの深さは40cmである。

［土坑］３基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。85×70cmの楕円形で、深さ38cmである。カ



第316図　77号竪穴建物跡２



第317図　77号竪穴建物跡出土遺物

マドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑２は南壁際の中央に付き、一部は壁側にオーバーハングしている。57×52cm、深さ27cm、用途は不明である。土坑３は床面の南寄りに付く。60×50cmの楕円形で、深さ23cm、用途は不明である。

［柱穴・壁溝］柱穴、壁溝ともに見受けられない。

［出土遺物］古代土器1405.6g分、土製品が出土している。出土位置は埋土中と土坑２である。

土師器は坏（1672・1673）、甕（1674）がある。いずれもロクロ成形のみである。須恵器は大甕の胴部片（1675）がある。

土製品が１点（1676）、土坑２の埋土から出土している。土錘で端部が欠損する。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

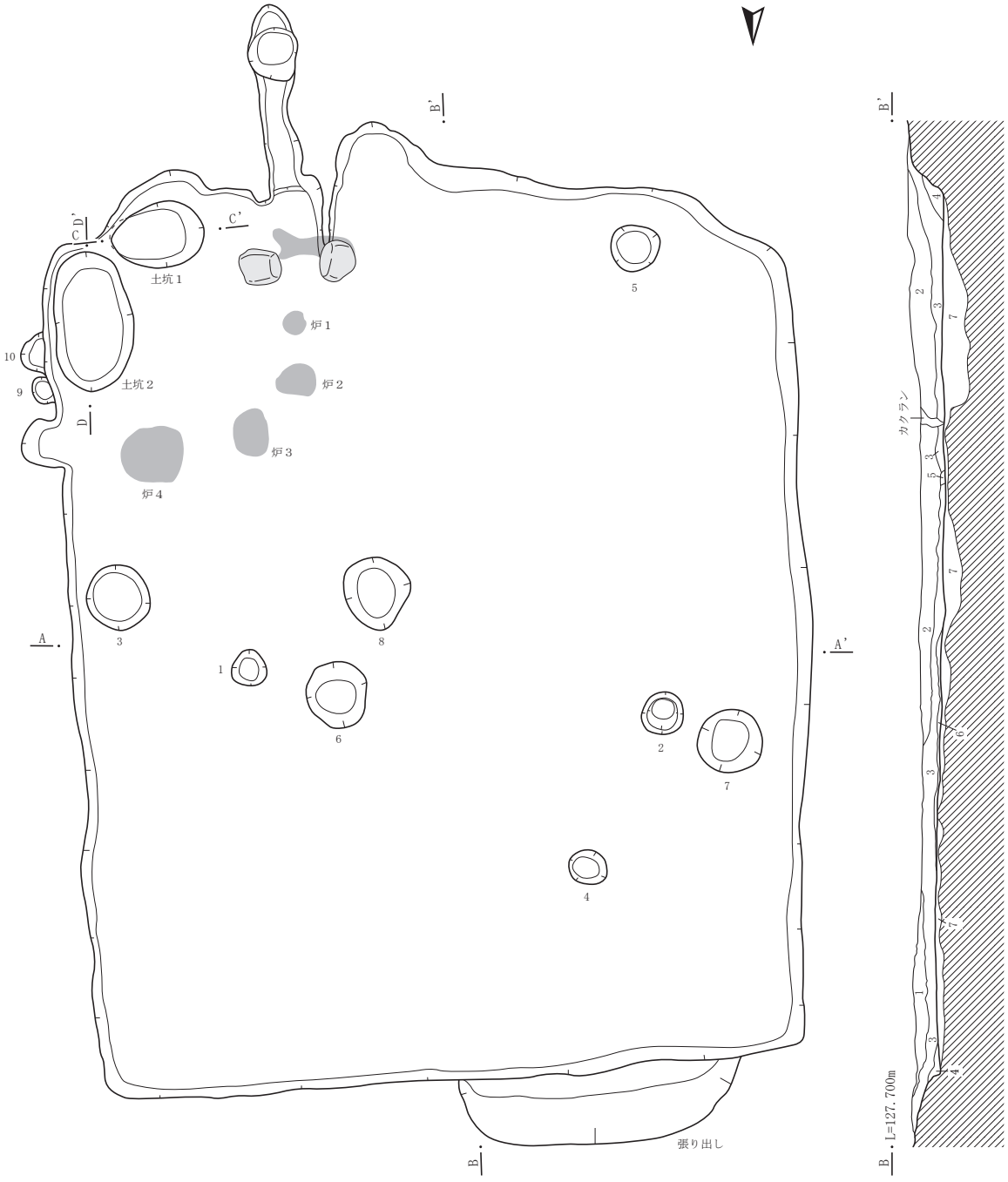
78号竪穴建物跡（第318～322図、写真図版83・244～246）

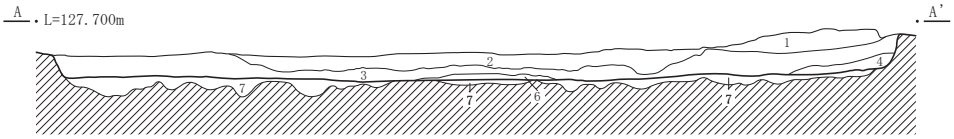
［位置・検出状況］調査区南東側ⅣA13k、ⅣA13l、ⅣA13m、ⅣA14k、ⅣA14l、ⅣA14mグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。

［規模・平面形］北辺524cm、東辺648cm、南辺550cm、西辺594cmを測り、カマドを正面として、縦長の隅丸長方形を呈する。床面積は35.5㎡である。

［埋土の状況］６層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の灰黄褐色シルト（４層）が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと判断した。また２層中でTo-aテフラブロックの混入を確認した。

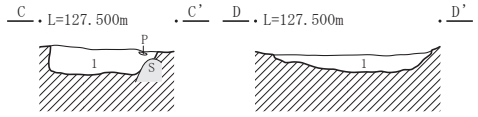
［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ～Ⅳ層で、全周する。緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高は最大22cmが残存する。





1. 黒褐色シルト(10YR3/1)	粘性やや強	しまり密	炭化物微量、地山土粒微量、酸化鉄微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)	粘性強	しまりやや密	炭化物微量、To-aテフラブロック散在、地山土粒少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/3)	粘性強	しまりやや密	2層に類似するが、To-aテフラブロックは混じらない。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
4. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)	粘性やや強	しまりやや疎	崩落土。炭化物微量、地山ブロック中量含む。
5. 明赤褐色焼土(5YR5/6)	粘性弱	しまりやや疎	焼土ブロック堆積層。炉から流出か。
6. にぶい黄褐色シルト(10YR4/3)	粘性やや弱	しまりやや疎	地山ブロック少量含む。
7. 暗褐色シルト(10YR3/3)	粘性やや強	しまり密	貼床土。黒色シルトブロック少量、地山ブロック中量含む。

土坑1　　**土坑2**



土坑1
1. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性強　しまりやや疎　炭化物微量、地山土粒微量含む。

土坑2
1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性強　しまりやや疎　炭化物少量、地山土粒微量含む。

0　1：50　2m

第318図　78号竪穴建物跡1

［貼床］床面の全体に施される。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方は歪で、壁際は深く、床面の中央は浅い傾向がある。深さは２～11cmである。

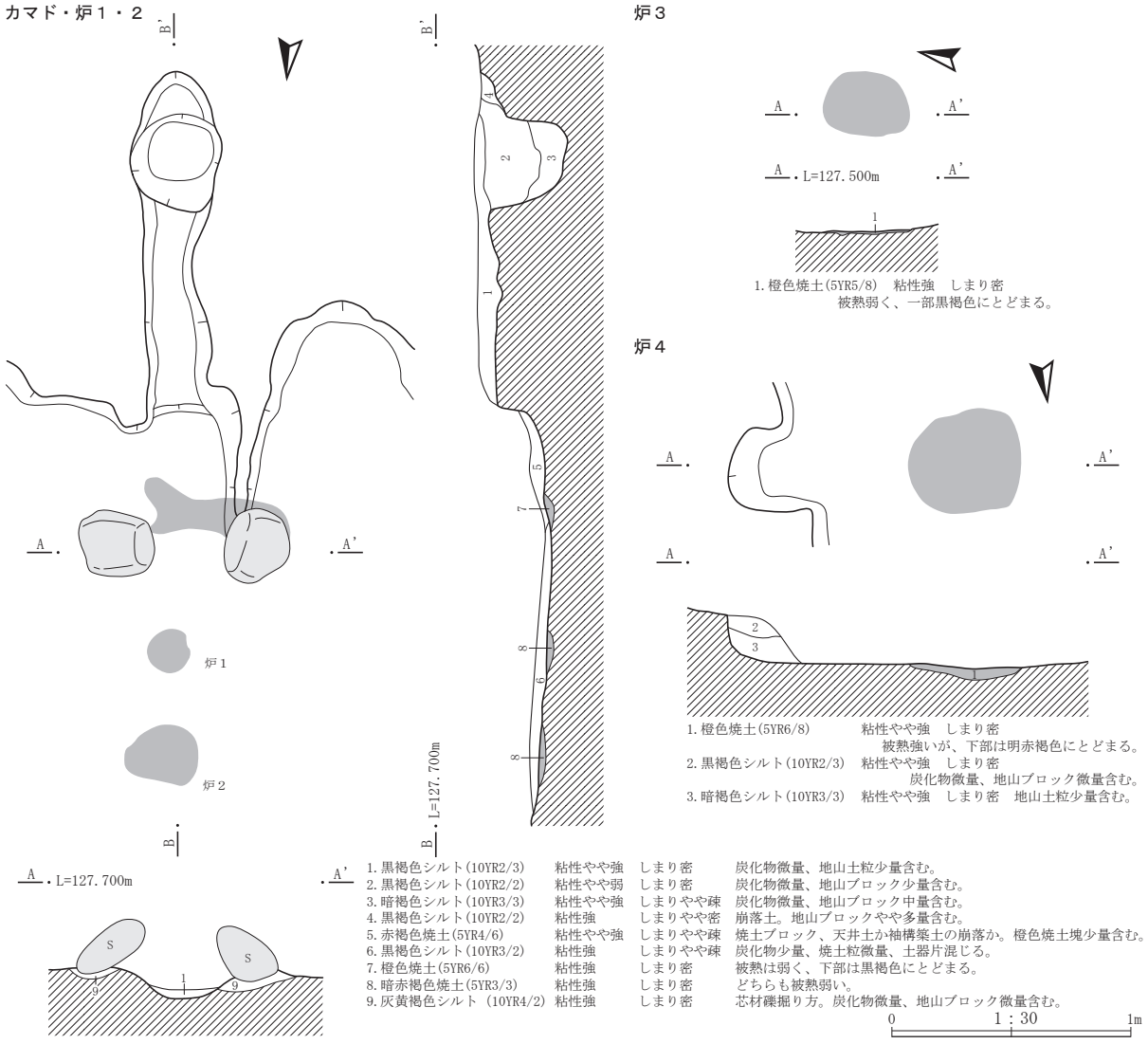
［カマド・炉］カマドが南壁の東寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙出しを検出した。

燃焼部焼土面は32×20cmを測る。橙色を呈するが被熱は弱く、下部は黒色にとどまる。被熱深度は３cmである。

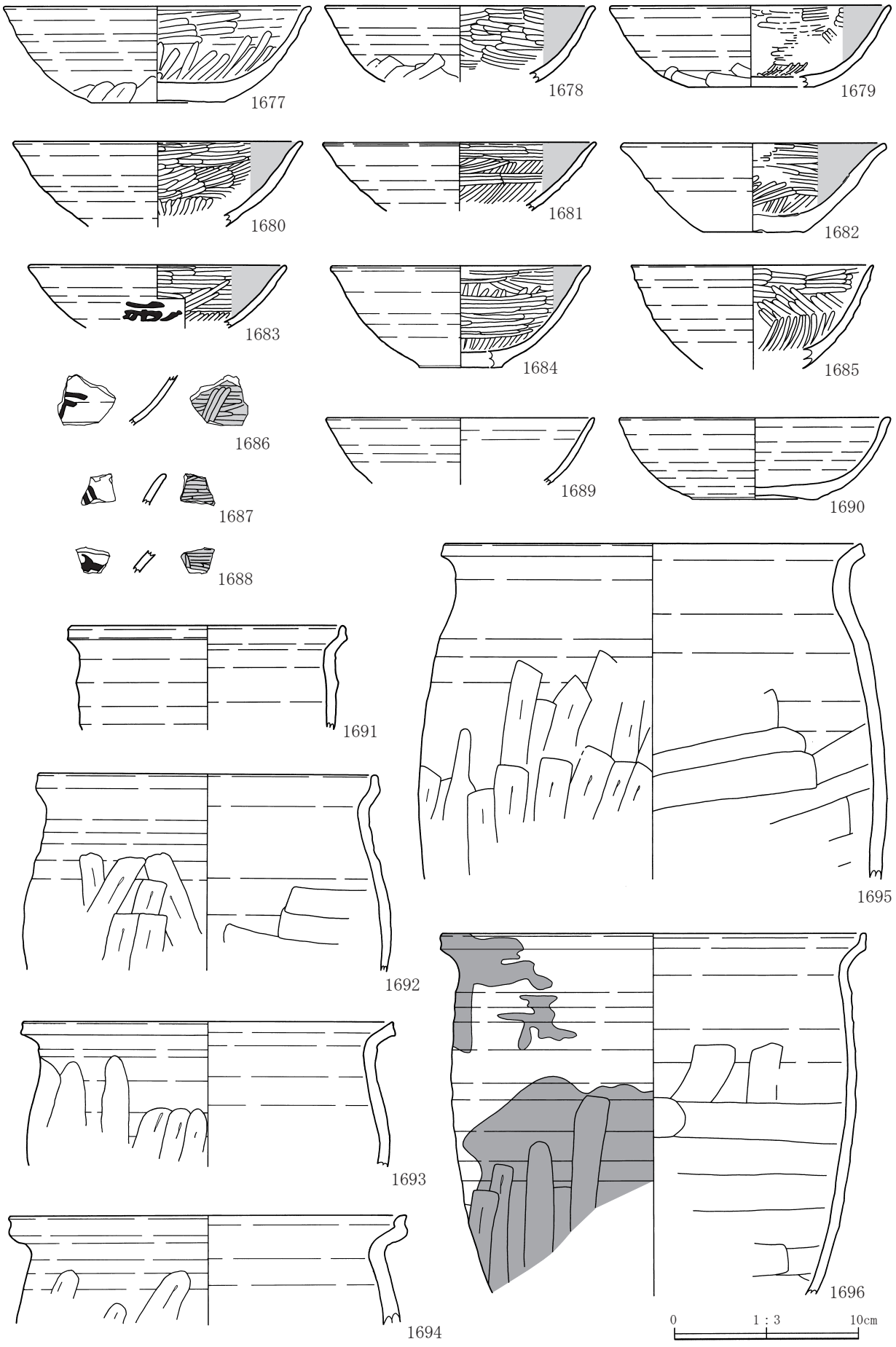
袖は、東袖が芯材礫１個、西袖は芯材礫１個と構築土の一部が残存する。構築土は地山土を削り出して構築されている。芯材礫は30cm大の扁平な円礫で、わずかに床面を掘り込んで、設置している。

煙道は南壁から140cmのびる。ただし、後世の削平で、底面付近を検出したに過ぎない。焼土面から18cmの段差があり、煙道ピットはほぼ水平に煙出しピットに至る。煙出しピットは径40cmの不整な円形で、煙道よりも28cm深い。

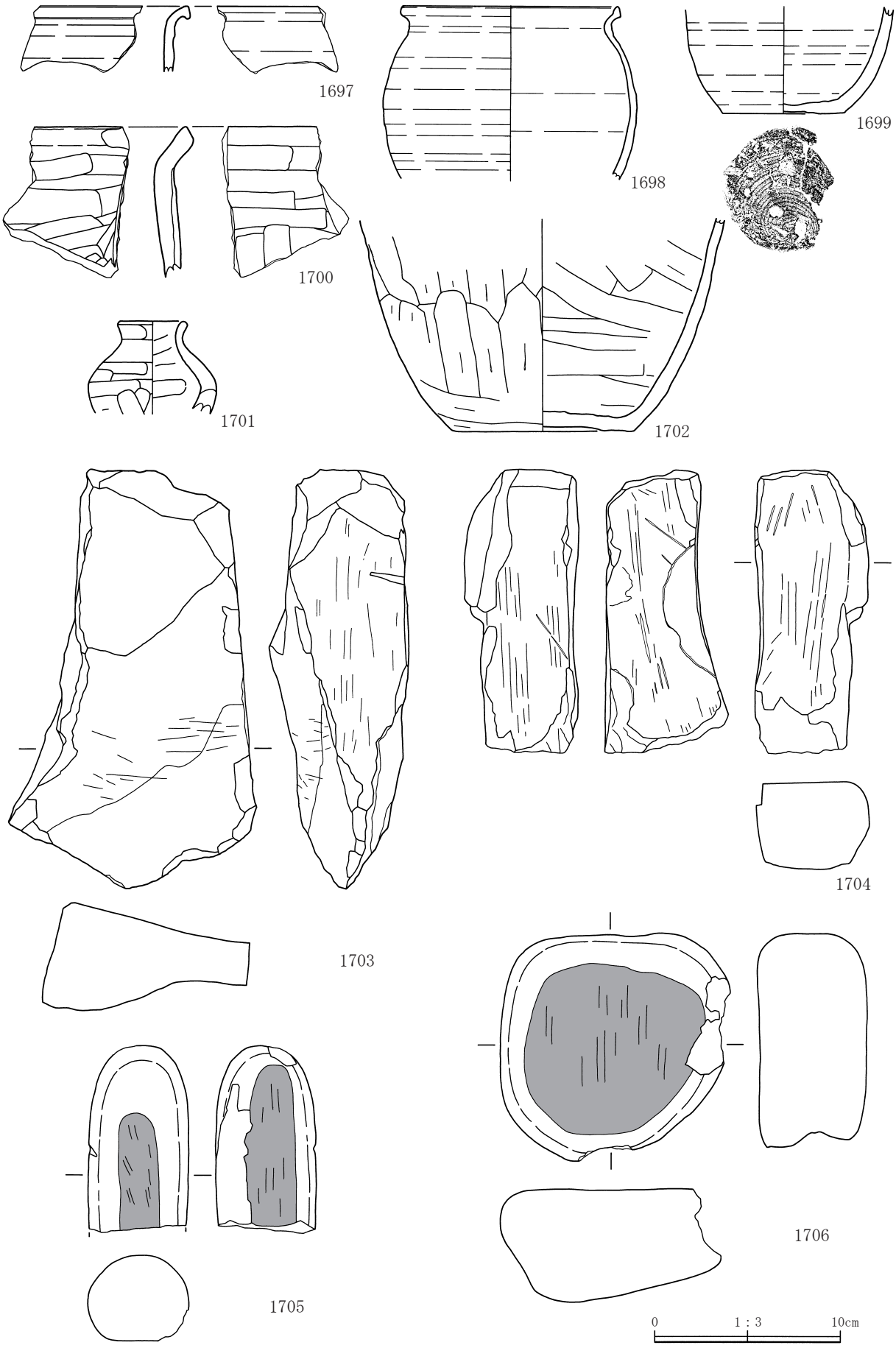
他に炉を４基検出した。いずれも床面の南東隅、カマドの近くに集中する。規模・平面形は炉１が20×18cm、炉２は30×23cm、炉３は34×26cm、炉４は47×39cmで、全て楕円形である。被熱は、



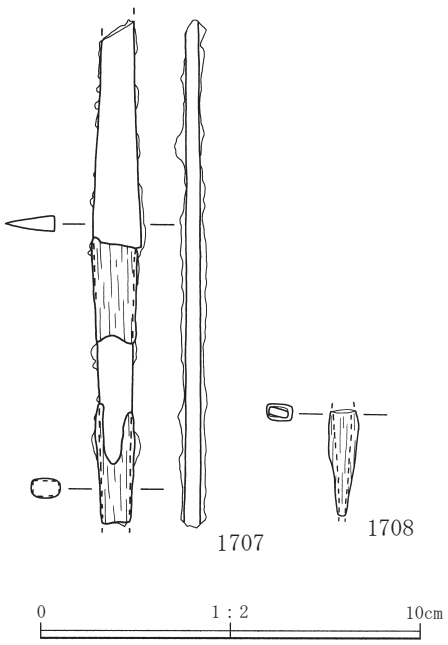
第319図　78号竪穴建物跡２



第320図　78号竪穴建物跡出土遺物1



第321図　78号竪穴建物跡出土遺物２



第322図　78号竪穴建物跡出土遺物３

炉４は強く、他は弱い。色調は橙色や暗赤褐色で、被熱深度は２～４cmである。なお炉４が近接する東壁は30cm東へと張り出しており、この部分を煙道とする、古いカマドがあった可能性も考えたが、袖は確認されなかったので、炉とした。

［土坑］２基検出した。土坑１はカマドの東側に付く。70×50cmの楕円形で、深さ19cmを測る。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑２は東壁際、南寄りに付く。105×59cmの楕円形で、深さ６cmである。用途は不明である。

［柱穴・壁溝］柱穴は、床面で８個（Pit１～８）、壁外で２個（Pit９・10）検出した。共に柱配置は不規則である。壁溝は見けられない。

［張り出し］北壁の西側に、１基付く。215×50cmの楕円形を呈し、底面は、床面よりも６cm高い。

［出土遺物］古代土器7247.2g分、砥石、石製品、鉄製品が出土している。埋土中の他、カマド内や土坑からの出土量が目立つ。

古代土器は全て土師器で、坏（1677～1690）、甕（1691～1700・1702）、ミニチュア土器（1701）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理を施すものが多い。1683・1686～1688は墨書土器である。いずれも文字は不明である。なお1686～1688は小片で、接合できなかったが同一個体と推測する。甕は、1700は非ロクロ成形で、他は全てロクロ成形で、胴部下半にケズリを施す。1696は外面の広い範囲に煤が付着する。1698・1699は小型の甕である。1701はミニチュア土器で、壺を模している。

砥石が２点出土した。1703は土坑１から出土している。凝灰岩製で、３面で研磨の痕跡が見受けられる。1704は張り出しから出土している。同じく凝灰岩製。また石製品も２点出土している。1705は貼床から出土しており、棒状で、片側が欠損する。広い面に擦った痕跡が残る。1706は床面上から出土した厚みのある扁平な礫で、片面のみ擦った痕跡が残る。台石か。

鉄製品は２点（1707・1708）、どちらも刀子で埋土中から出土している。1707は両端が欠損するが、柄の部分に木質が残る。1708は柄の部分の破片で、木質で覆われている。残存部の大きさから、小型の刀子であったと推測する。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

79号竪穴建物跡（第323～325図、写真図版84・246～248）

［位置・検出状況］調査区北東側ⅣA14b、ⅣA14c、ⅣA15b、ⅣA15cグリッドに位置する。Ⅲ層上面で検出した。なお本遺構の北側３分の１は調査区外に及んでいる。

［規模・平面形］北辺不明、東辺〈242〉cm、南辺356cm、西辺〈280〉cmを測り、隅丸の方形を呈するものと推測する。検出できた範囲の床面積は〈10.0〉㎡である。

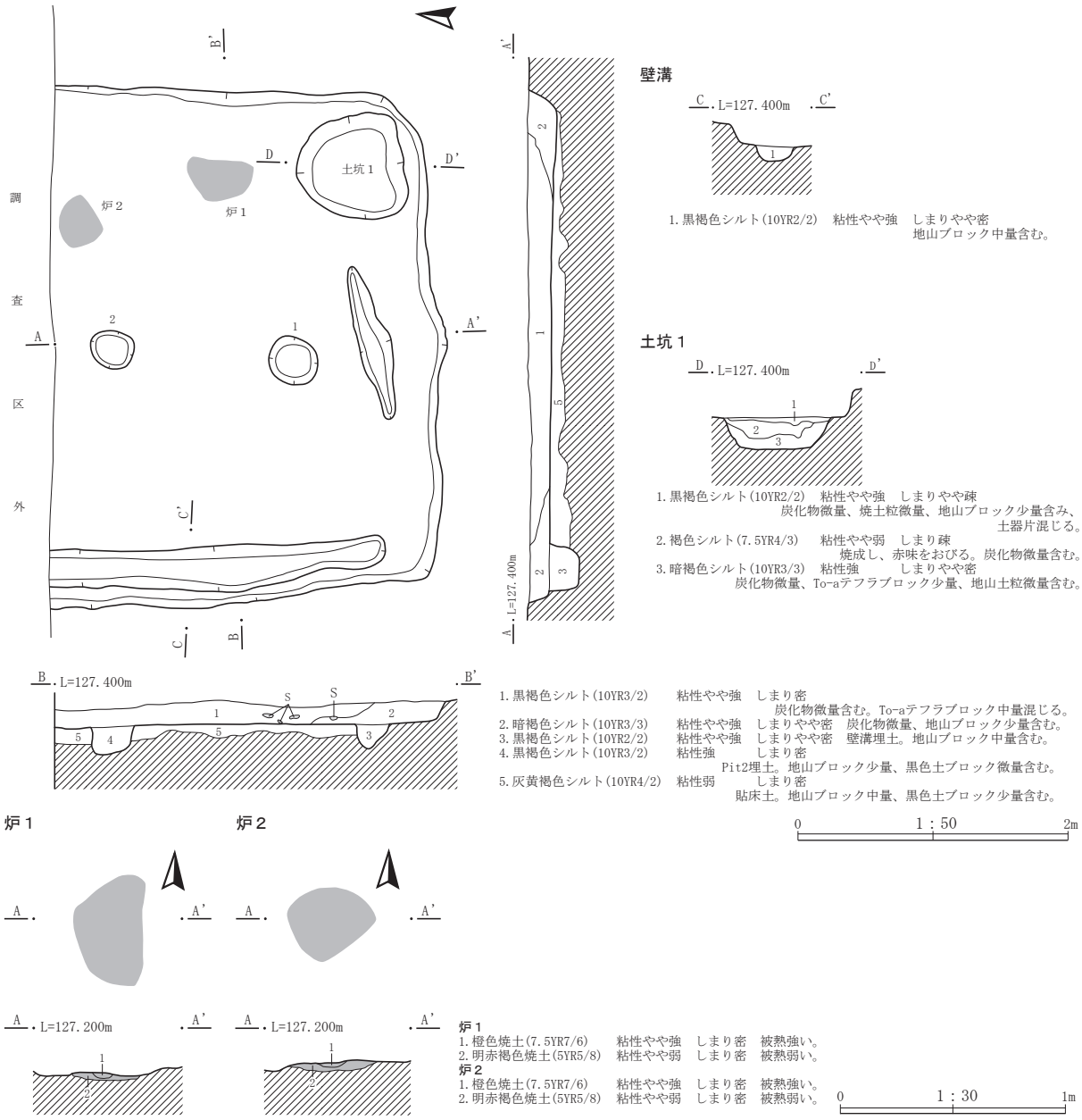
［埋土の状況］２層からなり、黒褐色～暗褐色シルトを主体とする。壁際の暗褐色シルト（２層）が

三角堆積しており、埋没は自然堆積と判断した。また１層中でTo-aテフラブロックの混入を確認した。

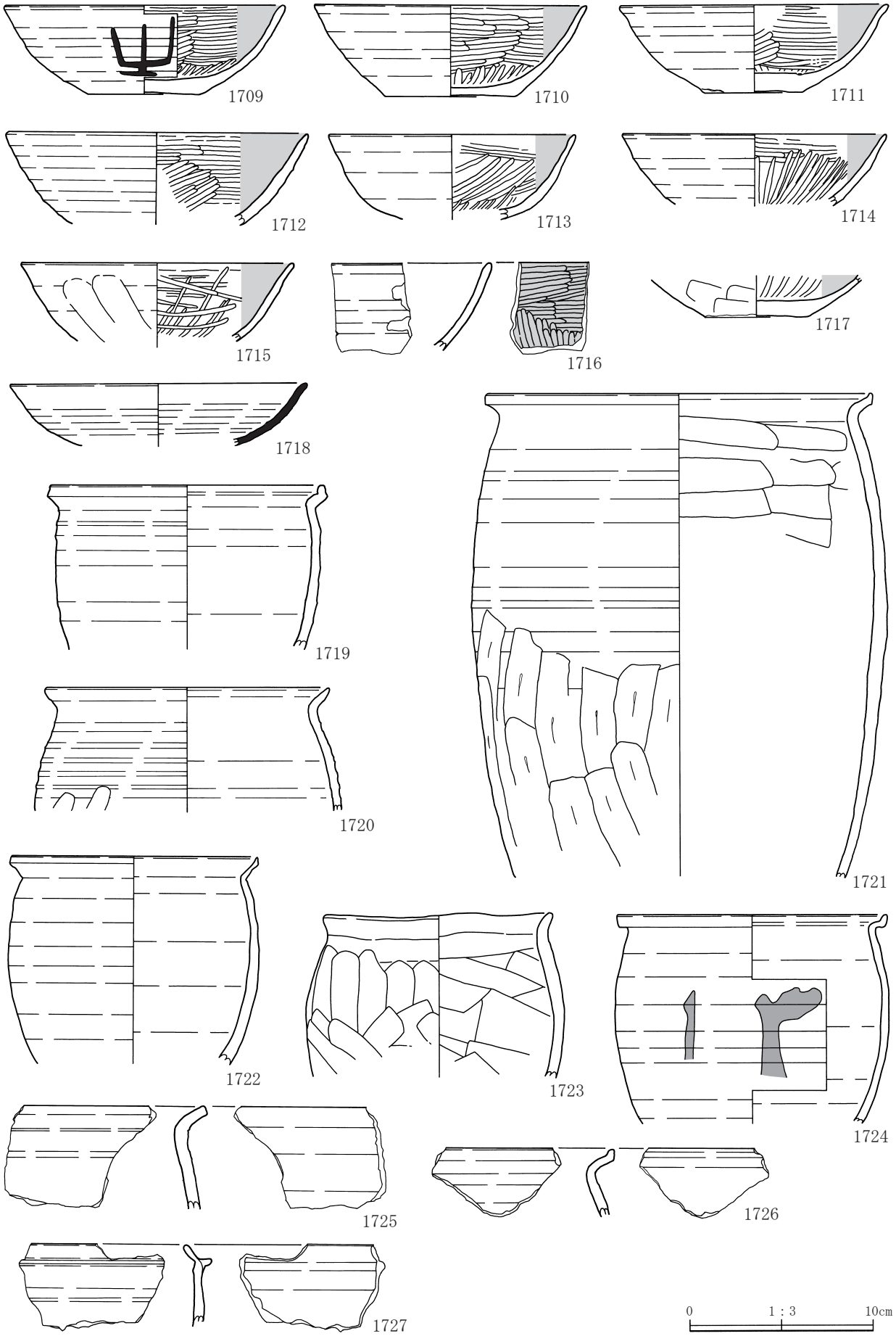
［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ～Ⅳ層で検出した。調査区域を除き、範囲では全周する。緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高は最大18cmが残存する。

［貼床］床面の全体に施される。貼床土は灰黄褐色シルトを主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方はやや歪で、深さは３～13cmである。

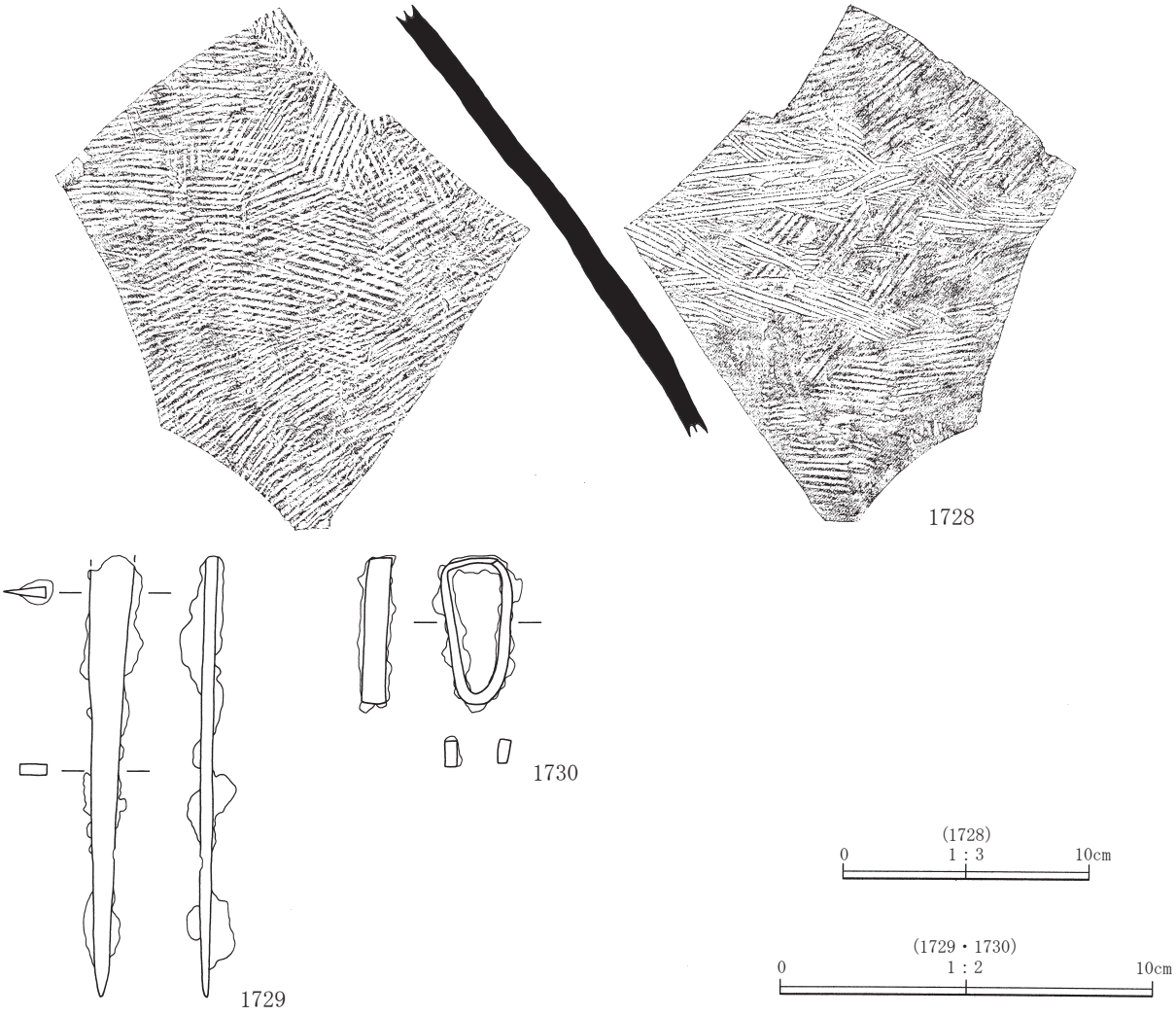
［カマド・炉］炉を２基検出した。炉１は東壁の南寄りに付く。47×30cmの楕円形で、被熱は強く、橙色～明赤褐色を呈する。被熱深度は４cmである。炉２は床面中央の東寄りに付く。39×30cmの不整な楕円形で、被熱は強く、橙色～明赤褐色を呈する。被熱深度は４cmである。



第323図　79号竪穴建物跡



第324図　79号竪穴建物跡出土遺物1



第325図　79号竪穴建物跡出土遺物２

［土坑］１基検出した。土坑１は床面の南東隅に付く。48×46cmの楕円形で、深さ13cmを測る。貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は２個検出した。共に床面の中央で検出したが、柱配置は不明である。壁溝は西壁際と南壁際の一部で検出した。

［出土遺物］古代土器3965.8g分、鉄製品が出土している。埋土中からの出土である。

土師器は坏（1709～1717）、甕（1719～1726）、羽釜（1727）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるものが多い。1709は墨書土器である。文字は「市」か。甕は1723は非ロクロ成形で、他はロクロ成形である。1724は外面に煤が付着している。1727は羽釜の口縁部片で、ロクロ成形である。須恵器は少なく、破片のみだが、坏（1718）と大甕の胴部片（1728）がある。

鉄製品は２点出土している。1729は土坑１から出土した刀子で、刃部のが欠損する。1730は埋土下位から出土した刀類に付く縁金具で、完形であるが、わずかに歪んでいる。

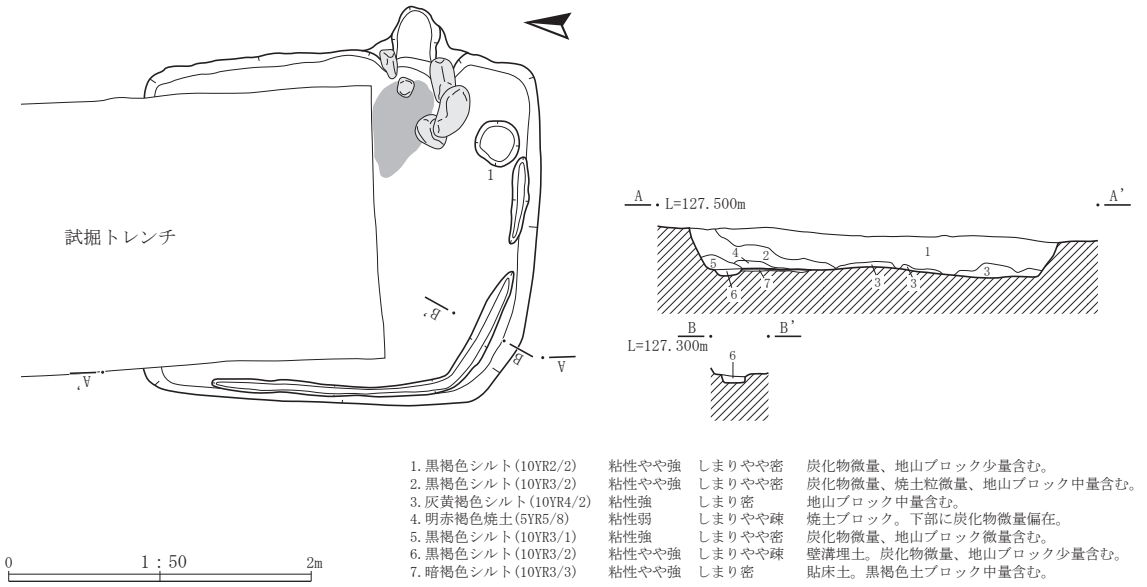
［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

80号竪穴建物跡（第326・327図、写真図版85・248・249）

［位置・検出状況］調査区南東側ⅣA16h、ⅣA16i、ⅣA17hグリッドに位置する。Ⅲ層上面で検出した。本遺構の中央から北側の広い範囲は方形のカクラン（試掘トレンチか）により壊されている。

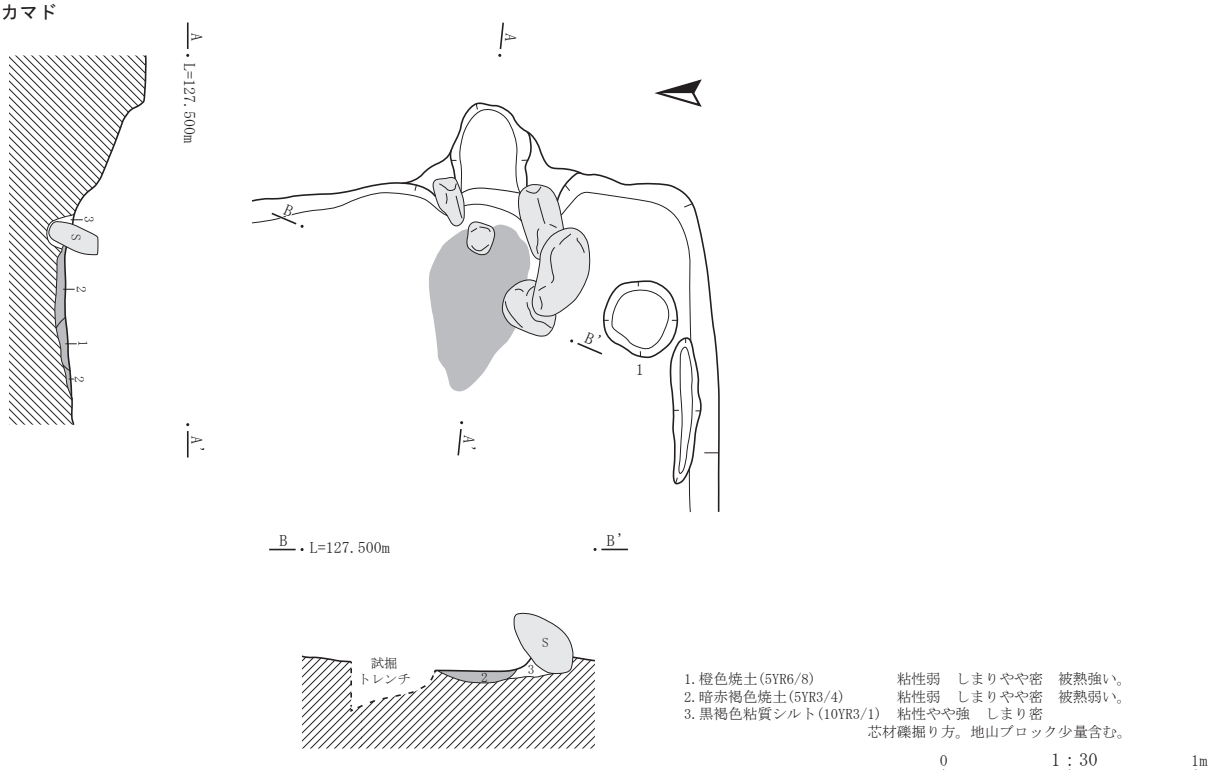
［規模・平面形］北辺198cm、東辺257cm、南辺219cmm、西辺215cmを測り、隅丸の正方形を呈する。床面積は5.1㎡である。

［埋土の状況］５層からなり、黒褐色シルトを主体とし、炭化物や焼土粒が混じる。壁際の２層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと判断した。また南壁際、床面直上には焼土



1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック中量含む。
3. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性強　しまり密　地山ブロック中量含む。
4. 明赤褐色焼土(5YR5/8)　粘性弱　しまりやや疎　焼土ブロック。下部に炭化物微量偏在。
5. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
6. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや疎　壁溝埋土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
7. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまり密　貼床土。黒褐色土ブロック中量含む。

カマド



1. 橙色焼土(5YR6/8)　粘性弱　しまりやや密　被熱強い。
2. 暗赤褐色焼土(5YR3/4)　粘性弱　しまりやや密　被熱弱い。
3. 黒褐色粘質シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまり密　芯材礫掘り方。地山ブロック少量含む。

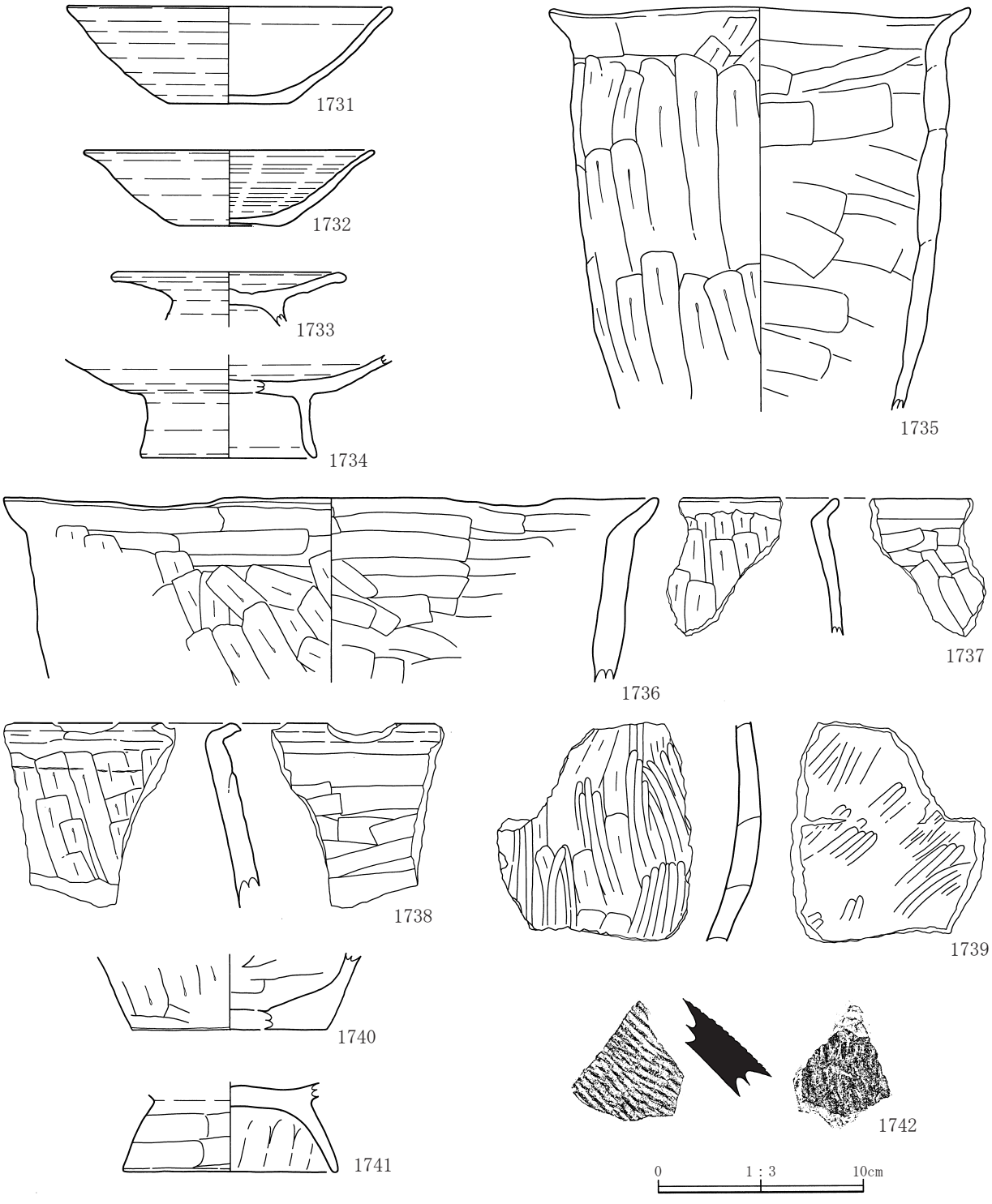
第326図　80号竪穴建物跡

ブロックの堆積（４層）が見受けられる。

［床面・壁］床面はⅢ層で検出した。ほぼ平坦で、中央がわずかに高い。壁もⅢ層で、検出した範囲では全周する。緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高27cmが残存する。

［貼床］壁際の一部にのみ施される。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方の深さは３cmである。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した



第327図　80号竪穴建物跡出土遺物

燃焼部焼土面は68×35cmで、被熱は中央のみ強く、周辺は弱い。橙色～暗赤褐色を呈する。被熱深度は４cmである。また焼土奥側には支脚と推測する、柱状の礫が床面に深く掘り込まれた状態で、設置されている。

袖は、北袖が芯材礫１個、南袖は芯材礫３個を検出した。両袖とも、奥側には地山削り出しの袖の一部が残存する。芯材礫は20～40cmの円礫で、わずかに床面を掘り込んで設置されている。

煙道は東壁から20cmと短く、その先は削平等で消失した痕跡がないので、元々煙道が短いカマドと推測する。燃焼部焼土面と６cmの段差があり、上に25°傾斜しながら煙出しに至る。

［土坑］なし。

［柱穴・壁溝］柱穴は１個、南東隅で検出した。壁溝は西壁際と南壁際の一部で検出した。南壁の壁溝はほぼ中央で途切れている。

［出土遺物］古代土器3965.8g分出土している。埋土中の他、カマドの周辺からの出土が目立つ。

土師器は坏（1731・1732）、台付皿（1733）、台付坏？（1734）、甕（1735～1740）、台付鉢（1741）がある。坏、台付皿、台付坏はロクロ成形のみである。1733は器高が低いので台付皿とした。1734も台付皿の可能性がある。甕は非ロクロ成形が主体である。1739は胴部片だが内外面にミガキを施す。1741は台部片である。台付坏では大きすぎるので、台付鉢と判断した。須恵器は小片のみで、１点（1742）掲載した。大甕の胴部片である。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

81号竪穴建物跡（第328～330図、写真図版86・249・250）

［位置・検出状況］調査区南東側ⅣA15j、ⅣA15k、ⅣA16j、ⅣA16kグリッドに位置する。

Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。遺構上部は後世の削平で消失し、また遺構の西側はカクランにより大きく壊されている。

［規模・平面形］北辺〈267〉cm、東辺442cm、南辺〈220〉cmを測り、西辺は不明、やや歪な隅丸の方形を呈すると推測する。また東壁のほぼ中央は80×15cmの範囲で外へと張り出している。床面積は〈10.4〉㎡である。

［埋土の状況］２層からなる。黒褐色、暗褐色シルトを主体とし、炭化物や焼土粒が混じる。遺構上部が壊されているので、明確には分からないが、三角堆積等が観察できないので、堆積状況から人為堆積の可能性がある。

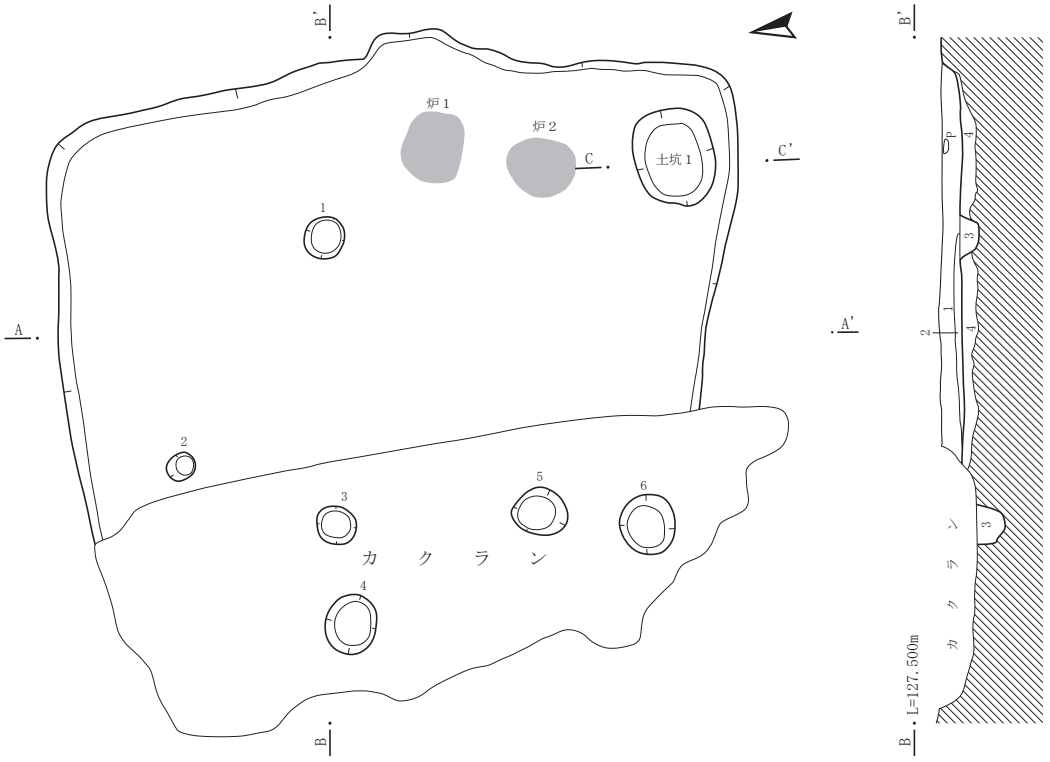
［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。ほぼ平坦である。壁はⅢ～Ⅳ層である。カクランで壊された範囲を除き、全周する。緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高は10cmが残存する。

［貼床］床面全体に施される。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方は歪で、深さは２～15cmである。

［カマド・炉］炉を２基検出した。炉１は東壁際のほぼ中央に位置する。45×40cmを測り、被熱は強く、被熱深度は３cmである。炉２は、炉１の南側に位置する。45×37cmを測り、炉１と同様に被熱は強く、被熱深度は４cmである。なお、炉１に近接する東壁は外へと張り出しており、これを煙道とするカマドの可能性も考えたが、袖は見受けられないので、炉とした。

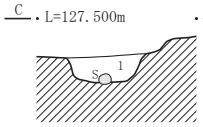
［土坑］１基検出した。床面の南東隅に位置する。68×52cmの楕円形で、深さ16cmである。貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は６個検出した。残存する床面上に２個（Pit１・２）あり、また西側のカクランは、本遺構の床面を壊しているが、柱穴４個（Pit３～６）を検出した（上部はカクランに壊され



1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　　炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量含む。
2. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまり密　　やや砂質。黒色土ブロック少量、地山ブロック中量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや密　柱穴埋土。炭化物微量、地山土粒微量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまり密　　貼床土。黒色シルトブロック中量、地山土ブロック中量含む。

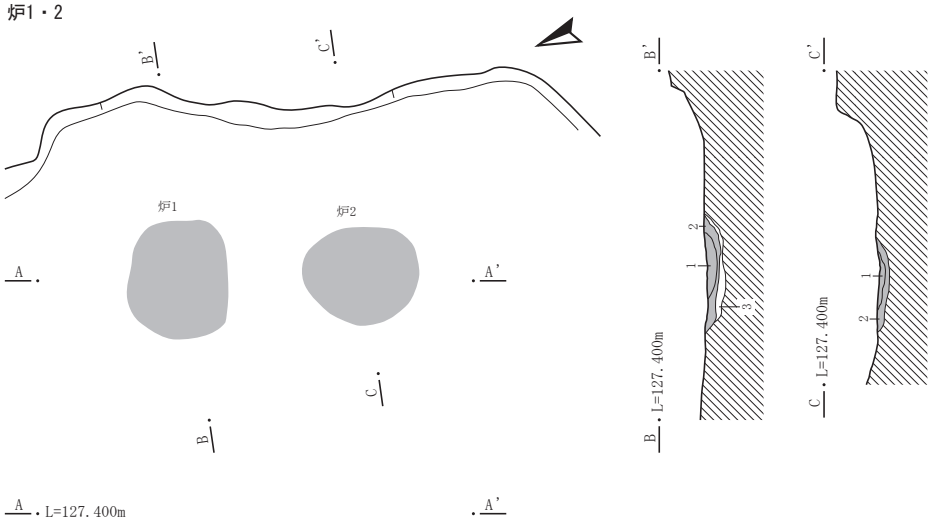
土坑1



1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまりやや疎
炭化材中量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。

0　1：50　2m

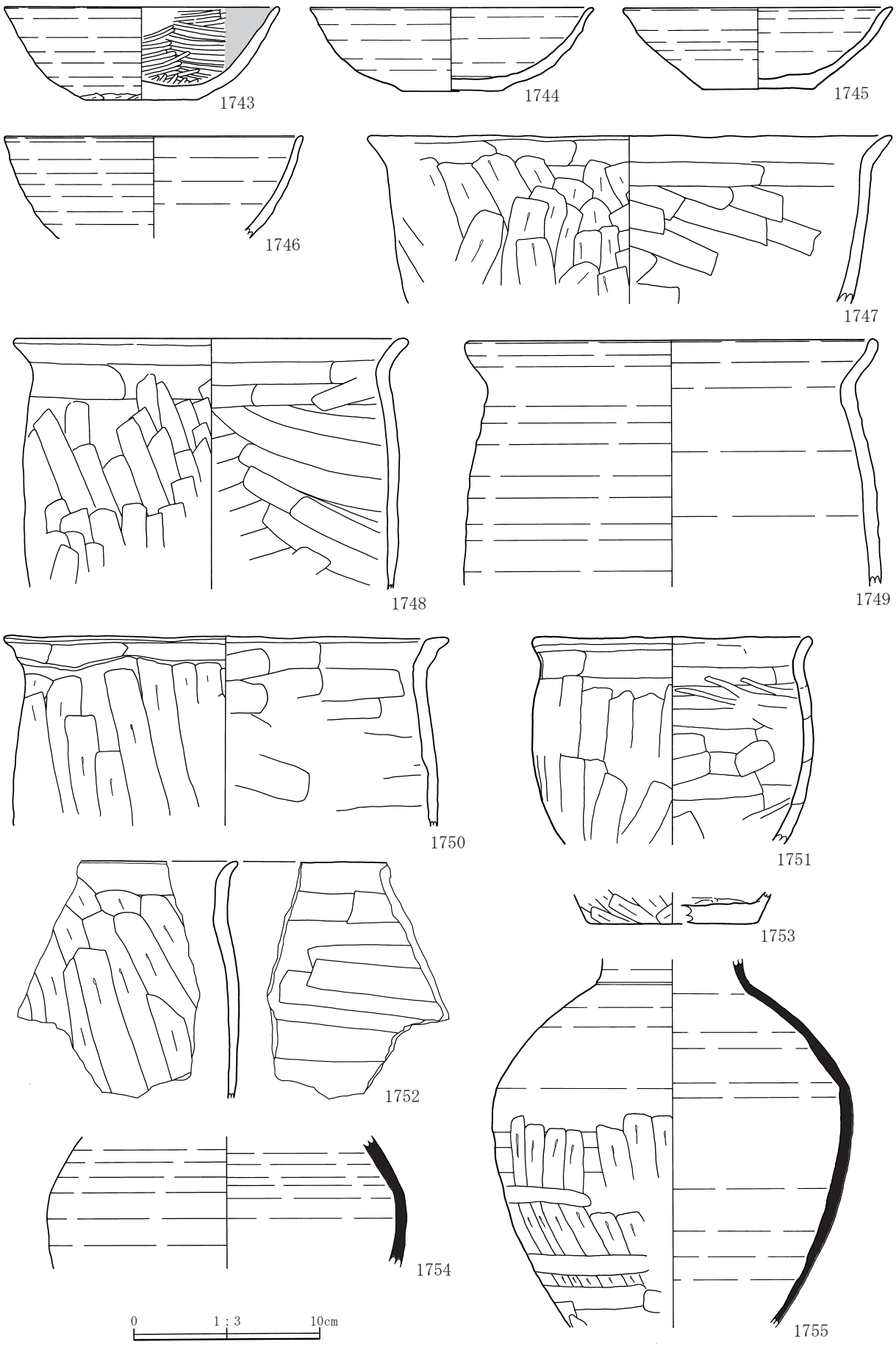
炉1・2



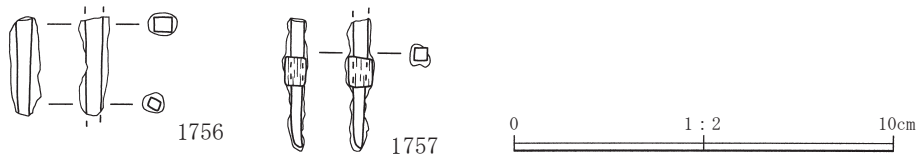
1. 明黄褐色焼土(10YR7/6)　粘性弱　しまり密　被熱強い。
2. 橙色焼土(5YR6/8)　粘性弱　しまり密　1層より被熱弱い。
3. 暗赤褐色粘質シルト(5YR3/6)　粘性やや強　しまりやや密　地山が被熱で変色している。

0　1：30　1m

第328図　81号竪穴建物跡



第329図　81号竪穴建物跡出土遺物1



第330図　81号竪穴建物跡出土遺物２

ている）。柱配置は不規則である。壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器3946.4g分、鉄製品が出土している。

土師器は坏（1743～1746）、甕（1746～1753）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるもの（1743）とロクロ成形のみのもの（1744～1746）がある。甕は1749はロクロ成形で、他は非ロクロ成形で、外面にケズリやナデ成形を施す。1753は底部片で砂底土器と判断した。

須恵器は瓶類で、1754は胴部片。1755は長頸瓶で、口縁部を欠損する。どちらも胴部中位付近に最大径をもつ。

鉄製品は２点、埋土中から出土している。1756は棒状で、両端が欠損する。断面は片側が方形、もう一方は円形で、釘の欠損品と推測したが、紡錘車の軸部分の可能性もある。1757も棒状で先端は尖っており、もう一端は欠損する。１cm幅の木質が巻かれている。釘か。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

82号竪穴建物跡（第331・332図、写真図版87・250）

［位置・検出状況］調査区南東側ⅣA16i、ⅣA16j、ⅣA17i、ⅣA17jグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。なお遺構の上部は後世の削平で消失している。

［規模・平面形］北辺313cm、東辺412cm、南辺346cm。西辺405cmを測り、カマドを正面として、横長の隅丸長方形を呈する。床面積は14.7㎡である。

［埋土の状況］３層からなる。黒褐色シルトを主体とし、炭化物が混じる。遺構上部が壊されているので、明確には分からないが、壁際に黄褐色シルト（３層）が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。また東壁際には炭化物や焼土粒を含み、被熱した黒褐色シルト（２層）が堆積する。

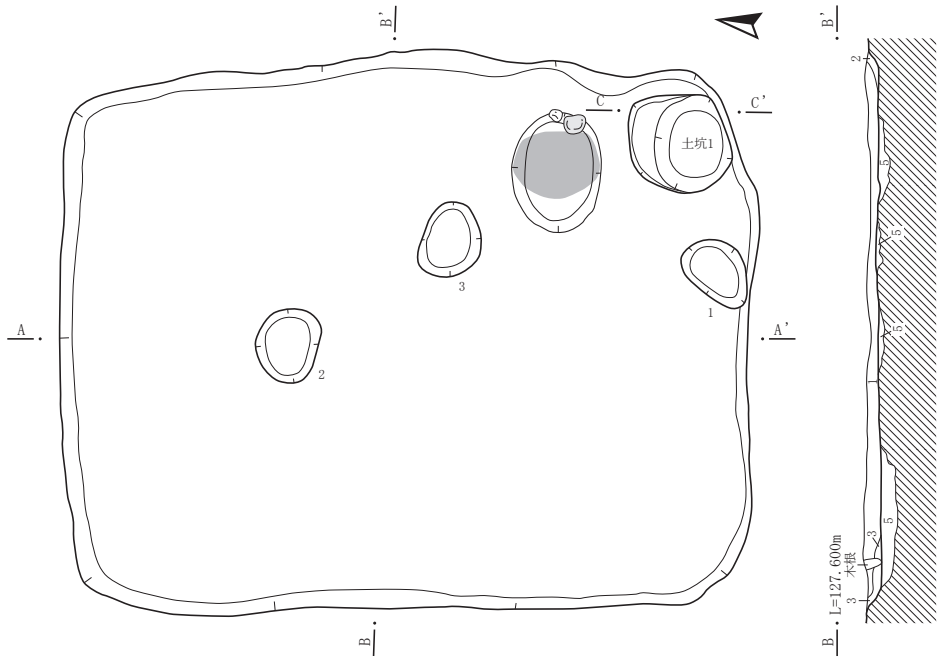
［床面・壁］床面はⅢ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ層である。全周するが後世の削平により、床面からの立ち上がりしか残存していない箇所もある。残存部では、緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高は10cmが残存する。

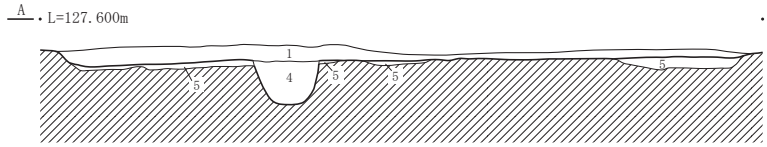
［貼床］壁際は全周し、床面中央は部分的にのみ貼床が施される。貼床土は褐灰色シルトを主体とし、炭化物や焼土粒が混じる。掘り方は均一だが、深さは、壁際が５～10cm、床面の中央は２cm前後である。

［カマド・炉］カマドを東壁の南寄りで検出した。燃焼部焼土面のみが残存する。

燃焼部焼土は80×60cmの浅い掘り込み内にあり、58×42cmを測る。被熱は強く、明赤褐色を呈する。被熱深度は２cmである。また焼土の奥側に２個の、８cm大と10cm大の円礫が据え置かれており、支脚の可能性がある。

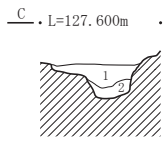
煙道については、見受けられず、また東壁に煙道を構築した痕跡もないので、消失したのではなく、元々煙道が付属しないカマドと判断した。





1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山ブロック少量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや密　わずかに被熱。炭化物微量、焼土粒微量含む。
3. 黄褐色シルト(10YR5/6)　粘性やや弱　しまりやや密　崩落土。黒色土ブロック少量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや弱　しまりやや密　Pit2埋土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
5. 褐灰色シルト(10YR5/1)　粘性やや弱　しまり密　貼床土。焼土粒微量、黒色土ブロック少量含む。

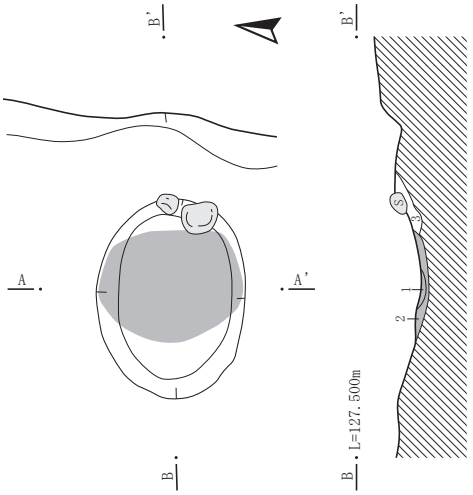
土坑1

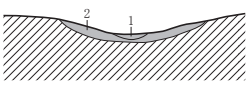


1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密
炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
2. 灰黄褐色シルト(10YR4/2)　粘性強　しまりやや密
炭化物微量、To-aテフラブロック少量含む。

0　1：50　2m

カマド



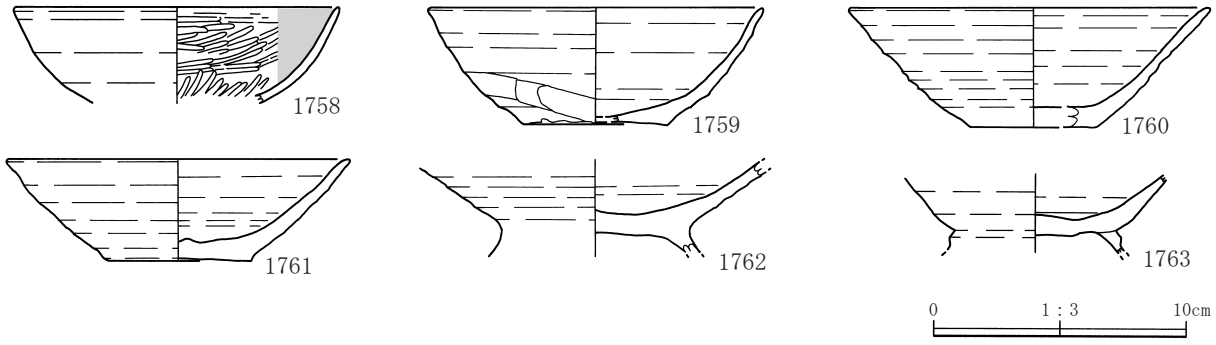


1. 明黄褐色焼土(10YR7/6)　粘性弱　しまりやや密　被熱強い。
2. 暗赤褐色焼土(5YR3/6)　粘性やや強　しまりやや密　被熱弱いが、一部明赤褐色を呈する。
3. 褐色シルト(7.5YR4/4)　粘性やや強　しまりやや疎　地山で、被熱して赤みをおびる。

0　1：30　1m

第331図　82号竪穴建物跡

［土坑］１基検出した。床面の南東隅に位置する。68×63cmの楕円形で、深さ22cmである。貯蔵穴と推測する。なお埋土２層でTo-aテフラブロックの混入を確認した。
［柱穴・壁溝］柱穴は３個検出した。南壁際に１個（Pit１）、床面の中央に２個（Pit２・３）である。柱配置は不規則である。壁溝は見受けられない。
［出土遺物］古代土器2044.9g分が出土している。遺構上部が消失しているためか、比較的出土量は少ない。
古代土器は、全て土師器で、坏（1758～1761）、台付坏（1762・1763）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるもの（1758）とロクロ成形のみのもの（1759～1761）がある。台付坏は、ロクロ成形のみである。
［時期］土坑１の埋土にTo-aテフラが混入することと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。



第332図　82号竪穴建物跡出土遺物

83号竪穴建物跡（第333～335図、写真図版88・250）

［位置・検出状況］調査区南東側ⅣA18h、ⅣA18i、ⅣA19hグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。なお遺構の上部は後世の削平で消失している。

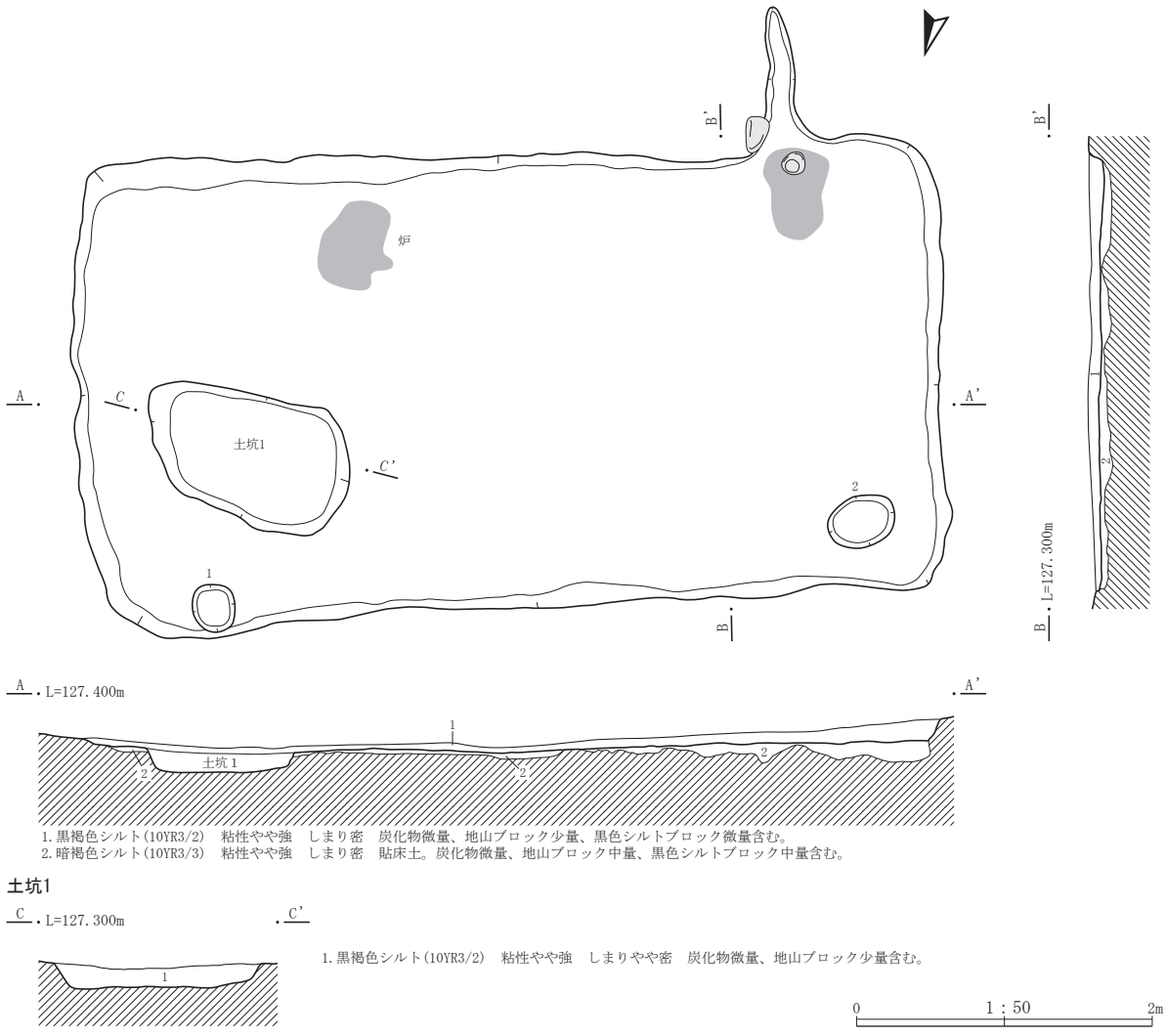
［規模・平面形］北辺533cm、東辺308cm、南辺556cm。西辺296cmを測り、カマドを正面として、横長の隅丸長方形を呈する。床面積は16.3㎡である。

［埋土の状況］遺構上部が消失しており、１層のみ確認した。黒褐色シルトを主体とし、炭化物や黒褐色シルトが混じる。遺構上部が壊されているので、明確には分からないが、埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ～Ⅳ層である。全周するが後世の削平により、床面からの立ち上がりしか残存していない箇所もある。残存部では、緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高は６cmが残存する。

［貼床］床面全体に施される。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、炭化物が混じる。掘り方は歪で、深さは２～13cmである。

［カマド・炉］カマドを南壁の西寄りで検出した。燃焼部焼土面と煙道が残存する。



第333図　83号竪穴建物跡１

燃焼部焼土面は60×43cmを測る。橙色を呈するが、被熱は弱い。被熱深度は４cmである。焼土の奥側に16cm大の礫が据え置かれており、支脚の可能性がある。他にカマドの東方、外側から20cm大の礫が出土している。芯材礫が遺構外に転じた可能性がある。

煙道は、南壁から90cmのびる。ただし後世の削平で、煙道は、上部を消失し、底面付近を検出したに過ぎない。壁際から上に５°傾斜しながら煙出しに至る。

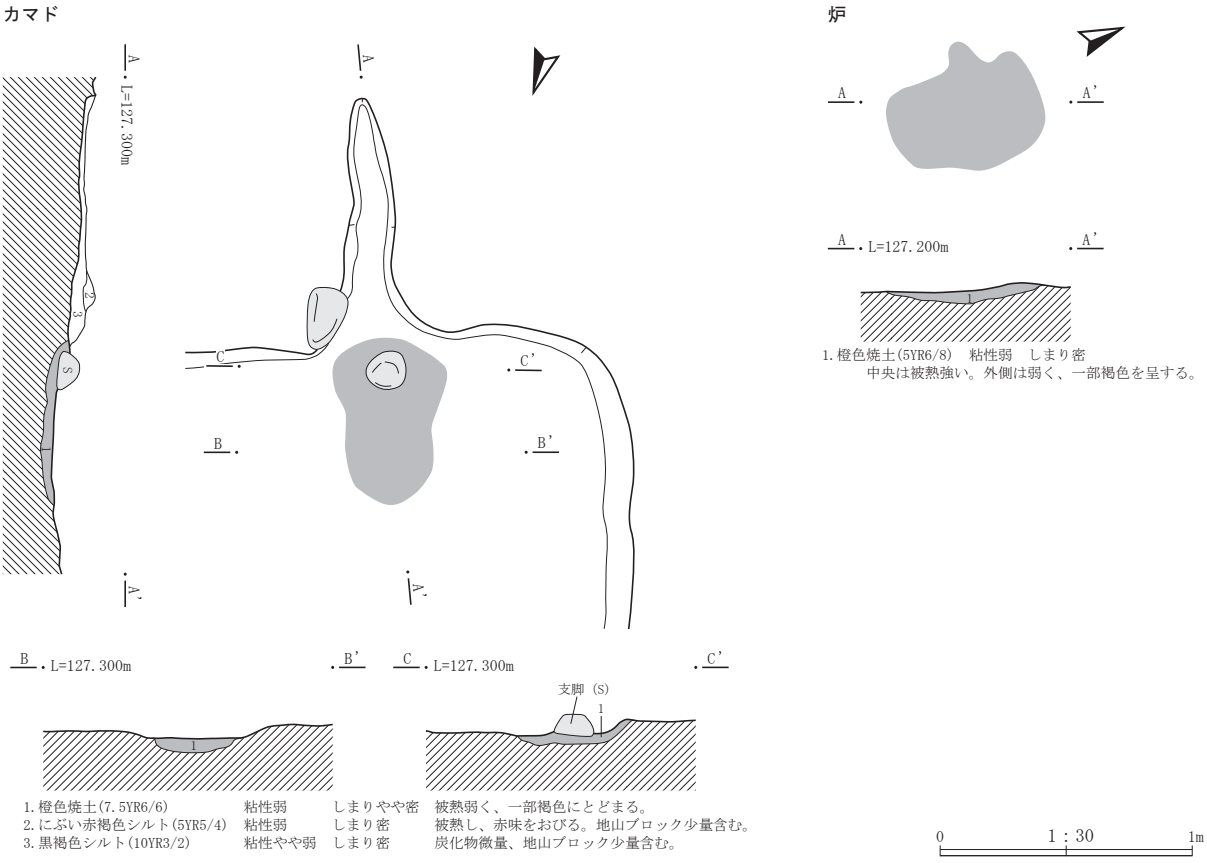
［土坑］１基検出した。床面の北東隅に付く。144×87cmの楕円形で、深さ16cmである。貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は２個検出した。どちらも北壁際に付く。壁溝は見受けられない。

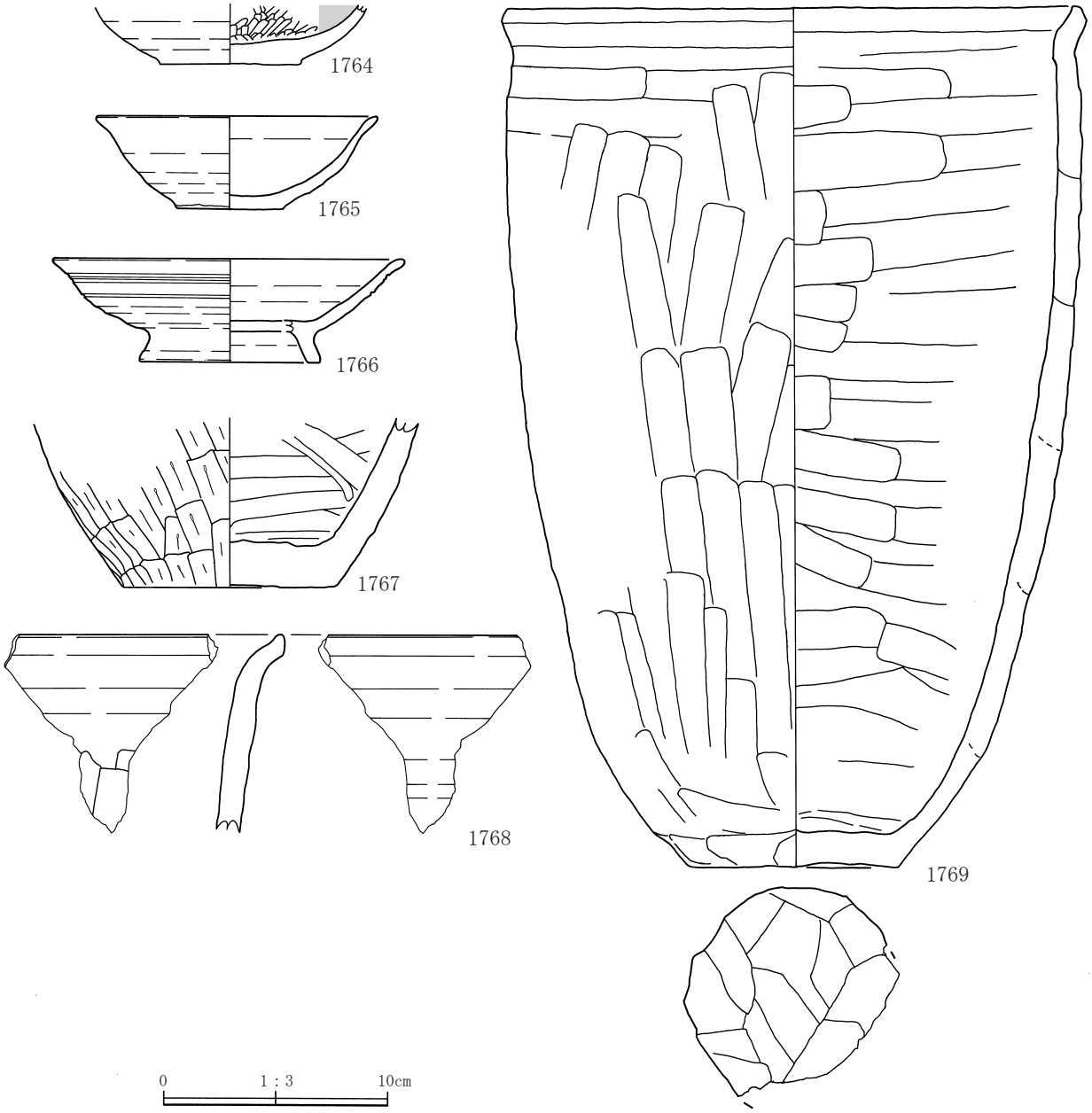
［出土遺物］古代土器2044.9g分が出土している。

古代土器は、全て土師器で、坏（1764・1765）、台付坏（1766）、甕（1767～1769）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるもの（1764）とロクロ成形のみのもの（1765）がある。1766は台付坏で、ロクロ成形のみである。1767は甕の胴部から底部の破片で、外面にケズリ成形を施す。1768はロクロ成形である。1769は埋土中から出土した破片を接合して復元できた。大型の長胴甕で非ロクロ成形、内外面ともにナデ成形を施し、また底面にもナデ成形が見受けられる。

［時期］出土した古代土器の様相から、明神下Ⅱ期に位置づけた。



第334図　83号竪穴建物跡２



第335図　83号竪穴建物跡出土遺物

84号竪穴建物跡（第336・337図、写真図版89・251）

［位置・検出状況］調査区北東端、ⅣA18b、ⅣA18c、ⅣA19b、ⅣA19cグリッドに位置する。Ⅲ層上面で、黒色のプランで検出した。なお遺構の上部は後世の削平で消失している。

［規模・平面形］北辺470cm、東辺489cm、南辺416cm。西辺460cmを測り、隅丸の正方形を呈する。床面積は19.3㎡である。

［埋土の状況］遺構上部が消失しており、１層のみ確認した。黒褐色シルトを主体とし、炭化物や焼土粒が混じる。遺構上部が壊されているので、明確には分からないが、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ～Ⅳ層である。

全周するが後世の削平により、床面からの立ち上がりしか残存していない箇所もある。残存部では、緩やかに広がりながら外へと広がり立ち上がる。壁高は10cmが残存する。

［貼床］床面全体に施される。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、炭化物が混じる。掘り方はほぼ均一で、深さは10cm前後である。

［カマド・炉］床面で被熱した痕跡を多数検出し、それらのうち、規模が30cm大を超えるものを「炉」とし、30cm以下のものを焼土とした。

炉は５基検出した。炉１～４は床面の北側に集中し、炉５は東壁寄りに位置する。規模は、炉１が50×50cm、炉２は123×95cm、炉３は95×47cm、炉４は60×50cm、炉５は56×50cmで、いずれも被熱は強く、明黄褐～明赤褐色を呈する。被熱深度は３～４cmである。また炉５は土坑１の検出面上で検出した。

焼土は９箇所検出した。炉１～４が集中する範囲で１箇所、他は床面の中央から炉５の間に集中する。規模は６～22cm大で、様々である。被熱は炉１～５と同様に強く、橙色を呈し、被熱深度は３cm前後である。

［土坑］１基検出した。東壁際に付く。径80cmの不整な円形で、深さ26cmである。土坑１の検出面上で炉５を検出しているので、土坑１の埋没後に、炉５を構築したことがうかがえる。用途は不明である。

［柱穴・壁溝］柱穴は７個検出した。柱配置からPit２～４・６・７が主柱穴の可能性がある。また壁溝は見受けられない。

［張り出し］西壁のほぼ中央に、１基付く。上部がほとんど消失し、底面のみ検出した。西壁から90cmのび、溝状を呈する。カマドの煙道の可能性も考えたが、張り出しより手前の床面から、燃焼部焼土面や袖を推測される痕跡は確認されなかったので、単体の張り出しと判断した。用途は不明である。

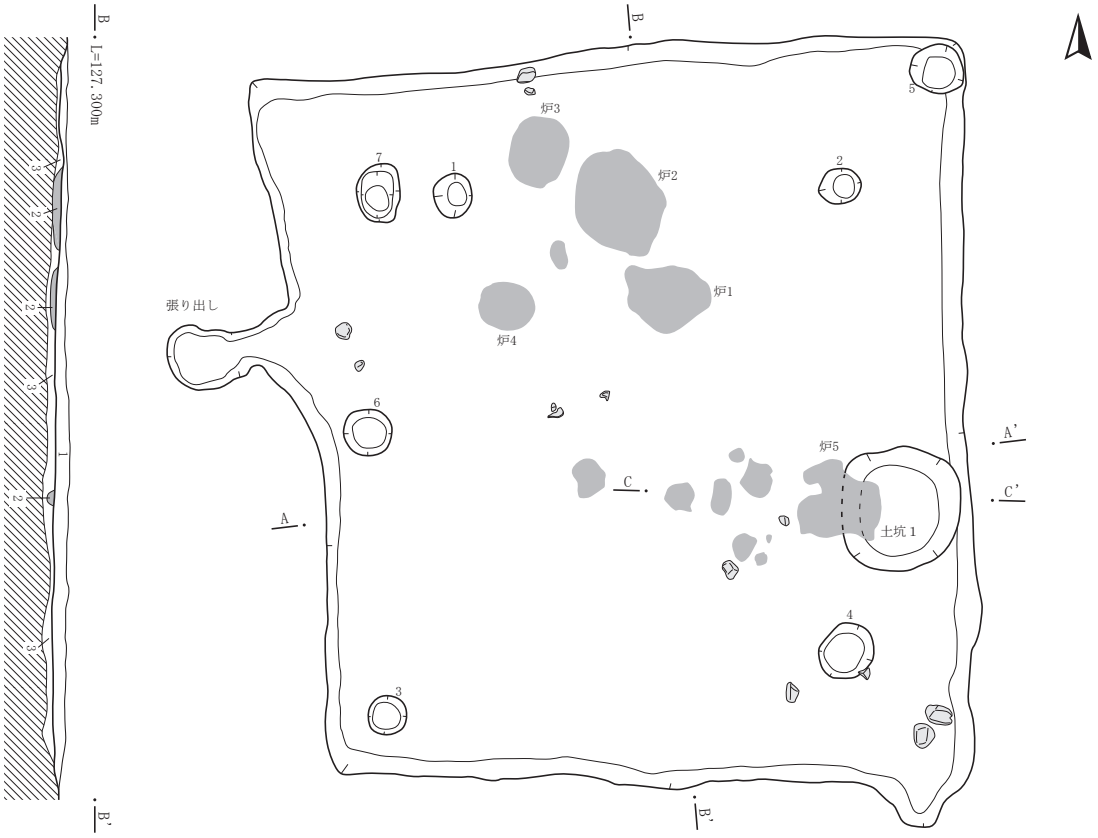
［出土遺物］古代土器1048.7g分、石製品、鉄製品が出土している。遺構上部が消失しているため、比較的出土量は少ない。

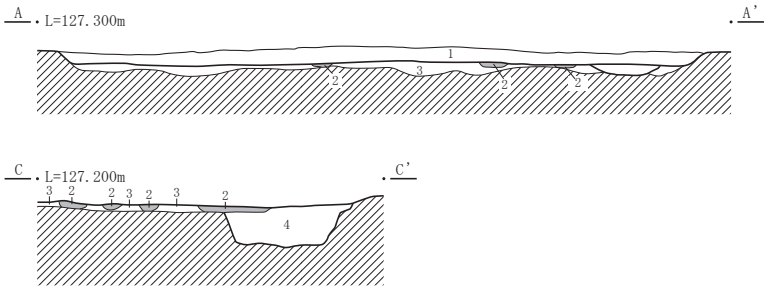
土師器は坏（1770・1771）がある。1770は非ロクロ成形の坏で、内外面にミガキを施すが、内面にのみ黒色処理が施される。1771はロクロ成形の坏の底部片であり、内面に黒色処理が施される。底部に高台が付くので、坏ではなく、椀か。須恵器は破片で、大甕の胴部片（1772・1773）である。

石製品は１点（1774）、土坑１から出土している。厚みのある扁平な安山岩で、片面のほぼ中央に敲打痕が、その裏面は被熱し、赤みをおびている。台石として利用されたと推測する。

鉄製品は２点、埋土下位から出土している。1775は棒状で、両端が欠損する。鉄鏃の茎部と推測するが、釘の欠損品の可能性もある。1776は「U」字状を呈し、両端が欠損する。器種は不明である。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

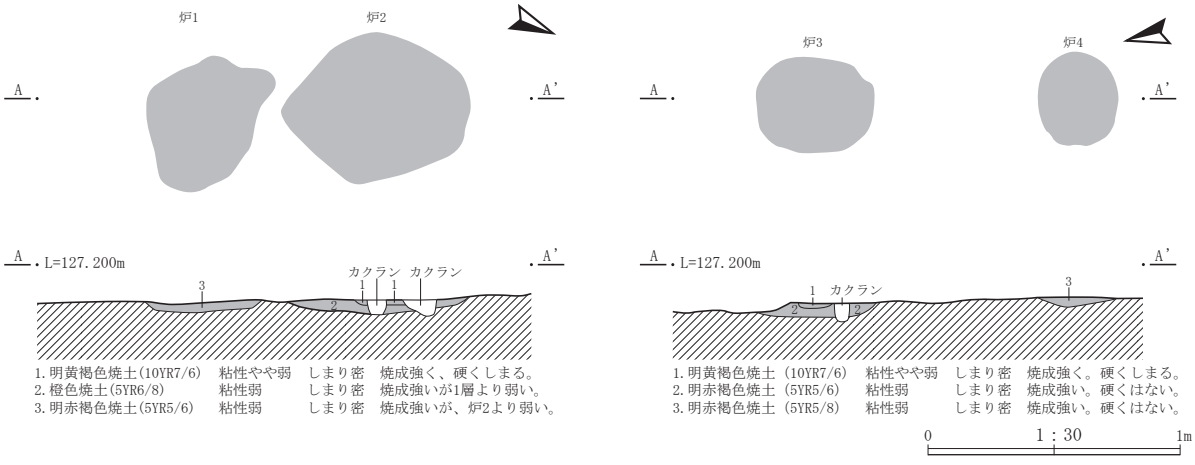




1. 黒褐色シルト（10YR3/2）　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、焼土粒・ブロック共に微量、地山ブロック微量含む。
2. 橙色焼土（5YR6/8）　粘性弱　しまり密　被熱により床面が焼けている。焼成は強い。
3. 黒褐色シルト（10YR2/3）　粘性やや弱　しまりやや密　貼床土。炭化物微量、地山ブロック少量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性強　しまりやや密　土坑1埋土。炭化物微量、焼土粒微量含む。

0　1：50　2m

炉1～4

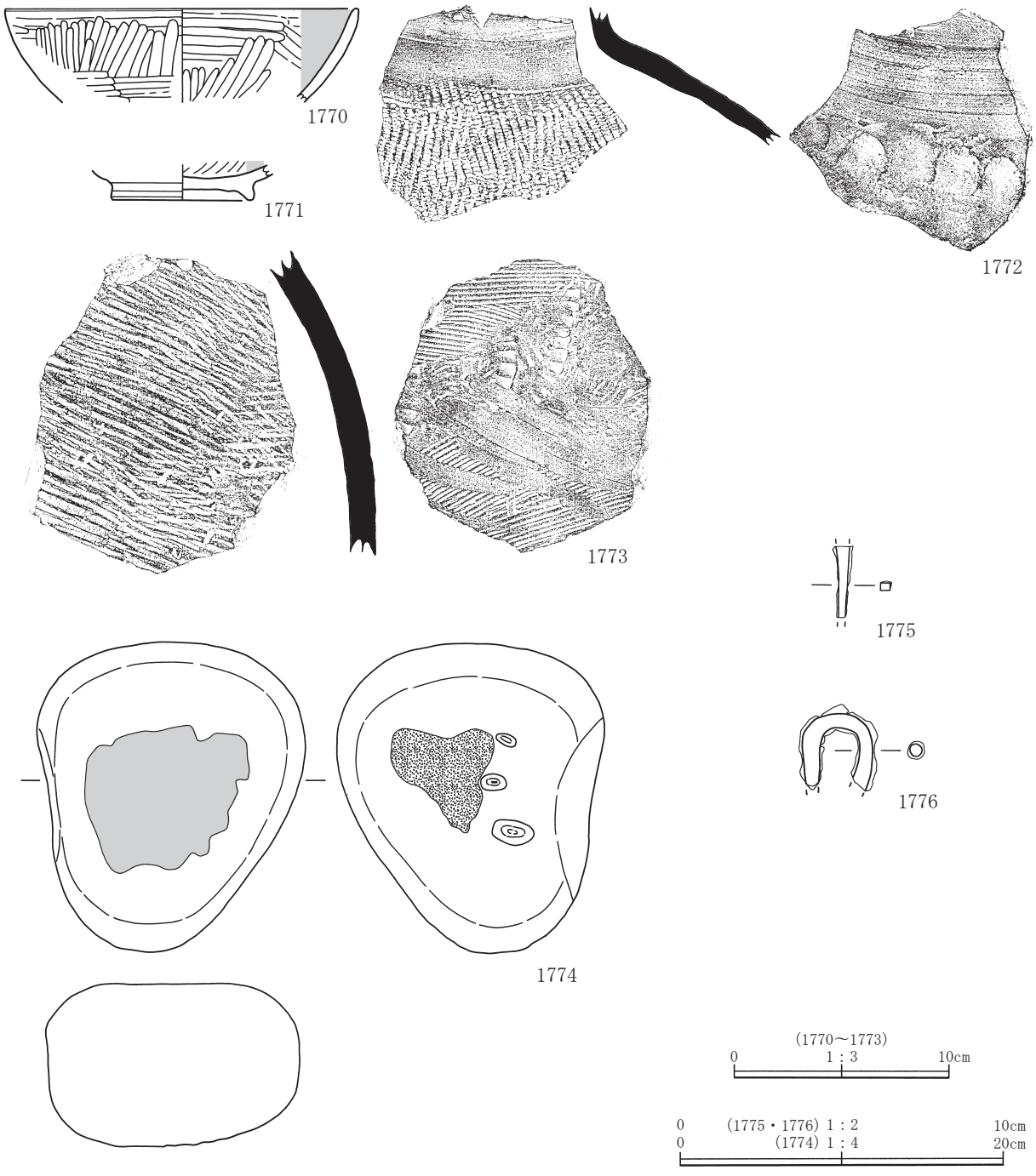


1. 明黄褐色焼土(10YR7/6)　粘性やや弱　しまり密　焼成強く、硬くしまる。
2. 橙色焼土(5YR6/8)　粘性弱　しまり密　焼成強いが1層より弱い。
3. 明赤褐色焼土(5YR5/6)　粘性弱　しまり密　焼成強いが、炉2より弱い。

1. 明黄褐色焼土（10YR7/6）　粘性やや弱　しまり密　焼成強く。硬くしまる。
2. 明赤褐色焼土（5YR5/6）　粘性弱　しまり密　焼成強い。硬くはない。
3. 明赤褐色焼土（5YR5/8）　粘性弱　しまり密　焼成強い。硬くはない。

0　1：30　1m

第336図　84号竪穴建物跡



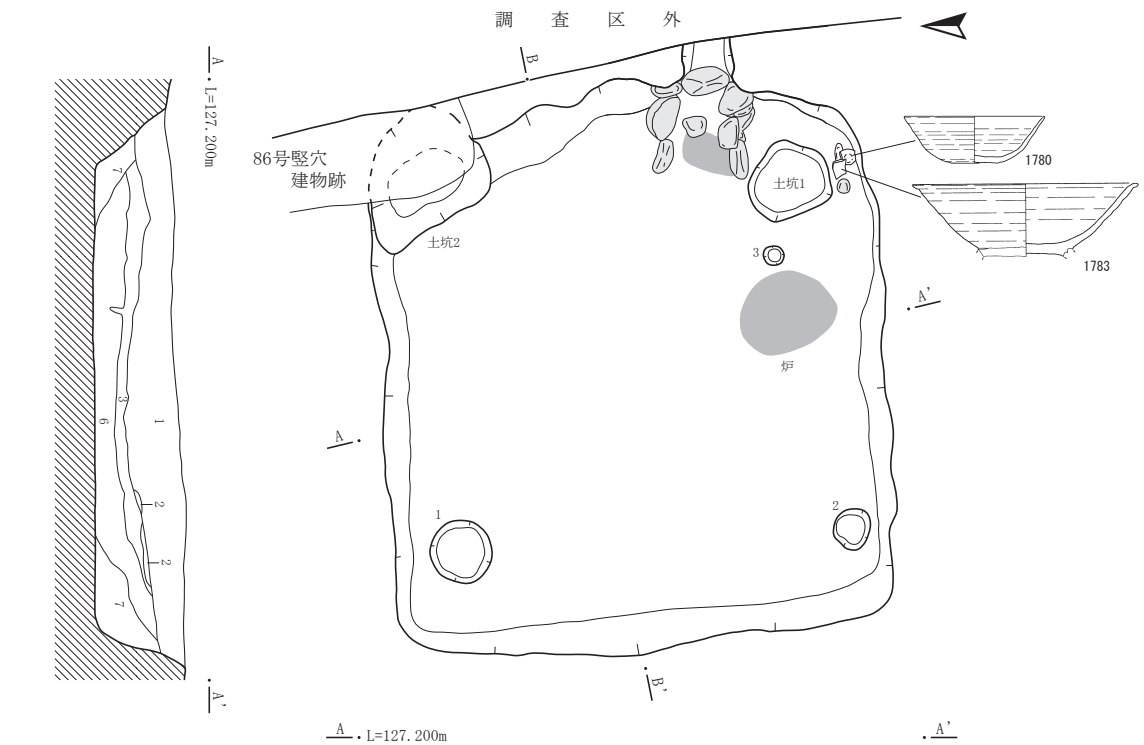
第337図　84号竪穴建物跡出土遺物

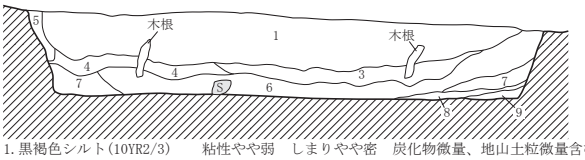
85号竪穴建物跡（第338～341図、写真図版90・91・251・252）

［位置・検出状況］調査区北東端、ⅣA20b、ⅣA20c、ⅣA21b、ⅣA21cグリッドに位置し、カマドの煙道部は調査区外に及んでいる。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。86・87号竪穴建物跡と重複している。本遺構は86号竪穴建物跡よりも古く、87号竪穴建物跡より新しい。

［規模・平面形］北辺〈290〉cm、東辺〈246〉cm、南辺322cm、西辺312cmを測り、隅丸の正方形を呈する。床面積は9.6㎡である。

［埋土の状況］９層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際に褐色シルト（７層）が三角堆積し

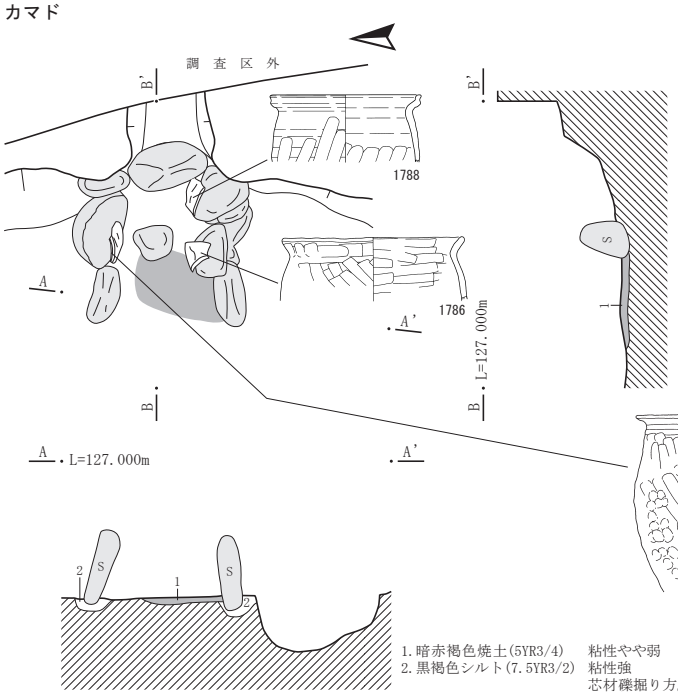




1. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、地山土粒微量含む。
2. 黒褐色シルト(5YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　焼土ブロックやや多く含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや強　しまりやや疎　暗褐色シルトブロック中量、地山土粒微量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量、地山土粒微量含む。
5. 明黄褐色シルト(10YR7/6)　粘性強　しまりやや疎　やや砂質で、1層土ブロック多量含む。
6. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック少量含む。
7. 褐色シルト(10YR4/4)　粘性強　しまりやや密　崩落土。炭化物微量、地山土粒中量含む。
8. 明赤褐色焼土(5YR5/8)　粘性弱　しまりやや疎　焼土ブロックの流れ込み。焼成強く、一部明黄褐色に変色。
9. 暗赤褐色シルト(5YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや疎　9層の焼土粒微量含む(流れ込み)。

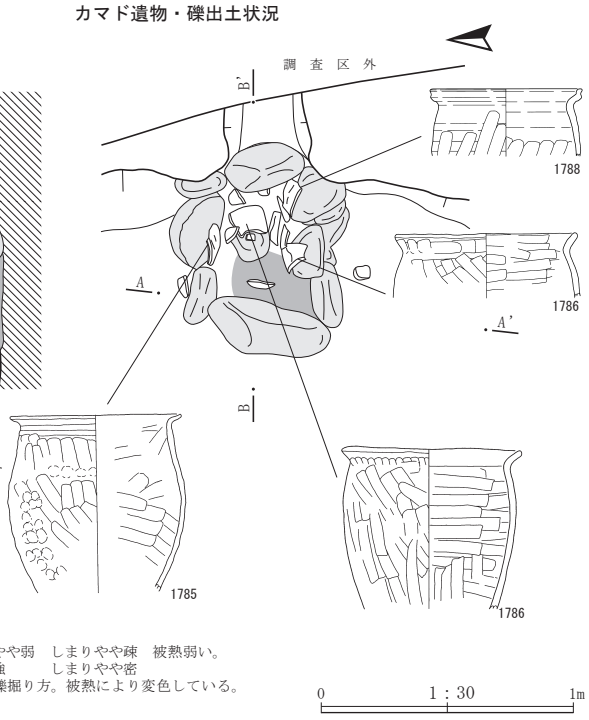
0　1：50　2m

カマド



1. 暗赤褐色焼土(5YR3/4)　粘性やや弱　しまりやや疎　被熱弱い。
2. 黒褐色シルト(7.5YR3/2)　粘性強　しまりやや密　芯材礫掘り方。被熱により変色している。

カマド遺物・礫出土状況



0　1：30　1m

第338図　85号竪穴建物跡1

ており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。また南壁際の床面直上には焼土が堆積する（８・９層）。

［床面・壁］Ⅲ層で検出した。床面は若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁は全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大60cmである。

［貼床］なし。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は32×23cmを測る。被熱は弱く、暗赤褐色を呈する。被熱深度は２cmである。

袖は、北袖が芯材礫３個、南袖は芯材礫５個検出した。また芯材礫の内側には、土師器甕の破片が付着しており、袖の構築土内に土師器の大きな破片を故意的に混ぜている可能性がある（第338図左）。なお、それらの破片は、他の破片とも接合し復元できたものもある（1785）。芯材礫は20～30cm大の礫で、床面を掘り込み、設置されている。またカマドの奥側には、両袖の芯材礫の上に天井石と推測する、30×18cmの大きな礫が載せられている。ただし位置的にみて、本来の位置からは若干、煙道側にずれている可能性が高い。

煙道は東壁から20cmのみ検出し、その先は調査区外である。焼土面とは15cmの段差になっており、検出部分から上へと傾斜し、煙出しに至るものと推測する。

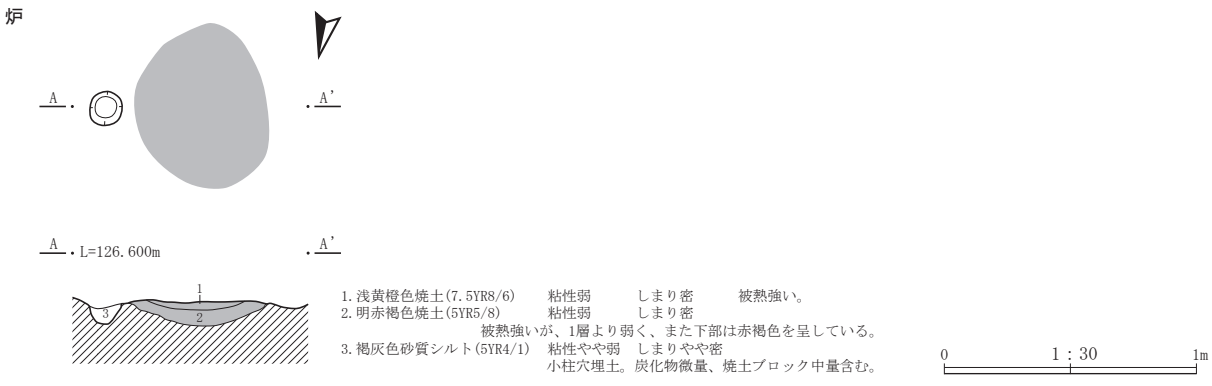
また他に炉を１基、南壁際で検出した。65×51cmで、被熱はカマドの燃焼部焼土面よりも強く、浅黄橙～明赤褐色を呈し、硬くしまる。また東側には径６cmの小柱穴（Pit３）が付く。

［土坑］２基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。55×48cmの不整な楕円形で、深さ19cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑２は北東隅に付き、一部は86号竪穴建物跡に壊されている。89×〈39〉cmの不整な楕円形で、貯蔵穴と推測する。

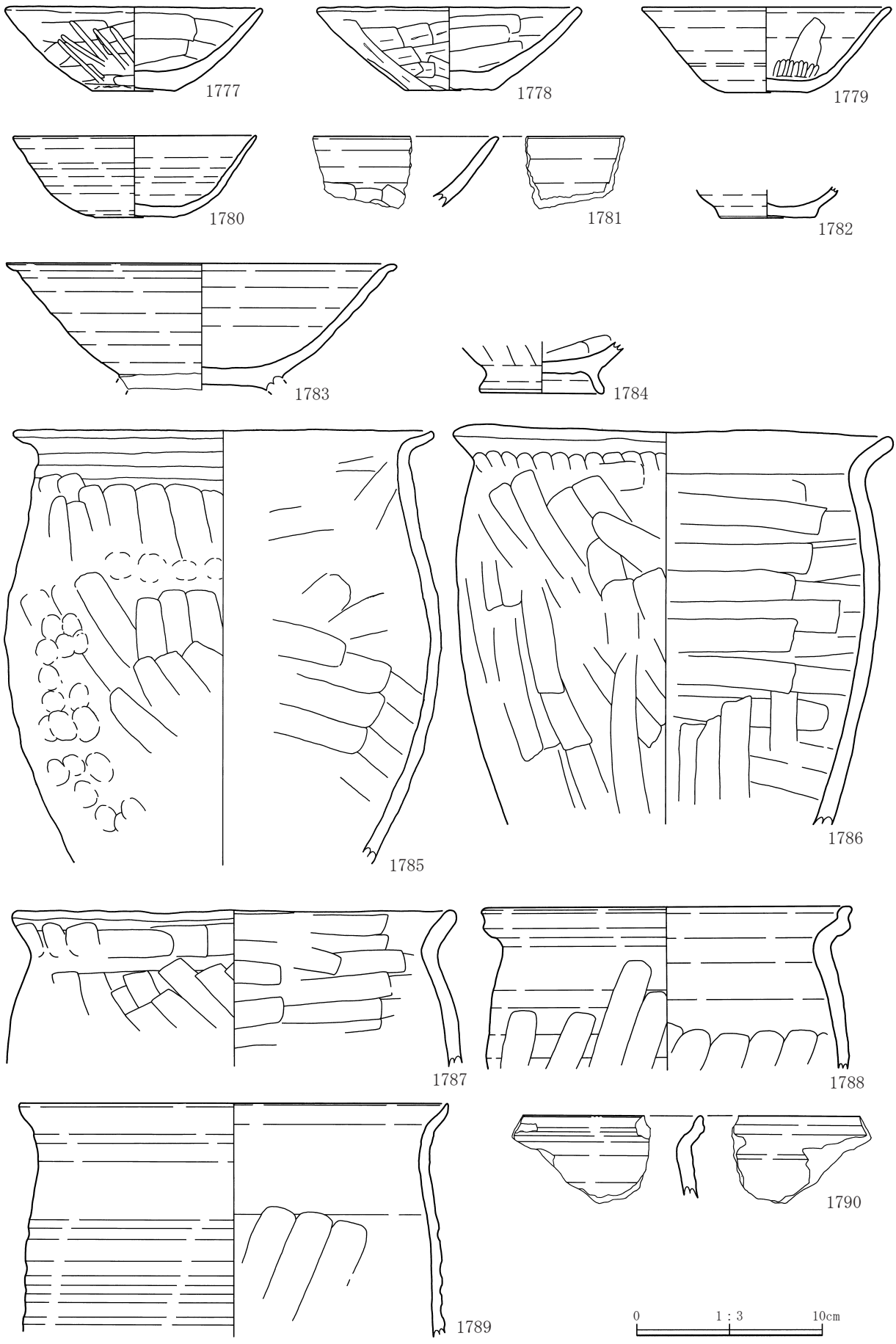
［柱穴・壁溝］柱穴は３個検出した。Pit１・２は北西隅、南西隅に付き、主柱穴と推測するが、床面の東側には柱穴が見受けられなかった。またPit３は炉に近接し、柱穴ではなく、炉に関連したものの可能性がある。壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器6205.4g分、灰釉陶器、鉄滓が出土している。出土位置は埋土中の他、床面上も多く、南壁際では1780・1783が出土し、またカマド内からは多量の土器、土師器甕が出土している（第337図右下）。

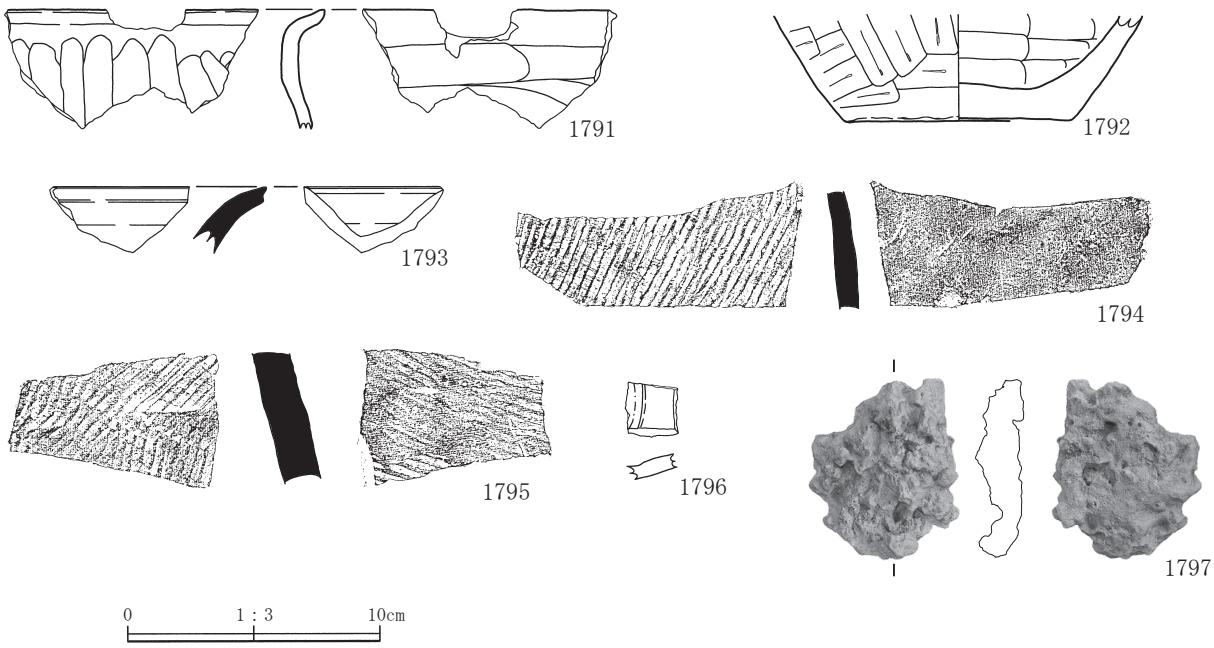
土師器は坏（1777～1782）、台付坏（1783・1784）甕（1785～1792）がある。坏は非ロクロ成形、ロクロ成形どちらも見受けられるが、内面黒色処理は見受けられない。台付坏はロクロ成形、甕は非ロクロ成形、ロクロ成形どちらもある。須恵器は甕で口縁部片（1793）、胴部片（1794・1795）がある。



第339図　85号竪穴建物跡２



第340図　85号竪穴建物跡出土遺物1



第341図　85号竪穴建物跡出土遺物２

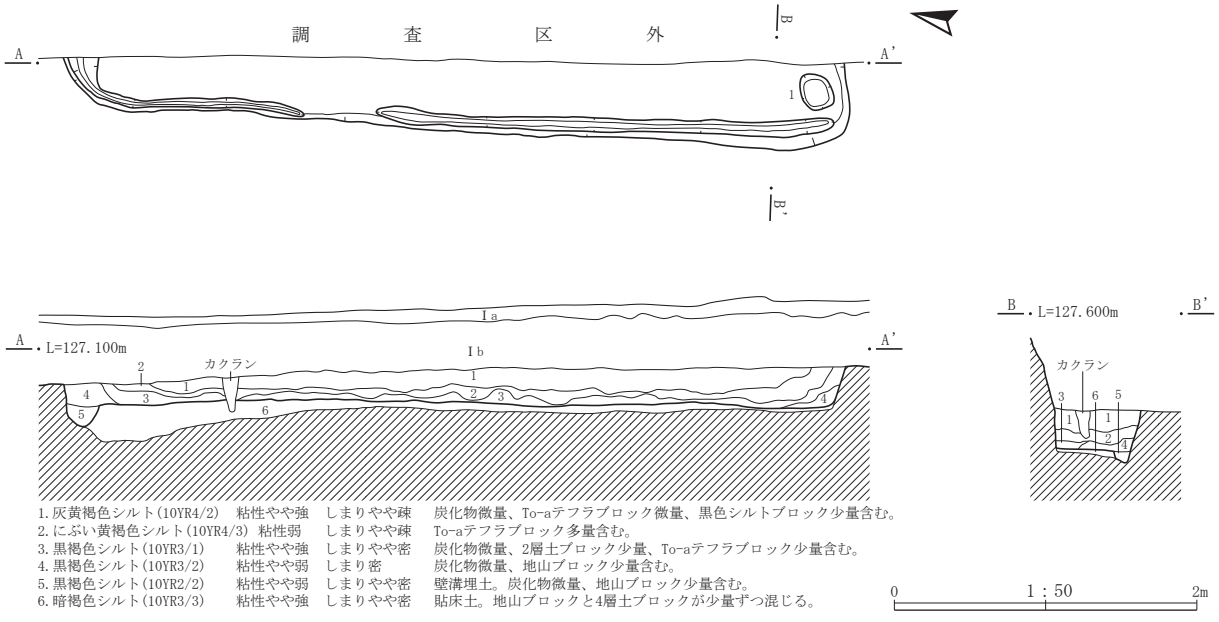
灰釉陶器が１点（1796）埋土下位から出土している。段皿の胴部片で、猿投産、９世紀中～後半（黒笹14号窯式新段階～黒笹90号窯式古段階）に帰属するものと推測する。

鉄滓は埋土から２点出土し、そのうち１点（1797）掲載した。重みがあり、メタルチェッカーで測ったところ、内部に金属鉄が多く含まれるので鉄塊系遺物とした。

［時期］重複する86号竪穴建物跡の時期や出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

86号竪穴建物跡（第342・343図、写真図版91・252）

［位置・検出状況］調査区東端、ⅣA21a、ⅣA21bグリッドに位置する。本遺構のほとんどは調査区



第342図　86号竪穴建物跡

外に及んでいる。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。85号竪穴建物跡と重複しており、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］北辺〈30〉cm、東辺不明、南辺322cm、西辺〈47〉cmを測り、隅丸の正方形を呈すると推測する。検出できた床面積は〈1.9〉㎡である。

［埋土の状況］４層からなり、灰黄褐色、にぶい黄褐色、黒褐色シルトを主体とする。壁際に４層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

　また１・３層中にTo-aテフラブロックの混入を確認した。

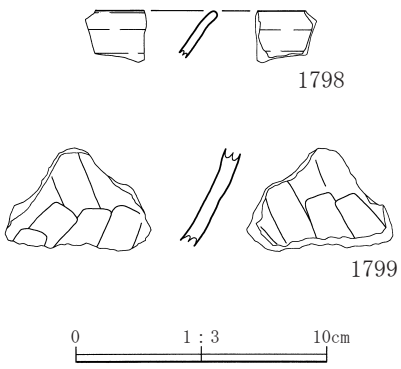
［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。ほぼ平坦であるが、中央がわずかに高い。

　壁はⅢ～Ⅳ層で検出し、検出した範囲では、全周する。わずかに外へと開くが、ほぼ直立気味である。壁高は最大26cmである。

［貼床］床面の全体に施される。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、黒褐色シルトブロックが混入する。掘り方は北壁際が深いが、他は浅い傾向がある。深さは２～22cmである。

［カマド・炉］見受けられない。調査区外にある可能性が高い。

［土坑］なし。



第343図　86号竪穴建物跡出土遺物

［柱穴・壁溝］柱穴は１個、南西隅で検出した。壁溝は西壁際から北壁際に巡る。西壁際の壁溝は一部、途切れている。

［出土遺物］古代土器46.0g分が出土している。出土量は少なく、小片のみである。

　古代土器は２点を掲載した。どちらも土師器で、1798は坏の口縁部片、1799は甕の胴部片である。

［時期］出土遺物が少なく、不明瞭だが、埋土中にTo-aテフラが混じることと、古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

87号竪穴建物跡（第344～346図、写真図版92・252）

［位置・検出状況］調査区北東端ⅣA20c、ⅣA20d、ⅣA21c、ⅣA21dグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。85・88号竪穴建物跡と重複し、本遺構は88号竪穴建物跡より新しく、85号竪穴建物跡より古い。また後世の削平で遺構の上部は消失している。

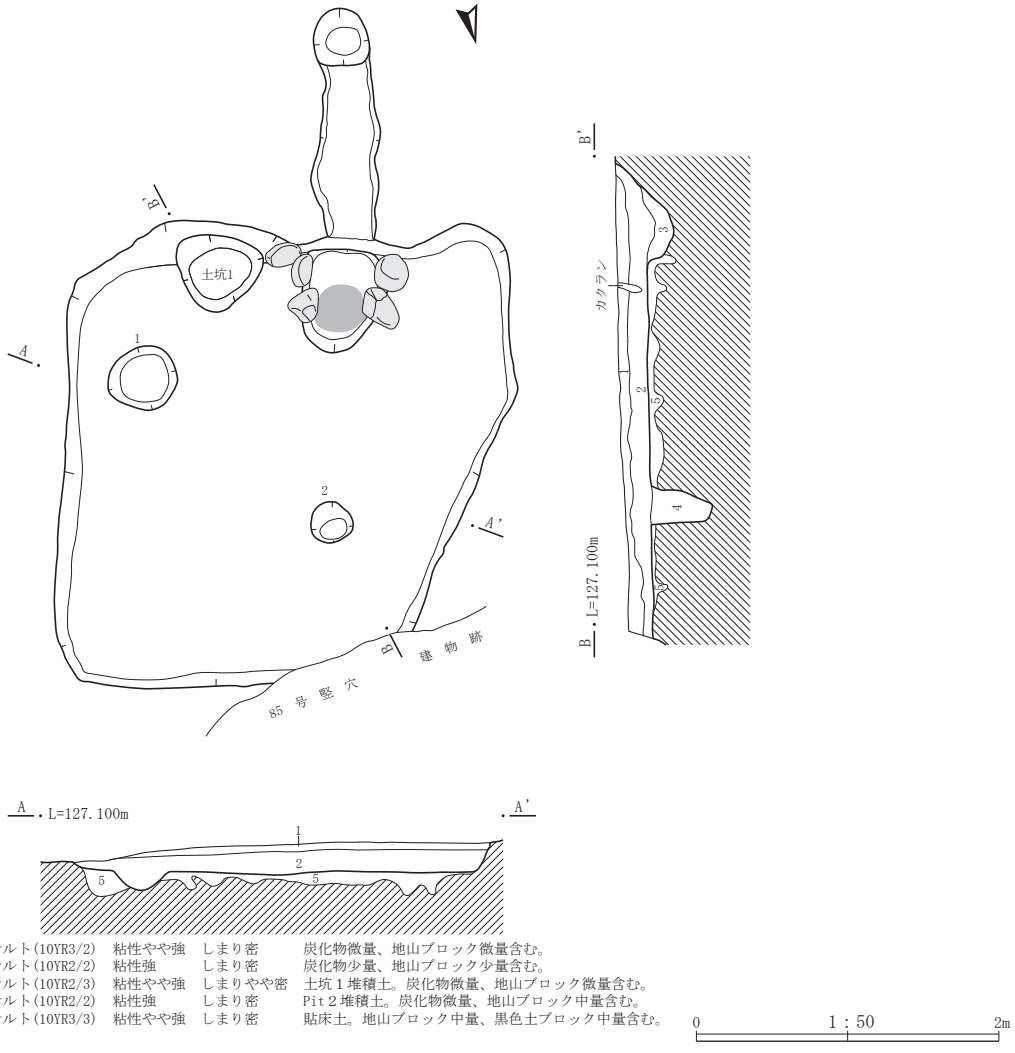
［規模・平面形］北辺〈130〉cm、東辺265cm、南辺267cm、西辺〈273〉cmを測る。隅丸の正方形を呈するが、西壁側は大きく歪んでいる。残存する床面積は〈6.9〉㎡である。

［埋土の状況］２層からなる。黒褐色シルトを主体とし、炭化物が混じる。遺構上部が消失しているため、明確ではないが、残存する埋土の様相から埋没は人為堆積の可能性が高い。

［床面・壁］床面はⅢ～Ⅳ層で検出した。若干の凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ層である。85号竪穴建物跡に壊された範囲を除き、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大20cmである。

［貼床］床面全体に施される。貼床土は暗褐色を主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方は非常に歪で、深さは２～17cmである

［カマド・炉］カマドが南壁のほぼ中央に付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。



1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性強　しまり密　　炭化物少量、地山ブロック少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや強　しまりやや密　土坑１堆積土。炭化物微量、地山ブロック微量含む。
4. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性強　しまり密　　Pit２堆積土。炭化物微量、地山ブロック中量含む。
5. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや強　しまり密　　貼床土。地山ブロック中量、黒色土ブロック中量含む。

0　1：50　2m

第344図　87号竪穴建物跡１

燃焼部焼土面は67×56cmの浅い掘り込み内にあり、32×30cmを測る。被熱は強く、橙色～浅黄橙色を呈する。被熱深度は４cmである。

袖は、両袖共、芯材礫のみ残存し、東袖は３個、西袖は２個検出した。芯材礫は20～30cm大の円礫で、床面下、15cm近く掘り込み、設置している。

煙道は南壁から147cmのびる。焼土面とは７cmの段差になっており、壁との連結部分から上に５°傾斜しながら煙出しピットに至る。煙出しピットは径38cmで煙道よりも18cm深い。

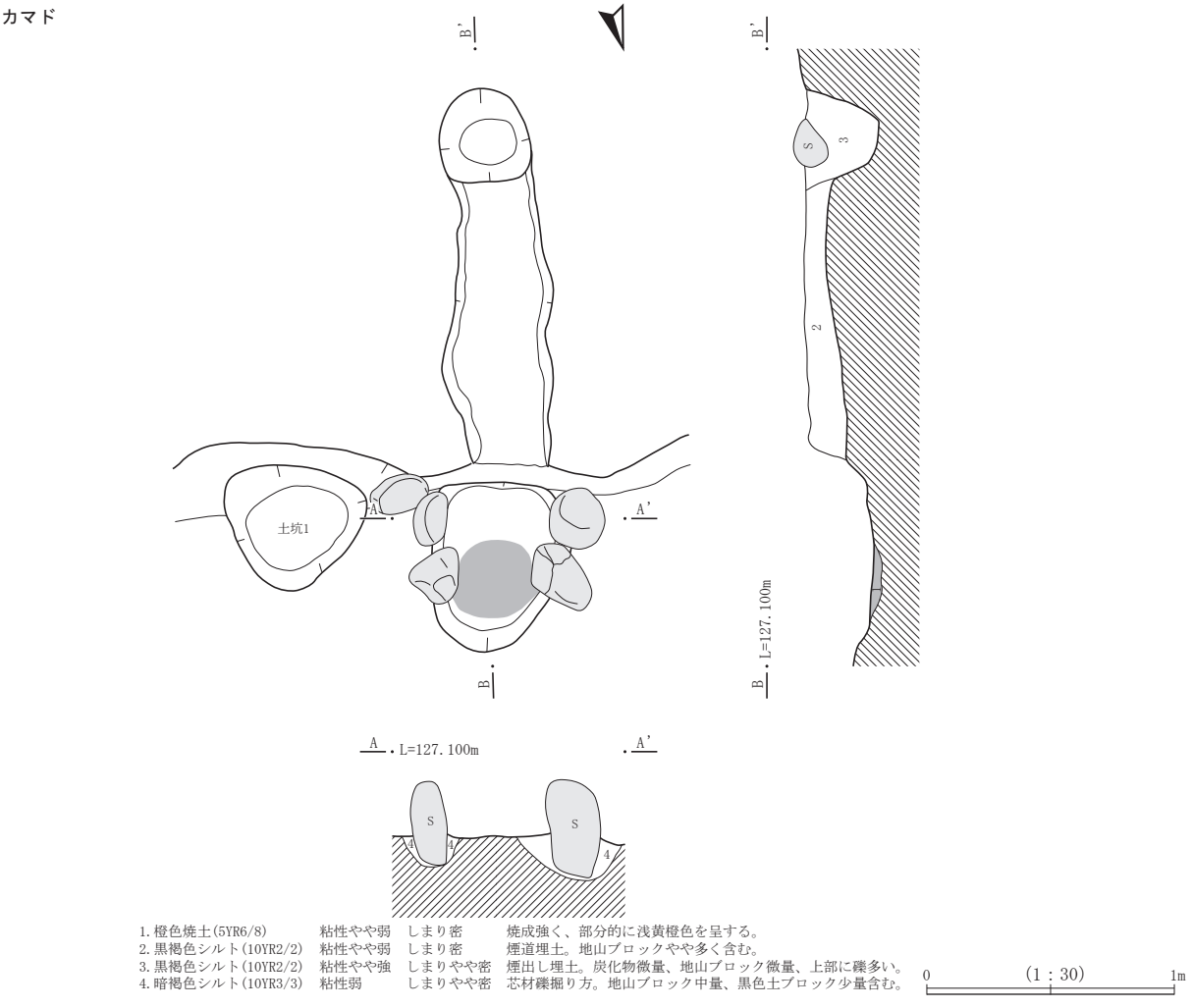
［土坑］１基検出した。カマドの東側に付く。53×51cmの歪な楕円形で、深さ10cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

［柱穴・壁溝］柱穴は２個検出した。Pit２は床面からの深さが23cmを測り、比較的深い。壁溝は見受けられない。

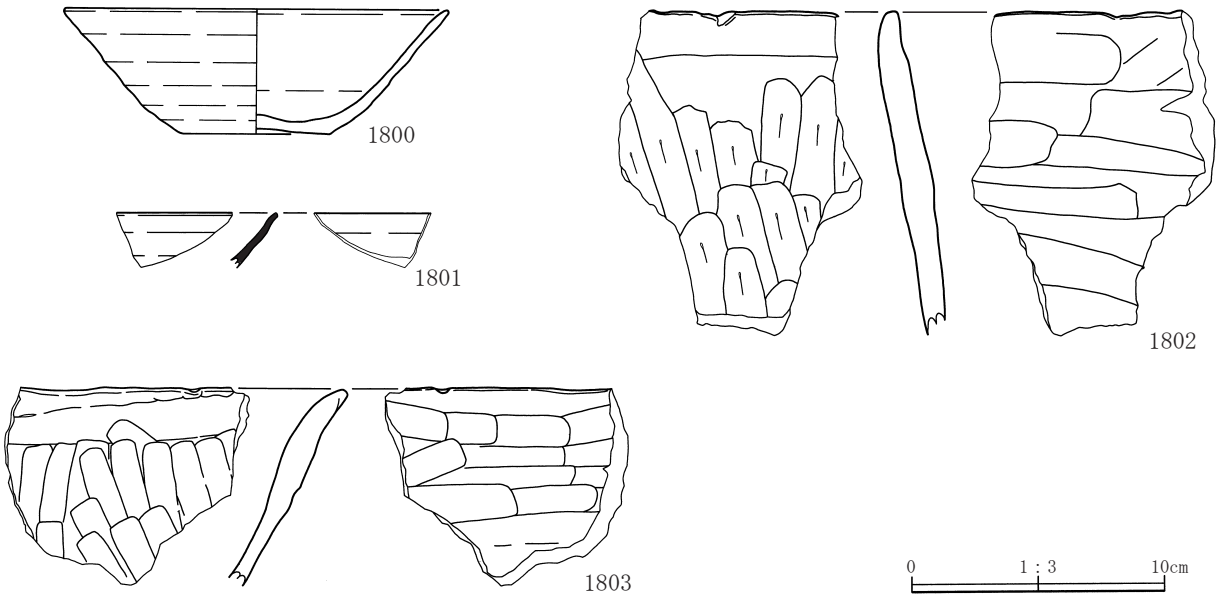
［出土遺物］古代土器300.1g分出土している。遺構上部が消失しているため、出土遺物が極端に少なく、出土した古代土器も小片のみである。

土師器は、坏（1800）、甕（1802・1803）があり、須恵器は坏（1801）がある。1800はロクロ成形の坏である。甕は非ロクロ成形。1803は形状から鉢の可能性がある。1801は須恵器坏の口縁部片である。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。



第345図　87号竪穴建物跡２



第346図　87号竪穴建物跡出土遺物

88号竪穴建物跡（347・348図、写真図版93・253）

［位置・検出状況］調査区北東側、ⅣA21c、ⅣA21dグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。

本遺構は東側一部が調査区外に及んでいる。また87号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が古い。

［規模・平面形］北辺〈40〉cm、南辺〈220〉cm、西辺〈230〉cmを測り、東辺は不明である。隅丸の方形を呈すると推測する。残存する床面積は〈7.6〉㎡である。

［埋土の状況］４層からなる。黒褐色シルトを主体とし、炭化物が混じる。壁際の３・４層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。ほぼ平坦であるが、中央がわずかに高い。壁はⅢ・Ⅳ層で、調査区外と87号竪穴建物跡に壊された範囲を除き、全周する。わずかに外へと開くが、ほぼ直立気味である。壁高は最大30cmである。

［貼床］北壁際を除き、床面全体に施される。貼床土は暗褐色を主体とし、黒色シルトブロックが混じる。掘り方は歪で、深さは２～８cmである

［カマド・炉］見受けられない。調査区外に及ぶ範囲に付く可能性がある。

［土坑］３基検出した。土坑１は南壁のほぼ中央に付く。50×40cmの楕円形で、深さ13cm、土坑２は南西隅に付く。70×58cmの楕円形で、深さ22cmである。土坑３は土坑２と重複し、土坑３の方が古い。183×130cmで、深さ18cmである。いずれも用途は不明である。

［柱穴・壁溝］柱穴は１個検出した。埋土中から完形の刀子（1816）が出土しており、柱穴ではない可能性もある。壁溝は見受けられない。

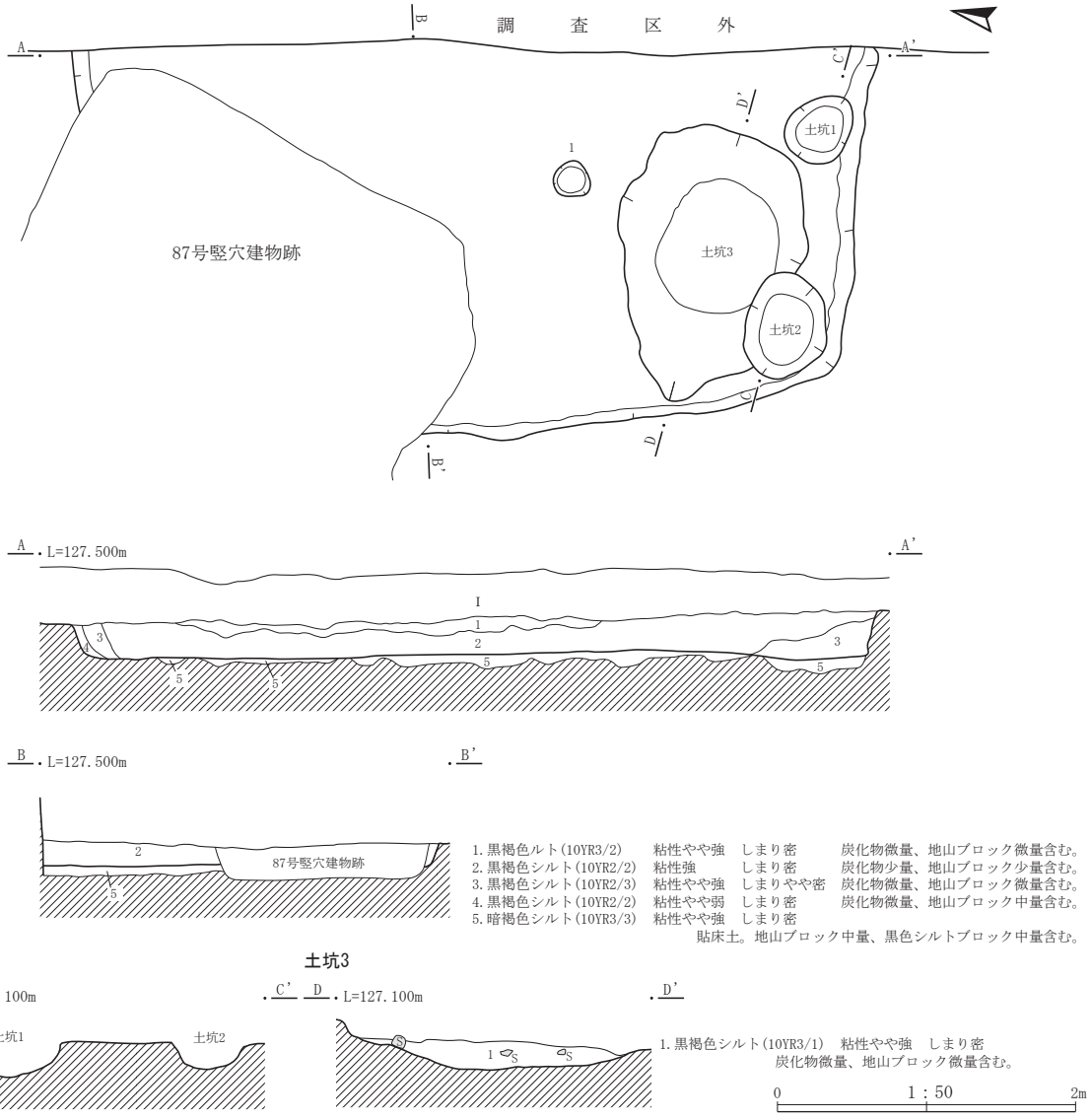
［出土遺物］古代土器2134.1g分、鉄製品が出土している。遺構の半分程度が調査区外に及ぶわりに遺物の出土量は多い。

土師器は、坏（1804～1806）、甕（1808～1814）がある。坏はロクロ成形のみであり、甕は1813は非ロクロ成形で、他はロクロ成形で、胴部下半にはケズリを施すものがある。

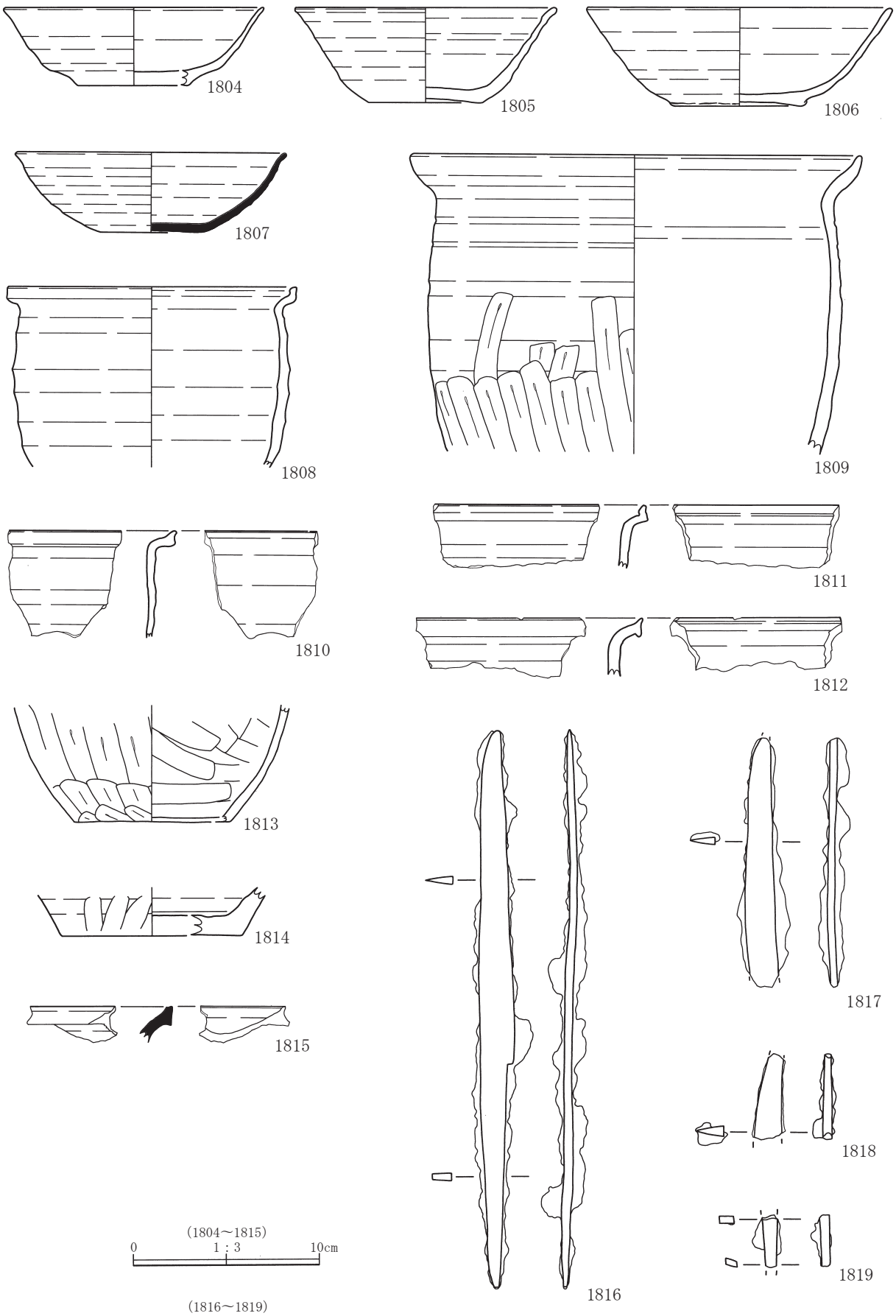
須恵器は坏（1807）、瓶類（1815）があり、どちらも破片である。

鉄製品は４点（1816～1819）出土している。すべて刀子である。1816は完形で、Pit１から出土している。1817～1819は埋土下位から出土しており、1817は刃部のみ、1818は刃部の破片、1819は柄の部分の破片である。1818と1819は同一個体の可能性もあるが、接合部分はなく、別個体とした。

［時期］重複する87号竪穴建物跡の時期や出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。



第347図　88号竪穴建物跡



第348図　88号竪穴建物跡出土遺物

89号竪穴建物跡（第349図、写真図版93・94・253）

［位置・検出状況］調査区東端、ⅣA22eグリッドに位置する。Ⅲ層上面で検出した。本遺構は西側の一部を検出したのみで、ほとんどは調査区外に及んでいる。57号土坑と重複し、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］北辺〈40〉cm、東辺不明、南辺〈53〉cm、西辺293cmを測り、隅丸の方形を呈すると推測する。検出できた床面積は〈1.4〉㎡である。

［埋土の状況］２層からなり、黒褐色シルトを主体とし、炭化物や焼土粒が混じる。埋没は自然堆積か人為堆積か不明である。

［床面・壁］床面はⅢ～Ⅳ層で検出した。ほぼ平坦である。壁はⅢ層で、検出できた範囲では、全周する。北壁は直立気味、他は緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大32cmである。

［貼床］床面の全体に施される。貼床土は暗褐色シルトを主体とし、黒褐色シルトブロックが混入する。掘り方は北壁際が深いが、他は浅い。深さは３～17cmである。

［カマド・炉］見受けられない。調査区外にある可能性が高い。

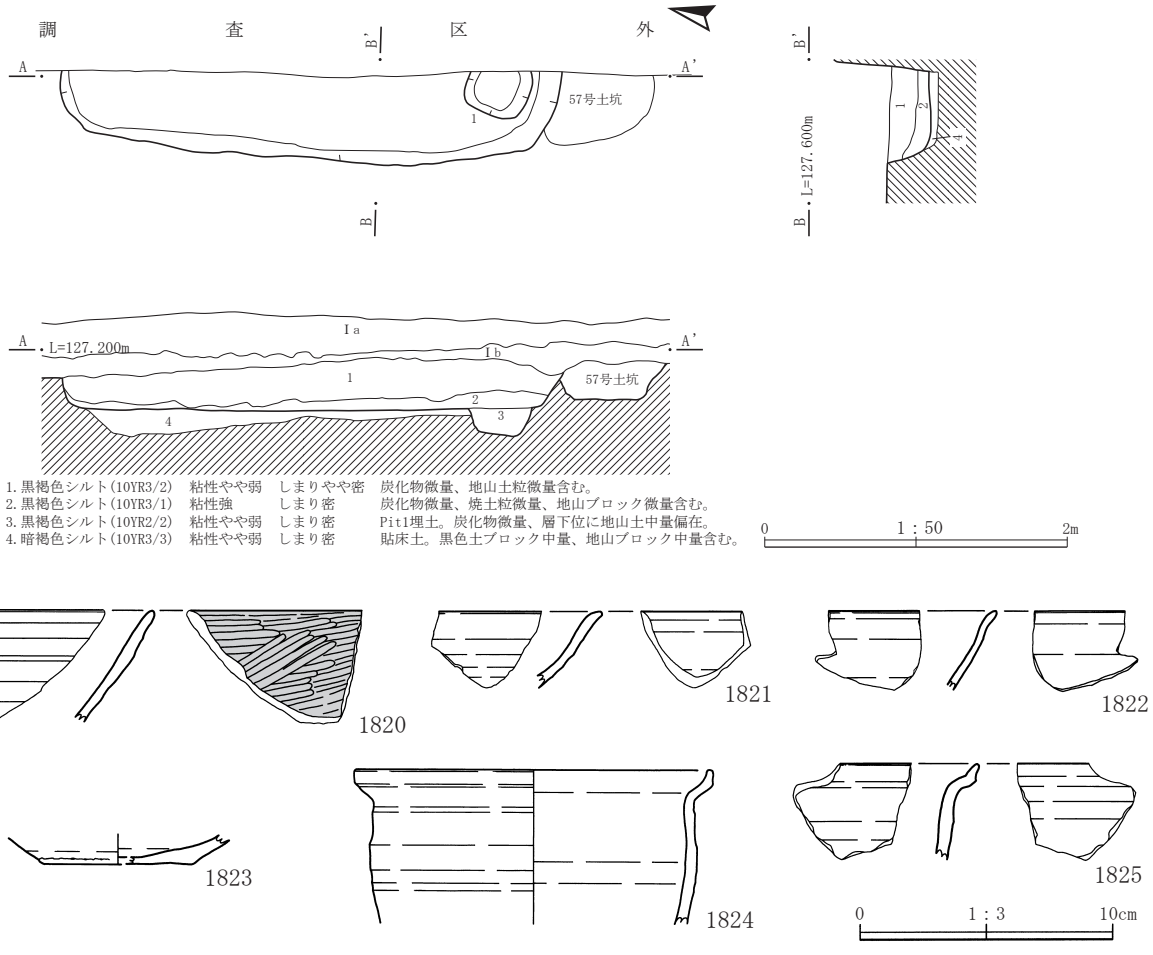
［土坑］なし。

［柱穴・壁溝］柱穴は１個、南西隅で検出した。壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器156.0g分が出土している。出土量は少ない。

古代土器は、全て土師器で、1820～1822は坏の口縁部片で、ロクロ成形、1820のみ内面に黒色処理を施す。1823は坏の底部片、1824・1825は甕で、どちらもロクロ成形である。

［時期］出土した遺物が少なく、不明瞭だが、古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。



第349図　89号竪穴建物跡・出土遺物

90号竪穴建物跡（第350・351図、写真図版94・253・254）

［位置・検出状況］調査区北東側ⅣA20g、ⅣA20h、ⅣA21g、ⅣA21hグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。91号竪穴建物跡、１号焼酎瓶埋設遺構と重複し、本遺構は91号竪穴建物跡よりも新しく、１号焼酎瓶埋設遺構よりも古い。

［規模・平面形］北辺358cm、東辺427cm、南辺263cm、西辺270cmを測り、やや歪な隅丸の長方形を呈する。床面積は9.6㎡である。

［埋土の状況］５層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の４・５層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。床面は若干凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ層で検出した。全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大50cmである。

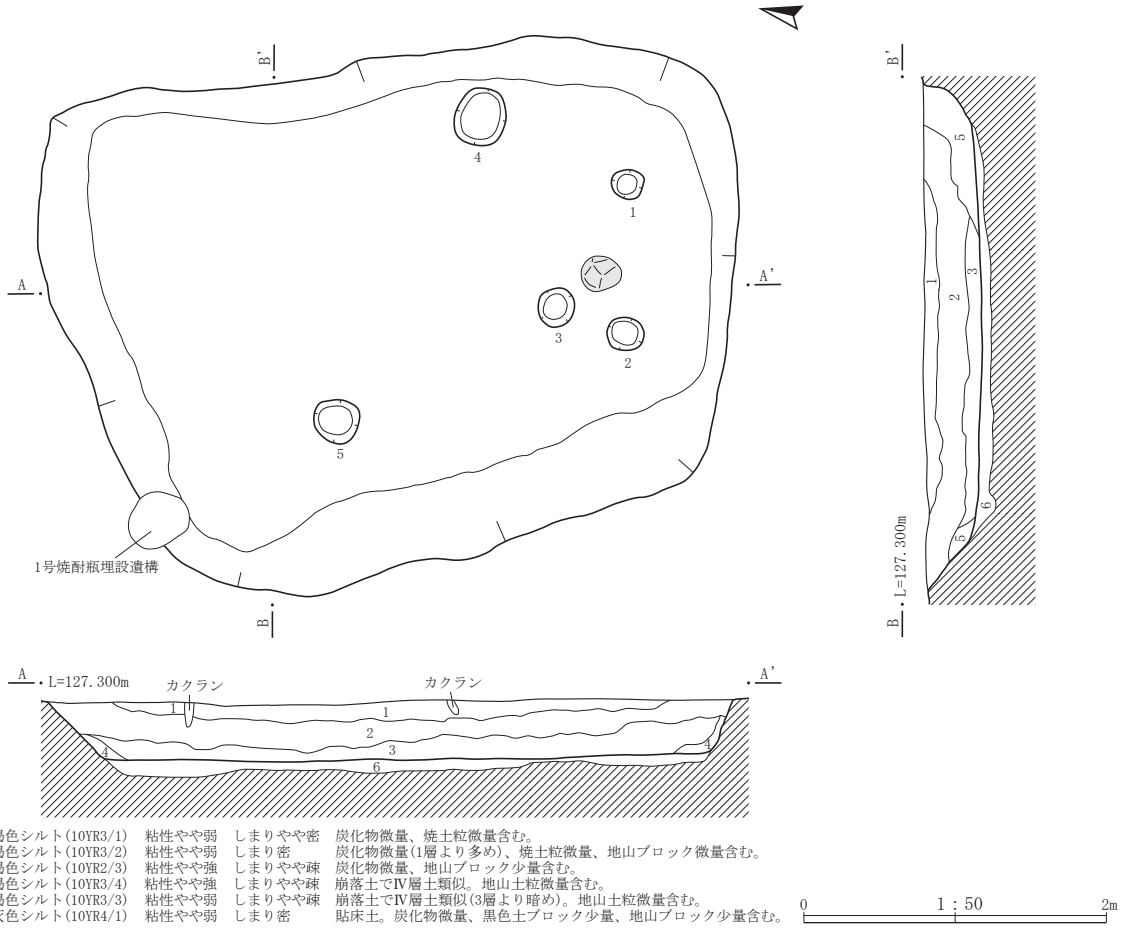
［貼床］床面全体に施される。貼床土は、褐灰色シルトで、炭化物や黒色シルトブロックが混じる。掘り方はほぼ均一で、深さは10cm前後である。

［カマド・炉］なし。

［土坑］なし。

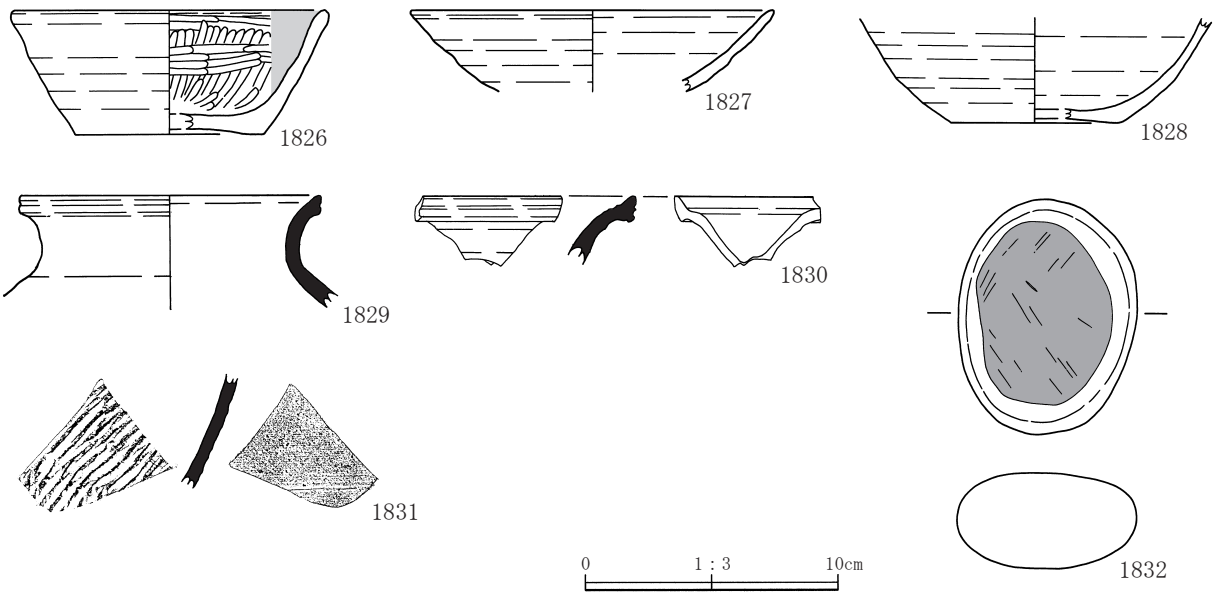
［柱穴・壁溝］柱穴は５個検出した。床面南側に寄るものが４個（Pit１～４）、西壁際に１個（Pit５）あるが、柱配置に規則性は見いだせない。壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器1262.6 g分、石製品が出土している。



1. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性やや弱　しまりやや密　炭化物微量、焼土粒微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまり密　炭化物微量(1層より多め)、焼土粒微量、地山ブロック微量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや強　しまりやや疎　炭化物微量、地山ブロック少量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性やや強　しまりやや疎　崩落土でⅣ層土類似。地山土粒微量含む。
5. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまりやや疎　崩落土でⅣ層土類似(3層より暗め)。地山土粒微量含む。
6. 褐灰色シルト(10YR4/1)　粘性やや弱　しまり密　貼床土。炭化物微量、黒色土ブロック少量、地山ブロック少量含む。

第350図　90号竪穴建物跡



第351図　90号竪穴建物跡出土遺物

土師器は、坏（1826～1828）で、全てロクロ成形で、1826は内面に黒色処理が施される。1826は逆台形状の器形を呈する。

須恵器は瓶類（1829・1830）、甕（1831）がある。瓶類は口縁部片で、甕は胴部片である。

石製品は１点（1832）、埋土下位から出土している。凝灰岩製の扁平な円礫で、広い１面に擦った痕跡が見受けられる。

［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

91号竪穴建物跡（第352～356図、写真図版95・254～257）

［位置・検出状況］調査区南東側、ⅣA21f、ⅣA21g、ⅣA21h、ⅣA22f、ⅣA22gグリッドに位置し、黒色のプランで検出した。90号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が古い。なお遺構の南西隅は掘りすぎている。

［規模・平面形］北辺〈395〉cm、東辺443cm、南辺〈400〉cm、西辺〈400〉cmを測り、やや歪な隅丸の長方形を呈する。残存する床面積は〈17.5〉㎡である。

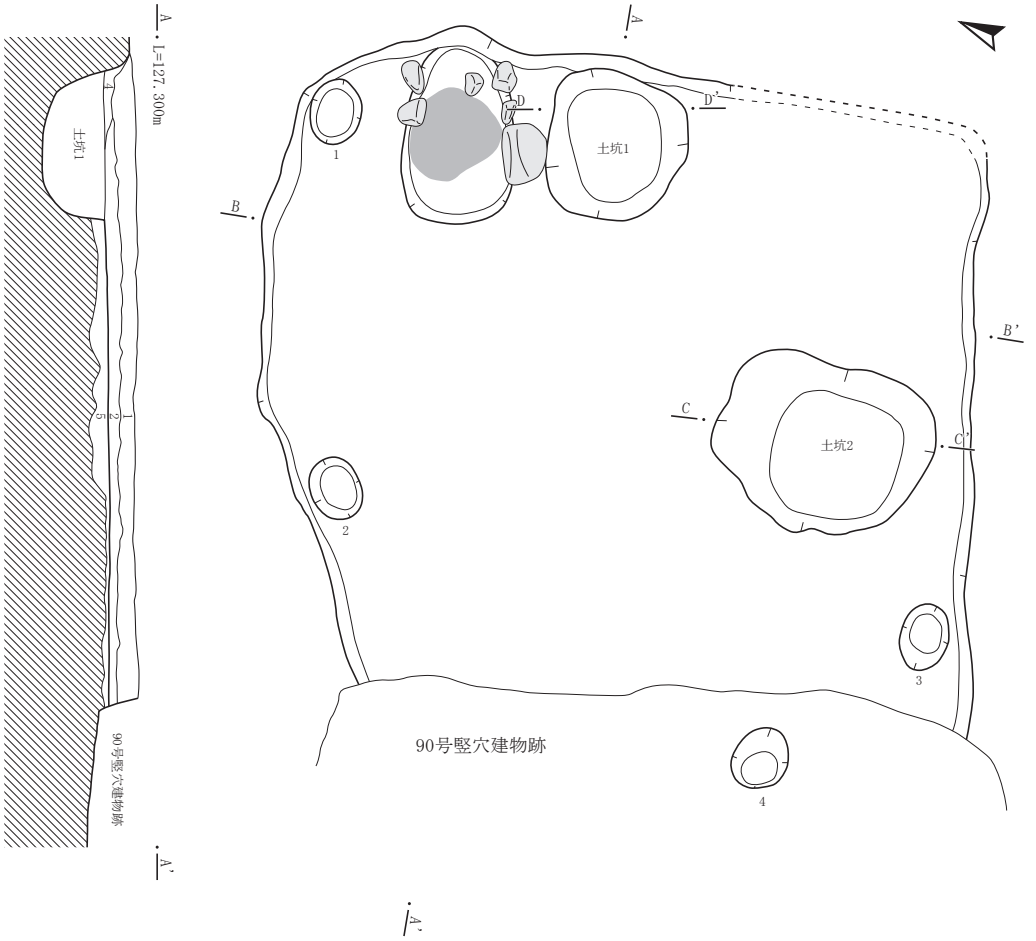
［埋土の状況］４層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の３・４層が三角堆積しており、したがって埋没は自然堆積によるものと推測する。

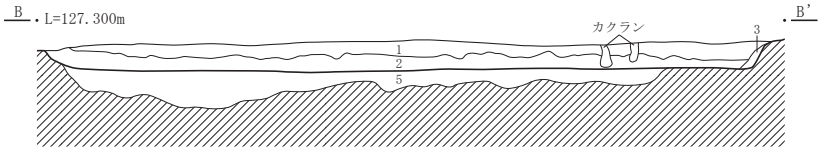
［床面・壁］床面・壁面共にⅢ～Ⅳ層で検出した。床面はほぼ平坦である。壁は90号竪穴建物跡に壊された範囲を除き、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高は最大20cmである。

［貼床］南壁際を除き、床面全体に施される。貼床土は、褐灰色シルトで、炭化物や焼土粒が混じる。掘り方は、全体的に歪で、また北側が深く、西側は浅い。深さは２～25cmである。

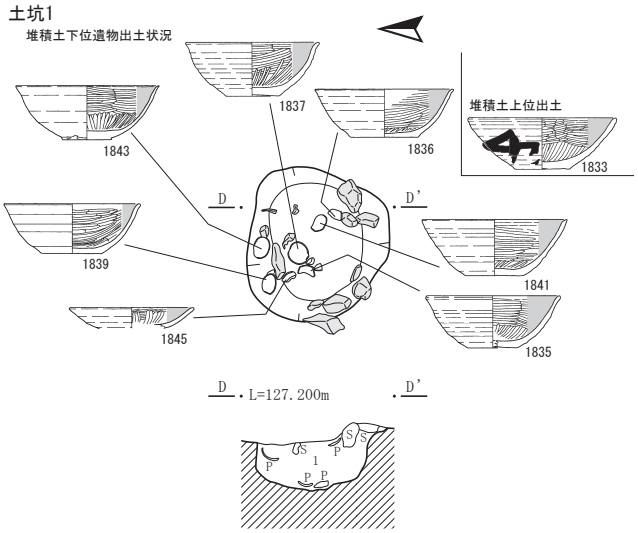
［カマド・炉］カマドを東壁の北寄りで検出した。燃焼部焼土面と袖が残存する。また煙道は見受けられず、東壁に構築した痕跡も見受けられないので、元々ないものと考える。

燃焼部焼土面は118×72cmの浅い掘り込み内にあり、60×60cmである。被熱は強く、明赤褐色～暗赤褐色を呈する。また焼土面の奥側に17cm大の円礫が据え置かれており、支脚と推測する。



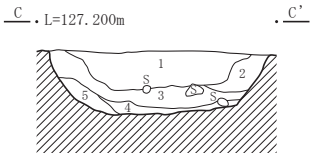


1. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック微量(1層より多い)含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性強　しまりやや密　崩落土。地山ブロック多量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性強　しまり密　崩落土。炭化物微量、地山ブロックやや多く含む。
5. 黒褐色シルト(10YR2/3)　粘性やや弱　しまり密　貼床土。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロックやや多く含む。

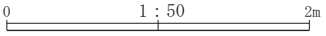


1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山土粒微量含む。

土坑2



1. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性やや強　しまりやや密　炭化物微量、地山土粒微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや疎　炭化物微量、焼土粒微量、地山土粒少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/1)　粘性強　しまりやや密　炭化物微量、焼土粒微量、地山土粒少量含む。
4. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性やや弱　しまりやや疎　地山土粒微量含む。
5. 暗褐色シルト(10YR3/4)　粘性強　しまりやや密　地山ブロック少量含む。



第352図　91号竪穴建物跡1

袖は、両袖とも芯材礫のみ残存しており、北袖は２個、南袖は３個検出した。芯材礫は20～30cm大であるが、形状は、北袖の芯材礫は偏平な礫であるが、南袖の芯材礫は厚みのある円礫であり、様々である。

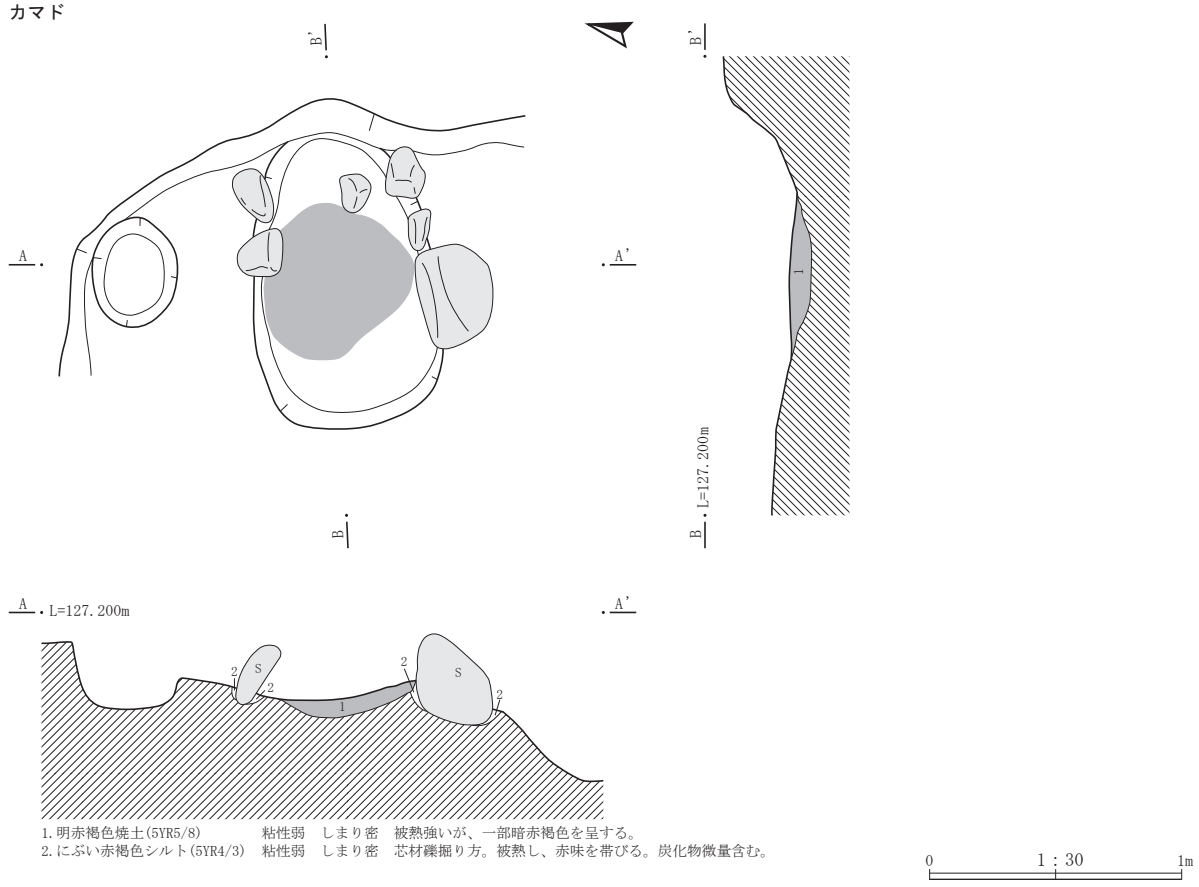
［土坑］２基検出した。土坑１はカマドの南側に付く。100×90cmの楕円形で、深さは41cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。土坑２は南壁際の中央に付く。145×110cmの不整な楕円形で、深さ45cmである。用途は不明である。

［柱穴・壁溝］柱穴は４個検出した。そのうちPit１～３は南北両壁際に位置し、主柱穴の可能性が高い。またPit４は90号竪穴建物跡の貼床土の下で検出した。90号竪穴建物跡の床面上では確認できなかったことから考え、本遺構に付属する柱穴と判断した。壁溝は見受けられない。

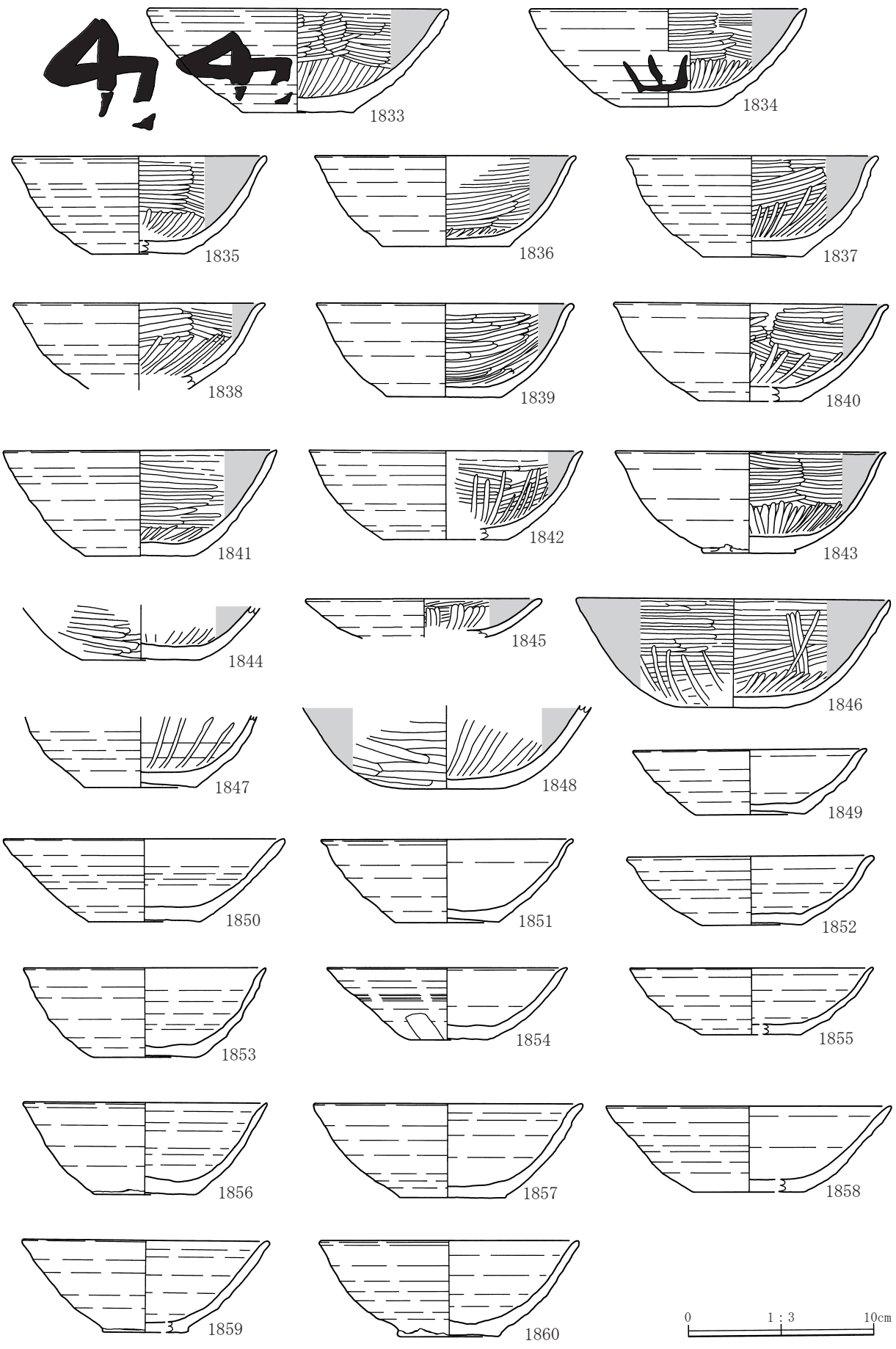
［出土遺物］古代土器7902.9g分、灰釉陶器、土製品、砥石、石製品が出土している。出土位置は、埋土中のみならず、カマド周辺や土坑、特に土坑1の埋土下位からは内面黒色処理の土師器坏が７点（上位から出土したものも合わせると８点）まとまって出土した（第352図下）。

土師器は、坏（1833～1863）、　台付坏（1864）、甕（1868～1871）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるもの（1833～1845）とロクロ成形のみのもの（1847・1849～1863）がある。また1846・188は内外面に黒色処理を施す。1833・1834は墨書土器である。文字は、1833は不明（「カ」？）、1384は「山」か。1844は外面にもミガキが施される。1845は器高が低く、皿の可能性もある。須恵器は破片のみで、坏（1865・1866）、甕（1872・1873）がある。

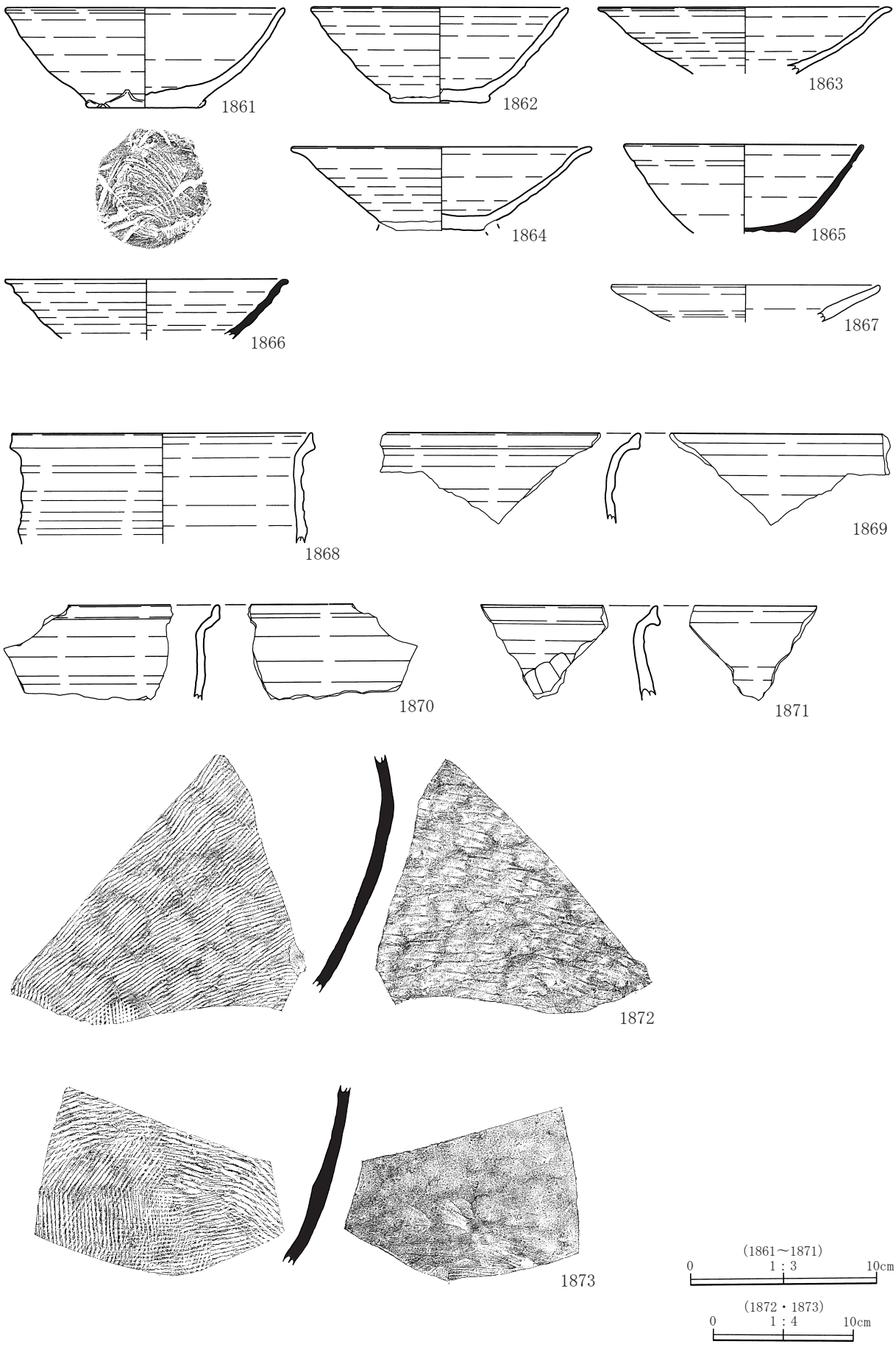
灰釉陶器は（1867）埋土下位から出土している。段皿の口縁部片である。９世紀中～後半（黒笹14



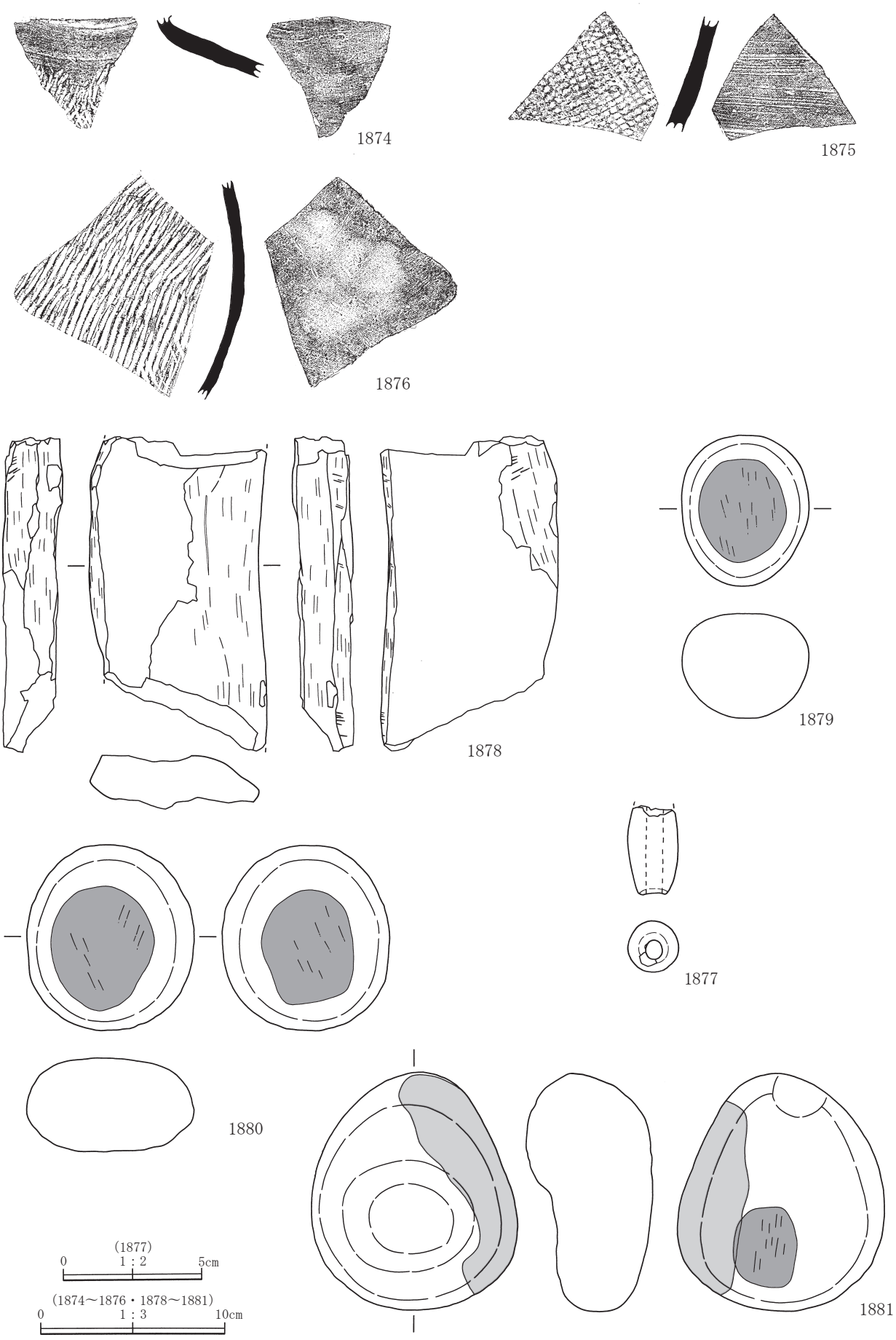
第353図　91号竪穴建物跡２



第354図　91号竪穴建物跡出土遺物1



第355図　91号竪穴建物跡出土遺物2



第356図　91号竪穴建物跡出土遺物3

号窯式新段階～黒笹90号窯式個段階）に帰属する。

土製品は１点、埋土下位から出土している。土錘（1877）で、端部が欠損する。

砥石（1878）は、土坑２から出土した。両端と広い面の片側が欠損する。側面を含め、４面に研いだ痕跡がある。石製品は、1879・1880は土坑１から出土している。1879は安山岩、1880はデイサイトの円礫で、擦った痕跡がある。1881は埋土下位から出土しており、安山岩製の大型扁平礫で、広い面に擦った痕跡が、また大きい凹み痕が見受けられる。片側が被熱し、赤みをおびている。

［時期］重複する90号竪穴建物跡の時期や出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

92号竪穴建物跡（第357～359図、カラー写真図版６、写真図版96・257～259）

［位置・検出状況］調査区東側ⅣA21i、ⅣA21j、ⅣA22iグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。

［規模・平面形］北辺280cm、東辺415cm、南辺280cm、西辺396cmを測り、やや歪な隅丸の長方形を呈する。床面積は11.4㎡である。

［埋土の状況］３層からなり、黒褐色シルトを主体とする。壁際の３層が三角堆積しており、埋没は自然堆積によるものと推測する。また１・２層中でTo-aテフラブロックの混入を確認した。

［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。ほぼ平坦である。壁はⅢ層で検出し、全周する。外へとわずかに開くがほぼ直立気味である。壁高は最大15cmである。

［貼床］北壁際を除き、ほぼ床面全体に施される。貼床土は、灰黄褐色シルトで、炭化物が混じる。掘り方は歪で、床面の北側は浅く、南側は深い。深さは２～10cm前後である。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙出しピットを検出した。

燃焼部焼土面は55×50cmで、被熱は弱く、明褐色を呈する。被熱深度は２cmである。また燃焼部焼土面の奥側に15cm大の円礫が据え置かれており、支脚と推測する。

袖は南袖の一部のみ残存する。地山を削り出して構築されている。芯材礫は両袖とも見受けられず、また芯材礫の掘り方もない。

煙道は見受けられず、東壁には構築した痕跡もないので、元々煙道はないと推測する。ただし東壁から58cm東側に径40cm、深さ17cmの掘り込みがあり、煙出しピットの可能性がある。

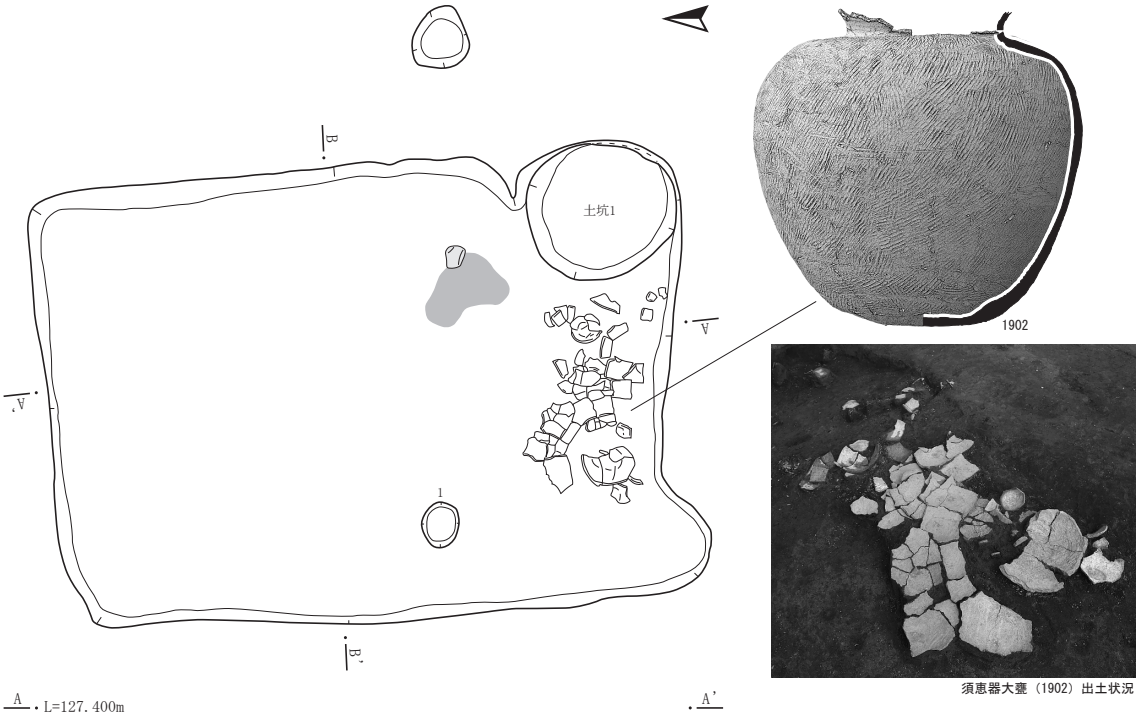
［土坑］１基検出した。土坑１は南東隅に付く。100×91cmの楕円形で、深さ28cmである。カマドに伴う貯蔵穴と推測する。

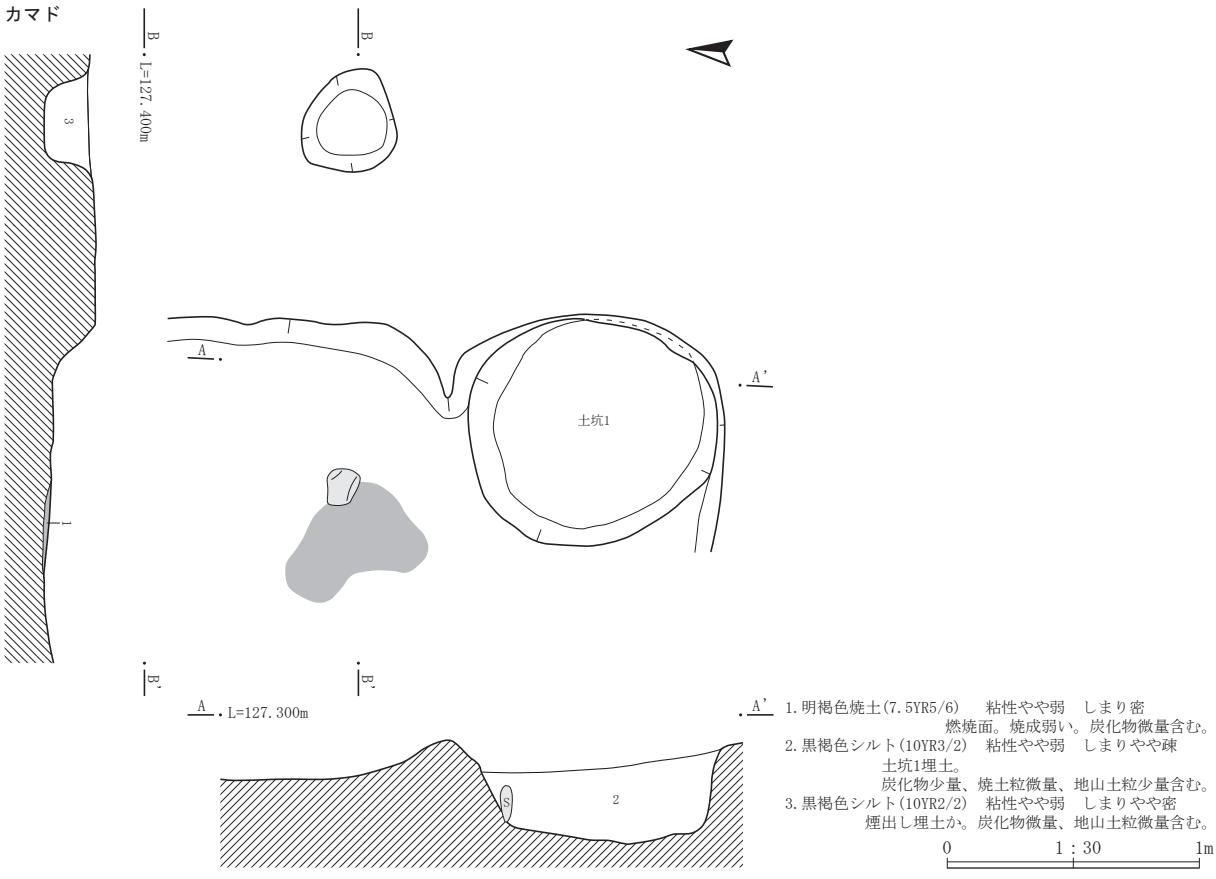
［柱穴・壁溝］柱穴は１個検出した。壁溝は見受けられない。

［出土遺物］古代土器16966.2g分、鉄製品が出土している。重量で提示すると、突出した出土量であるが、これは南壁付近の床面上で出土した須恵器の大甕（1902）を含むためである。1902は第356図上に示した通り、床面上に破片で広く散在していた。

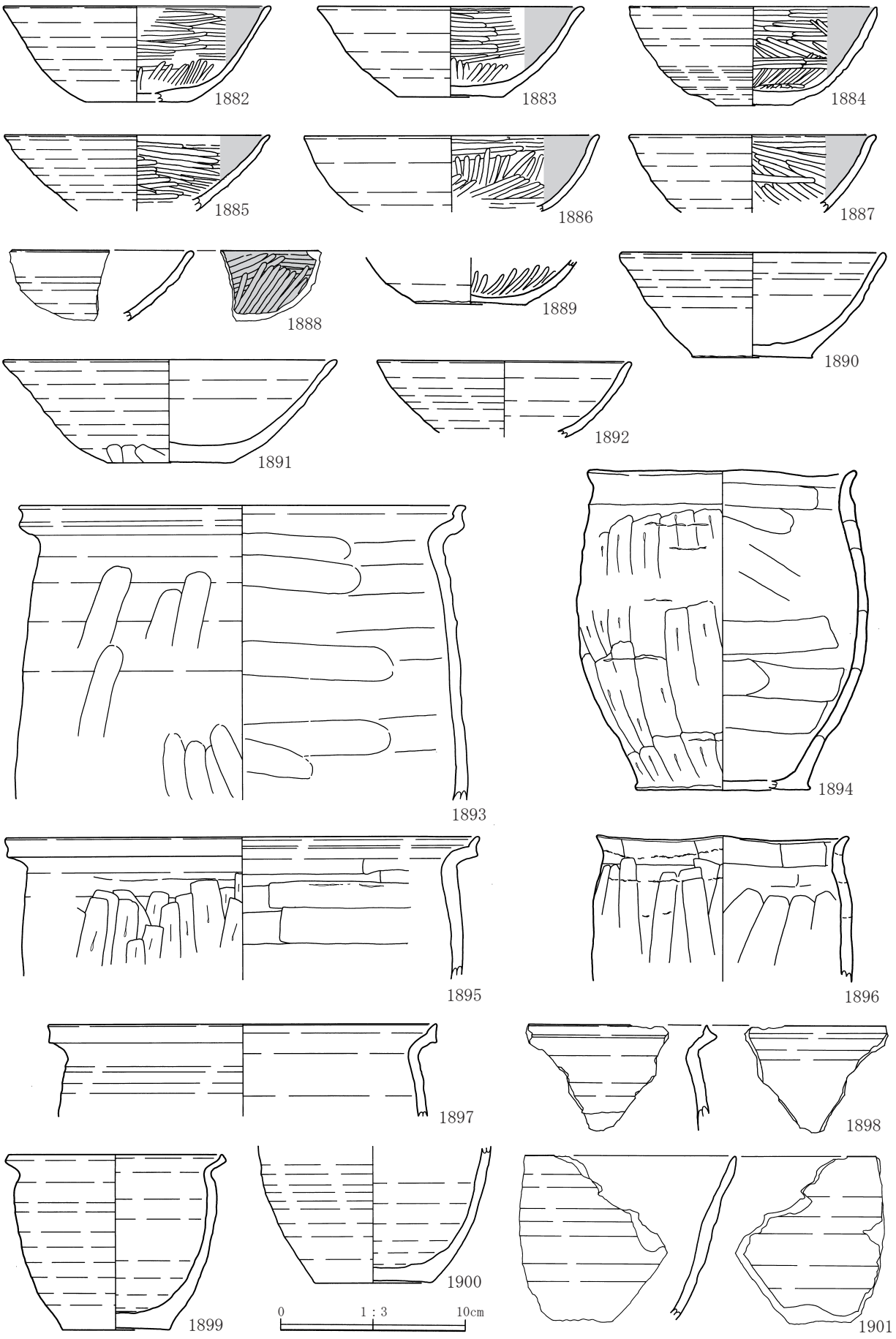
土師器は、坏（1882～1892）、甕（1893～1900）、鉢（1901）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるもの（1882～1892）とロクロ成形のみのもの（1889～1892）がある。1890は底面が厚い。甕は破片がほとんどであるが、1894・1899のように、全体の２分の１残存するものも見受けられる。ロクロ成形が主体であるが、1894・1896は非ロクロ成形である。1894は砂底土器である。1901は口縁部片で、口端部の形態などから鉢と判断した。ロクロ成形である。

須恵器は大甕（1902）、甕（1903）、瓶類（1904・1905）がある。1902は大甕で、前述の通り、床面上から破片がまとまって出土した。全て接合したが、全体の３分の２程度しか残っておらず、また口縁部は残存していない。1903は甕の胴部から底部で、復元できた部分からも非常に大きな甕である

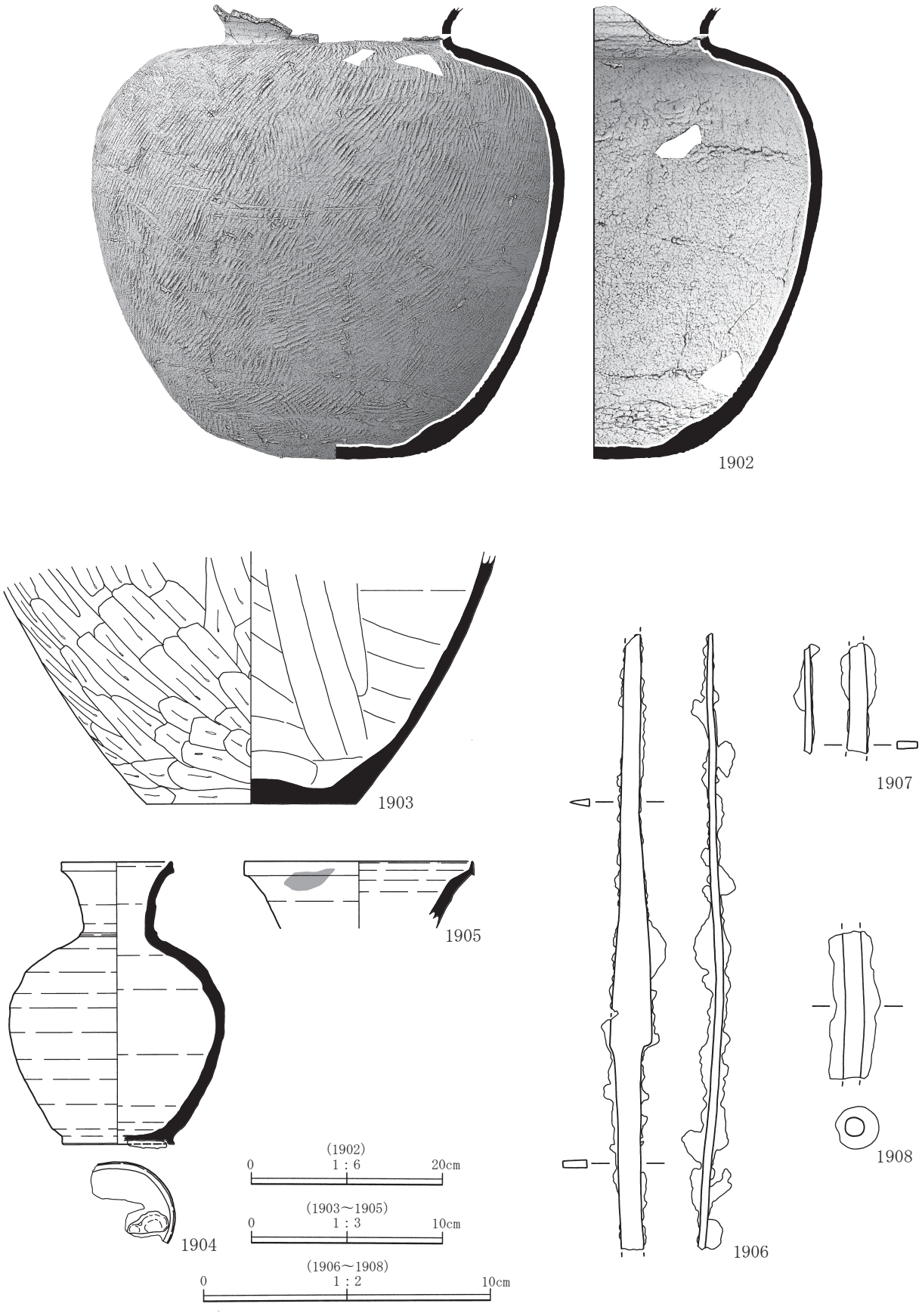




第357図　92号竪穴建物跡



第358図　92号竪穴建物跡出土遺物1



第359図　92号竪穴建物跡出土遺物２

ことが推測される。1904は小型の長頸瓶で、口縁部や底部の一部が欠けるのみの、ほぼ完形である。底面に高台がつく。また焼いた際の粘土が残る。1905も長頸瓶の口縁部片で、外面に煤が付着する。

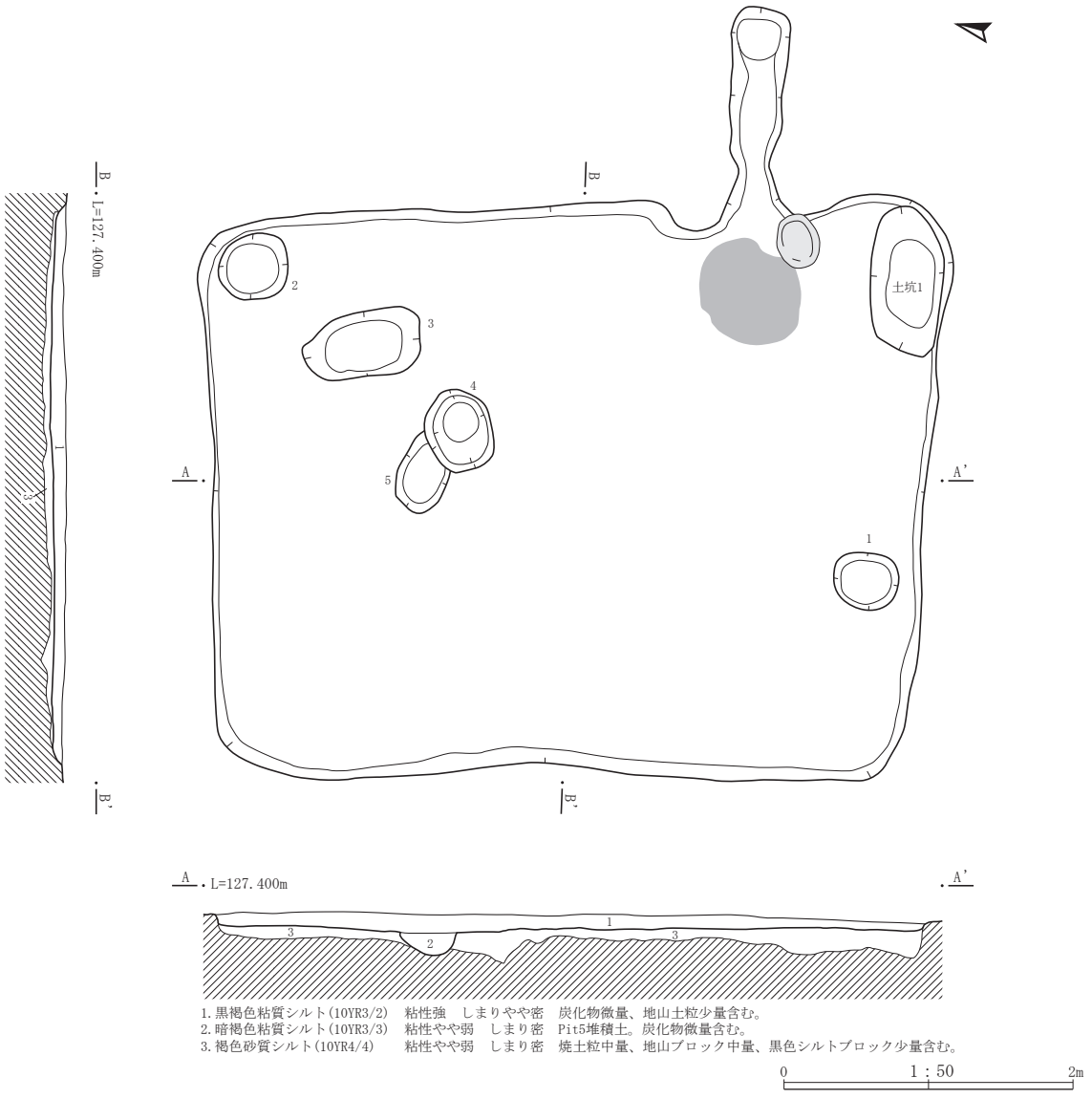
鉄製品は３点（1906～1908）出土している。1906は埋土下位から出土している。刀子で、両端がわずかに欠損する。かなり使い込まれたためか、刃部が細く、また刀部を中心に歪みが見受けられる。1907・1908は埋土上位から出土している。1907は刀子の柄の破片である。1908は断面が円形の棒状で、両端を欠損する。器種は不明。釘か。

［時期］埋土中にTo-aテフラが混じることと、出土した古代土器の様相から明神下Ⅰ期に位置づけた。

93号竪穴建物跡（第360～362図、写真図版97・259・260）

［位置・検出状況］調査区南東端ⅣA21j、ⅣA21k、ⅣA22j、ⅣA22kグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。なお遺構上部は後世の削平で消失している。

［規模・平面形］〉北辺353cm、東辺498cm、南辺439cm、西辺450cmを測り、やや歪な隅丸の長方



第360図　93号竪穴建物跡１

形を呈する。床面積は18.1㎡である。

［埋土の状況］上部が消失しているため、１層のみ検出した。黒褐色シルトを主体とする。埋土の堆積が不明なため、埋没は自然堆積か人為堆積か不明である。

［床面・壁］床面はⅣ層で検出した。若干凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁はⅢ層で検出し、全周する。緩やかに外へと広がりながら立ち上がる。壁高13cmである。

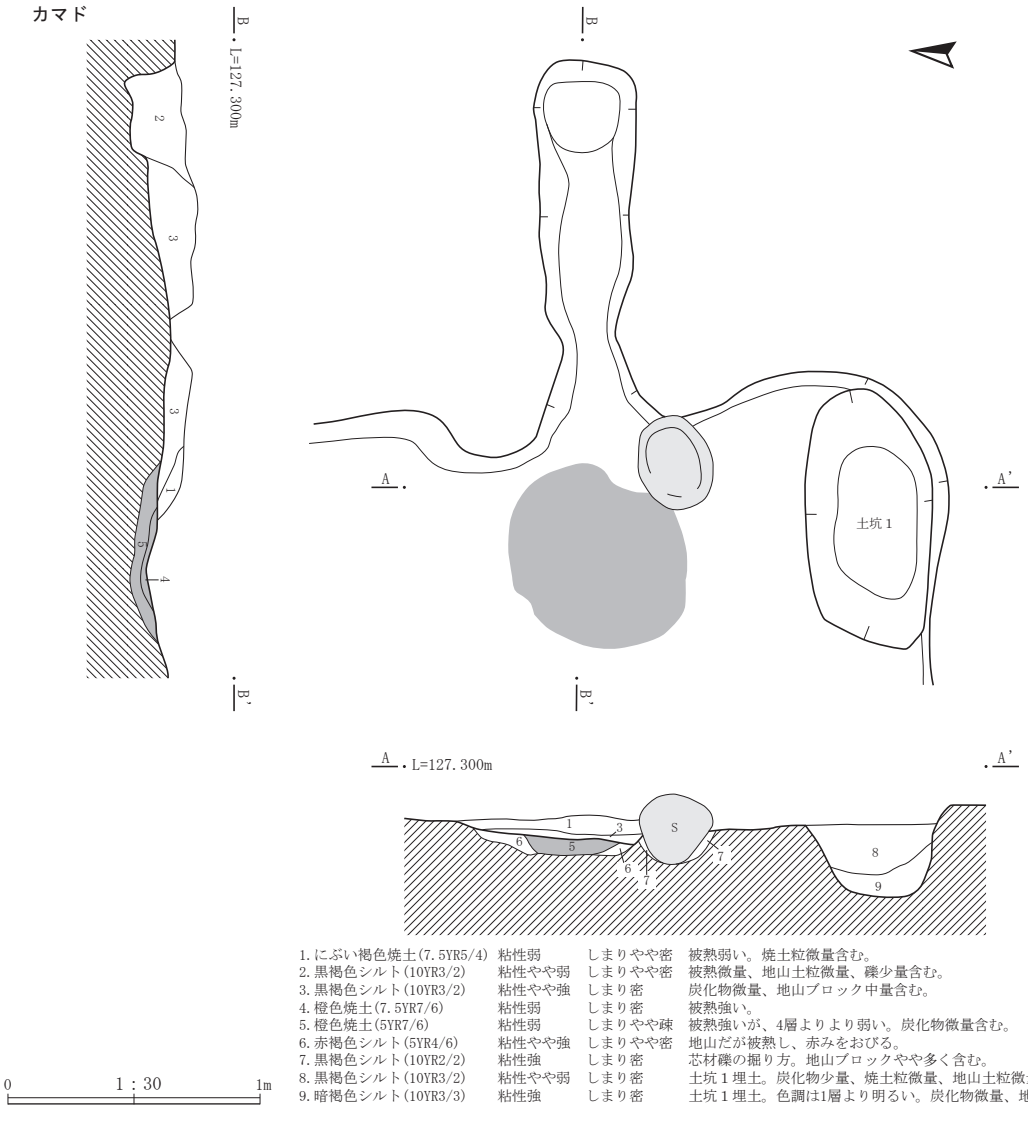
［貼床］床面全体に施される。貼床土は、褐色シルトで、黒色シルトブロックが混じる。掘り方はほぼ均一だが、床面の中央と南壁側が深い。深さは８～28cmである。

［カマド・炉］カマドが東壁の南寄りに付く。燃焼部焼土面と袖、煙道を検出した。

燃焼部焼土面は78×67cmで、被熱は強く、橙色～赤褐色を呈する。被熱深度は６cmである。

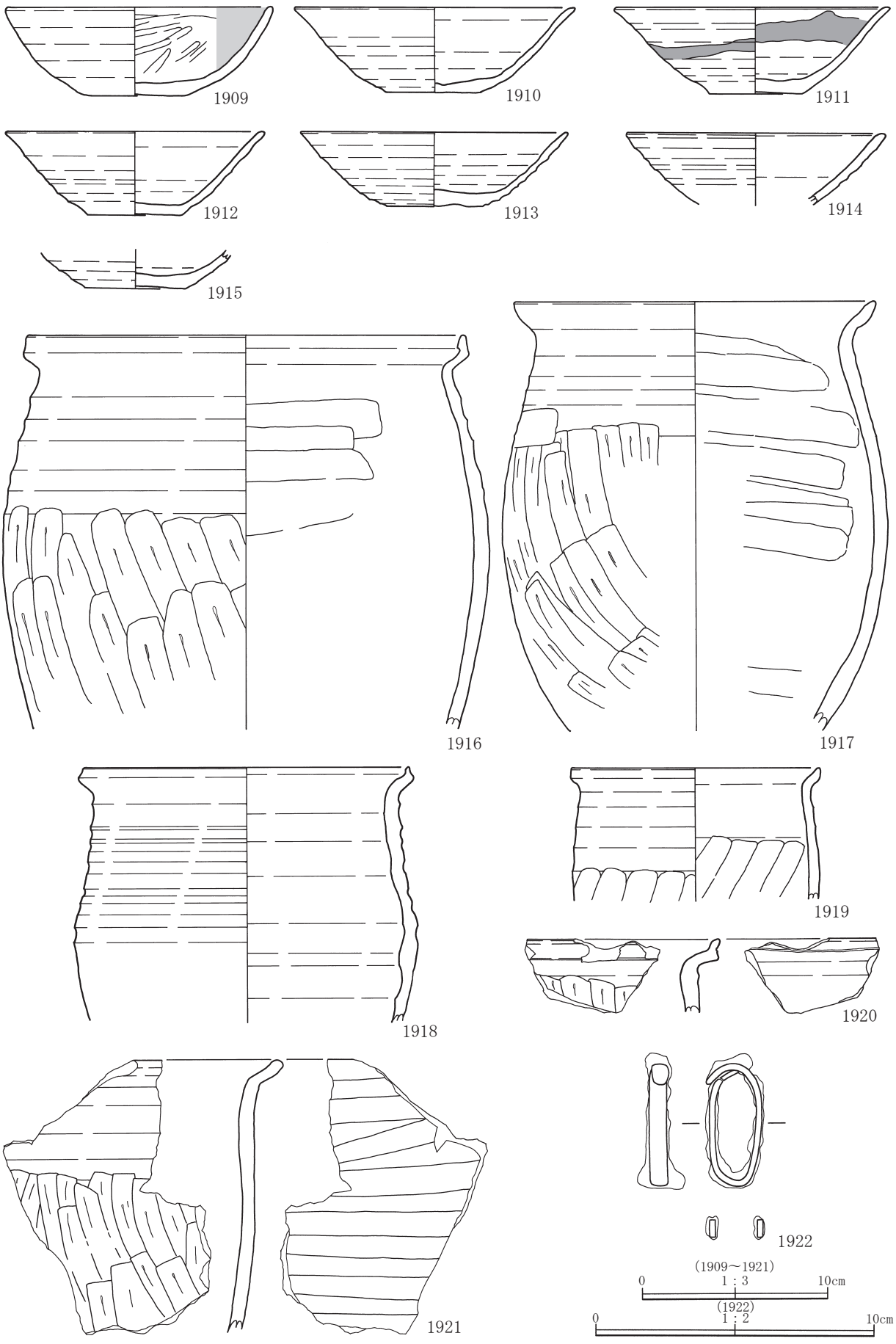
袖は南袖の芯材礫１個のみ残存する。芯材礫は30cm大の比較的大きな円礫で、床面を深く掘り込んで、設置している。

煙道は東壁から145cmのびる。燃焼部焼土面からわずかに高く、煙道内は手前は上へ傾斜し、奥側は下へと傾斜しながら煙出しピットに至る。煙出しピットは径35cmで、煙道より６cm深い。



1. にぶい褐色焼土(7.5YR5/4)　粘性弱　しまりやや密　被熱弱い。焼土粒微量含む。
2. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまりやや密　被熱微量、地山土粒微量、礫少量含む。
3. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや強　しまり密　炭化物微量、地山ブロック中量含む。
4. 橙色焼土(7.5YR7/6)　粘性弱　しまり密　被熱強い。
5. 橙色焼土(5YR7/6)　粘性弱　しまりやや疎　被熱強いが、4層よりより弱い。炭化物微量含む。
6. 赤褐色シルト(5YR4/6)　粘性やや強　しまりやや密　地山だが被熱し、赤みをおびる。
7. 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性強　しまり密　芯材礫の掘り方。地山ブロックやや多く含む。
8. 黒褐色シルト(10YR3/2)　粘性やや弱　しまり密　土坑１埋土。炭化物少量、焼土粒微量、地山土粒微量、礫少量含む。
9. 暗褐色シルト(10YR3/3)　粘性強　しまり密　土坑１埋土。色調は1層より明るい。炭化物微量、地山土粒微量含む。

第361図　93号竪穴建物跡２



第362図　93号竪穴建物跡出土遺物

［土坑］１基検出した。カマドの南側、床面の南東隅に位置する。102×50の長楕円形で、深さ28cmである。貯蔵穴と推測する。
［柱穴・壁溝］柱穴は５個検出した。南側に寄るものが１個（Pit１）、北側に寄るもの４個（Pit２～５）あるが、柱配置に規則性は見いだせない。壁溝は見受けられない。
［出土遺物］古代土器4079.6g分、鉄製品が出土している。出土位置は、埋土中からの他、カマドや土坑１からが目立つ。
　古代土器は全て土師器で、坏（1909～1915）、甕（1916～1920）がある。坏はロクロ成形で、内面に黒色処理が施されるものは少なく、ロクロ成形のみのものが多い。1911は内外面に油煙痕が見受けられるので、灯明皿と推測する。甕は1916～1919はいずれもロクロ成形である。
　鉄製品は１点（1922）、埋土下位から出土している。完形で、刀類の縁金具である。
［時期］出土した古代土器の様相から明神下Ⅱ期に位置づけた。

2　掘立柱建物跡・柵列・柱穴

柱穴は903個検出した。分布は調査区のほぼ全域ではある（第363～366図）が、必ずしも調査区内に万遍なく広がるわけではなく、調査区の北西端、調査区西側の南寄りの範囲、調査区東側の20～25号溝跡の周辺など、柱穴が集中的に分布する範囲が見受けられた。その割に、竪穴建物跡など他の遺構との重複は少ない。

柱穴の規模や埋土などの属性については、第４表に記した。そして、これらの柱穴のうち、規則的な配置を取るものを抽出し、掘立柱建物跡40棟、柵列２条を認定した。以下、掘立柱建物跡・柵列について記す。なお、掘立柱建物跡の規模については。梁間・桁行とも柱穴の中心間で計測した。

１号掘立柱建物跡（第363・368図、写真図版98）

［位置・検出状況］調査区北西端ＩＡ４ｖ、ＩＡ４ｗ、ＩＡ５ｖ、ＩＡ５ｗグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出し、調査段階で、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴７個（Pit737～743）で構成され、Ｎ－21°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行三間の建物である。ただし南東端の柱穴が１個なく、一間×二間の可能性もある。

規模は梁間460cm×桁行680cmで、梁間寸法は一間460cmである。

［埋土の状況］いずれの柱穴も黒褐色シルトを主体とした単層で、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

２号掘立柱建物跡（第363・368図、写真図版98）

［位置・検出状況］調査区西端調査区西端ＩＢ５ｈ、ＩＢ５ｉ、ＩＢ６ｈ、ＩＢ６ｉ、ＩＢ７ｈ、ＩＢ７ｉグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出し、調査段階で、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。本遺構は１号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］柱穴８個（Pit563～569・585）で構成され、Ｎ－70°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行三間の建物である。規模は梁間410cm×桁行695cmで、梁間寸法は一間410cmである。

［埋土の状況］いずれの柱穴も黒褐色シルトを主体とした単層で、柱痕跡は見受けられない。

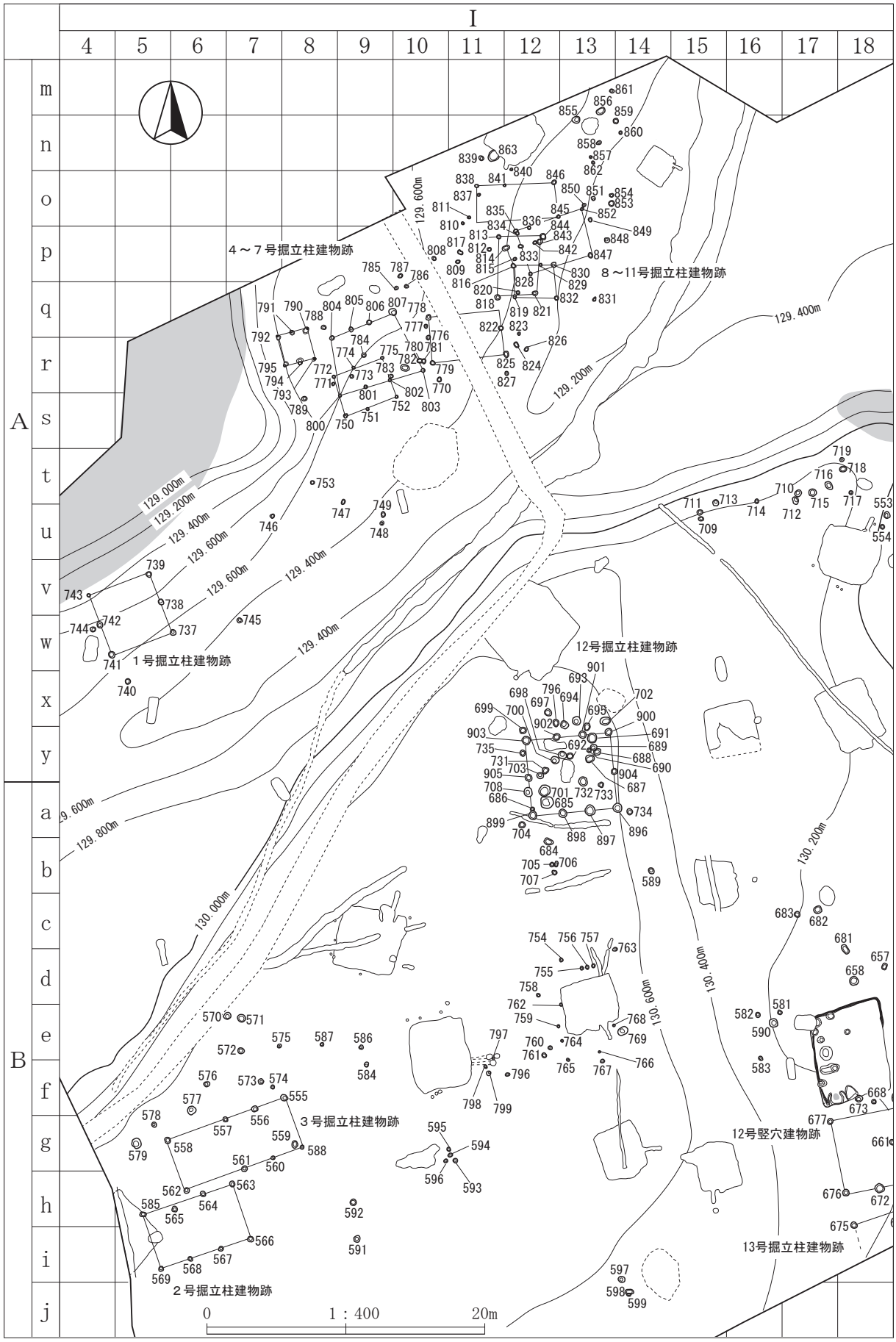
［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

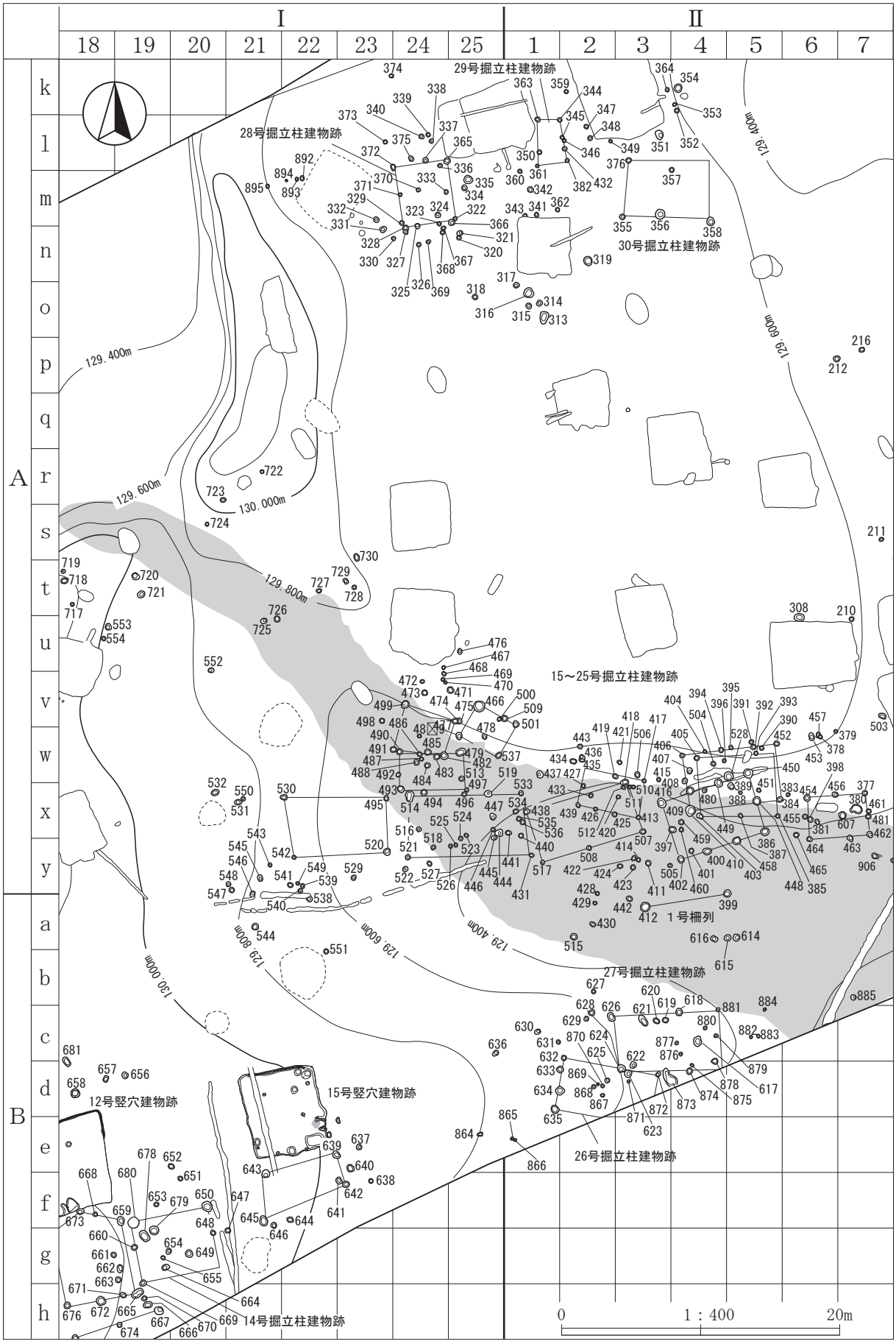
３号掘立柱建物跡（第363・369図、写真図版98）

［位置・検出状況］調査区西端ＩＢ５ｇ、ＩＢ６ｇ、ＩＢ６ｈ、ＩＢ７ｆ、ＩＢ７ｇ、ＩＢ８ｆ、ＩＢ８ｇグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出し、調査段階で、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

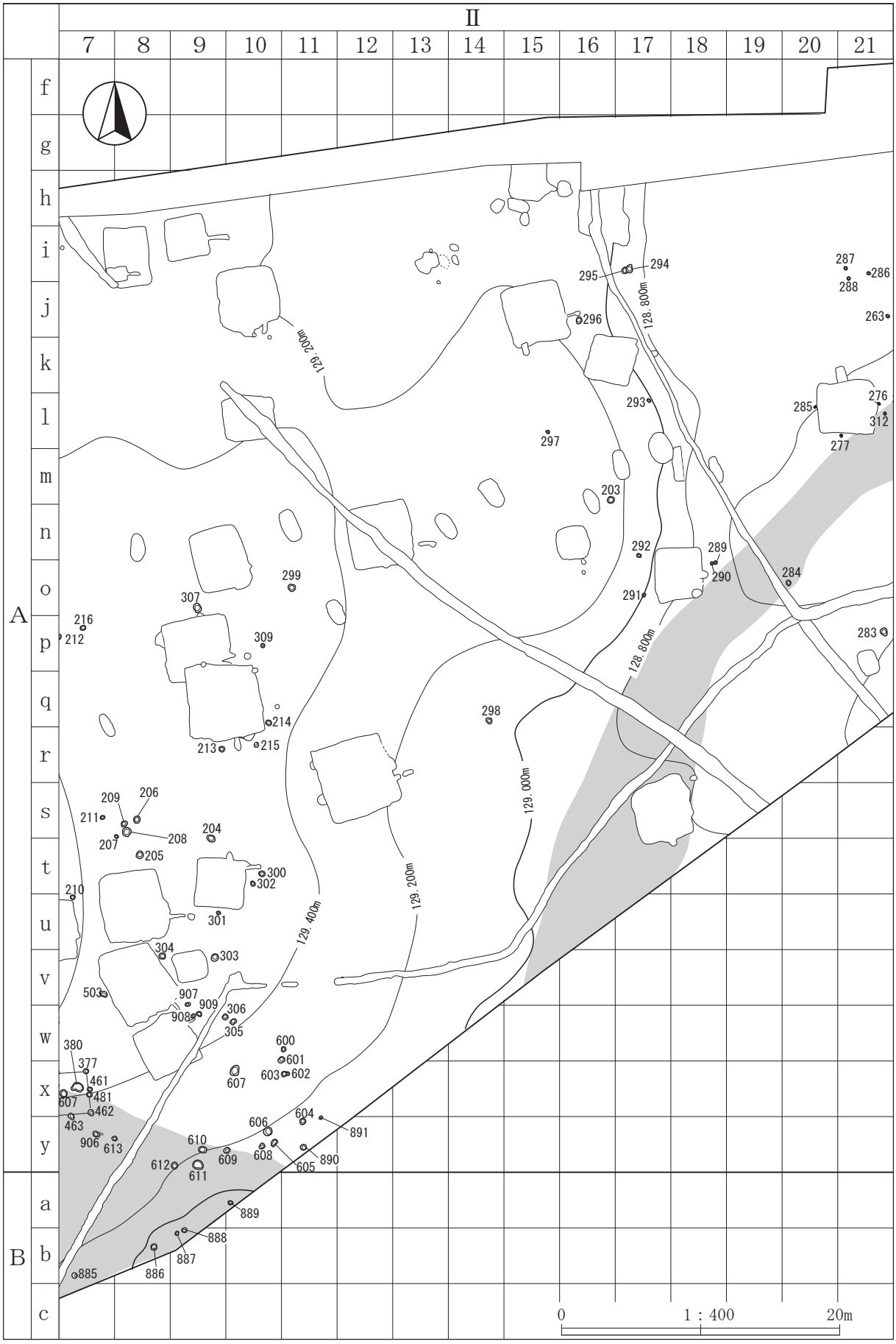
［規模・平面形］柱穴８個（Pit555～558・588・560～562）で構成され、Ｎ－70°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行三間の建物である。ただし西側のPit558・562は他より距離があるので、その間に柱穴があった可能性もあるが、確認されなかった。規模は梁間390cm×桁行890cmで、梁間寸法は一間390cmである。



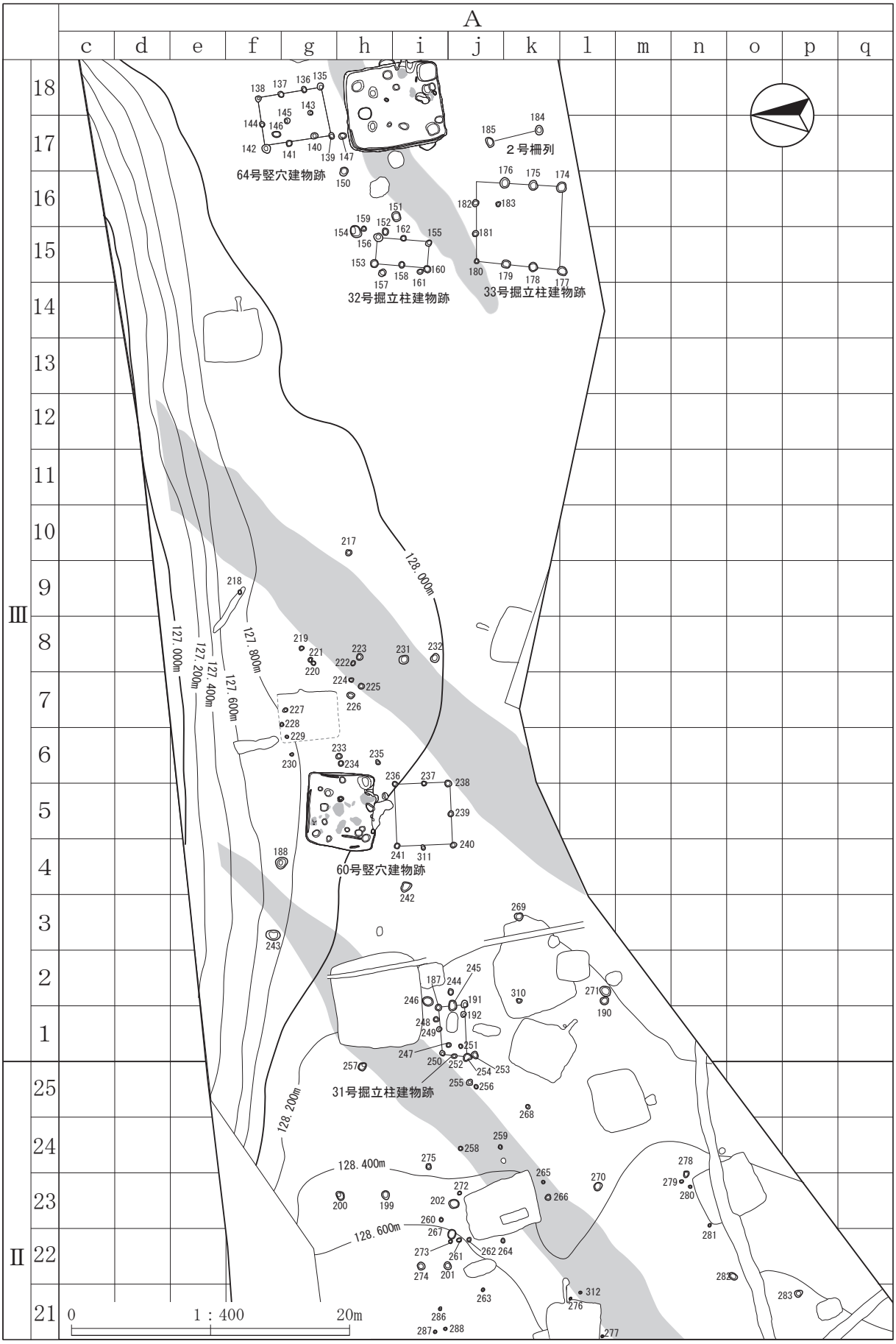
第363図　柱穴配置図1



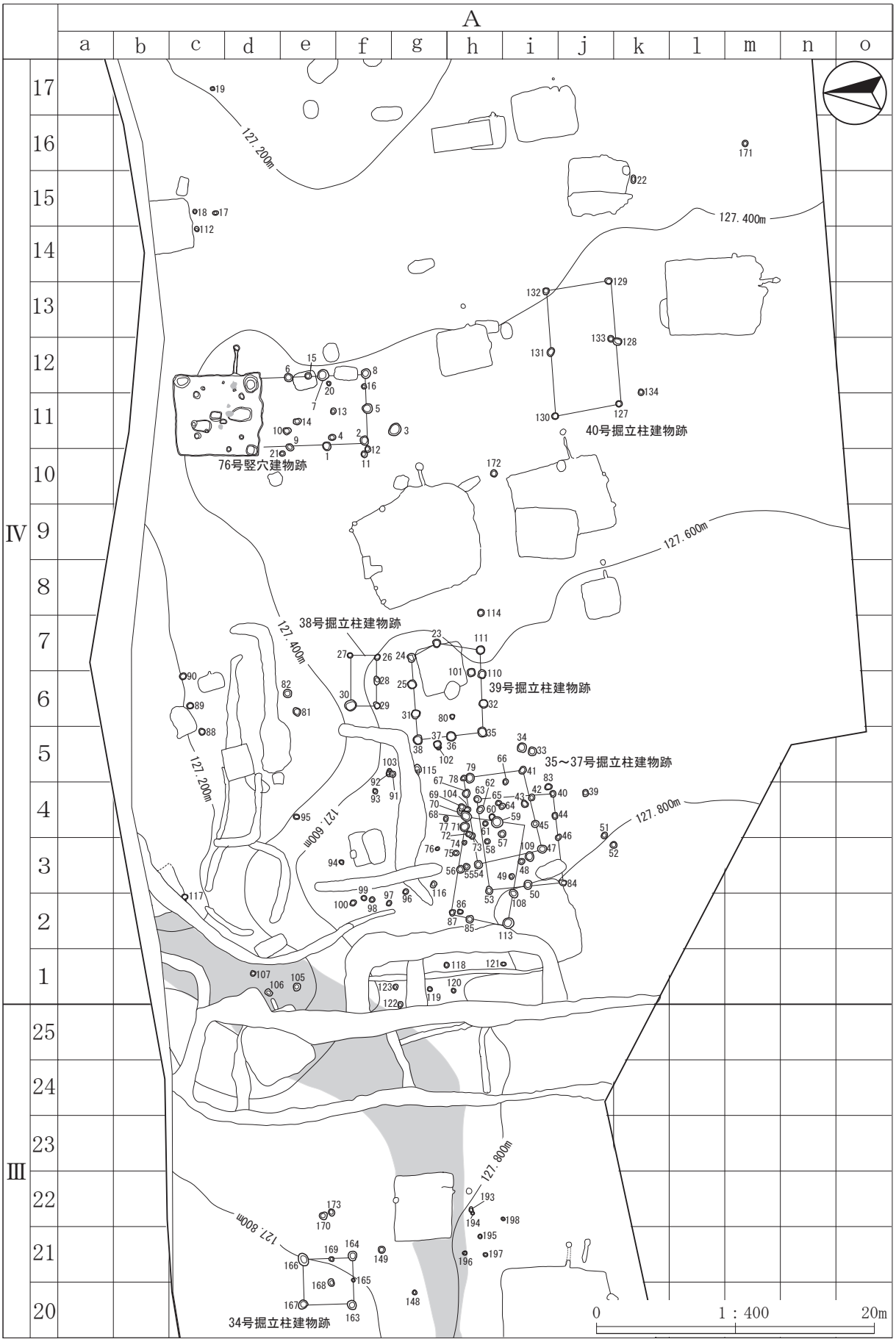
第364図　柱穴配置図2



第365図　柱穴配置図３



第366図　柱穴配置図4



第367図　柱穴配置図5

［埋土の状況］いずれの柱穴も黒褐色シルトを主体とした単層で、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

４号掘立柱建物跡（第363・369図、写真図版99）
［位置・検出状況］調査区北西端ＩＡ７q、ＩＡ７r、ＩＡ８q、ＩＡ８rグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。
［規模・平面形］柱穴６個（Pit790～795）で構成され、Ｎ－74°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物である。規模は梁間220cm×桁行225cmで、梁間寸法は一間220cmであるが、桁行寸法は一間110cmである。
［埋土の状況］全ての柱穴で柱痕跡（埋土１層）と掘り方（２層）を確認した。柱痕跡の深さは検出面から50～60cmである。一方で、掘り方は柱痕跡の上部のみで深くない。ただし掘り方の規模は柱穴よりもかなり大きい。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

５号掘立柱建物跡（第363・370図、写真図版100）
［位置・検出状況］調査区北西端ＩＡ８q、ＩＡ８r、ＩＡ９q、ＩＡ９r、ＩA10q、ＩA10rグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。また６号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。
［規模・平面形］柱穴８個（Pit800～807）で構成され、Ｎ－72°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行三間の建物であるが、やや歪である。規模は梁間465（415）cm×桁行630（490）cmで、梁間寸法は一間465（415）cmであるが、桁行寸法は一間195cmである。
［埋土の状況］Pit800・805を除き、柱痕跡（埋土１層）と掘り方（２層）を確認した。柱痕跡の深さは検出面から20～25cmである。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

６号掘立柱建物跡（第363・370図、写真図版100）
［位置・検出状況］調査区北西端ＩＡ８r、ＩＡ９r、ＩＡ９s、ＩA10sグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。５号掘立柱建物跡の南側に、別の規則的な柱穴配列を見つけ、掘立柱建物跡と判断した。また５号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。
［規模・平面形］柱穴９個（Pit750～752、772・774・775・783・800・801）で構成される。Ｎ－70°－Ｅを棟方向とする、やや歪だが、梁間二間×桁行二間の総柱建物である。規模は梁間295cm×桁行395cmで、梁間寸法は一間150cmであるが、桁行寸法は一間225（150）cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

７号掘立柱建物跡（第363・371図）

［位置・検出状況］調査区北西端ⅠA10q、ⅠA10r、ⅠA11q、ⅠA11r、ⅠA12rグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱穴配列を見つけ、掘立柱建物跡と判断した。また本遺構の中央にはカクラン（現代の水路）がある。

［規模・平面形］柱穴５個（Pit776・778・779・822・825）で構成される。N－83°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行一間の建物である。桁行方向にはカクラン（現水路）があり、柱穴が消失している可能性もある。また北東角の柱穴は見受けられなかった。規模は梁間335cm×桁行535cmで、梁間寸法は一間335cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

８号掘立柱建物跡（第363・371図）

［位置・検出状況］調査区北西端ⅠA12o、ⅠA12p、ⅠA13o、ⅠA13pグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱穴配列を見つけ、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴８個（Pit828・830・833・835（834）・836・845・847・852）で構成される。N－70°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物であるが東側の梁間は、歪である。また北側の桁行は三間だが、南側の桁行は二間である。規模は梁間325cm×桁行500（450）cmで、梁間寸法は一間215（110）cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

９号掘立柱建物跡（第363・372図）

［位置・検出状況］調査区北西端ⅠA11o、ⅠA12oグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱穴配列を見つけ、掘立柱建物跡と判断した。本遺構は10・11号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴４個（Pit838・841・845・846）で構成される。N－87°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物であるが、南側の桁行は柱穴１個（Pit845）のみしか確認できなかった。規模は梁間250cm×桁行560cmで、梁間寸法は一間250cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

10号掘立柱建物跡（第363・372図）

［位置・検出状況］調査区北西端ⅠA11p、ⅠA11q、ⅠA12p、ⅠA12qグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱穴配列を見つけ、掘立柱建物跡と判断した。本遺構は９・11号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴６個（Pit813・818・819・821・834・844）で構成される。なおPit819は11号掘立柱建物跡の柱穴でもある。N－２°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行一間の建物で、北側の梁間がやや北側へ張り出す。規模は梁間310cm×桁行440cmで、梁間寸法は一間130cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

11号掘立柱建物跡（第363・373図）

［位置・検出状況］調査区北西端ⅠA11p、ⅠA11qグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱穴配列を見つけ、掘立柱建物跡と判断した。本遺構は９・10号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴５個（Pit816・819・829・830・832）で構成される。なお、Pit819は10号掘立柱建物跡の柱穴でもある。N－90°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物で、南側の桁行は柱穴が１個見受けられなかった。規模は梁間235cm×桁行395cmで、梁間寸法は一間235cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

12号掘立柱建物跡（第363・373図、写真図版99）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠA12y、ⅠA13y、ⅠB12a、ⅠA13a、ⅠA14aグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。なお遺構上部は、後世の削平で消失している可能性が高い。

12号・13号土坑、３号溝跡と重複し、本遺構は３号溝跡よりは新しいことが分かったが12号・13号土坑との新旧関係は不明。また周辺に多数の柱穴が点在する。

［規模・平面形］柱穴10個（Pit896～905）で構成される。N－83°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物である。規模は梁間550cm×桁行620cmで、梁間寸法は一間275cmである。

［埋土の状況］削平により残りは悪いが、桁行の柱穴７個（Pit896～899・901～903）で、柱痕跡を確認した。また掘り方は柱穴の片側のみしか確認されなかった。Pit902の埋土中からはTo-aテフラを確認した。

［出土遺物］Pit899とPit901の埋土中から土師器片（1946・1948）が出土している。1946は甕の底部片でロクロ成形で、内面にはわずかにナデ成形が残る。1948は甕の口縁部片で、非ロクロ成形である。

［時期］柱穴から出土した古代土器の年代から平安時代（明神下Ⅱ期？）と判断した。

13号掘立柱建物跡（第363・374図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠB18h、ⅠB18i、ⅠB19hグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置一列を確認した。柵列の可能性もあるが、検出状況と他の柱穴の分布からみて掘立柱建物跡と判断した。また本遺構は南側が調査区外であり、そちらに遺構が延びている可能性が高い。

［規模・平面形］柱穴３個（Pit667・674・675）で構成される。この３個を桁行として、N－70°－Eを棟方向とする建物であろうと推測する。梁間不明、桁行は二間である。規模は梁間不明、桁行645cmで、桁間寸法は一間315cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

14号掘立柱建物跡（第364・374図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠB19f、ⅠB19g、ⅠB20f、ⅠB20gグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴５個（Pit648・650・660・669・680）で構成される。N－78°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行一間の建物である。ただし南東端の柱穴は見受けられなかった。規模は梁間450cm×桁行545cmで、梁間寸法は一間250（200）cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

15号掘立柱建物跡（第364・375図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠA22x、ⅠA22y、ⅠA23x、ⅠA23yグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴４個（Pit495・520・530・542）で構成される。N－90°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行一間の建物で、西側の梁間がやや歪である。規模は梁間440（380）cm×桁行740（680）cmで、梁間寸法は一間440（380）cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

16号掘立柱建物跡（第364・375図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠA23w、ⅠA24v、ⅠA24wグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。また18号掘立柱建物跡と重複するが新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴４個（Pit474・482・491・499）で構成される。N－19°－Wを棟方向とす

る、梁間一間×桁行一間の建物で、南側の桁行がやや歪である。規模は梁間325（220）cm×桁行385cmで、梁間寸法は一間325（220）cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

17号掘立柱建物跡（第364・375図）
［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠA25v、ⅠA25w、ⅡA1vグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。
［規模・平面形］柱穴4個（Pit466・477・501・537）で構成される。N－28°－Wを棟方向とする、梁間一間×桁行一間の建物である。規模は梁間270cm×桁行300cmで、梁間寸法は一間270cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

18号掘立柱建物跡（第364・376図）
［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠA24w、ⅠA24x、ⅠA25w、ⅠA25xグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）上で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。また本遺構は16号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。
［規模・平面形］柱穴7個（Pit479・485・486・492～494・497）で構成される。N－90°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行二間の建物である。規模は梁間270cm×桁行450cmで、梁間寸法は一間165（105）cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

19号掘立柱建物跡（第364・376図）
［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅠA24x、ⅠA24y、ⅠA25x、ⅠA25y、ⅡA1x、ⅡA1yグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。
［規模・平面形］柱穴6個（Pit431・496・514・519・521・533）で構成される。N－90°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行三間の建物と推測したが、東側の梁間はやや歪で、また南側の桁行の柱穴が2個確認できなかった。規模は梁間440cm×桁行890（800）cmで、梁間寸法は一間440cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

20号掘立柱建物跡（第364・377図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅡＡ１x、ⅡＡ１y、ⅡＡ２x、ⅡＡ２y、ⅡＡ３w、ⅡＡ３xグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）上で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。また21号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴５個（Pit418・438・507・508・517）で構成される。Ｎ－72°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物であるが、北側の桁行は、間の柱穴１個が確認できなかった。規模は梁間385cm×桁行760cmで、梁間寸法は一間385cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

21号掘立柱建物跡（第364・377図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅡＡ２w、ⅡＡ２x、ⅡＡ３w、ⅡＡ３xグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。また20号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴７個（Pit413・417・419・425～427・439）で構成される。Ｎ－78°－Ｗを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物であるが、西側の梁間は北端の柱穴がなく、また北側の桁行は、間の柱穴１個が見受けられなかった。規模は梁間265cm×桁行440cmで、梁間寸法は一間140cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

22号掘立柱建物跡（第364・378図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅡＡ４w、ⅡＡ４x、ⅡＡ５w、ⅡＡ５xグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）上とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。13号溝跡と重複し、本遺構の方が古い。また23号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴７個（Pit384・392・394・406・408・410・452）で構成される。Ｎ－83°－Ｅを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物であるが、東側の梁間は間の柱穴１個がなく、また南側の桁行も、間の柱穴２個が見受けられなかった。規模は梁間405cm×桁行645cmで、梁間寸法は一間215（190）cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

23号掘立柱建物跡（第377図）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅡＡ４w、ⅡＡ４x、ⅡＡ５w、ⅡＡ５xグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）上とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。13号溝跡と重複し、本遺構の方が古い。また21号土坑、23号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴４個（Pit385・402・403・405）で構成される。Ｎ－90°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物であるが、北側の桁行は、東端の柱穴１個のみしか確認できなかった。規模は梁間415cm×桁行555cmで、梁間寸法は一間415cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

24号掘立柱建物跡（第364・379図）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡＡ３x、ⅡＡ４x、ⅡＡ４y、ⅡＡ５w、ⅡＡ５xグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。13号溝跡と重複しており、本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］柱穴10個（Pit386・397・400・402・409・416・448～450・458）で構成される。Ｎ－71°－Ｅを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物である。規模は梁間435cm×桁行630cmで、梁間寸法は一間210cmである。

［埋土の状況］柱穴の埋土は２～３層で、黒褐色シルトを主体とする。柱痕跡はPit386・449・450でのみ確認した。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

25号掘立柱建物跡（第364・379図）

［位置・検出状況］調査区中央ⅡＡ６x、ⅡＡ６y、ⅡＡ７x、ⅡＡ７yグリッドに位置する。河道跡（Ⅵ層）とⅦ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴８個（Pit377・398・454・456・462～464・481）で構成される。なおPit455・461は梁間の柱の建て替えの可能性がある。Ｎ－85°－Ｅを棟方向とする、梁間二間×桁行二間の建物である。規模は梁間300cm×桁行435cmで、梁間寸法は一間150cmである。

［埋土の状況］Pit461・481を除き、柱痕跡を確認した。深さは25～50cmである。掘り方は比較的狭い。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

26号掘立柱建物跡（第364・380図、写真図版100）

［位置・検出状況］調査区西側の南端ⅡＢ１d、ⅡＢ２c、ⅡＢ２d、ⅡＢ３dグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。27号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。また本遺構は南東側が調査区外に及ぶものと推測する。

［規模・平面形］柱穴６個（Pit624・632～635・872）で構成される。Ｎ－80°－Ｗを棟方向とする、梁間三間×桁行二間の建物である。規模は梁間375cm×桁行690cmで、梁間寸法は一間150（100）cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

27号掘立柱建物跡（第364・380図、写真図版100）

［位置・検出状況］調査区西側の南端ⅡＢ２c、ⅡＢ３c、ⅡＢ３d、ⅡＢ４c、ⅡＢ４dグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。26号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。また本遺構は南東端が調査区外に及ぶものと推測する。

［規模・平面形］柱穴６個（Pit617・624・626・879・874・881）で構成される。Ｎ－89°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物であるが、南側の桁行は、東端の柱穴が調査区外に及ぶ。規模は梁間390cm×桁行725cmで、梁間寸法は一間390cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

28号掘立柱建物跡（第364・381図、写真図版100）

［位置・検出状況］調査区西側の北側ＩA24l、ＩA24m、ＩA24n、ＩA25l、ＩA25mグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。20号竪穴建物跡と近接しているが重複関係にはない。また両者は関連がある可能性も考えられる。

［規模・平面形］柱穴９個（Pit323・325・328・333・337・365・366・371・372）で構成される。Ｎ－９°－Ｅを棟方向とする、梁間三間×桁行二間の建物であるが、北側の桁行は、柱穴が１個確認できなかった。規模は梁間390cm×桁行450cmで、梁間寸法は一間150（90）cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］また出土遺物がないため、不明瞭であるが、20号竪穴建物跡と関連があるならば、同時期（明神下Ⅱ期）に帰属すると推測する。

29号掘立柱建物跡（第364・381図）

［位置・検出状況］調査区西側の北端ⅡＡ1l、ⅡＡ2lグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。20号・21号竪穴建物跡と近接しているが重複関係にはない。ただし、特に20号竪穴建物跡と近く、両者は関連がある可能性が高い。

［規模・平面形］柱穴６個（Pit344・350・361・363・382・432）で構成される。N－90°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物であるが、東側の桁行がやや歪である。

規模は梁間220（160）cm×桁行335（295）cmで、梁間寸法は一間220（160）cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］また出土遺物がないため、不明瞭であるが、20号竪穴建物跡と関連があるならば、同時期（明神下Ⅱ期）に帰属すると推測する。

30号掘立柱建物跡（第364・382図）

［位置・検出状況］調査区西側の北側ⅡＡ3l、ⅡＡ3m、ⅡＡ4l、ⅡＡ4mグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴４個（Pit355・356・358・376）で構成される。N－89°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物であるが、北側の桁行は、西端の柱穴１個のみしか確認できなかった。規模は梁間410cm×桁行635cmで、梁間寸法は一間410cmである。

埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

31号掘立柱建物跡（第366・382図）

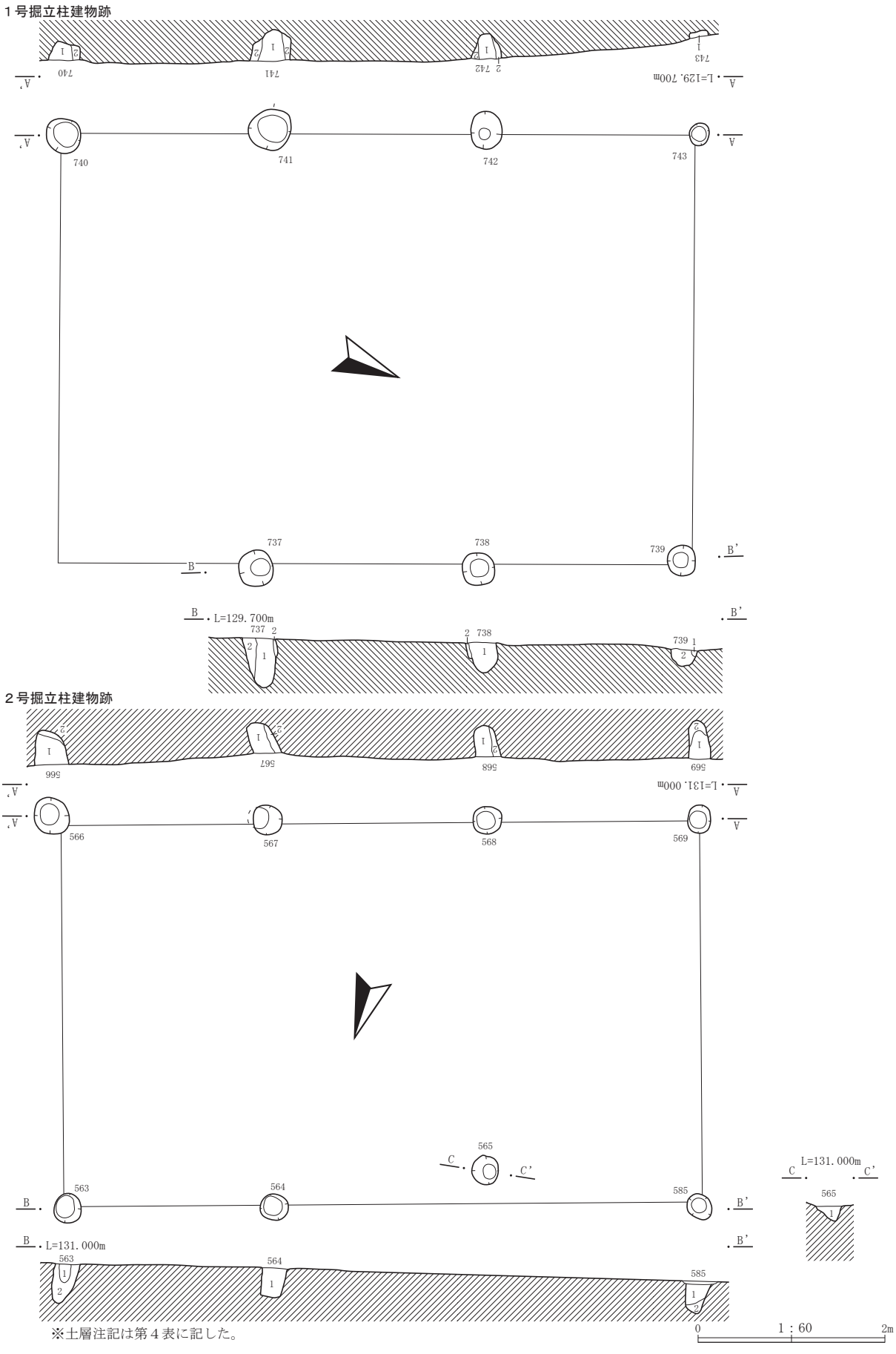
［位置・検出状況］調査区中央ⅢＡ1i、ⅢＡ1jグリッドに位置する。Ⅶ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

57号竪穴建物跡と近接し、本遺構と合わせて、竪穴・掘立柱併用建物跡の可能性もあるが、他の竪穴・掘立柱併用建物跡と比べ、掘立柱建物跡が小さいので、単体の掘立柱建物跡と判断した。また30号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

［規模・平面形］柱穴８個（Pit187・191・192・245・247・250・252・254）で構成される。N－84°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行二間の建物であるが、北側の桁行の柱穴（Pit192・247）は東側の梁間に寄っている。規模は梁間185cm×桁行325cmで、梁間寸法は一間180cmである。

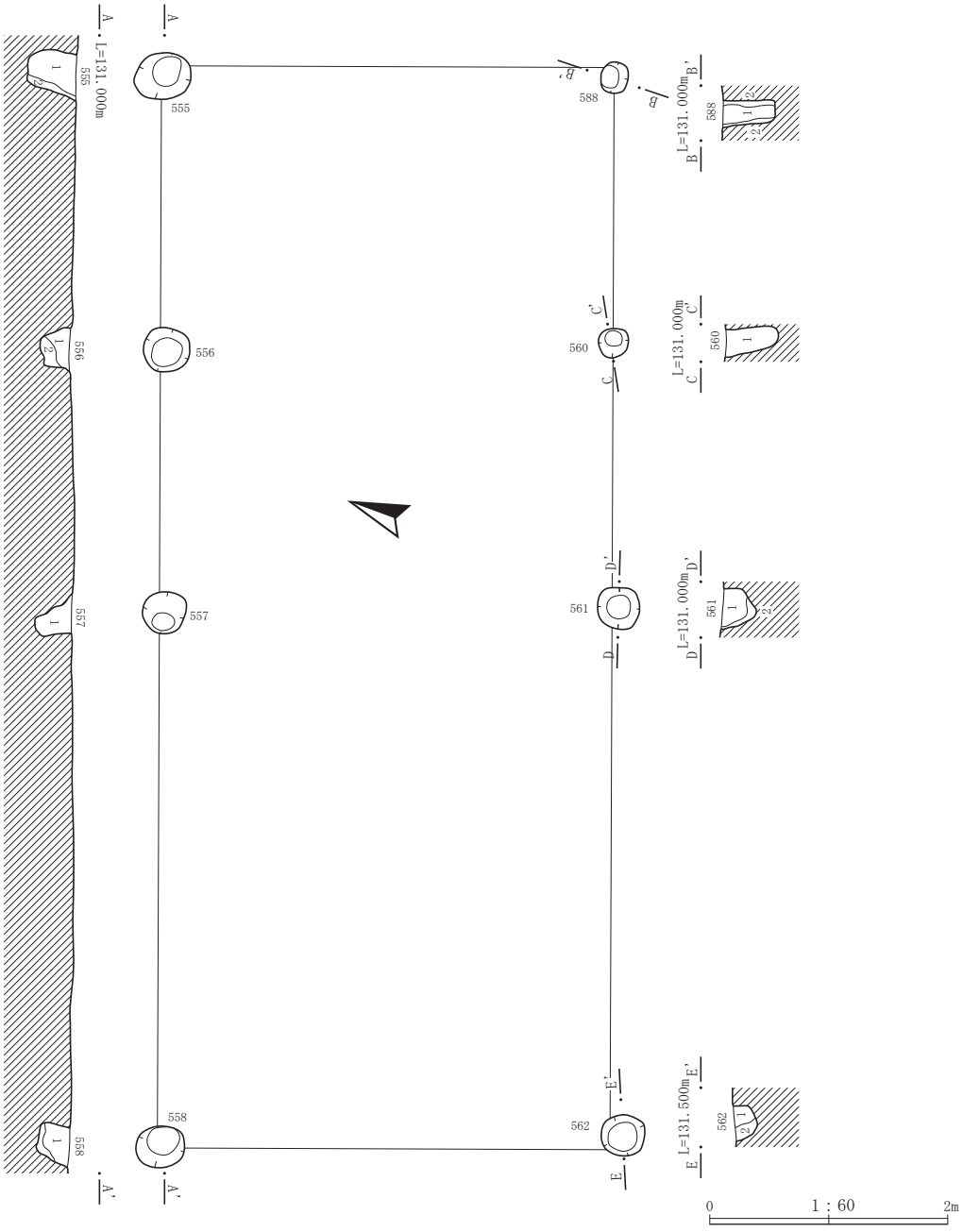
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

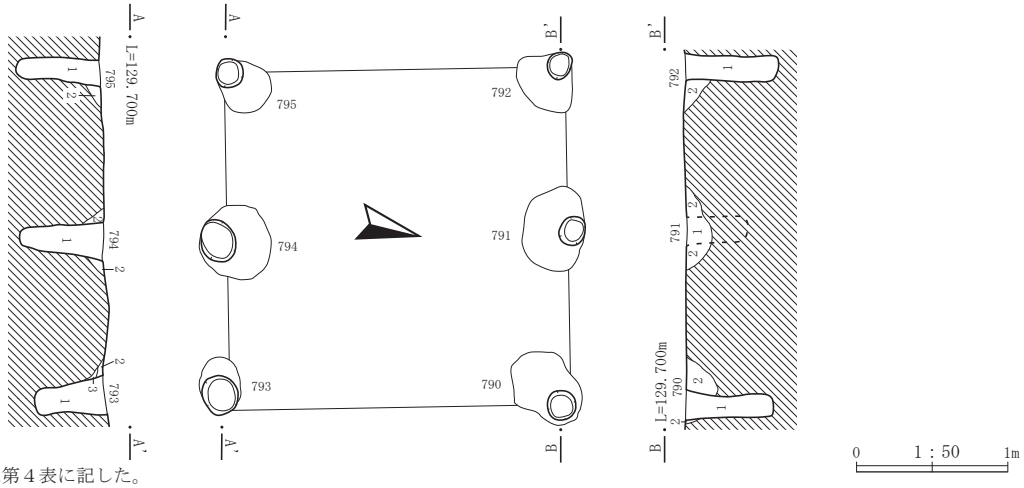


第368図　１・２号掘立柱建物跡

3号掘立柱建物跡



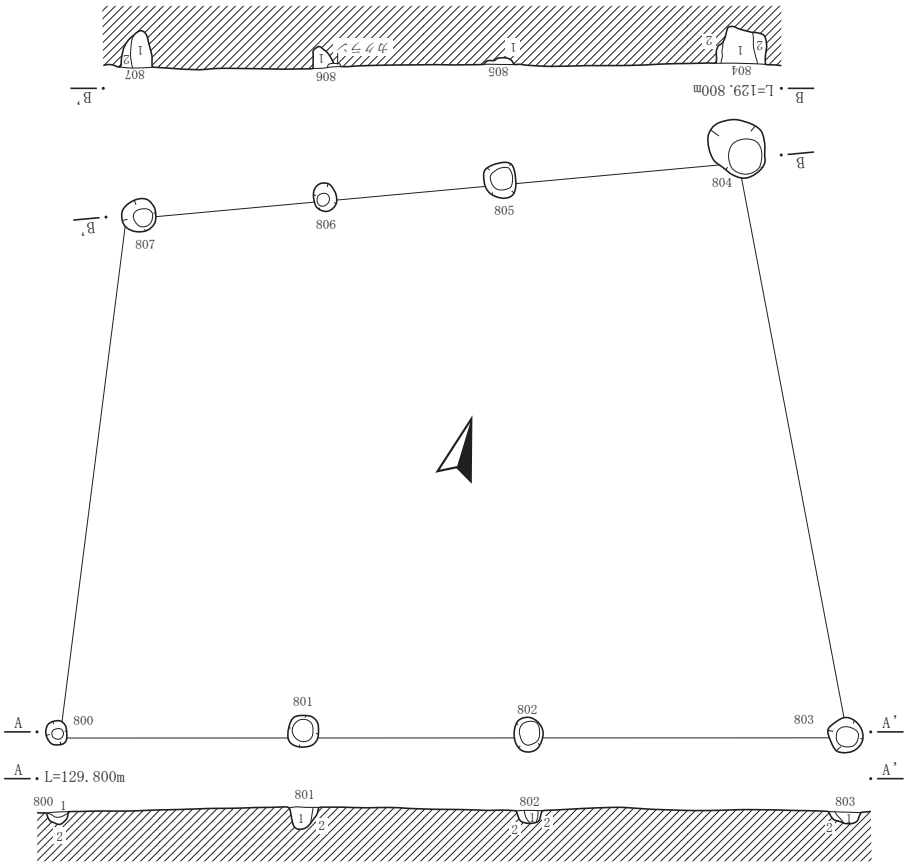
4号掘立柱建物跡



※土層注記は第４表に記した。

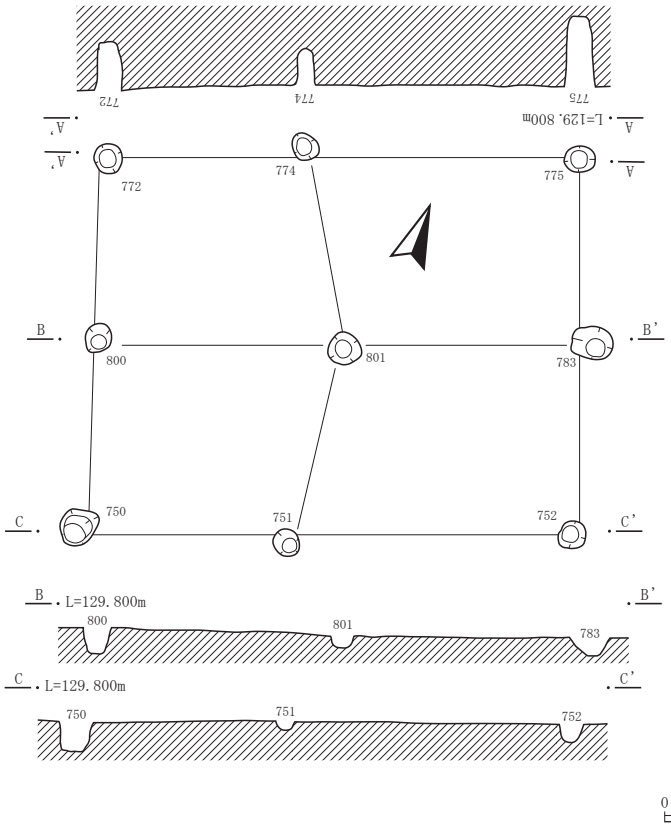
第369図　３・４号掘立柱建物跡

５号掘立柱建物跡



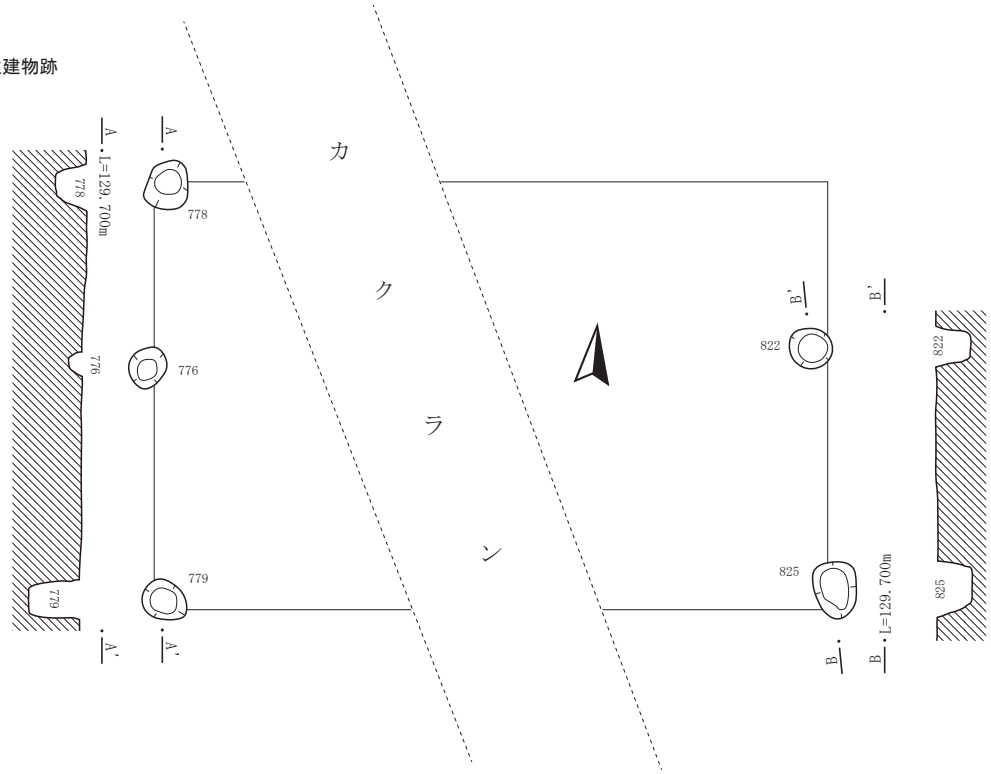
※土層注記は第４表に記した。

６号掘立柱建物跡

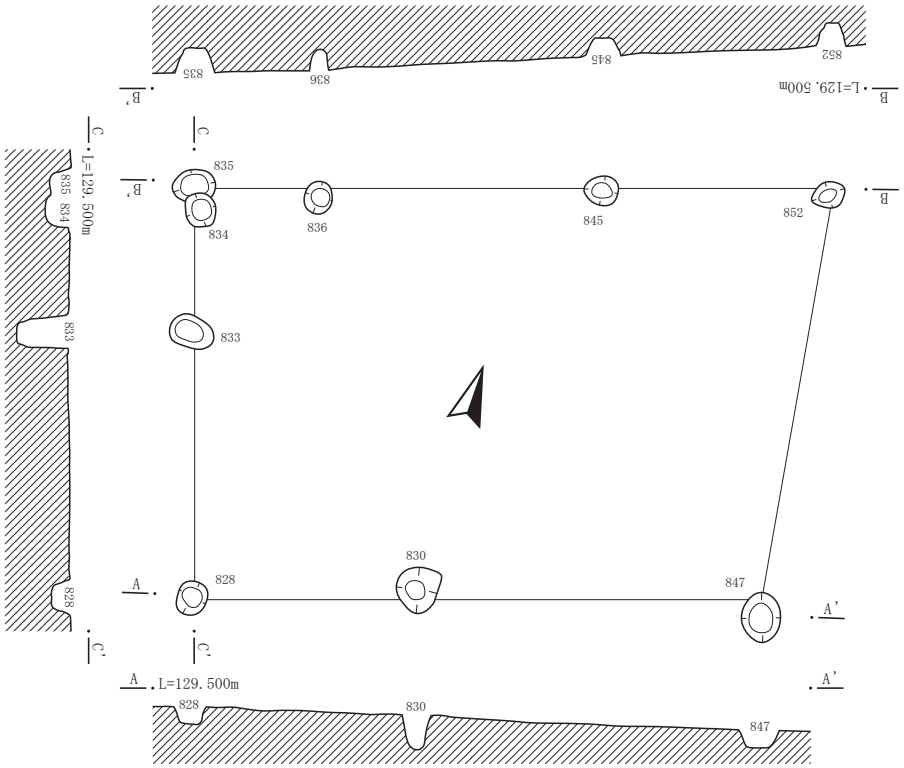


第370図　５・６号掘立柱建物跡

7号掘立柱建物跡



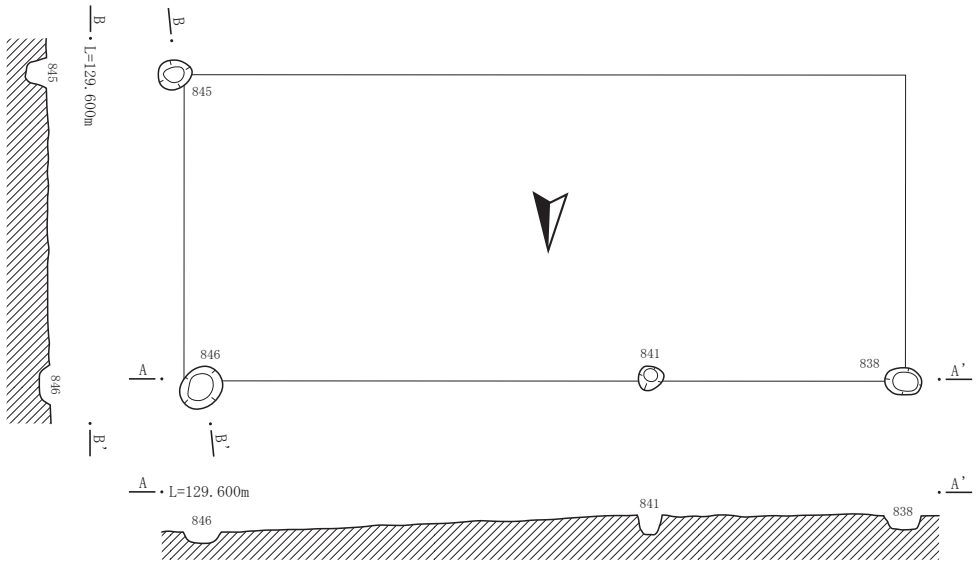
8号掘立柱建物跡



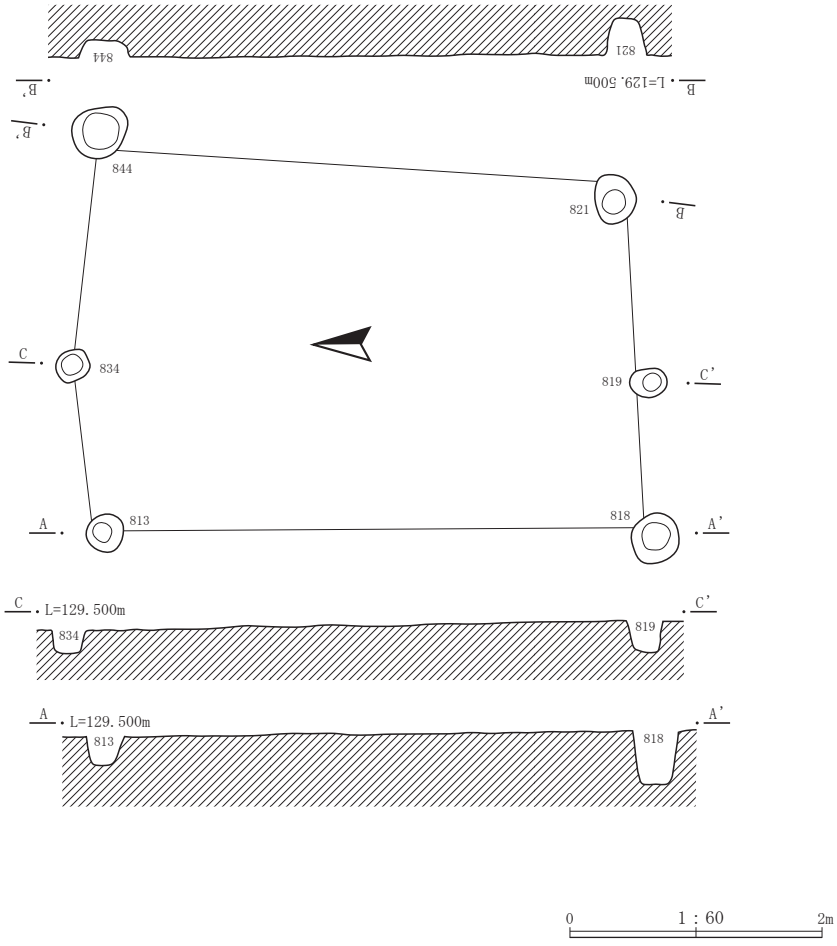
0　1：60　2m

第371図　7・8号掘立柱建物跡

9号掘立柱建物跡

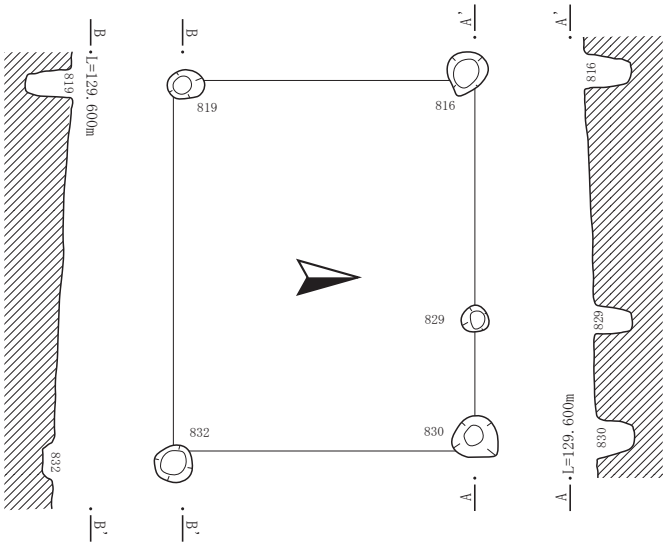


10号掘立柱建物跡

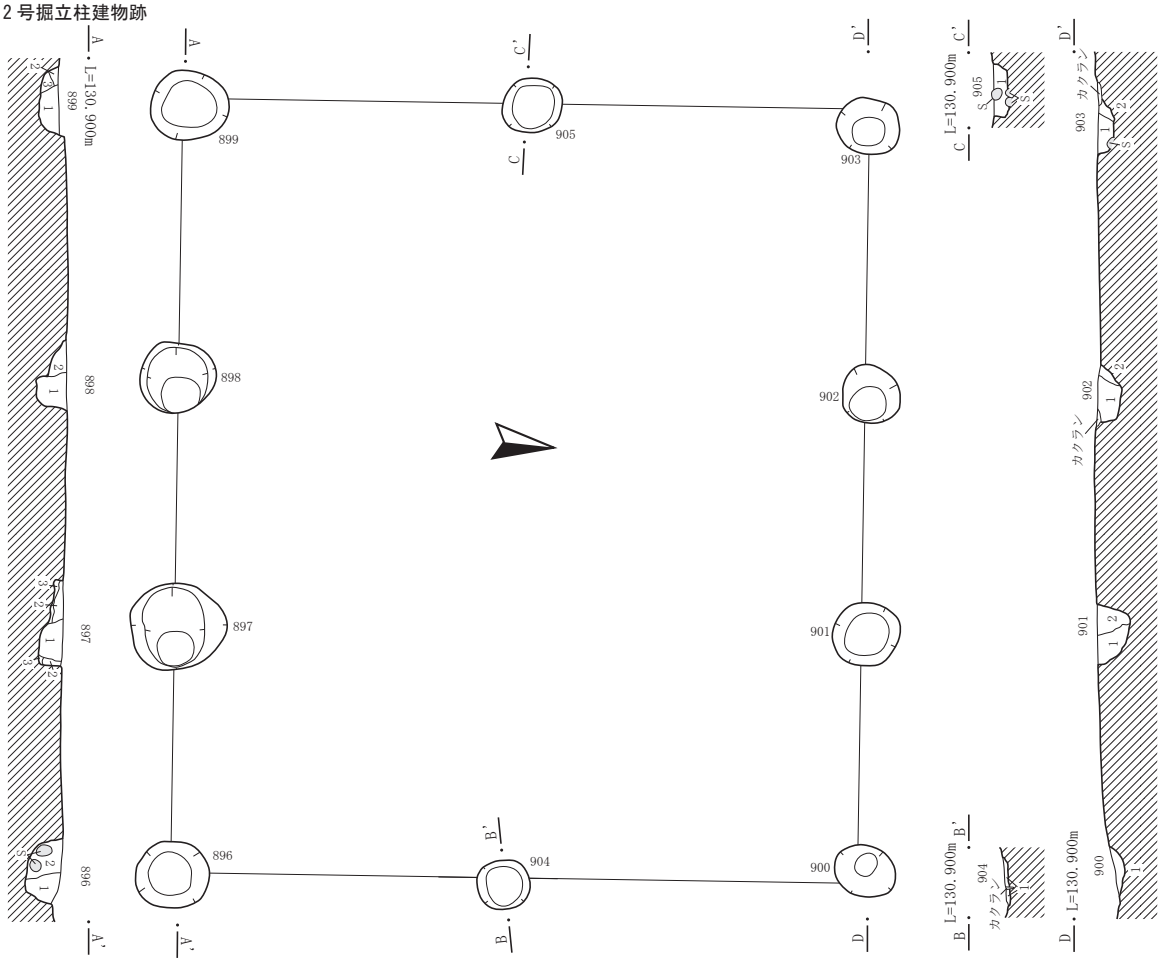


第372図　9・10号掘立柱建物跡

11 号掘立柱建物跡



12 号掘立柱建物跡

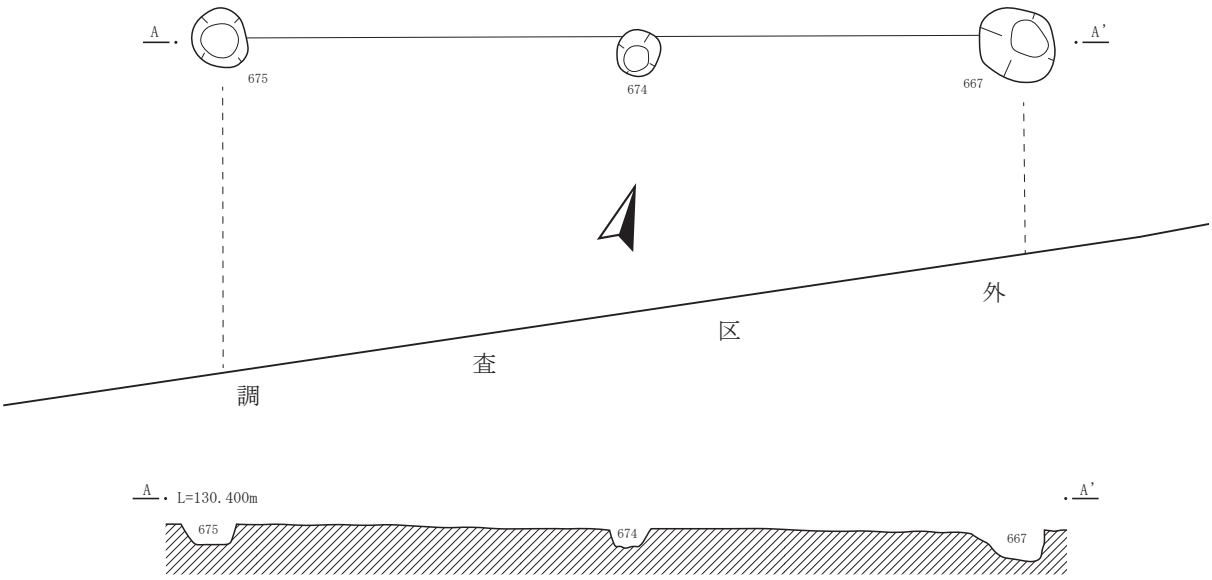


※土層注記は第 4 表に記した。

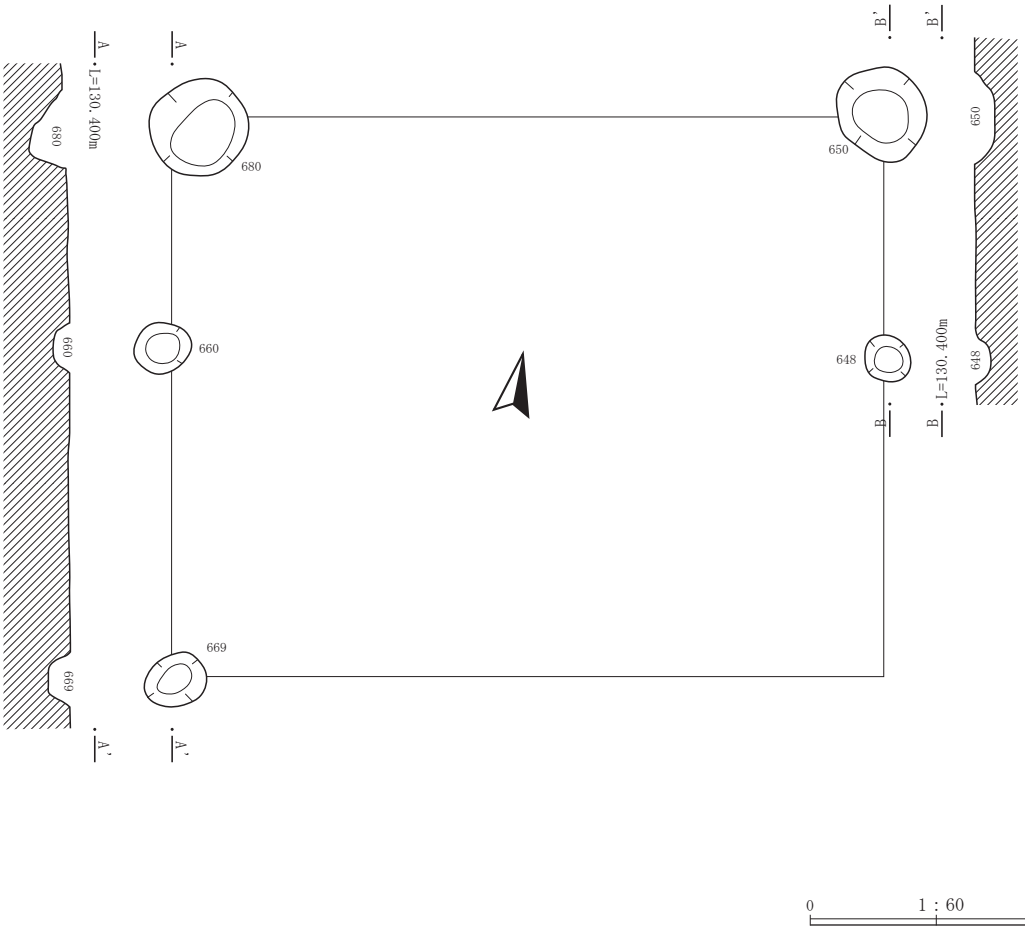
0　1：60　2m

第373図　11・12号掘立柱建物跡

13 号掘立柱建物跡

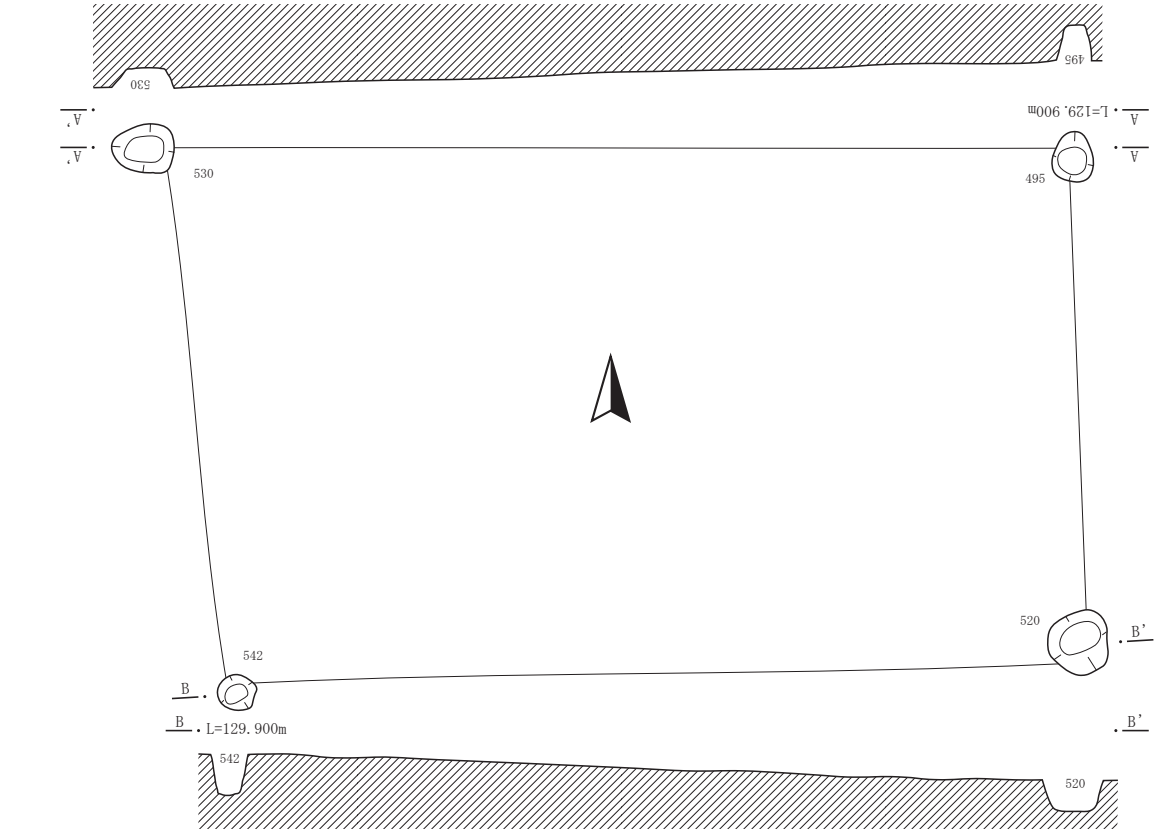


14 号掘立柱建物跡

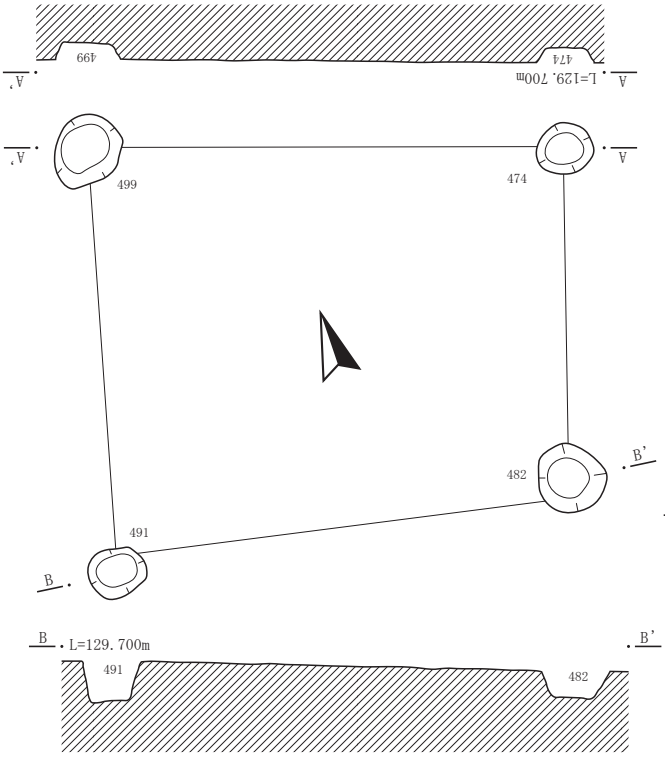


第374図　13・14号掘立柱建物跡

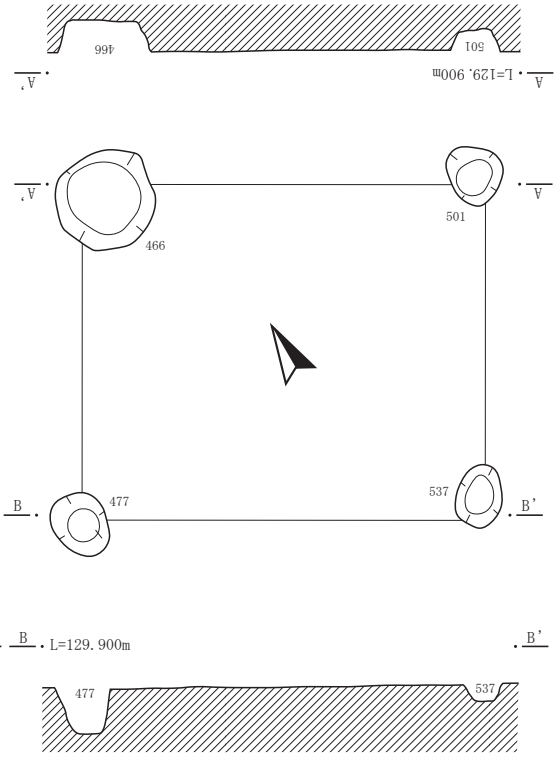
15 号掘立柱建物跡

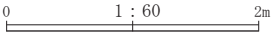


16 号掘立柱建物跡



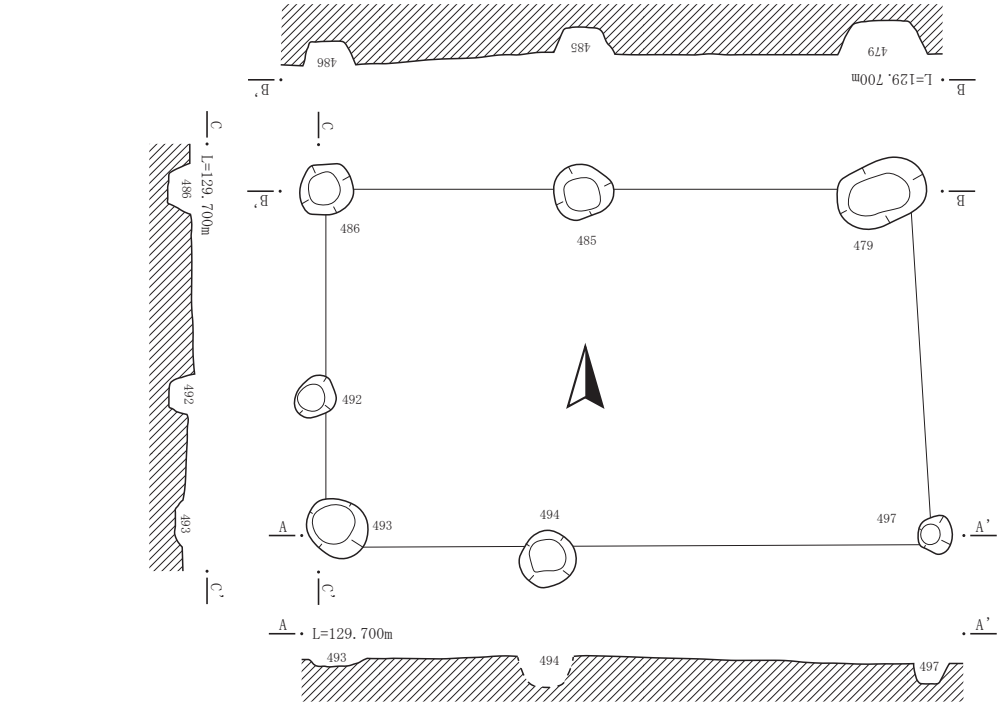
17 号掘立柱建物跡



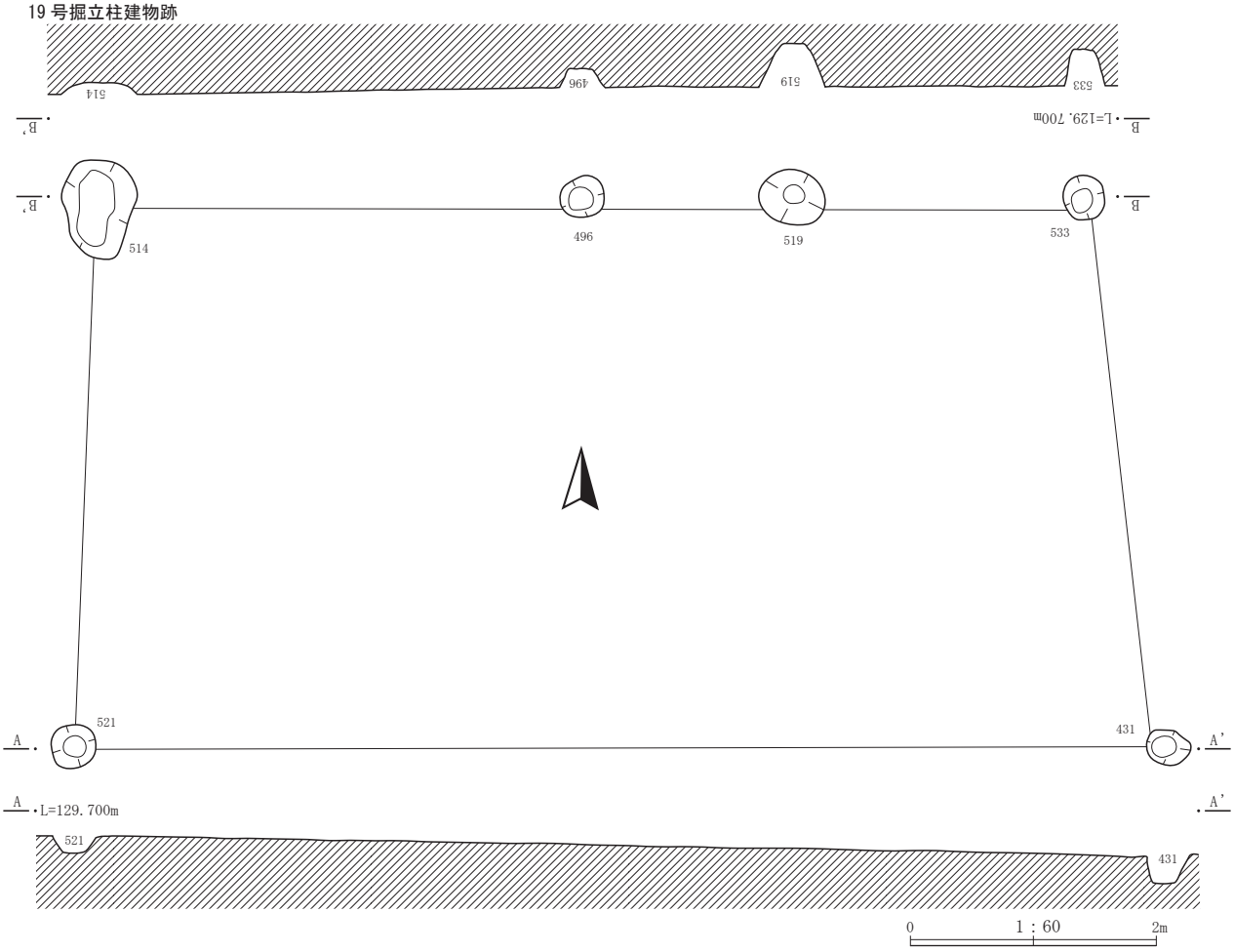


第375図　15 ～ 17号掘立柱建物跡

18 号掘立柱建物跡

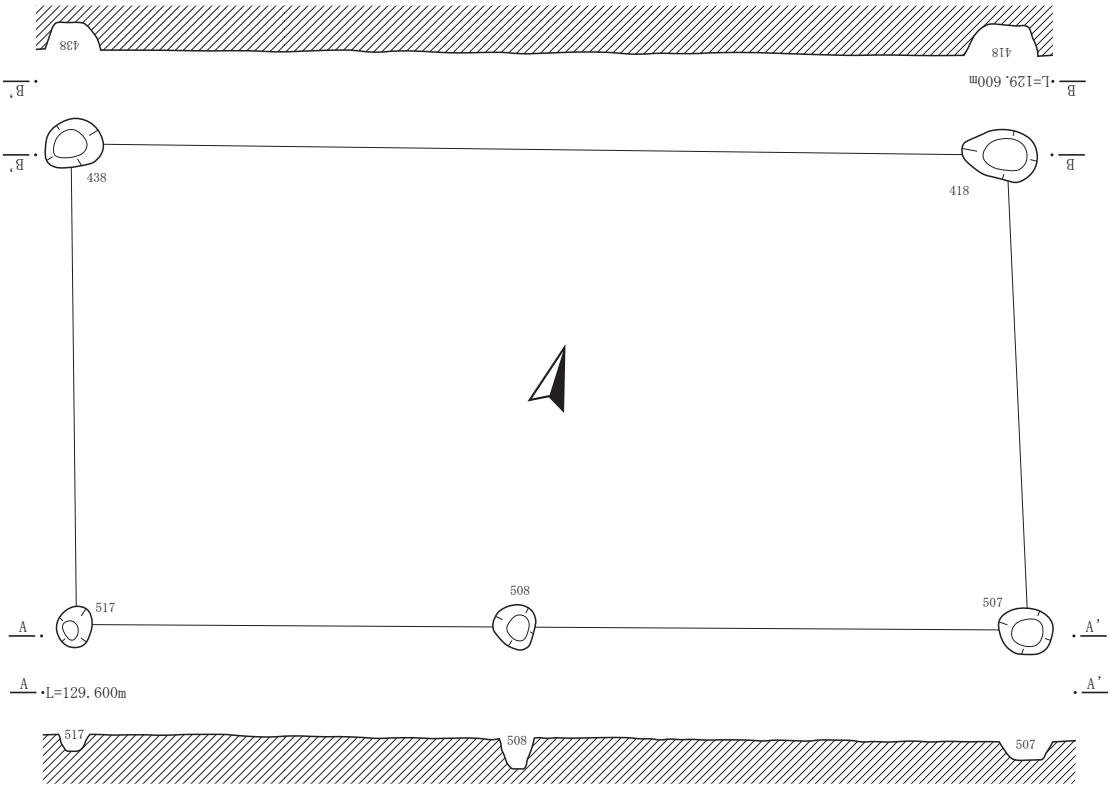


19 号掘立柱建物跡

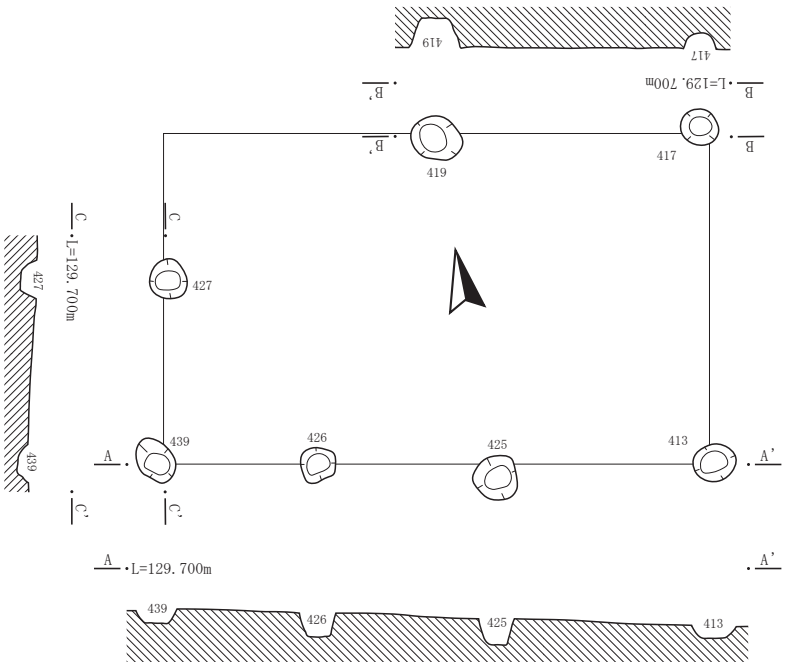


第376図　18・19号掘立柱建物跡

20 号掘立柱建物跡



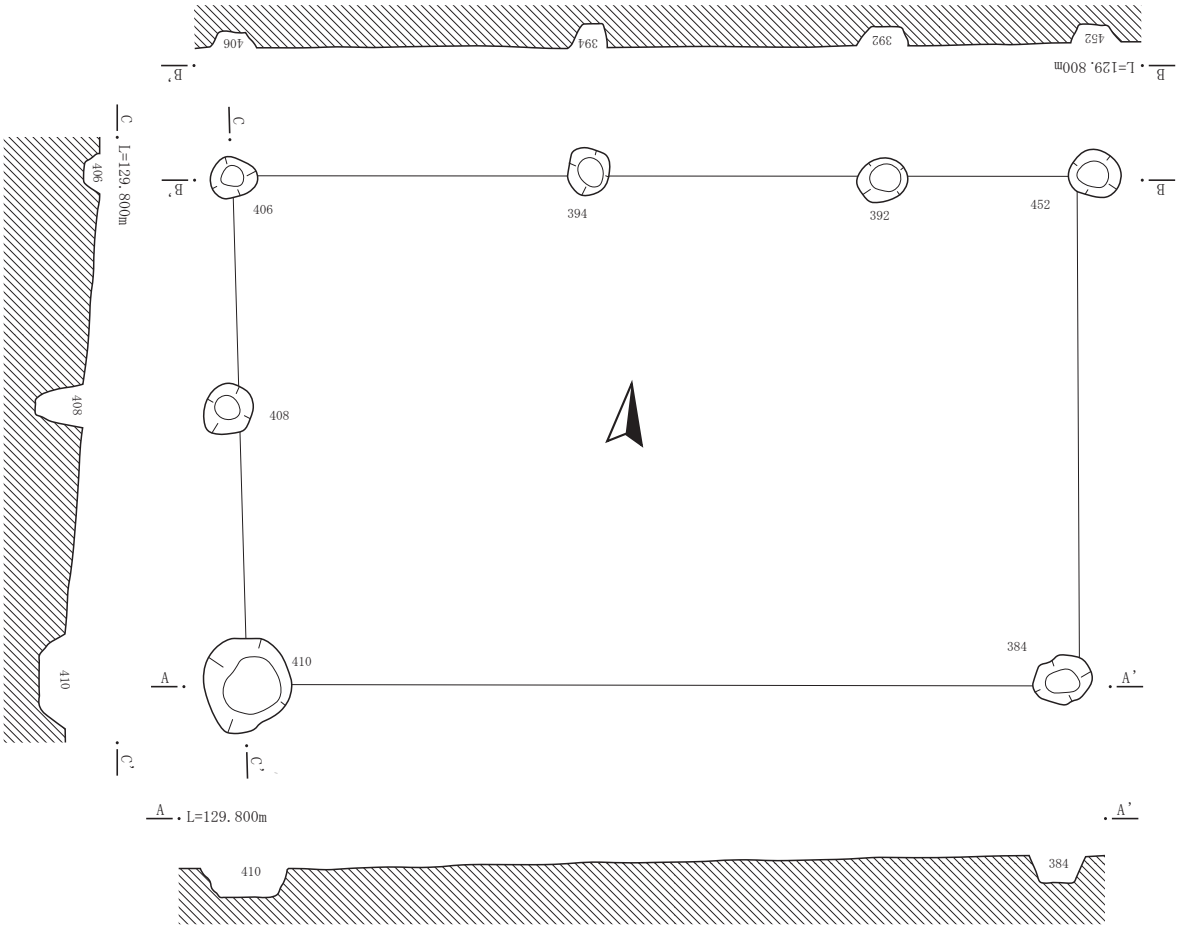
21 号掘立柱建物跡



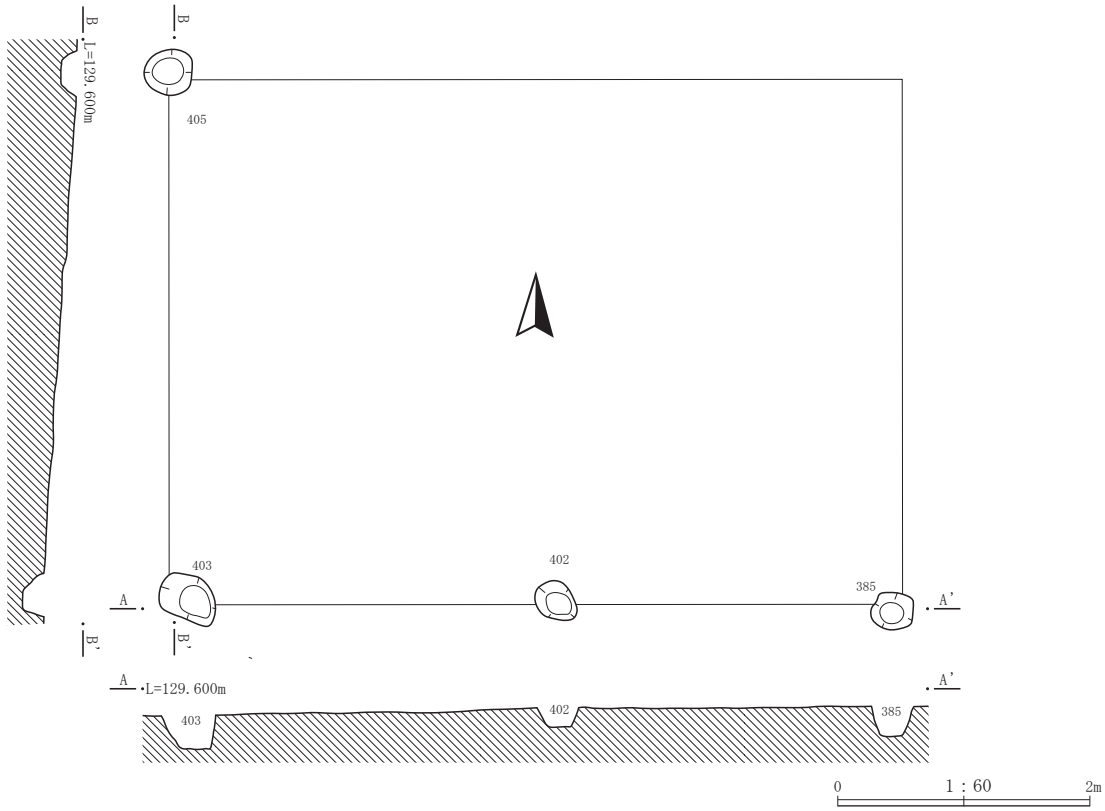
0　1：60　2m

第377図　20・21号掘立柱建物跡

22 号掘立柱建物跡】

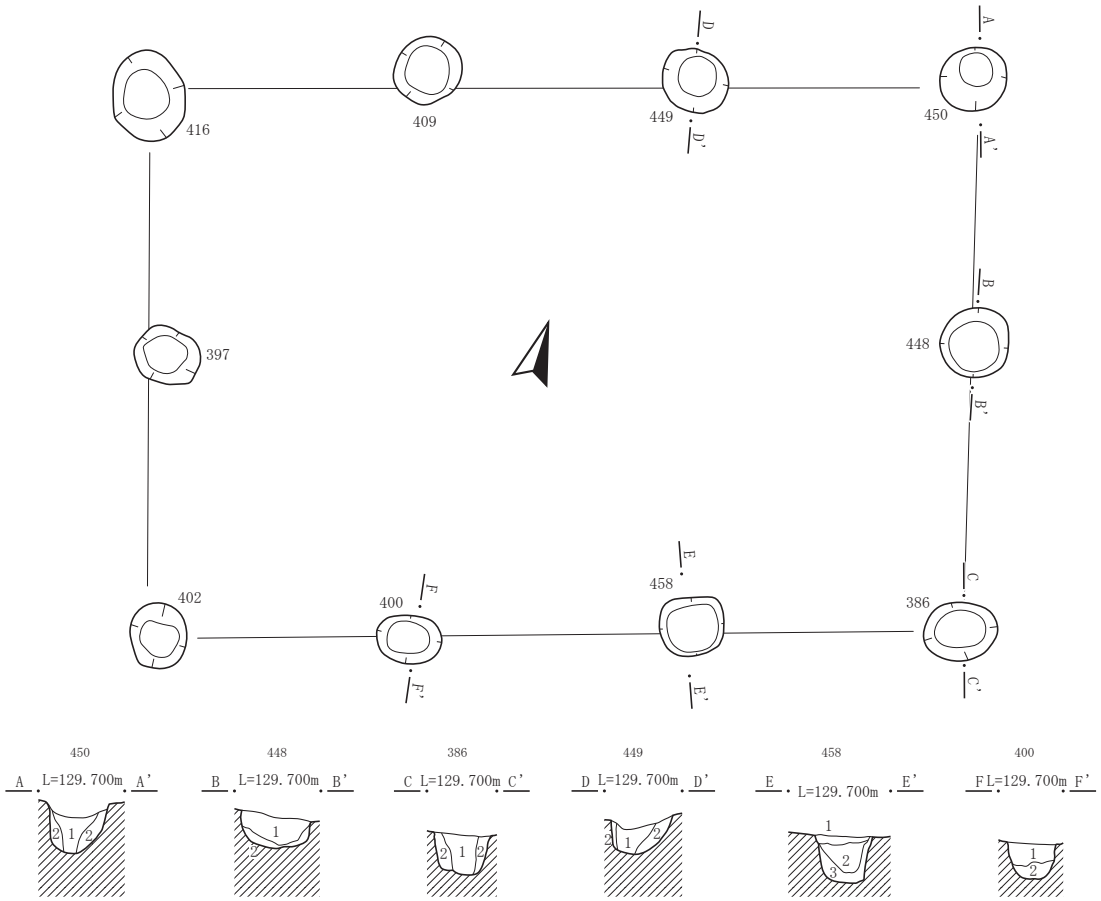


23 号掘立柱建物跡

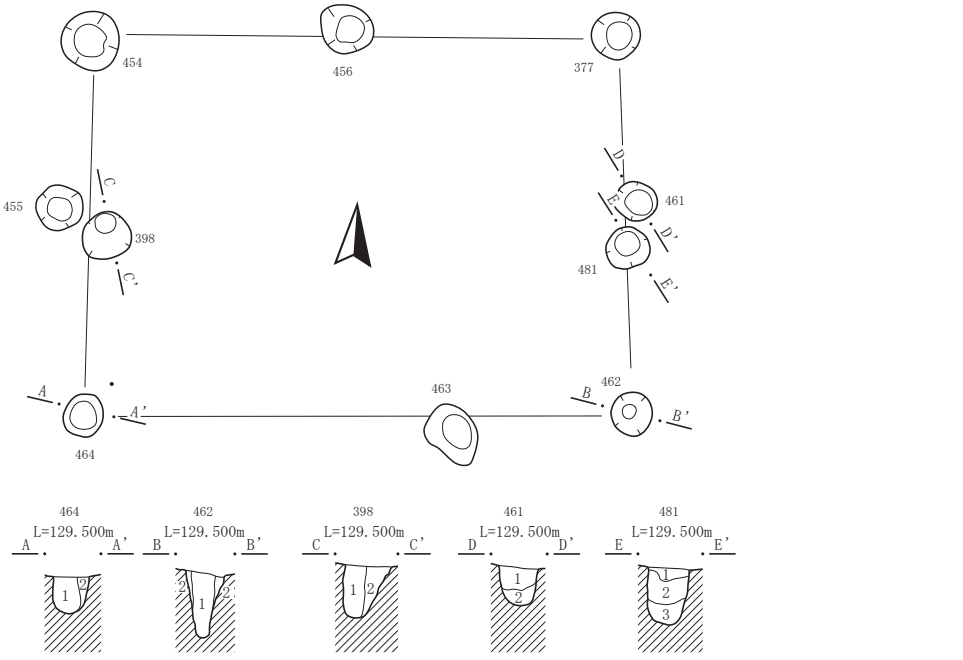


第378図　22・23号掘立柱建物跡

24 号掘立柱建物跡



25 号掘立柱建物跡

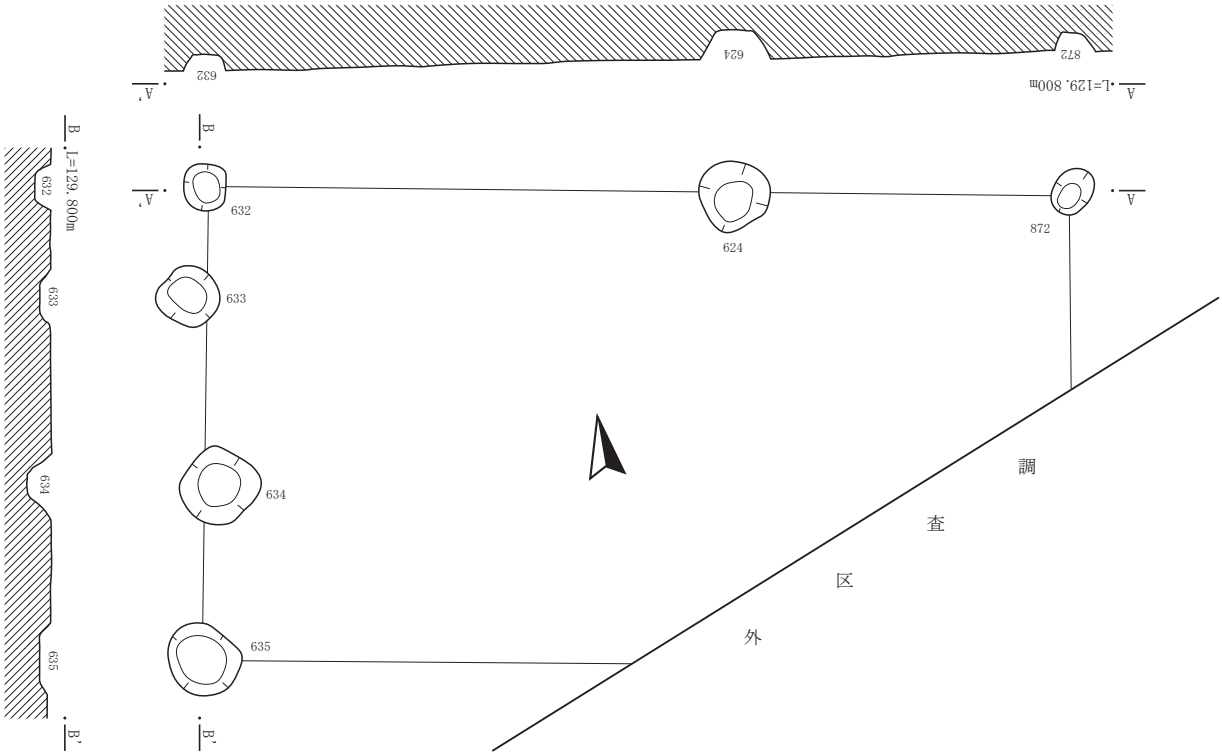


※土層注記は第４表に記した。

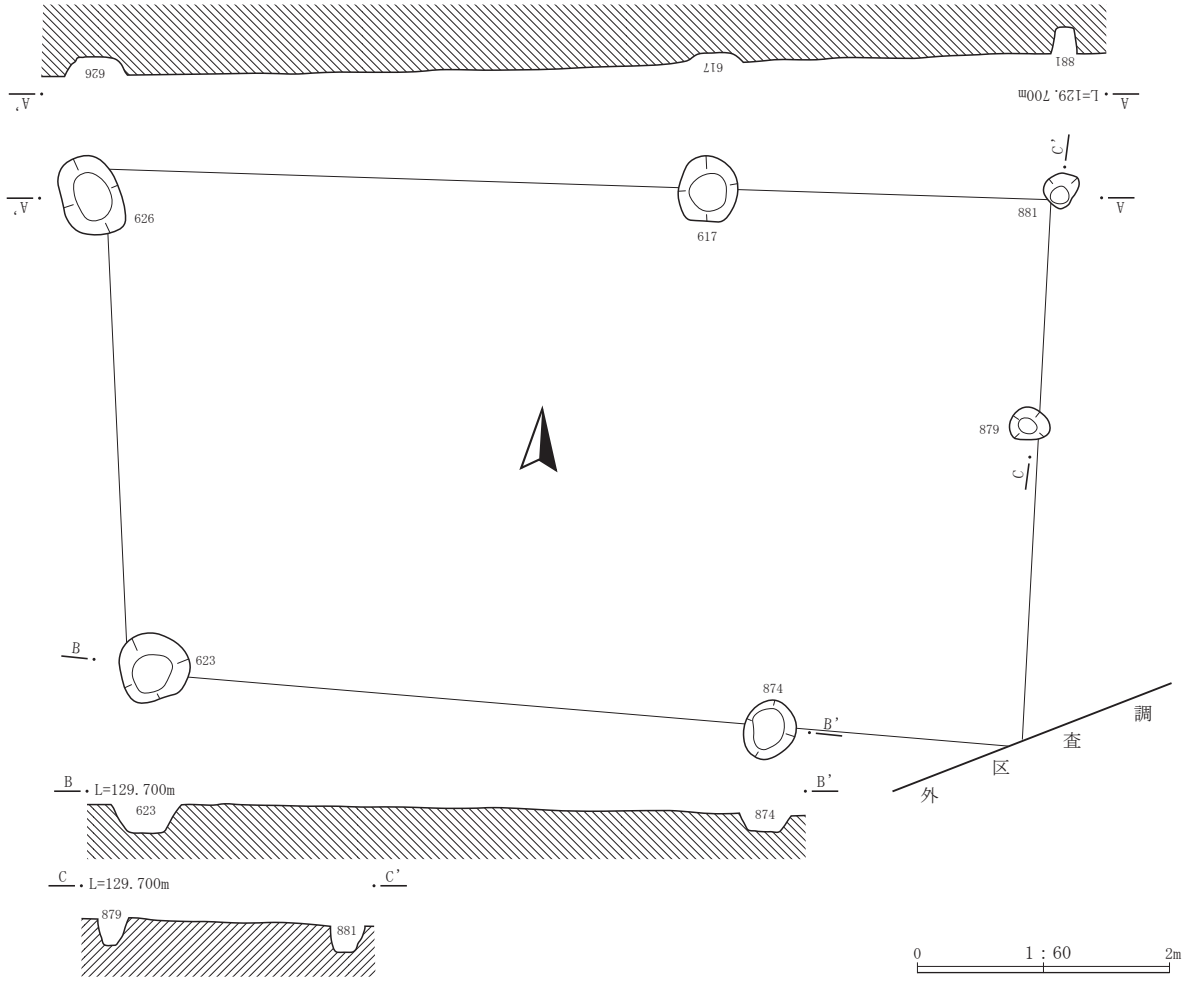
0　1：60　2m

第379図　24・25号掘立柱建物跡

26 号掘立柱建物跡

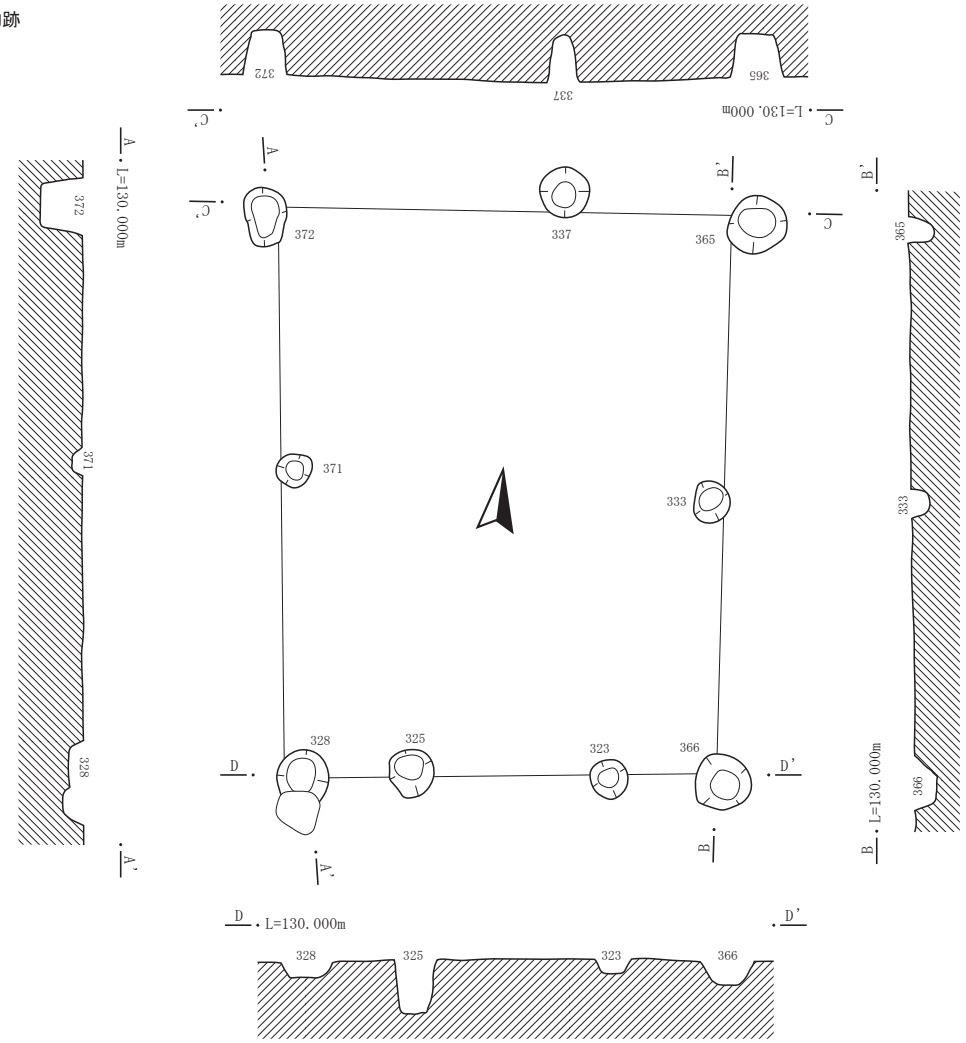


27 号掘立柱建物跡

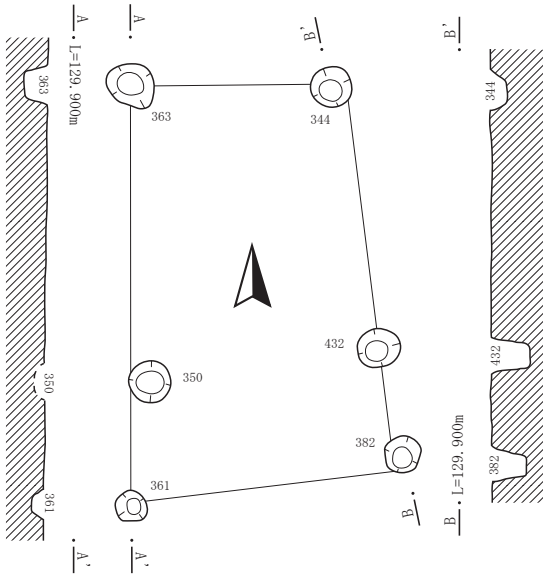


第380図　26・27号掘立柱建物跡

28 号掘立柱建物跡



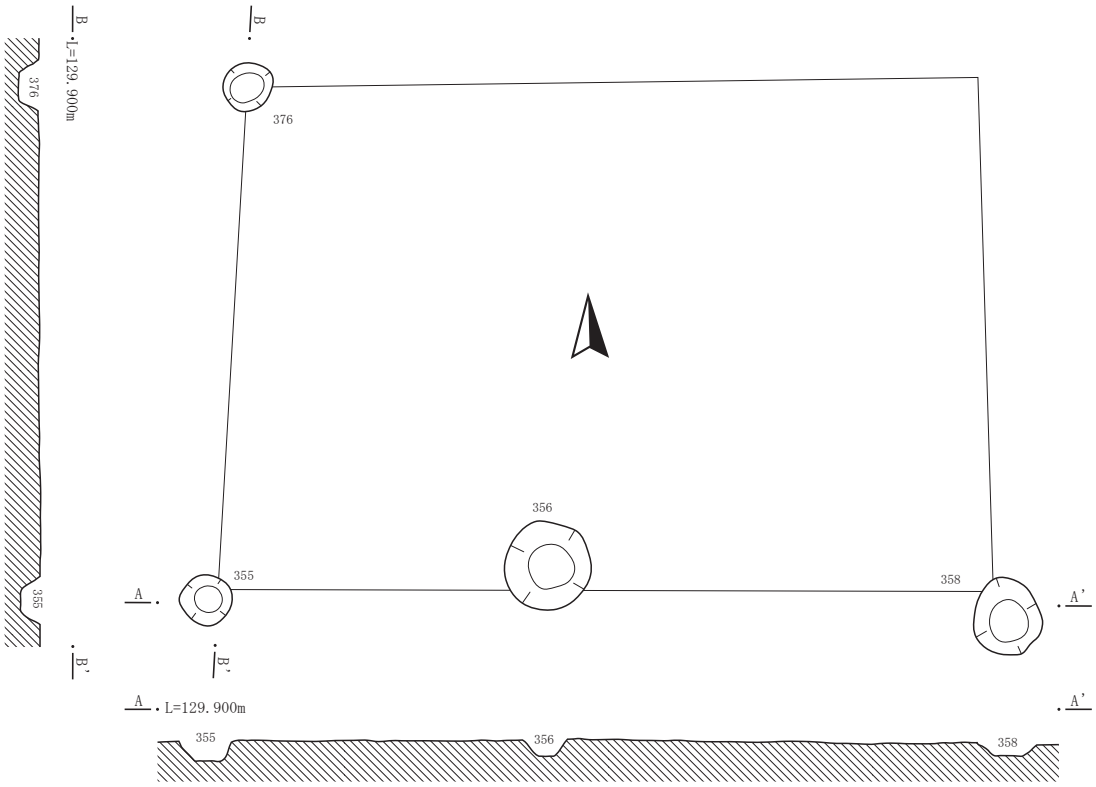
29 号掘立柱建物跡



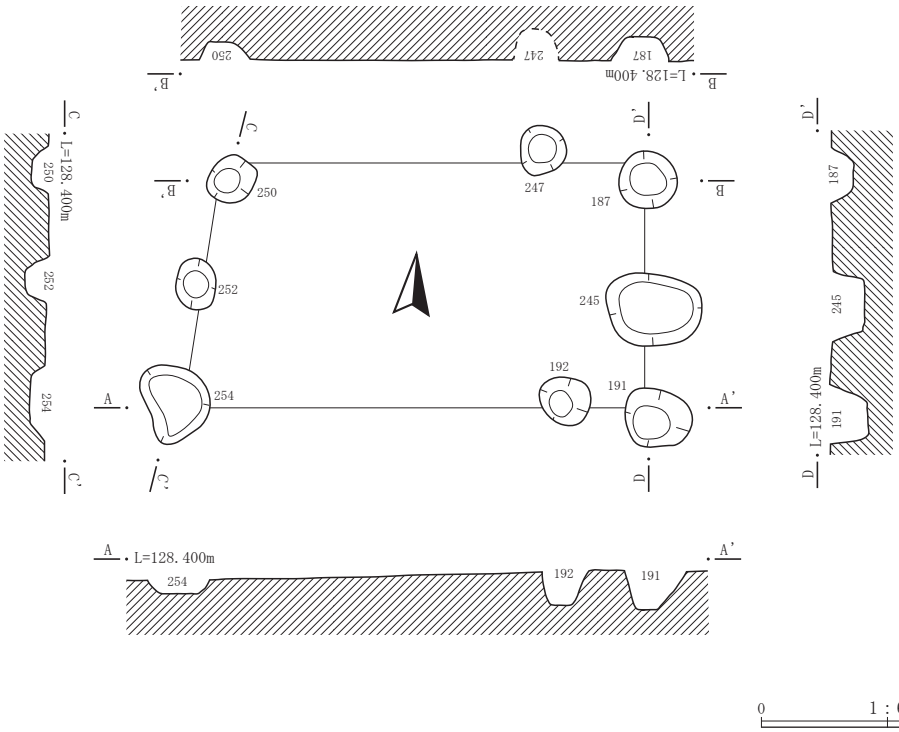
0　1：60　2m

第381図　28・29号掘立柱建物跡

30 号掘立柱建物跡



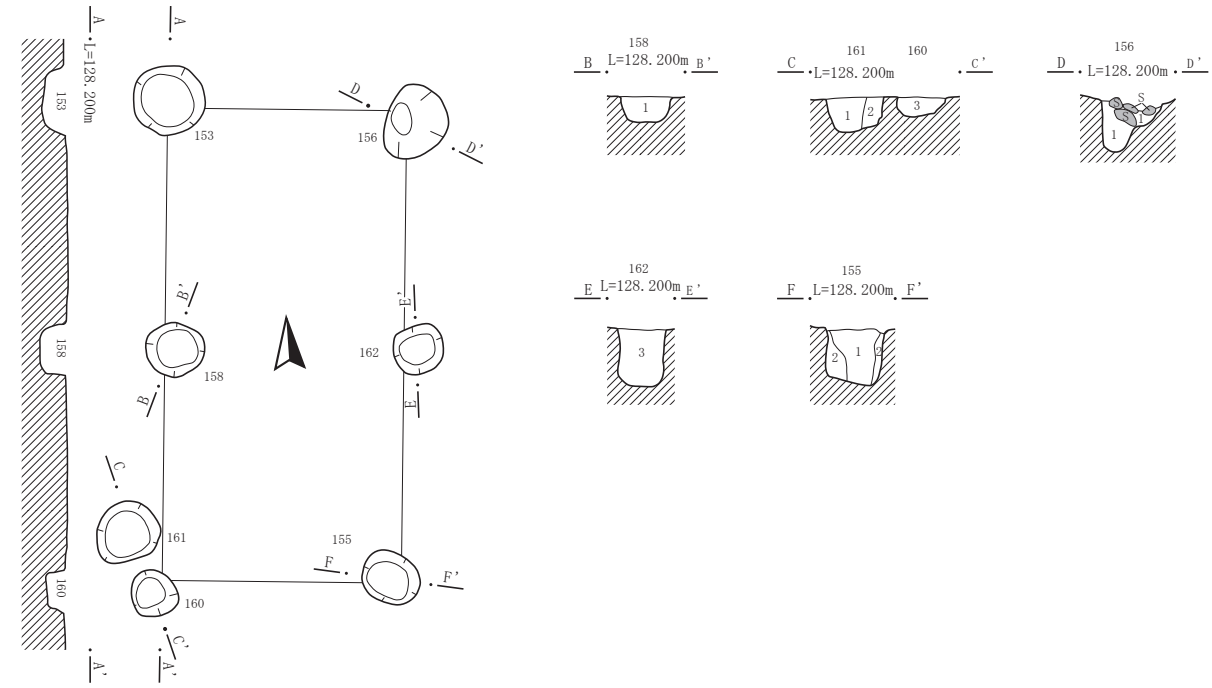
31 号掘立柱建物跡



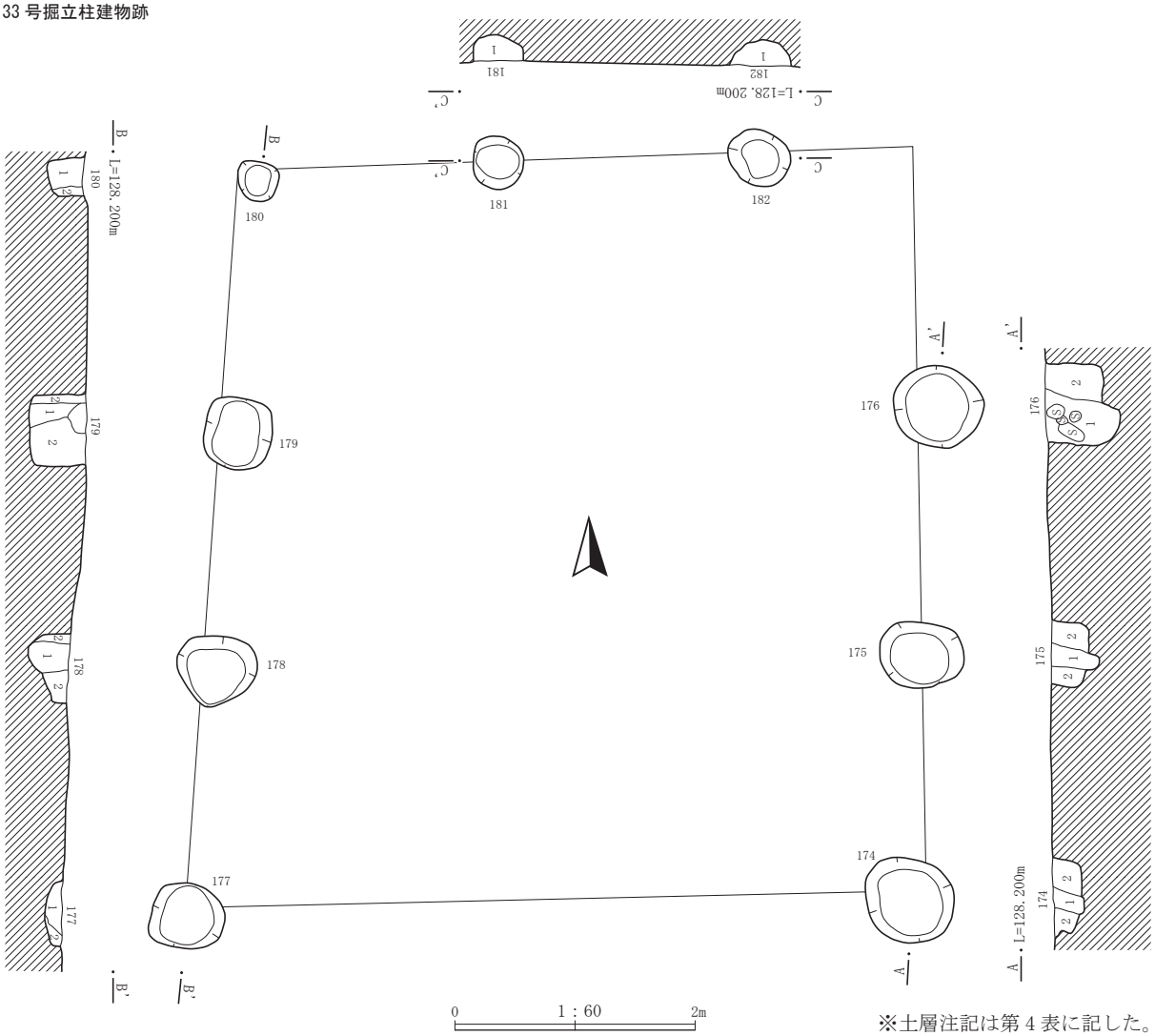
0　1：60　2m

第382図　30・31号掘立柱建物跡

32 号掘立柱建物跡



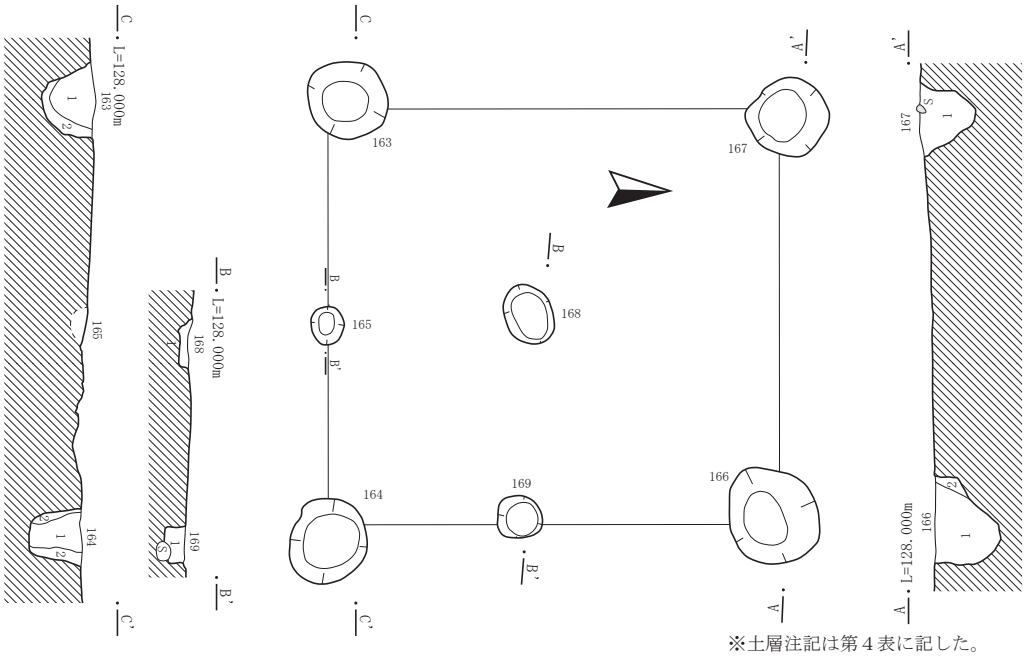
33 号掘立柱建物跡



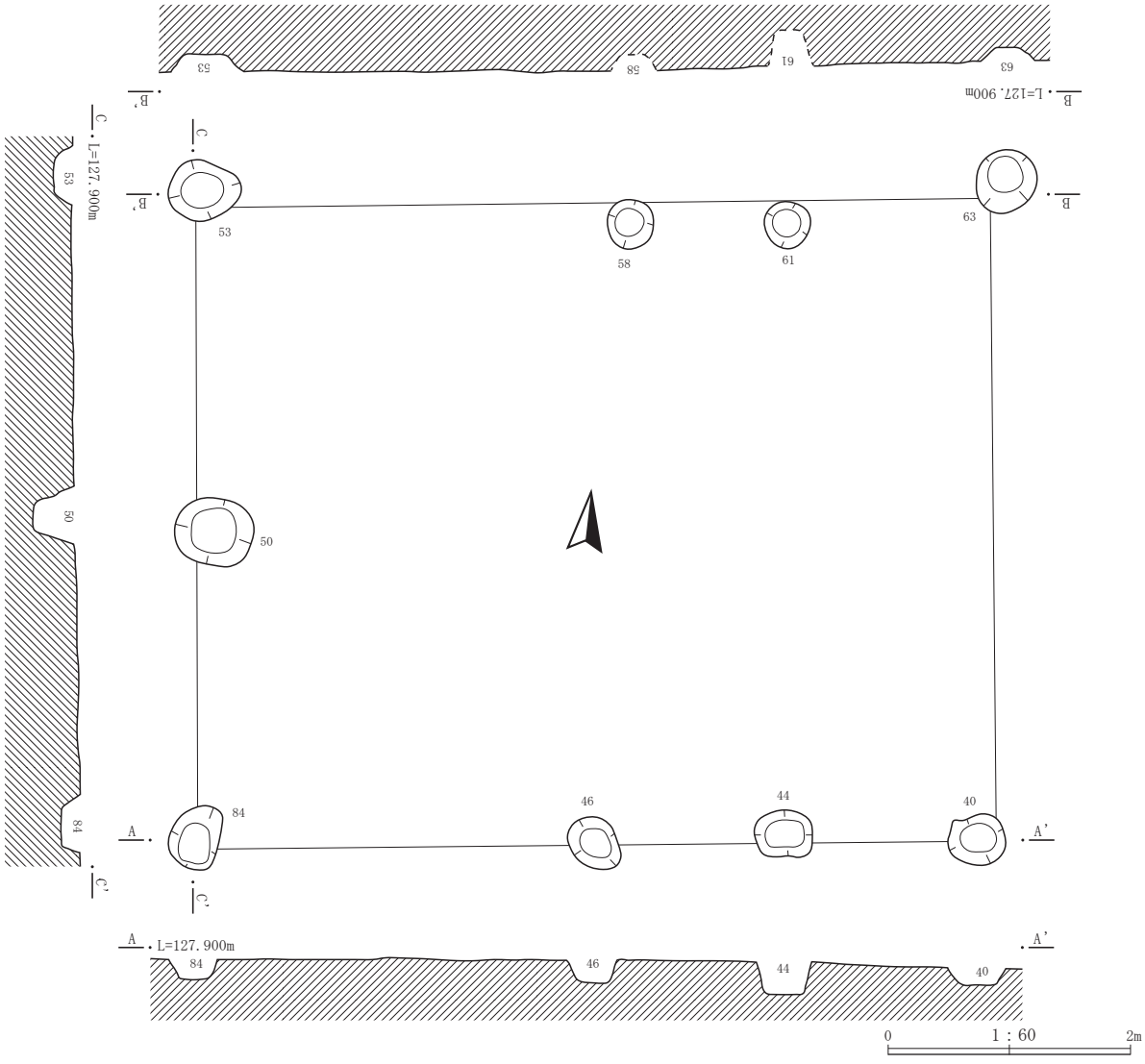
※土層注記は第 4 表に記した。

第383図　32・33号掘立柱建物跡

34 号掘立柱建物跡



35 号掘立柱建物跡



第384図　34・35号掘立柱建物跡

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明であるが、隣接する57号竪穴建物跡と関連する建物であれば、同じ明神下Ⅱ期に位置づけられる。

32号掘立柱建物跡（第366・383図、写真図版101）

［位置・検出状況］調査区中央ⅢA15h、ⅢA15iグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴６個（Pit153・155・156・158・160・162）で構成される。またPit161も近接しており、本遺構と関連があると判断した。N－３°－Wを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物である。規模は梁間195cm×桁行385cmで、梁間寸法は一間195cmである。

［埋土の状況］Pit155は柱痕跡が確認されたが、他の柱穴は見受けられず、黒褐色シルトを主体とする単層で、中にはPit156のように上位に礫が詰められているものもある。したがって、ほとんどの柱は抜き取られたものと推測する。

［出土遺物］Pit155の埋土から、土師器坏の口縁部片（1928）が出土している。ロクロ成形である。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物（1928）から平安時代（明神下Ⅱ期かⅢ期）に帰属すると推測する。

33号掘立柱建物跡（第366・383図、写真図版101）

［位置・検出状況］調査区中央ⅢA15j、ⅢA15k、ⅢA15l、ⅢA16j、ⅢA16k、ⅢA16lグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴９個（Pit174～182）で構成される。N－１°－Eを棟方向とする、梁間三間×桁行三間の建物であるが、北東端の柱穴、また南側の梁間の柱穴２個は確認できなかった。規模は梁間535cm×桁行620cmで、梁間寸法は一間220（205）cmである。

［埋土の状況］Pit174～176・178・180で柱痕跡を確認した。柱痕跡の径は15～50cmと様々である。掘り方も広いものと狭いものがある。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

34号掘立柱建物跡（第367・384図、写真図版101）

［位置・検出状況］調査区中央ⅢA20e、ⅢA20f、ⅢA21e、ⅢA21fグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴７個（Pit163～169）で構成される。N－１°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行１間の建物である、Pit165・169は補助的な柱穴か。規模は梁間350cm×桁行350cmで、正方形を呈する。

［埋土の状況］Pit164のみ柱痕跡を確認した。そこから柱の径は約30cmと推測する。他の柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱は抜き取られたものと推測する。

［出土遺物］Pit169の埋土中から、台付坏の胴部から台部の破片（1938）が出土している。ロクロ成形である。

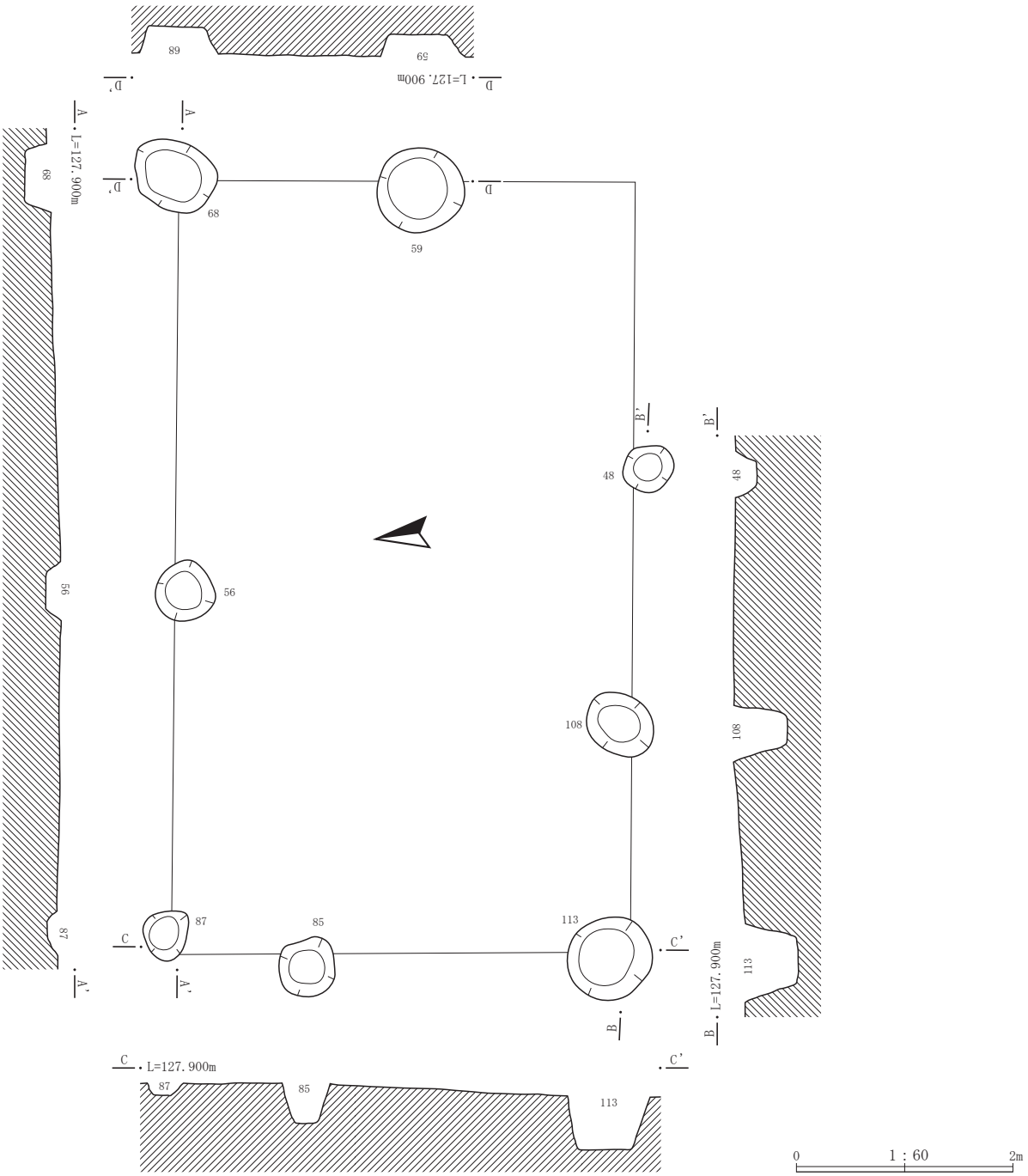
［時期］出土遺物（1938）時期を基にし、また近接する66号竪穴建物跡の軸方向や床面積と本遺構の

規模が一致するなど、共通点が多く、両者は同時期の遺構ではないかと考え、本遺構は平安時代（明神下Ⅱ期かⅢ期）に帰属するのではないかと推測する。

35号掘立柱建物跡（第367・384図、写真図版102）

［位置・検出状況］調査区東側ⅣＡ３h、ⅣＡ３i、ⅣＡ３j、ⅣＡ４h、ⅣＡ４iグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

68号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が新しい。36号・37号掘立柱建物跡とも重複しているが、新



第385図　36号掘立柱建物跡

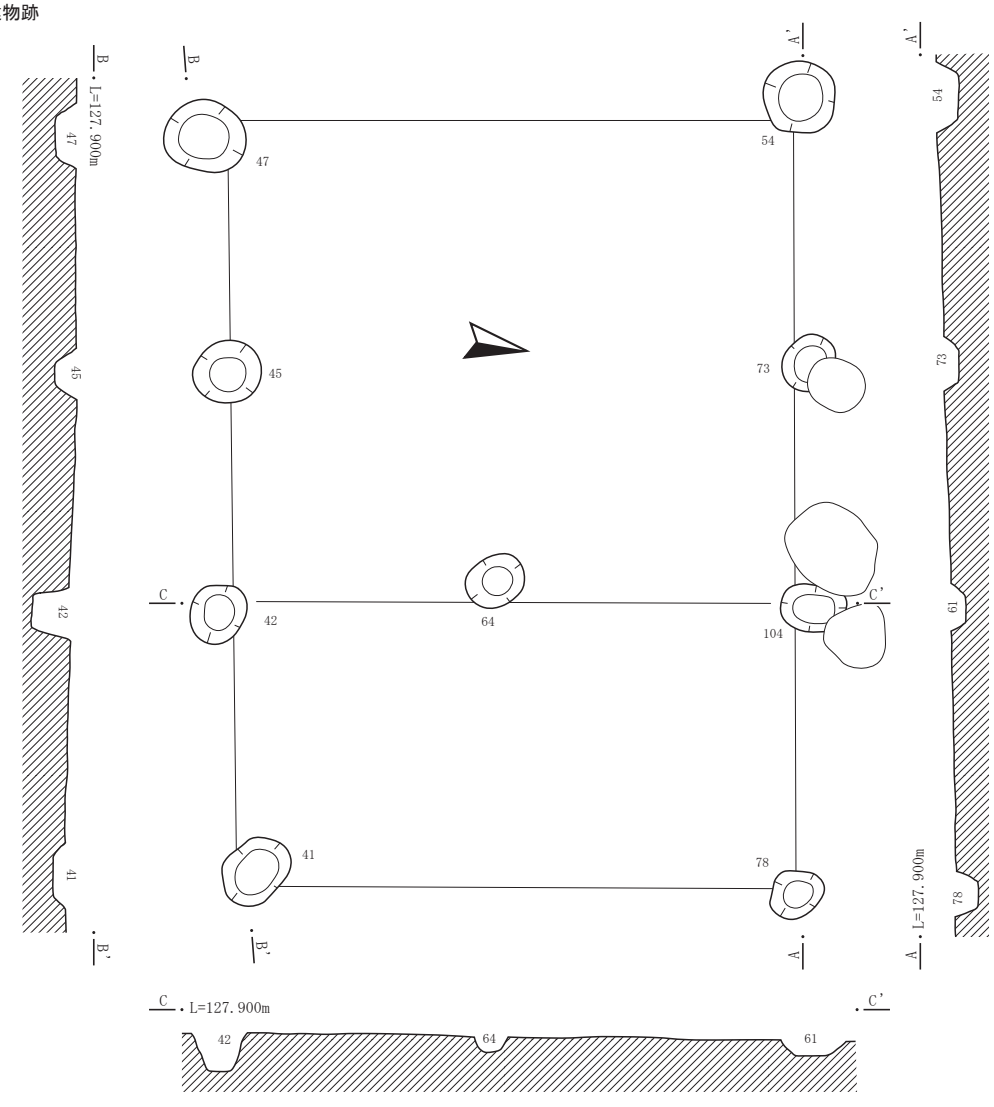
旧関係は不明である。
［規模・平面形］柱穴９個（Pit40・44・46・50・53・58・61・63・84）で構成される。N－82°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物であるが、桁行の柱穴は東側に寄っている。また東側の梁間は柱穴１個確認できなかった。規模は梁間540cm×桁行665cmで、梁間寸法は一間275cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

36号掘立柱建物跡（第367・385図、写真図版102）
［位置・検出状況］調査区東側ⅣＡ２h、ⅣＡ２i、ⅣＡ３h、ⅣＡ３i、ⅣＡ４h、ⅣＡ４iグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。68号竪穴建物跡と重複し、本遺構の方が新しい。また35号・37号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。
［規模・平面形］柱穴８個（Pit48・56・59・68・85・87・108・113）で構成される。N－82°－Wを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物であるが、南東端の柱穴、また北側の桁行の柱穴１個が確認できなかった。規模は梁間415cm×桁行700cmで、梁間寸法は一間415cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］Pit59・108・113の埋土中から出土している。土師器坏（1925・1931・1932）、土師器甕（1942）、須恵器瓶類（1951）である。
［時期］遺構の性格は不明である。また出土遺物からは平安時代（明神下Ⅱ期かⅢ期）の可能性もあるが、遺構の規模などから、中世以降の可能性もある。

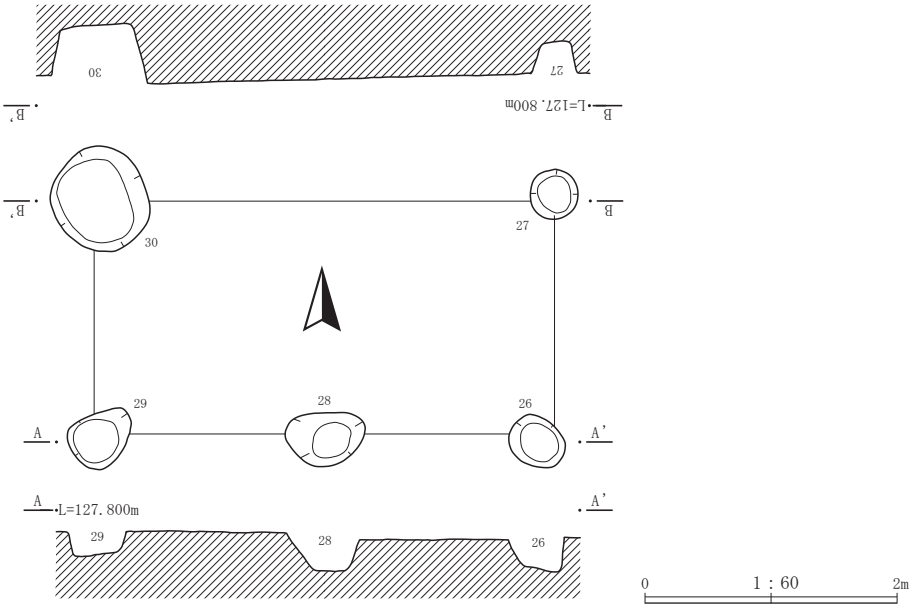
37号掘立柱建物跡（第367・386図、写真図版102）
［位置・検出状況］調査区東側ⅣA3h、ⅣA3i、ⅣＡ４h、ⅣＡ４i、ⅣＡ５h、ⅣＡ５iグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。35号・36号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。
［規模・平面形］柱穴９個（Pit41・42・45・47・54・61・64・73・78）で構成される。N－78°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行三間の建物である。規模は梁間480cm×桁行600cmで、梁間寸法は一間480cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］Pit54から土師器坏（1930・1933・1937）、鉄製品（釘か。1954）、鉄滓（1956）が出土している。１個の柱穴から出土するには不自然であり、廃絶後に流入したものと推測する。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物は多いが、遺構に伴うとは考えにくいので、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

38号掘立柱建物跡（第367・386図、写真図版102）
［位置・検出状況］調査区東側ⅣＡ６f、ⅣＡ７fグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。柱穴完掘後、規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

37 号掘立柱建物跡



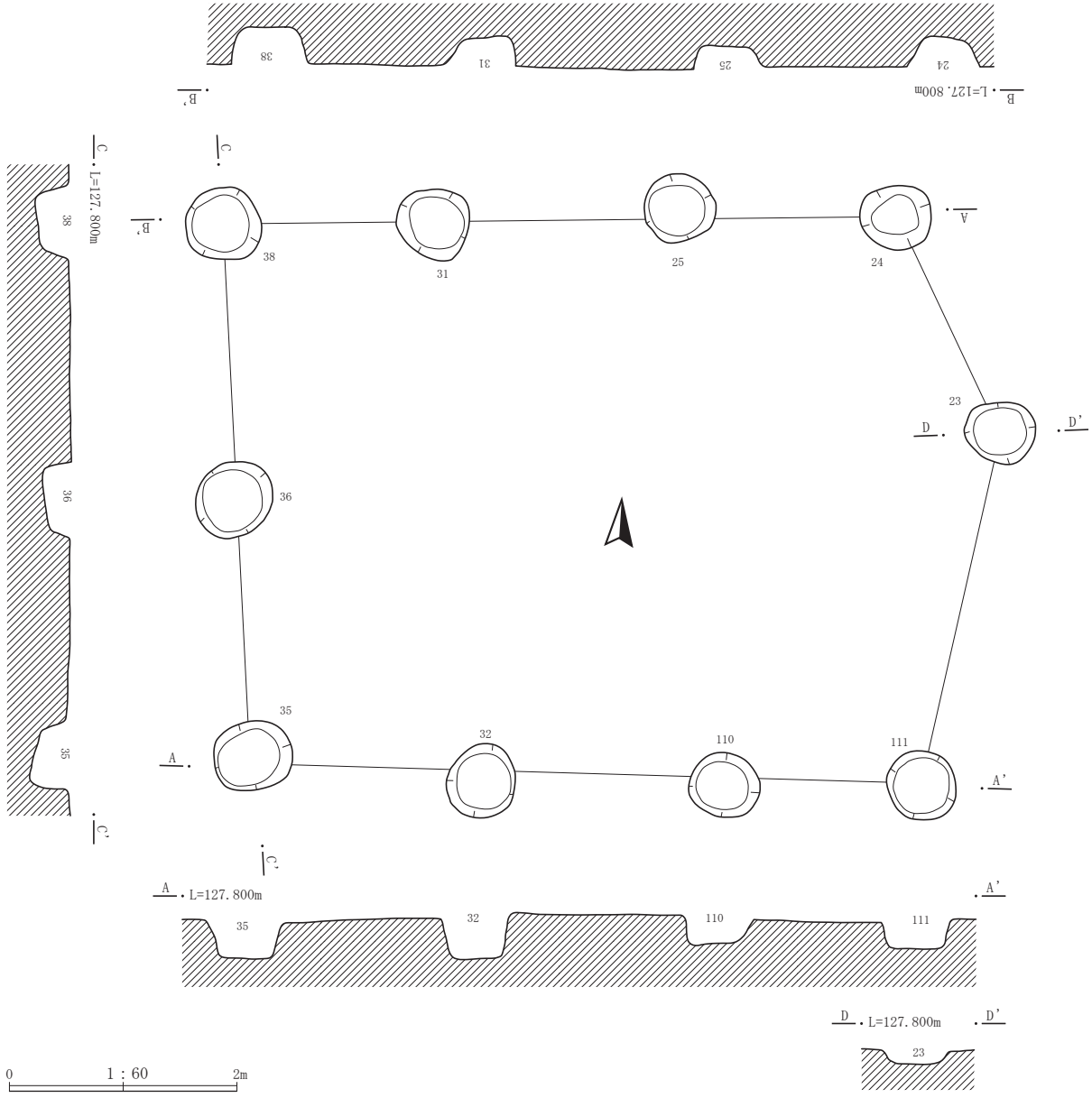
38 号掘立柱建物跡



第386図　37・38号掘立柱建物跡

［規模・平面形］柱穴５個（Pit26～30）で構成される。Ｎ－90°－Ｅを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物であるが、北側の桁行は、間の柱穴１個確認できなかった。規模は梁間195cm×桁行365cmで、梁間寸法は一間195cmである。
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。
［出土遺物］なし。
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

39号掘立柱建物跡（第367・387図、写真図版102）
［位置・検出状況］調査区東側ⅣＡ５ｇ、ⅣＡ５ｈ、ⅣＡ６ｇ。ⅣＡ６ｈ、ⅣＡ７ｇ、ⅣＡ７ｈグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡



第387図　39号掘立柱建物跡

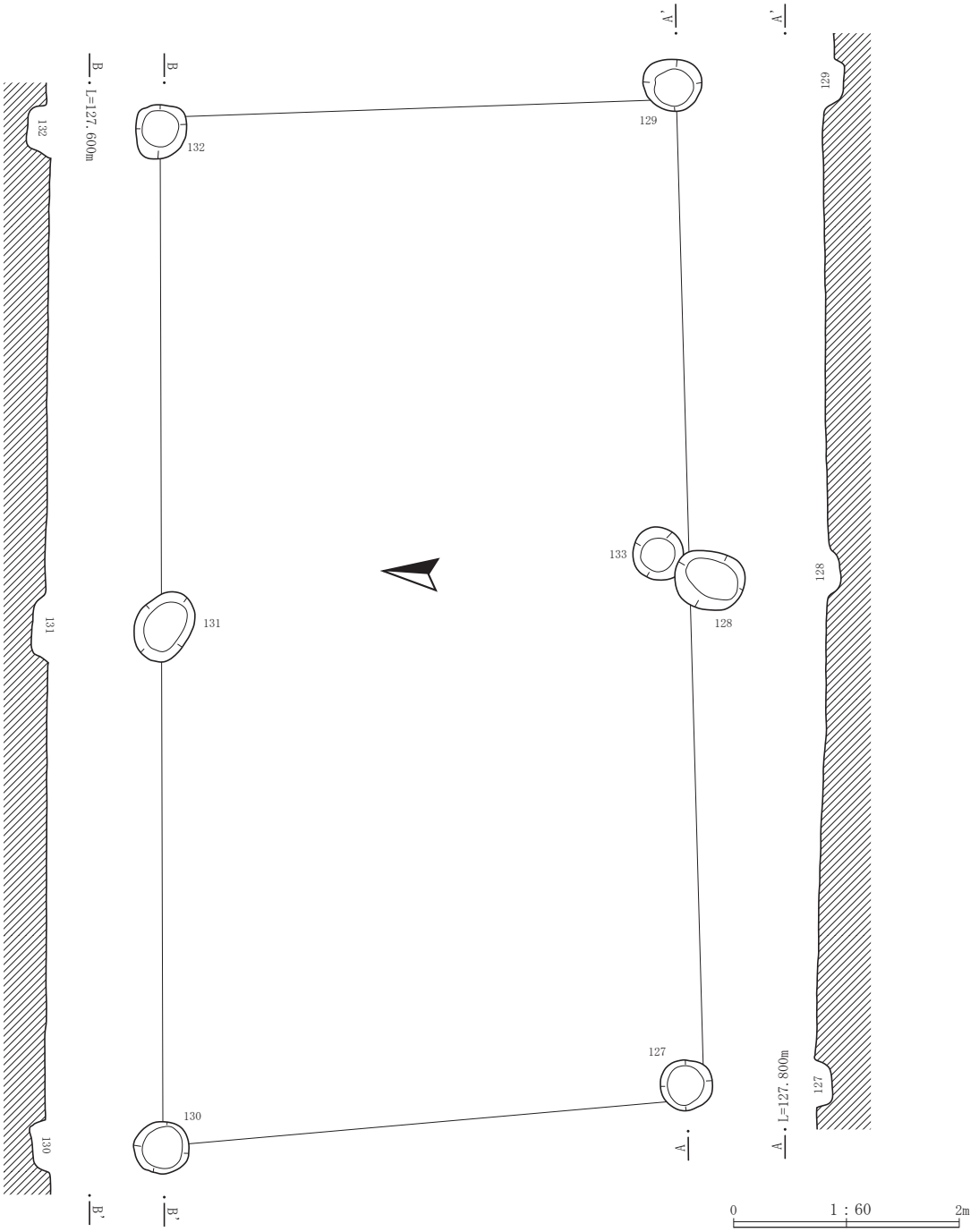
と判断した。71号竪穴建物跡と重複し本遺構の方が新しい。

［規模・平面形］柱穴10個（Pit23～25・31・32・35・36・38・110・111）で構成される。N－87°－Eを棟方向とする、梁間二間×桁行三間の建物であるが、東側の梁間は東側へと張り出している。規模は梁間465cm×桁行600cmで、梁間寸法は一間230cmである。

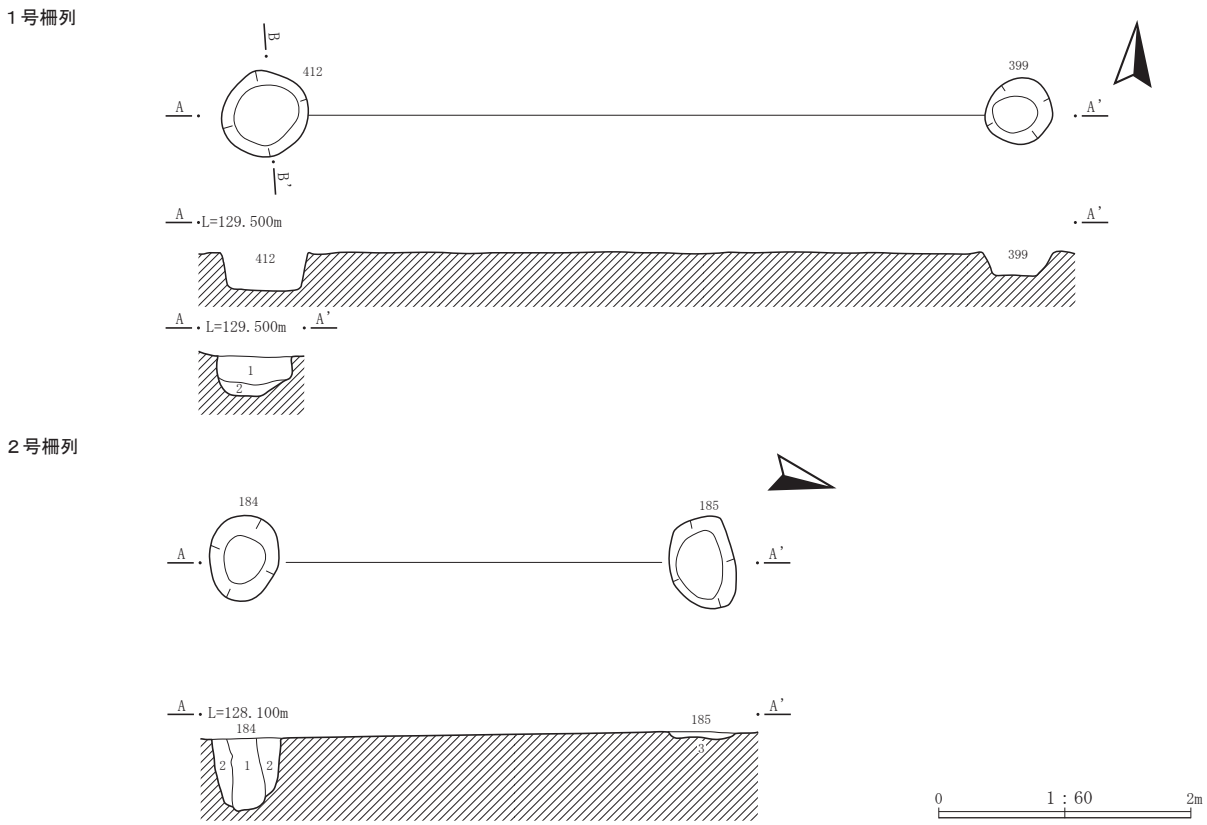
［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。



第388図　40号掘立柱建物跡



第389図　1・2号柵列

40号掘立柱建物跡（第367・388図、写真図版103）

［位置・検出状況］調査区西側の中央ⅢA11i、ⅢA11j、ⅢA11k、ⅢA12i、ⅢA12j、ⅢA12k、ⅢA13i、ⅢA13j、ⅢA14jグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で規則的な柱配置を確認し、掘立柱建物跡と判断した。

［規模・平面形］柱穴６個（Pit127～132）で構成される。N－83°－Eを棟方向とする、梁間一間×桁行二間の建物である。規模は梁間470cm×桁行900cmで、梁間寸法は一間470cmである。

［埋土の状況］柱穴は単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

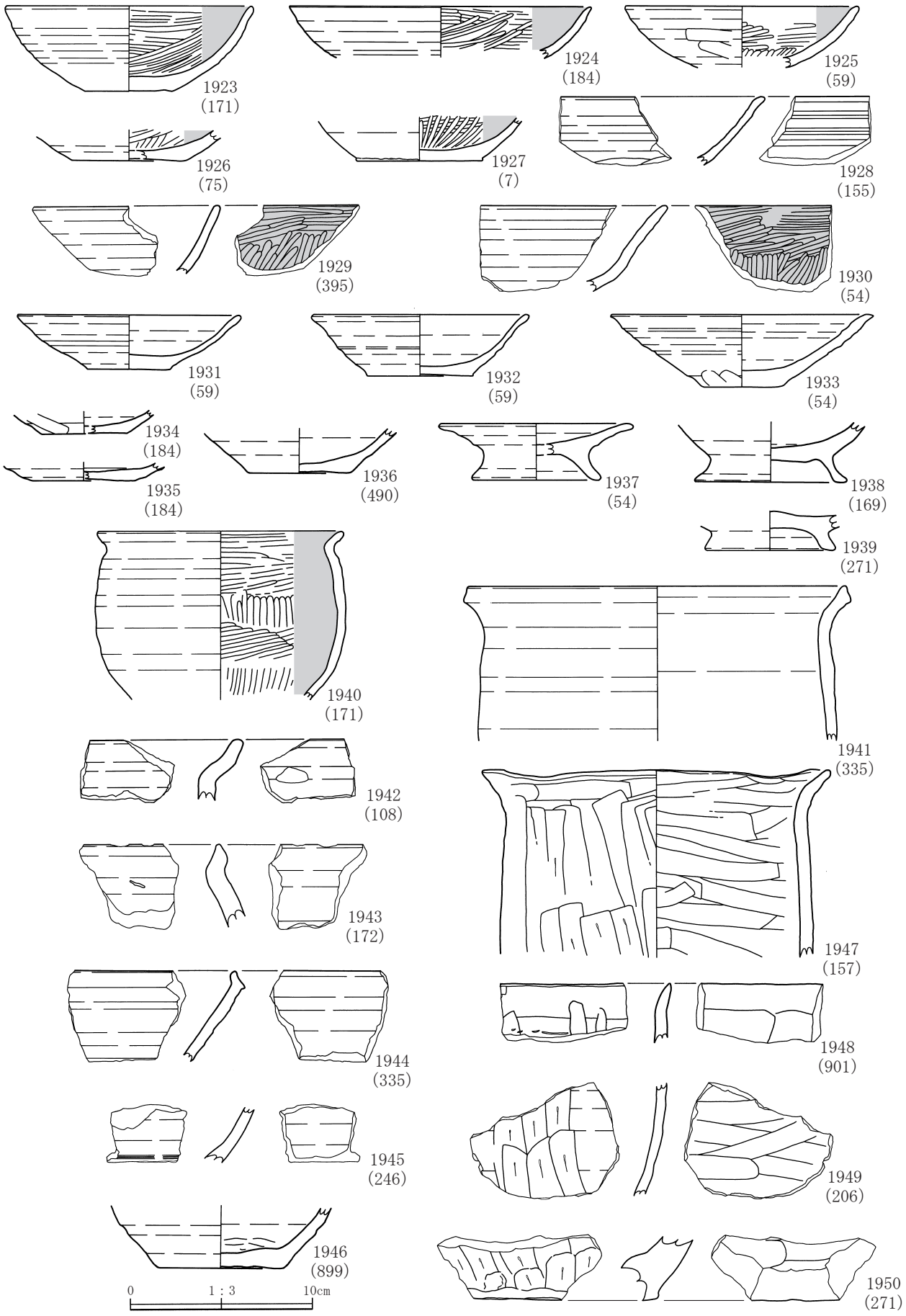
［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

１号柵列（第388図）

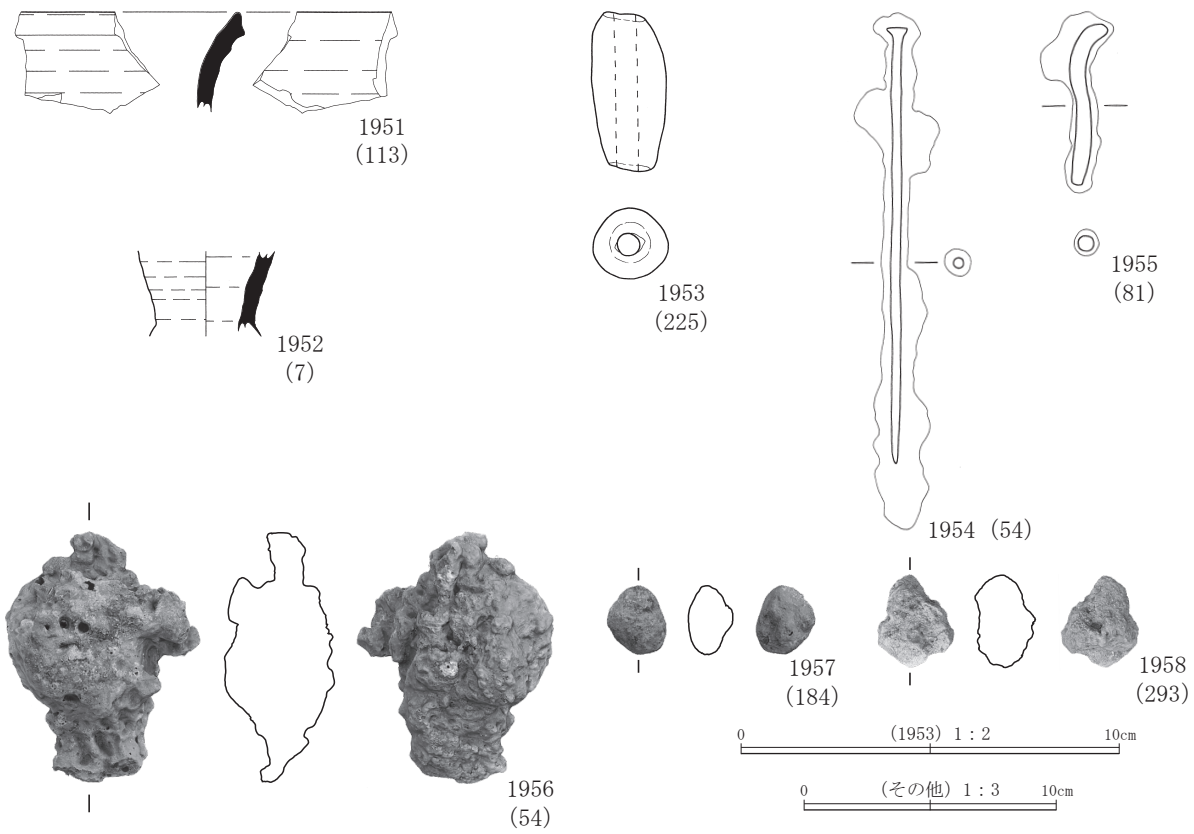
［位置・検出状況］調査区中央の南寄りⅡB３a、ⅡB４a、ⅡB５aグリッドに位置する。河道跡（Ⅳ層）上で黒色のプランで検出した。調査段階で比較的大きな柱穴（Pit412）を検出し、規則的な柱配置を確認したが、掘立柱建物跡とはならず、東側に位置するPit399と対になる柵列と判断した。

［規模・平面形］柱穴２個（Pit399・412）で構成される。両者の距離は600cmである。傾きはN－84°－Eである。

［埋土の状況］Pit412は２層からなるが、柱痕跡はない。Pit399は単層で、黒褐色シルトを主体と



第390図　柱穴出土遺物 1



第391図　柱穴状土坑出土遺物２

し、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］なし。

［時期］遺構の性格は不明で、また出土遺物がないため、時期も不明である。遺構の規模などから、中世以降ではないかと推測する。

２号柵列（第388図）

［位置・検出状況］調査区中央ⅢA17j、ⅢA17kグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒色のプランで検出した。調査段階で比較的大きな柱穴２個（Pit184・185）が南北方向に並ぶのを確認したが、周辺には、それ以上の柱穴がなく、掘立柱建物跡とはならず、柵列と判断した。

［規模・平面形］柱穴２個（Pit184・185）で構成される。両者の距離は360cmである。傾きはN－15°－Wである。

［埋土の状況］Pit184は柱痕跡を確認した。柱痕は径約20cm、深さ60cmで、掘り方は一周巡る。Pit185は浅く、単層で、黒褐色シルトを主体とし、柱痕跡は見受けられない。

［出土遺物］Pit184の埋土中から、土師器坏の底部片２点（1934・1935）が出土している。どちらもロクロ成形である。

［時期］Pit184の出土遺物から、平安時代（明神下Ⅱ期かⅢ期）と推測する。

第4表　柱穴一覧

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
1	ⅣA11e	41.3	127.030	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	△		炭化物微量、地山ブロック中量	76号竪穴建物跡
2	ⅣA11f	44.2	127.011	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	○		地山ブロック中量	76号竪穴建物跡
3	ⅣA11g	34.8	127.062	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
4	ⅣA11e	46.6	126.978	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	◎		地山ブロックやや多い	
5	ⅣA11f	17.4	127.234	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	○		地山ブロック微量	76号竪穴建物跡
6	ⅣA12e	36.6	127.077	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		地山ブロック少量	76号竪穴建物跡
7	ⅣA12e	37.8	127.008	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロックやや多い	76号竪穴建物跡
8	ⅣA12f	43.4	126.970	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック少量	76号竪穴建物跡
9	ⅣA11e	26.2	127.219	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	76号竪穴建物跡
10	ⅣA11e	13.7	127.322	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロック中量	
11	ⅣA10f	47.5	126.973	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
12	ⅣA11f	23.6	127.223	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
13	ⅣA11e	12.8	127.289	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック中量	
14	ⅣA11e	16.0	127.293	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎	○	地山ブロック中量	
15	ⅣA12e	15.7	126.721	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	◎		地山粒少量、礫少量	
16	ⅣA12f	41.6	126.878	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
17	ⅣA15c	33.5	126.969	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
18	ⅣA15c	24.3	127.024	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	◎		炭化物微量、To-aテフラブロック微量、地山粒微量	
19	ⅣA17c	26.3	126.915	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、To-aテフラブロック微量、地山ブロック微量	
20	ⅣA12e	10.8	127.275	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
21	ⅣA10e	32.8	127.139	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量	
				1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	○		掘り方。地山ブロック少量	
22	ⅣA15k	6.3	127.248	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	×	△		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量	
23	ⅣA7g	12.2	127.444	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	39号掘立柱建物跡
24	ⅣA7g	20.9	127.376	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	39号掘立柱建物跡
25	ⅣA6g	29.3	127.347	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック微量	39号掘立柱建物跡
26	ⅣA7f	27.4	127.315	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック微量	38号掘立柱建物跡
27	ⅣA7f	27.2	127.282	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック少量	38号掘立柱建物跡
28	ⅣA6f	42.2	127.196	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		炭化物微量、地山ブロック微量、酸化鉄微量	38号掘立柱建物跡
29	ⅣA6f	19.8	127.442	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	38号掘立柱建物跡
30	ⅣA6f	46.0	127.168	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	38号掘立柱建物跡
31	ⅣA6g	18.2	127.434	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量、黒色シルトブロック少量	39号掘立柱建物跡
32	ⅣA6h	38.6	127.249	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量、酸化鉄少量	39号掘立柱建物跡
33	ⅣA5i	18.7	127.380	1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	△	◎	○	地山ブロック少量	
34	ⅣA5i	14.7	127.458	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
35	ⅣA5h	13.2	127.453	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	△	○	炭化物微量、地山ブロック中量	39号掘立柱建物跡
36	ⅣA5h	28.9	127.307	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		地山ブロック少量	39号掘立柱建物跡
37	ⅣA5g	13.0	127.496	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
38	ⅣA5g	32.4	127.267	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○	○	炭化物微量、地山ブロック少量	39号掘立柱建物跡
39	ⅣA4j	14.4	127.610	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		地山ブロック少量	
40	ⅣA4i	17.6	127.560	1. 黒色シルト（10YR2/1）	×	○		地山ブロック中量	35号掘立柱建物跡
41	ⅣA5i	9.2	127.512	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	×		地山ブロック中量	37号掘立柱建物跡
42	ⅣA4i	14.1	127.593	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△	○	炭化物微量、地山ブロック中量	37号掘立柱建物跡
43	ⅣA4i	12.0	127.625	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
44	ⅣA4i	26.7	127.515	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	35号掘立柱建物跡
45	ⅣA4i	20.8	127.563	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	37号掘立柱建物跡
46	ⅣA4j	21.4	127.599	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック少量、黒色シルトブロック少量	35号掘立柱建物跡
47	ⅣA3i	18.7	127.595	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック微量、礫少量	37号掘立柱建物跡
48	ⅣA3i	21.1	127.535	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロックやや多い	36号掘立柱建物跡
49	ⅣA3i	22.4	127.530	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
50	ⅣA4i	31.0	127.454	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○	○	炭化物微量、地山ブロック少量	35号掘立柱建物跡
51	ⅣA4j	32.1	127.505	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
52	ⅣA3j	13.4	127.703	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロックやや多い	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
53	ⅣA3h	27.9	127.514	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	35号掘立柱建物跡
54	ⅣA3h	18.4	127.620	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量、土器片、鉄滓混じる	37号掘立柱建物跡
55	ⅣA3h	20.9	127.592	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロックやや多い	
56	ⅣA3h	15.5	127.626	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック中量	36号掘立柱建物跡
57	ⅣA4h	19.2	127.549	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
58	ⅣA3h	15.0	127.584	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	35号掘立柱建物跡
59	ⅣA4h	25.6	127.472	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック中量	36号掘立柱建物跡
60	ⅣA4h	18.1	127.527	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	○		地山ブロック少量	
61	ⅣA4h	30.4	127.397	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	△		地山ブロック少量	35号掘立柱建物跡
62	ⅣA4h	22.3	127.426	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
63	ⅣA4h	13.6	127.529	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	35号掘立柱建物跡
64	ⅣA4h	14.5	127.540	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック中量	37号掘立柱建物跡
65	ⅣA4h	10.2	127.556	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△	○	地山ブロック中量	
66	ⅣA5i	12.3	127.490	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○	○	地山ブロックやや多い	
67	ⅣA4h	17.8	127.450	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	×	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
68	ⅣA4h	25.3	127.449	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	36号掘立柱建物跡
69	ⅣA4h	25.7	127.414	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
70	ⅣA4h	13.2	127.552	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量、黒褐色シルトブロックやや多い	
71	ⅣA4h	38.1	127.340	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
72	ⅣA4h	31.3	127.416	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
73	ⅣA4h	12.7	127.600	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	37号掘立柱建物跡
74	ⅣA3h	18.8	127.527	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	
75	ⅣA3h	18.4	127.581	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
76	ⅣA3g	12.9	127.640	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
77	ⅣA4g	20.5	127.510	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
78	ⅣA5h	17.3	127.443	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック少量	37号掘立柱建物跡
79	ⅣA5h	32.9	127.302	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	
80	ⅣA6h	16.0	127.448	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		地山ブロックやや多い	
81	ⅣA6e	19.3	126.958	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	◎	×		炭化物微量、地山ブロック微量	
82	ⅣA6e	23.0	127.057	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
83	ⅣA4i	19.5	127.486	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック中量	
84	ⅣA3j	15.2	127.650	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	35号掘立柱建物跡
85	ⅣA2h	35.7	127.394	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	36号掘立柱建物跡
86	ⅣA2h	10.1	127.686	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎		地山ブロック中量	
87	ⅣA2h	15.8	127.624	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	36号掘立柱建物跡
88	ⅣA5c	17.4	127.033	1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	×		炭化物微量、地山ブロック少量、黒色シルトブロック中量	
89	ⅣA6c	27.9	126.927	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量	
90	ⅣA6c	31.7	126.873	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	×		炭化物微量、地山ブロック少量	
91	ⅣA5g	32.3	127.277	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロックやや多い	
92	ⅣA5f	6.9	127.507	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
93	ⅣA4f	26.4	127.315	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
94	ⅣA3f	18.4	127.562	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
95	ⅣA4e	23.4	127.112	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
96	ⅣA3g	18.2	127.521	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
97	ⅣA2f	13.5	127.549	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
98	ⅣA2f	19.9	127.535	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
99	ⅣA2f	7.0	127.600	1. 黒色シルト（10YR2/1）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
100	ⅣA2f	27.6	127.443	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
101	ⅣA6h	16.9	127.472	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
102	ⅣA5g	29.9	127.317	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
103	ⅣA5f	16.5	127.456	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
104	ⅣA4h	20.7	127.462	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	37号掘立柱建物跡
105	ⅣA1e	26.0	127.081	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
106	ⅣA1d	23.1	127.101	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	×		地山ブロック微量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
107	ⅣA1d	39.9	126.927	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
108	ⅣA3i	50.5	127.250	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック微量	36号掘立柱建物跡
109	ⅣA3i	17.9	127.566	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロックやや多い	
110	ⅣA6h	26.3	127.365	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		地山ブロック微量、地山ブロック中量	39号掘立柱建物跡
111	ⅣA7h	25.1	127.333	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック中量	39号掘立柱建物跡
112	ⅣA14c	46.7	126.827	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
113	ⅣA2i	55.9	127.090	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	36号掘立柱建物跡
114	ⅣA8h	22.0	127.376	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
115	ⅣA5g	34.6	127.298	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック微量	
116	ⅣA3g	35.5	127.303	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	
117	ⅣA2c	55.9	127.005	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		地山ブロック微量	
118	ⅣA1g	26.5	127.476	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		地山粒少量	
119	ⅣA1g	3.0	127.594	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック中量	
120	ⅣA1h	11.8	127.609	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
121	ⅣA1i	16.1	127.621	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
122	ⅢA22g	29.0	127.375	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
123	ⅣA1g	36.0	127.294	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
124	×	－	－	－	－	－	－	－	欠番
125	×	－	－	－	－	－	－	－	欠番
126	×	－	－	－	－	－	－	－	欠番
127	ⅣA11k	16.5	127.378	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	×	◎		地山ブロック少量	40号掘立柱建物跡
128	ⅣA12k	12.1	127.320	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	40号掘立柱建物跡
129	ⅣA14j	16.0	127.304	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック中量	40号掘立柱建物跡
130	ⅣA11i	13.0	127.338	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	40号掘立柱建物跡
131	ⅣA12i	24.7	127.197	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	40号掘立柱建物跡
132	ⅣA13i	19.8	127.224	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	40号掘立柱建物跡
133	ⅣA13j	36.2	127.118	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック中量	40号掘立柱建物跡
134	ⅣA12k	26.5	127.308	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
135	ⅢA18g	48.9	127.324	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量	64号竪穴建物跡
				2. にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）	△	○		掘り方。地山ブロック少量、黒褐色シルトブロック中量	
136	ⅢA18g	43.7	127.403	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量	64号竪穴建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/1）	○	◎		掘り方。地山ブロック微量	
137	ⅢA18f	27.7	127.592	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック中量	64号竪穴建物跡
				2. にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）	×	◎		黒褐色シルトブロック少量	
138	ⅢA18f	24.4	127.692	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量	64号竪穴建物跡
				2. にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）	×	◎		掘り方。黒褐色シルトブロック微量	
139	ⅢA17g	34.5	127.536	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		柱痕跡。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量	64号竪穴建物跡
				2. 暗褐色シルト（10YR3/3）	△	○		掘り方。黒褐色シルトブロック微量、地山ブロック中量	
140	ⅢA17g	55.8	127.348	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量	64号竪穴建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/1）	△	◎		掘り方。地山ブロック中量	
141	ⅢA17g	25.6	127.688	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量、酸化鉄微量	64号竪穴建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		掘り方。地山ブロック中量	
142	ⅢA17f	33.0	127.605	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量	64号竪穴建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	◎		掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
143	ⅢA18g	39.7	127.475	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		柱痕跡。炭化物微量、黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック中量	64号竪穴建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	◎		掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
144	ⅢA17f	46.2	127.511	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	64号竪穴建物跡
145	ⅢA17g	51.6	127.408	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量	64号竪穴建物跡
				2. 明黄褐色シルト（10YR7/6）	×	◎		掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
146	ⅢA17f	8.6	127.838	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
147	ⅢA17h	31.0	127.503	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
148	ⅢA20g	26.3	127.44	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック中量	
149	ⅢA21f	26.2	127.44	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
150	ⅢA16h	21.2	127.697	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
151	ⅢA16i	20.5	127.741	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		地山ブロック中量	
152	ⅢA15h	17.1	127.801	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	
153	ⅢA15h	20.5	127.78	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック中量	32号掘立柱建物跡
154	ⅢA15h	28.6	127.719	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
155	ⅢA15i	49.8	127.46	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量	32号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		掘り方。地山ブロックやや多い	
156	ⅢA15h	52.0	127.49	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロックやや多い	32号掘立柱建物跡
157	ⅢA15h	52.3	127.456	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量	
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	◎		掘り方。炭化物微量、地山ブロック中量	
158	ⅢA15i	1.5	127.769	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	32号掘立柱建物跡
159	ⅢA15h	15.2	127.837	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
160	ⅢA15i	31.7	127.672	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	32号掘立柱建物跡
161	ⅢA15i	22.2	127.771	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		柱痕跡。炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量	32号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	◎		掘り方。炭化物微量、地山ブロック少量	
162	ⅢA15i	47.9	127.476	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	32号掘立柱建物跡
163	ⅢA20f	43.7	127.385	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	34号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	◎		地山ブロック少量	
164	ⅢA21f	44.7	127.243	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		柱痕跡。炭化物微量、焼土粒微量	34号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	○		掘り方。地山ブロック中量	
165	ⅢA21f	15.6	127.607	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	34号掘立柱建物跡
166	ⅢA21e	58.3	127.209	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	34号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック中量	
167	ⅢA20e	60.1	127.328	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	34号掘立柱建物跡
168	ⅢA20e	20.2	127.604	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック中量、礫混じり	34号掘立柱建物跡
169	ⅢA21e	19.5	127.557	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	34号掘立柱建物跡
170	ⅢA22e	27.8	127.445	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量、礫少量	
171	ⅣA16m	15.9	127.15	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
172	ⅣA10h	23.6	127.183	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量	
173	ⅢA22e	11.4	127.607	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
174	ⅢA16l	21.3	127.709	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、焼土粒微量	33号掘立柱建物跡
				2. 明黄褐色シルト（10YR7/6）	△	△		黒色シルトブロック多量	
175	ⅢA16k	32.4	127.651	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	33号掘立柱建物跡
				2. 明黄褐色シルト（10YR7/6）	△	△		黒色シルトブロック多量	
176	ⅢA16j	55.5	127.447	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		地山ブロック少量	33号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	×	◎		黒色シルトブロック少量、地山ブロック中量	
177	ⅢA15l	31.4	127.460	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック少量	33号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	◎	◎		黒色シルトブロック少量、地山ブロック中量	
178	ⅢA15k	46.7	127.400	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	33号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	×	◎		地山ブロック少量	
179	ⅢA15k	52.1	127.481	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	33号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	×		地山ブロック微量	
				3. 黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	◎		炭化物微量、地山ブロックやや多い	
180	ⅢA15j	41.2	127.559	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	33号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		地山ブロック中量	
181	ⅢA15j	28.2	127.652	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○	○	地山ブロック中量	33号掘立柱建物跡
182	ⅢA16j	33.9	127.659	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック中量	33号掘立柱建物跡
183	ⅢA16j	5.1	127.951	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
184	ⅢA17k	56.1	127.346	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量	2号柵列
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	◎		掘り方。黒色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
185	ⅢA17j	2.7	127.936	1. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	×	◎		炭化物微量、黒色シルトブロック少量	2号柵列
186	ⅣA14c	4.9	127.858	1. にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）	×	△		炭化物微量、焼土粒微量、黒色シルトブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
187	ⅢA1i	16.3	128.130	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	31号掘立柱建物跡
188	ⅢA4g	40.3	127.306	1.黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック中量	
189	×	－	－	－	－	－	－	－	欠番
190	ⅢA2l	16.8	128.124	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量、礫微量	
191	ⅢA2j	31.0	127.996	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	31号掘立柱建物跡
192	ⅢA1j	25.8	128.037	1.黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	31号掘立柱建物跡
193	ⅢA22h	37.5	127.429	1.黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		地山ブロック微量	
194	ⅢA22h	27.4	127.528	1.黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		地山ブロック微量	
195	ⅢA21h	37.3	127.486	1.黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		地山ブロック微量	
196	ⅢA21h	59.1	127.199	1.黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		地山ブロック微量	
197	ⅢA21h	42.8	127.459	1.黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		地山ブロック微量	
198	ⅢA22i	12.9	127.741	1.黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		地山ブロック微量	
199	ⅡA23h	21.0	128.290	1.黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
200	ⅡA23h	30.9	128.131	1.黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物少量、焼土粒微量、地山粒	
201	ⅡA22j	40.6	128.212	1.灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック中量	
202	ⅡA23i	28.1	128.231	1.灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック少量、黒褐色シルトブロック微量	
203	ⅡA16m	23.4	128.863	1.黒褐色シルト（10YR2/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
204	ⅡA9s	12.9	129.360	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		地山ブロック少量	
205	ⅡA8t	17.6	129.378	1.黒色シルト（10YR1.7/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
206	ⅡA8s	46.8	129.132	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック少量	
207	ⅡA8s	12.8	129.472	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量	
208	ⅡA8s	8.6	129.514	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	◎		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量	
209	ⅡA8s	12.7	129.473	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量	
210	ⅡA7u	12.7	129.447	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		地山ブロック微量	
211	ⅡA7s	1.0	129.490	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎		地山ブロック微量	
212	ⅡA6p	18.3	129.314	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量、酸化鉄微量	
213	ⅡA9r	27.8	129.194	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
214	ⅡA10q	17.6	129.275	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
215	ⅡA10r	16.6	129.300	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
216	ⅡA7p	27.8	129.206	1.黒色シルト（10YR2/1）	×	◎		地山ブロックやや多い	
217	ⅢA10h	18.7	127.768	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
218	ⅢA9f	23.9	127.467	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
219	ⅢA8g	14.9	127.746	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
220	ⅢA8g	11.4	127.781	1.褐灰色シルト（10YR4/1）	△	△		地山ブロック少量、黒褐色シルトブロック少量	
221	ⅢA8g	17.3	127.722	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
222	ⅢA8h	29.6	127.627	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
223	ⅢA8h	29.5	127.628	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
224	ⅢA7h	13.6	127.787	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
225	ⅢA7h	20.5	127.718	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	
226	ⅢA7h	15.2	127.736	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック微量、黄褐色シルトブロックやや多い	
227	ⅢA7g	12.0	127.704	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
228	ⅢA7g	21.7	127.531	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	×		地山ブロック微量	
229	ⅢA6g	23.1	127.528	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
230	ⅢA6g	20.7	127.500	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	×		地山ブロック少量	
231	ⅢA8i	46.9	127.667	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
232	ⅢA8i	13.2	127.751	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック微量	
233	ⅢA6h	19.5	127.742	1.褐灰色シルト（10YR4/1）	×	○		地山ブロック中量	
234	ⅢA6h	17.0	127.782	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
235	ⅢA6h	11.3	127.819	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
236	ⅢA6i	21.9	127.798	1.褐灰色シルト（10YR4/1）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	60号竪穴建物跡
237	ⅢA6i	19.8	127.752	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	60号竪穴建物跡
238	ⅢA6i	19.6	127.754	1.黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	60号竪穴建物跡
239	ⅢA5j	31.5	127.847	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	60号竪穴建物跡
240	ⅢA4j	24.3	127.919	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	60号竪穴建物跡
241	ⅢA4i	13.7	127.919	1.褐灰色シルト（10YR4/1）	×	○		地山ブロック少量、黒褐色シルトブロック少量	60号竪穴建物跡

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
242	ⅢA4i	18.3	127.964	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
243	ⅢA4f	21.1	127.483	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
244	ⅢA2j	34.8	127.892	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
245	ⅢA2j	25.4	128.021	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック中量	31号掘立柱建物跡
246	ⅢA2i	24.8	127.991	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
247	ⅢA1i	17.3	128.069	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	31号掘立柱建物跡
248	ⅢA1i	27.8	127.962	1.褐灰色シルト（10YR4/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量、黒褐色シルトブロック微量	
249	ⅢA1i	12.4	128.143	1.黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		地山ブロック微量	
250	ⅢA1i	6.4	128.221	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック少量	31号掘立柱建物跡
251	ⅢA1j	27.2	127.954	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
252	ⅢA1j	32.7	127.899	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△	○	炭化物微量、地山ブロック少量	31号掘立柱建物跡
253	ⅢA1j	16.5	128.147	1.暗褐色シルト（10YR3/3）	△	○		地山ブロック少量	
254	ⅢA1j	17.5	128.101	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	31号掘立柱建物跡
255	ⅡA25j	14.3	128.118	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎	○	地山ブロック少量	
256	ⅡA25j	11.4	128.162	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
257	ⅡA25h	23.0	128.095	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量、暗赤褐色シルトブロック少量	
258	ⅡA24j	19.4	128.077	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
259	ⅡA24j	10.8	128.151	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	△		地山ブロック微量	
260	ⅡA23i	7.9	128.507	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	◎		地山ブロック微量	
261	ⅡA22j	14.3	128.503	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
262	ⅡA22j	17.5	128.441	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		地山ブロック微量	
263	ⅡA21j	21.4	128.010	1.黒色シルト（10YR2/1）	×	◎		地山ブロック少量	
264	ⅡA22j	5.8	128.472	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック中量	
265	ⅡA23k	17.5	128.160	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		地山ブロック中量	
266	ⅡA23k	11.6	128.238	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック微量	
267	ⅡA22j	26.7	128.351	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
268	ⅡA25k	19.9	128.035	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
269	ⅢA3k	25.2	127.946	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
270	ⅡA23l	9.8	128.347	1.暗褐色シルト（10YR3/3）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
271	ⅢA2l	17.7	128.113	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
272	ⅡA23i	8.6	128.381	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
273	ⅡA22j	16.2	128.421	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
274	ⅡA22i	15.1	128.467	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック中量	
275	ⅡA24i	5.6	128.330	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロック微量	
276	ⅡA21l	21.2	128.259	1.黒色シルト（10YR2/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
277	ⅡA21l	24.9	128.307	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック微量	
278	ⅡA23n	39.6	128.162	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
279	ⅡA23n	32.7	128.231	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	
280	ⅡA23n	18.2	128.393	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		地山ブロック中量	
281	ⅡA23n	17.1	128.372	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック微量	
282	ⅡA22o	8.1	128.462	1.灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
283	ⅡA21p	25.3	128.372	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
284	ⅡA20o	11.7	128.406	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
285	ⅡA20l	9.5	128.590	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	△		地山ブロック微量	
286	ⅡA21i	24.0	128.440	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量	
287	ⅡA21i	18.4	128.494	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		地山ブロック微量	
288	ⅡA21i	11.6	128.564	1.黒色シルト（10YR2/1）	×	◎	○	地山ブロック中量	
289	ⅡA18o	5.8	128.561	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		地山ブロック微量	
290	ⅡA18o	4.0	128.584	1.黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		炭化物微量	
291	ⅡA17o	12.9	128.934	1.黒色シルト（10YR2/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
292	ⅡA17n	8.7	129.034	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
293	ⅡA17l	19.4	128.835	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	○		炭化物微量	
294	ⅡA17i	1.3	128.779	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		炭化物少量	
295	ⅡA17i	13.1	128.722	1.黒色シルト（10YR2/1）	△	△		地山ブロック少量	
296	ⅡA16j	22.3	128.949	1.黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック微量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
297	ⅡA15l	14.8	129.143	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
298	ⅡA14q	12.7	128.890	1. 黒色シルト（10YR1. 7/1）	△	△		炭化物微量	
299	ⅡA11o	26.8	129.266	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		地山ブロック少量	
300	ⅡA10t	24.2	129.232	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		地山ブロック微量	
301	ⅡA9u	11.0	129.416	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
302	ⅡA10t	14.2	129.392	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		地山ブロック少量	
303	ⅡA9v	15.3	129.359	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
304	ⅡA8v	24.2	129.290	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	
305	ⅡA10w	37.5	129.041	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
306	ⅡA9w	33.0	129.132	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
307	ⅡA9o	8.8	129.408	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物少量、地山ブロック微量	
308	ⅡA6u	23.2	129.476	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
309	ⅡA10p	20.7	129.260	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
310	ⅢA2k	13.2	128.080	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
311	ⅢA4i	9.3	128.080	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック中量	60号竪穴建物跡
312	ⅡA21l	16.0	128.259	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△		地山ブロック少量	
313	ⅡA1o	12.3	129.579	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
314	ⅡA1o	13.1	129.544	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
315	ⅡA1o	18.9	129.496	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
316	ⅡA1o	5.2	129.625	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
317	ⅡA1o	10.0	129.542	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
318	ⅠA25o	15.3	129.540	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
319	ⅡA2n	5.5	129.626	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物少量、地山ブロック微量	
320	ⅠA25n	13.4	129.602	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎	○	地山ブロックやや多い	
321	ⅠA25n	19.5	129.540	1. 明黄褐色シルト（10YR6/6）	×	◎	○	黒褐色シルトブロックやや多い	
322	ⅠA25m	17.7	129.526	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック微量	
323	ⅠA24m	11.2	129.609	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎	○	地山ブロック少量	28号掘立柱建物跡
324	ⅠA24m	34.1	129.372	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△	○	炭化物微量、地山ブロック微量	
325	ⅠA24m	47.5	129.272	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	28号掘立柱建物跡
326	ⅠA24n	18.5	129.599	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎	○	地山ブロックやや多い	
327	ⅠA24n	22.6	129.533	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎	○	地山ブロック中量、白色粒子微量	
328	ⅠA24n	13.0	129.582	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△	○	炭化物微量、地山ブロック微量	28号掘立柱建物跡
329	ⅠA24m	11.9	129.590	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎	○	地山ブロック中量	
330	ⅠA24n	15.0	129.599	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎	○	地山ブロック中量	
331	ⅠA23n	21.6	129.506	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○	○	地山ブロック中量、白色粒子微量	
332	ⅠA23m	20.8	129.520	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎	○	地山ブロック微量、白色粒子微量	
333	ⅠA24m	19.4	129.532	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○	○	炭化物微量、地山ブロック微量	28号掘立柱建物跡
334	ⅠA25m	11.2	129.539	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量	
335	ⅠA25m	8.9	129.553	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量、礫少量	
336	ⅠA24l	1.4	129.747	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
337	ⅠA24l	48.3	129.305	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	28号掘立柱建物跡
338	ⅠA24l	15.7	129.627	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	×	◎		地山ブロック少量	
339	ⅠA24l	33.3	129.440	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎	○	地山ブロックやや多い	
340	ⅠA24l	22.9	129.539	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
341	ⅡA1m	11.7	129.577	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
342	ⅡA1m	15.3	129.496	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎	○	地山ブロックやや多い	
343	ⅡA1m	13.4	129.574	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		地山ブロック中量	
344	ⅡA2l	10.9	129.541	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○	○	地山ブロック少量、酸化鉄微量	29号掘立柱建物跡
345	ⅡA2l	13.2	129.531	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
346	ⅡA2l	21.2	129.442	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
347	ⅡA2l	11.3	129.502	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
348	ⅡA2l	23.0	129.401	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
349	ⅡA2l	9.1	129.547	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
350	ⅡA1l	10.3	129.591	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	29号掘立柱建物跡
351	ⅡA31	40.0	129.216	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	◎		酸化鉄微量、地山ブロック微量	
352	ⅡA4k	10.4	129.539	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
353	ⅡA4k	7.3	129.559	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	○		地山ブロック中量	
354	ⅡA4k	9.6	129.514	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	
355	ⅡA3m	14.8	129.497	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	30号掘立柱建物跡
356	ⅡA3m	15.0	129.505	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロックやや多い	30号掘立柱建物跡
357	ⅡA3l	10.1	129.534	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
358	ⅡA4m	9.6	129.543	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○	○	地山ブロックやや多い	30号掘立柱建物跡
359	ⅡA2k	5.0	129.545	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		地山ブロック微量	
360	ⅡA1l	16.8	129.439	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	
361	ⅡA1l	8.0	129.575	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	29号掘立柱建物跡
362	ⅡA1m	8.0	129.571	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量	
363	ⅡA1l	16.9	129.528	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	29号掘立柱建物跡
364	ⅡA3k	22.9	129.384	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
365	ⅠA24l	42.6	129.335	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△	○	炭化物微量、にぶい黄橙色細砂少量	28号掘立柱建物跡
366	ⅠA25m	13.1	129.569	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○	○	地山ブロック少量	28号掘立柱建物跡
367	ⅠA24n	24.6	129.487	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎	○	地山ブロック少量、にぶい黄橙色細砂少量	
368	ⅠA24n	24.3	129.508	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		地山ブロック少量	
369	ⅠA24n	19.8	129.574	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		地山ブロック中量	
370	ⅠA24m	8.6	129.570	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
371	ⅠA24m	9.3	129.606	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△		地山ブロック少量	28号掘立柱建物跡
372	ⅠA24l	30.9	129.376	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○	○	地山ブロック中量	28号掘立柱建物跡
373	ⅠA23l	24.7	129.417	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○	○	炭化物微量、地山ブロック中量	
374	ⅠA23k	6.1	129.653	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック微量	
375	ⅠA24l	25.8	129.425	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		地山ブロック少量	
376	ⅡA3l	14.9	129.478	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	30号掘立柱建物跡
377	ⅡA7x	29.4	129.192	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック少量	25号掘立柱建物跡
378	ⅡA6w	30.4	129.340	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量、黄橙色細砂中量	
379	ⅡA6w	21.2	129.407	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック微量	
380	ⅡA7x	29.2	129.133	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		褐灰色細砂少量	
381	ⅡA6x	14.1	129.261	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
382	ⅡA2l	27.3	129.392	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	29号掘立柱建物跡
383	ⅡA6x	24.3	129.299	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
384	ⅡA5x	21.2	129.288	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量、褐灰色シルトブロック少量	22号掘立柱建物跡
385	ⅡA5x	22.9	129.217	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック微量	23号掘立柱建物跡
386	ⅡA5x	45.7	128.996	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		柱痕跡。地山ブロック微量	24号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	◎		掘り方。黒色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
387	ⅡA5x	17.7	129.276	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	△		黒褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
388	ⅡA5x	15.4	129.410	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック中量下部に偏在	
389	ⅡA5x	24.8	129.322	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
390	ⅡA5w	13.1	129.505	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック微量	
391	ⅡA5w	27.6	129.363	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		地山ブロック微量	
392	ⅡA5w	13.7	129.501	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック微量	22号掘立柱建物跡
393	ⅡA5w	12.5	129.499	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○			
394	ⅡA4w	24.6	129.414	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック少量	22号掘立柱建物跡
395	ⅡA5w	10.2	129.560	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
396	ⅡA4w	19.1	129.414	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	◎		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
397	ⅡA4x	22.0	129.035	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○	○	炭化物微量、Ⅵ層土（河道跡埋土）中量	24号掘立柱建物跡
398	ⅡA6x	44.0	128.952	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		柱痕跡。地山ブロック微量	25号掘立柱建物跡
				2. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	◎		掘り方。炭化物微量、地山ブロック中量	
399	ⅡB5a	16.4	129.098	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		暗褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	1号柵列
400	ⅡA4y	34.8	128.918	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	24号掘立柱建物跡
				2. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
401	ⅡA4y	19.4	129.077	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		地山ブロック少量	
402	ⅡA4y	18.7	129.060	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	23・24号掘立柱建物跡
403	ⅡA4x	30.3	129.084	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	23号掘立柱建物跡

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
404	ⅡA4w	12.8	129.514	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	△		地山ブロック少量	
405	ⅡA4w	10.4	129.525	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		地山ブロック少量	23号掘立柱建物跡
406	ⅡA4w	13.0	129.526	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	○		地山ブロック少量	22号掘立柱建物跡
407	ⅡA4w	16.3	129.412	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
408	ⅡA4w	37.5	129.145	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	22号掘立柱建物跡
409	ⅡA3x	26.7	129.213	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック微量	24号掘立柱建物跡
410	ⅡA4x	19.6	129.180	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック微量、白色粒子微量	22号掘立柱建物跡
411	ⅡA3y	42.4	128.852	1. 黒褐色シルト（2/3）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
412	ⅡB3a	43.0	128.839	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		地山ブロック微量	1号柵列
413	ⅡA3x	12.4	129.145	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	21号掘立柱建物跡
414	ⅡA3y	18.6	129.098	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○	○	地山ブロック少量	
415	ⅡA3w	11.5	129.305	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック中量	
416	ⅡA3x	17.3	129.144	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		暗褐色シルトブロック中量、地山ブロック微量	24号掘立柱建物跡
417	ⅡA3w	12.6	129.300	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		灰黄褐色シルトブロック中量、地山ブロック微量	21号掘立柱建物跡
418	ⅡA3w	22.0	129.173	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック少量	20号掘立柱建物跡
419	ⅡA2w	23.1	129.185	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、暗褐色シルトブロック微量、地山ブロック微量	21号掘立柱建物跡
420	ⅡA3x	14.9	129.217	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、暗褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
421	ⅡA3w	10.6	129.376	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック中量	
422	ⅡA3y	15.8	129.126	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	
423	ⅡA3y	15.8	129.113	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	○	○	黒褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
424	ⅡA3y	21.5	129.021	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
425	ⅡA2x	22.1	129.083	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック微量	21号掘立柱建物跡
426	ⅡA2x	17.2	129.174	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△		地山ブロック微量、白色粒子微量	21号掘立柱建物跡
427	ⅡA2x	9.8	129.319	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	21号掘立柱建物跡
428	ⅡA2y	9.5	129.128	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	○	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
429	ⅡB2a	19.7	129.033	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック微量	
430	ⅡB2a	33.1	128.888	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	◎	○		柱痕跡。黒褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
				2. 明黄褐色シルト（10YR6/6）	◎	△		掘り方。炭化物微量、黒褐色シルトブロック中量	
431	ⅡA1y	19.7	129.138	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	19号掘立柱建物跡
432	ⅡA2l	30.4	129.353	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	29号掘立柱建物跡
433	ⅡA2x	25.6	129.116	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	△		地山ブロック少量	
434	ⅡA2w	12.2	129.402	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック少量	
435	ⅡA2w	6.6	129.419	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量	
436	ⅡA2w	24.0	129.299	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
437	ⅡA1w	42.5	129.066	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
438	ⅡA1x	13.0	129.214	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	△		地山ブロック微量	20号掘立柱建物跡
439	ⅡA2x	7.0	129.287	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック中量	21号掘立柱建物跡
440	ⅡA1x	10.9	129.218	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
441	ⅡA1x	13.0	129.221	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック微量	
442	ⅡB3a	13.4	129.116	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック少量	
443	ⅡA2w	19.1	129.425	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック微量	
444	ⅠA25x	27.4	129.087	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
445	ⅠA25x	14.7	129.243	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	○		黒褐色シルトブロック中量、地山ブロック微量	
446	ⅠA25x	19.0	129.202	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	△		地山ブロック微量	
447	ⅠA25x	18.4	129.206	1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	◎		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
448	ⅡA5x	21.6	129.248	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	24号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	×	○		地山ブロック中量	
449	ⅡA4x	32.3	129.175	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		柱痕跡。地山ブロック微量	24号掘立柱建物跡
				2. 褐灰色シルト（10YR5/1）	×	○		掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック中量	
450	ⅡA5w	140.1	129.589	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	×	○		柱痕跡。地山ブロック少量	24号掘立柱建物跡
				2. 褐灰色シルト（10YR5/1）	×	○		掘り方。炭化物微量、黒褐色シルトブロック少量	
451	ⅡA5x	11.0	129.446	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック微量	
452	ⅡA5w	8.0	129.530	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	22号掘立柱建物跡
453	ⅡA6w	33.0	129.318	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック下部に少量偏在	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
454	ⅡA6x	41.1	129.083	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック少量	25号掘立柱建物跡
455	ⅡA5x	36.6	129.027	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	25号掘立柱建物跡
456	ⅡA6x	31.5	129.183	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	○		地山ブロック微量	25号掘立柱建物跡
457	ⅡA6w	9.3	129.557	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		地山ブロック少量	
458	ⅡA5y	41.9	128.910	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロックやや多い	24号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		柱痕跡。地山ブロック微量	
				3. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	○		掘り方。黒褐色シルトブロック微量、地山ブロック微量	
459	ⅡA4x	8.6	129.255	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック微量	
460	ⅡA4x	9.6	129.240	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック微量	
461	ⅡA7x	31.2	129.066	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	25号掘立柱建物跡
				2. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△		地山ブロック少量	
462	ⅡA7x	43.6	128.897	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック少量	25号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		掘り方。地山ブロック少量	
463	ⅡA7x	27.3	129.117	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック中量	25号掘立柱建物跡
464	ⅡA6y	34.3	128.973	1. 黒色シルト（10YR2/1）	×	△		柱痕跡。地山ブロック少量	25号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	○		掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
465	ⅡA6x	16.2	129.196	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	
466	ⅠA25v	25.3	129.474	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎	○	炭化物微量、地山ブロック少量	17号掘立柱建物跡
467	ⅠA24u	6.9	129.694	1. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
468	ⅠA24v	6.4	129.706	1. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
469	ⅠA24v	10.5	129.651	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		地山ブロック微量	
470	ⅠA24v	13.3	129.613	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック微量	
471	ⅠA25v	17.0	129.548	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック中量	
472	ⅠA24v	27.4	129.448	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
473	ⅠA24v	26.9	129.402	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
474	ⅠA25v	1.6	129.627	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	16号掘立柱建物跡
475	ⅠA25v	9.0	129.550	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
476	ⅠA25u	19.9	129.578	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
477	ⅠA25w	35.8	129.205	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	17号掘立柱建物跡
478	ⅠA25w	22.5	129.412	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	△		地山ブロック少量	
479	ⅠA25w	19.1	129.307	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	18号掘立柱建物跡
480	ⅡA4x	25.7	129.257	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量、Ⅵ層土（河道跡埋土）少量	
481	ⅡA7x	48.7	128.881	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	25号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	×		地山ブロック中量	
				3. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	△		地山ブロック少量	
482	ⅠA25w	18.7	129.307	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	16号掘立柱建物跡
483	ⅠA24w	15.3	129.343	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
484	ⅠA24w	13.0	129.372	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		炭化物微量、灰黄褐色シルトブロック中量	
485	ⅠA24w	13.2	129.357	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	18号掘立柱建物跡
486	ⅠA24v	8.6	129.426	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	○		地山ブロック微量	18号掘立柱建物跡
487	ⅠA24w	8.5	129.438	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック微量	
488	ⅠA24w	32.6	129.199	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量	
489	ⅠA24w	11.2	129.426	1. 褐灰色シルト（10YR5/1）	△	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
490	ⅠA24w	15.3	129.406	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		炭化物微量	
491	ⅠA24w	34.7	129.226	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック少量	16号掘立柱建物跡
492	ⅠA24w	10.7	129.420	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	18号掘立柱建物跡
493	ⅠA24x	7.6	129.445	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック微量	18号掘立柱建物跡
494	ⅠA24x	22.7	129.314	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	18号掘立柱建物跡
495	ⅠA23x	23.2	129.280	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○	○	炭化物微量、地山ブロック少量	15号掘立柱建物跡
496	ⅠA25x	7.2	129.396	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	19号掘立柱建物跡
497	ⅠA25x	14.8	129.311	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量	18号掘立柱建物跡
498	ⅠA23v	21.6	129.353	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック微量	
499	ⅠA24v	8.2	129.486	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	◎	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	16号掘立柱建物跡
500	ⅠA25v	24.6	129.453	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		灰黄褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
501	ⅡA1v	13.5	129.579	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	17号掘立柱建物跡
502	ⅡA7x	30.3	129.109	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック微量	
503	ⅡA7v	17.1	129.399	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック少量	
504	ⅡA4w	7.0	129.527	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	◎		黒褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
505	ⅡA3y	15.8	129.099	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	△		Ⅵ層土（河道跡）少量、地山ブロック少量	
506	ⅡA3w	6.8	129.370	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
507	ⅡA3x	13.8	129.075	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		地山ブロック少量	20号掘立柱建物跡
508	ⅡA2y	23.3	129.002	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	◎		地山ブロック微量	20号掘立柱建物跡
509	ⅡA1v	7.8	129.632	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	○		炭化物微量、黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
510	ⅡA3x	20.4	129.181	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
511	ⅡA3x	8.6	129.300	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量下部に偏在	
512	ⅡA3x	7.9	129.312	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量下部に偏在	
513	ⅠA25w	12.5	129.347	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	○	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
514	ⅠA24x	9.9	129.388	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		暗褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	19号掘立柱建物跡
515	ⅡB2a	12.1	129.116	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		暗褐色シルトブロック微量、地山ブロック微量	
516	ⅠA24x	9.2	129.374	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	○		暗褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
517	ⅡA1y	15.2	129.105	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック中量	20号掘立柱建物跡
518	ⅠA24y	24.5	129.224	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック少量	
519	ⅠA25x	36.9	129.076	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	19号掘立柱建物跡
520	ⅠA23y	23.0	129.293	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		炭化物微量、暗褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	15号掘立柱建物跡
521	ⅠA24y	12.4	129.369	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック微量	19号掘立柱建物跡
522	ⅠA24y	34.3	129.150	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
523	ⅠA25x	9.5	129.340	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック中量	
524	ⅠA25x	38.2	129.064	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		地山ブロック微量	
525	ⅠA25y	22.9	129.213	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		地山ブロック微量	
526	ⅠA25y	31.9	129.137	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロック微量	
527	ⅠA24y	10.9	130.752	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
528	ⅡA5w	32.8	129.174	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
529	ⅠA23y	16.2	129.411	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		地山ブロック少量	
530	ⅠA22x	12.0	131.035	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック中量	15号掘立柱建物跡
531	ⅠA21x	32.0	130.933	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		地山ブロック少量	
532	ⅠA20x	17.1	131.132	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	×	×		炭化物微量、地山ブロック中量	
533	ⅡA1x	26.3	130.551	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	19号掘立柱建物跡
534	ⅡA1x	13.9	130.612	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
535	ⅡA1x	15.1	130.572	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
536	ⅡA1x	19.0	130.538	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック中量	
537	ⅠA25w	10.6	130.854	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量	17号掘立柱建物跡
538	ⅠB22a	20.1	130.875	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック少量下部に偏在	
539	ⅠA22y	22.4	130.837	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック中量	
540	ⅠA22y	23.5	130.822	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック微量	
541	ⅠA22y	19.2	129.493	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
542	ⅠA22y	29.9	129.409	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	15号掘立柱建物跡
543	ⅠA21y	10.0	129.651	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック微量	
544	ⅠB21a	9.7	129.682	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
545	ⅠA21y	20.0	129.566	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		地山ブロック少量下部に偏在	
546	ⅠB21a	30.8	129.504	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、灰黄褐色シルトブロック中量、地山ブロック微量	
547	ⅠA21y	12.6	129.713	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
548	ⅠA21y	23.7	129.618	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
549	ⅠA22y	24.5	129.430	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック微量	
550	ⅠA21x	24.5	129.604	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
551	ⅠB22b	12.2	129.629	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	○		地山ブロック少量	
552	ⅠA20u	18.7	129.612	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	△		地山ブロック少量	
553	ⅠA18u	23.3	129.809	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
554	ⅠA18u	10.8	129.963	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		地山ブロック少量	
555	ⅠB8f	39.4	130.389	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	◎	○	黒色シルトブロック少量、地山ブロック中量	3 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄褐色シルト	×	◎		黒色シルトブロック中量	
556	ⅠB7f	31.2	130.435	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎	○	炭化物微量、褐灰色シルトブロック中量	3 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄褐色シルト	△	○		地山ブロック中量	
557	ⅠB6g	41.3	130.358	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○	○	地山ブロック中量	3 号掘立柱建物跡
558	ⅠB5g	40.2	130.376	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎	○	褐灰色シルトブロック少量、地山ブロック中量	3 号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト	×	◎		地山ブロック少量	
559	ⅠB8g	5.8	130.746	1. にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）	×	◎		黒色シルトブロック中量、地山ブロック微量	
560	ⅠB7g	48.9	130.309	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○	○	炭化物微量、褐灰色シルトブロック少量	3 号掘立柱建物跡
561	ⅠB7g	40.0	130.433	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎	○	褐灰色シルトブロック少量、地山ブロック中量	3 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄褐色シルト	△	○		黒色シルトブロック少量	
562	ⅠB6h	24.7	130.473	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎	○	地山ブロック中量	3 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト	△	○		黒色シルトブロック少量	
563	ⅠB7h	55.1	130.263	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎	○	褐灰色シルトブロック少量、地山ブロック微量	2 号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロックやや多い	
564	ⅠB6h	35.1	130.397	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○	○	地山ブロック中量	2 号掘立柱建物跡
565	ⅠB6h	24.1	130.462	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○	○	地山ブロック少量	2 号掘立柱建物跡
566	ⅠB7i	40.7	130.379	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎	○	炭化物微量、地山ブロック中量	2 号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	×	△		黒色シルトブロック少量	
567	ⅠB6i	37.2	130.300	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	◎	○	地山ブロック少量	2 号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	◎		褐灰色シルトブロック中量、地山ブロック中量	
568	ⅠB6i	40.0	130.296	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎	○	地山ブロック少量	2 号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロック中量	
569	ⅠB5i	42.5	130.309	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎	○	地山ブロック少量	2 号掘立柱建物跡
				2. 褐灰色シルト（10YR5/1）	×	△		黒色シルトブロック少量	
570	ⅠB7e	59.1	129.930	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	△		炭化物微量	
571	ⅠB7e	22.7	130.443	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック少量	
572	ⅠB7e	11.8	130.587	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		地山ブロック少量	
573	ⅠB7f	21.4	130.568	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		地山ブロック中量	
574	ⅠB7f	13.5	130.639	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	×		炭化物微量、地山ブロック微量	
575	ⅠB7e	16.4	130.543	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
576	ⅠB6f	32.3	130.472	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量、周辺に褐灰色シルトブロック中量	
577	ⅠB6f	14.0	130.638	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロックやや多い	
578	ⅠB5g	15.4	130.619	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
579	ⅠB5g	6.0	130.633	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
580	×	−	−	−	−	−	−	−	欠番
581	ⅠB16e	10.2	130.099	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック微量	
582	ⅠB16e	14.1	130.037	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック微量	
583	ⅠB16e	15.6	130.082	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック微量	
584	ⅠB9f	26.6	130.439	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック微量	
585	ⅠB5h	38.1	130.255	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○	○	地山ブロック中量	2 号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック微量	
586	ⅠB9e	27.5	130.429	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック少量	
587	ⅠB8e	9.2	130.646	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	○		黒褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
588	ⅠB8g	47.4	130.331	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量	3 号掘立柱建物跡
				2. 明黄橙色シルト（10YR7/4）	×	◎		掘り方埋土。黒色シルトブロック中量	
589	ⅠB14b	47.2	130.130	1. 黒褐色シルト（3/1）	○	◎	○	褐灰色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
590	ⅠB16e	24.6	129.943	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック微量	
591	ⅠB9i	21.5	130.615	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
592	ⅠB9h	18.4	130.615	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	○	◎		地山ブロック微量、自然の落ち込み？	
593	ⅠB11g	12.4	130.518	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
594	ⅠB11g	18.1	130.458	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック少量	
595	ⅠB11g	13.8	130.504	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
596	ⅠB10g	15.1	130.494	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	△		黒褐色シルトブロック中量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
597	ⅠB14i	20.5	130.327	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
598	ⅠB14j	17.8	130.397	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
599	ⅠB14j	26.6	130.310	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
600	ⅡA11w	20.0	129.212	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック少量	
601	ⅡA11w	17.0	129.235	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	
602	ⅡA11x	9.3	129.215	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎		地山ブロック微量	
603	ⅡA11x	15.1	129.137	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○	○	地山ブロック中量	
604	ⅡA11y	13.5	129.053	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
605	ⅡA10y	18.9	129.003	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	△		地山ブロック中量	
606	ⅡA10y	20.0	129.058	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	△		地山ブロック少量下部に偏在	
607	ⅡA10x	9.3	129.282	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
608	ⅡA10y	13.1	129.063	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	○		黒褐色シルトブロック少量上部に偏在	
609	ⅡA10y	22.7	128.971	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
610	ⅡA9y	9.5	129.124	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		黒色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
611	ⅡA9y	21.0	128.968	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック微量	
612	ⅡA9y	13.8	129.098	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック少量	
613	ⅡA8y	35.0	128.990	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
614	ⅡB5a	11.5	129.217	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
615	ⅡB4a	15.6	129.175	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
616	ⅡB4a	21.2	129.109	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		地山ブロック微量	
617	ⅡB4c	10.5	129.398	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック中量	27号掘立柱建物跡
618	ⅡB4c	6.7	129.371	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
619	ⅡB3c	6.2	129.409	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
620	ⅡB3c	9.5	129.430	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック中量	
621	ⅡB3c	8.2	129.481	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
622	ⅡB4d	17.0	129.416	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック少量	
623	ⅡB3d	17.4	129.411	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	27号掘立柱建物跡
624	ⅡB4d	15.9	129.423	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		黒色シルトブロック少量偏在、地山ブロック少量	26号掘立柱建物跡
625	ⅡB2d	13.6	129.485	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
626	ⅡB2c	12.4	129.439	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック中量	27号掘立柱建物跡
627	ⅡB2b	10.1	129.506	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	△		地山ブロック少量	
628	ⅡB2c	6.5	129.506	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
629	ⅡB2c	15.4	129.467	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
630	ⅡB1c	15.3	129.551	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック中量	
631	ⅡB1c	7.8	129.591	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック中量	
632	ⅡB2c	3.7	129.634	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック少量	26号掘立柱建物跡
633	ⅡB2d	10.5	129.581	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	26号掘立柱建物跡
634	ⅡB2d	14.8	129.532	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	26号掘立柱建物跡
635	ⅡB1d	7.0	129.624	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	26号掘立柱建物跡
636	ⅠB25c	20.9	129.549	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック中量	
637	ⅠB23e	24.4	129.720	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
638	ⅠB23f	2.2	129.874	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
639	ⅠB23e	14.9	129.796	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	15号竪穴建物跡
640	ⅠB23e	8.5	129.861	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロック中量	
641	ⅠB23f	6.9	129.882	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロックやや多い	
642	ⅠB23f	11.3	129.825	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	15号竪穴建物跡
643	ⅠB21f	27.6	129.737	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量、礫少量	15号竪穴建物跡
644	ⅠB22f	8.8	129.898	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
645	ⅠB21f	10.5	129.986	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	15号竪穴建物跡
646	ⅠB21f	15.8	129.917	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
647	ⅠB21g	10.4	130.003	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
648	ⅠB20g	7.7	130.047	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		暗褐色シルトブロック少量下部に偏在	14号掘立柱建物跡
649	ⅠB20g	7.5	130.067	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
650	ⅠB20f	19.0	129.960	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	14号掘立柱建物跡
651	ⅠB20f	10.8	130.049	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック微量	
652	ⅠB20e	14.3	129.972	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック微量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
653	ⅠB19f	15.8	130.031	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
654	ⅠB19g	28.2	129.891	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
655	ⅠB19g	14.1	130.058	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
656	ⅠB19d	7.6	129.997	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック微量	
657	ⅠB18d	12.0	129.997	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
658	ⅠB18d	10.7	130.067	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎	○	地山ブロック中量	
659	ⅠB19f	15.8	130.010	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○	○	地山ブロック中量	12号竪穴建物跡
660	ⅠB19g	11.0	130.074	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		地山ブロック少量	14号掘立柱建物跡
661	ⅠB18g	21.8	129.987	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		地山ブロック微量	
662	ⅠB19g	23.4	129.933	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量下部に偏在	
663	ⅠB19g	12.5	130.042	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		地山ブロック少量	
664	ⅠB19g	25.0	129.917	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		地山ブロック微量	
665	ⅠB19h	44.5	129.728	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	×		炭化物微量、地山ブロック少量	12号竪穴建物跡
666	ⅠB19h	15.8	129.973	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	
667	ⅠB19h	24.5	129.908	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	13号掘立柱建物跡
668	ⅠB18f	8.6	130.103	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック少量	
669	ⅠB19h	12.3	130.058	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック少量	14号掘立柱建物跡
670	ⅠB19h	9.8	130.056	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	
671	ⅠB19h	14.0	130.029	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		地山ブロック中量	
672	ⅠB18h	26.2	129.949	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック中量下部に偏在	12号竪穴建物跡
673	ⅠB18f	75.2	129.437	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		柱痕跡。炭化物微量、地山ブロック微量	12号竪穴建物跡
				2. 暗褐色シルト（10YR3/3）	△	◎		掘り方埋土。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック中量	
674	ⅠB19h	10.2	130.032	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック中量	13号掘立柱建物跡
675	ⅠB18h	16.4	130.052	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック微量	13号掘立柱建物跡
676	ⅠB18h	24.2	129.964	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	12号竪穴建物跡
677	ⅠB17g	24.7	129.985	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	12号竪穴建物跡
678	ⅠB19g	10.9	130.035	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		にぶい黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
679	ⅠB19g	11.6	130.059	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		にぶい黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
680	ⅠB19f	23.5	129.920	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	×	○		地山ブロック中量	14号掘立柱建物跡
681	ⅠB18d	9.1	130.102	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	×	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
682	ⅠB17c	26.1	129.902	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック中量下部に偏在	
683	ⅠB17c	8.5	130.133	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量、磁器片混じる	
684	ⅠB12b	9.6	130.619	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	
685	ⅠB12a	16.7	130.527	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
686	ⅠB12a	9.0	130.604	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		地山ブロック微量	
687	ⅠA13y	5.8	130.630	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、焼土粒微量、地山ブロック微量	
688	ⅠA13y	16.7	130.466	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロック微量	
689	ⅠA13y	8.0	130.622	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		暗褐色シルトブロック少量下部に偏在、地山ブロック微量	
690	ⅠA13y	10.8	130.607	1. 暗褐色シルト（10YR3/4）	△	◎		黒褐色シルトブロック少量上部に偏在、地山ブロック少量	
691	ⅠA13y	4.6	130.628	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
692	ⅠA13y	3.7	130.669	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		地山ブロック微量	
693	ⅠA13x	25.1	130.422	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック少量、礫少量	
694	ⅠA13x	11.3	130.546	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
695	ⅠA13x	3.8	130.601	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	△		地山ブロック微量、（礫層掘り込み構築）	
696	ⅠA12x	7.7	130.584	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	×		地山ブロック微量	
697	ⅠA12x	11.7	130.524	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
698	ⅠA13y	16.8	130.545	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
699	ⅠA12y	8.4	130.635	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック微量	
700	ⅠA12y	16.8	130.524	1. 暗褐色シルト（10YR3/4）	△	◎		地山ブロック少量	
701	ⅠB12a	6.5	130.607	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		炭化物少量、地山ブロック少量	
702	ⅠA13x	9.1	130.461	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック中量（礫層掘り込み構築）	
703	ⅠA12y	32.7	130.389	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
704	ⅠB12a	10.3	130.623	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
705	ⅠB12b	23.1	130.486	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロック微量	
706	ⅠB12b	28.3	130.437	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		地山ブロック微量	
707	ⅠB12b	20.5	130.500	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎		地山ブロック少量	
708	ⅠB12a	30.2	130.356	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	×	○	地山ブロック中量、礫少量	
709	ⅠA15u	18.9	130.039	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
710	ⅠA17t	18.6	130.023	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量下部に偏在	
711	ⅠA15u	18.2	130.069	1. 黒色シルト（10YR2/1）	◎	○		地山ブロック少量下部に偏在	
712	ⅠA17t	15.3	130.083	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		灰黄褐色シルトブロック中量、地山ブロック少量	
713	ⅠA15t	14.1	130.144	1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
714	ⅠA16t	9.8	130.194	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		地山ブロック微量	
715	ⅠA17t	8.2	130.157	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○	○	地山ブロック中量	
716	ⅠA17t	12.8	130.032	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック中量	
717	ⅠA18t	9.5	130.031	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	×		炭化物微量、地山ブロック微量	
718	ⅠA18t	17.1	130.026	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	△		暗褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
719	ⅠA18t	14.1	130.116	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		暗褐色シルトブロック中量、地山ブロック微量	
720	ⅠA19t	35.2	129.590	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
721	ⅠA19t	8.0	129.841	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	○		地山ブロック少量	
722	ⅠA21r	7.4	130.056	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		地山ブロック中量	
723	ⅠA20r	15.1	129.917	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		地山ブロック中量	
724	ⅠA20s	6.7	129.826	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	○		地山ブロック少量	
725	ⅠA21u	32.4	129.352	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		地山ブロック微量	
726	ⅠA21u	10.8	129.579	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	
727	ⅠA22t	8.9	129.697	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	×	◎		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
728	ⅠA23t	8.4	129.704	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
729	ⅠA23t	17.3	129.713	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック少量	
730	ⅠA23s	5.5	129.741	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック微量	
731	ⅠA12y	10.9	130.583	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	◎		地山ブロック少量	
732	ⅠA13y	6.0	130.631	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		炭化物微量、地山ブロック中量	
733	ⅠB13a	3.2	130.670	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		地山ブロック少量	
734	ⅠB14a	4.1	130.567	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	◎		地山ブロック中量	
735	ⅠA12y	5.8	130.657	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
736	×	－	－	－	－	－	－	－	欠番
737	ⅠA6w	50.5	128.977	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	△		柱痕跡。地山ブロック微量	1号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		掘り方。地山ブロック少量	
738	ⅠA5v	30.0	129.137	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	○		柱痕跡	1号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		掘り方。地山ブロック少量	
739	ⅠA5v	8.8	129.244	1. にぶい黄橙色シルト（10YR7/6）	×	△		黒褐色シルト少量	1号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック微量、酸化鉄少量	
740	ⅠA5x	19.0	129.323	1. 黒褐色シルト（10YR2/1）	○	○		柱痕跡。地山ブロック少量	1号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	◎		掘り方。黒褐色シルトブロック微量、地山ブロック少量	
741	ⅠA4w	33.6	129.169	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		柱痕跡。地山ブロック微量	1号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	◎	◎		掘り方。地山ブロック少量	
742	ⅠA4w	27.2	129.204	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	◎		柱痕跡。地山ブロック少量	1号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト（10YR6/4）	△	○		掘り方。地山ブロック少量	
743	ⅠA4v	6.4	129.200	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	◎		褐灰色シルト少量、地山ブロック少量	1号掘立柱建物跡
744	ⅠA4w	26.0	129.224	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック中量	
745	ⅠA7w	16.2	129.258	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	◎	○		黒色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
746	ⅠA7u	12.1	129.402	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
747	ⅠA9t	2.8	129.345	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	◎		地山ブロック少量	
748	ⅠA9u	19.4	129.180	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
749	ⅠA9u	20.6	129.111	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
750	ⅠA9s	20.1	129.295	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量	6号掘立柱建物跡
751	ⅠA9s	11.9	129.433	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○	○	炭化物微量、地山ブロック少量	6号掘立柱建物跡
752	ⅠA10s	14.4	129.393	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	6号掘立柱建物跡

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
753	I A8t	24.9	129.267	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
754	I B13d	18.9	130.431	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
755	I B13d	22.8	130.402	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック微量	
756	I B13d	10.3	130.524	1. 灰黄褐色シルト（10YR5/2）	△	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
757	I B13d	11.1	130.522	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		灰黄褐色シルトブロック中量、地山ブロック中量	
758	I B12d	1.2	130.606	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		地山ブロック少量	
759	I B12e	22.3	130.280	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		地山ブロック微量	
760	I B12e	14.5	130.408	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		地山ブロック少量	
761	I B12e	18.6	130.385	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	△		黒色シルトブロック、地山ブロック少量	
762	I B13e	39.1	130.193	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
763	I B13d	19.7	130.428	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	
764	I B13e	15.5	130.344	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
765	I B13e	19.3	130.312	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	
766	I B13e	8.8	130.398	1. 黒色シルト（10YR2/1）	△	○		地山ブロック微量	
767	I B13f	8.9	130.422	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
768	I B13e	13.8	130.313	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
769	I B14e	13.7	130.298	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック微量	
770	I A10r	25.9	129.232	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	○		地山ブロック微量	
771	I A8r	13.4	129.397	1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
772	I A8r	40.4	129.184	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		掘り方？炭化物微量、灰黄褐色シルトブロック少量外側に偏在。	6 号掘立柱建物跡
773	I A9r	28.0	129.280	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
774	I A9r	39.7	129.179	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○	○	地山ブロック中量	6 号掘立柱建物跡
775	I A9r	54.3	129.009	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック微量	6 号掘立柱建物跡
776	I A10r	21.5	129.348	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	○		地山ブロック少量	7 号掘立柱建物跡
777	I A10q	12.5	129.422	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		地山ブロック少量	
778	I A10q	17.8	129.383	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック少量	7 号掘立柱建物跡
779	I A10r	37.9	129.158	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	○	○	黒色シルトブロック少量、地山ブロック少量	7 号掘立柱建物跡
780	I A10r	12.2	129.413	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック微量	
781	I A10r	12.2	129.404	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック少量	
782	I A10r	25.3	129.296	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
783	I A9r	13.5	129.386	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	6 号掘立柱建物跡
784	I A9r	39.6	129.174	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	×	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック微量	
785	I A10q	24.7	129.429	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
786	I A10q	16.2	129.476	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック中量	
787	I A10p	12.0	129.501	1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	○	△	○	地山ブロック少量	
788	I A8q	13.0	129.470	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
789	I A8s	17.3	129.271	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○	○	地山ブロックやや多い	
790	I A8q	18.8	129.368	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		黒色シルトブロック少量、地山ブロック微量	4 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト（10YR7/4）	×	△		掘り方？黒褐色シルトブロック少量	
791	I A8q	15.8	129.407	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		黒色シルトブロック少量、地山ブロック微量	4 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト（10YR7/4）	×	△		掘り方？黒褐色シルトブロック少量	
792	I A7q	12.6	129.397	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		黒色シルトブロック少量、地山ブロック微量	4 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト（10YR7/4）	×	△		掘り方？黒褐色シルトブロック少量	
793	I A8r	48.4	129.049	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		黒色シルトブロック少量、地山ブロック微量	4 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト（10YR7/4）	×	△		掘り方？黒褐色シルトブロック少量	
794	I A8r	19.7	129.327	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		黒色シルトブロック少量、地山ブロック微量	4 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト（10YR7/4）	×	△		掘り方？黒褐色シルトブロック少量	
795	I A8r	11.4	129.389	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		黒色シルトブロック少量、地山ブロック微量	4 号掘立柱建物跡
				2. にぶい黄橙色シルト（10YR7/4）	×	△		掘り方？黒褐色シルトブロック少量	
796	I B12f	19.9	130.422	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	○		地山ブロック少量	
797	I B11e	18.9	130.451	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック微量	
798	I B11f	11.5	130.504	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ(cm)	底面標高(m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
799	ⅠB11f	24.4	130.370	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
800	ⅠA9s	5.5	129.465	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	×	○		炭化物微量、地山ブロック少量	5・6号掘立柱建物跡
				2. 褐灰色シルト（10YR4/1）	○	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
801	ⅠA9r	19.5	129.375	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		柱痕跡。地山ブロック微量	5・6号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト	○	○		掘り方。黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
802	ⅠA9r	13.1	129.407	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		柱痕跡。地山ブロック微量	5号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	○	○		掘り方。地山ブロック少量	
803	ⅠA10r	14.7	129.384	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		柱痕跡。地山ブロック少量	5号掘立柱建物跡
				2. 褐色シルト（（10YR4/4）	△	△		掘り方。黒褐色シルトブロック少量	
804	ⅠA8q	20.0	129.385	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		柱痕跡。地山ブロック微量	5号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	△		掘り方。地山ブロック少量	
805	ⅠA9q	30.9	129.332	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック微量	5号掘立柱建物跡
806	ⅠA9q	33.2	129.277	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック微量	5号掘立柱建物跡
807	ⅠA10q	29.2	129.310	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		柱痕跡。地山ブロック微量	5号掘立柱建物跡
				2. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	△		掘り方。地山ブロック中量	
808	ⅠA10p	24.9	129.190	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	×	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
809	ⅠA11p	28.0	129.181	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック中量	
810	ⅠA11o	11.0	129.315	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
811	ⅠA11o	15.8	129.254	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	
812	ⅠA11p	19.5	129.212	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
813	ⅠA11p	5.7	129.369	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	10号掘立柱建物跡
814	ⅠA12p	49.8	128.889	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	
815	ⅠA12p	17.3	129.250	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
816	ⅠA12p	47.4	128.956	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック少量	11号掘立柱建物跡
817	ⅠA11p	17.3	129.233	1. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	○		黒褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
818	ⅠA11q	35.4	129.090	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	◎		地山ブロック少量	10号掘立柱建物跡
819	ⅠA12q	37.4	128.986	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック微量	10・11号掘立柱建物跡
820	ⅠA12q	11.3	129.238	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック少量	
821	ⅠA12q	31.7	129.008	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	10号掘立柱建物跡
822	ⅠA11q	30.6	129.033	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック微量	7号掘立柱建物跡
823	ⅠA12q	9.4	129.193	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	
824	ⅠA12r	24.0	129.045	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
825	ⅠA12r	24.0	129.043	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック少量	7号掘立柱建物跡
826	ⅠA12r	10.7	129.144	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎		地山ブロック微量	
827	ⅠA12r	22.2	129.051	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック少量、礫少量	
828	ⅠA12p	12.9	129.221	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック微量	8号掘立柱建物跡
829	ⅠA12p	30.2	129.020	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック少量	11号掘立柱建物跡
830	ⅠA12p	27.5	128.998	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	◎	○		地山ブロック微量	8・11号掘立柱建物跡
831	ⅠA13q	28.0	128.750	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		地山ブロック微量	
832	ⅠA12q	8.4	129.112	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		地山ブロック中量	11号掘立柱建物跡
833	ⅠA12p	52.1	128.831	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック中量	8号掘立柱建物跡
834	ⅠA12p	16.8	129.183	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	△		炭化物微量、地山ブロック微量	8・10号掘立柱建物跡
835	ⅠA12p	21.2	129.139	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	×		地山ブロック少量	8号掘立柱建物跡
836	ⅠA12p	14.6	129.198	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	8号掘立柱建物跡
837	ⅠA11o	7.8	129.290	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
838	ⅠA11o	7.9	129.312	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック微量	9号掘立柱建物跡
839	ⅠA11n	19.6	129.288	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック中量	
840	ⅠA12n	12.4	128.965	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	△		地山ブロック少量	
841	ⅠA12o	15.7	129.249	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		地山ブロック微量	9号掘立柱建物跡
842	ⅠA12p	12.4	129.212	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック少量	
843	ⅠA12p	38.6	128.955	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎		地山ブロック中量	
844	ⅠA12p	11.7	129.207	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	10号掘立柱建物跡
845	ⅠA12o	15.4	129.096	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック微量	8・9号掘立柱建物跡
846	ⅠA12o	9.2	129.206	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック中量	9号掘立柱建物跡
847	ⅠA13p	6.6	129.076	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	8号掘立柱建物跡
848	ⅠA13p	44.7	128.686	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
849	ⅠA13o	6.4	129.109	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック少量	
850	ⅠA13o	10.2	129.075	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック微量	
851	ⅠA13o	13.8	129.041	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック微量	
852	ⅠA13o	6.9	129.099	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		地山ブロック微量	8号掘立柱建物跡
853	ⅠA13o	3.2	129.127	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		地山ブロック微量	
854	ⅠA13o	4.2	129.086	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	◎		地山ブロック微量	
855	ⅠA13n	39.0	129.030	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック少量	
856	ⅠA13m	17.9	129.179	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	△		地山ブロック少量	
857	ⅠA13n	12.1	129.110	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		地山ブロック少量	
858	ⅠA13n	26.6	129.015	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック中量	
859	ⅠA14n	10.7	129.187	1. 黒色シルト（10YR2/1）	○	△		地山ブロック中量	
860	ⅠA14n	20.4	129.038	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
861	ⅠA13m	22.1	129.155	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		地山ブロック微量	
862	ⅠA13n	14.7	129.083	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
863	ⅠA11n	13.9	129.279	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック少量	
864	ⅠB25e	10.2	129.701	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック少量	
865	ⅡB1e	12.5	129.596	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
866	ⅡB1e	8.1	129.623	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	△		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
867	ⅡB2d	8.8	129.529	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック微量	
868	ⅡB2d	19.7	129.443	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		灰黄褐色シルトブロック少量、地山ブロック少量	
869	ⅡB2d	13.6	129.498	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		灰黄褐色シルトブロック微量、地山ブロック微量	
870	ⅡB2d	7.5	129.545	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	○		地山ブロック中量	
871	ⅡB3d	18.0	129.388	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック少量	
872	ⅡB3d	11.5	129.424	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	△	○		地山ブロック中量	26号掘立柱建物跡
873	ⅡB3d	18.1	129.328	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	×	○		地山ブロック少量	
874	ⅡB4d	11.4	129.398	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	27号掘立柱建物跡
875	ⅡB4d	14.5	129.377	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック少量	
876	ⅡB4c	12.7	129.417	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック少量	
877	ⅡB4c	7.7	129.479	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
878	ⅡB4d	5.3	129.374	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		地山ブロック微量	
879	ⅡB4c	21.3	129.230	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック少量	27号掘立柱建物跡
880	ⅡB4c	14.2	129.314	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック微量	
881	ⅡB4c	5.7	129.324	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		炭化物微量、地山ブロック微量	27号掘立柱建物跡
882	ⅡB5c	17.1	129.168	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	△	○		地山ブロック微量	
883	ⅡB5c	14.9	129.185	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
884	ⅡB5c	10.9	129.197	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	○		地山ブロック少量	
885	ⅡB7b	46.4	128.626	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック微量	
886	ⅡA8b	11.6	128.453	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	△		炭化物微量、地山ブロック少量	
887	ⅡA9b	12.5	128.784	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	○		地山ブロック微量	
888	ⅡA9b	25.0	128.632	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	△	△		地山ブロック微量	
889	ⅡA10a	9.3	128.822	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	
890	ⅡA11y	18.6	128.951	1. 黒褐色シルト（10YR2/3）	○	△		地山ブロック少量	
891	ⅡA11y	12.5	129.014	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	○		地山ブロック少量	
892	ⅠA22m	－	未計測	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	◎	○		炭化物微量、地山ブロック微量	
893	ⅠA22m	－	未計測	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック少量	
894	ⅠA22m	－	未計測	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量、地山ブロック微量	
895	ⅠA21m	－	未計測	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	◎		地山ブロック中量	
896	ⅠB14a	34.2	130.346	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		柱痕跡。地山ブロック微量	12号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	◎		掘り方。地山ブロック少量	
897	ⅠB13a	17.4	130.508	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		柱痕跡。地山ブロック微量	12号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		掘り方。地山ブロック少量	
				3. 黄褐色シルト（10YR5/6）	×	◎		掘り方。2層土中量	
898	ⅠB13a	26.4	130.457	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		柱痕跡。地山ブロック微量	12号掘立柱建物跡
				2. 暗褐色シルト（10YR3/3）	△	◎		掘り方。黒褐色シルトブロック微量、地山ブロック少量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

	位置	深さ (cm)	底面標高 (m)	土層（層名・土色・土質）	粘性	しまり	人為	混入物など	備考
899	ⅠB12a	13.9	130.516	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	○		柱痕跡。炭化物微量	12号掘立柱建物跡
				2. 黄褐色シルト（10YR5/6）	△	△		掘り方。黒褐色シルトブロック中量	
				3. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	△		掘り方。地山ブロック少量	
900	ⅠA13y	5.5	130.540	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	◎		礫層掘り抜いている。地山ブロック中量	12号掘立柱建物跡
901	ⅠA13y	20.0	130.520	1. 黒褐色シルト（10YR3/1）	○	○		柱抜かれてから崩落。炭化物微量	12号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		柱痕跡。地山ブロック微量	
902	ⅠA12y	19.0	130.520	1. 黒褐色シルト（10YR2/2）	○	◎		柱痕跡。上部にTo-aテフラブロック微量	12号掘立柱建物跡
				2. 黒褐色シルト（10YR3/2）	◎	◎		掘り方。地山ブロック少量	
903	ⅠA12y	9.9	130.610	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		柱痕跡。炭化物微量	12号掘立柱建物跡
				2. 暗褐色シルト（10YR3/3）	△	◎		掘り方。地山ブロック少量	
904	ⅠA13y	9.9	130.529	1. 暗褐色シルト（10YR3/3）	△	◎		地山ブロック少量	12号掘立柱建物跡
905	ⅠA12y	19.3	130.519	1. 灰黄褐色シルト（10YR4/2）	△	◎		地山ブロック中量、礫少量	12号掘立柱建物跡
906	ⅡA7y	46.4	128.901	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	◎		炭化物微量	
				2. 褐灰色シルト（10YR4/1）	△	○		地山ブロック少量	
907	ⅡA9v	45.8	128.942	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	△	×		炭化物微量、地山ブロック中量	
908	ⅡA9w	37.0	129.109	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	×	×	○	炭化物微量、地山ブロック微量	
909	ⅡA9w	20.9	129.281	1. 黒褐色シルト（10YR3/2）	○	○		炭化物微量、焼土粒微量	

粘性：◎→強　○→やや強　△→やや弱　×→弱
しまり：◎→密　○→やや密　△→やや疎　×→疎

第5表　遺物観察表（竪穴建物跡・柱穴出土分）
土師器・須恵器

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1	1号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ横→ケズリ縦	口：ナデ横 胴：ナデ縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈5.1〉	–	
2	1号竪穴建物 床面上	土師器 羽釜?	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ斜	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈5.9〉	–	
3	1号竪穴建物 埋土中	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ・ケズリ 斜	胴：ケズリ？斜	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	–	〈10.0〉	–	
4	1号竪穴建物 カマド掘り方内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	黄灰 灰	良好	h	–	〈9.8〉	–	
5	2号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ？横 胴：ミガキ？縦	にぶい橙 灰黄褐	不良	hj	(14.0)	5.8	5.8	内面黒色処理 （剥げあり）
6	2号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 橙	良好	hj	(16.0)	5.1	5.7	
7	2号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴部 破片	口～胴：ミガキ横	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	黒 黒	不良	h	–	〈4.5〉	–	内外面黒色処理
8	2号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 坏	胴～底 1/3残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ横	にぶい橙 灰黄褐	やや 不良	hj	–	〈4.6〉	5.8	内面に朱
9	2号竪穴建物 床面上	土師器 甕	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切？	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(15.0)	12.8	6.4	
10	2号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	(14.4)	〈8.3〉	–	
11	2号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 浅黄橙	良好	hj	(12.2)	〈12.4〉	–	
12	2号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴上：回転ナデ 胴上：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	(12.6)	〈6.6〉	–	
13	2号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄褐 にぶい黄褐	やや 不良	hjk	(22.2)	〈24.0〉	–	輪積み痕あり
14	2号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 にぶい橙	良好	j	(14.2)	〈7.2〉	–	
15	2号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈17.3〉	–	
16	2号竪穴建物 床面上、 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴下 1/5残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ横	口～胴：回転ナデ 底：ナデ縦	橙 橙	良好	hj	–	〈24.3〉	–	
18	3号竪穴建物 埋土下位、 Pit 4 埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	12.5	3.8	4.6	
19	3号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(16.0)	〈3.5〉	–	
20	3号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(13.0)	3.5	5.0	
21	3号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい褐	良好	gh	(12.2)	4.2	4.8	
22	3号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	ghj	12.7	3.3	5.0	
23	3号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(12.6)	〈3.5〉	–	
24	3号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(11.5)	3.4	5.2	
25	3号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(13.4)	〈3.5〉	–	外面に煤
26	3号竪穴建物 土坑1埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ ナデ斜	にぶい橙 にぶい橙	良好	gh	(11.2)	3.7	5.4	
27	3号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	橙 橙	良好	ghj	(24.6)	〈9.5〉	–	
28	3号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	hj	(20.2)	〈14.8〉	–	
29	3号竪穴建物 カマド埋土、 土坑1埋土	土師器 甕	口～胴下 2/3	口：指頭による整形 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい黄褐	やや 良好	ghj	17.5	22.8	(10.5)	外面に煤
30	3号竪穴建物 Pit 1 内	土師器 甕	口～胴上	口：ナデ横 頸～胴：ケズリ縦	口～頸：ナデ横 胴：ナデ縦	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	13.9	〈6.2〉	–	
31	3号竪穴建物 カマド埋土、 カマド北袖内	土師器 甕	略完形	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	ahj	15.2	14.0	9.4	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
32	3号竪穴建物 埋土上位	土師器 小型鉢	口～底 2/3残存	口：ナデ横 胴：手捏→ナデ縦	口～底：ナデ横	橙 明黄褐	やや 不良	hj	9.3	6.7	8.1	外面に煤
33	3号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付鉢	台部 1/2残存	台：ナデ縦	台：ナデ横	にぶい橙 にぶい橙	やや 不良	h	–	〈4.5〉	(10.2)	外面に煤
34	3号竪穴建物 床面上、カマド煙道 （Ⅰ）内、土坑1内	須恵器 長頸瓶	頸～底 1/3残存	頸～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	頸～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜	褐灰 黄灰	良好	h	–	〈24.6〉	(10.6)	
35	3号竪穴建物 カマド埋土	須恵器 瓶類	胴部破片	胴：ケズリ斜	胴：回転ナデ	灰 黄灰	良好	eh	–	〈7.3〉	–	
36	3号竪穴建物 土坑1埋土	須恵器 瓶類	胴下 1/4残存	胴：ケズリ斜・横	胴：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	eh	–	〈4.9〉	(10.0)	
41	4号竪穴建物 床面上	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜・横	橙 黒	不良	j	15.0	5.2	5.6	内面黒色処理
42	4号竪穴建物 床面上	土師器 台付坏	完形	口～台：ミガキ横	口：ミガキ横 底：ミガキ縦 台：ミガキ横	黒 黒	やや 不良	j	13.7	4.3	4.8	内外面黒色処理
43	4号竪穴建物 土坑2・カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	(14.2)	4.4	5.4	
44	4号竪穴建物 床面上、Pit1埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 明黄褐	良好	ghj	(13.9)	4.7	(6.2)	外面に煤
45	4号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい赤褐	不良	hj	(18.4)	5.3	(8.8)	
46	4号竪穴建物 カマド、土坑2・ Pit1埋土	土師器 甕	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下～底：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(26.0)	33.7	(11.4)	
47	4号竪穴建物 土坑1・2・3埋土	土師器 甕	口～胴下 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	ahj	14.4	〈12.2〉	–	外面に煤
48	4号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰黄褐 灰黄褐	良好	hj	(15.8)	〈6.0〉	–	補修孔（?）1箇所
49	4号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	明赤褐 明黄褐	やや 良好	chj	(14.2)	〈4.7〉	–	
50	4号竪穴建物 カマド・Pit1埋土	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	灰黄褐 灰黄褐	良好	hj	(21.4)	〈19.7〉	–	
51	4号竪穴建物 カマド・Pit3埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(19.9)	〈27.8〉	–	
52	4号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口～底 1/3残存	口～胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦 底：指頭による整形	口～底：ナデ横	橙 橙	良好	ghj	(27.0)	30.4	12.5	
53	4号竪穴建物 土坑3埋土	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ナデ横	灰褐 灰褐	やや 不良	hjk	–	〈6.7〉	6.9	6号竪穴建物出土破片と接合
54	4号竪穴建物 床面上・カマド埋土	土師器 甕	胴～底	胴：ケズリ縦 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈21.0〉	11.0	
55	4号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 灰黄褐	やや 良好	hj	–	〈12.2〉	–	
59	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	ghj	(16.4)	3.5	(6.0)	
60	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	ghj	(16.0)	3.9	(7.8)	
61	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙にぶい 黄橙	良好	hj	(12.0)	〈4.5〉	–	
62	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	ghj	(14.0)	5.0	5.5	内面に煤
63	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(13.0)	〈2.8〉	–	
64	5号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	gh	–	〈2.4〉	–	墨書土器 文字不明
65	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	h	(13.5)	15.7	(8.2)	外面に煤
66	5号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	(16.0)	〈9.5〉	–	外面に煤
67	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈6.5〉	–	
68	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	不良	hj	–	〈4.4〉	(7.6)	外面に煤
69	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：回転ナデ→ナデ縦 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈4.4〉	(6.8)	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
70	5号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底部 破片	胴：ケズリ縦 底：ナデ	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	chj	–	〈4.8〉	13.6	砂底土器
76	6号竪穴建物 埋土中	土師器 台付坏	台部欠損	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	良好	cgh	16.0	〈5.0〉	–	
77	6号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(13.8)	〈5.9〉	–	
78	6号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(15.6)	〈7.3〉	–	
79	6号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：ケズリ	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(16.6)	13.2	(8.0)	
80	6号竪穴建物 床面上、土坑2、 Pit 2 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	(18.0)	〈15.9〉	–	
81	6号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦→横	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	–	〈18.3〉	–	
82	6号竪穴建物 埋土上位	須恵器 瓶類	胴～底 1/2残存	胴：ケズリ縦→横 底：ケズリ	胴～底：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	–	〈10.6〉	(10.0)	4号竪穴建物 カマド出土と 接合
83	6号竪穴建物 埋土中	須恵器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴：回転ナデ	灰 黄灰	良好	ehj	–	〈16.6〉	–	
86	7号竪穴建物 埋土下位、 Pit 7 埋土	土師器 坏	略完形	口：ナデ横 胴：ケズリ斜 底：ハケメ	口～底：ナデ横	橙 橙	やや 良好	chj	14.4	5.2	5.4	ムシロ底 外面に煤
87	7号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴下：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙 橙	良好	hj	(16.2)	〈5.1〉	–	
88	7号竪穴建物 カマド北袖上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	hj	(15.1)	4.4	6.2	内面黒色処理
89	7号竪穴建物 Pit 5 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 橙～黒褐	良好	j	(15.7)	4.1	5.3	内面黒色処理
90	7号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 台付坏	口～胴 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙 黒	良好	ahj	14.0	〈4.8〉	–	内面黒色処理
91	7号竪穴建物 土坑1埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hjk	(15.4)	5.1	6.2	外面に煤
92	7号竪穴建物 カマド両袖内	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	底：回転ナデ	橙 浅黄橙	良好	ghj	–	〈3.6〉	8.4	外面に煤
93	7号竪穴建物 Pit 4 埋土	土師器 小型甕	口～胴 1/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 橙	良好	chj	(7.4)	〈4.4〉	–	ミニチュア？
94	7号竪穴建物 埋土下位、カマド、 土坑1・2 埋土	土師器 甕	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦 底：ナデ	口～胴上：回転ナデ 胴下～底：ナデ横	橙 橙	良好	ghj	23.8	32.8	11.4	
95	7号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	j	(14.4)	〈11.8〉	–	外面に煤
96	7号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(23.6)	〈19.4〉	–	外面に煤
97	7号竪穴建物 床面上、土坑1埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(15.0)	〈7.8〉	–	内外面に煤
98	7号竪穴建物 埋土下位、貼床	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(16.6)	〈9.2〉	–	
99	7号竪穴建物 土坑 1 、Pit 5 埋土	土師器 甕	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	eh	(10.8)	11.6	7.4	
100	7号竪穴建物 土坑1・2 埋土	土師器 甕	口～底 1/3残存	口：ナデ横 胴上：ナデ縦 胴下：ナデ横	口～底：ナデ（ハケメ？）横・縦	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(14.6)	15.1	9.6	
104	8号竪穴建物 土坑1底面	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	浅黄橙 灰黄褐～黒	やや 不良	gj	15.9	6.6	6.0	内面黒色処理
105	8号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 灰黄褐～黒	やや 良好	h	(15.6)	5.1	6.0	内面黒色処理
106	8号竪穴建物 土坑1埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	agj	14.9	5.3	6.0	内面黒色処理
107	8号竪穴建物 土坑1埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ横	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	aj	(13.6)	〈4.9〉	–	内面黒色処理
108	8号竪穴建物 土坑2埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(14.4)	5.0	5.0	外面に煤
109	8号竪穴建物 土坑1埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	13.8	4.6	5.4	
110	8号竪穴建物 カマド、土坑1埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 灰黄褐	良好	ghj	(14.0)	4.5	6.0	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
111	8号竪穴建物 土坑 1 、Pit 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(12.4)	5.0	5.2	
112	8号竪穴建物 カマド、土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	15.0	4.7	5.0	
113	8号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい褐 にぶい黄橙	良好	ghj	(13.6)	3.7	6.4	
114	8号竪穴建物 土坑 1 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	h	(12.0)	4.1	4.8	内外面に油煙 （灯明皿）
115	8号竪穴建物 カマド崩落土、 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	不良	ghj	(14.0)	〈4.0〉	–	
116	8号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい褐 灰黄褐	やや 不良	ghj	–	〈5.1〉	–	
117	8号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 台付坏	台のみ	台：回転ナデ 底：回転糸切	台：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ehk	–	〈2.0〉	7.1	
118	8号竪穴建物 カマド、土坑 2 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	良好	ghj	(23.4)	〈10.0〉	–	
119	8号竪穴建物 土坑 1 底面	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰黄褐 淡黄	不良	hj	(14.8)	〈8.0〉	–	内外面に煤
120	8号竪穴建物 土坑 1 ・ 2 埋土	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ縦→横	胴：ナデ縦 底：ナデ横	灰黄褐 淡黄	やや 良好	hj	–	〈14.3〉	10.8	
121	8号竪穴建物 カマド、土坑 1 埋土	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ縦→横 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	灰白 灰白	不良	bhj	–	〈5.7〉	(12.4)	
122	9号竪穴建物 埋土下位、 Pit 2 埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 にぶい赤褐 ～黒褐	やや 不良	hj	(14.3)	〈5.5〉	(6.8)	内面黒色処理
123	9号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	j	–	〈2.8〉	–	墨書土器 文字不明
124	9号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 2/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	灰黄褐 灰黄褐～黒	不良	hj	16.3	8.0	8.4	内面黒色処理
125	9号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	胴：ケズリ縦	橙 橙	良好	hj	(25.9)	〈16.0〉	–	126と同一個 体か
126	9号竪穴建物 貼床・土坑 1 埋土	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦 底：ケズリ	胴～底：ナデ縦・斜	灰黄褐 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈12.1〉	11.2	125と同一個 体か
127	9号竪穴建物 埋土下位	土師器 鉢	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ斜→横	口～胴：ケズリ斜 底：ケズリ横	浅黄橙 灰白	良好	ghj	(14.6)	7.0	6.2	
128	9号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	灰白 灰白	良好	ch	(14.6)	〈8.0〉	–	
129	9号竪穴建物 埋土下位、Pit 1 埋土	土師器 甕	略完形	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 灰黄褐	不良	hj	19.7	24.8	9.0	輪積み痕あり 外面に煤
130	9号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(20.2)	〈8.5〉	–	
131	9号竪穴建物 土坑 1 埋土	須恵器 長頸瓶	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	黄灰 灰	良好	h	(16.2)	〈8.8〉	–	
132	9号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底 1/3残存	胴：ケズリ斜→横 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	灰 黄灰	良好	hj	–	〈2.9〉	(10.0)	
133	9号竪穴建物 埋土下位	須恵器 長頸瓶	頸～底 1/2残存	頸～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	頸～胴：回転ナデ 胴～底：ナデ横	灰 黄灰	良好	ah	–	〈28.9〉	10.4	
135	10号竪穴建物 床面上	土師器 坏	底部破片	胴：ケズリ横・縦 底：ケズリ	底：ミガキ	にぶい黄橙 黒	良好	hj	–	〈1.8〉	(5.4)	内面黒色処理
136	10号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	–	〈3.2〉	–	
137	11号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、張り出し埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	agh	12.8	4.8	5.2	
138	11号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	g	–	〈2.8〉	5.0	
139	11号竪穴建物 床面上、カマド燃焼 部焼土上、張り出し・ 土坑 1 、Pit 7 埋土	土師器 甕	口～底 2/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦 底：ケズリ？	口～胴：ナデ横→ナ デ縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	不良	hk	(13.8)	12.6	8.6	
140	11号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、 土坑 1、Pit 7 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	灰白 にぶい黄橙	良好	ghj	(18.4)	〈12.7〉	–	
141	11号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	胴下～底 破片	胴：ケズリ斜→横	胴：ナデ横	灰白 灰褐	良好	j	–	〈9.7〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（ ）：推定値、〈 〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
142	11号竪穴建物 張り出し、土坑１埋土	須恵器 坏	胴下～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰 黄灰	良好	h	－	〈2.8〉	(6.2)	
143	11号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 黄灰	良好	ah	－	〈12.0〉	－	144と同一個体か
144	11号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 黄灰	良好	h	－	〈8.6〉	－	143と同一個体か
147	12号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ斜	浅黄橙 黒	不良	ghj	(13.4)	4.3	(6.8)	内面黒色処理
148	12号竪穴建物 床面上、土坑３・ Pit５底面	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	bghj	15.2	4.9	6.0	
149	12号竪穴建物 床面上、Pit５底面	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	15.3	4.7	5.6	内外面に油油煙痕 （灯明皿）
150	12号竪穴建物 床面上、Pit３底面	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(15.3)	4.6	(7.0)	墨書土器 「玉」
151	12号竪穴建物 床面上、Pit３底面	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(14.4)	〈3.3〉	－	墨書土器 「玉」？
152	12号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	13.3	3.6	5.6	
153	12号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	agh	(14.8)	4.2	5.8	
154	12号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(16.0)	6.1	7.2	
155	12号竪穴建物 床面上、Pit５底面	土師器 甕	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	やや 不良	h	(16.4)	14.4	7.5	
156	12号竪穴建物 埋土下位	土師器 耳皿	端部のみ	体：ミガキ	体：ミガキ	黒 黒	やや 不良	h	長さ 〈7.8〉	3.0	幅 〈2.6〉	全面黒色処理
159	13号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄 黒	やや 良好	h	(15.4)	5.5	(6.7)	内面黒色処理
160	13号竪穴建物 カマド右袖部内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横	灰白 にぶい黄橙	やや 良好	h	(12.0)	4.6	5.7	
161	13号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	g	(13.0)	4.5	－	内面黒色処理
162	13号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ横	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	hj	(13.6)	4.6	(7.0)	内面黒色処理
163	13号竪穴建物 土坑１底面	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒～灰黄	良好	hj	13.2	4.0	6.2	内面黒色処理 （剥げあり）
164	13号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、右袖部内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	bhj	(11.6)	4.2	5.4	内面黒色処理 墨書土器 「大万」
165	13号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(13.5)	4.2	6.2	
166	13号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	gh	(14.2)	4.9	(7.2)	
167	13号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	h	－	〈3.0〉	－	墨書土器 文字「大○」
168	13号竪穴建物 土坑１底面	土師器 坏	底部欠損	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	12.5	3.8	5.2	内外面に煤
169	13号竪穴建物 土坑１底面	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(13.5)	3.6	5.8	内外面に煤
170	13号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	浅黄 浅黄	良好	h	－	〈2.4〉	－	墨書土器 文字不明
171	13号竪穴建物 カマド左袖内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい橙	やや 不良	hj	(14.6)	3.5	5.2	内面に油煙痕 （灯明皿）
172	13号竪穴建物 カマド埋土	土師器 台付皿	口～台 1/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	ghj	(13.6)	〈2.6〉	－	
173	13号竪穴建物 埋土中	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	台：回転ナデ	淡黄 淡黄	良好	h	－	〈1.5〉	7.0	
174	13号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 灰褐	良好	hj	(16.0)	〈10.3〉	－	
175	13号竪穴建物 カマド左袖内、土坑 １埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ斜	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(20.0)	〈8.5〉	－	
176	13号竪穴建物 埋土中	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ、当て具痕	灰 灰	良好	ah	－	〈13.6〉	－	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
177	13号竪穴建物 カマド埋土中	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ、当て具痕	灰 黄灰	良好	h	－	〈9.0〉	－	
178	13号竪穴建物 カマド左袖部内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰褐	良好	h	－	〈6.8〉	－	
181	14号竪穴建物 埋土下位、Pit 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口：回転ナデ 胴下：ナデ縦→横	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	gh	14.6	4.3	5.4	内面黒色処理
182	14号竪穴建物 埋土下位、Pit 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	ghj	(14.4)	5.1	5.2	内面黒色処理
183	14号竪穴建物 埋土下位、 土坑 1 埋土	土師器 坏	略完形	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	やや 不良	h	13.3	5.3	5.0	
184	14号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ehj	(14.2)	〈4.5〉	－	
185	14号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	gh	(13.0)	4.8	4.8	
186	14号竪穴建物 カマド西袖内、 Pit 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白～にぶい橙	やや 不良	gh	(12.4)	3.8	4.8	
187	14号竪穴建物 カマド、Pit 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦→ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	hj	(19.2)	〈9.8〉	－	輪積み跡
188	14号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい褐	やや 不良	hj	－	〈5.9〉	－	
189	14号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦→ナデ 横底：ケズリ	胴～底：ナデ横	にぶい褐 橙	良好	hj	－	〈11.7〉	9.6	
190	14号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底部 破片	胴：ケズリ斜→横 底：ケズリ	胴：回転ナデ→指頭？による整形 底：ナデ	灰 灰	良好	eh	－	〈11.2〉	(11.0)	
191	14号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底部 破片	胴：ケズリ斜	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	ehj	－	〈8.5〉	－	
192	14号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 黄灰	良好	h	－	〈19.5〉	－	
207	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	にぶい橙 黒	やや 不良	chj	(14.2)	4.6	(5.4)	内面黒色処理
208	15号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ斜・横 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙～褐灰 黒	やや 良好	ghj	(14.4)	5.1	(4.6)	内面黒色処理
209	15号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横	にぶい橙 黒	やや 良好	hj	(17.2)	〈3.1〉	－	内面黒色処理
210	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	胴部破片	胴：ケズリ縦→回転ナデ	胴：ミガキ縦 底：ミガキ横	橙 黒	やや 不良	hj	－	〈2.9〉	－	内面黒色処理
211	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(13.2)	3.8	5.6	
212	15号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	黄橙 明黄褐	やや 不良	gh	(13.0)	4.0	6.0	
213	15号竪穴建物 カマド、土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hjk	(12.8)	4.5	6.4	
214	15号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(16.0)	〈3.9〉	－	
215	15号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	(14.6)	〈3.5〉	－	
216	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	13.0	3.1	5.9	皿か
217	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい褐 にぶい褐	良好	hj	(11.8)	2.8	5.8	皿か
218	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部 1/2残存	台：回転ナデ	台：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	bgh	－	〈2.2〉	7.8	
219	15号竪穴建物 床面上	土師器 台付坏	台 1/2残存	台：回転ナデ	台：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	－	〈2.4〉	(7.2)	
220	15号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(19.0)	6.7	8.8	
221	15号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ナデ横	明黄褐 橙	良好	chj	(25.6)	〈12.1〉	－	
222	15号竪穴建物 埋土下位、 土坑 1 埋土	土師器 甕	口～底 1/4残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	abh	(13.8)	13.9	7.8	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
223	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	agj	–	〈10.9〉	–	
224	15号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰褐 橙	良好	hj	(15.0)	〈13.9〉	–	外面に煤
225	15号竪穴建物 カマド、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/3	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 橙	やや 不良	hj	(14.4)	〈9.7〉	–	
226	15号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	–	〈6.8〉	7.8	
227	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴～底 1/2残存	胴：ナデ縦 底：ケズリ？	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	不良	hj	–	〈10.4〉	(8.4)	外面に煤
228	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付鉢	胴下～台 1/2残存	胴：ケズリ縦 台：ナデ横	胴～底ミガキ斜	橙 黒	やや 不良	hj	–	〈3.5〉	7.2	内面黒色処理
229	15号竪穴建物 埋土下位	土師器 小型鉢	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴上：ナデ縦 胴下：ケズリ横	口～胴：ハケメ？ 底：ナデ横	灰黄褐 橙	良好	bhj	(9.8)	7.6	(7.0)	外面に煤
238	16号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙浅黄 黄橙	良好	ahj	15.0	〈4.6〉	–	
239	16号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4 残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	ahj	(12.5)	3.8	5.2	内面に油煙痕 （灯明皿）
240	16号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(12.8)	4.7	5.5	
241	16号竪穴建物 Pit 5 埋土	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰黄褐 にぶい黄橙	良好	bgj	–	〈3.4〉	8.4	
242	16号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	灰黄褐 褐灰	やや 不良	ghj	–	〈10.2〉	–	
243	16号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	須恵器 瓶類	胴下～底 1/2残存	胴：回転ナデ→ケズリ横	胴～底：回転ナデ	灰 黄灰	良好	h	–	〈3.2〉	(8.0)	
244	16号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底 1/4残存	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴～底：回転ナデ→ナデ	灰白 黄灰	良好	h	–	〈4.0〉	(9.0)	底面に自然釉
245	16号竪穴建物 埋土下位、 Pit 5 埋土	土師器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	–	〈17.8〉	–	
247	16号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	–	〈12.2〉	–	
248	16号竪穴建物 埋土下位、貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 黄灰	良好	ah	–	〈10.5〉	–	
249	16号竪穴建物 埋土下位、貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	黄灰 黄灰	良好	ah	–	〈13.5〉	–	自然釉
254	17号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ 底：回転糸切	底：ミガキ斜	にぶい黄橙 黒	良好	gh	–	〈2.9〉	(8.6)	内面黒色処理
255	17号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口～台：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	明黄褐 明黄褐	良好	chj	(14.8)	5.6	7.6	
256	17号竪穴建物 Pit 2 埋土	須恵器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	黄灰 浅黄	良好	a	–	〈2.5〉	–	内面に自然釉
257	18号竪穴建物 埋土下位	土師器 鉢	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ斜 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄 橙黒	不良	hj	(13.6)	6.0	(4.2)	内面黒色処理
258	18号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ縦 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	橙 灰白	良好	ghj	–	〈12.0〉	10.1	
259	18号竪穴建物 床面上	須恵器 長頸瓶	口～頸 2/3残存	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	灰 灰	良好	hj	(7.0)	〈4.5〉	–	
260	18号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈5.9〉	–	
263	19号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦・横	口～胴：ミガキ横	明黄褐 黒	やや 良好	hj	(14.4)	〈3.8〉	–	内面黒色処理
264	19号竪穴建物 貼床、Pit 8 埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ横	にぶい橙 黒	良好	hj	(14.8)	4.3	5.7	内面黒色処理
265	19号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	にぶい黄橙 黒	良好	hj	(15.4)	4.9	5.8	内面黒色処理
266	19号竪穴建物埋土 下位、Pit 6 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙 黒	やや 不良	hj	(13.6)	4.2	(5.6)	内面黒色処理
267	19号竪穴建物 炉上、土坑１埋土	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい橙 黒	良好	ghj	(14.4)	〈3.9〉	–	内面黒色処理
268	19号竪穴建物 炉上、土坑２埋土	土師器 台付坏	口～台 2/3	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	gh	(15.2)	5.6	7.5	内面黒色処理

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
269	19号竪穴建物 炉上、土坑１埋土	土師器 台付坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ斜	にぶい黄橙 黒	良好	gh	(14.4)	〈5.6〉	–	内面黒色処理
270	19号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(14.0)	4.2	5.8	
271	19号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	やや 不良	ghj	14.2	4.3	6.2	
272	19号竪穴建物 土坑１・３、 Pit８埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	(13.2)	4.9	(5.2)	
273	19号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	cgh	(16.2)	4.5	(6.4)	
274	19号竪穴建物 土坑２埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ah	(13.6)	4.5	5.6	内面に油煙痕 （灯明皿）
275	19号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙橙	良好	gj	(13.2)	4.0	(4.8)	
276	19号竪穴建物 土坑２埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	13.0	4.8	5.2	
277	19号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	j	(12.8)	4.3	(5.6)	
278	19号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ミガキ	灰白 にぶい褐～ 黒	良好	ghj	–	〈4.4〉	–	内面に媒
279	19号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	hj	(14.5)	5.1	7.0	
280	19号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	chj	–	〈11.8〉	–	
281	19号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ斜・縦	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	ghj	–	〈8.5〉	–	
282	19号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴：ナデ縦 底：ケズリ？	胴：ナデ横・縦	橙 にぶい黄橙	やや 不良	aj	–	〈8.4〉	(11.0)	
283	19号竪穴建物 貼床内、Pit６埋土	土師器 甕	胴下～底 1/4残存	胴：ナデ縦 底：ケズリ	胴～底：ナデ縦・横	浅黄橙 黒	良好	ach	–	〈9.0〉	(9.4)	
284	19号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦→横	橙 灰褐	良好	ahj	(22.4)	〈15.7〉	–	
285	19号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：ナデ縦→ 横	口～胴：ナデ横	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(13.2)	〈4.9〉	–	
286	19号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕？	底部破片	底：ナデ？	底：ナデ	浅黄橙 淡黄	良好	gh	–	〈0.7〉	–	底面に刻文？ 「×」
287	19号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 甕	口～胴部 破片	口：ナデ横、指頭による整形 胴：ケズリ縦→ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈9.4〉	–	
288	19号竪穴建物 床面上	須恵器 瓶類	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	–	〈2.5〉	–	
289	19号竪穴建物 土坑２埋土下位	須恵器 瓶類	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	灰黄 灰黄	良好	h	–	〈3.2〉	–	生焼け？
290	19号竪穴建物 Ⅰ期床面上	須恵器 甕	把手	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈8.2〉	–	
301	20号竪穴建物 土坑５埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ横・ 縦：斜	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ahj	(15.8)	5.4	(6.4)	
302	20号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：ミガキ横 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横	にぶい橙 黒	良好	h	(15.4)	4.5	(4.3)	内面黒色処理
303	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	chj	(13.8)	4.4	5.5	内面黒色処理
304	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 褐灰～黒	良好	gh	(13.8)	4.3	(6.0)	内面黒色処理
305	20号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	h	(13.2)	4.4	5.8	
306	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい褐	良好	ahj	(12.8)	4.2	4.4	
307	20号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(13.2)	5.0	4.6	
308	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(12.9)	4.1	5.8	
309	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい橙	良好	ghj	(12.8)	4.0	6.2	
310	20号竪穴建物 カマド煙出し内	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	12.9	3.8	4.2	外面に煤

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
311	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(12.6)	3.4	5.4	
312	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(12.0)	3.7	(5.0)	
313	20号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	胴下～底	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい橙	良好	ghj	–	〈4.1〉	5.8	
314	20号竪穴建物 土坑４埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(15.4)	5.7	(8.0)	
315	20号竪穴建物 カマド煙出し内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	橙 橙	やや 不良	ghj	(26.4)	〈9.8〉	–	外面に煤
316	20号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 灰褐	やや 不良	hj	(14.4)	〈8.1〉	–	外面に煤
317	20号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	j	(18.4)	〈12.8〉	–	外面に煤
318	20号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	gh	–	〈5.9〉	–	
323	21号竪穴建物 Pit 6 埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	gh	(13.6)	5.0	5.4	内面黒色処理
324	21号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	明黄褐 黒	やや 不良	ghj	(14.8)	5.1	5.8	内面黒色処理
325	21号竪穴建物 カマド支脚（上）	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	eh	15.3	5.5	5.2	
326	21号竪穴建物 Pit 6 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	hj	(14.8)	5.3	6.0	
327	21号竪穴建物 カマド支脚（下）	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	やや 良好	h	15.1	5.0	7.0	
328	21号竪穴建物 Pit 6 埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 橙	良好	hj	15.3	5.4	5.5	
329	21号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	須恵器 坏	口～底 1/2残存	口～台：回転ナデ 胴下：ケズリ横 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄 灰黄褐	良好	ch	14.1	4.5	5.4	
330	21号竪穴建物 カマド、土坑２埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ →ケズリ縦	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(21.5)	〈11.5〉	–	
331	21号竪穴建物 床面上、Pit 6 埋土	土師器 甕	胴上～底 1/3残存	胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦・斜	胴上：回転ナデ 胴下：ナデ縦・横	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	–	〈28.7〉	(10.0)	
332	21号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい黄橙 明黄褐	不良	hj	(14.6)	〈5.9〉	–	内外面に煤
333	21号竪穴建物 土坑１埋土	須恵器 瓶類	胴上 1/4残存	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	ch	–	〈4.8〉	–	
334	21号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ・ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈9.5〉	–	
340	22号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横 底：ケズリ	口～底：ミガキ横	にぶい黄橙 にぶい橙～ 黒	不良	ahj	(14.6)	4.6	6.0	内面黒色処理
341	22号竪穴建物 カマド支脚	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横 底：回転糸切→ケズリ	口～底：ミガキ横→ 縦	浅黄橙 黒	やや 不良	gj	(14.4)	4.8	6.3	内面黒色処理
342	22号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横 底：回転糸切	口～底：ミガキ横	にぶい黄橙 黒	やや 不良	ahj	(14.4)	4.5	6.0	内面黒色処理 外面に煤
343	22号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	ahj	(13.0)	〈5.2〉	–	内面黒色処理
344	22号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～底：ミガキ横→ 斜	にぶい黄橙 黒	やや 不良	ahj	(14.6)	5.0	6.0	内面黒色処理
345	22号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	口～胴下 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	にぶい橙 にぶい黄橙 ～黒	良好	gh	(13.4)	〈4.5〉	–	内面黒色処理 （剥げあり）
346	22号竪穴建物 Pit 4 埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ斜	にぶい橙 黒	やや 不良	hj	(15.8)	〈4.5〉	–	内面黒色処理
347	22号竪穴建物 貼床内、カマド、 Pit 4 埋土	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：ケズリ	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	aj	(17.7)	12.7	8.2	
348	22号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	須恵器 甕	頸～胴上 1/3残存	頸～胴：回転ナデ→ タタキ	頸～胴：回転ナデ・ 指頭による整形	灰 灰	良好	h	–	〈8.7〉	–	
349	22号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ→タタキ	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	cj	–	〈13.4〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
350	22号竪穴建物 カマド煙出し内	須恵器 甕	胴部破片	胴：ケズリ斜	胴：回転ナデ	黄灰～灰白 灰	良好	h	－	〈13.0〉	－	
351	22号竪穴建物 カマド埋土	須恵器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ→タタキ	胴：回転ナデ→ナデ斜	灰 灰	良好	hj	－	〈15.9〉	－	
361	23号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：ケズリ→ミガキ横 底：回転ナデ	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	(14.0)	5.3	4.0	内面黒色処理
362	23号竪穴建物 埋土上位、Pit２埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転ナデ	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(14.0)	4.2	6.0	
363	23号竪穴建物 埋土上位、Pit２埋土	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転ナデ	口～底：回転ナデ	灰白 にぶい黄橙	良好	ghj	(14.0)	〈5.4〉	－	
364	23号竪穴建物 貼床、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(24.0)	〈11.0〉	－	
365	23号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口～胴下：回転ナデ	口～胴下：回転ナデ	にぶい橙 明黄褐	やや 不良	hj	(12.0)	〈9.8〉	－	内外面に煤
366	23号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 明黄褐	良好	ghj	(24.0)	〈10.0〉	－	
367	23号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	胴下 1/2残存	胴：ケズリ縦・斜	胴：ナデ横	褐灰 にぶい橙	良好	hj	－	〈9.2〉	－	
368	23号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	－	〈14.9〉	－	
369	23号竪穴建物 土坑２埋土下位	須恵器 瓶類	胴 1/4残存	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴：回転ナデ	灰黄 浅黄	やや 良好	h	－	〈17.1〉	－	内面に煤
370	23号竪穴建物 土坑２埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底 1/3残存	胴：ケズリ斜 底：ケズリ	胴～底：回転ナデ→ナデ縦・横	灰 黄灰	良好	h	－	〈10.4〉	(11.5)	
378	24号竪穴建物 土坑１埋土、カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(18.4)	5.4	8.0	
379	24号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	agh	12.1	4.3	5.3	
380	24号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 良好	hj	(13.0)	3.7	5.8	
381	24号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	(12.0)	3.5	6.0	外面に煤
382	24号竪穴建物 Pit２埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	bgh	(11.5)	3.4	4.6	
383	24号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	cgh	12.4	5.0	5.5	内面に煤
384	24号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(16.0)	5.7	8.6	
385	24号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 台付坏	口～台 1/2残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	agh	(13.7)	5.2	(8.4)	
386	24号竪穴建物 埋土上位	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰黄褐 灰黄褐	やや 不良	hj	－	〈2.8〉	7.5	
387	24号竪穴建物 土坑１埋土上位	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ	胴～底：回転ナデ	淡黄 淡黄	良好	ah	－	〈5.3〉	9.5	
388	24号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(20.0)	〈14.9〉	－	
389	24号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、土坑１埋土	土師器 甕	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦 胴下：ケズリ横 底：回転糸切→ケズリ	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 灰黄橙	良好	hj	(15.2)	13.0	5.0	
390	24号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 2/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ斜	にぶい黄橙 にぶい黄橙 ～明褐	やや 良好	ahj	(22.6)	〈13.3〉	－	輪積み痕あり
391	24号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、土坑１埋土	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦→斜 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 灰黄褐	やや 良好	ghj	－	〈19.6〉	12.0	
394	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：ケズリ→ミガキ横 底：木葉痕	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	不良	hj	13.6	6.1	6.2	内面に油煙 （灯明皿？）
395	25号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 黒	良好	ghj	(12.2)	3.8	5.4	内面黒色処理
396	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ→ミガキ横	胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒～浅黄橙	やや 良好	hj	－	〈5.2〉	6.3	内面黒色消えかけ

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
397	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙 黒	やや 良好	gh	13.5	4.6	5.5	内面黒色処理
398	25号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	16.0	4.6	6.0	
399	25号竪穴建物 土坑１底面	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	黄橙～灰白 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	12.2	3.7	5.2	内外面に油煙 （灯明皿）
400	25号竪穴建物 土坑１底面	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gj	13.6	3.8	6.3	
401	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	cgh	14.1	4.4	6.0	
402	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	褐灰 黒褐	不良	hj	(13.2)	3.2	6.0	
403	25号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	不良	ahj	(12.5)	3.8	5.0	
404	25号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(12.3)	4.0	5.6	
405	25号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	ghj	12.7	3.5	5.4	内面に油煙 （灯明皿）
406	25号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	cgj	(13.8)	3.2	6.0	
407	25号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	12.6	4.2	4.8	
408	25号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	eh	13.3	3.7	4.8	
409	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(12.4)	3.5	5.2	
410	25号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 黒	不良	hj	13.2	3.2	7.0	両面ほぼ全 面黒斑（灯明 皿？）
411	25号竪穴建物 土坑１埋土上位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	beh	12.9	4.1	5.8	
412	25号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい橙	やや 不良	hj	11.5	3.8	5.5	
413	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 明黄褐	良好	h	12.0	3.5	5.2	
414	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(12.8)	3.2	6.4	
415	25号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	11.4	3.4	4.6	
416	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	淡黄 淡黄	良好	ghj	(11.5)	3.5	5.9	
417	25号竪穴建物 土坑１底面	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	明黄褐 にぶい黄橙	良好	h	12.0	3.5	5.6	
418	25号竪穴建物 土坑１埋土上位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	12.2	3.7	5.8	
419	25号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	j	(11.8)	3.8	5.2	
420	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ch	(12.0)	3.5	4.6	
421	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(12.4)	3.1	5.5	
422	25号竪穴建物 カマド煙出し内	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	12.3	3.7	5.3	
423	25号竪穴建物 埋土中	須恵器 坏	胴～底 1/3残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰黄 灰白	良好	h	–	〈3.6〉	(5.6)	
424	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/2残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	ehj	(15.0)	5.1	(7.6)	
425	25号竪穴建物 床面上、土坑４埋土	土師器 台付坏	口～台 2/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(14.6)	5.3	7.8	
426	25号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 台付坏	口～台 2/3残存	口～台：回転ナデ→ ナデ縦	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(15.4)	5.3	6.8	
427	25号竪穴建物 埋土下位、 土坑１底面	土師器 台付坏	口縁部欠損	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	ghj	15.0	5.3	7.2	
428	25号竪穴建物 埋土下位、 土坑２埋土	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	(14.6)	4.8	6.6	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
429	25号竪穴建物 埋土下位、 土坑４埋土	土師器 台付坏	口～台 1/2残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	黒～にぶい 黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	aj	(13.0)	4.8	6.0	
430	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/2残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	良好	hj	(13.2)	4.2	(8.6)	
431	25号竪穴建物 埋土中	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	aj	–	〈3.5〉	6.6	
432	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 鉢	口～底 1/2残存	口～胴：ナデ横・指頭による整形	口～底：ナデ横	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	(12.0)	7.2	9.0	
433	25号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ縦→横	胴：ミガキ横 底：ミガキ縦→ナデ	浅黄橙 橙	良好	gh	–	〈14.4〉	(10.3)	
434	25号竪穴建物 埋土下位、 土坑１・２埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	不良	ahj	(21.2)	〈11.5〉	–	
435	25号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	黄灰 灰黄	良好	ahj	–	〈5.0〉	–	
436	25号竪穴建物 埋土下位	須恵器 長頸瓶	頸～胴上 1/3残存	頸～胴上：回転ナデ	頸～胴上：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	ehj	–	〈8.3〉	–	内外面に煤
437	25号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	須恵器 長頸瓶	口縁部欠損	頸～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦 底：ケズリ	頸～胴：回転ナデ	黄灰 灰	良好	h	–	〈23.6〉	11.5	
438	25号竪穴建物 床面上、 土坑２・４埋土	須恵器 大甕	略完形	口：ナデ横 胴～底：タタキ	口：ナデ横 胴～底：指頭による整形→ナデ縦横	灰白～黄灰 黄灰	良好	h	–	–	–	
439	25号竪穴建物 埋土下位、貼床内、 土坑４埋土	須恵器 大甕	略完形	口：ナデ横 胴～底：タタキ	口：ナデ横 胴～底：タタキ（当て具痕）	暗灰黄～灰 灰	良好	ah	–	–	–	
440	25号竪穴建物 埋土下位、カマド煙出し内、土坑１埋土	須恵器 甕	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	灰 灰	良好	ch	(19.5)	32.8	15.5	
441	25号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ→ ナデ横 胴：タタキ	口～胴：回転ナデ 胴：当て具痕	黄灰 黄灰	良好	h	(28.0)	〈14.5〉	–	442と同一個体
442	25号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	須恵器 大甕	胴下 1/4残存	胴：タタキ	胴：当て具痕？	灰 灰	良好	h	–	〈15.4〉	–	441と同一個体
443	25号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	須恵器 大甕	胴下～底 1/4残存	胴～底：タタキ	胴～底：当て具痕	灰 灰	良好	ah	–	〈18.0〉	–	
482	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横・斜	にぶい黄橙 黒	やや 不良	j	(18.4)	6.3	(8.8)	内面黒色処理
483	26号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	ghj	14.6	5.3	5.5	内面黒色処理
484	26号竪穴建物 埋土下位、 Pit４埋土	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴：ミガキ斜	明黄褐 黒	良好	ghj	(14.3)	〈4.8〉	–	内面黒色処理
485	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	胴～台：回転ナデ 胴下：ケズリ横 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(15.0)	5.1	6.3	
486	26号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	ah	(14.6)	4.8	5.4	
487	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	14.2	5.0	5.6	
488	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(15.6)	5.3	6.0	
489	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 浅黄橙	良好	h	(14.8)	4.9	6.4	
490	26号竪穴建物 埋土下位、 Pit４埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(14.1)	4.6	6.3	
491	26号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	15.5	5.8	6.0	
492	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(14.2)	4.8	6.8	
493	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴下：回転ナデ	口～胴下：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(14.0)	〈4.4〉	–	
494	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ah	–	〈4.5〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
495	26号竪穴建物 埋土下位	須恵器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	淡黄 淡黄	良好	a	－	〈4.3〉	－	内外面に煤
496	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ahj	－	〈1.8〉	6.5	
497	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	浅黄橙 橙	良好	gh	(21.2)	〈15.4〉	－	
498	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	hj	21.2	〈14.6〉	－	
499	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	eh	(20.8)	〈15.9〉	－	
500	26号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(23.0)	〈7.7〉	－	
501	26号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 甕	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：回転ナデ 胴下～底：ナデ横・ 縦	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(21.4)	32.9	(10.8)	
502	26号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(19.8)	〈20.7〉	－	
503	26号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横→縦	橙 橙	良好	ah	(23.8)	〈12.9〉	－	外面に煤
504	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	明黄褐 にぶい黄橙	やや 不良	ahj	(22.0)	〈16.2〉	－	
505	26号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	h	(18.4)	〈24.5〉	－	
506	26号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(16.6)	〈17.0〉	－	外面に煤
507	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ横・縦	橙 橙	良好	h	(19.7)	(16.3)	－	
508	26号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ横	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ→縦	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(13.0)	〈14.5〉	－	
509	26号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(14.8)	〈10.9〉	－	
510	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄褐	良好	egh	－	〈6.5〉	－	
511	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい橙 浅黄橙	良好	h	－	〈5.7〉	－	内外面に煤
512	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 橙	不良	hj	－	〈5.1〉	－	内面に煤
513	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	－	〈5.0〉	－	
514	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴部破片	胴：ナデ縦	胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい黄橙	良好	ehj	－	〈6.1〉	－	輪積み痕あり
515	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ縦→横 底：砂底？	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	－	〈6.4〉	(11.2)	砂底土器か
516	26号竪穴建物 埋土下位、 Pit 5 埋土	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴：ケズリ縦→横 底：砂底？	胴：ナデ縦 底：ナデ横	灰黄褐 褐灰	やや 不良	hj	－	(11.4)	8.3	砂底土器か
517	26号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦→横 底：砂底？	胴～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	hj	－	〈7.5〉	7.0	砂底土器か
518	26号竪穴建物 埋土上位	須恵器 甕	頸部破片	頸：回転ナデ	頸：回転ナデ	灰 灰	良好	aj	－	〈5.3〉	－	
519	26号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	黄灰 黄灰	良好	h	－	〈6.6〉		
524	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口：ケズリ斜 胴：ケズリ横	口～胴：ナデ横	浅黄橙 明黄褐	良好	eh	(12.6)	〈4.9〉	－	
525	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄 黒	良好	ghj	(13.8)	〈3.7〉	－	内面黒色処理
526	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	浅黄橙 黒	良好	gh	(13.0)	4.1	6.2	内面黒色処理
527	27号竪穴建物 Pit 9 埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	ghj	12.2	3.3	5.5	
528	27号竪穴建物 Pit 9 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	agh	(11.4)	3.4	(4.6)	墨書土器 文字不明
529	27号竪穴建物 Pit 9 埋土	土師器 台付坏	台 1/2残存	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	台：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	－	〈2.6〉	7.8	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
530	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切（工具痕あり）	底：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	良好	ghj	－	〈2.1〉	5.8	刻文土器か
531	27号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	gh	(20.0)	〈20.2〉	－	
532	27号竪穴建物 Pit 9 埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴下：回転ナデ	口～胴下：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(15.0)	〈10.8〉	－	
533	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gjk	(22.0)	〈10.6〉	－	
534	27号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(19.2)	〈18.1〉	－	
535	27号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ahj	－	〈9.3〉	－	外面に煤
536	27号竪穴建物 Pit 9 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	－	〈5.2〉	－	内外面に煤
537	27号竪穴建 物床面上	土師器 甕	胴部下～底 欠損	口：ナデ？ 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	口～底：ナデ横	褐灰 褐灰	やや 良好	hj	17.2	22.2	9.6	
538	27号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい黄褐	やや 不良	gh	(19.6)	〈8.0〉	－	
539	27号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	－	－	－	
540	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 不良	agj	(15.6)	〈8.5〉	－	外面に煤
541	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	橙 浅黄橙	良好	ghj	－	〈8.0〉	－	
542	27号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 にぶい黄橙	良好	ghj	(20.8)	〈12.2〉	－	
543	27号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 台付 甕？	胴下～底 1/3残存	胴：ケズリ縦 胴下：回転ナデ？	胴：ナデ斜・横	黒褐～にぶい黄橙 にぶい黄橙	不良	ah	－	〈8.5〉	－	26号土坑埋土出土と接合
544	27号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	底部のみ	胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	－	〈3.0〉	5.2	
545	27号竪穴建物 埋土上位	須恵器 長頸瓶	頸 1/2残存	頸：回転ナデ	頸：回転ナデ	灰黄 灰	良好	h	－	〈5.2〉	－	
546	27号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰白	良好	h	－	〈12.7〉	－	
547	27号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰	良好	h	－	〈9.9〉	－	
548	27号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰白	良好	h	－	〈12.0〉	－	
556	28号竪穴建物 埋土上位	土師器 台付坏	底部（台） 破片	胴：ミガキ横 台：ミガキ横 底：ミガキ	胴～底：ミガキ縦	褐灰 黒～にぶい橙	良好	aj	－	〈2.4〉	5.8	内外面黒色処理
557	28号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	gh	(14.4)	3.9	6.0	
558	28号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	14.4	3.2	6.0	
559	28号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	11.0	3.4	5.0	
560	28号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	11.0	3.4	4.7	
561	28号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(13.2)	3.6	5.4	
562	28号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 浅黄橙	やや 不良	ghj	(12.6)	3.1	5.4	
563	28号竪穴建物 埋土下位、床直上	土師器 坏	底部欠損	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(13.2)	〈3.1〉	－	
564	28号竪穴建物 床面上	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰白 にぶい黄橙	良好	gh	－	〈3.2〉	7.4	
565	28号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ 底：回転糸切	底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	hj	－	〈2.1〉	8.0	
566	28号竪穴建物 埋土上位	土師器 台付坏	台部	台：回転ナデ	台：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	－	〈2.6〉	6.6	
567	28号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ehj	(15.4)	〈12.8〉	－	内外面に煤
568	28号竪穴建物 埋土下位、 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	(12.8)	〈11.1〉	－	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
569	28号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	－	〈11.6〉	－	
570	28号竪穴建物 土坑１埋土、 カマド北袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	agj	(16.8)	〈8.3〉	－	輪積み痕あり
571	28号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴上：ナデ斜	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	ghj	(26.0)	〈12.3〉	－	
572	28号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	不良	hj	(12.2)	〈7.4〉	－	接合面に炭化物付着
573	28号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	灰黄褐 灰黄褐	やや不良	bh	(13.0)	〈9.3〉	－	外面に煤
574	28号竪穴建物 Pit２埋土	須恵器 長頸瓶	頸～胴上 1/3残存	頸～胴：回転ナデ	頸～胴：回転ナデ	黄灰 灰	良好	hj	－	〈7.5〉	－	
576	29号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	にぶい黄褐 黒褐	やや不良	aj	13.7	4.9	5.2	内面黒色処理
577	29号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	胴下～台：回転ナデ	底：ミガキ斜	にぶい橙 黒	やや不良	ghj	－	〈2.5〉	(3.8)	内面黒色処理
578	29号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gj	(14.4)	4.7	(4.8)	
579	29号竪穴建物 土坑１埋土	須恵器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	やや不良	hj	(12.8)	〈6.5〉	－	外面に煤
580	29号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土中	土師器 甕	胴下～底 2/3残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	やや良好	hj	－	〈7.3〉	7.4	
581	29号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 甕	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい橙	良好	gh	－	〈3.6〉	7.2	底面に刻み？
582	29号竪穴建物 埋土上位	須恵器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	にぶい黄橙 明黄褐	良好	hj	(18.0)	〈14.9〉	－	外面に煤
583	29号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/4残存	胴：ケズリ縦→ナデ斜 底：ケズリ	胴～底：ナデ	にぶい赤褐 にぶい橙	良好	chj	－	〈5.7〉	8.5	
584	29号竪穴建物 床面上、埋土下位	須恵器 瓶類	頸～底 2/3残存	胴：回転ナデ→ケズリ縦 底：ケズリ	胴：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	hj	－	〈17.6〉	10.0	
585	29号竪穴建物 カマド埋土	須恵器 大甕	胴部 1/3残存	胴：タタキ	胴：タタキ	灰 灰	良好	h	－	〈25.1〉	－	
588	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：ミガキ横・縦	にぶい黄橙 黒	良好	h	－	〈2.3〉	－	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
589	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや良好	h	(12.8)	3.5	5.7	
590	30号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(13.6)	3.7	5.1	
591	30号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや不良	gh	12.3	3.5	5.6	外面に油煙痕 （灯明皿）
592	30号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	12.3	4.0	5.2	
593	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	やや不良	h	11.7	3.5	4.6	
594	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	11.8	3.2	5.1	
595	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gj	12.0	3.0	5.5	
596	30号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ ナデ縦	橙 にぶい橙	良好	h	11.2	4.3	4.0	
597	30号竪穴建物 カマド埋土、 土坑１・２埋土	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ	口～台：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(14.3)	5.0	7.8	
598	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 2/3残存	口～台：回転ナデ	口～台：回転ナデ	にぶい黄橙 明黄褐	良好	h	13.4	5.4	7.8	
599	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ	口～台：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ah	(13.8)	5.2	7.4	27号竪穴建物跡Pit９出土と接合
600	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～台：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	gh	－	〈4.2〉	7.4	
601	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ 底：回転糸切	台：回転ナデ	灰白 灰黄褐	良好	ghj	－	〈3.4〉	8.4	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
602	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	台:回転ナデ	台:回転ナデ	にぶい黄橙 明黄褐	やや 良好	b	–	〈2.7〉	8.0	
603	30号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 台付坏	底部破片	胴:回転ナデ 底:回転糸切→ナデ	胴:回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	–	〈2.5〉	7.0	
604	30号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ 胴下:ケズリ斜	口～胴:回転ナデ 胴:ナデ縦	橙 浅黄橙	良好	ghj	(20.8)	〈15.7〉	–	
605	30号竪穴建物 土坑２埋土、 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ	口～胴:回転ナデ	浅黄橙 にぶい橙	良好	gh	(13.0)	〈5.7〉	–	
606	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴:回転ナデ 胴:ケズリ縦	口～胴:回転ナデ→ ナデ縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	–	〈11.7〉	–	刻文土器か
607	30号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴:回転ナデ 胴:ケズリ縦	口～胴:回転ナデ	橙 橙	良好	h	–	〈7.1〉	–	
608	30号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	胴部破片	胴:回転ナデ	胴:回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈4.0〉	–	刻文土器か
609	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴:回転ナデ	口～胴:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ahj	–	〈6.2〉	–	外面に煤
610	30号竪穴建物 埋土下位	土師器鉢	口縁部破片	口～胴:回転ナデ 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈4.5〉	–	
611	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕?	胴部破片	胴:ナデ?横、刻み	胴:ケズリ縦	淡黄 浅黄橙	良好	h	–	〈3.3〉	–	刻文土器か
612	30号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口:指頭による整形 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	にぶい橙 浅黄橙	良好	hj	(19.4)	〈19.5〉		
613	30号竪穴建物 埋土下位、 土坑３埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	明黄褐 にぶい黄橙	良好	hj	(20.2)	〈15.1〉	–	27号竪穴建物Pit９出土・31号竪穴建物埋土下位と接合
614	30号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 甕	胴部・底部 欠損	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	16.5	21.9	8.6	外面に煤
615	30号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口:ナデ横 胴:ケズリ（ナデ） 縦	口～胴:ナデ横	橙 にぶい黄橙	良好	hj	(18.0)	〈11.4〉	–	輪積み痕あり
616	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	明黄褐 にぶい橙	良好	ghj	–	〈12.0〉	–	
617	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	橙 にぶい橙	やや 不良	hj	(16.0)	〈6.1〉	–	外面に煤
618	30号竪穴建物 埋土下位、 土坑３埋土	土師器 甕	口～胴 1/2残存	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	不良	hj	12.4	〈8.6〉	–	外面に煤
619	30号竪穴建物 埋土下位、 土坑３埋土	土師器 甕	口縁部破片	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	egh	–	〈10.0〉	–	輪積み痕あり
620	30号竪穴建物 埋土下位、 カマド両袖内	土師器 甕	胴～底 1/3残存	胴:ケズリ縦 底:ケズリ	胴:ナデ横	橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈23.9〉	(13.6)	
621	30号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴:ケズリ縦・横 底:ケズリ	胴～底:ナデ横	灰黄褐 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈11.4〉	(10.8)	27号竪穴建物床面上出土と接合
622	30号竪穴建物 床面上	須恵器 甕	口縁部破片	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	ah	–	〈3.3〉	–	
623	30号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	h	–	〈7.9〉	–	焼成悪く?赤い
626	31号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	12.3	4.1	5.6	底面に糸痕
627	31号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	橙 橙	良好	agh	(12.6)	4.0	5.5	
628	31号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	橙 灰褐	不良	hj	(13.0)	4.0	5.1	
629	31号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(11.8)	2.8	(6.0)	
630	31号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴:回転ナデ	口～胴:回転ナデ	橙 橙	良好	h	–	〈2.8〉	–	
631	31号竪穴建物 床面上	土師器 台付皿	口～台 2/3残存	口～胴・台:回転ナデ	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	11.7	〈2.7〉	–	28号竪穴建物埋土上位出土と接合
632	31号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ縦・横	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	gh	–	〈8.0〉	–	
633	31号竪穴建物 カマド煙出し内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴:回転ナデ 胴下:ケズリ縦	口～胴:回転ナデ 胴:ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	ghj	(18.9)	〈17.5〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
634	31号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄褐	やや 不良	hj	(17.6)	〈9.3〉	–	
635	31号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ？ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	灰黄褐 黒褐	やや 良好	hj	–	〈5.0〉	–	
636	31号竪穴建物 埋土下位、床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	にぶい黄橙 にぶい橙	不良	ah	–	〈9.6〉	–	生焼け？土師器か。
638	32号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ（ナデ）縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい橙	やや 良好	ahj	(13.6)	〈10.3〉	–	
639	32号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	橙 橙	良好	ghj	–	〈11.5〉	–	
640	32号竪穴建物 埋土上位	土師器 台付鉢	台部 1/2残存	台：回転ナデ	台：回転ナデ	にぶい褐 にぶい褐	やや 不良	ghj	–	〈3.8〉	(15.2)	
641	32号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	明黄褐 明黄褐	やや 不良	ghj	–	〈12.7〉	–	
642	33号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	浅黄橙 黒	やや 良好	hj	(14.0)	5.1	5.8	内面黒色処理
643	33号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ横 →縦	灰白 黒	不良	ghj	(14.5)	〈3.6〉	–	内面黒色処理
644	33号竪穴建物 カマド袖内	土師器 坏	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	橙 黒	良好	ghj	(13.8)	〈3.8〉	–	内面黒色処理
645	33号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底	胴：ケズリ横 底：ケズリ	胴～底：ミガキ縦	橙 黒	良好	gh	–	〈2.2〉	5.8	内面黒色処理
646	33号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	gh	(13.6)	〈3.6〉	–	
647	33号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰黄褐 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(13.6)	5.5	(4.8)	
648	33号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	hj	15.1	5.6	4.0	内外面に油煙痕（灯明皿）
649	33号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴 1/3・ 底部 1/3	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ→ ナデ縦	にぶい黄橙 ～褐灰 褐灰	不良	ah	(22.0)	(33.0)	(9.5)	外面に媒
650	33号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ ナデ横	にぶい橙 にぶい橙	やや 不良	chj	13.3	11.0	6.1	内面に煤
651	34号竪穴建物 カマド埋土内	土師器 坏	口～胴 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙浅黄 橙	良好	eh	(13.0)	〈3.6〉	–	
652	34号竪穴建物 カマド埋土内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	ah	–	〈5.1〉	–	
653	34号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴 1/5残存	口～頸：ナデ横 胴：ナデ斜・縦	口～頸：ナデ？ 胴：ナデ縦	橙 にぶい橙	やや 不良	hj	(18.0)	〈5.7〉	–	
654	34号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ→ナデ横	胴：回転ナデ	明赤褐 にぶい赤褐	良好	ahj	–	〈5.3〉	–	
655	34号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	胴部破片	胴：ケズリ縦	胴：ナデ横	にぶい黄褐 橙	良好	ahj	–	〈13.9〉	–	
656	34号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴：ナデ横→斜	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	h	–	〈13.1〉	–	
657	35号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～胴 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	gh	(13.7)	〈3.9〉	–	
658	35号竪穴建物 Pit 5 埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(13.8)	〈3.5〉	–	
659	35号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	–	〈4.1〉	–	須恵器坏？ 墨書土器？
660	35号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口縁部破片	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	黒 黒	不良	h	–	〈2.2〉	–	内外面黒色処理
661	35号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	灰黄褐 灰黄褐	やや 不良	h	–	〈2.3〉	–	
662	35号竪穴建物 Pit 5 埋土	土師器 甕	底部破片	胴下：ケズリ斜	胴～底：ナデ	明黄褐 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	–	〈4.4〉	(10.2)	
663	35号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈6.7〉	–	外面に煤
664	35号竪穴建物 Pit 5 埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	橙 にぶい黄橙	良好	h	–	〈3.1〉	–	生焼け？
666	36号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙 黒	良好	gh	14.4	5.6	6.3	内外面黒色処理底面に刻み2条
667	36号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	灰黄褐 黒	不良	hj	14.0	4.8	5.2	内外面黒色処理

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
668	36号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	にぶい橙 黒	やや 良好	h	(14.8)	4.6	5.4	内外面黒色処理
669	36号竪穴建物 貼床、カマド両袖内	土師器 坏	口～胴下 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	にぶい黄褐 黒	良好	h	14.6	〈3.7〉	–	内外面黒色処理
670	36号竪穴建物 床面上	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切→棒状工具痕	底：ミガキ	にぶい橙 にぶい黄褐～黒	やや 良好	h	–	〈2.4〉	5.8	底面、刻文？
671	36号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	灰黄褐 にぶい橙	良好	eh	–	〈3.7〉	–	
672	36号竪穴建物 床面上	須恵器 甕	胴下～底	胴：タタキ 胴下：ケズリ・ナデ 斜	胴～底：ナデ斜	灰 灰	良好	h	–	〈17.0〉	15.2	
674	37号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ミガキ横	にぶい橙 黒	やや 不良	hj	(16.8)	〈5.1〉	–	内面黒色処理
675	37号竪穴建物 埋土下位、 Pit 3 埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 橙	やや 不良	hj	(14.4)	4.9	6.0	
676	37号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒褐	やや 不良	hj	(13.8)	〈4.8〉	(5.0)	内面黒色処理
677	37号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	hj	(14.2)	〈4.0〉	–	内面黒色処理
678	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	aj	–	〈4.6〉	–	内外面黒色処理
679	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ縦・斜	浅黄橙 黒	良好	aj	(13.6)	5.2	(5.1)	内外面黒色処理
680	37号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	14.2	4.5	5.6	
681	37号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	14.0	4.3	5.0	墨書土器 文字不明 灯明皿
682	37号竪穴建物 埋土下位、 張り出し埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(14.4)	4.3	6.2	
683	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(12.8)	3.7	(5.2)	
684	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい橙 灰黄褐	不良	hj	(14.4)	〈4.2〉	–	内面に煤
685	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	淡黄 淡黄	良好	gh	–	〈11.4〉	–	
686	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 橙	やや 良好	gh	(8.6)	8.0	(5.2)	
687	37号竪穴建物 張り出し埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい褐 黒褐	不良	hj	–	〈4.8〉	–	外面に煤
688	37号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ナデ横	黒 黒	良好	hj	–	〈8.6〉	–	
689	37号竪穴建物 埋土下位、 張り出し埋土	土師器 甕	胴下～底部	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 にぶい橙	良好	ghj	–	〈6.1〉	8.2	底部歪む
690	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴：回転ナデ→ケズリ斜 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 不良	hj	–	〈8.9〉	8.5	
691	37号竪穴建物 埋土下位、 張り出し埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(18.1)	〈16.4〉	–	
692	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙橙	良好	ehj	(23.8)	〈9.7〉	–	外面に煤
693	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/2残	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(16.8)	〈18.7〉	–	外面に煤
694	37号竪穴建物 埋土下位、 張り出し埋土	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴：ケズリ縦 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	chj	–	〈16.2〉	8.8	底面に煤
695	37号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 甕	胴下～底部 1/4残存	胴：ナデ縦 底：ケズリ	胴：ナデ横・斜	灰黄褐 褐灰	良好	hj	–	〈5.6〉	(11.2)	
696	37号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい褐～黒褐 褐灰	良好	h	(11.8)	〈5.5〉	–	
697	37号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 にぶい橙	良好	hj	–	〈7.1〉	–	輪積み痕あり
698	37号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	chj	–	〈7.8〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
699	37号竪穴建物 Pit 6 埋土中	須恵器 瓶類	口縁部破片	口:回転ナデ	口:回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈3.1〉	–	
700	37号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴部破片	頸～胴:回転ナデ	頸～胴:回転ナデ	灰 黄灰	良好	h	–	〈8.7〉	–	
705	38号竪穴建物 埋土下位、 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口:ミガキ横 胴～底:ミガキ斜	明赤褐 にぶい赤褐	やや 不良	h	(12.5)	4.3	5.3	
706	38号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	完形	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	3.7	3.7	5.0	器形歪み強い
707	38号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ→ ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 灰白	良好	gh	(12.6)	3.3	(6.2)	
708	38号竪穴建物 貼床、カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(13.6)	3.1	6.0	外面に粘土付着
709	38号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(12.2)	3.1	5.7	
710	38号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～胴部 4/5欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	gh	(13.2)	2.9	5.2	
711	38号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上:回転ナデ 胴下:ケズリ縦	口～胴:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(29.2)	〈12.3〉	–	
712	38号竪穴建物 床面上、カマド燃焼 部焼土上、北袖内	土師器 甕	口～胴下 2/3残存	口～胴:回転ナデ	口～胴:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	agh	13.1	〈14.3〉	–	外面に煤
713	38号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、北袖内	土師器 甕	口縁部破片・ 胴下～底	口:ナデ横 胴:ナデ縦	口～胴:ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	cgh	22.4	(28.0)	12.2	
714	38号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	頸～胴:回転ナデ	頸～胴:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	–	〈5.5〉	–	
715	38号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ →ミガキ横（頸のみ 縦）	口～胴上:ミガキ横 胴下:ミガキ縦	橙 橙	良好	j	(15.4)	〈9.5〉	–	
716	38号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴部破片	胴:ナデ	胴:ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	–	〈2.4〉	–	
717	38号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、 南袖内	土師器 甕	胴部破片	胴:ケズリ縦	胴:ナデ横	にぶい黄橙 にぶい橙	やや 良好	hj	–	〈13.2〉	–	
720	39号竪穴建物 土坑 2 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:ミガキ横 底:ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 良好	hj	(14.8)	5.0	6.4	内面黒色処理
721	39号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴:回転ナデ 胴下:ケズリ 底:ケズリ	口～胴上:ミガキ横 胴下～底:ミガキ縦	浅黄橙 黒	不良	h	(17.2)	6.7	6.4	内面黒色処理
722	39号竪穴建物 貼床内、埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴:回転ナデ	口～胴上:ミガキ横 胴下:ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	hj	–	〈5.7〉	–	内面黒色処理
723	39号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	agh	14.4	4.6	5.2	外面に煤
724	39号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	底部破片	胴:ケズリ斜 底:ナデ？	底:ケズリ？	灰黄褐 にぶい黄橙	やや 良好	h	–	〈1.6〉	(9.4)	底面に煤
725	39号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕？	底部破片	胴:回転ナデ 底:回転糸切	胴～底:回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	不良	ghj	–	〈2.6〉	(7.0)	
726	39号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	頸～胴上 1/4残存	頸:回転ナデ 胴:タタキ	頸:回転ナデ 胴:当て具痕？	灰 灰	良好	h	–	〈8.0〉	–	
727	39号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:タタキ	黄灰 灰	良好	h	–	〈13.0〉	–	
728	39号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	頸～胴部 破片	頸:回転ナデ 胴:タタキ	頸:回転ナデ 胴:タタキ	灰 灰	良好	h	–	〈6.6〉	–	
729	39号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:当て具痕？	灰 灰	良好	h	–	〈11.7〉	–	
730	39号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:当て具痕？	灰 灰	良好	eh	–	〈7.8〉	–	
731	39号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴部破片	胴:ケズリ縦	胴:回転ナデ	灰 灰	良好	hj	–	〈7.2〉	–	
734	40号竪穴建物 床面上	土師器 坏	底部破片	胴:回転ナデ 底:ケズリ	胴～底:ミガキ縦・ 横	明黄褐 橙	良好	ahj	–	〈2.8〉	(6.0)	内面黒色処理
735	40号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ→ ミガキ横・斜	口～胴下:ミガキ横 →縦	にぶい黄橙 黒	良好	agj	(7.0)	〈3.9〉	–	内面黒色処理
736	40号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ 胴下:ナデ斜	口:ミガキ横 胴:ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	h	(15.4)	〈4.6〉	–	内面黒色処理

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
737	40号竪穴建物 カマド埋土、 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ横→縦	にぶい橙 黒	やや 不良	aj	(14.0)	5.1	5.6	内面黒色処理
738	40号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ→ナデ縦 底：ケズリ？	底：ミガキ	明黄褐黒	やや 不良	h	–	〈1.5〉	(4.3)	内面黒色処理
739	40号竪穴建物 カマド、土坑１埋土	土師器 甕	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦→横 底：ケズリ	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ?	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	22.0	32.5	8.8	
740	40号竪穴建物 カマド、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴部 上半	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	やや 不良	hj	14.2	〈10.9〉	–	外面に煤
741	40号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 小型甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴上：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	不良	gh	(11.3)	〈5.8〉	–	外面に煤
742	40号竪穴建物 カマド、土坑１埋土	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦 底：指頭による整形	底：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 不良	hj	–	〈5.3〉	8.5	
744	41号竪穴建物 張り出し、Pit１埋土	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	にぶい黄橙 黒	やや 不良	hj	(15.2)	〈4.1〉	–	内面黒色処理
745	41号竪穴建物 Pit９埋土	土師器 坏	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴上：ケズリ縦 胴下：ナデ横	口～胴上：ナデ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい褐 黒褐	やや 不良	hj	(14.1)	〈4.2〉	–	内面黒色処理
746	41号竪穴建物 張り出し、Pit１埋土	土師器 坏	口～胴上 1/2残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	橙 黒	やや 良好	hj	(14.6)	〈3.9〉	–	内面黒色処理
747	41号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒～橙	やや 不良	hj	(15.8)	〈5.0〉	(5.8)	内面黒色処理
748	41号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 良好	hj	(15.0)	〈4.3〉	–	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
749	41号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	胴下～底	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	eh	–	〈2.8〉	5.4	内面黒色処理
750	41号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	やや 不良	h	(13.3)	4.6	(6.6)	外面に煤
751	41号竪穴建物 張り出し、Pit１埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	14.2	4.2	5.9	
752	41号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	ghj	(12.9)	3.9	4.8	内外面に油煙痕（灯明皿）
753	41号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	gh	(11.6)	3.5	4.6	
754	41号竪穴建物 土坑５埋土	須恵器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	灰黄 灰黄褐	良好	aj	–	〈2.5〉	–	
755	41号竪穴建物 貼床内	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	底：ミガキ	橙 黒	不良	hj	–	〈3.0〉	(7.7)	内面黒色処理
756	41号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦	胴～底：ナデ縦	橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈3.5〉	6.0	７世紀代
757	41号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	台 1/4残存	台：ハケ目？縦	底：ナデ	にぶい黄橙 ～黒褐 にぶい黄橙	不良	chj	–	〈3.4〉	(8.1)	７世紀代
758	41号竪穴建物 埋土下位、土坑２、 Pit１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(19.6)	〈15.2〉	–	
759	41号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(21.6)	〈10.3〉	–	
760	41号竪穴建物 土坑２、Pit１埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	明黄褐 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈5.4〉	–	31号竪穴建物 埋土上位出土 と接合
761	41号竪穴建物 張り出し内	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ 胴：ナデ？	口～胴：ナデ横	橙 浅黄橙	やや 不良	gjk	–	〈9.5〉	–	輪積痕あり
762	41号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	hj	–	〈10.4〉	–	輪積痕あり
763	41号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	やや 不良	chj	(11.3)	9.5	6.5	外面に煤
764	41号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部欠損	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～底：ナデ横	灰黄褐 浅黄橙	やや 不良	hj	11.8	7.8	7.3	内外面に煤
765	41号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(11.6)	〈6.4〉	–	
766	41号竪穴建物 貼床内、Pit１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(13.4)	〈7.6〉	–	
767	41号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	頸～胴上 1/4残存	頸～胴上：回転ナデ	頸～胴上：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈6.9〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
768	41号竪穴建物 埋土下位、 カマド両袖内	須恵器 甕	胴～底 1/3残存	胴：回転ナデ→ケズリ縦・斜 底：ケズリ	胴：回転ナデ→ナデ斜	灰 灰	良好	h	－	〈26.8〉	13.6	
769	41号竪穴建物 貼床内	須恵器 瓶類	胴上 1/4残存	頸～胴上：回転ナデ	頸～胴上：回転ナデ	灰白 灰白	良好	h	－	〈7.1〉	－	
770	41号竪穴建物 埋土下位、貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰	良好	h	－	〈18.7〉	－	
774	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦→横	浅黄橙 明黄褐～黒	良好	hj	(15.2)	4.5	5.0	
775	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ミガキ横・縦	浅黄橙 にぶい黄橙	やや不良	ah	(13.3)	6.0	5.8	
776	42号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒～ にぶい黄橙	やや不良	hj	(14.8)	4.7	(6.0)	内面黒色処理
777	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ミガキ横・縦	灰黄褐 黒	やや不良	hj	14.1	5.4	5.8	内面黒色処理
778	42号竪穴建物 床面上	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	不良	hj	－	〈2.4〉	6.0	内面黒色処理
779	42号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい橙 黒	やや不良	hj	－	〈3.5〉	－	内面黒色処理？
780	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ミガキ縦	灰黄褐 黒	やや不良	hj	14.4	5.2	5.0	内面黒色処理
781	42号竪穴建物 埋土下位、 Pit 2 埋土	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	14.1	4.9	4.8	
782	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや良好	ghj	14.4	5.1	5.3	
783	42号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	14.0	4.7	5.0	
784	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	14.0	5.0	5.0	
785	42号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	cgh	(13.7)	4.7	5.7	
786	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	14.7	4.9	5.2	内面に油煙（灯明皿）
787	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ehj	14.2	5.1	5.0	
788	42号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	黄橙 橙	良好	h	13.3	4.3	5.4	
789	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 灰黄褐	良好	h	(13.4)	3.9	5.2	
790	42号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～胴下 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ehj	(14.6)	4.4	3.0	
791	42号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	(16.2)	〈3.6〉	－	
792	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(13.6)	3.5	5.0	
793	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 灰黄褐	不良	h	(14.0)	3.3	5.8	
794	42号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～胴下 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(13.6)	〈3.5〉	－	
795	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	明黄褐 明黄褐	良好	chj	(13.7)	〈5.0〉	－	
796	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 浅黄橙	良好	h	－	〈3.1〉	4.1	
797	42号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	－	〈2.3〉	5.6	底面に刻文か
798	42号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	良好	cgh	－	〈12.5〉	－	
799	42号竪穴建物 床面上、炉上	土師器 甕	口～胴 1/3・底部のみ	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ→ナデ斜	浅黄橙 浅黄橙	やや良好	ahj	(20.5)	(29.3)	8.7	内外面に煤
800	42号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	良好	h	(19.8)	〈6.3〉	－	外面に煤
801	42号竪穴建物 床面上、炉上	土師器 甕	胴部 1/3残存	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ch	－	〈18.3〉	－	
802	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	－	〈8.6〉	－	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
803	42号竪穴建物 埋土下位、土坑２、 Pit４・５埋土	土師器 甕	口～底 1/2残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙～ 橙 にぶい橙～ 橙	やや 良好	hj	(17.4)	24.0	(7.6)	輪積み痕あり
804	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい褐～ 黒褐 にぶい黄橙	やや 不良	h	(16.4)	〈7.8〉	–	
805	42号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴上：ナデ縦 胴下：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	灰黄褐 灰黄褐	不良	h	(11.2)	13.3	(8.7)	
806	42号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口～胴部 破片	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい黄橙	やや 良好	hj	–	〈18.2〉	–	外面に煤
807	42号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰	良好	h	–	〈11.0〉	–	
808	42号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ斜→横 底：ケズリ	胴～底：回転ナデ→ ナデ？	灰 灰	良好	h	–	〈10.9〉	(10.2)	
815	43号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 坏	口～胴 1/5残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～底：ミガキ横→ 縦	橙 灰褐	やや 不良	hj	(18.2)	〈5.1〉	–	
816	43号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	胴下～底	胴：ナデ横→縦	底：ミガキ縦	橙 橙	良好	h	–	〈3.1〉	5.2	
817	43号竪穴建物 埋土下位、カマド、 土坑１・３埋土、 Pit５埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒～黒褐	やや 良好	chj	(13.8)	4.5	5.6	内面黒色処理
818	43号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴下：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ斜	にぶい黄橙 黒	良好	ah	(15.0)	〈4.7〉	–	内面黒色処理
819	43号竪穴建物 Pit７埋土	土師器 坏	完形	口：横ナデ 胴：ヘラケズリ縦	口～胴：ミガキ	にぶい黄橙 黒	やや 良好	j	10.0	4.4	4.3	内面黒色処理
820	43号竪穴建物 Pit７埋土	土師器 坏	完形	口：横ナデ 胴：横ナデ→ヘラケ ズリ	口～胴：刻み？ミガ キ横	黒 黒	やや 良好	hj	10.0	3.9	4.7	内外面黒色処 理
821	43号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	底部欠損	口～胴：ミガキ横	口～底：ミガキ斜	黒 黒	不良	hj	9.6	4.5	3.9	内外面黒色処 理
822	43号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ斜	明黄褐 黒	やや 良好	hj	(14.5)	〈3.0〉	–	内面黒色処理
823	43号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：ナデ？	底：ミガキ	にぶい黄橙 黒	やや 不良	j	–	〈1.9〉	4.6	内面黒色処理
824	43号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	底部破片	胴：ナデ斜 底：回転糸切	底：ミガキ縦	黒 黒	やや 不良	j	–	〈1.5〉	(7.8)	内外面黒色処 理
825	43号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(15.8)	4.8	6.8	
826	43号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	h	(15.0)	〈3.9〉	–	内面に油煙痕 （灯明皿）
827	43号竪穴建物 埋土下位、カマド、 土坑２埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 橙	やや 良好	chj	12.9	4.4	4.7	
828	43号竪穴建物カマド 南袖内、土坑２埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(12.4)	4.0	5.2	内面に油煙痕 （灯明皿）
829	43号竪穴建物 埋土下位（３層）	土師器 坏	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ah	(13.8)	4.6	(4.5)	
830	43号竪穴建物 Pit９埋土	土師器 坏	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(15.0)	〈4.5〉	–	
831	43号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(13.8)	〈3.4〉	–	
832	43号竪穴建物 床面上、カマド南袖 内、土坑２埋土	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	–	〈1.7〉	5.0	
833	43号竪穴建物 埋土中	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈2.5〉	(7.2)	
834	43号竪穴建物 土坑２埋土（２層）	土師器 台付坏	口～台 2/3残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい赤褐 黒	不良	hj	(13.0)	5.5	7.6	内面黒色処理
835	43号竪穴建物 埋土下位（３層）、 土坑２埋土（２層）	土師器 台付坏	胴下～底部 のみ	胴：回転ナデ	胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	明赤褐 黒	良好	hj	–	〈3.5〉	–	内面黒色処理 底部菊花状痕 跡
836	43号竪穴建物 埋土下位、カマド北 袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	橙 浅黄橙	良好	chj	(24.0)	〈11.5〉	–	
837	43号竪穴建物 床面上、カマド北袖 内、土坑２埋土	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	ghj	(12.4)	〈9.6〉	–	外面に煤

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
838	43号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	にぶい黄褐 にぶい黄橙	不良	ahj	(20.2)	〈6.1〉	–	外面に煤
839	43号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(14.0)	〈7.1〉	–	
840	43号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈14.2〉	–	
841	43号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	明黄褐 明黄褐	良好	ehj	–	〈6.8〉	–	
842	43号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈6.5〉	–	
843	43号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈16.1〉	–	
844	43号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	–	〈7.2〉	–	
845	43号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	bgh	–	〈4.8〉	–	
846	43号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口：ナデ横 胴：ハケメ？横	にぶい黄橙 黒褐	不良	hj	–	〈5.4〉	–	
847	43号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 甕	口～胴上 1/5	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ横	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈6.7〉	–	
848	43号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口：ナデ横 胴：ナデ縦	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(14.4)	〈4.4〉	–	
849	43号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 橙	やや 良好	chj	(23.0)	〈7.7〉	–	輪積み痕残る
850	43号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈8.2〉	–	
851	43号竪穴建物 床面上、 カマド北袖内	土師器 甕	胴部 1/2残存	胴：ケズリ縦	胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	–	〈10.1〉	–	外面に煤
852	43号竪穴建物 土坑２埋土（２層）	須恵器 長頸瓶	口縁部・ 底部欠損	頸～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ斜→横	頸～胴上：回転ナデ 胴下：ナデ（指頭による整形？）	灰 灰	良好	h	–	〈13.4〉	7.4	胴部上半に自然釉
853	43号竪穴建物 Pit４埋土	須恵器 長頸瓶	頸～胴上 1/3残存	頸～胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	頸～胴上：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈10.9〉	–	
854	43号竪穴建物 埋土下位	須恵器 頸瓶	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ→ナデ？縦	灰 灰	良好	hj	–	〈8.4〉	–	
855	43号竪穴建物 カマド埋土	須恵器 頸瓶	胴部破片	胴：回転ナデ→ケズリ斜	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈7.1〉	–	
856	43号竪穴建物 カマド両袖内	須恵器 頸瓶	胴部破片	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈12.3〉	–	
857	43号竪穴建物 カマド埋土、 土坑２埋土	須恵器 頸瓶	胴部破片	胴：回転ナデ→ケズリ斜	胴：回転ナデ→ハケメ？	灰 灰	良好	h	–	〈8.4〉	–	
858	43号竪穴建物 埋土中	須恵器 頸瓶	底部破片	胴：回転ナデ→ケズリ斜	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	bh	–	〈3.8〉	(11.0)	
859	43号竪穴建物 Pit11埋土	須恵器 瓶類	底部破片	胴：ケズリ斜	底：ケズリ	灰白 灰白	良好	gh	–	〈1.2〉	–	
860	43号竪穴建物 埋土上位（２層）	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	橙 明黄褐	良好	a	–	〈5.4〉	–	生焼け
875	44号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横	明黄褐 黒	良好	hj	–	〈4.0〉	–	内面黒色処理
876	44号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横→ 縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙 ～黒	やや 不良	g	–	〈3.8〉	–	内面黒色処理
877	44号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切り	口～胴上：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	16.0	4.7	6.2	内面黒色処理
878	44号竪穴建物 埋土中	土師器 台付坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	不良	hj	(14.2)	〈4.2〉	–	内面黒色処理
879	44号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(14.2)	4.7	6.0	
880	44号竪穴建物 Pit１埋土（３層）	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	13.8	4.2	5.7	墨書土器 「八万」
881	44号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～胴下 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄褐 橙	やや 不良	ehj	(22.8)	〈4.8〉	–	
882	44号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	h	(15.0)	5.1	6.0	
883	44号竪穴建物 Pit１埋土	土師器 坏	胴下～底 1/2残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転糸切	橙 橙	良好	h	–	〈2.8〉	4.4	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
884	44号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	明黄褐 にぶい橙	良好	hj	(21.0)	〈21.0〉	–	
885	44号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(18.9)	〈10.1〉	–	
886	44号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口～胴下 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	明赤褐 明赤褐	良好	hk	10.0	〈7.3〉	–	
887	44号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(13.4)	〈5.3〉	–	
888	44号竪穴建物 カマド埋土、 Pit 1 埋土	土師器 甕	胴～底	胴：回転ナデ→ケズリ縦 底：ケズリ	胴～底：回転ナデ	明黄褐 橙	不良	chj	–	〈23.7〉	12.4	
889	44号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい褐 明赤褐	やや 良好	ahj	–	〈6.6〉	–	
890	44号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい橙	良好	hj	–	〈5.6〉	–	
891	44号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦→横	口～胴：ナデ横	褐灰 淡黄～黒	やや 不良	h	(11.6)	〈9.8〉	–	
892	44号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	明黄褐 明黄褐	良好	ehj	–	〈6.5〉	–	
893	44号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄褐 にぶい黄橙	やや 不良	gh	–	〈5.6〉	–	
894	44号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	橙 褐灰	やや 良好	hj	–	〈8.3〉	–	
895	44号竪穴建物 Pit 3 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 にぶい橙	やや 良好	aghj	–	〈5.9〉	–	
896	44号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 羽釜	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ナデ斜	橙 橙	良好	aj	–	〈5.3〉	–	
898	45号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	aj	–	〈3.6〉	–	
899	45号竪穴建物 床面上、土坑 1 埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切り	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	やや 良好	hj	13.6	4.3	5.4	
900	45号竪穴建物 床面上	土師器 台付坏	胴上～台 1/4残存	胴～台：回転ナデ	胴～底：回転ナデ	にぶい黄褐 にぶい黄褐	不良	ghj	–	〈6.3〉	(8.0)	
901	45号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：指頭による整形 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	橙 にぶい橙	やや 良好	hj	(16.0)	〈5.2〉	–	
902	45号竪穴建物 埋土下位、 カマド煙道内	土師器 甕？	口縁部欠損	口：指頭による整形 胴：ナデ横	口～胴：ナデ横	にぶい褐 灰褐	不良	hj	16.5	12.4	13.3	
903	45号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 黄灰	良好	ah	–	〈7.6〉	–	
911	46号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦 底：ムシロ底	口～底：ミガキ横・ 縦	にぶい黄橙 黒	不良	h	15.4	5.7	5.8	内面黒色処理 ムシロ底
912	46号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ斜 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横→ 斜	にぶい黄褐 黒	やや 良好	hj	(14.1)	4.4	(6.4)	内面黒色処理
913	46号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ ミガキ縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(15.8)	6.7	6.0	
914	46号竪穴建物 カマド 1 燃焼部焼土 上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ 底：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	chj	(16.2)	4.8	(4.2)	内面黒色処理
915	46号竪穴建物 埋土下位、 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	灰黄褐 黒	やや 良好	hj	(16.5)	4.4	5.6	内面黒色処理
916	46号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴～底 1/4残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	–	〈2.8〉	5.4	墨書土器 「○」
917	46号竪穴建物 カマド 2 燃焼部焼 土上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい橙 浅黄橙	良好	ghj	(14.2)	5.5	5.3	
918	46号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(14.2)	3.8	5.4	
919	46号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 台付坏	台部 1/2残存	台：回転ナデ 底：回転糸切	底：回転糸切	橙 にぶい橙	良好	gh	–	〈2.2〉	7.4	
920	46号竪穴建物 埋土下位、 カマド 1 北袖内	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 にぶい橙	良好	ehj	(28.8)	〈10.0〉	–	
921	46号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ斜	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ahj	(14.3)	〈9.1〉	–	内外面に煤

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
922	46号竪穴建物 Pit 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴上：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	j	(23.2)	〈6.8〉	–	外面に煤
923	46号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(16.4)	〈6.6〉	–	
924	46号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(23.2)	〈11.0〉	–	
925	46号竪穴建物 埋土下位、カマド 1 燃焼部焼土上、土坑 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(15.6)	〈11.8〉	–	
926	46号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴上：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	やや 良好	ghj	–	〈5.7〉	–	外面に煤
927	46号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい黄橙 灰黄褐	やや 不良	hj	–	〈5.7〉	–	
928	46号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴上：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 良好	j	–	〈7.2〉	–	外面に煤
929	46号竪穴建物 土坑 1 底面	土師器 甕（壺）	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	–	〈5.5〉	6.2	
930	46号竪穴建物 カマド 1 燃焼部焼土 上、土坑 1 埋土	土師器 甕	胴部 1/2残存	胴：回転ナデ→ケズ リ・ナデ縦	胴：回転ナデ→ナデ 縦	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 不良	gh	–	〈27.4〉	(13.1)	輪積み痕あり
931	46号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横頸：指頭 による整形 胴：ナデ・ケズリ斜	口：ナデ横頸：指頭 による整形 胴：ナデ横	灰黄褐 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(21.0)	〈9.6〉	–	外面に煤
932	46号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 2/3残存	口～胴：ナデ縦・指 頭による整形	口～底：ナデ横	灰黄褐 灰黄褐	やや 不良	hj	13.2	13.7	6.2	
933	46号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕？	胴部破片	胴：ナデ？	胴：ナデ？	にぶい黄橙 黒褐	不良	hj	–	〈3.1〉	–	刻文土器？
934	46号竪穴建物 埋土下位、カマド 2 燃焼部焼土上	土師器 甕	口縁部破 片・胴下～底	口：ナデ横 胴：ナデ縦・指頭に よる整形	口～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(21.0)	(26.7)	9.4	
935	46号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 黄灰	良好	h	–	〈9.9〉	–	
936	46号竪穴建物 カマド 1 燃焼部焼土 上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	黄灰 黄灰	良好	ah	–	〈9.6〉	–	
944	47号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口縁部破片	口：ミガキ横	口：ミガキ横	黒 黒	やや 不良	h	–	〈1.5〉	–	内外面黒色処 理
945	47号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ah	(16.2)	5.6	5.8	
946	47号竪穴建物 Pit 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	egh	(13.5)	〈6.6〉	–	
947	47号竪穴建物 Pit 1 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口：ナデ横 胴：ナデ縦	にぶい褐 にぶい黄褐	不良	j	–	〈4.8〉	–	外面に煤
948	47号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横→縦	橙 橙	良好	hj	–	〈2.8〉	–	
949	47号竪穴建物 埋土上位	須恵器 瓶類	胴部下～ 底のみ	胴：ケズリ斜→横	胴：ナデ横	灰 灰	良好	h	–	〈9.6〉	9.2	
950	47号竪穴建物 埋土中	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	灰 灰	良好	h	–	〈5.6〉	–	
951	47号竪穴建物 床面上	須恵器 瓶類	胴部破片	胴：ナデ斜	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈7.9〉	–	
952	48号竪穴建物 床面上、 カマド崩落土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	hj	(16.3)	〈4.0〉	–	内面黒色処理
953	48号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横→ 縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	(13.8)	〈3.7〉	–	内面黒色処理
954	48号竪穴建物 埋土中	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	底：ミガキ縦	にぶい褐 黒	やや 良好	aehj	–	〈2.2〉	7.5	内面黒色処理
955	48号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	にぶい黄橙 明黄褐	やや 不良	agh	(27.0)	〈28.3〉	–	外面に煤
956	48号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄褐 にぶい黄橙	良好	gh	(17.2)	〈7.0〉	–	外面に煤
957	48号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄褐 にぶい黄橙	良好	aj	–	〈3.4〉	–	外面に煤
958	48号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄褐	やや 不良	ghj	(13.4)	〈18.8〉	–	
959	48号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口～胴下 1/5残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 にぶい黄褐	良好	ahj	–	〈18.9〉	–	内面に煤

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
960	48号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 甕	口～胴 1/3残存・ 胴下～底	口：ナデ横 胴：ミガキ縦 底：砂底	口～胴上：ナデ横 胴下：ナデ縦	灰黄褐 橙	やや 良好	ahj	22.8	26.8	11.3	砂底土器
961	48号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 甕	口～胴 1/3、 胴下～底	口：ナデ横 胴：ケズリ縦 底：砂底	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	hj	(13.6)	–	7.8	砂底土器
962	48号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 甕	口縁部欠損	口：ナデ横 胴：ケズリ縦 胴下：ケズリ 横底：砂底	口～胴：ナデ横	橙 橙	やや 良好	chj	14.2	14.0	9.8	砂底土器 外面に煤
963	49号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰黄褐～橙 にぶい黄橙	やや 良好	h	13.2	3.5	5.4	外面に煤
964	49号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴 1/5残存	口：回転ナデ 胴：ナデ斜	口～胴：ナデ横	明黄褐 浅黄橙	良好	hj	–	〈10.4〉	–	頸に削った 痕跡並ぶ（故意？）
965	50号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(14.2)	〈2.7〉	–	
966	50号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰黄褐 暗褐	不良	h	–	〈2.4〉	–	
967	50号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ→ナデ 縦	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	–	〈2.0〉	–	
968	50号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転ナデ	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	hj	15.3	14.8	7.9	
969	51号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ横→ 縦	橙 明赤褐	やや 良好	ahj	(15.5)	6.3	(5.8)	
970	51号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	にぶい褐 黒	不良	ghj	(13.9)	5.7	5.8	内面黒色処理
971	51号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	agh	(14.2)	4.5	5.2	
972	51号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ac	(13.8)	4.2	5.2	
973	51号竪穴建物 床面上	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hg	–	〈2.3〉	5.0	
974	51号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 台付坏	台部のみ	台：ナデ横	胴～底：ミガキ斜	橙 黒	やや 不良	hj	–	〈2.5〉	7.5	内面黒色処理
975	51号竪穴建物 埋土中	土師器 台付坏	底部破片	胴：回転ナデ？	胴～底：ミガキ縦	橙 黒	良好	aj	–	〈1.1〉	–	内面黒色処理
976	51号竪穴建物 貼床内	土師器 台付坏	底部破片	台：ナデ横	胴：ミガキ	浅黄橙 黒	良好	hj	–	〈2.2〉	–	内面黒色処理
977	51号竪穴建物 カマド南袖内、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(24.2)	〈13.0〉	–	内外面に煤
978	51号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(16.2)	〈13.2〉	–	
979	51号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(23.6)	〈11.8〉	–	
980	51号竪穴建物 床面上、 カマド北袖内	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(20.0)	〈8.3〉	–	981と同一個体
981	51号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴：ケズリ斜	胴：ナデ横・縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	chj	–	〈9.4〉	9.2	980と同一個体
982	51号竪穴建物 床面上、貼床内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ナデ斜	橙 橙	良好	ahj	(22.0)	〈14.4〉	–	
983	51号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	chg	–	〈5.9〉	–	
984	51号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	chj	–	〈6.9〉	–	輪積み痕あり
985	51号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕（壺）	胴下～底 1/4残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	ahj	–	〈5.3〉	(9.4)	
986	51号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ・ナデ縦	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ahg	–	〈14.6〉	–	
987	51号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦・斜	口～胴：ナデ横	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	(10.2)	〈19.2〉	–	
988	51号竪穴建物 埋土中	土師器 小型甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	胴：ナデ斜	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	(12.0)	〈5.3〉	–	
989	51号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口～胴部 破破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	j	(23.6)	〈11.8〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
990	51号竪穴建物 床面上、壁溝内	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴：ナデ縦→横	胴～底：ナデ横	橙 橙	不良	hj	–	〈6.8〉	(9.0)	
991	51号竪穴建物 Pit 1 埋土	土師器 鉢	口～底 1/4残存	口～胴：ナデ（指による整形）	口～胴：ナデ横	灰黄褐 にぶい黄橙	良好	hj	(14.6)	12.5	5.8	
992	51号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	底部1/3	胴：ナデ横 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	–	〈2.2〉	(8.8)	
993	51号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ斜 底：ナデ？	底：ナデ横	灰黄褐 浅黄橙	やや 不良	gh	–	〈2.5〉	7.5	外面に煤
994	51号竪穴建物 埋土中	須恵器 瓶類	胴部破片	胴：ケズリ縦	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈8.7〉	–	
995	51号竪穴建物 埋土下位、壁溝埋土	須恵器 瓶類	胴部破片	胴下：ケズリ斜	胴下：ナデ	灰 灰	良好	eh	–	〈10.4〉	–	
996	51号竪穴建物 埋土中	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈6.0〉	–	
997	51号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰黄 黄灰	良好	eh	–	〈12.3〉	–	
998	51号竪穴建物 壁溝埋土	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰	良好	h	–	〈8.2〉	–	
999	52号竪穴建物 埋土下位、 土坑 2 底面	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口：ナデ横？ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	hj	(16.8)	〈4.4〉	–	
1000	52号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横・斜 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	ghj	14.6	5.1	5.8	内面黒色処理
1001	52号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	完形	口：横ナデ 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	口～底：ミガキ横→縦	橙 黒	やや 良好	hj	14.0	4.9	5.9	内面黒色処理 灯明皿
1002	52号竪穴建物 土坑 2 底面	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転ナデ	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	agj	13.0	3.6	5.0	
1003	52号竪穴建物 埋土下位、 土坑 2 埋土	須恵器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転ナデ	口～底：回転ナデ	灰黄 灰白	良好	hj	(12.6)	4.8	4.5	須恵器の生焼け？
1004	52号竪穴建物 土坑 1 埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	j	12.5	4.6	4.6	
1005	52号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	明黄褐 明黄褐	やや 良好	hj	–	〈2.4〉	–	墨書土器 文字不明
1006	52号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(19.6)	〈3.9〉	–	
1007	52号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 甕	口～胴 1/5残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	灰黄褐 浅黄橙	やや 不良	ghj	–	〈15.8〉	–	内外面に煤
1008	52号竪穴建物 土坑 2 埋土下位	須恵器 甕	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰黄 灰	良好	h	(11.0)	〈8.4〉	–	
1009	52号竪穴建物 カマド煙道内	土師器 甕	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	ghj	–	〈14.9〉	–	外面に煤
1010	52号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ斜	口～胴：ナデ横	灰白 淡黄	良好	ghj	–	〈17.1〉	–	
1016	53号竪穴建物 床面上	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	ah	14.9	4.9	6.1	内面黒色処理
1017	53号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(13.8)	4.9	(5.6)	
1018	53号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 明黄褐	良好	cgh	(16.2)	4.2	5.8	
1019	53号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰黄褐 にぶい黄橙	良好	hj	12.3	3.6	5.1	内面に煤 灯明皿
1020	53号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	chj	(19.2)	〈12.1〉	–	
1021	53号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ナデ斜→ミガキ斜	浅黄橙 にぶい橙	良好	hj	–	〈8.3〉	–	
1022	53号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	不良	ehj	(15.4)	〈8.6〉	–	
1023	53号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈12.3〉	–	
1024	53号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	やや 不良	j	(12.8)	12.3	7.2	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1025	53号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴上：ケズリ縦 胴下：ナデ（ケズリ）横 底：ケズリ？	口～底：ナデ横	にぶい褐 にぶい褐	良好	ghj	(15.4)	12.2	(7.2)	
1026	53号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	(13.8)	〈10.9〉	–	
1027	53号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	黄灰 黄灰	良好	hj	–	〈8.3〉		
1028	54号竪穴建物 カマド煙出し内	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ	口～底：ミガキ横→縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	aj	14.9	5.2	5.2	内面黒色処理
1029	54号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	j	12.2	3.7	5.6	外面に粘土付着
1030	54号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転ナデ	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	ahj	(15.3)	3.7	(6.0)	
1031	54号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ 底：回転糸切	台：回転ナデ→ナデ	灰白 灰白	不良	hj	–	〈2.3〉	6.4	
1032	54号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部 1/2残存	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	底：ミガキ縦	灰白 黒	良好	agj	–	〈2.8〉	(9.6)	内面黒色処理
1033	54号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴上：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	ghj	(13.4)	〈7.8〉	–	
1034	54号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	agj	(19.6)	〈4.7〉	–	
1035	54号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ→ナデ横	灰黄褐 灰黄褐	良好	ghj	(19.8)	〈8.1〉	–	内面胴部に穴（製作時の気泡？）
1036	54号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	黒褐 褐灰	不良	hj	(14.0)	〈4.3〉	–	
1037	54号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口：回転ナデ	灰黄褐 灰黄褐	不良	hj	(13.0)	〈2.8〉	–	外面に媒
1038	54号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	灰黄褐 にぶい黄橙	やや 良好	ghj	(12.0)	〈6.9〉	–	
1039	54号竪穴建物 埋土下位	土師器 鉢？	口縁部破片	口～胴：回転ナデ→ナデ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈11.2〉	–	
1040	54号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	明黄褐 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈3.9〉	–	
1041	54号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横	口：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	ch	–	〈4.6〉	–	
1042	54号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	灰 灰黄褐	良好	h	(16.2)	〈1.8〉	–	
1043	54号竪穴建物 埋土上位	須恵器 瓶類	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	黄灰～浅黄橙 黄灰	良好	ehj	5.8	9.1	5.0	やや生焼け気味
1044	54号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	底部破片	胴：ケズリ横 底：ケズリ	底：ナデ	灰 灰白	良好	hj	–	〈3.1〉	–	
1045	54号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴部破片	胴：ケズリ斜→縦	胴：回転ナデ	黄灰灰	良好	ch	–	〈7.0〉	–	
1046	54号竪穴建物 床面上、 カマド北袖内	須恵器 大甕	胴部 1/2残存	胴：タタキ	胴：指頭による整形→ナデ縦横	灰白～灰 灰	良好	aeh	–	–	–	
1051	55号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：ケズリ横 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	ghj	(12.9)	3.9	6.0	内面黒色処理
1052	55号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/3残存	台：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	不良	ahj	(14.8)	4.3	(7.2)	内面黒色処理
1053	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	hj	(15.9)	5.5	7.0	底面に高台（椀？）
1054	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(15.4)	4.1	5.8	
1055	55号竪穴建物 埋設土器	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	gh	12.9	3.4	5.0	
1056	55号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(11.6)	3.7	5.2	
1057	55号竪穴建物 土坑２底面	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	ehj	13.8	4.9	6.1	
1058	55号竪穴建物 埋土上位	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ	口～台：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	aj	(14.9)	3..9	(7.0)	
1059	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	台：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ch	–	〈2.6〉	(9.0)	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1060	55号竪穴建物 カマド東袖内	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ 底：回転糸切	底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	－	〈2.1〉	7.6	
1061	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	不良	ghj	(14.4)	〈6.9〉	－	
1062	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ（ナデ） 縦	口：ナデ縦・横 胴：ナデ横	橙 褐灰	良好	hj	(10.4)	〈12.4〉	－	
1063	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ（指頭による整形）縦	口：ナデ横	浅黄橙 灰白	良好	ghj	－	〈6.9〉	－	輪積み痕あり
1064	55号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	hj	－	〈3.4〉	－	
1065	55号竪穴建物 床面上、 カマド東袖内	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ナデ縦	胴：ナデ横	明赤褐 明赤褐	良好	chj	－	〈18.3〉	(12.0)	
1066	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ斜・横 底：網代痕	底：ナデ	橙 にぶい橙	良好	ghj	－	〈2.1〉	(9.7)	
1067	55号竪穴建物 床面上	土師器 耳皿	端部欠損	手づくね	－	明黄褐 明黄褐	良好	j	長さ 9.1	3.3	幅4.6	
1068	55号竪穴建物 埋土下位	土師器 ミニチュア	口～底 1/4残存	口～底：手捏ね	口～底：手捏ね	明黄褐 明黄褐	良好	h	(2.1)	2.2	(0.6)	
1069	55号竪穴建物 カマド東袖内	土師器 ミニチュア	胴部 1/4残存	胴：手捏ね	胴：手捏ね	明黄褐 明黄褐	良好	h	－	〈3.0〉	－	
1072	56号竪穴建物 埋土下位、 土坑２埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ縦→ 横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	h	(12.6)	3.9	6.2	
1073	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	h	(11.6)	5.2	4.0	内面黒色処理 墨書土器 「山」？
1074	56号竪穴建物 カマド埋土（３層）	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切り	口～底：回転ナデ→ ナデ横？	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(14.1)	4.6	5.5	
1075	56号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ch	(12.6)	3.7	6.0	灯明皿？
1076	56号竪穴建物 カマド埋土（３層）	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰黄褐 にぶい黄橙	やや 良好	gh	16.2	4.6	6.7	
1077	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(15.4)	4.5	6.6	
1078	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 浅黄橙	やや 良好	hj	(14.4)	〈3.4〉	－	
1079	56号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏（台付坏?）	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	g	12.3	4.4	5.4	
1080	56号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	やや 不良	h	－	－	－	
1081	56号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	h	(16.1)	4.8	6.4	内外面に油煙 痕（灯明皿）
1082	56号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	ghj	(10.3)	3.1	4.0	
1083	56号竪穴建物 埋土上位	土師器 台付坏	完形	口～台：回転ナデ	口～台：回転ナデ	浅黄橙～黒褐 浅黄橙～褐灰	やや 不良	aj	13.1	4.2	6.1	
1084	56号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	－	〈2.9〉	－	
1085	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(19.4)	〈12.4〉	－	
1086	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	gh	(23.4)	〈7.7〉	－	
1087	56号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	橙 橙	良好	hj	(20.0)	〈7.8〉	－	
1088	56号竪穴建物 埋土下位、 カマド袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	gh	(13.6)	〈10.4〉	－	
1089	56号竪穴建物 カマド東袖内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	不良	hj	－	〈11.0〉	－	外面に煤
1090	56号竪穴建物 埋土下位、 土坑２埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 灰白	やや 良好	hj	(13.6)	〈9.2〉	－	
1091	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	良好	ghj	－	〈3.1〉	－	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1092	56号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土（3層）	土師器 甕	口～胴 1/2残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい褐	良好	ghj	(15.4)	〈13.3〉	–	
1093	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい褐	良好	gh	–	〈9.9〉	–	
1094	56号竪穴建物 カマド埋土（1層）	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	明黄褐 にぶい黄橙	良好	h	–	〈11.7〉	–	
1095	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦→横	口～胴：ナデ横	橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	–	〈11.0〉	–	
1096	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈6.0〉	–	
1097	56号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、煙道内	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈12.0〉	–	
1098	56号竪穴建物 床面上	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ斜 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈3.5〉	8.2	
1099	56号竪穴建物 カマド埋土（1層）	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ斜 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈4.1〉	8.3	
1100	56号竪穴建物 埋土下位、 カマド西袖内	土師器 羽釜	口～胴上 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい橙	良好	ahj	–	〈4.9〉	–	
1101	56号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴部 1/3残存	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈8.4〉	–	外面に煤 羽釜か
1102	56号竪穴建物 床面上	土師器 ミニチュア	完形	口～胴：手捏ね（ナデ）	胴：指ナデ	橙 浅黄橙	良好	j	3.8	3.3	1.3	
1103	56号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴～底 1/4残存	胴：回転ナデ 底：ケズリ	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈10.8〉	(9.4)	
1104	56号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈7.7〉	–	
1107	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	(14.5)	4.8	(6.4)	内面黒色処理
1108	57号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ→ ナデ斜 底：再調整（ナデ）	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	h	(14.6)	4.8	5.4	刻書土器2箇 所「見?」 「貝?」「取?」
1109	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ah	(18.8)	〈7.6〉	–	外面に凹み状 の窪み
1110	57号竪穴建物 埋土上位	土師器 台付坏	台部 1/2残存	台：回転ナデ 底：回転糸切	底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	–	〈2.3〉	(7.8)	内面黒色処理
1111	57号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(21.0)	〈10.4〉	–	外面口縁部に 煤
1112	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3・底部 破片	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 浅黄橙	やや 良好	hj	(16.0)	〈11.1〉	7.2	
1113	57号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙橙	良好	hj	16.7	〈7.3〉	–	
1114	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい褐	やや 良好	hj	(13.8)	〈4.7〉	–	
1115	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	4/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	12.5	13.0	7.0	
1116	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：砂底?	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(11.0)	11.3	6.1	砂底土器か
1117	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜	口～胴：回転ナデ	浅黄 淡黄	不良	hj	(15.6)	〈13.7〉	–	
1118	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ah	(17.5)	〈14.9〉	–	
1119	57号竪穴建物 土坑1埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴上：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(20.2)	〈8.4〉	–	
1120	57号竪穴建物 Pit 5 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	良好	ghj	(16.6)	〈7.6〉	–	
1121	57号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 甕	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦 底：ナデ	口～胴：回転ナデ 胴～底：ナデ斜→横	灰黄褐 灰黄褐	やや 不良	hj	(17.6)	23.0	9.8	胴部に線刻?
1122	57号竪穴建物 Pit 4 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	ahj	–	〈5.2〉	–	
1123	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈6.3〉	–	
1124	57号竪穴建物 土坑2埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 灰褐	やや 不良	hj	–	〈8.6〉	–	内外面に煤

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1125	57号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 甕	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	淡黄 浅黄	良好	h	(24.4)	〈18.9〉	–	外面口縁部に不整形な孔
1126	57号竪穴建物 Pit 4 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈4.2〉	–	口縁部に列点？(工具痕？)
1127	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	淡黄 浅黄橙	良好	hj	(21.2)	〈11.1〉	–	
1128	57号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ斜	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	ahj	–	〈8.1〉	–	
1129	57号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ（ハケメ？） 斜	橙 にぶい橙	やや 不良	hj	–	〈8.9〉	–	
1130	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ縦→横	胴：ナデ斜底：ナデ 縦	明黄褐 橙	良好	hj	–	〈11.3〉	10.0	
1131	57号竪穴建物 土坑1埋土、 Pit 5 埋土	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	胴：ケズリ縦・斜 底：ケズリ	胴：ナデ縦 底：ナデ斜→横	にぶい黄橙 灰黄褐	やや 良好	ghj	–	〈9.8〉	(13.6)	
1132	57号竪穴建物 埋土下位	土師器 器種不明	胴部破片	胴：ミガキ横・ケズリ縦	胴：ミガキ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈7.6〉	–	
1133	57号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 甕	底部破片	胴：ナデ横	胴：ナデ横	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	–	〈1.4〉	(10.6)	内面に刻み
1134	57号竪穴建物 床面上、 土坑1埋土	須恵器 長頸瓶	口～胴上 1/3・ 胴下 1/3	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	口～胴：回転ナデ	灰白 にぶい黄	良好	h	(14.2)	〈22.5〉	–	焼成不良か
1135	57号竪穴建物 埋土上位	須恵器 瓶類	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	灰 灰黄	良好	h	–	〈3.0〉	–	頸部に「×」字状の刻文？
1136	57号竪穴建物 埋土下位	須恵器 長頸瓶	口～頸 1/4残存	口～頸：回転ナデ 頸：指頭による整形痕	口～頸：回転ナデ	灰 灰	良好	h	(13.0)	〈7.3〉	–	
1137	57号竪穴建物 埋土下位	須恵器 長頸瓶	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	灰 灰	良好	h	(8.8)	〈6.3〉	–	
1138	57号竪穴建物 埋土上位	須恵器 甕	頸部破片	頸：回転ナデ 胴：タタキ	頸：回転ナデ	黄灰 灰	良好	h	–	〈6.1〉	–	
1139	57号竪穴建物 埋土下位、 土坑2埋土	須恵器 瓶類	胴～底 1/2残存	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈14.6〉	(10.7)	
1140	57号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底	胴：回転ナデ→ナデ・ケズリ	胴～底：回転ナデ	褐灰 褐灰	良好	h	–	(14.7)	(13.0)	
1141	57号竪穴建物 床面上	須恵器 瓶類	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	黄灰 灰白	良好	hj	–	〈4.6〉	9.8	外面に自然釉
1142	57号竪穴建物 Pit 4 埋土	須恵器 甕	底部破片	胴：ケズリ縦→斜 底：ケズリ	胴～底：ナデ縦→横	にぶい褐 にぶい黄橙	良好	h	–	〈4.1〉	(13.6)	生焼け
1143	57号竪穴建物 埋土下位	須恵器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	黄灰 灰	良好	hj	–	〈1.8〉	6.6	
1144	57号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	黄灰 灰	良好	h	–	〈12.1〉	–	
1145	57号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	略完形	口：ナデ横 胴～底：タタキ	口：ナデ横 胴～底：ケズリ→ナデ	灰褐 褐	良好	h	–	–	–	53号竪穴建物出土と接合
1163	58号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈5.3〉	–	
1165	59号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	15.9	5.2	5.3	内面黒色処理
1166	59号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	胴～底 1/4残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	gh	–	〈3.4〉	6.0	内面黒色処理
1167	59号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 台付坏	口～台 2/3残存	口～台：回転ナデ	口～底：ミガキ横→縦	橙 黒	良好	agj	(15.4)	5.6	6.6	内面黒色処理 底面に菊花状痕跡
1168	59号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	灰 灰	良好	h	–	〈19.1〉	–	
1169	60号竪穴建物 土坑1埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口：ミガキ横 胴：ナデ？斜	口：ミガキ？横	褐灰 灰黄褐	不良	hj	(15.5)	5.6	5.0	
1170	60号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	明黄褐 黒	良好	hj	(15.0)	4.2	5.6	内面黒色処理
1171	60号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(13.5)	4.6	5.8	
1172	60号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	橙 橙	やや 不良	hj	(12.3)	4.6	5.3	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1173	60号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	暗灰黄 橙～黒	不良	hj	(14.6)	5.2	5.2	
1174	60号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴下：回転ナデ	口～胴下：回転ナデ	黒褐 黒褐	やや 不良	hj	(15.6)	〈4.9〉	–	焼け悪く黒い
1175	60号竪穴建物 床面上、Pit14埋土	土師器 台付坏	口～台 3/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	18.4	5.9	7.9	
1176	60号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ横→ 縦	明黄褐 黒	やや 不良	hj	–	〈1.9〉	(5.6)	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1177	60号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：ミガキ	明黄褐 黒	やや 不良	hj	–	〈1.5〉	–	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1178	60号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ斜	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	ghj	–	〈7.4〉	–	
1179	60号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口：回転ナデ 胴：ナデ横	浅黄 浅黄	不良	h	–	〈8.5〉	–	輪積み痕あり
1180	60号竪穴建物 Pit 7 埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	黒 灰	良好	ah	–	〈7.3〉	–	自然釉？
1181	60号竪穴建物 貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	黄灰 灰	良好	hj	–	〈6.7〉	–	
1186	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ナデ横	浅黄橙 黒	良好	gh	(13.4)	4.2	6.6	内面黒色処理
1187	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴上：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	gj	13.4	4.4	5.0	内面黒色処理 墨書土器 文字不明 灯明皿
1188	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(12.0)	4.6	5.0	
1189	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	hj	12.5	3.4	5.3	内外面に油煙 痕（灯明皿）
1190	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	hj	11.1	3.5	5.2	
1191	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 灰白	良好	ag	12.3	3.8	5.6	製作時の穴 あり（失敗品 か）
1192	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	h	12.0	3.8	6.0	
1193	61号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(12.8)	4.0	6.3	
1194	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 台付坏	胴下～台部 破片	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	底：回転ナデ 台：回転ナデ	橙～浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	–	〈2.6〉	–	焼成により赤 みおびる
1195	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口：ヨコナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい橙	良好	hj	–	〈12.8〉	–	
1196	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	頸～胴：回転ナデ	頸～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈7.0〉	–	
1197	61号竪穴建物 貼床内	土師器 甕？	口縁部破片	頸～胴：回転ナデ	頸～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	–	〈5.1〉	–	
1198	61号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器鉢	口～胴部 破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	ahj	–	〈6.9〉	–	外面に煤
1199	62号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	ghj	12.0	3.8	6.0	
1200	62号竪穴建物 Pit 2 埋土	土師器 甕？	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	浅黄橙 褐灰	やや 不良	hj	–	〈6.5〉	–	内面の焼成が 悪く黒い
1201	63号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ→ ミガキ横 底：回転糸切	口～底：ナデ横	橙 明赤褐	良好	h	(16.0)	5.4	(6.0)	
1202	63号竪穴建物 Pit 1 埋土	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴上：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	h	(14.0)	〈4.0〉	–	内面黒色処理
1203	63号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	やや 良好	hj	–	〈4.7〉	–	
1204	63号竪穴建物 埋土中	須恵器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	良好	h	–	〈3.3〉	–	
1205	63号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	(18.2)	〈9.3〉	–	
1206	63号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	灰黄褐 にぶい黄橙	良好	ah	(18.7)	〈12.7〉	–	外面に煤
1207	63号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい褐 にぶい黄橙	良好	h	(18.0)	〈6.8〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1208	63号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	h	(13.8)	〈9.7〉	–	内外面に煤
1209	63号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈10.1〉	–	
1210	63号竪穴建物 カマド崩落土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ、 ナデ斜	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	–	〈5.7〉	–	
1211	63号竪穴建物 Pit 2 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	–	〈5.9〉	–	
1212	63号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈5.7〉	–	
1213	63号竪穴建物 貼床内	須恵器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈3.2〉	–	
1214	63号竪穴建物 埋土上位	須恵器 瓶類	頸～胴上 1/4残存	頸～胴：回転ナデ	頸～胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈8.0〉	–	外面に自然釉？
1216	64号竪穴建物 土坑５埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ横→縦 底：ケズリ	口～底：ナデ横	橙 橙	良好	agh	(15.2)	4.6	(6.2)	
1217	64号竪穴建物 埋土下位、Pit 1 埋土	土師器 坏	口縁部・ 底部欠損	口：ナデ横 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	13.0	4.8	6.2	
1218	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口：ナデ横 胴：ケズリ斜 底：ケズリ	口～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	hj	13.0	3.8	3.0	
1219	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口：ケズリ横 胴：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦→横	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	(13.8)	5.5	(8.0)	内面黒色処理
1220	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	完形	口～胴：ケズリ横 胴下：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	ghj	13.5	5.5	6.2	内面黒色処理
1221	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口縁部欠損	胴：回転ナデ 台：回転糸切り	口～胴ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	gj	13.6	4.1	6.0	内面黒色処理 灯明皿
1222	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 良好	ghj	13.7	4.4	5.3	内面黒色処理
1223	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ斜	褐灰 黒	不良	hj	13.6	4.2	6.0	内面黒色処理 外面に煤
1224	64号竪穴建物 床面上、土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	ah	(15.7)	5.9	6.0	内面黒色処理
1225	64号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	hj	(13.0)	4.2	5.6	
1226	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	cj	(13.1)	3.1	6.0	
1227	64号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	cgh	12.4	3.2	5.5	
1228	64号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	11.9	3.6	6.0	
1229	64号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	明黄褐 明黄褐	良好	gh	(13.2)	2.9	6.0	
1230	64号竪穴建物 土坑３底面	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(11.2)	3.2	5.4	
1231	64号竪穴建物 土坑２埋土（１層）	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(12.0)	3.1	5.1	胴下～底部に 籾痕
1232	64号竪穴建物 床面上、土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(12.8)	3.2	(5.2)	
1233	64号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	agh	11.4	3.6	5.6	
1234	64号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 坏	口縁部・ 底部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	gh	12.2	3.5	5.4	墨書土器 「大」？
1235	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(11.8)	3.9	5.6	内外面に煤 （灯明皿）
1236	64号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土（１層）	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(12.2)	3.0	5.6	
1237	64号竪穴建物 土坑３底面	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	a	11.5	3.8	3.8	外面口縁部に 煤（灯明皿？）
1238	64号竪穴建物 床面上、土坑３埋土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 灰褐	不良	chj	12.4	3.4	6.0	内面に油煙痕 （灯明皿）
1239	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	hj	(12.0)	3.1	(6.2)	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1240	64号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(11.2)	3.2	(4.0)	
1241	64号竪穴建物 貼床内、 土坑３埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	やや 不良	hj	(11.7)	3.7	5.8	
1242	64号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	黄橙 浅黄橙	良好	h	(11.8)	3.4	5.5	
1243	64号竪穴建物 土坑１埋土（１層）	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(10.8)	3.1	(4.6)	
1244	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	hj	(11.4)	3.5	(5.0)	
1245	64号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	やや 不良	h	(11.0)	3.0	5.8	
1246	64号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(10.8)	3.1	(4.6)	内外面に煤
1247	64号竪穴建物 床面上、 土坑３埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	不良	ah	10.3	3.0	4.4	
1248	64号竪穴建物 貼床	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(18.8)	〈3.6〉	–	
1249	64号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(12.0)	2.9	4.6	
1250	64号竪穴建物 貼床内、 カマド煙道内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(14.2)	5.1	5.7	
1251	64号竪穴建物 貼床内	土師器 台付坏	口～底 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(15.0)	〈4.1〉	–	
1252	64号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 皿	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	11.6	2.0	5.4	
1253	64号竪穴建物 埋土下位、 土坑３埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	ghj	(18.2)	〈21.4〉	–	
1254	64号竪穴建物 床面上、 土坑３埋土下位	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	淡黄 淡黄	良好	hj	(18.2)	〈19.2〉	–	
1255	64号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	hj	(16.0)	〈14.7〉	–	
1256	64号竪穴建物 埋土下位、 土坑３埋土	土師器 甕	底部破片	胴：ナデ縦→横 底：木葉痕	胴～底：ナデ	にぶい橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈3.5〉	(9.7)	
1257	64号竪穴建物 貼床内	須恵器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	黄灰 灰	良好	ah	–	〈3.9〉	–	
1258	64号竪穴建物 土坑２埋土（１層）	須恵器 瓶類	胴部破片	頸～胴上：回転ナデ	頸～胴上：回転ナデ	灰 灰	良好	eh	–	〈7.7〉	–	
1259	64号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ→ナデ 縦	灰 灰	良好	ah	–	〈10.1〉	–	胴部に自然釉
1260	64号竪穴建物 貼床内	須恵器 瓶類	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈8.8〉	–	
1261	64号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴下～底 1/3残存	胴：回転ナデ→ケズ リ斜 底：ナデ	胴～底：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈11.1〉	(10.4)	底面に刻み？
1262	64号竪穴建物 床面上、土坑３埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰	良好	h	–	〈10.2〉	–	
1263	64号竪穴建物 土坑３埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	灰 黄灰	良好	ah	–	〈9.5〉	–	
1264	64号竪穴建物 土坑３埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	灰 灰	良好	ah	–	〈8.9〉	–	
1265	64号竪穴建物 土坑３埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰	良好	h	–	〈7．5〉	–	
1271	65号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：ミガキ横 底：ケズリ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙 黒	やや 不良	hj	(12.4)	3.4	4.2	内面黒色処理
1272	65号竪穴建物 土坑１0埋土 （13･14層）	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 良好	ahj	(14.0)	4.9	5.4	内面黒色処理
1273	65号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	にぶい橙 黒	やや 不良	hj	(13.7)	5.0	5.8	内面黒色処理
1274	65号竪穴建物 土坑４埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴上ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	16.6	5.8	6.3	内面黒色処理

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1275	65号竪穴建物 Pit 7 埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴上：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	灰黄褐 黒	やや 不良	hj	(12.6)	4.4	5.7	内面黒色処理
1276	65号竪穴建物 土坑10埋土 （13・14層）	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ斜	浅黄橙 黒	やや 良好	hj	13.6	5.3	5.4	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1277	65号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	灰黄 黒	やや 不良	hj	16.4	4.7	6.3	内面黒色処理
1278	65号竪穴建物 土坑４埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	h	(15.2)	〈4.8〉	–	内面黒色処理
1279	65号竪穴建物 床面上、Pit 8 埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横	灰白 にぶい橙～ 黒	良好	ahj	(13.8)	4.7	6.6	内面黒色処理
1280	65号竪穴建物 土坑３埋土（４層）	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	不良	ghj	(13.8)	6.8	6.0	内面黒色処理
1281	65号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦 底：ナデ？	口：ナデ横 胴：ナデ斜	灰白 黒	良好	ghj	(12.2)	4.1	6.2	内面黒色処理
1282	65号竪穴建物 カマド２煙道内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ→ ナデ横 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦 底：ミガキ横	浅黄橙 黒	良好	gj	(13.8)	4.7	(6.2)	内面黒色処理
1283	65号竪穴建物 土坑10埋土（14層）	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	h	–	〈2.1〉	5.1	内面黒色処理
1284	65号竪穴建物 土坑10埋土	土師器 坏	胴下～底	胴下：回転ナデ→ナデ横 底：回転糸切	胴下～底：ミガキ縦 →横	浅黄橙 黒	良好	gh	–	〈3.4〉	5.5	内面黒色処理
1285	65号竪穴建物 土坑３埋土（４層）	土師器 台付坏	胴下のみ	胴：回転ナデ	胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	aj	–	〈3.1〉	–	内面黒色処理
1286	65号竪穴建物 貼床内	土師器 台付坏	胴下破破片	胴下：回転ナデ	胴下～底：ミガキ縦	橙 黒	やや 良好	gj	–	〈2.7〉	–	内面黒色処理
1287	65号竪穴建物 土坑３・11埋土 （８・９層）	土師器 台付坏	胴下のみ	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ斜	橙 黒	良好	hj	–	〈1.5〉	–	内面黒色処理
1288	65号竪穴建物 床面上	土師器 坏	胴下のみ	胴下：回転ナデ→ミガキ縦	胴～底：ミガキ斜	黒 黒	やや 不良	hj	–	〈1.9〉	–	内外面黒色処理
1289	65号竪穴建物 土坑11底面	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ→ ミガキ横・斜	口～胴：回転ナデ→ ミガキ横・斜	黒 黒	やや 不良	j	(16.0)	〈5.7〉	–	内外面黒色処理
1290	65号竪穴建物 土坑10埋土（14層）	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口～台：回転ナデ→ ミガキ横	口～底：ミガキ横→ 縦	黒 黒	やや 不良	hj	(15.5)	6.3	8.1	内外面黒色処理
1291	65号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ→ ナデ横 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	黒、浅黄橙 黒、浅黄橙	やや 不良	hj	11.9	3.4	5.0	内外黒の失敗品？
1292	65号竪穴建物 土坑４埋土 （２・３層）	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：ナデ	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(14.1)	3.6	5.9	歪み激しい
1293	65号竪穴建物 土坑３・11埋土 （８・９層）	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(14.8)	5.0	6.0	
1294	65号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(13.3)	4.5	5.4	
1295	65号竪穴建物 土坑10埋土（14層）	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 浅黄橙	良好	ghj	(13.5)	4.9	5.4	
1296	65号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	やや 良好	ehj	14.2	3.9	5.9	
1297	65号竪穴建物 土坑３埋土（４層）	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 橙	良好	h	(13.8)	〈4.6〉	(6.0)	
1298	65号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 黄橙	良好	ch	13.5	4.1	4.8	
1299	65号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：ナデ切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	gh	12.8	4.0	5.0	
1300	65号竪穴建物 土坑３埋土（４層）	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	agh	(13.2)	4.2	5.8	
1301	65号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	灰黄褐 灰黄褐	不良	hj	(12.4)	3.3	(5.8)	
1302	65号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ、 回転糸切り 台：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	黒 黒	やや 不良	hj	13.5	4.2	6.9	焼成悪い？
1303	65号竪穴建物 土坑４埋土（１層）	土師器 台付坏	口～胴 2/3欠損・ 台残存	口～胴・台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gj	(13.3)	3.7	6.5	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】〈 〉：推定値、〈 〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1304	65号竪穴建物 Pit 9 埋土	土師器 台付坏	台部欠損	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	agh	13.5	〈2.5〉	–	
1305	65号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 皿	底部欠損	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	ah	13.5	〈2.0〉	–	台付坏
1306	65号竪穴建物 Pit 7 埋土	土師器 台付坏	胴下～台 残存	胴：回転ナデ 台：回転ナデ→指頭整形	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ahj	–	〈3.0〉	(7.0)	須恵器の生焼け？
1307	65号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	胴下～台 1/4残存	胴～台：回転ナデ	口～底：回転ナデ	浅黄橙 灰白	良好	h	–	〈3.1〉	6.4	
1308	65号竪穴建物 土坑12埋土 （1・2層）	土師器 台付坏	胴下～台 1/2残存	胴：回転ナデ→ナデ横 台：回転ナデ	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄	良好	gj	–	〈2.9〉	–	
1309	65号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	agj	(21.3)	〈10.0〉	–	
1310	65号竪穴建物 Pit12埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 灰黄	やや不良	hj	(24.0)	〈5.4〉	–	
1311	65号竪穴建物 床面上、Pit 8 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存・ 胴下～底	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	egh	(13.8)	(18.5)	7.0	
1312	65号竪穴建物 土坑３・11埋土 （8・9・14層）	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	にぶい橙 にぶい褐	やや不良	hj	(14.5)	〈4.9〉	–	
1313	65号竪穴建物 Pit 8 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 灰白	良好	bhj	(13.2)	〈6.2〉	–	
1314	65号竪穴建物 Pit 8 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口：ヨコナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ヨコナデ	橙 橙	良好	bh	(12.8)	〈6.8〉	–	
1315	65号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 灰白	良好	hj	–	〈7.3〉	–	
1316	65号竪穴建物 カマド１燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴部 破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 浅黄橙	やや良好	hj	–	〈13.2〉	–	
1317	65号竪穴建物 土坑３・11埋土 （4・14層）	土師器 羽釜	口～胴上 残存	口～胴上：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口～胴上：回転ナデ 胴下：ナデ縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや不良	hj	15.6	〈14.8〉	–	
1318	65号竪穴建物 土坑１埋土（２層）	土師器 壺	完形	口～頸：ミガキ縦 胴：ミガキ横 底：ケズリ→ミガキ	口～頸：ミガキ縦→横	黒 黒	やや不良	j	4.1	9.1	4.9	内外面黒色処理
1319	65号竪穴建物 土坑１埋土（２層）	須恵器 長頸瓶	口縁部欠損	頸：回転ナデ 胴：回転ナデ→ケズリ縦・斜	頸：回転ナデ	灰 灰	良好	j	–	〈14.7〉	7.0	
1320	65号竪穴建物 床面上、土坑３埋土 （1・2・4層）	須恵器 大甕	胴下のみ	胴：タタキ	胴：指頭による整形→ナデ縦横	灰～灰褐 灰～灰褐	良好	eh	–	–	–	
1321	65号竪穴建物 土坑３埋土（２層）	須恵器 長頸瓶	胴～底	胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦→ナデ横 底：ケズリ	胴：回転ナデ	黄灰 灰黄褐	良好	ah	–	〈25.9〉	14.6	胴部上半に自然釉
1322	65号竪穴建物 カマド２煙道内	須恵器 甕（瓶）	底部破片	胴下：回転ナデ→ケズリ横・斜	胴～底：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈3.7〉	(13.6)	瓶類か
1337	66号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ縦 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや良好	h	14.9	5.1	5.5	内面黒色処理
1338	66号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土（１層）	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ縦→横→斜	にぶい黄橙 黒～橙	良好	h	(13.2)	4.5	5.2	内面黒色処理
1339	66号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：ケズリ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい褐 黒～にぶい褐	やや不良	ahj	(16.5)	5.6	6.6	内面黒色処理 内外面に煤
1340	66号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや不良	j	(15.0)	5.2	(6.4)	内面黒色処理
1341	66号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	12.4	3.7	6.0	
1342	66号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	底 1/3残存	胴：ナデ横 底：ケズリ	底：ミガキ？	浅黄橙 黒	良好	gh	–	〈1.9〉	(9.4)	内面黒色処理
1343	66号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 浅黄橙	良好	ghj	(27.6)	<9.4>	–	
1344	66号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土（１層）	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(24.0)	〈12.4〉	–	
1345	66号竪穴建物 埋土下位、カマド埋土、西袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや良好	ghj	(22.8)	〈9.8〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1346	66号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	ghj	(21.8)	〈8.9〉	–	
1347	66号竪穴建物 床面上、カマド、 土坑１埋土	土師器 甕	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	明褐 明褐	やや 不良	ghj	(15.6)	〈15.4〉	–	内面に煤
1348	66号竪穴建物 埋土下位、 カマド埋土（１層）	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 橙	良好	gh	(15.0)	〈13.5〉	–	
1349	66号竪穴建物 カマド埋土（１層）	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：回転ナデ 胴：ミガキ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(21.0)	〈7.4〉	–	
1350	66号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	胴部破片	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴：回転ナデ	にぶい褐 褐灰	良好	h	–	〈7.1〉	–	
1351	66号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	須恵器 瓶類	胴下～底	胴：ケズリ縦→横 底：ケズリ	胴～底：回転ナデ	灰 灰	良好	ch	–	〈7.8〉	8.7	
1352	66号竪穴建物 埋土下位、カマド１ 西袖内、土坑１埋土	須恵器 瓶類	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：タタキ	口～胴：回転ナデ	にぶい赤褐 灰黄褐	良好	h	(20.0)	〈17.0〉	–	
1353	66号竪穴建物 床面上	須恵器 長頸瓶	口縁部欠損	頸：回転ナデ 胴：回転ナデ→ケズリ横	頸～胴：回転ナデ	黄灰 灰	良好	ah	–	〈21.7〉	8.5	刻書土器 「八千」
1354	66号竪穴建物 床面上、カマド埋土、 土坑１埋土	須恵器 瓶類	頸～底 1/2残存	頸～胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	頸：回転ナデ 胴：ナデ縦	灰 灰	良好	h	–	〈31.8〉	11.0	
1355	66号竪穴建物 埋土上位	須恵器 長頸瓶	胴～底 1/4残存	胴～底：回転ナデ	胴～底：回転ナデ	灰 灰	良好	g	–	〈17.4〉	(9.8)	胴部に自然釉
1356	66号竪穴建物 床面上、カマド埋 土・西袖内、 土坑１埋土	須恵器 長頸瓶	口縁部欠損	頸～胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	頸～底：回転ナデ	灰 灰	良好	eh	–	〈28.2〉	(23.8)	胴部に自然釉
1360	67号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	胴下～底 1/2残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ縦	橙 黒	やや 不良	hj	–	〈2.6〉	6.2	内面黒色処理
1361	67号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	やや 不良	chj	(12.7)	4.4	5.2	
1362	67号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴上 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 橙	良好	hj	(13.2)	〈3.4〉	–	
1363	67号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ斜 底：ナデ	胴～底：ナデ	褐灰 にぶい褐	やや 良好	chj	–	〈3.8〉	10.5	
1364	67号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(19.8)	〈24.5〉	–	外面に煤
1365	67号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：タタキ	口～胴：回転ナデ 頸：ナデ横	黄灰 黄灰	良好	ah	(37.6)	〈8.1〉	–	
1366	67号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 灰	良好	ah	–	〈6.3〉	–	
1367	67号竪穴建物 埋土中	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈9.2〉	–	
1368	67号竪穴建物 埋土中	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 灰	良好	ah	–	〈7.0〉	–	
1370	68号竪穴建物 土坑５埋土	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ？縦	口～胴：ナデ斜	にぶい黄橙 橙	良好	chj	(14.6)	〈5.8〉	–	内面に煤 （灯明皿）
1371	68号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	ahj	14.7	5.2	5.8	内面黒色処理
1372	68号竪穴建物 床面上、Pit６埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	(14.6)	5.5	(5.6)	内面黒色処理
1373	68号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴・台：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	ahj	13.5	5.0	5.2	内面黒色処理
1374	68号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横	浅黄橙 黒	良好	chj	(13.7)	〈4.6〉	–	内面黒色処理
1375	68号竪穴建物 埋土上位（１層）	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	灰白 黒	良好	gh	(15.0)	5.7	6.0	内面黒色処理
1376	68号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	hj	(13.5)	〈2.7〉	–	内面黒色処理 墨書土器 「山」？
1377	68号竪穴建物 床面上、土坑２埋土	土師器 坏	口～胴上 欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	13.5	4.4	4.2	墨書土器 文字「〇」
1378	68号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	13.0	3.2	5.4	墨書土器 文字不明

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1379	68号竪穴建物 埋土上位（1層）	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(12.6)	4.3	6.0	
1380	68号竪穴建物 土坑1埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(13.8)	3.7	(6.2)	
1381	68号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 灰黄褐	やや 不良	hj	(13.7)	4.3	5.2	胴部に突起 （取り残し）
1382	68号竪穴建物 土坑1埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(14.0)	4.3	5.5	
1383	68号竪穴建物 土坑3埋土、 Pit11埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	(14.4)	4.8	5.8	
1384	68号竪穴建物 土坑4、カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(13.5)	3.9	5.7	
1385	68号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	h	(13.3)	3.2	5.5	内外面に油煙 痕（灯明皿）
1386	68号竪穴建物 カマド東袖内、 土坑4埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい褐 にぶい褐	良好	hj	(12.8)	4.1	5.6	
1387	68号竪穴建物 土坑2埋土	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(15.6)	<5.1>	–	
1388	68号竪穴建物 床面上、カマド、 土坑1埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 明黄褐	良好	ah	(14.1)	4.8	5.0	
1389	68号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ah	(13.6)	〈3.6〉	–	
1390	68号竪穴建物 土坑3、Pit 8 埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(13.7)	3.3	(5.0)	
1391	68号竪穴建物 埋土下位、土坑4、 Pit11・13埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	hj	(14.2)	4.8	6.0	
1392	68号竪穴建物 カマド埋土、 Pit13埋土	土師器 台付坏	胴下～台	胴：回転ナデ 台：柱状・回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 にぶい黄橙	良好	gh	–	〈3.5〉	6.2	柱状高台
1393	68号竪穴建物 埋土上位（1層）	土師器 皿	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ah	(14.8)	〈2.3〉	–	
1394	68号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい褐 にぶい褐	やや 不良	hj	(18.6)	〈5.0〉	–	
1395	68号竪穴建物 土坑1埋土	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ 台：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(17.3)	5.0	7.0	
1396	68号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ 台：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	(13.9)	4.8	6.5	
1397	68号竪穴建物 Pit13埋土	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	胴～底：ミガキ縦 台：回転ナデ	橙 黒	良好	hj	–	〈2.4〉	7.8	内面黒色処理
1398	68号竪穴建物 カマド、土坑4、 Pit16埋土	土師器 甕	口～底 1/2残存	口～胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：回転ナデ→ ナデ縦	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	20.7	22.2	(9.0)	
1399	68号竪穴建物 土坑4埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ・ナデ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	灰白 にぶい黄橙	良好	hj	(22.4)	〈14.2〉	–	
1400	68号竪穴建物 埋土下位（2層）、 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	浅黄橙 明黄褐	良好	hj	(23.0)	〈12.0〉	–	
1401	68号竪穴建物 カマド埋土・東袖 内、土坑1・4、 Pit 8 ・11埋土	土師器 甕	口～底 1/2残存	口～胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦 底：ケズリ	口～胴：回転ナデ→ ナデ斜	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	18.7	22.3	(9.0)	
1402	68号竪穴建物 埋土下位、カマド、 土坑4埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	にぶい黄橙 灰黄褐	やや 不良	ahj	(23.4)	〈13.8〉	–	
1403	68号竪穴建物 床面上、 土坑1・4埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	灰白 灰白	良好	ghj	(18.7)	〈13.1〉	–	
1404	68号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(24.1)	〈12.3〉	–	
1405	68号竪穴建物 土坑2・4埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	灰白 灰白	良好	ghj	(29.0)	〈4.2〉	–	
1406	68号竪穴建物 Pit11埋土	土師器 甕	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	淡黄 淡黄	やや 不良	hj	–	〈6.4〉	6.9	外面に煤
1407	68号竪穴建物 Pit11埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴上：回転ナデ	淡黄 淡黄	良好	gh	–	〈7.5〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1408	68号竪穴建物 床面上、カマド、 土坑 1 、Pit13埋土	土師器 甕	胴～底 1/4残存	胴:ケズリ縦・斜	胴:ナデ横	橙 橙	良好	ch	–	〈16.9〉	(11.6)	外面に煤
1409	68号竪穴建物 床面上、カマド、 土坑1埋土	土師器 甕	胴～底 1/4残存	胴:回転ナデ→ケズリ縦	胴:回転ナデ 底:ナデ横	灰白 淡黄	良好	ghj	–	〈23.7〉	(10.0)	
1410	68号竪穴建物 床面上、貼床内	土師器 鉢	口～胴下 1/5残存	口:ナデ横 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈11.4〉	–	鍋か
1411	68号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口～頸 1/4残存	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	灰 灰	良好	ah	(16.0)	〈4.0〉	–	
1412	68号竪穴建物 カマド埋土	須恵器 瓶類	口～頸 1/3残存	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	灰白 灰白	良好	ah	(13.4)	〈3.2〉	–	
1413	68号竪穴建物 土坑1埋土	須恵器 瓶類	口縁部破片	口:回転ナデ	口:回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈1.8〉	–	
1414	68号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:当て具痕	灰 灰	良好	hj	–	〈10.0〉	–	
1415	68号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:タタキ	灰 灰	良好	h	–	〈10.2〉	–	
1421	69号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい橙 橙	不良	hj	(13.0)	4.5	5.0	
1422	69号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	胴下～底	胴:ナデ縦→横	胴～底:ナデ縦	灰黄褐 浅黄橙	やや 不良	ghj	–	〈4.2〉	9.8	
1424	70号竪穴建物 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～頸:回転ナデ 胴:ナデ斜	口:回転ナデ→ナデ 横	浅黄橙 にぶい黄褐	やや 不良	hj	–	〈5.3〉	–	
1425	70号竪穴建物 貼床内	須恵器 甕	口縁部破片	口～胴:回転ナデ	口～胴:回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈4.7〉	–	
1426	70号竪穴建物 埋土中	土師器 器種不明	口縁部破片	口:ナデ横 胴:ナデ縦	口～胴:ナデ横	黒 橙	やや 良好	gh	–	〈3.7〉	–	
1427	70号竪穴建物 埋土中	須恵器 瓶類	口縁部破片	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	灰 灰	良好	e	–	〈2.4〉	–	口縁部に自然釉
1428	70号竪穴建物 埋土中	土師器 甕?	底部破片	胴:ナデ横 底:回転糸切	底:回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	–	〈1.4〉	7.1	鉢か
1429	70号竪穴建物 貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:指頭による整形	灰白 灰白	良好	j	–	〈7.2〉	–	
1430	70号竪穴建物 カクラン内	須恵器 甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:指頭による整形	灰白 灰白	良好	h	–	〈3.9〉	–	
1431	70号竪穴建物 埋土中	須恵器 瓶類	胴部破片	胴:回転ナデ→ケズリ斜	胴:回転ナデ	灰 灰	良好	eh	–	〈7.2〉	–	
1432	70号竪穴建物 カクラン内	須恵器 甕	胴部破片	胴:タタキ	不明	灰 灰	良好	ah	–	〈3.1〉	–	
1433	70号竪穴建物 埋土中	須恵器 瓶類	口～頸 1/4残存	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	灰 灰	良好	ah	(18.2)	〈5.5〉	–	
1434	71号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口:ミガキ横 胴:ミガキ縦	明赤褐 橙	不良	hj	13.4	4.1	6.0	
1435	71号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴・台:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	ghj	13.2	4.8	5.2	
1436	71号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴・台:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	橙 橙	やや 良好	gh	(13.9)	3.2	5.8	
1437	71号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴:回転ナデ 胴下:ナデ斜	口～胴:回転ナデ	明赤褐 明赤褐	良好	hj	(14.8)	〈2.9〉	–	
1438	71号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 坏	略完形	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 良好	ch	11.5	3.2	5.5	
1439	71号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～底 2/3残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ah	10.0	4.5	5.7	
1440	71号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、煙道内	土師器 甕	口縁部破片	口・頸:ナデ横 胴:ケズリ・ナデ縦	口～胴:ナデ横	赤褐 赤褐	良好	h	–	〈6.4〉	–	
1441	71号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口:ナデ横 胴:ケズリ斜	口～胴:ナデ横	にぶい黄橙 黒	やや 不良	hj	–	〈8.9〉	–	
1443	72号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	黄橙 黄橙	良好	hj	(15.6)	5.8	5.6	
1444	72号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上・北袖内	土師器 坏	略完形	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴上:回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	gh	15.3	5.4	6.4	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（ ）：推定値、〈 〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1445	73号竪穴建物 埋土下位、 土坑1埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ横・縦	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦・斜	橙 黒	良好	ehj	(14.7)	〈4.0〉	–	内面黒色処理
1446	73号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ斜・横	口～胴：ナデ斜→横	明黄褐 明黄褐	良好	hj	(15.2)	〈5.1〉	–	
1447	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴・台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ→ ミガキ縦	橙 橙	良好	hj	13..5	5.2	5.0	
1448	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口縁部 2/3欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	明黄褐 黒	やや 不良	hj	(14.1)	4.5	6.0	内面黒色処理 墨書土器 「山」？
1449	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	hj	14.4	5.3	5.6	内面黒色処理
1450	73号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	hj	(13.6)	4.5	5.6	内面黒色処理
1451	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	明黄褐 黒	やや 不良	ghj	(14.4)	4.9	5.6	内面黒色処理
1453	73号竪穴建物 Pit18埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	不良	ghj	(14.6)	5.6	5.7	内面黒色処理
1454	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	15.0	5.3	5.9	内面黒色処理
1455	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横・ 斜 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	hj	(15.6)	4.7	5.7	内面黒色処理
1456	73号竪穴建物 Pit15埋土	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ横→ 縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	–	〈4.0〉	5.8	内面黒色処理
1457	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：ミガキ縦→ 横	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	黒 黒	やや 不良	hj	(14.0)	〈5.0〉	–	内外面黒色処理
1458	73号竪穴建物 床面上	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口：ミガキ横 胴下～台：ミガキ縦	口～胴：ミガキ横→ 縦台：ミガキ横	黒 黒	不良	hj	(14.6)	5.3	5.0	内外面黒色処理
1459	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～胴：回転ナデ→ ミガキ縦	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦 台：ミガキ横	黒 黒	不良	hj	(15.0)	7.5	(6.6)	内外面黒色処理
1460	73号竪穴建物 床面上、貼床内	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	ghj	(15.8)	5.2	6.5	
1461	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	13.7	4.7	5.3	
1462	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(14.0)	4.2	(5.6)	
1463	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙浅黄 橙	良好	chj	(14.4)	4.8	5.2	
1464	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(14.7)	4.1	5.9	
1465	73号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	cghj	(14.0)	4.0	4.6	
1466	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	12.2	3.3	5.0	
1467	73号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	(14.2)	3.4	(3.0)	
1468	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ch	13.1	3.9	4.7	
1468	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙橙	良好	hj	(13.6)	3.8	(5.2)	
1469	73号竪穴建物 床面上	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	13.5	4.0	6.4	
1470	73号竪穴建物 Pit14埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	gh	(12.8)	3.3	5.0	
1471	73号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(13.9)	4.2	5.6	
1472	73号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	h	12.5	4.0	5.0	
1473	73号竪穴建物 Pit15埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	やや 良好	hj	(14.2)	4.2	6.4	内面に油煙痕 （灯明皿）
1474	73号竪穴建物 床面上、貼床内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(12.6)	3.4	5.0	
1475	73号竪穴建物 Pit14埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	(12.2)	3.3	(7.0)	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1476	73号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(12.7)	5.2	5.0	
1477	73号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口縁部・ 底欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	cghj	11.8	3.4	5.2	内外面に油煙 痕（灯明皿）
1478	73号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、土坑１埋土	土師器 坏	口縁部・ 底部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	h	11.0	3.0	5.0	
1479	73号竪穴建物 Pit14埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	不良	g	(11.7)	〈2.7〉	–	外面に煤
1480	73号竪穴建物 Pit14埋土	土師器 坏	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ghj	(15.0)	〈3.9〉	–	
1481	73号竪穴建物 Pit19埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 灰白	良好	hj	(11.6)	3.5	6.0	
1482	73号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	(13.1)	3.0	4.6	
1483	73号竪穴建物 床面上、Pit20埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	ghj	(17.0)	〈3.4〉	–	
1484	73号竪穴建物 床面上、Pit17埋土	土師器 台付坏	完形	口～胴・台：回転ナ デ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄	良好	ghj	14.5	5.2	7.2	
1485	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ 底：回転糸切	台：回転ナデ	灰白 灰白	良好	h	–	〈1.8〉	(7.3)	
1486	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	台：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	やや 不良	ghj	–	〈1.9〉	7.8	
1487	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ	台：回転ナデ	橙浅黄 橙	良好	h	–	〈1.8〉	7.6	
1488	73号竪穴建物 床面上、Pit17埋土	土師器 台付坏	胴下～台	胴：回転ナデ 底：回転糸切 台：ナデ	台：ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈1.5〉	(6.4)	
1489	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部のみ	台：回転ナデ 底：ケズリ？	底：回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	–	〈2.2〉	(7.5)	
1490	73号竪穴建物 Pit17埋土	土師器 坏	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	–	〈3.0〉	–	墨書土器 文字不明
1491	73号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	h	–	〈1.9〉	–	墨書土器 文字不明
1492	73号竪穴建物 床面上	土師器 器種不明	胴部破片	胴：ナデ？	胴：ナデ横	橙 にぶい橙	やや 良好	h	–	〈2.5〉	–	刻文土器？
1493	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 鉢	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～底：回転ナデ 胴：ナデ？斜	灰白 灰白	良好	gh	(33.2)	13.3	(11.8)	鍋か
1494	73号竪穴建物 床面上、Pit15埋土	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口～胴上：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴上：回転ナデ →ナデ斜 胴：ナデ斜・横	にぶい褐 にぶい褐	やや 良好	ahj	(21.4)	〈31.5〉	–	
1495	73号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、Pit14埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	灰黄褐 灰黄褐	やや 不良	hj	(21.6)	〈13.8〉	–	
1496	73号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(19.6)	〈13.0〉	–	輪積み痕あり
1497	73号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴下：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	橙 明赤褐	良好	chj	(19.6)	〈16.4〉	–	
1498	73号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴下：回転ナデ	口～胴下：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(15.4)	〈15.8〉	–	
1499	73号竪穴建物 床面上、土坑１・３、 Pit14埋土	土師器 甕	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 にぶい橙	良好	ghj	(13.0)	〈8.4〉	–	
1500	73号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	agh	(20.6)	〈12.5〉	–	輪積み痕あり
1501	73号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	gh	(17.0)	〈28.2〉	–	
1502	73号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 坏	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	gh	(14.0)	〈10.3〉	–	
1503	73号竪穴建物 埋土下位、土坑１、 Pit20埋土	土師器 甕	口～底 1/3残存	胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横 底：木葉痕	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(14.5)	11.8	7.6	
1504	73号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	ghj	(18.0)	〈13.3〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1505	73号竪穴建物 床面上、Pit20埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(15.6)	〈10.8〉	–	
1506	73号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ横→縦 底：ナデ	口～底：ナデ横	明赤褐 橙	やや 良好	hj	(12.0)	13.3	8.0	
1507	73号竪穴建物 床面上	土師器 甕	胴下～底	胴下：ケズリ横 底：木葉痕	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	–	〈3.9〉	5.7	
1508	73号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 甕	胴下～底 1/2残存	口～胴・台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	gh	–	〈3.0〉	6.0	
1509	73号竪穴建物 床面上	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ縦・横 底：木葉痕	底：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	h	–	〈1.1〉	6.1	
1510	73号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ横 底：木葉痕	底：ナデ横	にぶい橙 灰黄褐	良好	j	–	〈1.1〉	(6.7)	
1511	73号竪穴建物 埋土下位、カマド燃焼部焼土上	土師器 鉢	口～胴部 破片	口：ナデ横 胴：ナデ・ケズリ縦	口～胴：ナデ横	明黄褐 橙	やや 不良	ghj	–	〈13.1〉	–	鍋か
1512	73号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	口～頸部 1/4残存	口～頸：回転ナデ 胴：タタキ	口～頸：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	(26.9)	〈7.8〉	–	
1513	73号竪穴建物 床面上	須恵器 甕	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ナデ？横	灰黄 灰白	良好	ah	–	〈4.6〉	–	
1514	73号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、土坑４埋土	須恵器 瓶類	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	灰黄 灰黄	良好	hj	–	〈1.9〉	–	
1515	73号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	ah	–	〈4.2〉	–	
1516	73号竪穴建物 床面上	須恵器 瓶類	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	–	〈5.9〉	–	
1517	73号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴部破片	口～頸：回転ナデ 胴：回転ナデ→タタキ	頸：回転ナデ 胴：ナデ横・縦	灰黄 灰白	良好	ah	–	〈5.3〉	–	
1518	73号竪穴建物 土坑３埋土	須恵器 瓶類	頸部破片	頸：回転ナデ	頸：回転ナデ	灰 灰白	良好	ah	–	〈5.1〉	–	
1519	73号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：回転ナデ・当て具痕	黄灰 黄灰	良好	h	–	〈9.8〉	–	
1520	73号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰白 灰白	良好	h	–	〈4.2〉	–	
1521	73号竪穴建物 床面上、カマド燃焼部焼土上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：回転ナデ	灰黄 黄灰	良好	ah	–	〈7.4〉	–	自然釉の痕跡ある
1522	73号竪穴建物 埋土下位、床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	暗灰 灰	良好	h	–	〈12.0〉	–	1523と同一個体
1523	73号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	暗灰 灰	良好	h	–	〈9.6〉	–	1522と同一個体
1524	73号竪穴建物 床面上、貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰白 灰	良好	h	–	〈4.3〉	–	
1525	73号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈10.9〉	–	
1526	73号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰黄 灰白	良好	ah	–	〈9.5〉	–	
1527	73号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰黄 黄灰	良好	ch	–	〈9.2〉	–	
1569	74号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕？	底部破片	胴：ナデ横 底：回転糸切	底：ミガキ縦	橙 黒	やや 不良	hj	–	〈2.4〉	(9.2)	内面黒色処理
1570	74号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	(13.6)	〈4.4〉	–	
1571	74号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	底～台部 破片	台：回転ナデ	底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈1.5〉	–	
1572	74号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部破片	台：回転ナデ	底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈2.0〉	(7.8)	
1573	74号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部破片	台：回転ナデ	底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	eh	–	〈2.6〉	(7.0)	
1574	74号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横→縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	–	〈2.7〉	–	
1575	74号竪穴建物 埋土下位	土師器 器種不明	胴部破片	胴：ナデ斜	胴：不明	浅黄橙 橙	良好	gj	–	〈2.3〉	–	
1576	74号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕？	胴部破片	胴：ハケメ？斜	胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	aehj	–	〈5.1〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1577	74号竪穴建物 埋土上位	須恵器 長頸瓶	口縁部破片	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	灰 灰	良好	ah	(15.2)	〈4.9〉	–	
1578	74号竪穴建物 埋土上位	須恵器 甕	胴部破片	頸:回転ナデ 胴:タタキ	胴:回転ナデ→ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈5.6〉	–	
1579	74号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:ナデ	浅黄橙 灰白	良好	h	–	〈5.4〉	–	
1580	74号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:当て具痕?	灰白 灰白	良好	a	–	〈4.1〉	–	
1584	75号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/5残存	口:ナデ横 胴:ケズリ斜	口～底:ミガキ縦→横	褐灰 にぶい褐	やや不良	hj	(14.4)	4.5	(7.4)	
1585	75号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口:ナデ横 胴:ケズリ縦 底:ケズリ	口～底:ミガキ横→斜	橙 明黄褐	やや良好	hj	(13.2)	5.5	(7.0)	
1586	75号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口:ナデ横 胴:ケズリ横→縦 底:ケズリ	口:ミガキ横 胴～底:ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや不良	hj	(14.4)	5.5	7.4	内面黒色処理
1587	75号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	完形	口:ヨコナデ 胴:ケズリ縦 底:ケズリ	口～底:ミガキ	にぶい黄橙 黒	やや良好	h	14.3	5.0	5.0	内面黒色処理
1588	75号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口:ナデ横 胴:ナデ縦・横 底:ケズリ	口～胴:ミガキ横・斜	褐灰 黒	不良	hj	(11.0)	4.5	6.4	内面黒色処理
1589	75号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 坏	胴下～底	胴:回転ナデ 底:回転糸切	胴～底:ミガキ縦	橙 黒	やや良好	hj	–	〈1.9〉	5.2	内面黒色処理
1590	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口:ナデ横 胴:ケズリ縦 底:ケズリ	口～胴:ミガキ横	浅黄橙 黒	やや良好	ehj	(20.8)	〈7.9〉	(6.0)	内面黒色処理 鉢か
1591	75号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	完形	上:回転ナデ	口～底:回転ナデ	橙 にぶい黄橙	良好	ej	11.5	3.8	4.8	口縁部を打ち欠く
1592	75号竪穴建物 埋土下位、カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	灰白 灰白	良好	hj	(15.6)	4.9	5.6	
1593	75号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	完形	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや良好	hj	13.0	3.0	5.0	内外面に油煙痕（灯明皿）
1594	75号竪穴建物 土坑３埋土	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴下:回転ナデ	口～胴下:回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(12.6)	〈3.4〉	–	
1595	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴下:回転ナデ	口～胴下:回転ナデ	浅黄橙 明黄褐	良好	h	(14.0)	〈3.6〉	–	
1596	75号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴下:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 灰黄褐	やや不良	ahj	(11.5)	3.2	(5.6)	
1597	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	灰黄褐 にぶい黄橙	良好	h	12.5	3.5	5.5	
1598	75号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	(11.3)	3.2	5.3	
1599	75号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(12.8)	3.3	5.3	
1600	75号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	hj	13.6	4.1	5.1	
1601	75号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや不良	chj	(10.6)	3.5	5.6	
1602	75号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや不良	hj	(12.6)	3.3	6.4	
1603	75号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 台付坏	台部破片	台:回転ナデ	台:回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈2.6〉	(9.8)	
1604	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	台部破片	台:回転ナデ	台:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ahj	–	〈3.7〉	(7.2)	
1605	75号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口～台:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	(18.1)	5.8	(8.0)	
1606	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	底部破片	胴:回転ナデ 底:回転糸切	胴～底:回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	h	–	〈2.0〉	–	
1607	75号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 坏	口～底 2/3残存	口:ナデ横 胴～底:ケズリ	口～底:ナデ横	灰白 灰白	良好	hj	14.2	4.5	8.0	古墳時代（7世紀以降）
1608	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口:ナデ横	口:ナデ横	灰白 灰白	良好	gj	–	〈5.1〉	–	球胴甕か
1609	75号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上:回転ナデ	口～胴:回転ナデ→ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	cgj	(16.0)	〈5.3〉	–	
1610	75号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口:ナデ 胴:ケズリ縦	口～胴:ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	aj	(16.8)	〈5.3〉	–	外面に煤

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1611	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	－	〈6.2〉	－	
1612	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ斜	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	－	〈8.0〉	－	
1613	75号竪穴建物 カマド北袖内	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横？ 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	ghj	－	〈6.2〉	－	
1614	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横→縦	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(14.8)	12.8	(10.0)	輪積み痕あり
1615	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口：ナデ横 胴：ナデ横？	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 灰褐	良好	h	(17.6)	〈19.9〉	－	輪積み痕あり
1616	75号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：指頭による整形 胴：ケズリ・ナデ縦	口：指頭による整形 胴：ナデ横	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	ahj	(18.0)	〈8.9〉	－	
1617	75号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦→指頭	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄褐	良好	ehj	－	〈7.4〉	－	外面に不整形な窪み
1618	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	底部破片	胴：ナデ 底：木葉痕	底：ナデ？	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	aj	－	〈1.6〉	(10.6)	
1619	75号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ斜	底：ナデ？縦	にぶい赤褐 ～黒 褐灰	不良	cgj	－	〈2.2〉	(6.2)	
1620	75号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ →ケズリ縦	口～胴：回転ナデ→ ナデ縦	淡黄 灰白	良好	j	－	〈5.1〉	－	
1621	75号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口～頸 1/4残存	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	褐灰 褐灰	良好	h	(21.4)	〈4.5〉	－	
1622	75号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口縁部破片	口～頸：ナデ横	口～頸：ナデ横	灰 灰	良好	ah	－	〈3.8〉	－	
1623	75号竪穴建物 貼床内	須恵器 瓶類	底部破片	胴：ケズリ斜 底：ケズリ	胴：ナデ横	灰 灰	良好	hj	－	〈5.0〉	(10.0)	
1624	75号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 白灰	良好	h	－	〈7.0〉	－	
1625	75号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ハケメ？	灰 灰	良好	h	－	〈7.5〉	－	
1626	75号竪穴建物 カマド南袖内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰 灰	良好	a	－	〈8.5〉	－	
1629	76号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ斜	橙 黒	良好	h	(16.1)	4.7	(5.5)	内面黒色処理
1630	76号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦 →斜	にぶい黄橙 褐灰	良好	hj	(14.4)	4.7	(5.9)	内面黒色処理
1631	76号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	不良	hj	(14.4)	4.7	4.8	内面黒色処理
1632	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	橙 黒	やや 不良	hj	(15.0)	〈5.0〉	－	内面黒色処理
1633	76号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切→ナデ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	橙 黒	やや 不良	ahj	(14.4)	4.8	(4.6)	内面黒色処理
1634	76号竪穴建物 床面上	土師器 坏	胴下～底 残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ横・ 縦	浅黄橙 黒	良好	gj	－	〈1.5〉	5.6	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1635	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底	胴：ミガキ横？ 底：回転糸切	胴：ミガキ横→縦	褐灰 黒	やや 不良	hj	－	〈1.5〉	4.6	内面黒色処理
1636	76号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	h	(16.0)	〈5.1〉	－	内面黒色処理
1637	76号竪穴建物 土坑４埋土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	j	(15.8)	〈3.9〉	－	内面黒色処理
1638	76号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴：ミガキ横→ ミガキ縦	にぶい橙 黒	良好	h	－	〈3.0〉	－	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1639	76号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～胴 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ斜	橙 黒	やや 不良	hj	(16.5)	〈3.5〉	－	内面黒色処理
1640	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～台 1/3残存	口～胴・台：回転ナデ 底：回転糸切？	口～胴・台：回転ナデ	浅黄橙 黒	やや 良好	hj	(12.6)	4.8	6.2	内面黒色処理
1641	76号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 台付坏	口～胴下 1/5残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい橙 黒	やや 良好	h	(14.4)	〈5.8〉	－	内面黒色処理
1642	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴上：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	ah	－	〈4.8〉	－	内面黒色処理
1643	76号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ→ ミガキ縦	にぶい黄橙 橙	良好	gh	－	〈4.7〉	－	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1644	76号竪穴建物 床面上、土坑４埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切→ナデ	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	にぶい黄橙 橙	良好	ah	(16.6)	〈4.8〉	7.8	
1645	76号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 台付坏	胴下～台 1/3残存	胴～台：回転ナデ	胴～台：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	gh	–	〈6.9〉	(9.6)	
1646	76号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横→ ミガキ縦	にぶい黄橙 にぶい黄褐	良好	hj	(16.2)	〈4.9〉	–	
1647	76号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(13.5)	4.6	5.1	
1648	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(9.8)	4.3	5.8	内面に煤
1649	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	ghj	(17.2)	〈4.9〉	–	
1650	76号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	胴下～底破 破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈3.6〉	(6.0)	
1651	76号竪穴建物 床面上	土師器 坏	胴下～底 1/4残存	胴下：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	–	〈3.4〉	(6.6)	
1652	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	h	–	〈3.6〉	–	
1653	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	淡橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈3.4〉	–	
1654	76号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	aj	–	〈3.8〉	–	
1655	76号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴下：回転ナデ	口～胴下：回転ナデ	橙 にぶい橙	やや 不良	chj	(14.2)	〈10.5〉	–	
1656	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい褐 にぶい褐	やや 不良	ehj	–	〈5.7〉	–	
1657	76号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	ahj	–	〈3.8〉	–	
1658	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	–	〈8.9〉	–	
1659	76号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～頸：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	cgh	–	〈8.1〉	–	
1660	76号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦・横 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈6.0〉	10.5	
1661	76号竪穴建物 床面上、貼床内	須恵器 甕	底部破片	胴：ケズリ斜 底：ケズリ	胴～底：ナデ縦	灰 灰	良好	h	–	〈7.0〉	(15.0)	
1662	76号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	須恵器 甕	胴部破片	胴：ナデ→タタキ	胴：タタキ→ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈4.9〉	–	
1663	76号竪穴建物 カマド埋土	須恵器 甕	頸～胴上 破片	頸～胴上：回転ナデ (→整形痕？斜)	頸～胴上：回転ナデ (→頸に整形痕？縦)	灰 灰	良好	ahj	–	〈8.5〉	–	瓶類か
1664	76号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部上半 破片	胴上：タタキ	胴：タタキ	灰 灰	良好	aj	–	〈3.6〉	–	
1665	76号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	灰 灰	良好	ej	–	〈12.0〉	–	
1666	76号竪穴建物 貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	灰黄 灰白	良好	eh	–	〈5.8〉	–	
1667	76号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	褐灰 黄灰	良好	eh	–	〈12.8〉	–	
1672	77号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	やや 良好	chj	14.6	4.9	5.6	
1673	77号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	cgj	(14.2)	〈4.6〉	–	
1674	77号竪穴建物 床面上	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄	良好	hj	–	〈8.8〉	–	
1675	77号竪穴建物 床面上	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ（当て具痕）	灰 灰	良好	h	–	〈10.3〉	–	
1677	78号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	橙 灰黄褐	やや 不良	agh	(16.3)	5.2	6.9	
1678	78号竪穴建物 カマド埋土（３層）	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜	口～胴：ナデ横	橙 にぶい黄橙 ～黒	良好	h	(14.4)	〈4.2〉	–	内面黒色処理
1679	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ横	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	明黄褐 黒	やや 良好	ah	(15.2)	4.4	(6.8)	内面黒色処理
1680	78号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴上：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	橙 黒	良好	hj	(15.4)	〈4.6〉	–	内面黒色処理

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1681	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横→ ミガキ縦	にぶい橙 黒	良好	h	(14.8)	〈3.7〉	–	内面黒色処理
1682	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	灰黄褐 黒	やや 不良	hj	(14.0)	4.7	5.4	内面黒色処理
1683	78号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴上：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	ahj	(14.0)	〈3.4〉	–	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1684	78号竪穴建物 カマド東袖内	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ縦→ 横	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	(14.0)	5.5	(4.4)	内面黒色処理
1685	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ斜	にぶい黄橙 にぶい橙	良好	h	(13.0)	〈5.6〉	–	
1686	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴部破片	胴：回転ナデ？	胴：ミガキ横	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	–	〈2.7〉	–	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1687	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	胴：回転ナデ？	胴：ミガキ横	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	–	〈1.7〉	–	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1688	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴部破片	胴：回転ナデ？	胴：ミガキ横	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	–	〈1.4〉	–	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1689	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～胴 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	明黄褐 明黄褐	やや 不良	hj	(14.4)	〈3.6〉	–	
1690	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(14.6)	4.4	6.8	
1691	78号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(14.6)	〈5.6〉	–	外面に煤
1692	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	橙 橙	良好	chj	(18.0)	〈10.6〉	–	外面に煤
1693	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ・ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	gh	(20.0)	〈7.8〉	–	
1694	78号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ・ナデ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(20.4)	〈5.9〉	–	
1695	78号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	橙 橙	やや 不良	gh	(22.3)	〈18.1〉	–	
1696	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、東袖内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ・ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ縦→横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	h	(23.0)	〈19.6〉	–	外面に煤
1697	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 灰白	良好	gh	–	〈3.6〉	–	
1698	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰黄褐 明黄褐	やや 不良	ghj	(11.6)	〈9.3〉	–	
1699	78号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい褐 橙	やや 良好	hj	–	〈5.8〉	6.6	
1700	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：ナデ横	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	–	〈8.1〉	–	
1701	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上、東袖内	土師器 小型壺	口～胴上	口～胴：ナデ横	口～胴：ナデ横？	にぶい橙 にぶい橙	良好	j	(3.4)	〈5.0〉	–	
1702	78号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	胴下～底 1/4残存	胴：ケズリ縦→横	胴：ナデ横	灰黄褐 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈11.3〉	9.8	
1709	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	h	(15.2)	4.8	6.0	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1710	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	h	(14.6)	5.0	7.0	内面黒色処理
1711	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/5残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 良好	gh	(14.4)	4.7	5.3	内面黒色処理
1712	79号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	h	(16.4)	〈5.0〉	–	内面黒色処理
1713	79号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	g	(13.4)	〈4.6〉	–	内面黒色処理
1714	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	gj	(14.4)	〈3.9〉	–	内面黒色処理
1715	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	hj	(14.8)	〈4.3〉	–	内面黒色処理
1716	79号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	灰黄褐 黒	やや 不良	h	–	〈4.7〉	–	内面黒色処理

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1717	79号竪穴建物 床面上	土師器 坏	胴下～底	胴：ナデ横 底：回転糸切	胴～底：ミガキ縦	橙 にぶい橙～黒	良好	hj	－	〈2.2〉	5.6	内面黒色処理
1718	79号竪穴建物 貼床内	須恵器 坏	口～胴 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰黄 灰黄	良好	ah	(16.0)	〈3.3〉	－	
1719	79号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	やや不良	hj	(14.8)	〈8.9〉	－	
1720	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(15.4)	〈6.7〉	－	
1721	79号竪穴建物 床面上、貼床内、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	にぶい橙 明黄褐	不良	gh	(21.0)	〈26.2〉	－	
1722	79号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	やや不良	chj	(13.4)	〈11.2〉	－	外面に煤
1723	79号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 2/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦→斜	口：ナデ横 胴：ナデ斜	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや不良	hj	12.2	〈8.9〉	－	外面に煤
1724	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	不良	hj	(14.6)	〈11.3〉	－	外面に煤
1725	79号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 橙	良好	aj	－	〈5.6〉	－	
1726	79号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	j	－	〈3.2〉	－	
1727	79号竪穴建物 床面上	土師器 羽釜	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい橙 橙	不良	hj	－	〈4.5〉	－	外面に煤
1728	79号竪穴建物 土坑１埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	－	〈20.2〉	－	
1731	80号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	良好	hj	15.7	4.8	6.0	
1732	80号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	14.2	3.7	5.0	
1733	80号竪穴建物 床面上、カマド埋土	土師器 台付皿	口～台 1/3残存	口～台：回転ナデ	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	gj	(11.5)	〈2.6〉	－	
1734	80号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 台付坏	胴下～台 1/2残存	胴～台：回転ナデ	胴～底：回転ナデ 台：回転ナデ	橙 橙	良好	h	－	〈5.0〉	(8.4)	台付皿？
1735	80号竪穴建物 床面上、カマド燃焼 部焼土上	土師器 甕	口～胴 1/3残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	明赤褐 明褐	良好	h	(20.4)	〈19.7〉	－	
1736	80号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ・ナデ斜	口～胴：ナデ横	橙 にぶい黄橙	やや良好	hj	(32.0)	〈9.0〉	－	
1737	80号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口：ナデ横 胴：ナデ横→縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや良好	h	－	〈6.2〉	－	
1738	80号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	橙 橙	良好	hj	－	〈8.7〉	－	輪積み痕あり
1739	80号竪穴建物 床面上、埋土下位	土師器 甕	胴部破片	胴：ナデ縦→ミガキ 縦	胴：ミガキ斜	明赤褐 にぶい黄橙	やや不良	hj	－	〈10.7〉	－	外面朱塗り？
1740	80号竪穴建物 埋土下位、カマド燃 焼部焼土上	土師器 甕	底部 1/2残存	胴：ケズリ縦 底：ナデ	胴～底：ナデ横	橙 橙	良好	h	－	〈3.7〉	(9.5)	
1741	80号竪穴建物 床面上	土師器 台付鉢	台部のみ	台：ナデ横	台：ナデ縦	橙 橙	やや不良	h	－	〈4.4〉	10.5	
1742	80号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰 黄灰	良好	hj	－	〈4.8〉	－	
1743	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ縦	浅黄 黒	良好	h	(14.7)	5.0	6.0	内面黒色処理
1744	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 橙	良好	hj	15.2	4.5	5.5	
1745	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(14.4)	4.4	6.0	
1746	81号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(16.0)	〈5.5〉	－	
1747	81号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 橙	良好	hj	(28.2)	〈9.1〉	－	
1748	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 にぶい黄橙	良好	hj	(21.2)	〈13.5〉	－	
1749	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	明黄褐 にぶい黄橙	良好	agj	(21.8)	〈13.3〉	－	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1750	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	chj	(24.0)	〈12.0〉	–	
1751	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい橙 浅黄橙	良好	hj	(14.6)	〈11.1〉	–	
1752	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴部 破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	明黄褐 にぶい黄褐	やや 良好	hj	–	〈12.7〉	–	
1753	81号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ斜 底：砂底	底：ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	chj	–	〈1.7〉	(9.2)	砂底土器
1754	81号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	須恵器 瓶類	胴部 1/3残存	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈7.1〉	–	
1755	81号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	須恵器 長頸瓶	頸～胴下 1/3残存	頸～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦→ナデ横	頸～胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈19.9〉	–	
1758	82号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	a	(12.8)	〈3.7〉	–	内面黒色処理
1759	82号竪穴建物 カマド燃焼部焼土 上・南袖内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ→ ナデ横 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(13.2)	4.6	5.7	
1760	82号竪穴建物 床面上、カマド燃焼 部焼土上	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	やや 不良	hj	14.1	4.7	(5.0)	
1761	82号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	やや 不良	hj	(13.4)	4.0	5.8	
1762	82号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 台付坏	胴下～台	胴～台：回転ナデ	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや 良好	hj	–	〈3.6〉	–	
1763	82号竪穴建物 床面上	土師器 台付坏	胴下～台 のみ	胴・台：回転ナデ	胴下～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈3.1〉	–	
1764	83号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	hj	–	〈4.6〉	6.2	内面黒色処理
1765	83号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(12.3)	4.1	4.7	
1766	83号竪穴建物 埋土下位	土師器 台付坏	口～胴・台 2/3残存	口～台：回転ナデ	口～台：回転ナデ	灰黄褐 灰黄褐	不良	h	(15.5)	4.6	8.0	
1767	83号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦 底：砂底	胴：ナデ横、沈線状 の工具痕	にぶい橙 にぶい橙	やや 良好	chj	–	〈7.5〉	9.4	砂底土器
1768	83号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ	橙 ～にぶい褐 橙	良好	chj	–	〈8.7〉	–	
1769	83号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 甕	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦 底：ナデ	口～胴：ナデ横	にぶい褐 橙	良好	ghj	(25.4)	〈26.5〉	–	
1770	84号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ→ ミガキ縦・横	口～胴：ミガキ横→ 斜	灰黄褐 黒	やや 良好	hj	(16.4)	〈4.4〉	–	内面黒色処理
1771	84号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～台	台：回転ナデ	胴：ミガキ	灰黄褐 黒	やや 良好	j	–	〈1.7〉	6.5	内面黒色処理 底面に高台
1772	84号竪穴建物 貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：回転ナデ→タタキ	胴：回転ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	–	〈3.5〉	–	
1773	84号竪穴建物 貼床内	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ハケメ、ナデ	暗灰黄 暗灰黄	良好	e,h	–	〈14.7〉	–	
1777	85号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：ケズリ横→ ミガキ縦 底：ケズリ	口～胴：横ナデ	橙 橙	良好	h	(13.6)	4.5	4.5	
1778	85号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ横・縦 底：ケズリ	口～胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい褐	良好	cgh	(14.2)	4.5	(4.7)	
1779	85号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/5残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ 胴下～底：ミガキ 縦・ナデ縦	橙 橙	良好	ah	(13.4)	〈4.6〉	(4.4)	
1780	85号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴 3/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	g,h	(13.0)	4.4	4.2	
1781	85号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 坏	口～胴部 破片	口～胴上：回転ナデ 胴下：ナデ縦	口～胴下：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	良好	h	–	〈3.8〉	–	
1782	85号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底	胴～台：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	–	〈1.5〉	5.2	
1783	85号竪穴建物 床面上、カマド燃焼 部焼土上	土師器 台付坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	(21.0)	〈6.8〉	–	
1784	85号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	土師器 台付坏	胴下～台	胴：ナデ？ 底：タタキ？ 台：回転ナデ	胴～底：ナデ？	橙 橙	やや 良好	h,j	–	〈2.8〉	6.7	台付鉢か

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1785	85号竪穴建物 カマド北袖内・煙道内	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦→指頭による整形	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや不良	ahj	(22.6)	〈23.6〉	–	外面に煤
1786	85号竪穴建物 カマド北袖内・煙道内・燃焼部焼土上	土師器 甕	口縁部・底 欠損	口：ナデヨコ 頸：指頭による整形 胴：ナデ斜・縦	口：ナデ横 胴：ナデ縦	浅黄橙 浅黄橙	不良	ah	(23.7)	〈21.5〉	–	
1787	85号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(24.0)	〈8.2〉	–	
1788	85号竪穴建物 カマド埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	黄橙 にぶい黄橙	やや不良	h,j	(20.0)	〈8.8〉	–	
1789	85号竪穴建物 埋土下位、 カマド北袖内	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	にぶい褐 にぶい黄橙	不良	hj	(23.2)	〈12.6〉	–	
1790	85号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	橙 にぶい橙	良好	a,j	–	〈4.7〉	–	
1791	85号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや良好	chj	–	〈4.7〉		
1792	85号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴下：ケズリ横→ケズリ縦 底：ケズリ	口～底：ナデ横	にぶい黄橙 橙	やや良好	e,h	–	〈4.2〉	9.0	
1793	85号竪穴建物 埋土上位	須恵器 甕	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈2.7〉	–	瓶類か
1794	85号竪穴建物 埋土下位、Pit 1 埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	黄灰 黄灰	良好	h	–	〈4.5〉	–	
1795	85号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	褐灰 褐灰	良好	h,j	–	〈5.0〉	–	
1798	86号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	良好	h	–	〈2.1〉	–	
1799	86号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	胴部破片	胴：ナデ縦	胴：ナデ縦	灰黄喝 にぶい黄橙	不良	h,j	–	〈4.1〉	–	
1800	87号竪穴建物 埋土中	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや不良	h	(15.2)	5.0	6.0	
1801	87号竪穴建物 カマド北袖内、 燃焼部焼土上	須恵器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰 灰	良好	a	–	〈2.2〉	–	
1802	87号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口～胴部 破片	口：ナデ横 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 橙	良好	h	–	〈12.8〉	–	
1803	87号竪穴建物 煙道内	土師器 甕	口縁部破片	口：ヨコナデ 胴：ナデ縦	胴：ナデ横	明黄褐 にぶい黄褐	やや不良	hj	–	〈7.8〉	–	
1804	88号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	gh	(14.0)	4.2	6.0	
1805	88号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～底：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	cgh	(14.2)	5.1	6.2	
1806	88号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや良好	ahj	16.5	5.3	7.0	
1807	88号竪穴建物 埋土下位	須恵器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	灰黄 灰黄	良好	h	(14.4)	4.3	5.4	
1808	88号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	やや良好	ghj	(15.6)	〈9.6〉	–	
1809	88号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ	にぶい橙 にぶい橙	やや良好	ahj	(24.4)	〈16.1〉	–	
1810	88号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	淡黄 淡黄	良好	j	–	〈4.7〉	–	
1811	88号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	灰白 灰白	良好	j	–	〈3.4〉	–	
1812	88号竪穴建物 土坑 1 埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈3.2〉	–	
1813	88号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底 1/3残存	胴：ケズリ縦	胴～底：ナデ横	にぶい黄橙 褐灰	やや不良	hj	–	〈6.2〉	(8.4)	
1814	88号竪穴建物 貼床内	土師器 甕?	底部破片	胴下：回転ナデ→ナデ縦	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 灰白	不良	aj	–	〈2.6〉	(9.7)	
1815	88号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈2.0〉	–	
1820	89号竪穴建物 Pit 1 埋土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：ミガキ横→縦	浅黄橙 黒	良好	h	–	〈5.4〉	–	内面黒色処理
1821	89号竪穴建物 Pit 1 埋土	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	–	〈3.0〉	–	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1822	89号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上:回転ナデ	口～胴上:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	j	–	〈3.1〉	–	
1823	89号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	底部破片	胴:回転ナデ 底:回転糸切	胴～底:回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	j	–	〈1.2〉	(5.8)	
1824	89号竪穴建物 埋土下位、Pit 1 埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴:回転ナデ	口～胴:回転ナデ	浅黄橙黄 橙	良好	ahj	(14.1)	〈6.1〉	–	
1825	89号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上:回転ナデ	口～胴上:回転ナデ	にぶい橙褐 灰	不良	hj	–	〈3.3〉	–	
1826	90号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:ミガキ横→ 縦→横	橙 黒	良好	hj	(12.3)	4.9	7.5	内面黒色処理
1827	90号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴:回転ナデ	口～胴:回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(14.4)	〈3.2〉	–	
1828	90号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底 1/3残存	胴下:回転ナデ 底:回転糸切	胴～底:回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈4.2〉	(6.6)	
1829	90号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口～頸 1/3残存	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	灰 灰	良好	h	(12.0)	〈4.5〉	–	
1830	90号竪穴建物 埋土下位	須恵器 瓶類	口縁部破片	口～頸:回転ナデ	口～頸:回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	–	–	
1831	90号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴部破片	胴:タタキ	胴:ナデ横	灰白 黄灰	良好	h	–	〈4.5〉	–	
1833	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	完形	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴上:ミガキ横 胴下～底:ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	cj	16.2	5.6	6.0	内面黒色処理 墨書土器 文字不明
1834	91号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:ミガキ横 胴下:ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	hj	(5.0)	5.3	5.2	内面黒色処理 墨書土器 「山」?
1835	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:ミガキ横 胴下～底:ミガキ縦	褐灰 黒	やや 良好	h	(13.8)	5.2	(5.0)	内面黒色処理
1836	91号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:ミガキ横 胴下～底:ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 良好	ghj	(14.8)	5.7	6.0	内面黒色処理
1837	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	完形	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴上:ミガキ横 胴下～底:ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 良好	ahj	13.6	5.5	5.4	内面黒色処理
1838	91号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴:回転ナデ	口:ミガキ横 胴:ミガキ縦	橙 黒	良好	ahj	(13.4)	〈4.7〉	–	内面黒色処理
1839	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:ミガキ横	浅黄橙 黒	良好	ahj	(13.7)	5.1	6.2	内面黒色処理
1840	91号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口:ミガキ横 胴:ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 良好	hj	(14.6)	5.3	(5.6)	内面黒色処理
1841	91号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:ミガキ横 胴下～底:ミガキ縦	浅黄橙 黒	やや 不良	h	(14.8)	5.7	6.0	内面黒色処理
1842	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口:ミガキ横 胴:ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	hj	(14.8)	4.8	(6.8)	内面黒色処理
1843	91号竪穴建物 土坑２埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口:ミガキ横 胴:ミガキ縦	浅黄橙 黒	良好	ahj	14.5	5.5	5.2	内面黒色処理
1844	91号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	胴下～底	胴:ミガキ横→ナデ 横	胴下～底:ミガキ縦	灰黄褐 黒	やや 不良	h	–	〈3.0〉	6.2	内面黒色処理
1845	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口:ミガキ横 胴:ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	良好	gj	(12.6)	〈2.1〉	–	内面黒色処理
1846	91号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴:ミガキ横 胴下:ミガキ縦	口～胴上:ミガキ横 胴下～底:ミガキ縦	黒 黒	やや 不良	hj	(15.8)	5.9	6.0	内外面黒色処理
1847	91号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	胴下～底	胴:回転ナデ 底:回転糸切	胴～底:回転ナデ→ ミガキ縦	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈3.8〉	6.2	
1848	91号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	胴下～底	胴下:ケズリ横→ミ ガキ横 底:回転ナデ	胴～底:ミガキ縦	黒 黒	不良	h	–	〈4.5〉	6.0	内外面黒色処理
1849	91号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴・台:回転ナ デ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	にぶい黄橙 明黄褐	良好	j	(12.5)	3.5	6.0	
1850	91号竪穴建物 床面上、カマド埋土、 土坑１埋土	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:回転ナデ	橙 橙	良好	ghj	15.2	4.5	6.0	
1851	91号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:回転ナデ	明黄褐 にぶい橙	良好	aj	(13.5)	4.5	5.7	
1852	91号竪穴建物 床面上、貼床内	土師器 甕	口～底 1/4残存	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～底:回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(13.2)	3.7	5.4	
1853	91号竪穴建物 カマド埋土、 土坑１埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴:回転ナデ 底:回転糸切	口～胴:回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	aj	13.2	4.9	5.6	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（ ）：推定値、〈 〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1854	91号竪穴建物 床面上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ・ ナデ縦 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	ah	(13.0)	3.9	4.6	
1855	91号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	gh	(13.0)	3.6	(5.4)	
1856	91号竪穴建物 埋土下位、貼床内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 明黄褐	良好	ah	(13.0)	5.0	5.5	
1857	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	(14.5)	〈5.1〉	5.8	
1858	91号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	hj	(15.4)	4.7	(6.2)	
1859	91号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	明黄褐 にぶい黄橙	やや 不良	ghj	(13.4)	5.0	(4.6)	
1860	91号竪穴建物 床面上、Pit３埋土	土師器 坏	略完形	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 明黄褐	良好	ghj	14.0	5.2	5.2	90号竪穴建物出土と接合
1861	91号竪穴建物 土坑１埋土、貼床内	土師器 坏	口～底 2/３残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切→ケズリ	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	(15.0)	5.4	6.0	底部に糸切りの際のバリが残る
1862	91号竪穴建物 カマド埋土	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	不良	hj	(13.9)	5.2	5.2	
1863	91号竪穴建物 土坑１埋土下位	土師器 坏	口～胴下 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	gh	(15.6)	〈3.6〉	–	
1864	91号竪穴建物 埋土下位、床面上	土師器 台付坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	明黄褐 明黄褐	やや 不良	gh	(16.2)	〈4.5〉	–	
1865	91号竪穴建物 土坑１埋土下位	須恵器 坏	口～胴下 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(12.8)	(4.8)	–	
1866	91号竪穴建物 床面上、貼床内	須恵器 坏	口～胴下 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰黄 灰黄	良好	h	(15.2)	〈3.3〉	–	
1868	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 浅黄橙	やや 不良	hj	(16.0)	〈5.9〉	–	外面に煤
1869	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	灰白 灰白	良好	gj	–	〈4.9〉	–	
1870	91号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	–	〈5.1〉	–	
1871	91号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ斜	口～底：回転ナデ	褐灰 灰黄喝	やや 不良	hj	–	〈5.1〉	–	
1872	91号竪穴建物 Pit１埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：タタキ	灰 黄灰	良好	h	–	〈15.7〉	–	
1873	91号竪穴建物 Pit２埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰白 黄灰	良好	ah	–	〈11.3〉	–	
1874	91号竪穴建物 埋土上位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：回転ナデ→タタキ	胴：ナデ	灰白 黄灰	良好	h	–	〈3.8〉	–	
1875	91号竪穴建 物埋土下位	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：ナデ	灰褐 褐灰	良好	h	–	〈6.2〉	–	
1876	91号竪穴建物 土坑１埋土	須恵器 大甕	胴部破片	胴：タタキ	胴：当て具痕	灰白 黄灰	良好	h	–	〈10.2〉	–	
1882	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 1/5残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒	やや 不良	h	(14.4)	5.2	(5.4)	内面黒色処理
1883	92号竪穴建物 カマド北袖内、 燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/5残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 胴下～底：ミガキ縦	にぶい黄橙 黒～明褐	良好	hj	(14.5)	4.9	5.6	内面黒色処理
1884	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：ミガキ横 底：ミガキ斜	にぶい黄橙 褐灰～黒褐	不良	hj	13.4	5.4	4.1	内面黒色処理
1885	92号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横	灰黄 褐黒	不良	hj	(14.2)	〈4.1〉	–	内面黒色処理
1886	92号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴上 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ	にぶい黄褐 黒	やや 不良	h	(16.0)	〈4.2〉	–	内面黒色処理
1887	92号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口～胴上 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ斜	灰黄褐 黒	やや 良好	hj	(13.5)	〈4.2〉	–	内面黒色処理
1888	92号竪穴建物 埋土上位	土師器 坏	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴：ミガキ横→縦	にぶい橙 黒	やや 不良	h	–	〈3.8〉	–	内面黒色処理
1889	92号竪穴建物 カマド北袖内、 燃焼部焼土上	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ→ミガキ縦	明黄褐 にぶい黄橙	良好	ah	–	〈2.5〉	6.0	
1890	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～底 2/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	ah	(14.4)	〈5.7〉	6.5	
1891	92号竪穴建物 埋土下位、 土坑１埋土	土師器 坏	完形	口～胴：回転ナデ底 胴下：ナデ斜 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	18.0	5.6	7.0	

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1892	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	口～胴 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	ah	13.6	〈4.1〉	–	
1893	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	にぶい褐 にぶい褐	良好	ehj	(24.2)	〈16.0〉	–	
1894	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～底 1/2残存	口：ナデ横 胴：ケズリ縦 底：砂底	口～胴：ナデ横	にぶい褐 明黄褐	不良	hj	(14.6)	17.4	(9.6)	砂底土器 輪積み痕あり
1895	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴上：回転ナデ 胴：ナデ横	橙 にぶい黄橙	やや 不良	dhj	(25.6)	〈7.8〉	–	
1896	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口：ナデ横 胴：ナデ縦	橙 橙	良好	chj	(13.6)	〈7.9〉	–	輪積み痕あり
1897	92号竪穴建物 カマド、土坑１埋土	土師器 甕	口～胴上 1/3残存	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	灰白 浅黄橙	良好	agh	(21.0)	〈5.0〉	–	
1898	92号竪穴建物 カマド南袖内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ	口～胴上：回転ナデ	にぶい褐 にぶい黄橙	やや 良好	hj	–	〈5.7〉	–	
1899	92号竪穴建物 埋土上位	土師器 甕	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 灰黄褐	不良	hj	(11.6)	9.5	5.8	外面に煤
1900	92号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	褐灰 橙	良好	hj	–	〈7.4〉	6.4	
1901	92号竪穴建物 埋土上位	土師器 鉢	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 明黄褐	良好	hj	–	〈8.9〉	–	
1902	92号竪穴建物 埋土下位	須恵器 大甕	頸～底 2/3残存	頸：ナデ横 胴～底：タタキ	頸：指頭による整形 →ナデ縦・横	灰 灰	良好	eh	–	–	–	
1903	92号竪穴建物 埋土下位	須恵器 甕	胴下～底	胴：ケズリ縦 底：ケズリ	胴～底：ナデ横	灰 灰	良好	ah	–	〈13.0〉	11.0	
1904	92号竪穴建物 埋土下位	須恵器 長頸瓶	口縁部・ 底部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～胴：回転ナデ	灰 灰	良好	h	5.8	14.8	(6.0)	底部に焼いた 時の粘土
1905	92号竪穴建物 土坑１埋土	須恵器 長頸瓶	口～頸 1/2残存	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	浅黄 淡黄	良好	h	(12.0)	〈3.5〉	–	外面に煤
1909	93号竪穴建物 床面上、土坑１埋土	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：ミガキ斜	にぶい黄橙 灰黄褐	やや 不良	ah	(14.1)	4.8	5.8	内面黒色処理
1910	93号竪穴建物 貼床内	土師器 坏	口～底 1/4残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 浅黄橙	やや 良好	hj	(16.0)	4.6	5.5	
1911	93号竪穴建物 カマド埋土、貼床内	土師器 坏	口縁部欠損	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 橙	やや 不良	hj	14.8	4.7	5.0	内外面に油煙 痕（灯明皿）
1912	93号竪穴建物 カマド北袖内、 貼床内	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	(14.4)	4.6	5.0	
1913	93号竪穴建物 カマド北袖内、 燃焼部焼土上	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	ehj	(14.4)	4.1	5.1	
1914	93号竪穴建物 土坑１埋土	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 橙	良好	ghj	(13.8)	〈3.9〉	–	
1915	93号竪穴建物 埋土下位	土師器 坏	胴下～底	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	にぶい黄橙 橙	良好	hj	–	〈2.1〉	5.6	
1916	93号竪穴建物 カマド北袖内、 燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴下 1/2残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	ghj	(23.8)	〈21.4〉	–	
1917	93号竪穴建物 カマド北袖内、燃焼 部焼土上、貼床内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	やや 良好	ehj	(19.6)	〈23.2〉	–	
1918	93号竪穴建物 埋土下位、カマド北 袖内、燃焼部焼土上	土師器 甕	口～胴上 2/3残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	chj	18.1	〈13.7〉	–	
1919	93号竪穴建物 貼床内	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	口～胴：回転ナデ 胴：ナデ縦	明黄褐 明黄褐	良好	hj	(13.6)	〈7.2〉	–	
1920	93号竪穴建物 埋土下位	土師器 甕	口縁部破片	口～胴上：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴上：回転ナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	やや 不良	hj	–	〈4.0〉	–	
1921	93号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上、 煙道内	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴：ケズリ縦	口～胴：ナデ横	にぶい黄橙 にぶい黄褐	良好	hj	–	〈14.7〉	–	
1923	Pit171 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口：ミガキ横 胴～底：ミガキ斜	橙 黒	やや 不良	hj	(13.6)	4.7	4.8	内面黒色処理
1924	Pit184 埋土中	土師器 坏	口～胴 1/5残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：ミガキ横→ 斜	浅黄 黒	やや 不良	hj	(16.4)	〈2.8〉	–	内面黒色処理
1925	Pit59 埋土中	土師器 坏	口～胴 1/3残存	口～胴：回転ナデ→ ナデ横	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	にぶい褐 黒	不良	hj	(12.8)	〈3.4〉	–	内面黒色処理 外面に煤
1926	Pit75 埋土中	土師器 坏	底 1/4残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	底：ミガキ縦→横	灰褐 黒	良好	hj	–	〈1.6〉	(6.5)	内面黒色処理

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
　　i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

番号	出土位置・層位	器種	残存状況	外面調整	内面調整	外面色調 内面色調	焼成	混入物	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
1927	Pit 7 埋土下位	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：ミガキ横→ 縦	橙 黒	やや 良好	hj	–	〈2.4〉	7.0	内面黒色処理
1928	Pit155 埋土中	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜	口～胴：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄褐	やや 不良	hj	–	〈3.8〉	–	
1929	Pit398 埋土中	土師器 坏	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦	にぶい黄褐 黒	やや 不良	hj	–	〈3.9〉	–	内面黒色処理
1930	Pit54 埋土中	土師器 坏	口～胴部 破片	口～胴下：回転ナデ	口～胴：ミガキ横 胴下：ミガキ縦	橙～黒 黒	やや 良好	chj	–	〈4.7〉	–	内面黒色処理
1931	Pit59 埋土中	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	良好	h	(12.4)	3.0	4.6	
1932	Pit59 埋土中	土師器 坏	口～底 1/2残存	口～胴：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	橙 橙	良好	h	(12.0)	3.4	5.9	
1933	Pit54 埋土中	土師器 坏	口～底 1/3残存	口～胴：回転ナデ 胴下：ナデ斜 底：回転糸切	口～底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(14.4)	4.0	4.6	
1934	Pit184 埋土中	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ→ナデ 斜底：回転糸切	底：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈1.2〉	(4.6)	
1935	Pit184 埋土中	土師器 坏	底部破片	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	淡黄 淡黄	良好	hj	–	〈1.0〉	(5.6)	
1936	Pit490 埋土中	土師器 坏	胴下～底	胴下：回転ナデ 底：回転糸切	胴～底：回転ナデ	浅黄橙 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈2.4〉	5.6	外面に煤
1937	Pit54 埋土中	土師器 台付坏	口～台 1/4残存	口～台：回転ナデ 底：回転糸切	口～底：回転ナデ 台：回転ナデ	橙 橙	良好	aj	(10.6)	3.2	(7.2)	
1938	Pit169 埋土中	土師器 台付坏	底～台	底～台：回転ナデ	底：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	やや 不良	hj	–	〈3.3〉	8.4	
1939	Pit271 埋土中	土師器 台付坏	台 1/2残存	台：回転ナデ 底：回転糸切	台：回転ナデ	橙 橙	良好	ahj	–	〈2.1〉	7.2	
1940	Pit171 埋土中	土師器 甕	口～胴下 1/4残存	口～胴下：回転ナデ	口：ミガキ横 胴：ミガキ縦→横	にぶい褐 黒	やや 良好	h	(13.6)	〈9.2〉	–	内面黒色処理
1941	Pit335 埋土中	土師器 甕	口～胴上 1/4残存	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	hj	(21.0)	〈8.5〉	–	
1942	Pit108 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口：回転ナデ	口：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	h	–	〈3.3〉	–	
1943	Pit172 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	橙 橙	良好	hj	–	〈4.7〉	–	
1944	Pit335 埋土中	土師器 鉢	口縁部破片	口～胴：回転ナデ	口～胴：回転ナデ	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	–	〈5.0〉	–	
1945	Pit246 埋土中	土師器 坏	胴部破片	胴：回転ナデ	胴：回転ナデ	褐灰 にぶい黄橙	良好	hj	–	〈2.9〉	–	
1946	Pit899 埋土中	土師器 甕	底部 1/2残存	胴：回転ナデ 底：回転糸切	胴：回転ナデ 底：ナデ横	橙 橙	やや 不良	hj	–	〈3.3〉	7.0	
1947	Pit157 埋土中	土師器 甕	口～胴 1/4残存	口：ナデ横 胴：ケズリ（ナデ） 縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙～にぶい黄橙 浅黄橙～にぶい黄橙	やや 不良	hj	(19.0)	〈10.3〉	–	外面に煤
1948	Pit901 埋土中	土師器 甕	口縁部破片	口：ナデ横 胴：ナデ縦	口～胴：ナデ横	浅黄橙 灰黄褐	やや 不良	j	–	〈3.3〉	–	
1949	Pit206 埋土上位	土師器 甕	胴部破片	胴：回転ナデ→ケズリ縦	胴：ナデ横	灰白 浅黄橙	良好	gh	–	〈6.4〉	–	
1950	Pit271 埋土中	土師器 甕	底部破片	胴：ケズリ縦	底：ナデ横	浅黄橙 浅黄橙	良好	chj	–	〈3.6〉	–	
1951	Pit113 埋土中	須恵器 瓶類	口縁部破片	口～頸：回転ナデ	口～頸：回転ナデ	灰 灰	良好	h	–	〈4.0〉	–	
1952	Pit 7 埋土中	須恵器 瓶類	頸部破片	頸：回転ナデ	頸：回転ナデ	灰オリーブ 黒	良好	h	–	〈3.4〉	–	内面に自然釉？

【混入物】a：黒色光沢粒　b：雲母　c：チャート・頁岩　d：結晶片岩　e：火成岩系片岩（凝灰岩など）　f：火山ガラス　g：くさり礫　h：砂岩・泥岩などの砂粒
i：土器片　j：石英・長石　k：ホルンフェルス
【口径・器高・底経】（　）：推定値、〈　〉：残存値

灰釉・緑釉陶器

番号	器種	出土位置 層位	残存 状況	整形技法	施釉	胎土 色調	産地	年代	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考
246	緑釉陶器 碗	16号竪穴建物 貼床内	底部片	胴：ロクロナデ 底部：回転ヘラ切り？台：貼付け	全面緑釉	灰	猿投	9世紀中～後半 (黒笹14号窯式新段階～黒笹90号窯式古段階)	–	〈13〉	(7.4)	
1323	緑釉陶器 大碗	65号竪穴建物 カマド1　2層	口～胴部 破片	ロクロナデ	全面緑釉	暗灰	東海地方西部 (篠岡か東濃)	9世紀後半 (黒笹90号窯式併行期)	(19.4)	〈4.9〉	–	
1796	灰釉陶器 段皿	85号竪穴建物 埋土下位	胴部片	ロクロナデ	灰釉ハケ塗り	灰	猿投	9世紀中～後半 (黒笹14号窯式新段階～黒笹90号窯式古段階)	–	〈1.0〉	–	
1867	灰釉陶器 段皿	91号竪穴建物 埋土下位	口～胴部 破片	ロクロナデ	灰釉ハケ塗り	灰	猿投	9世紀中～後半 (黒笹14号窯式新段階～黒笹90号窯式古段階)	(14.4)	〈2.0〉	–	

(　)：推定値　〈　〉：残存値

土製品

番号	出土位置 層位	器種	残存状況	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
479	25号竪穴建物 埋土下位	炉壁	一部のみ	〈11.0〉	〈11.8〉	〈11.0〉	〈630.4〉	面取りされている。色調は黄橙で、被熱した範囲は橙色を呈する。
480	25号竪穴建物 埋土下位	炉壁	一部のみ	〈12.4〉	〈9.2〉	〈7.9〉	〈797.9〉	天井構築土の可能性ある。表面にナデ（ハケ）による整形痕残る。
587	29号竪穴建物 カマド15層	カマド 芯材か	完形	139.5	69.5	61.0	1346.3	上面、側側を面取りし、整形。生焼け。
704	37号竪穴建物 カマド西袖内	カマド 芯材	両端欠損	〈18.4〉	15.1	〈12.2〉	2100.0	方形に整形されている。色調にぶい黄橙。生焼け。
861	43号竪穴建物 カマド埋土	カマド 天井構築土	両端欠損	〈14.5〉	12.8	〈7.0〉	〈827.0〉	方形に整形されている。色調浅黄橙。生焼け。
862	43号竪穴建物 カマド埋土	カマド 天井構築土	両端欠損	〈13.0〉	〈16.5〉	13.4	〈1672.5〉	方形に整形されている。色調にぶい黄橙。生焼け。
940	46号竪穴建物 カマド埋土	カマド 芯材	完形？	〈14.6〉	〈11.7〉	6.0	〈1624.8〉	楕円形に整形？色調はにぶい黄橙で、一部被熱で橙色を呈する。生焼け。
941	46号竪穴建物 カマド支脚	カマド 支脚	完形	11.5	8.7	8.0	1675.3	上面、側面を面取りしている。色調にぶい黄橙。生焼け。
1359	66号竪穴建物 カマド埋土	カマド 天井構築土	両端欠損	〈18.5〉	〈14.8〉	10.6	1667.8	方形に整形されている。色調にぶい黄橙。生焼け。
1416	68号竪穴建物 土坑1埋土	土錘	体部欠損	4.6	2.6	〈2.3〉	〈17.7〉	
1417	68号竪穴建物 土坑1埋土	土錘	端部欠損	〈3.61〉	1.7	1.7	〈8.9〉	
1528	73号竪穴建物 埋土上位	土錘	略完形	4.8	2.0	2.0	13.7	
1529	73号竪穴建物 埋土下位	粘土塊	–	2.3	2.9	1.6	6.4	棒状工具の痕跡あり
1530	73号竪穴建物 土坑4埋土	粘土塊	–	3.1	2.7	2.3	13.8	線状の工具痕あり
1531	73号竪穴建物 床面上	粘土塊	–	3.9	2.1	1.8	7.6	指頭による整形痕あり
1676	77号竪穴建物 土坑2埋土	土錘	端部欠損	〈4.6〉	2.0	1.8	〈13.6〉	
1877	91号竪穴建物 埋土下位	土錘	端部欠損	〈3.2〉	1.8	〈1.8〉	〈8.5〉	
1953	Pit225 埋土中	土錘	完形	4.3	2.0	1.9	13.9	

〈　〉：残存値

羽口

番号	出土位置 層位	残存状況	残存長 (cm)	最大径 (cm)	内径 (cm)	残存重量 (g)	整形などの特徴	色調	備考
1047	54号竪穴建物 埋土上位	体部 1/2残存	9.32	5.89	2.73	105.55	鉄滓付着。外面ナデ	にぶい褐～灰白	
1048	54号竪穴建物 埋土上位	体部 破片	3.84	–	–	26.69	外面ナデ	にぶい赤褐	
1049	54号竪穴建物 埋土上位	先端部 1/2残存	4.27	4.68	1.98	30.10	鉄滓付着	褐灰	

番号	出土位置 層位	残存状況	残存長 (cm)	最大径 (cm)	内径 (cm)	残存重量 (g)	整形などの特徴	色調	備考
1050	54号竪穴建物 埋土下位	先端部 1/3残存	4.46	4.37	1.82	24.02	鉄滓付着。外面ナデ	にぶい黄橙～褐灰	
1146	57号竪穴建物 床面上	基部 1/2残存	6.80	7.25	2.57	144.16	外面ヘラナデ	にぶい赤褐	
1147	57号竪穴建物 土坑1埋土	先端部 1/5残存	5.10	–	–	35.97	鉄滓付着	浅黄橙～褐灰	1148と同一個体？
1148	57号竪穴建物 埋土下位	体部破片	4.63	–	–	37.11	鉄滓付着。外面ナデ	灰白～褐灰	1147と同一個体？
1164	58号竪穴建物 埋土中	体部破片	4.36	–	–	18.61	鉄滓付着	褐灰	
1266	64号竪穴建物 埋土下位	先端部 2/3残存	4.53	7.80	3.06	81.49	鉄滓が付着（一部発泡している）。	明黄褐～褐灰	生焼け?
1532	73号竪穴建物 床面上	体部破片	3.24	–	–	6.06	指頭による整形？	にぶい黄橙～褐灰	

石器・砥石・石製品

番号	出土位置 層位	器種	残存状況	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考
17	2号竪穴建物 床面上	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	85.6	45.2	46.0	72.7	磨痕
37	3号竪穴建物 埋土上位	石製品 （磨石）	完形	デイサイト	78.4	59.1	52.8	349.4	磨痕
56	4号竪穴建物 床面上	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	153.0	90.8	71.0	1217.2	磨＋敲打痕
71	5号竪穴建物 床面上	石製品 （磨石）	完形	デイサイト	116.1	78.1	63.2	810.30	磨痕
101	7号竪穴建物 カマド埋土	石製品 （磨石）	完形	デイサイト	146.4	74.0	39.2	674.9	磨＋敲打痕
102	7号竪穴建物 埋土下位	石製品 （磨石）	完形	デイサイト	87.1	71.9	66.4	584.3	磨痕
103	7号竪穴建物 埋土下位	石製品 （台石）	完形	デイサイト	172.0	124.3	71.3	2150.0	磨痕
134	9号竪穴建物 埋土下位	石製品 （台石）	2/3 残存	デイサイト	〈151.5〉	〈113.6〉	68.9	〈1477.4〉	磨痕
145	11号竪穴建物 埋土上位	石製品 （磨石）	完形	安山岩	107.7	87.7	48.9	598.8	磨痕
146	11号竪穴建物 埋土下位	石製品 （台石）	側面 欠損	デイサイト	〈202.0〉	〈199.8〉	〈68.0〉	5700.0	両面に磨痕
157	12号竪穴建物 床面上	砥石	完形	凝灰岩	152.0	47.3	34.8	291.90	自然礫の状態で3面使用
194	14号竪穴建物 埋土下位	スクレイパー	完形	黒曜石	24.6	19.4	11.8	5.55	
195	14号竪穴建物 埋土上位	スクレイパー	完形	黒曜石	36.5	30.7	13.8	13.53	
196	14号竪穴建物 埋土上位	スクレイパー	完形	黒曜石	24.1	22.9	8.4	6.11	
197	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	25.9	21.8	6.2	2.55	
198	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	18.2	13.5	10.6	2.47	
199	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	23.6	15.5	9.4	2.35	
200	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	18.9	17	5	1.49	
201	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	25.5	13.9	5.7	1.53	
202	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	20.1	10.1	5.5	1.22	
203	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	17.9	12.1	3.4	0.51	
204	14号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	15.6	20.7	5.9	1.95	

〈 〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存状況	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考
205	14号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	13.2	26	6.1	1.85	
206	14号竪穴建物 埋土上位	石核？	–	黒曜石	21.6	35.5	17.6	13.94	
230	15号竪穴建物 埋土下位	砥石	完形	凝灰岩	124.0	50.9	21.7	170.80	両面と側面を使用
231	15号竪穴建物 床面上	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	159.0	50.3	35.9	238.1	磨痕＋凹痕
232	15号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	12.8	12.2	3.5	0.61	
233	15号竪穴建物 埋土上位	フレイク	–	黒曜石	13.6	14.1	3.4	0.58	
261	18号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	25.1	23.1	6.3	3.40	
321	20号竪穴建物 土坑４埋土	スクレイパー	完形	黒曜石	29.8	23.9	15.1	12.55	
322	20号竪穴建物 床面上	フレイク	–	黒曜石	15.7	25.9	7.6	3.01	
335	21号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	33.6	19.1	15.3	7.87	
336	21号竪穴建物 埋土下位	石製品 （磨石）	完形	デイサイト	116.1	91.8	60.8	758.7	磨痕＋凹痕 被熱している
337	21号竪穴建物 Pit４埋土下位	石製品 （台石）	2/3 残存	デイサイト	〈156.0〉	〈142.9〉	62.6	2100.0	
338	21号竪穴建物 土坑２埋土	石製品 （台石）	2/3 残存	安山岩	〈156.0〉	〈107.3〉	48.5	〈1267.3〉	
354	22号竪穴建物 埋土下位	スクレイパー	完形	黒曜石	16.8	18.2	9.8	3.52	
355	22号竪穴建物 埋土上位	スクレイパー	完形	黒曜石	17.4	22.6	12.2	5.28	産地同定分析 （No.7）
356	22号竪穴建物 埋土上位	スクレイパー	完形	黒曜石	24.2	21.8	8.4	4.72	産地同定分析 （No.6）
357	22号竪穴建物 埋土下位	スクレイパー？	完形	黒曜石	27.9	19.4	4.3	2.02	
358	22号竪穴建物 埋土下位	スクレイパー？	完形	黒曜石	31.1	21.4	9.7	7.03	
359	22号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	26.9	15.1	10.8	4.08	
360	22号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	19.9	17.6	5.7	1.66	
376	23号竪穴建物 埋土下位	スクレイパー	完形	黒曜石	28.4	25.9	15.8	12.75	
377	23号竪穴建物 埋土上位	スクレイパー	完形	黒曜石	17.2	11.2	8.2	1.58	
392	24号竪穴建物 埋土上位	スクレイパー	完形	黒曜石	33.2	17.6	10.4	6.89	
444	25号竪穴建物 埋土下位	砥石	1/2 欠損	凝灰岩	〈58.9〉	51.5	30.7	〈67.9〉	分銅形 焼成受け、一部黒い
445	25号竪穴建物 床面上	砥石	端部 破片	凝灰岩	〈99.6〉	〈13.1〉	〈50.1〉	〈36.0〉	
446	25号竪穴建物 埋土下位	砥石	端部 破片	凝灰岩	〈36.3〉	〈31.6〉	〈4.4〉	〈4.6〉	
447	25号竪穴建物 埋土下位	砥石	端部 破片	凝灰岩	〈34.0〉	〈26.3〉	〈6.1〉	〈5.7〉	
448	25号竪穴建物 土坑1埋土	石製品 （磨石）	完形	安山岩	129.5	97.8	36.9	733.1	磨痕被熱している
449	25号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	22.3	22.8	5.1	2.31	
450	25号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	17.9	10.2	4.2	0.60	
451	25号竪穴建物 埋土下位	フレイク	–	黒曜石	16.2	15.1	3.9	0.82	
520	26号竪穴建物 埋土下位	石製品 （磨石）	2/3 残存	安山岩	86.9	〈69.4〉	59.2	〈536.5〉	磨痕

〈 〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存状況	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考
521	26号竪穴建物 埋土下位	石製品 （磨石）	完形	デイサイト	127.4	75.4	59.1	944.00	磨痕
522	26号竪穴建物 埋土下位	石製品 （台石）	完形	安山岩	229.0	190.5	58.0	4080.00	１面のみ使用 （磨痕）
523	26号竪穴建物 埋土下位	石核？	－	チャート	61.1	47.6	42.5	135.34	
549	27号竪穴建物 埋土下位	砥石	端部 破片	凝灰岩	〈60.0〉	〈58.7〉	〈44.4〉	〈102.5〉	２面使用。 被熱？赤い
550	27号竪穴建物 床面上	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	94.7	82.2	55.0	653.60	敲打痕＋磨痕。 被熱している
586	29号竪穴建物 Pit１埋土	カマド 天井石？	－	凝灰岩	212.0	72.0	63.0	2100.0	上面、側面を面取り。 被熱で赤色化
624	30号竪穴建物 埋土下位	砥石	端部 欠損	凝灰岩	〈102.4〉	42.6	30.9	〈160.3〉	４面使用
637	31号竪穴建物 埋土下位	石製品 （台石）	完形	凝灰岩	180.5	83.1	35.4	814.20	敲打痕＋磨痕。 被熱している
743	40号竪穴建物 埋土（６層）	砥石	1/2 欠損	凝灰岩	〈103.8〉	〈98.0〉	28.9	〈319.4〉	４面使用
773	41号竪穴建物 埋土下位	楔形石器	－	黒曜石	18.1	21.1	10.3	3.45	産地同定分析 （No.３）
809	42号竪穴建物 埋土下位	砥石	完形	凝灰岩	132.0	37.0	30.0	98.44	４面＋端部使用。
810	42号竪穴建物 Pit２埋土	スクレイパー	完形	黒曜石	29.9	27.1	9.7	7.86	産地同定分析 （No.5）
909	45号竪穴建物 埋土中	フレイク	－	黒曜石	19.0	14.9	3.5	0.76	
910	45号竪穴建物 埋土中	フレイク	－	黒曜石	14.3	11.6	4.0	0.72	産地同定分析 （No.1）
937	46号竪穴建物 床面上	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	77.3	74.6	64.2	207.40	磨痕
938	46号竪穴建物 土坑1埋土	石製品 （磨石）	完形	凝灰質砂岩	143.0	51.1	49.6	550.70	磨痕＋敲打痕
939	46号竪穴建物 土坑1埋土	石製品 （磨石）	完形	安山岩	93.4	83.3	68.6	775.60	磨痕
1011	52号竪穴建物 土坑２底面	石製品 （凹石）	1/2 欠損	凝灰岩	〈61.3〉	〈71.8〉	28.5	〈112.30〉	磨痕＋凹痕
1012	52号竪穴建物 埋土下位	石製品 （磨石）	完形	安山岩	99.7	93.4	84.4	798.60	磨痕
1070	55号竪穴建物 埋土上位	石製品 （磨石）	完形	安山岩	105.0	83.8	60.1	811.30	磨痕
1149	57号竪穴建物 床面上	砥石	端部 欠損	凝灰岩	140.0	91.9	49.7	(526.66)	３面使用
1150	57号竪穴建物 床面上	砥石	端部 欠損	凝灰質砂岩	〈11.5〉	57.0	20.0	(210.31)	２面使用。主に擦痕 （研磨の傷）
1151	57号竪穴建物 床面上	砥石	完形	凝灰岩	93.0	38.5	3.4	155.89	４面使用
1152	57号竪穴建物 埋土下位	砥石	両端 欠損	凝灰岩	〈95.7〉	〈47.0〉	19.0	〈80.28〉	４面使用。 溝状の凹みあり
1182	60号竪穴建物 土坑１埋土	砥石	完形	凝灰質砂岩	158.0	41.5	36.0	330.47	４面使用
1324	65号竪穴建物 土坑２埋土（２層）	砥石	完形	凝灰岩	152.2	69.9	27.5	445.76	３面使用
1418	68号竪穴建物 床面上	石製品 （台石）	完形	安山岩	201.5	161.0	70.5		１面のみ磨痕
1423	69号竪穴建物 床面上	砥石	完形	凝灰岩	159.5	43.5	27.0	252.33	４面使用
1442	71号竪穴建物 埋土下位	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	101.3	54.6	35.9	204.60	磨痕＋敲打痕
1533	73号竪穴建物 床面上	砥石	完形	凝灰岩	79.0	34.8	27.0	84.36	端部が欠損？ ４面使用
1534	73号竪穴建物 床面上	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	67.7	65.3	52.3	223.30	磨痕のみ。 被熱している
1535	73号竪穴建物 張り出し埋土	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	91.1	69.5	42.2	297.40	磨痕

〈 〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存状況	石質	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考
1536	73号竪穴建物 埋土下位	碁石？	完形	頁岩	18.4	18.1	10.2	4.71	
1627	75号竪穴建物 土坑1埋土（４層）	石核？	–	黒曜石	34.1	34.5	20.4	17.98	産地同定分析 （No. 4 ）
1668	76号竪穴建物 埋土下位	台石 （砥石？）	1/2欠損	凝灰質砂岩	〈168.5〉	〈105.4〉	82.4	1327.50	被熱で赤色化。1面のみ研磨の痕跡あり。
1703	78号竪穴建物 土坑１埋土	砥石	完形	凝灰岩	146.0	68.8	58.4	657.25	２面使用
1704	78号竪穴建物 張り出し埋土	砥石	完形？	凝灰岩	〈219.5〉	136.0	62.4	1685.90	３面使用。端部が炭化
1705	78号竪穴建物 床面上	石製品 （台石）	完形	凝灰岩	160.0	156.0	79.5	3650.0	１面使用。擦痕あり
1706	78号竪穴建物 貼床内	石製品 （磨石）	1/2欠損	凝灰岩	〈99.0〉	53.4	46.3	〈327.9〉	磨痕
1774	84号竪穴建物 土坑１埋土	石製品 （台石）	完形	安山岩	190.0	160.5	97.5	5600.0	敲打痕＋凹痕。 被熱している
1832	90号竪穴建物 埋土下位	石製品 （磨石）	完形	凝灰岩	92.7	70.4	37.4	295.00	磨痕
1878	91号竪穴建物 土坑２埋土	砥石	両端欠損	粘板岩	〈166.0〉	96.4	29.6	667.30	４面使用
1879	91号竪穴建物 土坑１埋土	石製品 （磨石）	完形	安山岩	83.0	68.9	58.2	469.90	磨痕
1880	91号竪穴建物 土坑１埋土	石製品 （磨石）	完形	デイサイト	100.9	91.9	52.9	582.50	磨痕。 被熱し赤みおびる
1881	91竪穴建物 埋土下位	石製品 （台石）	完形	安山岩	170.0	149.1	88.8	3040.00	磨痕＋凹痕。 被熱し赤みおびる

〈 〉：残存値

石帯観察表

番号	出土位置 層位	器種	残存状況	石質	色調	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴
1537	73号竪穴建物 床面上	石帯（巡方）	完形	チャート	灰白～褐灰	4.13	4.13	0.78	31.12	表面は光沢が出るほど磨いている。金具止め４箇所
1538	73号竪穴建 カマド北袖脇	石帯（巡方）	1/2残存	チャート	灰白	4.20	〈2.77〉	0.77	〈20.02〉	1537と同じ特徴をもつ
1539	73号竪穴建 カクラン内	石帯（巡方）	1/2残存	チャート	灰白～褐灰	4.13	〈22.5〉	0.83	〈17.10〉	1537と同じ特徴をもつ
1540	73号竪穴建物 床面上	石帯（丸鞆）	完形	チャート	灰白	2.79	4.26	0.74	17.91	表面は光沢が出るほど磨いている。金具止め3箇所
1541	73号竪穴建物 床面上	石帯（丸鞆）	完形	チャート	灰白～褐灰	2.73	4.26	0.74	16.94	1540と同じ特徴をもつ
1542	73号竪穴建 カクラン内	石帯（丸鞆）	完形	チャート	灰白	2.72	4.35	0.76	17.35	1540と同じ特徴をもつ
1543	73号竪穴建物 床面上	石帯（丸鞆）	頂部欠損	チャート	灰白～褐灰	〈2.54〉	4.44	0.75	〈13.33〉	1540と同じ特徴をもつ
1544	73号竪穴建物 床面上	石帯（丸鞆）	1/2残存	チャート	灰白～褐灰	〈1.66〉	〈4.28〉	0.79	〈10.47〉	1540と同じ特徴をもつ

〈 〉：残存値

木製品

番号	出土位置 層位	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	木取り	樹種	備考
1329	65号竪穴建物 土坑１埋土（２層）	不明	〈3.2〉	〈2.7〉	0.8	柾目取り	ケヤキ	１箇所穿孔

〈 〉：残存値

鉄製品・銅製品

番号	出土位置 層位	器種	残存部位	木質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
38	３号竪穴建物 埋土上位	刀子	刃部・基部欠損		〈9.0〉	0.8	0.3	
39	３号竪穴建物 埋土下位	刀子	基部欠損		〈9.3〉	1.6	0.2	両端が大きく曲がっている。

番号	出土位置 層位	器種	残存部位	木質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
40	3号竪穴建物 床面上	刀子	刃部欠損		〈7.3〉	〈0.7〉	0.2	
57	4号竪穴建物 床面上	刀子	切先欠損		〈17.6〉	1.5	0.3	
72	5号竪穴建物 埋土下位	針？	端部欠損		〈4.3〉	0.8	0.2	何か巻いてる？（紡錘車の軸部か）
73	5号竪穴建物 埋土下位	釘	完形		7.2	1.5	0.7	
84	6号竪穴建物 カマド埋土	鉄鏃？	茎部片		〈2.3〉	0.5	0.5	紡錘車の鉄軸部の可能性もある
158	12号竪穴建物 Pit 5 埋土	鉄鏃	完形		11.0	1.6	0.5	尖矢式
179	13号竪穴建物 床面上	鎌	刃部のみ		〈5.6〉	〈10.7〉	0.2	
193	14号竪穴建物 埋土上位	釘？	先端部欠損		〈6.7〉	〈1.1〉	0.4	紡錘車の鉄軸部の可能性もある
234	15号竪穴建物 床面上	紡錘車	鉄軸部のみ		〈7.5〉	0.6	0.6	鉄鏃の茎部の可能性もある
235	15号竪穴建物 埋土下位	針（釣針？）	先端部のみ		〈2.5〉	0.3	0.3	
236	15号竪穴建物 床面上	縁金具	完形		4.3	2.3	0.7	
250	16号竪穴建物 Pit 6 埋土下位	刀子	両端欠損	○	〈11.1〉	1.5	0.2	鞘（木質）の一部が残存する
291	19号竪穴建物 埋土下位	紡錘車	紡輪部のみ		4.8	5.2	0.1	
292	19号竪穴建物 埋土上位	紡錘車	紡輪部1/2残存		3.5	〈1.8〉	0.1	
293	19号竪穴建物 床面上	手鎌（穂摘具）	略完形		1.8	9.3	0.2	留め具残存しない。
294	19号竪穴建物 埋土下位	手鎌（穂摘具）	1/2残存	○	〈1.6〉	〈4.8〉	0.2	柄（木質）3.7×2.1×1.1残存 留め具1個が残存する
295	19号竪穴建物 埋土下位	手鎌（穂摘具）	完形	○	1.8	9.8	0.3	柄（木質）が部分的に残存する 留め具2個が残存する
296	19号竪穴建物 埋土下位	鉄鏃	両端欠損		〈8.8〉	1.1	0.2	
297	19号竪穴建物 床面上	鉄鏃	基部欠損		〈7.8〉	2.1	0.5	尖矢式？
298	19号竪穴建物 埋土下位	刀子	両端欠損 （刃部のみ）		〈8.5〉	〈0.8〉	0.3	
299	19号竪穴建物 埋土下位	刀子	両端欠損 （刃部のみ）		〈12.2〉	〈1.3〉	0.4	
319	20号竪穴建物 床面上	紡錘車	鉄軸部のみ		〈3.9〉	0.3	0.3	釘の可能性もある
339	21号竪穴建物 埋土下位	鎌？	刃部？のみ		〈2.2〉	〈2.7〉	0.2	刀子片の可能性もある
352	22号竪穴建物 埋土下位	紡錘車？	鉄軸部のみ		〈4.7〉	〈1.0〉	0.4	曲がっている
353	22号竪穴建物 埋土下位	鉄鏃？	両端欠損		〈3.7〉	〈0.6〉	0.3	
371	23号竪穴建物 埋土上位	鉄鏃	鏃身部～頸部残存		〈6.6〉	〈2.9〉	0.3	雁股式
372	23号竪穴建物 土坑1埋土	鉄鏃？	茎部？のみ		〈6.2〉	〈1.0〉	0.4	
373	23号竪穴建物 埋土下位	鉄鏃？	茎部のみ		〈9.3〉	〈0.5〉	〈0.4〉	刀子の茎部の可能性もある
374	23号竪穴建物 土坑1埋土	刀子	両端欠損		〈11.5〉	2.0	0.2	鉄鏃か
375	23号竪穴建物 土坑1埋土	縁金具	完形		4.6	1.2	1.2	
393	24号竪穴建物 埋土上位	不明鉄製品	端部のみ		〈7.2〉	〈2.5〉	0.2	曲がっている
453	25号竪穴建物 床面上	紡錘車	紡輪部のみ		4.6	4.5	0.1	

〈 〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存部位	木質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
454	25号竪穴建物 床面上	鋏？	完形		7.5	2.1	0.3	
455	25号竪穴建物 床面上	工具?	完形		19.3	0.9	0.9	錐状の工具か。紡錘車の可能性もある
456	25号竪穴建物 床面上	手鎌（穂摘具）	両端欠損		1.9	〈9.9〉	0.2	留め具１箇所わずかに残存
457	25号竪穴建物 床面上	楔	端部欠損		5.9	2.8	0.8	
458	25号竪穴建物 床面上	針	完形		8.8	0.7	0.5	
459	25号竪穴建物 床面上	短刀	基部欠損	○	〈22.9〉	2.1	0.4	鞘・柄（木質）が部分的に残存している
460	25号竪穴建物 床面上	縁金具	完形		4.2	1.8	1.4	
461	25号竪穴建物 床面上	金具？	1/2残存		〈3.2〉	〈0.6〉	0.3	刀の金具か
462	25号竪穴建物 床面上	金具？	端部欠損？		1.6	1.5	1.0	刀の金具か
463	25号竪穴建物 床面上	鉄鏃	完形		14.1	0.9	0.3	尖矢（平根）式？
464	25号竪穴建物 床面上	鉄鏃	基部欠損		〈15.0〉	〈1.4〉	0.2	尖矢式
465	25号竪穴建物 埋土上位	鉄鏃	体部欠損		〈10.8〉	〈2.2〉	1.2	
466	25号竪穴建物 床面上	鉄鏃？	茎部のみ		〈16.0〉	0.5	0.3	紡錘車の鉄軸部の可能性もある
467	25号竪穴建物 床面上	鉄鏃？	茎部のみ		〈6.2〉	〈0.4〉	0.3	
468	25号竪穴建物 床面上	釘	先端欠損		〈8.0〉	6.0	0.4	
469	25号竪穴建物 床面上	釘	完形		3.6	1.0	0.4	曲がっている
470	25号竪穴建物 床面上	金具？	端部欠損		〈2.5〉	〈2.3〉	0.2	
471	25号竪穴建物 土坑１埋土	刀子	基部欠損	○	〈13.9〉	1.3	0.2	柄（木質）が部分的に残存する
472	25号竪穴建物 埋土下位	刀子	茎尻部欠損		〈12.8〉	0.9	0.3	茎尻部わずかに欠損
473	25号竪穴建物 床面上	刀子	両端欠損		〈12.5〉	1.5	0.3	
474	25号竪穴建物 床面上	刀子	刃部欠損		〈7.3〉	〈1.1〉	0.3	
475	25号竪穴建物 カマド燃焼部焼土上	刀子	両端欠損 （基部のみ）		〈3.8〉	0.5	0.2	
476	25号竪穴建物 埋土上位	刀子？	茎部のみ		〈3.0〉	〈0.9〉	0.2	
477	25号竪穴建物 床面上	鉋	基部欠損		〈6.9〉	0.9	0.4	
478	25号竪穴建物 埋土中	不明（銅製品）	完形？		10.3	2.5	1.1	
551	27号竪穴建物 埋土下位	紡錘車	両端欠損		〈7.2〉	0.5	0.3	
552	27号竪穴建物 埋土下位	紡錘車	両端欠損		〈7.5〉	0.5	0.3	
553	27号竪穴建物 埋土下位	刀子	茎部のみ		〈7.1〉	〈0.9〉	0.2	
575	28号竪穴建物 床面上	刀子	刃部欠損	○	〈16.8〉	1.5	0.3	柄の木質10.7×2.1×1.9cm残存
625	30号竪穴建物 埋土上位	不明	両端欠損		〈4.5〉	〈0.6〉	0.2	刀子の茎部の可能性がある
665	35号竪穴建物 土坑１埋土（３層）	刀子	茎部のみ		〈6.1〉	〈1.0〉	0.2	
673	36号竪穴建物 床面上	刀子	完形		11.9	1.7	0.2	柄に丸い窪みあり。穿孔はされていない

〈 〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存部位	木質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
701	37号竪穴建物 埋土上位	刀子	両端欠損		〈10.0〉	1.4	0.3	
702	37号竪穴建物 埋土下位	刀子	茎部のみ		〈7.3〉	〈0.8〉	0.3	
703	37号竪穴建物 埋土上位	不明鉄製品	両端欠損？		〈3.8〉	〈1.4〉	0.2	刀子？
718	38号竪穴建物 埋土下位	鉄鏃？	茎部？のみ		〈4.2〉	〈0.7〉	〈0.7	釘の可能性もある
719	38号竪穴建物 床面上	刀子	切先欠損		〈16.6〉	1.2	0.2	
732	39号竪穴建物 土坑１埋土	紡錘車	鉄軸部のみ		〈8.6〉	〈0.7〉	0.3	わずかに紡輪部が残存する
733	39号竪穴建物 床面上	鉄鏃？	茎部のみ		〈3.0〉	〈0.3〉	〈0.3〉	紡錘車の鉄軸部の可能性もある
771	41号竪穴建物 床面上	刀子	略完形		12.2	1.2	0.3	
772	41号竪穴建物 床面上	刀子	両端欠損		〈4.2〉	1.3	0.3	
811	42号竪穴建物 床面上	紡錘車	鉄軸部欠損		〈14.1〉	5.2	0.4	紡輪部の厚さ0.3cm
812	42号竪穴建物 土坑３埋土上位	不明鉄製品	両端欠損		〈5.0〉	〈0.8〉	0.3	鉸具か
813	42号竪穴建物 埋土下位	紡錘車	鉄軸部のみ		〈6.4〉	0.4	0.3	糸が残存する 鉄鏃の柄部の可能性もある
863	43号竪穴建物 埋土下位	紡錘車	鉄軸部欠損		〈30.1〉	5.6	0.3	紡輪部の厚さ0.3cm
864	43号竪穴建物 埋土下位	紡錘車	鉄軸部のみ		〈10.4〉	0.5	0.4	
865	43号竪穴建物 埋土下位	手鎌（穂摘具）	完形		1.7	10.0	0.2	紡錘車（863）の下から出土
866	43号竪穴建物 埋土下位	手鎌（穂摘具）	端部・刃部欠損		〈1.8〉	〈10.0〉	0.2	紡錘車（863）の下から出土 留め具１点残存
867	43号竪穴建物 埋土下位	縁金具	端部欠損		〈3.5〉	〈1.5〉	0.5	
868	43号竪穴建物 床面上	馬具（轡）	1/2残存		〈6.2〉	〈5.8〉	0.4	素環
869	43号竪穴建物 Pit４埋土（１層）	刀子	完形		14.4	1.9	0.3	柄に円形の穿孔あり
870	43号竪穴建物 埋土（３層）	鍛（かすがい）か	端部のみ		〈4.0〉	〈1.0〉	0.6	釘の可能性もある
871	43号竪穴建物 埋土下位	釘	完形		2.5	0.6	0.2	
872	43号竪穴建物 埋土下位	釘	先端部のみ		〈2.2〉	〈0.5〉	〈0.5〉	
873	43号竪穴建物 埋土下位	釘	先端部のみ		〈2.3〉	〈0.4〉	〈0.3〉	
904	45号竪穴建物 Pit３埋土	鑷子（かんす）状鉄製品	完形（鎖は欠損）		15.6	2.9	1.1	接合しないが鎖が残存
905	45号竪穴建物 Pit３埋土	鑷子（かんす）状鉄製品	完形（鎖は欠損）		14.7	4.2	1.0	
906	45号竪穴建物 貼床内	円環状鉄製品	完形		4.4	3.9	0.4	
907	45号竪穴建物 埋土上位	円環状鉄製品	完形		4.7	4.7	0.5	
908	45号竪穴建物 床面上	円環状鉄製品	1/2残存		〈3.0〉	〈1.4〉	0.3	
942	46号竪穴建物 床面上	針	先端部欠損		〈8.5〉	0.8	0.4	
943	46号竪穴建物 床面上	刀子	切先欠損		〈24.1〉	1.7	0.2	
1013	52号竪穴建物 埋土下位	刀子	略完形	○	20.4	1.4	0.2	柄の木質10.4×1.7×1.2cm残存
1014	52号竪穴建物 埋土上位	刀子	茎尻部欠損		〈11.2〉	1.3	0.3	

〈　〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存部位	木質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
1015	52号竪穴建物 西壁溝埋土	工具	体部欠損	○	〈9.9〉	0.6	0.6	錐状の工具か 柄（木質）5.2×1.3×1.3残存
1051	54号竪穴建物 埋土下位	柄頭か鞘尻の 覆輪金具	完形？		5.5	2.1	1.8	方頭大刀に付く金具
1071	55号竪穴建物 埋土下位	紡錘車	鉄軸部のみ		〈5.6〉	0.4	0.4	鉄鏃の茎部の可能性もある
1105	56号竪穴建物 床面上	刀子	完形	○	15.6	1.4	0.3	鞘（木質）が一部残存する
1153	57号竪穴建物 埋土上位	紡錘車	紡輪部1/2残存		3.5	〈2.1〉	0.1	
1154	57号竪穴建物 埋土下位	不明鉄製品	端部のみ		〈4.7〉	〈1.7〉	0.6	
1155	57号竪穴建物 Pit２埋土	刀子	茎尻部欠損		〈12.6〉	1.3	0.4	
1156	57号竪穴建物 埋土下位	刀子	両端欠損	○	〈11.3〉	1.4	0.5	鞘（木質）の一部が残存する
1157	57号竪穴建物 埋土下位	刀子	茎尻部欠損		〈13.0〉	〈1.1〉	0.4	
1158	57号竪穴建物 埋土下位	刀子	刀部のみ		〈3.7〉	〈0.7〉	0.2	
1159	57号竪穴建物 埋土下位	刀子	刀部のみ		〈6.4〉	〈0.9〉	0.3	
1160	57号竪穴建物 貼床内	刀子	両端欠損		〈7.7〉	1.6	0.4	
1161	57号竪穴建物 埋土下位	刀子？	茎部のみ		〈2.6〉	〈0.7〉	0.2	
1183	60号竪穴建物 床面上	紡錘車	紡輪部1/3残存		〈2.4〉	〈3.0〉	0.2	
1184	60号竪穴建物 埋土下位	刀子	茎部のみ		〈8.0〉	〈0.7〉	0.3	
1185	60号竪穴建物 床面上	刀子	切先欠損		〈16.7〉	1.5	0.3	茎部が大きく折れ曲がっている
1215	63号竪穴建物 貼床内	刀子	刃部のみ		〈6.6〉	〈1.0〉	0.3	
1267	64号竪穴建物 床面上	鎹（かすがい） か	完形？		1.8	3.1	0.3	釘の可能性もある
1268	64号竪穴建物 床面上	短刀	完形	○	47.1	4.0	0.6	柄（木質）の一部が残存 柄頭付近折れ曲がっている
1325	65号竪穴建物 Pit７埋土	紡錘車	紡輪部と 鉄軸一部のみ		〈1.7〉	3.8	0.4	紡輪部の厚さ0.2cm
1326	65号竪穴建物 床面上	紡錘車	鉄軸部のみ		〈5.3〉	0.3	0.3	
1327	65号竪穴建物 床面上	鉄鏃？	茎部のみ		〈3.6〉	〈0.4〉	〈0.4〉	釘の可能性もある
1328	65号竪穴建物 土坑６埋土上位	刀子	両端欠損 （刃部のみ）		〈1.5〉	0.7	0.2	
1357	66号竪穴建物 床面上	刀子	略完形	○	14.8	10.1	0.2	柄（木質）の一部が残存する
1358	66号竪穴建物 床面上	鉄鏃	両端欠損		〈9.5〉	〈1.6〉	0.7	尖矢式
1369	67号竪穴建物 埋土上位	鉄鏃	鏃身部のみ		〈10.0〉	5.0	0.4	雁股式
1419	68号竪穴建物 埋土下位	釘か	先端部のみ		〈2.9〉	〈0.4〉	〈0.4〉	鉄鏃の茎部か、紡錘車の鉄軸部の可能性もある
1545	73号竪穴建物 Pit17埋土	手鎌（穂摘具）	完形		1.8	10.2	0.2	
1546	73号竪穴建物 埋土上位	紡錘車	紡輪部1/4残存		〈2.6〉	〈1.8〉	0.2	
1547	73号竪穴建物 床面上	紡錘車	両端欠損 （茎部のみ？）		〈3.3〉	〈0.4〉	〈0.4〉	鉄鏃の茎部の可能性もある
1548	73号竪穴建物 床面上	縁金具か	1/4残存	.	〈2.2〉	〈0.4〉	0.5	
1549	73号竪穴建物 床面上	鉄鏃	茎部欠損		〈12.1〉	〈3.2〉	0.8	尖矢式。柄部が大きく曲がっている

〈　〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存部位	木質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
1550	73号竪穴建物 床面上	鉄鏃	茎部のみ		〈2.5〉	〈0.2〉	〈0.2〉	
1551	73号竪穴建物 床面上	鉄鏃？	両端欠損 （茎部のみ）		〈2.7〉	〈0.3〉	〈0.3〉	紡錘車の鉄軸部の可能性もある
1552	73号竪穴建物 Pit10埋土	刀子	両端・体部欠損	○	〈17.5〉	〈1.4〉	0.3	木質付着。鞘かは不明
1553	73号竪穴建物 床面上	刀子	切先欠損		〈18.1〉	1.4	0.3	切先がわずかに曲がっている
1554	73号竪穴建物 土坑４底面	刀子	略完形	○	15.2	1.5	0.4	鞘（木質）の一部が残存する
1555	73号竪穴建物 貼床内	刀子？	刃部のみ		〈5.0〉	〈1.3〉	0.2	
1556	73号竪穴建物 床面上	刀子？	両端欠損 （茎部のみ）		〈4.3〉	〈1.1〉	0.3	
1557	73号竪穴建物 床面上	刀子	刃部のみ		〈3.9〉	〈0.9〉	0.2	
1558	75号竪穴建物 埋土下位	刀子？	両端欠損 （刃部のみ）		〈4.2〉	〈1.6〉	0.2	鎌の可能性もある
1559	73号竪穴建物 床面上	刀子	両端欠損 （茎部のみ）		〈3.8〉	〈0.6〉	0.3	
1560	73号竪穴建物 床面上	刀子	両端欠損 （刃部のみ）		〈2.4〉	〈0.8〉	0.2	
1561	73号竪穴建物 土坑３埋土	鋏	刃部欠損		〈8.8〉	0.9	0.2	
1562	73号竪穴建物 埋土上位	釘	完形		4.4	0.6	0.3	
1563	73号竪穴建物 埋土下位	釘	先端欠損		〈2.7〉	0.8	0.2	
1564	73号竪穴建物 埋土下位	釘	略完形		2.6	0.6	0.2	
1565	73号竪穴建物 床面上	釘	完形		2.7	0.5	0.2	
1566	73号竪穴建物 貼床内	不明	両端欠損		〈2.1〉	〈1.0〉	0.2	
1581	74号竪穴建物 埋土上位	刀子	刃部のみ		〈3.1〉	〈0.8〉	0.2	
1669	76号竪穴建物 Pit１埋土	菊座金具	完形		2.5	2.2	1.4	蕨手刀の柄に付く金具
1670	76号竪穴建物 埋土下位	刀子？	茎尻部のみ		〈3.6〉	〈0.7〉	0.4	
1671	76号竪穴建物 埋土下位	釘	先端部欠損		〈2.4〉	0.6	0.3	
1707	78号竪穴建物 埋土下位	刀子	両端欠損	○	〈13.4〉	1.3	0.4	柄（木質）も良好に残存する
1708	78号竪穴建物 埋土上位	刀子	茎尻部のみ	○	〈2.8〉	〈0.8〉	0.2	柄（木質）で覆われた状態
1729	79号竪穴建物 土坑１埋土	刀子	刃部欠損		〈11.9〉	〈1.7〉	0.3	
1730	79号竪穴建物 埋土下位	縁金具	完形		4.0	1.9	0.7	
1756	81号竪穴建物 埋土上位	釘？	両端欠損		〈2.6〉	〈0.5〉	〈0.4〉	紡錘車の鉄軸部の可能性もある
1757	81号竪穴建物 埋土上位	釘？	基部？欠損	○	〈3.4〉	〈0.4〉	〈0.3〉	木質あり（巻いてある？）。用途不明
1775	84号竪穴建物 埋土下位	鉄鏃？	両端欠損 （茎部のみ？）		〈2.2〉	〈0.4〉	0.2	釘の可能性もある
1776	84号竪穴建物 埋土下位	不明	両先端欠損		〈2.3〉	2.1	0.4	
1816	88号竪穴建物 Pit１埋土	刀子	略完形		19.8	1.2	0.3	
1817	88号竪穴建物 埋土下位	刀子	刃部のみ		〈8.9〉	1.0	0.2	
1818	88号竪穴建物 埋土下位	刀子？	破片		3.1	1.0	0.4	1819と同一個体か。またハサミの可能性もある

〈　〉：残存値

番号	出土位置 層位	器種	残存部位	木質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考
1819	88号竪穴建物 埋土下位	刀子？	破片		1.9	0.6	0.2	1818と同一個体か。またハサミの可能性もある
1906	92号竪穴建物 土坑１埋土下位	刀子	両端欠損		〈21.3〉	1.5	0.2	茎部曲がっている
1907	92号竪穴建物 埋土上位	刀子	茎部のみ		〈3.8〉	〈0.8〉	0.2	
1908	92号竪穴建物 埋土上位	釘？	両端欠損		〈5.1〉	0.7	0.7	
1922	93号竪穴建物 埋土下位	縁金具か	完形		4.3	1.8	0.7	
1954	Pit54 埋土中	釘？	完形		4.3	1.0	0.4	工具の可能性もある
1955	Pit081 埋土中	釘	完形		11.5	0.6	0.3	

〈 〉：残存値

鉄滓

番号	出土位置 層位	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	磁着	メタル 度	表面色調	特徴
58	４号竪穴建物 床面上	鍛錬鍛冶滓	6.1	5.7	1.8	86.4	0	×	褐～青灰	薄手の破片で、２箇所破砕（故意か不明）する。錆化鉄が全体を覆う。断面は１mm大の気泡がわずかに見られるが、緻密。
74	５号竪穴建物 埋土下位	鍛錬鍛冶滓	5.0	4.7	3.4	71.3	4	H	褐～黒	厚みがある。表層は全体的に凹凸が激しく、１～２mm大の気孔が見られる。下部に砂が、側面には錆化鉄が付着する。
75	５号竪穴建物 床面上	鍛錬鍛冶滓	5.4	4.9	2.2	56.0	4	H	褐	薄手の破片で、全体が明褐色の錆化鉄で覆われるが、一部で地が露出している（色調は暗灰色）。断面は１～２mm大の気孔はわずかで緻密である。
85	６号竪穴建物 埋土下位	椀形鍛冶滓か	9.3	7.7	3.4	226.7	1	H	褐～暗灰	半球状で、小型の椀形鍛冶滓の可能性がある。下部には砂が付着する。上部は平坦で、錆化鉄が薄く付く。３mm大の気孔が多い。
180	13号竪穴建物 埋土中	鉄塊系遺物	11.0	10.5	4.7	401.3	7	L	褐～青灰	重量がある。全体的に凹凸が激しく、20mm大の瘤状の突出部がある。全体に褐色の錆化鉄で覆われる。断面は緻密だが、脆い。
237	15号竪穴建物 埋土下位	鍛錬鍛冶滓	4.5	3.6	2.3	27.6	5	H	明褐～灰	全体的に凹凸が激しい。端部が破砕している。広い面に褐色の錆化鉄が付着する。断面は２mm大の気孔が多い。
251	16号竪穴建物 埋土下位	鍛錬鍛冶滓	8.4	4.5	2.8	98.3	3	H	灰	扁平で、表層全体が、飴細工のように細い滓が入り組んでいる。錆化鉄の付着はわずかである。１～２mm大の気孔が多い。磁着と金属反応は端部のみである。
252	16号竪穴建物 埋土下位	流出滓	7.6	4.6	2.4	51.2	3	H	赤灰	薄手で軽い。紐状を呈した細い滓が入り組んでいる。錆化鉄はなく、砂が付着する。３mm大の気孔がみられるが緻密。側面の一部でのみ磁着と金属反応あり。
253	16号竪穴建物 埋土下位	**鍛錬鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.14）							
262	18号竪穴建物 埋土下位	鍛錬鍛冶滓	97.6	88.9	51.6	428.4	3	H	褐～ 暗青灰	厚手で重い。全体的に凹凸が激しい。滓の地が露出している範囲が広く、褐色の錆化鉄は側面に付着する。表層には１～２mm大の気孔が多く見られる。
300	19号竪穴建物 埋土下位	**砂鉄精錬滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.13）							
320	20号竪穴建物 土坑４埋土下位	**鍛錬鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.14）							
452	25号竪穴建物 埋土下位	**椀形鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.11）							
814	42号竪穴建物 埋土下位	椀形鍛冶滓か	4.3	3.1	2.0	25.2	5	M	明褐	扁平な破片で重い。片面は湾曲し、もう片面が凹凸が激しい。錆化鉄が全体を覆うが、わずかに青灰色の地が露出している。断面は緻密。
874	43号竪穴建物 埋土中	鍛錬鍛冶滓	4.0	3.1	1.7	15.2	1	×	灰	扁平で全体的に歪である。錆化鉄は一部のみ。表層に２～４mm大の気孔が多い。広い面が磁着するが、金属反応がない。

【種別】ゴシック体：成分分析結果（第Ⅶ章-6-7）を記した　明朝体：報告者の肉眼鑑定
【磁着・メタル度】第Ⅶ章-6-7の（注）を参照

番号	出土位置 層位	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	磁着	メタル 度	表面色調	特徴
897	44号竪穴建物 埋土中	鍛錬鍛冶滓	2.8	2.3	2.4	16.1	2	×	灰	塊状で、重い。銹化鉄の付着は一部のみで、砂が付着する。端部に弱い磁着があるが、金属反応はない。
1106	56号竪穴建物 埋土上位	**椀形鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.10）							
1162	57号竪穴建物 埋土上位	**砂鉄精錬滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.８）							
1269	64号竪穴建物 埋土下位	**椀形鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.７）							
1270	64号竪穴建物 埋土下位	**鍛錬鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.６）							
1271	64号竪穴建物 埋土下位	椀形鍛冶滓か	8.9	7.6	2.7	168.5	3	×	明褐	半球状で、小型の椀形鍛冶滓の可能性がある。銹化鉄が全体を覆うが、一部青灰色の地が露出している。表層に３～５mm大の気孔が多い。
1330	65号竪穴建物 埋土下位	椀形鍛冶滓か	9.5	7.9	4.9	320.7	3	H	青灰	椀形鍛冶滓の破片で、２方向破砕（故意？）している。銹化鉄は部分的だが破砕面にも付着する。下部に砂、小石が付く。磁着と金属反応は銹化鉄の範囲
1331	65号竪穴建物 Pit４埋土中	鍛錬鍛冶滓	7.8	5.4	3.5	160.9	7	H	褐～青灰	厚みのある破片で、１箇所、破枠している。表層は細い凹凸が見られる。木炭痕がある。銹化鉄は一部のみ。断面は５mm大の気孔があるが緻密である。
1332	65号竪穴建物 床面上	**椀形鍛冶滓 （含鉄）**	第Ⅶ章参照（分析試料No.５）							
1333	65号竪穴建物 床面上	鍛錬鍛冶滓	7.4	6.6	3.2	86.9	5	H	灰	歪で、軽い。銹化鉄の付着はわずかで、全体的に滓の地が露出している。小石が付く。表層に３mm大の気孔が見られる。金属反応は滓内部からである。
1334	65号竪穴建物 床面上	鍛錬鍛冶滓	5.2	4.8	2.5	66.5	6	M	オリーブ黒	塊状で、重い。広い面が湾曲している。その片面はガラス質で黒色の光沢がある。もう片面は褐色の銹化鉄が付き、木炭痕も見られる。
1335	65号竪穴建物 土坑10埋土中 （14層）	鍛錬鍛冶滓	6.1	5.2	3.8	73.9	0	×	灰	扁平で、広い面がやや膨らむ。表層は全体的に凹凸が激しく、５～20mm大の気孔が多い。片面には５mm大の小粒状の滓が突出する。
1336	65号竪穴建物 埋土下位	**椀形鍛冶滓 （含鉄）**	第Ⅶ章参照（分析試料No.4）							
1420	68号竪穴建物 土坑１埋土中	鍛錬鍛冶滓	6.4	5.3	5.0	161.3	2	H	明褐	厚みがある。紐状の滓が折り重なるような状態。一部、砂が付く。表層は青灰色の地がわずかに露出し、銹化鉄は部分的で、また木炭痕が見られる。
1421	68号竪穴建物 床面上	**椀形鍛冶滓 （含鉄）**	第Ⅶ章参照（分析試料No.３）							
1567	73号竪穴建物 土坑１埋土中	**椀形鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.１）							
1569	73号竪穴建物 土坑１埋土中	**精錬鍛冶滓**	第Ⅶ章参照（分析試料No.２）							
1568	73号竪穴建物 床面上	鍛錬鍛冶滓	8.2	6.3	2.8	105.6	6	H	灰	扁平で軽い。全体的に湾曲している。上面は銹がなく、１～５mm大の気孔が多い。下面は赤褐色の銹化鉄が覆う。
1582	74号竪穴建物 埋土下位	鍛錬鍛冶滓	4.9	4.6	2.9	84.9	6	H	青灰	厚みがあり、重い破片である。2箇所破砕し、１箇所には銹化鉄が付着する。下面には薄く砂が付く。銹化鉄の付着は部分的である。断面は緻密である。
1583	74号竪穴建物 埋土上位	鍛錬鍛冶滓	6.1	4.3	1.8	49.4	4	H	明褐	扁平でやや重い。表層面は凹凸があり、１箇所10mm大の滓が突出する。全体的に銹化鉄が覆い、青灰色の地はわずかに露出するのみである。
1628	75号竪穴建物 埋土下位	流出滓	12.5	2.5	2.4	64.0	7	M	黄灰	棒状である。表層はやや歪で、わずかに光沢がある。1mm大の気孔がわずかにみられる。銹化鉄の付着は部分的である。
1797	85号竪穴建物 埋土上位	鉄塊系遺物	7.6	6.4	2.1	94.0	7	L	褐	扁平で重みがある。表層面は紐状の滓が入り組んでおり、凹凸が激しい。木炭痕が見られる。青灰色の地がわずかに見えるが、銹化鉄が全体を覆う。

【種別】ゴシック体：成分分析結果（第Ⅶ章-6･7）を記した　明朝体：報告者の肉眼鑑定
【磁着・メタル度】第Ⅶ章-6･7の（注）を参照

番号	出土位置 層位	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	磁着	メタル 度	表面色調	特徴
1956	Pit54 埋土中	鍛錬鍛冶滓	10.0	7.8	5.5	262.4	1	×	暗褐	塊状で重い。全体的に飴細工の細い滓が重なるような形状で、平らな面はガラス質で黒色の光沢がある。木炭痕が見られる。錆化鉄の付着は部分的である。
1957	Pit184 埋土中	鍛錬鍛冶滓	2.7	2.2	1.6	9.2	×	×	灰褐～黒	球状で軽い。全体の半分がガラス質で黒色の光沢がある。1mm大の気孔がわずかにみられる。錆化鉄の付着はほとんどない。
1958	Pit293 埋土中	鍛錬鍛冶滓	3.4	2.9	2.3	28.0	5	H	褐	方形の塊状で重い。褐色の錆化鉄が全体を覆う。わずかに木炭痕が見られ、すなが付着する。

【種別】ゴシック体：成分分析結果（第Ⅶ章-6-7）を記した　明朝体：報告者の肉眼鑑定
【磁着・メタル度】第Ⅶ章-6-7の（注）を参照

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 738 集

明神下遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業（若柳中部地区）関連遺跡発掘調査

（第 1 分冊）

印　刷　令和 5 年 3 月 5 日
発　行　令和 5 年 3 月10日

編　集　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒 020-0853　岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地
電話（019）638－9001

発　行　岩手県県南広域振興局農政部農村整備室
〒 023-1111　岩手県奥羽市江刺区大通り 7－13
電話（0197）35－8443

（公財）岩手県文化振興事業団
〒 020-0023　岩手県盛岡市内丸 13 番 1 号
電話（019）654－2235

印　刷　株式会社 富士屋印刷所
〒 020-0841　岩手県盛岡市羽場 13 地割 30 番 10
電話（019）637－6391

©（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2022